HITACHI

2025.10 ~ 2026.3

研修サービスガイド

COURSE

- 日立製品(オープンミドル) 講座
- 日立製品(ハードウェア/ストレージ) 講座
- デジタルトランスフォーメーション 講座
- ビジネス 講座
- プロジェクトマネジメント 講座
- ビジネスアーキテクト 講座
- 開発/基盤 講座
- プロダクト(IT) 講座
- 設計・モノづくり(OT) 講座
- 情報処理技術者試験対策 講座
- グローバル 講座

株式会社 日立製作所
株式会社 日立アカデミー

https://www.hitachi-ac.co.jp/
日立アカデミーWebサイト

日立講習会

はじめに

平素より、株式会社 日立製作所および人財育成のための研修教育プラットフォームを提供する株式会社 日立アカデミーの各種研修サービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

日立グループはいま、さまざまな事業領域のお客さまとともに、日立がこれまで培ってきたIT（Information Technology）、OT（Operational Technology）、プロダクト、そしてデジタルを活用し、さまざまな社会課題を解決する社会イノベーション事業に取り組んでいます。

当社は、お客さまやパートナーと協創し、社会イノベーションを実現すべく、人財育成を強化するとともに各種研修体系を整備しております。これらの研修体系に基づき開発された研修サービス（以下、「日立講習会」といいます。）を通して、お客さまの人財育成に伴走しご支援いたします。

本ガイドは、2025年10月から2026年3月までの研修サービスをご紹介いたします。人財の可能性と価値を最大限に引き出すために、豊富なメニューをご用意しております。

お客さまの人財育成に本研修サービスをご活用いただければ幸いでございます。

2025年7月

株式会社 日立製作所
株式会社 日立アカデミー

CONTENTS

Topics 1 世界累計発行部数35万部超!
超人気技術書シリーズの著者開発・
監修コンテンツで学ぶ生成AI・LLMのキホンのキ
『作って動かす!生成AI・LLMの基礎』のご紹介

Topics 2 未来を切り拓く力を身につけよう!
「全てのビジネスパーソンのための
経営基礎トレーニング」のご案内

Topics 3 DE&Iを推進し、組織と個人の成長へ!
～多様なメンバーの違いを最大現に活かして
新たな価値を創造するためのスキルアップコース群～

Topics 4 顧客の期待に応え、プロジェクト成功へ!
顧客の要求を的確に要件定義に変える実践力を磨く
「要件定義トレーニング」のご案内

Topics 5 開発効率を革新する生成AI活用研修
入門から実践まで
～ソフトウェア開発の未来を創る2コース～

Topics 6 IT/OTに共通する技術研修
「システムズエンジニアリング」のご案内

Topics 7 TableauやMicrosoft Power Platformを修得して、
データを可視化・活用してみませんか!
Tableau／Microsoft Power Platform研修のご案内

Topics 8 これからITを学習する方におすすめ!
「ITスキル基礎パッケージ」

Topics 9 実践で役立つWebアプリケーション開発技術を学ぼう!
クライアントサイド開発研修のご案内

1 開催コース／スケジュール一覧 …… 18
2 講座別コースフロー／コースカリキュラム …… 62
3 研修会場 …… 302
4 お申込方法 …… 304
5 受講規約 …… 307

本ガイドで紹介する研修サービスは、お客さまのご要望に合わせてカスタマイズできるオーダー研修サービスもございます。研修の実施だけでなく、研修企画、開発実施、アフターフォローまでワンストップでご提供も可能です。詳しくはお問い合わせください。

・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

! ※本ガイドは2025年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）または集合研修の開催時間については、当社Webサイトでご確認ください。

研修サービスに関するお問い合わせ先：
株式会社 日立アカデミー

東京地区	TEL 03-5471-8962	FAX 03-5471-2564
大阪地区	TEL 06-4797-7360	FAX 06-4797-7361

日立講習会開催時間のお知らせ
※当社 Web サイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
正式には、ご受講前に送付いたします「日立講習会受講ご案内」（メール）をご確認ください。

CERTIFICATION JAMOTE ISO29993:2017 JMT-LS110001B 日立講習会 大森キャンパス開催
CSLS Certification Scheme for Learning Services-Japan 学習サービス認証スキーム

本ガイドに記載している内容および金額は、2025年6月時点のものであり、将来変更する場合があります。

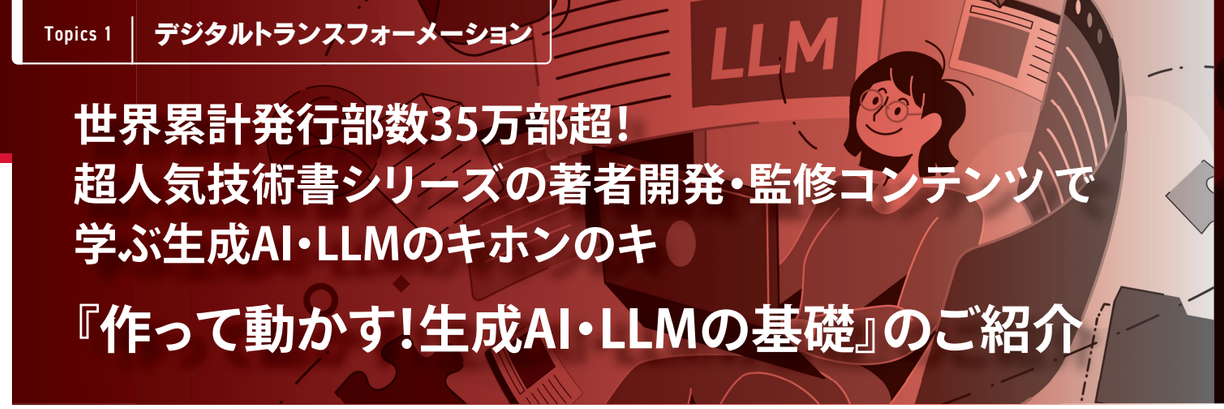
最新のコース開催情報・お薦めコースのご案内

https://www.hitachi-ac.co.jp/

日立アカデミーのWebサイトでは、最新のコース開催情報・お薦めコースを掲載しております。また、コースのお申し込みはWebサイトから行うことができますので、ぜひご活用ください。

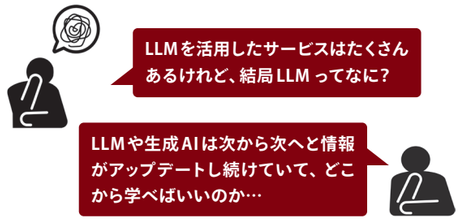


コース最新情報 | お薦めコース | 臨時開催コース | 話題のコース
人気コースランキング | 講座別コース紹介（PDFファイル） | iCD対応研修コースマップ



世界累計発行部数35万部超!
超人気技術書シリーズの著者開発・監修コンテンツで学ぶ生成AI・LLMのキホンのキ
『作って動かす!生成AI・LLMの基礎』のご紹介

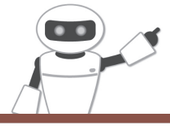
生成AIや大規模言語モデル（LLM）にまつわる技術を各職場で学ぶことが急務となっています。しかし、生成AI・LLMはディープラーニングをベースにした非常に高度な技術で実現されており、一朝一夕で理解するのは困難なことから、学ぼうとしたけれども挫折した、という方も多くいらっしゃるのではないでしょうか。



『作って動かす!生成AI・LLMの基礎』はディープラーニング技術において日本をリードするPreferred Networks社に所属・2017年に技術書大賞を受賞した『ゼロから作るDeep Learningシリーズ』の著者で ある斎藤康毅氏開発・監修のコースです。

日々進化し続けるこの分野では、基礎力をいかに高められるかが、そのあとの技術修得のカギを握ります。生成AIやLLMの基礎に触れ、【極小のLLM】をその場で皆さんの手で作る体験を通じて、生成AIやLLMのプロジェクトに参画していくための土台を身につけていただけます。しっかりと基礎から学んでいきたい、最初の一歩を踏み出したい、という方に自信をもってお薦めするコースです。

自分で生成AI・LLMを作る、動かすような基礎を学べるコースは**日本の中でもかなり希少**なんだ!



研修で使う演習環境は**受講後もしばらく使えて復習できる**よ

学んで
データの生成のデモや演習を交えて解説し、理解を深めます。

作って
LLMを一から構築することにチャレンジ!

動かす
自身で構築したLLMでシェイクスピアっぽい文書を生成?

■ コース概要

コースコード	コース名	日数	コース概要
SPV092	作って動かす!生成AI・LLMの基礎	1日	このコースでは、PFN社の斎藤 康毅氏監修のコンテンツを用いて、データの生成のデモや演習を交えて解説し、理解を深めます。さらに、小さなLLMを一から構築することにもチャレンジしながら、今後生成AIやLLMを業務で活用していくための土台を作ります。

■ 関連するおすすめコース概要

コースコード	コース名	日数	コース概要
DBV138	Python入門 −データ分析での活用をテーマとして−	2日	Pythonの基本的な構文やデータ構造を修得し、データ分析で利用されるライブラリの基本的な使い方を学習します。
DBV132	体感!機械学習	1日	収集したデータの活用技術の一つとして機械学習の導入を学びます。データを活用したシステムに向けた技術を修得できます。
DBV156	NVIDIA Deep Learning Institute (DLI)認定コース ディープラーニングの基礎	1日	ディープラーニングの基礎およびモデルの精度向上にまつわるトピックを学びます。ハンズオンではGPUを使った環境で実際にディープラーニング処理を体験します。

未来を切り拓く力を身につけよう!
「全てのビジネスパーソンのための経営基礎トレーニング」のご案内

競争の激しい現代社会でキャリアを構築していくためには、会社や組織側からのキャリア機会の提供だけでなく、個人自身による自律的なキャリア構築が求められています。

特に経営に関するスキル、「経営力」は、組織や企業を効果的かつ効率的に運営するために必要です。このスキルを身につけることで、組織や個人の成果を最大化し、競争力を高めることができます。

さらに、経営力を養うことで、顧客のニーズや要求を理解し、適切な戦略・サービス、解決策を提供することが可能になります。これにより、顧客満足度を向上させ、顧客への価値を高めることができます。

「全てのビジネスパーソンのための経営基礎トレーニング」とは?

当社では、「全てのビジネスパーソンのための経営基礎トレーニング」として、特に若年層の方々に向けた経営の基礎コースを提供しています。このトレーニングには、**経営戦略、マーケティング、財務会計、思考力**の4つの重要なコースが含まれています。



研修のポイント

1 グループワークで積極的に意見を出し、他者の意見から見識を広げます。インプットだけでなく、アウトプットを通じて自分の言葉で理解を深めます。

2 若年層の方々が受けやすい内容・日数でご用意しています。レクチャとワークにより、基礎知識だけでなく実践力も身につけます。

3 代表的な経営力の構成要素をおさえたコース群のため、経営力を体系的に学べます。また、自律的キャリア構築の一助となります。

■ コース概要

カテゴリ	コースコード	コース名	日数	コース概要
経営戦略	HSV277	(PDU)経営戦略の基本と最新動向 −イノベーション実現のために−	1日	ポジショニングやリソースベーストビュー等の事業・企業戦略論をしっかりと腹落ちして自らの事業に適用できるようになるまで理解します。また、イノベーションやサービスビジネス創造のための実践的な知的基盤を形成できます。
マーケティング	HSV303	(PDU)顧客価値を解き明かす マーケティングリサーチ最新技法	1日	言語化が難しい、顧客のインサイトを、定性的・定量的リサーチを駆使して掌握します。特にデジタル領域のマーケターが駆使している技法を中心に、BtoBビジネスへの適用を想定しながら修得します。
財務会計	HSV304	財務分析と戦略的意思決定力を高めるアカウンティング	1日	自社や有名企業の財務諸表を見て、会社の経営状況を考察するスキルを身につけることができます。将来のビジネス展開や収益性を見極めるための視点を養い、財務諸表の変化がビジネスに与える影響を実感します。
思考力	HSV270	仮説構築のマインドと技法 −深い洞察を得るために−	1日	すでにある事実から、帰納・演繹の思考体系を用い、仮説を構造化する考え方を学習します。

DE&Iを推進し、組織と個人の成長へ!

～多様なメンバーの違いを最大現に活かして新たな価値を創造するためのスキルアップコース群～

TOPICS

皆さんの組織やチームでは、メンバー一人ひとりが率直な意見や素朴な疑問を自由に発言できていますか？また、お互いの強みや特性を認め合い、それぞれの能力を最大限に発揮できていますか？

ダイバーシティ、エクイティ＆インクルージョン（DE&I）は、多様なメンバーが自由に発言し、その能力を最大限に発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値を創造することをめざしています。異なる視点を持つ多様なメンバーがいるからこそ、同質性の高い組織やチームよりも大きな成果を挙げることができるのです。



DE&I実現の土壌となるマインド、多様性を尊重する「自他尊重」のコミュニケーション方法、「公正性/包括性」を実現するためのリーダーの関わり方、事業へ貢献するための「論理思考」や「イノベーション」の考え方を修得することでDE&Iの実現につながります。

組織をつくる一人ひとりがスキルアップし、DE&Iを推進しましょう!

■ DE&I関連コースのご紹介

キーワード	コースコード		コース名	日数/時間	コース概要
多様性	HSV282		（PDU）自分を知り他者を知る コミュニケーションマネジメント −DiSCモデルによる−	2日	さまざまな考え方やキャリアを持つ他者と、どうコミュニケーションをとればよいか学習します。自己を知り、他者を推察し「違いは間違いではない」という考えのもと、具体的アプローチ方法を学習します。このコースでは「DiSC®：行動特性を測るアセスメント」を事前に受検いただきます。
自他尊重	HSV251		（PDU）アサーティブ・ コミュニケーション −職場に活かせる建設的 コミュニケーションスキルの向上−	1日	自他尊重のマインドに基づいて、自分の考えや気持ちを明快に伝えるアサーティブコミュニケーションを学習します。また、自分と異なるコミュニケーションスタイルの後輩や上司・先輩、顧客への効果的なアプローチのポイントを紹介します。
公正性	HSV314		（PDU）アサーティブ・マネジメント −建設的コミュニケーションによる 部下指導−	2日	マネジメントの大切な役割であるチーム活性化や部下育成のために、自他尊重のマインドで建設的に意見を伝えるアサーティブについて学びます。このコースでは、現場における具体的課題を想定した実践ロールプレイとフィードバックを行って実情に即したスキルアップにつなげます。
	HSV284	Renewal	（PDU）部下のパフォーマンスを高める 1on1面談とフィードバック	1日	メンバーが話したいことを話すミーティングとは何か、またメンバーの自主性が上がっていく会話とは何か、をロールプレイングを通して体系的に学習します。
	HSV261		部下のキャリア開発を支援するための プロセスとフレーム −メンバーの自己理解を促し、自律への モチベーションを高める−	Day1 1日 ＋ Day2 0.5日 ※隔日開催	部下のキャリア開発を支援するための効果的なプロセスとフレームを学習します。キャリア支援に必要な考え方、在り方、具体的アプローチ方法を体系的に確認します。また、実務上の場面を想定したロールプレイを実施することにより、具体的な実践方法を学習します。
包括性	HSV331		（PDU）ファシリテーション研修 −成果を出す会議の進め方−	Day1 0.5日 ＋ Day2 0.5日 ※隔日開催	成果を出す会議に必要なファシリテーションスキルを学習します。会議の種類と場面において、自身の課題や苦手意識がどこにあるのかを明確します。その上で、効果的なファシリテーションプランならびに現場での実践を通して、ファシリテーションスキルの向上をめざします。
	HSV281	New	（PDU）チーム力を上げるための エンパワーメント	2日	メンバーのやる気を引き出し、組織生産性を向上させるために必要な管理者の役割や行動について学習します。権限委譲がうまくいかないケース事例をもとに、当事者としてどのような判断や行動をとるかを検討します。他の参加者とのディスカッションを通じて、複数の観点やアプローチに気づきを得ます。
論理思考	HSV223		システムシンキング基礎 −問題を構成する互いに影響しあう 要素の「つながり」を可視化する−	1日	システム思考とは、社会・企業・人間集団を構成する要素の相互作用を捉え、問題の根源を見つけるミクロな視点と、その問題の根源に手を加えることによる「系」全体の変化のマクロな視点の両方を持ちながら問題解決にあたる考え方です。このコースでは、eラーニングで学習したシステム思考の知識をもとに、実際の業務でどのように活用していけばよいか、演習を通して活用のヒントを学習します。
イノベーション	HSV285	Renewal	イノベーティブ思考 −生成AIを活用した事業創出プロセス 体験−	2日	マクロ環境の分析から問題定義、サービスアイディアの創出、価値検討、ビジネスモデルの評価といった事業創出の一連のプロセスを学習します。各プロセスにおいて、システム思考・デザイン思考といったイノベーティブな問題解決を進めるための思考法と、生成AIを使って事業創出を体感します。
	HSV275		新・発想力を高める ラテラルシンキング(TM)	2日	思い切った対策、斬新な方法が必要とされる場面で、単なる思いつきやひらめきではない新しいアイデアを案出したいときには「ラテラルシンキング（水平思考）」が有効です。目的と成果を意識しながらも「枠を超えていく思考法」、その考え方と使い方を個人演習、グループ演習を通じて身につけます。

1 開催コース／スケジュール一覧
2 講座別コースフロー／コースカリキュラム
3 研修会場
4 お申込方法
5 受講規約

顧客の期待に応え、プロジェクト成功へ！
顧客の要求を的確に要件定義に変える実践力を磨く
「要件定義トレーニング」のご案内

プロジェクトの成功とは、「労力と費用に見合う、価値を提供すること」

プロジェクトの成功とは、何でしょうか？

企業のビジネス変革が求められる中、プロジェクトの成功の定義は、今までの「期限通りに、予算内に、定義された範囲内で、成果物を提供すること」から、「労力と費用に見合う、価値を提供すること」へと変化しています。

顧客や企業にとって価値ある成果※1が得られない場合、たとえ期限通りに予算内で成果物を提供しても、プロジェクトが成功したとは言えません。

※1 例）売上アップ、生産性向上、顧客満足度の向上など

要件定義の目的は、プロジェクトの成功に不可欠な要素を明確にすること

それでは、顧客や企業にとって価値ある成果を提供するために、何が必要になるのでしょうか。これを明確にすることが、要件定義の目的です。

要件定義は、「ステークホルダーから要求（What）を漏れなく抽出し、内容を見極め、新たなビジネスやシステムを創造する要件として定義する」※2ことであり、業界・業種を問わず、ビジネスの上流工程で実施する共通プロセスです。

※2 出典:IPA「ユーザのための要件定義ガイド 第2版 要件定義を成功に導く128の勘どころ」

要件定義の実践力を鍛える「要件定義トレーニング」をご活用ください！

要件定義は、顧客のニーズの曖昧さ、情報の多様性と断片化、ステークホルダー間のニーズや期待の相違、要件の変動など、複数の要因が絡み合っていることが多いため、実行が難しいプロセスです。

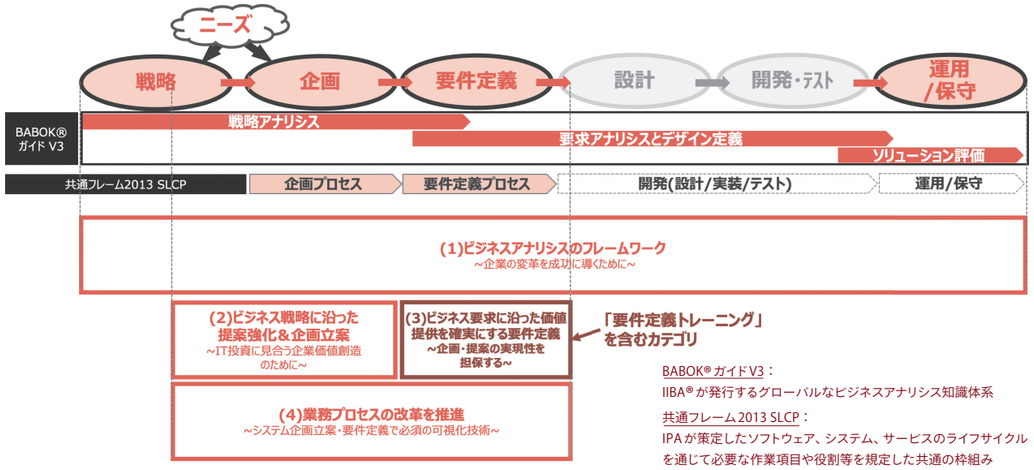
当社では、ビジネスアーキテクトのコース体系のカテゴリ「ビジネス要求に沿った価値提供を確実にする要件定義」に、要件定義に関する各種コースを提供しております。

このカテゴリの中で、特に演習を中心とし、職場ですぐ適用するための要件定義の実践力を強化するコースを「要件定義トレーニング」としてご案内します。要件定義の工程で特に強化したいスキルに合致したコースを選択し、ぜひご活用ください。

こんな方に おススメ！

業種・職種を問わず要件定義に従事される方、ユーザー部門として業務要件にたずさわる方、ベンダーとしてお客様の要求からシステム要件をまとめる方、マネージャーとして上流工程を取りまとめて案件獲得をめざす方、にお薦めします。

■ ビジネスアーキテクトのコース体系（全体）



BABOK® ガイド V3：
IIBA® が発行するグローバルなビジネスアナリシス知識体系

共通フレーム 2013 SLCP：
IPA が策定したソフトウェア、システム、サービスのライフサイクルを通じて必要な作業項目や役割等を規定した共通の枠組み

■ 実践力を鍛える「要件定義トレーニング」のコース体系

■ 実践力を鍛える「要件定義トレーニング」のコース概要

コースコード	コース名	日数	PDU	コース概要
CTV089	(PDU)(CDU)要件定義スキル基礎 −ロールプレイによる要求の引き出し− 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	要件定義は、ステークホルダー（顧客や経営層、開発者など）からの要求を引き出すプロセスが必須です。本コースは、要件定義プロセスの全体の流れと、要求を引き出すためのヒアリング手法についてロールプレイ形式で実践的に学習します。
SPV103	システムのニーズ分析 【バーチャル・クラスルーム】	2日	−	要件定義は、事前に引き出したステークホルダーの要求を体系的に整理し、本質的な課題を抽出するニーズ分析が不可欠です。本コースは、ニーズ分析の具体的な進め方について解説と演習を通して学習します。
CTV090	(PDU)(CDU)ビジネスニーズに沿った ユーザー要件定義の実践力強化 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	顧客・ユーザーのニーズが曖昧な状態で要件定義を進めると、ビジネス視点や顧客・ユーザー視点の重要な要件が抜けてしまうケースが散見されます。本コースは、ユーザーストーリーを作成してユーザー要件を獲得するために必要な知識とスキルを、演習を通じて実践的に学習します。
CTV091	(PDU)(CDU)上位ニーズから不断なく 正確にシステム要件を定義する実践力強化 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	要件定義は、『ビジネスニーズに沿ったユーザー要件 / 業務要件を読み解き、それを正確にシステム要件へ落とし込む』ことを意識することが重要となります。本コースは、上位ニーズを正確に読み解き、システムに対する制約・条件などのシステム要件を過不足なく定義する手法を学習します。



開発効率を革新する生成AI活用研修
入門から実践まで
～ソフトウェア開発の未来を創る2コース～

ソフトウェア開発における生成AI活用で、開発効率を飛躍的に向上させませんか？

現代のソフトウェア開発において、生成AIの活用は単なるトレンドではなく、開発効率と品質を同時に高める重要な手段となっています。要件定義から実装、テストに至るまで、開発工程全体を革新する生成AIの力を、貴社の開発プロセスに取り入れてみませんか？

生成AIが開く、ソフトウェア開発の新時代

生成AIは、コード生成だけでなく、要件の明確化、設計の最適化など、開発工程のあらゆる場面で強力な支援ツールとして機能します。当社では、お客様のニーズに合わせた2つの研修コースをご用意しております。

1 初めての方におすすめ　非エンジニアでも理解できる！

「ソフトウェア開発における生成AIの活用ー要件定義から実装・テストまでの新しいアプローチー」

生成AIの基本から基本的な活用法まで効率よく学べる座学コースです。生成AIの基本原理を理解し、各開発工程での具体的な活用方法を修得できます。特に、プロンプトエンジニアリングの基礎から要件定義、設計、コーディング、テストの各フェーズでの使い方を短時間で効率的に学べます。開発プロセスを変革する第一歩として、まずは生成AIの可能性を探りたい方に最適です。

2 実践力を身につけたい方に　ハンズオンで実務スキルを修得しよう！

「生成AIで実現するソフトウェア開発工程自動化ハンズオン」

実際に手を動かしながら、生成AIによる開発自動化を体験できるハンズオンコースです。APIを活用したコード生成、テスト自動化、デバッグ支援など、開発プロセス全体の効率化を実践的に学びます。生成AIを効果的に活用するためのプロンプト設計の技法、コード最適化、品質保証、自動ドキュメント生成といった実務で即活用できるスキルを修得できます。生成AIのメリットだけでなく限界や注意点も正しく理解し、過度な期待や誤用を避けながら効果的に活用するためのノウハウを提供します。

■ おすすめ研修受講パス

【前提知識】開発工程や情報システムの基礎について学びたい方

- SPV114　2日
  演習で学ぶ！
  情報システムの役割と
  開発の進め方
- SPE022　6時間
  ＜eラーニング＞はじめて学ぶ
  情報システム開発
  ーレガシー開発からクラウドまでー

ソフトウェア開発に生成AIを活用したい方へ最適な2コース

- 推奨
  SPV115　0.5日
  ソフトウェア開発における
  生成AIの活用
  ー要件定義から実装・テスト
  までの新しいアプローチー
- 推奨
  SPV101　1日
  生成AIで実現する
  ソフトウェア開発工程自動化
  ハンズオン

■ コース概要

コースコード	コース名	日数/時間	コース概要
SPV115	ソフトウェア開発における生成AIの活用 ー要件定義から実装・テストまでの新しいアプローチー	0.5日	生成AIの基礎理論から実践的活用法まで学ぶ半日研修。開発全工程でのAI活用技術を修得し、新たな開発プロセスを知ります。
SPV101 *New*	生成AIで実現するソフトウェア開発工程自動化ハンズオン	1日	開発自動化を実践的に学び、コード生成からテスト、ドキュメント作成まで効率化するハンズオン付きの研修です。
SPV114	演習で学ぶ!情報システムの役割と開発の進め方	2日	情報システムを開発・発注するうえで必要な基礎知識として、工程別に作業内容や作業目的を学習します。加えて開発プロジェクトの計画・統制・終結の側面から、代表的な仕事（見積り、契約など）についても学習します。
SPE022	＜eラーニング＞はじめて学ぶ情報システム開発 ーレガシー開発からクラウドまでー	6時間	情報システム開発に必要な基礎知識を、従来広く使われている手法と近年着目されている手法の両面から学習します。

TOPICS

IT/OTに共通する技術研修「システムズエンジニアリング」のご案内

デジタル技術と半導体技術の進歩がもたらす複雑化と多機能化

デジタル技術と半導体技術の飛躍的な進歩により、世の中における製品やシステムはますます複雑化し、高度化、多機能化しています。その多くは、複数の技術分野にまたがり、大小さまざまなシステムを組み合わせて構成されています。

これからの技術者に求められるスキル

そのため、これからの技術者には、IT・OT（メカ、構造、電気電子、制御、ソフトウェアなど）の各技術分野を俯瞰的に理解し、技術的・機能的な切り分けを行う能力が求められます。また、詳細な設計検討や検証のためのIT・OTの技術的知見も必要です。「IT/OT共通」や「IT/OT融合」といったキーワードが重要になってきます。

「システムズエンジニアリング」研修のご案内

そこで当社では、これらの開発基盤プロセスとして「システムズエンジニアリング」に注目し、研修体系の拡充を図っています。この開発プロセスに沿って設置されたコースにより、「ハードはソフトのことを（またはその逆）」「ITはOTのことを（またはその逆）」といった技術分野をまたぐ領域に関する課題を解決していきましょう。

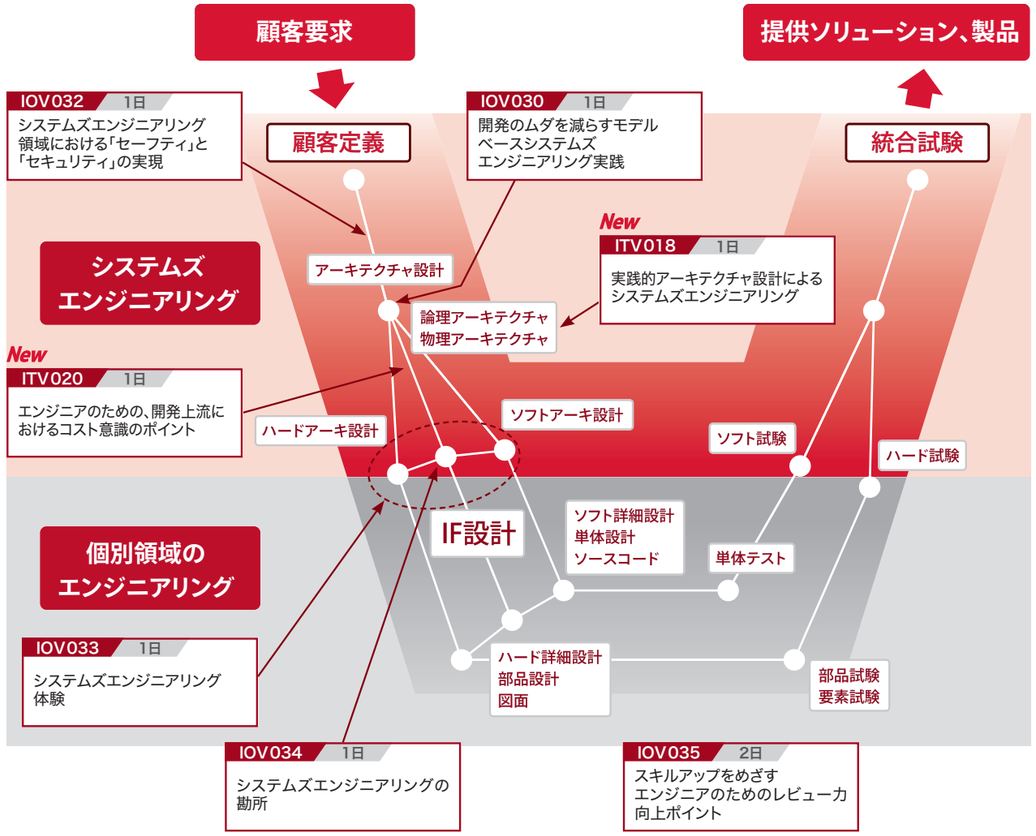
この機会にぜひ、システムズエンジニアリング研修をご受講ください。

こんな方に おススメ！

IT／OT、ハード／ソフトといった技術分野を問わず、将来は広い視野で技術とりまとめの役割を担いたい（もしくは担わせたい）、若手技術者の方におすすめします。

開発V字プロセス における位置づけ

右上図のように、開発プロセスに密接するように研修体系を整備中です。これら一連の研修コースの受講によって、実務において「システムズエンジニアリング」を主体的に実施するスキルを獲得できます。



■ コース概要

コースコード		コース名	日数	コース概要
IOV033		システムズエンジニアリング体験 －間違いのない設計課題洗い出しと設計変更－	1日	主として設計変更時の不具合リスク低減を目的に、要求仕様の整理～設計検討～設計変更まで、一連のシステムズエンジニアリングのプロセスに沿って、ツールを用いて体験します。
IOV034		システムズエンジニアリングの勘所 ～つなぎ(IF)と変化点～	1日	システム設計視点では、各技術分野をいかにうまくつなぐか（IF設計）が求められます。設計変更時には、いかにうまく現行設計と変更設計とをつなぐか（変化点）が求められます。「つなぎ（IF）」「変化点」といった設計の勘所に着目し、例題を用いながら理解とスキル修得を進めます。
IOV032		システムズエンジニアリング領域における「セーフティ」と「セキュリティ」の実現	1日	上流工程からの安全性の作り込みにおける、考慮すべき検討内容全般についての講義だけでなく、主として製品やシステムの安全性（Safety）検討面を中心とした演習を行います。
ITV018	New	実践的アーキテクチャ設計による システムズエンジニアリング	1日	システムや製品の実現においては、求められる要件を実現するためのシステムアーキテクチャ設計が重要です。ここでは、システムの論理／物理の各アーキテクチャ検討について、その違い、検討すべきこと、検討方法について解説し、MBSE実践における良いアーキテクチャづくりをめざします。
ITV020	New	エンジニアのための、開発上流に おけるコスト意識のポイント	1日	「システムズエンジニアリング」の流れに沿って、技術者の原価意識に必要な要素、特に開発上流の要求分析や構想段階における、「原価の可視化」や「原価見積」について、演習等を通じて解説します。またコストマネジメント推進方法、開発着手判断・受注可否判断などの意思決定の高度化、コストマネジメント実現のためのデータマネジメントについても解説します。
IOV030		開発のムダを減らすモデルベース システムズエンジニアリング実践 －IT/OT融合時代の モデルベースアプローチ－	1日	複雑・高度・多機能化したシステムや製品での、開発手戻り低減化を目的に、SysMLのモデルを作成しながら、システムズエンジニアリングやMBSEを理解します。このコースでは導入支援をしているコンサルタントを講師に招き、講義と演習を通じて、システムズエンジニアリングやMBSEについて学びます。
IOV035		スキルアップをめざすエンジニアの ためのレビュー力向上ポイント	2日	IT/OT系に関わらず、各プロセスにおけるレビューワーの本来あるべき姿について再確認をするコースです。そのための基本的なスキルを、多くの演習を通じて身につけることを目標としています。

TableauやMicrosoft Power Platformを修得して、データを可視化・活用してみませんか!

Tableau／Microsoft Power Platform研修のご案内

当社では、データ可視化・分析の代表的なBIツールであるTableauと、ローコードでDXを支援するMicrosoft Power Platformの研修を提供しています。

Tableau研修では、2023年度からTableau認定トレーニングを提供しており、講師によるオンラインレクチャ形式で、製品スキルの高いTableau社講師から直接学ぶことができます。オンライン環境でのトレーニング（演習）も整備されており、事前にPCに製品をセットアップする手間なく受講可能です。また、短時間で概要や基本操作を学びたい方向けに、ハンズオンを含んだ入門コースも提供しています。

Microsoft Power Platform研修では、Power Automate for DesktopによるRPAやPower BI Desktopによるデータの可視化・分析の研修コースを提供しています。さらに、2024年度からはPower Appsによるキャンバスアプリの開発や、ExcelとPower BI Desktopのデータ加工機能であるPower Queryを学べる研修コースも新たに提供しています。

これからTableauやMicrosoft Power Platformをご利用になる方、既に利用中でスキルアップをめざす方は、ぜひこの機会にご受講をご検討ください。

■ Tableauコース概要

コースコード	コース名	日数	コース概要
DBV215	Tableau入門ハンズオン	0.5日	Tableauで必要となる基礎的な用語・概念を学び、またサンプルデータを用いてデータの可視化・分析を行うハンズオンを通して操作を学べます。
DBV213	Tableau Desktop 基礎［前編］	2日	Tableauの基礎を学び、またTableau Desktopを使用して各トピックの主な概念を取り上げたワークブック（例題ファイル）を用いた実習を行います。基礎的なデータ分析とデザインのスキルや知識を学習します。
DBV214	Tableau Desktop 基礎［後編］	2日	Tableau Desktopを使用して、データソースの作成・接続、複数の表の統合、計算の使用、高度なビジュアライゼーションの構築、パラメーターなどによる分析の支援、ダッシュボードのカスタマイズなどに関して学習します。

■ Microsoft Power Platformコース概要

コースコード	コース名	日数	コース概要
RPV025	Power Platform入門（Power Appsによるキャンバスアプリ開発編）	1日	Power Appsによるローコードアプリケーション開発について、マシン演習を通じてアプリケーション開発（キャンバスアプリ）を学習します。ビジネスユーザー自身が業務効率化のアプリを作成したい場合に必要な知識を学べます。
RPV021	Power Platform入門（Power Automate DesktopによるRPA活用編）	1日	Power Automate for DesktopによるRPA活用（業務を自動化するためのロボット開発）について、マシン演習を通じて学習します。PCを利用した業務やアプリケーションの操作を自動化・効率化したい場合に必要な知識を学べます。
RPV026	Power Platform入門（Power QueryとExcelによるデータ加工編）	1日	データ活用を支援するPower BIやExcelで共通して利用できる、データ加工機能Power Queryについて、データ加工のポイントを学ぶとともに実際の各種加工機能や操作をマシン演習で学習します。
RPV019	Power Platform入門（Power BI Desktopによるデータ活用編）	1日	データ活用を支援するPower BI Desktopを用いたデータの可視化や分析の機能・操作を、マシン演習を通じて学習します。また、データ活用のための加工や可視化におけるポイントを学習します。

これからITを学習する方におすすめ!「ITスキル基礎パッケージ」

学習ペースを自分でコントロールし、eラーニングでITの基礎知識を着実に修得したい方には、「＜eラーニング＞ITスキル基礎パッケージ」をお薦めします。「ITスキル基礎パッケージ」は、厳選したコースラインアップをパッケージにしました。自律人財の育成に役立つ学習計画表や学習サポートメールにより学習をサポートいたします。

学習計画表

EXCELで提供される学習計画表に、推奨受講フローを参考にして学習計画を立てます。漫然と受講するのではなく、自分で学習の計画を立て、進捗を確認し、対策を立てることで、PDCAを回します。



学習計画表(2020年4月～9月)

日付	曜日	【午前】	【午後】	ステータス	備考
4/1	水		ビジネススキル基礎	予定通り	
4/2	木	ビジネススキル基礎	コンピュータ基礎ーハードウェア編ー	予定通り	
4/3	金	コンピュータ基礎ーハードウェア編ー	コンピュータ基礎ーハードウェア編ー	予定通り	
4/4	土				
4/5	日				
4/6	月	コンピュータ基礎ーソフトウェア編ー	コンピュータ基礎ーソフトウェア編ー	予定通り	
4/7	火	コンピュータ基礎ー情報の基礎理論編ー		遅れあり	
4/8	水	コンピュータ基礎ー情報の基礎理論編ー	コンピュータ基礎ー情報システム編ー	-	
4/9	木	ネットワーク基礎Ⅰーイーサネットの仕組みー	ネットワーク基礎Ⅰーイーサネットの仕組みー		
4/10	金	ネットワーク基礎Ⅰーイーサネットの仕組みー	ネットワーク基礎Ⅰーイーサネットの仕組みー		
4/11	土				
4/12	日				
4/13	月	ネットワーク基礎Ⅱ－TCP/IPの仕組みー	ネットワーク基礎Ⅱ－TCP/IPの仕組みー		
4/14	火	ネットワーク基礎Ⅱ－TCP/IPの仕組みー	ネットワーク基礎Ⅱ－TCP/IPの仕組みー		
4/15	水	情報セキュリティリテラシー セキュリティの必要性と対策	情報技術者に求められるセキュリティの基礎 要素技術(暗号、認証)編		
4/16	木	情報技術者に求められるセキュリティの基礎 要素技術(暗号、認証)編	アルゴリズムの基礎ーフローチャート編ー		
4/17	金	アルゴリズムの基礎ーフローチャート編ー	アルゴリズムの基礎ーフローチャート編ー		
4/18	土				
4/19	日				
4/20	月	アルゴリズムの基礎ーフローチャート編ー	アルゴリズムの基礎ーフローチャート編ー		

学習サポートメール

学習アドバイザから知識定着をうながすアドバイスメールが届きます。受講コースに関連したおまけコンテンツの視聴URL付きで、飽きさせません。

学習サポートメール文例

こんにちは。学習アドバイザの水木です。今回は、理解度を確認する別の方法として、実際に手を動かす方法をご紹介します。
「アルゴリズム」で学習した内容を、手を動かして確認するにはどんな方法があるでしょうか。例えば、フローチャートをトレースし、変数に値が入ったり、画面に出力される様子を紙に描いてみましょう。
ご自身の日々の作業をフローチャートに描いてみましょう。
とはいえ、初めのうちはどうやってトレースすればよいか、イメージしにくいかもしれません。トレースのコツを動画にしました。

（アルゴリズムの基本）どのようにトレースすると効果的か？
http://www.....

コースコード	SJE340
コース名	＜eラーニング＞ ITスキル基礎（ライトパッケージ）
コース概要	ITを活用するための基礎知識が修得できるよう、複数のeラーニングコースを1つのパッケージとしてまとめました。もっとも基本的な9コースのパッケージです。
学習開始日	10/8、15、22、11/5、12、19、26、12/3、10、17、24、1/7、14、21、28 （学習開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります）
パッケージ内のコース名	＜eラーニング＞ビジネススキル基礎 ＜eラーニング＞コンピュータ基礎ーハードウェア編ー ＜eラーニング＞コンピュータ基礎ーソフトウェア編ー ＜eラーニング＞コンピュータ基礎ー情報の基礎理論編ー ＜eラーニング＞コンピュータ基礎ー情報システム編ー ＜eラーニング＞アルゴリズムの基礎ーフローチャート編ー ＜eラーニング＞ネットワーク基礎Ⅰーイーサネットの仕組みー ＜eラーニング＞ネットワーク基礎Ⅱ－TCP/IPの仕組みー ＜eラーニング＞データベース基礎

コースコード	SJE341
コース名	＜eラーニング＞ ITスキル基礎（フルパッケージ）
コース概要	最も基本的な9コースに加え、セキュリティ、プログラミング言語、システム開発やプログラムのテスト技法まで含めた、全20コースのフルパッケージです。
学習開始日	10/8、15、22、11/5、12、19、26、12/3、10、17、24、1/7、14、21、28 （学習開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります）
パッケージ内のコース名	＜eラーニング＞ビジネススキル基礎 ＜eラーニング＞ロジカルシンキング基礎 ＜eラーニング＞WHYで学ぶアカウンティング（基礎知識編） ＜eラーニング＞コンピュータ基礎ーハードウェア編ー ＜eラーニング＞コンピュータ基礎ーソフトウェア編ー ＜eラーニング＞コンピュータ基礎ー情報の基礎理論編ー ＜eラーニング＞コンピュータ基礎ー情報システム編ー ＜eラーニング＞ネットワーク基礎Ⅰーイーサネットの仕組みー ＜eラーニング＞ネットワーク基礎Ⅱ－TCP/IPの仕組みー ＜eラーニング＞情報セキュリティリテラシー ＜eラーニング＞情報技術者に求められるセキュリティの基礎 ＜eラーニング＞データベース基礎 ＜eラーニング＞SQL入門 ＜eラーニング＞アルゴリズムの基礎ーフローチャート編ー ＜eラーニング＞システム開発の基礎 ＜eラーニング＞運用管理概説 ＜eラーニング＞オブジェクト指向概説 ＜eラーニング＞Javaプログラミング1ー基本文法編ー ＜eラーニング＞Javaプログラミング2ー基本クラス編ー ＜eラーニング＞プログラムのテスト技法

実践で役立つWebアプリケーション開発技術を学ぼう!
クライアントサイド開発研修のご案内

Webアプリケーションにおけるクライアントサイド技術は、ユーザー体験を大きく左右する重要な要素です。日立アカデミーでは、その基礎となる**HTML、CSS、JavaScriptを体系的に学び、実践に役立つスキルを修得**できるコースを提供しています。初心者でも無理なく学べるように、基礎知識からスタートし、**段階的にフレームワークやライブラリの活用へ**と進めていきます。

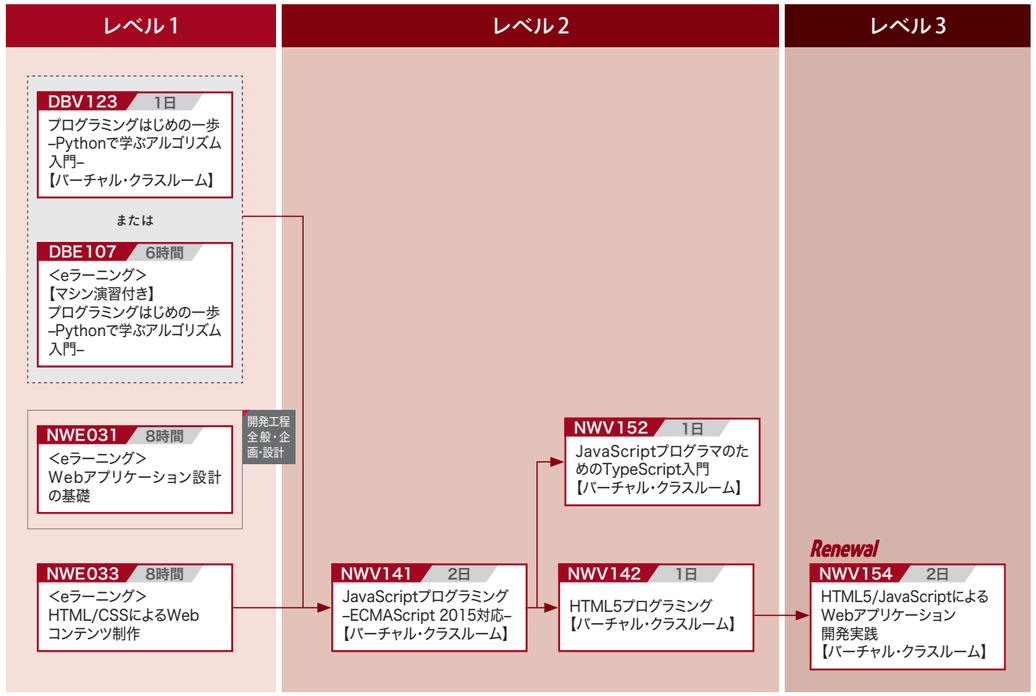
また、豊富なマシン演習を通じて、実際にコードを書きながら、エラーの対処などの応用力を身につけることができます。

クライアントサイド開発の土台をしっかりと固め、現場で求められるスキルを磨きましょう!

こんな方に おススメ!

・これからクライアントサイド開発に携わる方
・最終的にフレームワークやライブラリを利用したクライアントサイド開発を予定されている方

■ クライアントサイド開発研修の体系図



レベル1　プログラミング初学者やWebアプリケーション開発について0から学習したい方はこちら!

■ コース概要

コースコード	コース名	日数/時間	コース概要
DBV123	プログラミングはじめの一歩 –Pythonで学ぶアルゴリズム入門– 【バーチャル・クラスルーム】	1日	プログラミングを学習するにあたって重要となる「順次・分岐・繰り返し」の考え方を、マシン実習を交えながら学習するコースです。 ※Pythonの文法を学習するコースではございません。
DBE107	<eラーニング>【マシン演習付き】 プログラミングはじめの一歩 –Pythonで学ぶアルゴリズム入門–	6時間	上記の【DBV123】と同等の内容です。 eラーニングでの提供のため、学習したいタイミングでご受講いただけます。
NWE031	<eラーニング> Webアプリケーション設計の基礎	8時間	Webアプリケーション開発に関わるに当たり、設計の観点からの基本的な知識や留意点を学習する入門コースです。
NWE033	<eラーニング> HTML/CSSによるWebコンテンツ制作	8時間	HTMLによるリンク、テーブル、フォームなどを用いたWebコンテンツの作成方法を学習します。また、CSSを用いたスタイルシートの効果的な指定方法を学習します。

レベル2　クライアントサイド開発で利用するプログラミング言語を学習したい方はこちら!

■ コース概要

コースコード	コース名	日数	コース概要
NWV141	JavaScriptプログラミング –ECMAScript 2015対応– 【バーチャル・クラスルーム】	2日	JavaScriptの基本文法と、DOM、イベント、Ajaxについて学習します。従来の文法だけでなく、ECMAScript 2015からの文法・機能についても学習します。
NWV142	HTML5プログラミング 【バーチャル・クラスルーム】	1日	HTML5から追加され、現在でも利用されている機能・技術を学習します。
NWV152	JavaScriptプログラマのための TypeScript入門 【バーチャル・クラスルーム】	1日	TypeScriptの基本文法について、マシン演習を通して学習します。 ※本コースはJavaScriptの文法を学習済みであることを前提としたコースとなっています。

レベル3　フレームワークやライブラリを導入した実践的な開発手法を学習したい方はこちら!

■ コース概要

コースコード	コース名	日数	コース概要
NWV154	Renewal HTML5/JavaScriptによるWebアプリケーション開発実践 【バーチャル・クラスルーム】	2日	HTML5、JavaScriptを用いたWebアプリケーションの設計と実装を学習します。Reactを利用したサンプルプログラムの実装を通して、Webアプリケーションのフロントエンド開発で取り入れられることが多い、SPAやコンポーネント指向について学習します。

開催コース／スケジュール一覧

日立講習会は下記の通り「日立製品研修」と「ＩＴ／ビジネス研修」からなり、ＩＴの利活用に必要なコースを多数取り揃えております。「日立製品研修」、「ＩＴ／ビジネス研修」の概要および提供するコースをご紹介します。

日立製品研修

日立製品（オープンミドル）

日立製作所のオープンミドルウェア、プラットフォームソフトウェアなどを扱うために必要な技術が修得できます。

●JP1
統合システム運用管理ソフトウェアJP1を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。

●uCosminexus Application Server
uCosminexus Application Serverを使用したアプリケーション開発やシステム構築を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

●HiRDB
データベースマネジメントシステムであるHiRDBのシステム運用やアプリケーション開発を行ううえで 必要となる知識と技術が修得できます。

●OpenTP1
TPモニタであるOpenTP1システムの構築や運用、およびアプリケーションを開発するうえで必要となる知識と技術が修得できます。

●VOS3
日立メインフレームOSであるVOS3の使用方法や機能、システム運用管理技術が修得できます。

●XDM
日立メインフレームDB/DCであるXDMの機能や設定、システム運用管理技術が修得できます。

日立製品（ハードウェア／ストレージ）

●日立製品（ハードウェア／ストレージ）
日立ブロックストレージに関する製品・機能について必要な知識やスキルを修得できます。

IT／ビジネス研修

デジタルトランスフォーメーション

社会やビジネス・要素技術は変化・進化しており、顧客・自社それぞれの事業・業務のデジタル化は一層加速しています。そうした中で、製品・サービスの開発やその利活用に必要な、デジタルに関する要素技術を体系化した領域です。

●デジタル導入
DX事業推進のために、デジタル技術を活用した製品・サービスの企画・開発・実装を行う方や、デジタル化された業務を遂行する方に必要なDXのマインド、プロセス、要素技術などのデジタルリテラシーを高めることができます。

●セールス／フロント
顧客を取り巻く環境の変化をふまえて、経営課題から顧客ビジネスを理解します。そのうえで経営層やステークホルダーに適切な課題提言や解決策を提案し、顧客協創を推進するための活動プロセスに関する領域です。

●サービス
顧客との協創を実現しながら顧客課題に応えるための新たなDX事業のビジネスモデル検討と、そのためのサービスの企画・開発に必要なビジネスフレームワークやツールの活用方法とその検討プロセスに関する領域です。

●イノベーション
自社の既存ビジネスや業務プロセスといった枠組みにとらわれず、社会課題起点による新たな事業をイノベーティブに検討することや、顧客の現場を観察し真の課題を浮き彫りにするためのデザイン思考に関する領域です。

●データサイエンス
顧客や自社の経営・業務について、データドリブンに改革・改善するために、課題解決手法、データ分析手法、AI、機械学習など、データサイエンスに必要なビジネス・サイエンス・エンジニアリングに関する領域です。

●プロセス／プロダクト
製造業におけるエンジニアリング・オペレーションの高度化、製品のコネクティッド化など、製造業DXを進めるうえで必要な基礎知識・技術を修得できます。

ビジネス

仕事を進めるうえで必要となるスキル（経営基礎知識、ロジカルシンキング、コミュニケーション、ライティング、リーダシップなど）が修得できます。

●経営力
会社の戦略を遂行し、チームを成功に導くマネジメントスキルの基礎（戦略、マーケティング、財務、会計、マネジメントマインドセット、洞察力など）が修得できます。

●思考力／考え抜く力
自らが問題提起を行い、解決のためのシナリオを描ける思考力（課題発見力、計画力、創造力）が修得できます。

●チームで働く力
多様な人々と共に、目標達成に向け協力するために必要なスキル（発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力）が修得できます。

●前に踏み出す力
試行錯誤しながら、失敗を恐れず、自ら一歩前に踏み出すために必要なスキル（主体性、実行力、働きかけ力）が修得できます。

●目的別（コンプライアンス／業種・業界／ビジネス教養）
業務遂行にあたって、意志決定を行うためのバックヤードとなる知見（コンプライアンス、業界知識、リベラルアーツ）が修得できます。

プロジェクトマネジメント

プロジェクトの活動状況を的確に把握し、困難な局面を乗り越え、プロジェクトを成功に導くために役立つ領域です。

●プロジェクトマネジメント
プロジェクトの計画・実行を行うために必要な知識や手順、技法が修得できます。

●プロジェクトマネジメント資格取得
プロジェクトマネジメントの国際資格PMP®（PMI®認定）の取得に役立つコース群です。

ビジネスアーキテクト

社会や顧客のニーズを的確に把握し、ビジネス領域の問題を分析して課題を特定し、迅速に課題解決へと導くための要件定義を行うビジネスアーキテクトの活動を体系化した領域です。

●ビジネスアーキテクト
ビジネスアナリシスのフレームワーク、ビジネス戦略に沿った企画立案、ビジネス要求に沿った価値提供を確実にする要件定義、業務プロセス改革を推進するための可視化技術など、ビジネスアーキテクトに必要な知識・技法を修得できます。

開発／基盤

IT・OT・プロダクトの開発・基盤に関する技術を修得できます。

●クラウド
クラウドや仮想化の基礎知識と技術が修得できます。

●モダン開発（アジャイル開発含む）
アジャイルやクラウド環境を利用するモダンな開発に関する基礎知識と技術が修得できます。

●開発工程全般・企画・設計
IT・OT・プロダクトの開発に関する工程ごとの技術（工程全体の俯瞰や企画、要件定義、設計や、関連手法）が修得できます。プログラミングなどの実装技術はプログラミング・情報技術、テスト工程については品質・技法・信頼性を参照ください。

●プログラミング・情報技術
IT・OT・プロダクトの開発に関する実装技術（プログラミング）、情報関連技術（コンピュータの要素技術など）、デジタル技術（XR技術、R言語、DeepLearningなど）を修得できます。

●品質・技法・信頼性
IT・OT・プロダクトの開発に関する品質、信頼性に関連する技術を修得できます。

●セキュリティ
個人情報保護や情報セキュリティに関する基礎知識、セキュリティを考慮したシステム構築・管理に必要な技術が修得できます。

●プラットフォーム（Linux/Microsoft）
LinuxやMicrosoft製品を用いたシステム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

●ITサービス
情報システムを活用し、ビジネスを支援するITサービスの業務プロセスを管理・改善するITサービスマネジメントの基礎知識・手法が修得できます。

プロダクト（IT）

データベースやネットワーク、DXを支援するアプリケーション・サービスやサーバ仮想化製品、RPA製品に関する技術を修得できます。

●基盤製品（データベース）
データベースの概念を理解し、データベースシステムを構築するための技術が修得できます。

●基盤製品（ネットワーク）
ネットワークの構成を理解し、LANおよびWANに接続したシステム設計・構築・運用管理に関する技術が修得できます。

●ミドル・アプリケーション製品
ビジネスユーザーによるデータ活用やローコードでのDXを支援するアプリケーション・サービスの基礎知識、操作、技術が修得できます。

●RPA製品
RPA（Robotic Process Automation）製品を使用して業務自動化のロボットを開発するために必要な基礎知識と技術が修得できます。

●IoT
IoT基盤に関する技術全般（システムアーキテクチャ、要素技術（センサ、ネットワーク、データ分析））、IoTを取り巻く業界動向・DX事例、代表的ソリューション等、IoTを多角的に捉える知識を修得できます。

設計・モノづくり（OT）

日立のモノづくりで培ったコアの技術・スキルを厳選して研修として体系化した領域です。

●電気・計測制御
電気系技術者・技能者の知識や技能の拡大ができます。若手技術者のための基礎技術や熟練技術者たためのリスキリングで技術が修得できます。

●機械・設計技法
機械系技術者・技能者の知識や技能の拡大ができます。若手技術者のための基礎技術や熟練技術者たためのリスキリングで技術が修得できます。

●生産・サプライチェーンエンジニアリング
監督者およびその候補者の管理能力向上と人格形成を目的とした研修、生産管理の基礎から最先端のSCM、品質管理・生産技術能力強化のための理論から実務に直結した研修からなるトップ技能者や現場リーダ育成に必要な領域です。

●製造・モノづくり基盤技術
工作機械やロボット等を操作する実習を通して、モノづくりを体験的に修得できます。また、デジタル化推進に必要な技術、モノづくりに携わるエンジニアに必要な技術を修得できます。

情報処理技術者試験対策

●情報処理技術者試験対策
情報処理技術者試験の資格取得に向け、知識や解答の考え方が修得できます。

グローバル

●グローバル
グローバルでビジネスを進めるうえで必要となるスキル（グローバルマインドセット、各国の動機付け要因、反発要因など）が修得できます。



New 新設コース

分野	コースコード	コース名	日数※
デジタルトランスフォーメーション			
セールス / フロント	HSV278	戦略的な営業活動を実現するためのアカウントプランニング 【バーチャル・クラスルーム】	2日
	HSV279	案件発掘のための経営課題分析研修 【バーチャル・クラスルーム】	2日
データサイエンス	AIE013	<eラーニング> 時系列解析基礎(Aidemy社)	9.5時間
ビジネス			
経営力	HSJ287	ナレッジマネジメント概説 - 属人化を防ぎ業務効率を向上させる -	1日
前に踏み出す力	HSV281	(PDU)チーム力を上げるためのエンパワーメント 【バーチャル・クラスルーム】PDU	2日
プロジェクトマネジメント			
プロジェクトマネジメント	CTV083	(PDU)1日で学ぶプロジェクトのスコープコントロール -スコープ・クリープを防ぐプロジェクト管理-【バーチャル・クラスルーム】PDU	1日
	CTV084	(PDU)トラブルプロジェクトのアセスメント 【パーソル総合研究所 ライブ配信】PDU	2日
開発/基盤			
クラウド	CDV027	Developing Generative AI Applications on AWS 【バーチャル・クラスルーム】	2日
	CDJ001	Google Cloud Fundamentals：Core Infrastructure	1日
	CDJ002	Getting Started with GKE	1日
	CDJ003	Introduction to Developer Efficiency with Gemini on Google Cloud	1日
開発工程全般・企画・設計	SPV101	生成AIで実現するソフトウェア開発工程自動化ハンズオン 【バーチャル・クラスルーム】	1日
	ITV019	(PDU)ソフトウェアとシステムの開発効率向上の鍵を握る構成管理 ー多様な開発形態を支援する最新動向から実践技法までー 【バーチャル・クラスルーム】PDU	2日
	ITV018	実践的アーキテクチャ設計によるシステムズエンジニアリング 【バーチャル・クラスルーム】	1日
	OTV036	組込みソフトウェア流用開発と構造設計における品質改善 【バーチャル・クラスルーム】	2日
プログラミング・情報技術	CBV010	COBOLプログラミング応用編 【バーチャル・クラスルーム】	4日
品質・技法・信頼性	ITV020	エンジニアのための、開発上流におけるコスト意識のポイント 【バーチャル・クラスルーム】	1日
セキュリティ	SCV060	(PDU)ゼロトラスト・アーキテクチャ概論 【アイ・ラーニング ライブ配信】PDU	1日
	SCV059	CSA(認定SOCアナリスト) 【GSXライブ配信】	3日
プロダクト (IT)			
ミドル・アプリケーション製品	DBV215	Tableau入門ハンズオン 【バーチャル・クラスルーム】	0.5日
	SPV095	Anypoint Platform Development：Fundamentals(開発：基礎)[前編] 【セールスフォース・ドットコム社 ライブ配信】	2日
	SPV097	Anypoint Platform Architecture：Application Networks (アーキテクチャ：アプリケーションネットワークス) 【セールスフォース・ドットコム社 ライブ配信】	3日
	SPV096	Anypoint Platform Development：Fundamentals(開発：基礎)[後編] 【セールスフォース・ドットコム社 ライブ配信】	3日
	SPV093	Anypoint Platform Architecture：Integration Solutions(インテグレーションソリューションズ) 【セールスフォース・ドットコム社 ライブ配信】	5日
	SPV098	Anypoint Platform Development：Production-Ready[前編] 開発ベストプラクティス 【セールスフォース・ドットコム社 ライブ配信】	3日
	SPV099	Anypoint Platform Development：Production-Ready[後編] インテグレーション・ベストプラクティス 【セールスフォース・ドットコム社 ライブ配信】	4日
IoT	IOE017	<eラーニング> 「IoTシステム技術検定(基礎検定)」対策講座	8時間
	IOE018	<eラーニング> 「IoTシステム技術検定(中級)」対策講座	13時間
設計・モノづくり(OT)			
製造・モノづくり基盤技術	OTV035	デジタル新時代に対応したIoT×AIの概要とその利用技術 【バーチャル・クラスルーム】	2日

※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
CDU：CBAP®/CCBA® 資格更新に必要なポイント(CDU)を取得できます。3年間で60CDUが必要です。

Renewal 改訂コース

コース内容の大幅な変更（改訂）と、コース名称を変更したものは下記の通りです。改訂したコースについては、表右側の「改訂のポイント」をご覧ください。

分野	コースコード	コース名	日数※	改訂のポイント
日立製品（ハードウェア／ストレージ）				
日立製品（ハードウェア／ストレージ）	SLJ007	プラットフォーム統合構築・操作実習（仮想化サーバ・ストレージ・ネットワーク）- プラットフォームシステムを学ぶ - 旧コースコードおよび名称>> SLJ006 プラットフォーム統合構築・操作実習（仮想化サーバ・ストレージ・ネットワーク）- プラットフォームシステムを学ぶ -	3日	開催時間の変更、受講料の改訂
	SLV105	日立ストレージ製品概要 -ストレージ基礎・製品紹介編-【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> SLV076 日立ストレージ製品概要−ストレージ基礎・製品紹介編−【バーチャル・クラスルーム】	1日	開催時間の変更、受講料の改訂
デジタルトランスフォーメーション				
サービス	HSV280	イノベーションプロセスを強化するシナリオプランニング【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> HSV158 イノベーションプロセスを強化するシナリオプランニング【バーチャル・クラスルーム】	1日	受講料の改訂
デジタル導入	IOE019	<eラーニング>デジタル時代に必要なIT技術概説 旧コースコードおよび名称>> IOE012 <eラーニング>デジタル時代に必要なIT技術概説	9時間	学習時間の変更、内容の改訂
データサイエンス	DBJ125	データビジュアライゼーション基礎 旧コースコードおよび名称>> DBV100 データビジュアライゼーション基礎【バーチャル・クラスルーム】	1日	集合研修での提供に変更、受講料の改訂
ビジネス				
経営力	HSV286	(PDU)サービス視点のマーケティング戦略 −顧客と共に創る価値−【バーチャル・クラスルーム】PDU 旧コースコードおよび名称>> HSV271 (PDU)ビジネス提案のための実践マーケティング戦略 −顧客とともに実践する価値創造−【バーチャル・クラスルーム】PDU	2日	コース名称の変更、受講料の改訂
思考力／考え抜く力	HSV285	イノベーティブ思考基礎 - 生成AIを活用した事業創出プロセス体験 -【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> HSV224 イノベーティブ思考−事業創出プロセスを通じて学ぶ−【バーチャル・クラスルーム】	2日	コース名称の変更、内容の改訂、ならび受講料の改訂
	HSJ285	イノベーティブ思考基礎 - 生成AIを活用した事業創出プロセス体験 - 旧コースコードおよび名称>> HSV224 イノベーティブ思考−事業創出プロセスを通じて学ぶ−【バーチャル・クラスルーム】	2日	コース名称の変更、内容の改訂、ならび受講料の改訂
チームで働く力	HSV284	(PDU)部下のパフォーマンスを高める1 on 1面談とフィードバック【バーチャル・クラスルーム】PDU 旧コースコードおよび名称>> HSV250 (PDU)部下のパフォーマンスを高める1 on 1面談とフィードバック【バーチャル・クラスルーム】PDU	1日	受講料の改訂
	HSV283	(PDU)リーダーのためのマインドフルネス -成果発揮へのセルフリーダーシップとマインドフル -【バーチャル・クラスルーム】PDU 旧コースコードおよび名称>> HSV222 (PDU)リーダーのためのマインドフルネス −成果発揮へのセルフリーダーシップとマインドフル−【バーチャル・クラスルーム】PDU	1日	受講料の改訂
目的別（コンプライアンス／業種・業界／ビジネス教養）	HSJ226	体験型サプライチェーン経営(SCM)学習プログラム「The Fresh Connection」 旧コースコードおよび名称>> HSJ203 体験型サプライチェーン経営(SCM)学習プログラム「The Fresh Connection」	2日	申込締切日の変更、受講料の改訂
プロジェクトマネジメント				
プロジェクトマネジメント	PMV057	(PDU)プロジェクトを円滑に進めるための合意形成力強化トレーニング【バーチャル・クラスルーム】PDU 旧コースコードおよび名称>> PMV054 (PDU)プロジェクトを円滑に進めるための合意形成力強化トレーニング【バーチャル・クラスルーム】PDU	2日	受講料の改訂
ビジネスアーキテクト				
ビジネスアーキテクト	CDV028	(PDU)IT経営ストラテジ（デジタル経営実行計画コース）【パーソル総合研究所 ライブ配信】PDU 旧コースコードおよび名称>> CDV011 (PDU) IT経営ストラテジ(IT戦略コース)【パーソル総合研究所 ライブ配信】PDU	2日	コース名称の変更、内容の改訂
	CDV029	(PDU)IT経営ストラテジ（デジタル経営戦略コース）【パーソル総合研究所 ライブ配信】PDU 旧コースコードおよび名称>> CDV017 (PDU) IT経営ストラテジ（経営戦略コース）【パーソル総合研究所 ライブ配信】PDU	2日	コース名称の変更、内容の改訂
開発／基盤				
プログラミング・情報技術	NWV154	HTML5 ／ JavaScriptによるWebアプリケーション開発実践【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> NWV151 HTML5 ／ JavaScriptによるWebアプリケーション開発実践【バーチャル・クラスルーム】	2日	内容の改訂
セキュリティ	SDV019	CEH(認定ホワイトハッカー)【GSXライブ配信】 旧コースコードおよび名称>> SDV017 CEH(認定ホワイトハッカー)【GSXライブ配信】	5日	内容の改訂、受講料の改訂
プラットフォーム（Linux/Microsoft）	OAE042	<eラーニング>Microsoft Excel エントリー 旧コースコードおよび名称>> OAE033 <eラーニング>Excel 2019 エントリー	2時間	コース名称の変更、内容の改訂、ならび受講料の改訂
	OAE043	<eラーニング>Microsoft Excel ベーシック 旧コースコードおよび名称>> OAE034 <eラーニング>Excel 2019 ベーシック	2時間	コース名称の変更、内容の改訂、ならび受講料の改訂
	OAE044	<eラーニング>Microsoft Excel アドバンス 旧コースコードおよび名称>> OAE035 <eラーニング>Excel 2019 アドバンス	2時間	コース名称の変更、内容の改訂、ならび受講料の改訂
	OAE045	<eラーニング>Microsoft PowerPoint エントリー 旧コースコードおよび名称>> OAE039 <eラーニング>PowerPoint 2019 エントリー	2時間	コース名称の変更、内容の改訂、ならび受講料の改訂
	OAE046	<eラーニング>Microsoft PowerPoint ベーシック 旧コースコードおよび名称>> OAE040 <eラーニング>PowerPoint 2019 ベーシック	2時間	コース名称の変更、内容の改訂、ならび受講料の改訂
	OAE047	<eラーニング>Microsoft PowerPoint アドバンス 旧コースコードおよび名称>> OAE041 <eラーニング>PowerPoint 2019 アドバンス	2時間	コース名称の変更、内容の改訂、ならび受講料の改訂

※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
CDU：CBAP®/CCBA® 資格更新に必要なポイント（CDU）を取得できます。3年間で60CDUが必要です。

分野	コースコード	コース名	日数※	改訂のポイント
プラットフォーム（Linux/Microsoft）	OAE048	<eラーニング> Microsoft Word エントリー 旧コースコードおよび名称>> OAE036 <eラーニング>Word 2019 エントリー	2時間	コース名称の変更、内容の改訂、ならび受講料の改訂
	OAE049	<eラーニング> Microsoft Word ベーシック 旧コースコードおよび名称>> OAE037 <eラーニング>Word 2019 ベーシック	2時間	コース名称の変更、内容の改訂、ならび受講料の改訂
	OAE050	<eラーニング> Microsoft Word アドバンス 旧コースコードおよび名称>> OAE038 <eラーニング>Word 2019 アドバンス	2時間	コース名称の変更、内容の改訂、ならび受講料の改訂
プロダクト（IT）				
基盤製品（データベース）	DBV177	Oracle Database：マルチテナント・アーキテクチャ【短縮版】 【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> DBV168 Oracle Database：マルチテナント・アーキテクチャ【バーチャル・クラスルーム】	3日	コース名称の変更、日数の変更
	DBV178	Oracle Database：バックアップ・リカバリ【短縮版】 【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> DBV167 Oracle Database：バックアップ・リカバリ【バーチャル・クラスルーム】	3日	コース名称の変更、日数の変更
設計・モノづくり（OT）				
機械・設計技法	OTV033	技術の棚卸と組み合わせによるビジネス創生と生成AI活用のポイント 【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> OTV021 新価値創造のための技術の棚卸と組み合わせによるビジネス創生【バーチャル・クラスルーム】	1日	コース名称の変更、内容の改訂
	OTV034	生成AIと特許情報を活用した技術マーケティングの実践メソッド 【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> OTV009 未来を起点とした技術の構造化と評価の実践【バーチャル・クラスルーム】	1日	コース名称の変更、内容の改訂、ならび受講料の改訂

廃止コース

新設コースの実施や大幅な内容改訂を図り、ニーズの高いコース・お役に立てるコースの充実に努めております。
そのため、大変ご迷惑をお掛けしますが、次のコースを廃止とさせていただきます。なお、下記廃止コースのうち、内容が同等または類似のコースがある場合は、廃止コース名の下段に対象のコース名をご紹介します。
コースの詳細は日立アカデミーのWebサイトをご覧ください。

分野	コースコード	コース名	日数※
●デジタルトランスフォーメーション			
サービス	HSJ208	モノづくり事業をベースとした高収益サービスの創生法 −Product-Service Systems（PSS）− >>同等または類似のコースコードおよび名称>> HSV159 顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン【バーチャル・クラスルーム】	2日
サービス	HSV209	デジタル時代における収益モデルのデザイン −KPIツリーによる事業性の評価−【バーチャル・クラスルーム】 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> HSV159 顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン【バーチャル・クラスルーム】	1日
	HSV210	デジタル時代における顧客接点のデザイン −顧客経験ジャーニーマップの活用−【バーチャル・クラスルーム】 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> HSV159 顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン【バーチャル・クラスルーム】	1日
	HSV213	デジタル時代における成果型サービスのデザイン −ジョブ理論とダブルダイヤモンドフレームワークの活用−【バーチャル・クラスルーム】 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> HSV159 顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン【バーチャル・クラスルーム】	1日
データサイエンス	DBV153	テキストマイニング入門 −プログラミングレスで学ぶテキストデータ分析の勘所−【バーチャル・クラスルーム】 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> DBE052 <eラーニング>自然言語処理基礎	1日
●プロジェクトマネジメント			
プロジェクトマネジメント	PMV104	（PDU）トラブルプロジェクトのアセスメント 【バーチャル・クラスルーム】PDU >>同等または類似のコースコードおよび名称>> CTV084 （PDU）トラブルプロジェクトのアセスメント【パーソル総合研究所 ライブ配信】PDU	2日
●開発/基盤			
モダン開発（アジャイル開発含む）	CLE003	<eラーニング> クラウドネイティブ時代のAPI管理技術概説	6時間
開発工程全般・企画・設計	SPV100	生成AIで実現するソフトウェア開発工程自動化ハンズオン 【バーチャル・クラスルーム】	1日
プログラミング・情報技術	CBJ004	COBOLプログラミング応用編（PAD） >>同等または類似のコースコードおよび名称>> CBV010 COBOLプログラミング応用編【バーチャル・クラスルーム】	4日
	CBJ008	COBOLプログラミング応用編（フローチャート） >>同等または類似のコースコードおよび名称>> CBV010 COBOLプログラミング応用編【バーチャル・クラスルーム】	4日
●プロダクト（IT）			
IoT	IOE016	<eラーニング> IoT構築をお考えの方必見!各種無線ネットワークの特徴と選び方 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> IOE014 <eラーニング>IoT技術解説 5G編	2時間
	UXE007	<eラーニング>Hyperledger Fabric管理	35時間
●設計・モノづくり（OT）			
電気・計測制御	OTV007	ブラシレスモータ制御のプログラミング入門 【バーチャル・クラスルーム】	2日
製造・モノづくり基盤技術	OTV011	3次元CADによる図面レス時代で高品質を維持する組織検図 【バーチャル・クラスルーム】	1日

※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
CDU：CBAP®/CCBA® 資格更新に必要なポイント（CDU）を取得できます。3年間で60CDUが必要です。

開催コース／スケジュール一覧

日立製品（オープンミドル）

コースコード末尾に「T」を表示しているコースは「試験付」です。「試験」は研修終了後に実施します。
コースコード末尾に「V」を表示しているコースは「受験バウチャー付き」です。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
JP1 掲載ページ：P. 64 ～													
JPV302		【日立パートナー様 限定コース】 JP1セールスコーディネーター 【バーチャル・クラスルーム】	¥25,300	1日	レクチャ	オンライン		4			2		–
JPV278 (JPV278V)		JP1エンジニア一機能概説− 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000 (¥50,600)	1日	レクチャ	オンライン	16	25		8	19		–
JPV306		JP1操作入門 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	マシン実習	オンライン	17			9			–
JPJ306		JP1操作入門	¥44,000	1日	マシン実習	東京（大森）		26			20		–
JPV308		JP1プロフェッショナル 統合管理 1−システム監視− 【バーチャル・クラスルーム】	¥165,000	3日	マシン実習	オンライン		10~12		19~21			–
JPV309 (JPV309V)		JP1プロフェッショナル 統合管理 2−システム設定− 【バーチャル・クラスルーム】	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	オンライン		13~14		22~23			–
JPV310 (JPV310V)		JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース 【バーチャル・クラスルーム】	¥253,000 (¥261,800)	5日	マシン実習	オンライン		10~14		19~23			–
JPJ308		JP1プロフェッショナル 統合管理 1 −システム監視−	¥165,000	3日	マシン実習	東京（大森）						9~11	–
JPJ309 (JPJ309T)		JP1プロフェッショナル 統合管理 2 −システム設定−	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	東京（大森）						12~13	–
JPJ310 (JPJ310T)		JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース	¥253,000 (¥261,800)	5日	マシン実習	東京（大森）						9~13	–
JPE331		<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル 統合管理1 −システム監視−	¥165,000	18時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
JPE332		<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル 統合管理2 −システム設定−	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
JPE329		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 ／ IM 管理 1 −システム監視−（Version 12）	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
JPE330		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 ／ IM 管理 2 −システム設定−（Version 12）	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
JPV286		JP1プロフェッショナル IT運用自動化 【バーチャル・クラスルーム】	¥110,000	2日	マシン実習	オンライン			11~12				–
JPV283		JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 −ジョブ定義・監視− 【バーチャル・クラスルーム】	¥110,000	2日	マシン実習	オンライン	7~8	4~5	1~2	13~14	9~10	2~3	–
JPV284 (JPV284V)		JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 −システム設定・運用管理− 【バーチャル・クラスルーム】	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	オンライン	9~10	6~7	3~4	15~16	12~13	4~5	–
JPV285 (JPV285V)		JP1プロフェッショナル ジョブ管理 セットコース 【バーチャル・クラスルーム】	¥198,000 (¥206,800)	4日	マシン実習	オンライン	7~10	4~7	1~4	13~16		2~5	–
JPJ283		JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 −ジョブ定義・監視−	¥110,000	2日	マシン実習	東京（大森）	21~22	18~19	16~17	27~28	17~18		–
JPJ284 (JPJ284T)		JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 −システム設定・運用管理−	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	東京（大森）	23~24	20~21	18~19	29~30	19~20		–
JPJ285 (JPJ285T)		JP1プロフェッショナル ジョブ管理 セットコース	¥198,000 (¥206,800)	4日	マシン実習	東京（大森）	21~24	18~21	16~19	27~30	17~20		–
JPE322		<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 −ジョブ定義・監視−	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
JPE323		<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 −システム設定・運用管理−	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
JPJ307 (JPJ307T)		JP1プロフェッショナル ネットワーク管理	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	東京（大森）			27~28				–
JPV307 (JPV307V)		JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	オンライン					24~25		–
JPV305 (JPV305V)		JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	オンライン					4~5		–
JPJ305 (JPJ305T)		JP1プロフェッショナル 資産・配布管理	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	東京（大森）			8~9				–
JPV295 (JPV295V)		JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000 (¥63,800)	1日	マシン実習	オンライン				30			–
JPV282 (JPV282V)		JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	オンライン					2~3		–
JPJ282 (JPJ282T)	休講	JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習								
JPE328		<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
JPV287 (JPV287V)		JP1プロフェッショナル バックアップ管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000 (¥63,800)	1日	マシン実習	オンライン				29			–
JPV298		JP1コンサルタント ジョブ管理−システム設計編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000	1日	レクチャ	オンライン			11			12	–
JPV299 (JPV299V)		JP1コンサルタント ジョブ管理−チューニング編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	オンライン			12			13	–
JPV300 (JPV300V)		JP1コンサルタント 資産・配布管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	オンライン						10	–
JPV312 (JPV312V)		JP1コンサルタント 統合管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	オンライン						6	–
JPV297 (JPV297V)		JP1コンサルタント パフォーマンス管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	オンライン						9	–
JPV313 (JPV313V)		JP1コンサルタント ネットワーク管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	オンライン						11	–
JPE016		<eラーニング> JP1機能概説(Version 11)	¥30,800	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
JPE017		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 ／ IM管理1 −システム監視−(Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
JPE018		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 ／ IM管理2 −システム設定−(Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
JPE324		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 ／ AJS3管理 1 −ジョブ定義・監視−(Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
JPE325		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 ／ AJS3管理 2 −システム設定・運用管理−(Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
JPE019		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 ／ PFM(Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
uCosminexus Application Server 掲載ページ：P. 83 ～													
CSE302		<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 入門 −構築基礎−	¥33,000	6時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
CSE303		<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践1 −設計・構築−	¥88,000	12時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
CSE304		<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践2 −トラブルシュート−	¥44,000	6時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
CSE002		<eラーニング> uCosminexus Application Server 実践3 −性能設計・性能対策−	¥34,100	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

※2025年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

New：新設コース　*Renewal*：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。　CDU：CBAP®/CCBA®資格更新に必要なポイント（CDU）を取得できます。3年間で60CDUが必要です。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.63）を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

HiRDB

掲載ページ：P. 85 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
DBE070		<eラーニング> HiRDB機能解説	¥27,500	7時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBV064		HiRDB入門−データベース構築編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	マシン実習	オンライン		4			6		−
DBE349		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB入門−データベース構築編−	¥33,000	7時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
DBV092		HiRDBデータベース管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	2日	マシン実習	オンライン		27~28			26~27		−
DBE305		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBデータベース管理	¥66,000	12時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
DBE026		<eラーニング> HiRDBデータベースチューニング	¥30,800	6.5時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE330		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBバックアップリカバリとクラスタリング	¥88,000	12時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
DBE329		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBパラレルサーバ構築	¥88,000	13時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
DBE306		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB アプリケーションプログラミング	¥33,000	6時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
DBE318		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB アプリケーションチューニング	¥88,000	13時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です

OpenTP1

掲載ページ：P. 89 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
DBE061		<eラーニング> OpenTP1基礎	¥18,700	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBV009		OpenTP1基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	レクチャ	オンライン		25					−
DBV041		OpenTP1の設計と運用 −Server Base編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥88,000	2日	マシン実習	オンライン			8~9				−
DBE023		<eラーニング> OpenTP1の設計と運用−MCF編−	¥19,800	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE014		<eラーニング> OpenTP1性能チューニング解説	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

VOS3

掲載ページ：P, 91 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
VSV016		VOS3基礎1 −はじめてのメインフレーム− 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	レクチャ	オンライン		19					−
VSE003		<eラーニング> VOS3基礎1 −はじめてのメインフレーム−	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
VSV015		VOS3基礎2 −JCL−【バーチャル・クラスルーム】	¥61,600	2日	レクチャ	オンライン		20~21					−
VSE004		<eラーニング> VOS3基礎2−JCL−	¥36,300	16時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
VSV011		VOS3システム解説 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	レクチャ	オンライン			11				−
VSJ011	休講	VOS3システム解説	¥33,000	1日	レクチャ								−
VSV017		VOS3応用 −VSAMデータセットの活用− 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	レクチャ	オンライン					2		−
VSJ018	休講	VOS3ジョブ管理解説	¥61,600	2日	レクチャ								−

※2025年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

XDM

掲載ページ：P. 94 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
DBJ104	休講	XDMリレーショナル DB機能と設定	¥55,000	2日	レクチャ								−
DBE071		<eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定 −環境構築編−	¥15,400	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE072		<eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定 −データベース作成編−	¥15,400	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE073		<eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定−運用編−	¥15,400	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE074		<eラーニング> XDMシステムの設計と運用	¥79,200	18時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBJ105	休講	XDM構造型DB機能と設定	¥82,500	3日	レクチャ								−
DBE024		<eラーニング> XDM構造型DB機能と設定	¥55,000	18時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBJ103	休講	XDM ／ DCCM3機能解説とシステム運用	¥55,000	2日	レクチャ								−
DBE025		<eラーニング> XDM ／ DCCM3機能解説とシステム運用	¥37,400	12時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

日立製品（ハードウェア／ストレージ）

日立ストレージ

掲載ページ：P. 98 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
CLE007		<eラーニング> ストレージシステム基礎	¥19,800	8時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE318		<eラーニング> SCSI入門 −ストレージインタフェースを理解するために−	¥14,300	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE319		<eラーニング> SAS（Serial Attached SCSI）入門 −ストレージインタフェースを理解するために−	¥14,300	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE320		<eラーニング> SATA入門	¥14,300	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE321		<eラーニング> Fibre Channel概説 −日立ストレージ・ホストの接続を理解するために−	¥14,300	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SLJ007	Renewal	プラットフォーム統合構築・操作実習 （仮想化サーバ・ストレージ・ネットワーク） −プラットフォームシステムを学ぶ−	¥115,500	3日	マシン実習	東京（大森）	15~17			14~16			−
CLE008		<eラーニング> SAN概説	¥26,400	5時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CLE004		<eラーニング> ストレージ関連者向けサーバ仮想化技術概説	¥8,800	3時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SLV105	Renewal	日立ストレージ製品概要 −ストレージ基礎・製品紹介編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	レクチャ	オンライン		5		20			−
SLV088		初歩から学ぶ ストレージ構築のポイント 【バーチャル・クラスルーム】	¥27,500	0.5日	レクチャ	オンライン		7					−
SLV087		初歩から学ぶ 日立ストレージ GUI ／ CLIツール −各ツールの操作を体験する− 【バーチャル・クラスルーム】	¥27,500	0.5日	マシン実習	オンライン	31			23			−
SLV073		日立ミッドレンジストレージ VSP One解説 【バーチャル・クラスルーム】	¥27,500	0.5日	マシン実習	オンライン		13			6		−

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。　CDU：CBAP®/CCBA® 資格更新に必要なポイント（CDU）を取得できます。3年間で60CDUが必要です。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.63）を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
SLV089		日立ミッドレンジストレージ ハードウェア解説 【バーチャル・クラスルーム】	¥27,500	0.5日	レクチャ	オンライン		12			5		−
SLV091		日立ストレージ 基本ソフトウェア解説 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	0.5日	マシン実習	オンライン		14			13		−
SLV102		日立ストレージ スナップショット機能 【バーチャル・クラスルーム】	¥24,200	0.5日	レクチャ	オンライン					19		−
SLV093		日立ストレージ ローカルコピー機能 【バーチャル・クラスルーム】	¥24,200	0.5日	マシン実習	オンライン		19					−
SLV095		日立ストレージ 仮想ボリューム機能 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	0.5日	マシン実習	オンライン		18					−
SLV094		日立ストレージ リモートコピー機能 【バーチャル・クラスルーム】	¥26,400	0.5日	マシン実習	オンライン		21			20		−
SLV103		日立ストレージ データ移行機能 【バーチャル・クラスルーム】	¥27,500	0.5日	マシン実習	オンライン			10				−
SLV096		日立ストレージ ストレージ二重化機能 【バーチャル・クラスルーム】	¥24,200	0.5日	マシン実習	オンライン			11				−
SLV090		日立ストレージ REST API概要 【バーチャル・クラスルーム】	¥19,800	0.5日	レクチャ	オンライン			19				−
SLV092		REST APIによる日立ストレージ操作 【バーチャル・クラスルーム】	¥27,500	0.5日	マシン実習	オンライン			19				−
SLV098		日立ストレージ RAID Manager概要 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	0.5日	レクチャ	オンライン			3				−
SLV099		日立ストレージ RAID Manager操作 ーローカルコピー・スナップショットー 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	0.5日	マシン実習	オンライン						3	−
SLV100		日立ストレージ RAID Manager操作 ーリモートコピー・GAD ー 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	0.5日	マシン実習	オンライン						4	−
SLV101		日立ストレージ Storage Navigator操作 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	0.5日	マシン実習	オンライン			12				−

デジタルトランスフォーメーション

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
デジタル導入 掲載ページ：P. 105 ～													
DBE069		<eラーニング> 考えてみようDX −デジタルトランスフォーメーション理解編−	¥8,800	3時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE041		<eラーニング> 考えてみようDX −ビジネス着想編−	¥8,800	3時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE042		<eラーニング> 考えてみようDX −データ活用による業務改善編−	¥8,800	3時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE097		<eラーニング> DXによって我々の事業は何が変わるのか −テクノロジーの進化から見るDXの本質−	¥19,800	2.5時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
IOE019	Renewal	<eラーニング> デジタル時代に必要なIT技術概説	¥19,800	9時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
IOE020		<eラーニング> マイクロラーニングで学ぶ!はじめてのIoT	¥24,200	8時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPV080		やってみようDX ーローコードプログラミングによる業務のDX− 【バーチャル・クラスルーム】	¥39,600	1日	マシン実習	オンライン		11					−
AIE014		<eラーニング> AI・データサイエンス基礎	¥25,300	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

※2025年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
AIE009		<eラーニング> 日本ディープラーニング協会（JDLA） G検定取得対策講座（Study-AI社）	¥31,900	24時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
DBE064		<eラーニング> データサイエンティスト検定リテラシーレベル 取得対策講座（Aidemy社）	¥52,800	9.5時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
AIV003		ChatGPT×Excel研修 ー Excel初級者でもAIの力で使いこなすー 【バーチャル・クラスルーム】	¥50,600	1日	レクチャ	オンライン		4	5	16	9		−
AIV004		ChatGPTを活用したビジネス文書研修 ー文書作成の新スタンダードを学ぶー 【バーチャル・クラスルーム】	¥50,600	1日	レクチャ	オンライン		14	8				−
セールス／フロント 掲載ページ：P. 109 ～													
HSV278	New	戦略的な営業活動を実現するための アカウントプランニング 【バーチャル・クラスルーム】	¥178,200	2日	グループ演習	オンライン				29~30			−
HSV288		顧客協創を促すディスカッションペーパーの 作成・活用の仕方 【バーチャル・クラスルーム】	¥45,100	1日	グループ演習	オンライン					17		−
HSV289		(PDU)顧客の心をつかむ戦略的提案活動 ー体系的に学ぶ提案活動の進め方ー 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】 PDU	¥106,700	1日 (0.5日 ×2回)	グループ演習	オンライン				日程1:12/9(1日目)，12/23(2日目) 日程2:1/13(1日目)，1/27(2日目) 日程3:2/6(1日目)，2/24(2日目)			お申込み締め切り後にeラーニングをご案内をいたしますので研修開催日までに受講標準学習時間3時間を終了してください
HSV279	New	案件発掘のための経営課題分析研修 【バーチャル・クラスルーム】	¥184,800	2日	グループ演習	オンライン						9~10	−
HSV290		(PDU)高評価をねらえる提案書作成 ー顕在・潜在ニーズに訴求するー 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】 PDU	¥79,200	0.5日	グループ演習	オンライン					5	6	お申込み締め切り後にeラーニングをご案内をいたしますので研修開催日までに受講標準学習時間2時間を終了してください
HSV235		本質的なニーズを引き出すヒアリング術 ーオンラインでも成果を出せる面談スキルー 【バーチャル・クラスルーム】	¥71,500	1日	グループ演習	オンライン	6	26			27	12	−
サービス 掲載ページ：P. 111 ～													
HSV280	Renewal	イノベーションプロセスを強化する シナリオプランニング 【バーチャル・クラスルーム】	¥63,800	1日	グループ演習	オンライン		12					−
HSV159		顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	2日	グループ演習	オンライン					3~4		−
HSV237		ケーススタディで学ぶカスタマーサクセス ー顧客のリピートを生み出す世界標準のメソッドー 【バーチャル・クラスルーム】	¥95,700	1日	グループ演習	オンライン				26			−
ITE011		<eラーニング> SLAにおけるサービスレベル設計の基礎	¥14,300	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
イノベーション 掲載ページ：P. 114 ～													
HSJ163		クリエイティブシンキング	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)	10	7		22	6		−
HSV163		クリエイティブシンキング 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	グループ演習	オンライン						13	−
HSV295		協創型イノベーション開発手法（全体プロセス編） ーモノとコトを結び顧客価値創出を実現するー 【バーチャル・クラスルーム】	¥151,800	2日	グループ演習	オンライン			15~16				−
HSV296		協創型イノベーション開発手法（インサイト発見編） ー新しい切り口による探索から顧客が気づいていない本質を見抜くー 【バーチャル・クラスルーム】	¥72,600	1日	グループ演習	オンライン				16			−

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。　CDU：CBAP®/CCBA®資格更新に必要なポイント（CDU）を取得できます。3年間で60CDUが必要です。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.63）を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

データサイエンス

掲載ページ：P. 116 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
AIE012		<eラーニング> AIリテラシー －AI技術の概要と活用事例－	¥55,000	20時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は30日間です
HSV175		データ利活用のパターンとビジネス着想 【バーチャル・クラスルーム】	¥28,600	0.5日	レクチャ	オンライン			19		16		－
AIE007		<eラーニング> AIマーケティングの基礎	¥39,600	2時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
AIE010		<eラーニング> AIの活用におけるマネジメント入門 －データ分析の役割と法令やAI倫理の注意点－	¥132,000	8時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
HSV198		定量分析のスキル 【バーチャル・クラスルーム】	¥82,500	2日	レクチャ	オンライン	8~9, 20~21	4~5, 20~21	1~2, 17~18	13~14, 22~23	2~3	3~4	－
DBE062		<eラーニング> Excelによる問題解決のためのデータ分析	¥19,800	7時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12, 19,26	3,10, 17,24	7,14, 21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
OAV049		Excelによる問題解決のためのデータ分析 【バーチャル・クラスルーム】	¥37,400	1日	マシン実習	オンライン		26			26		－
HSE116		<eラーニング> データ分析手法の理論と適用	¥36,300	14時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12, 19,26	3,10, 17,24	7,14, 21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSV109		データ分析手法の理論と適用 －ビジネスにおける統計的手法活用の広がり－ 【バーチャル・クラスルーム】	¥82,500	2日	マシン実習	オンライン	6~7	6~7	15~16	13~14			－
HSV211		BI活用事例に学ぶ分析提案の進め方 【バーチャル・クラスルーム】	¥59,400	1日	マシン実習	オンライン						13	－
DBE050		<eラーニング> Pythonの基礎とデータ分析ライブラリ	¥88,000	16時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
DBE051		<eラーニング> データ加工基礎	¥44,000	6.5時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
DBJ125	Renewal	データビジュアライゼーション基礎	¥60,500	1日	マシン実習	東京（大森）			3		16		
DBE102		<eラーニング>【スキル定着】 Pythonでのデータ可視化 －オープン環境を活用した実装力の磨き方－	¥14,300	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12, 19,26	3,10, 17,24	7,14, 21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE049		<eラーニング> 機械学習 基礎知識編 －初めてでもOK！データ分析を身近に－	¥39,600	9時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12, 19,26	3,10, 17,24	7,14, 21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBV120		機械学習 ケーススタディで学ぶ実践編 －製造物の種類判別と生産設備の故障予兆－ 【バーチャル・クラスルーム】	¥108,900	2日	マシン実習	オンライン		4~5	18~19	15~16	5~6		－
DBV132		体感！機械学習 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	マシン実習	オンライン		6		26			－
DBE052		<eラーニング> 自然言語処理基礎	¥66,000	10.5時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
DBV184		テキストマイニング ケーススタディで学ぶ実践編 －自然言語処理による設備点検記録分析編－ 【バーチャル・クラスルーム】	¥83,600	1日	マシン実習	オンライン	15	17		21	13		－
AIE013	New	<eラーニング> 時系列解析基礎（Aidemy社）	¥68,200	9.5時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
AIE005		<eラーニング> ディープラーニング入門 －AIを学ぶための基礎知識と実装演習－ ：日本ディープラーニング協会（JDLA） E資格取得対策講座（Study-AI社）	¥55,000	40時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
AIE006		<eラーニング> ディープラーニング応用 －応用数学と機械学習・深層学習実践－ ：日本ディープラーニング協会（JDLA） E資格取得対策講座（Study-AI社）	¥341,000	170時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	10月,11月開始は2月28日まで,12月,1月,2月,3月開始は8月31日までになります

プロセス／プロダクト

掲載ページ：P. 122 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
HSV301		製造業のDX基礎 －スマートファクトリーへの第一歩－ 【バーチャル・クラスルーム】	¥36,300	0.5日	レクチャ	オンライン				14	17		－
DBE066		<eラーニング> 量子コンピュータの基礎とビジネス動向	¥16,500	3時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12, 19,26	3,10, 17,24	7,14, 21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPV092		作って動かす！生成AI・LLMの基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000	1日	マシン実習	オンライン		21	17			11	－
AIE011		<eラーニング> マテリアルズ・インフォマティクス（MI）リテラシー講座 －データ活用による効率的な材料開発－	¥88,000	2.5時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は30日間です
IOJ025		IoT活用技術（システム基礎編）	¥198,000	3日	マシン実習	東京（大森）						4~6	－
DBV144	休講	数理最適化における定式化の基礎 －顧客課題を数式で表す－ 【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	マシン実習								－
DBE067		<eラーニング> 数理最適化問題に対する実践的なアプローチ －Pythonで数理最適化問題を解く－（Aidemy社）	¥44,000	4時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
IDV003		（PDU）IoTコンセプトデザイン －IoTビジネスの理解と自社の新しいIoTサービスを創出する－ 【アイ・ラーニング ライブ配信】PDU	¥44,000	1日	レクチャ	別途ご案内いたします							－
DBV186		IoTによるコネクテッドプロダクトの 企画・開発ワークショップ －アイデア発想からマネタイズまで－ 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】	¥81,400	1日	グループ演習	オンライン				19			お申込み締め切り後にeラーニングをご案内いたしますので講習開催日までに受講標準学習時間1.5時間を終了してください

ビジネス

経営力

掲載ページ：P. 128 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
HSE141		<eラーニング> （PDU）ビジネスモデル思考 PDU	¥33,000	12.2時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は56日間です
HSV277		（PDU）経営戦略の基本と最新動向 －イノベーション実現のために－ 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥55,000	1日	グループ演習	オンライン	24	5,21	5		4	12	－
HSV303		（PDU）顧客価値を解き明かす マーケティングリサーチ最新技法 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥52,800	1日	グループ演習	オンライン	21	19			26		－
HSV286	Renewal	（PDU）サービス視点のマーケティング戦略 －顧客と共に創る価値－ 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥147,400	2日	グループ演習	オンライン			4~5		16~17		－
HSE146		<eラーニング> WHYで学ぶアカウンティング（基礎知識編）	¥24,200	8時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12, 19,26	3,10, 17,24	7,14, 21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSV304		財務分析と戦略的意思決定力を高める アカウンティング 【バーチャル・クラスルーム】	¥83,160	1日	グループ演習	オンライン	22	14		26			－
HSV305		（PDU）契約基礎 －今こそ押さえておきたい！エンジニアと 営業のための日文・英文契約書の見方・ポイント－ 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥134,200	2日	グループ演習	オンライン		10~11		21~22	9~10		－
HSJ287	New	ナレッジマネジメント概説 －属人化を防ぎ業務効率を向上させる－	¥56,100	1日	グループ演習	東京（大森）			12		19		－

思考力／考え抜く力

掲載ページ：P. 131 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
HSV269		ロジカルシンキング基礎 －論理の可視化と論理チェックのポイント－ 【バーチャル・クラスルーム】	¥78,100	2日	グループ演習	オンライン	27~28	13~14	16~17	27~28	12~13		－

※2025年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。　CDU：CBAP®/CCBA®資格更新に必要なポイント（CDU）を取得できます。3年間で60CDUが必要です。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.63）を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
HSV245		問題解決入門 −クリティカルマインドを発揮し、正しくプロセスをまわす− 【バーチャル・クラスルーム】	¥58,300	1日	レクチャ	オンライン	21	21	15	20	18	13	−
HSE133		<eラーニング> 視座を高めるシステムシンキング	¥22,000	6.5時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSV270		仮説構築のマインドと技法 ー深い洞察を得るためにー 【バーチャル・クラスルーム】	¥74,800	1日	グループ演習	オンライン	17	12	8	26	25		−
HSV223		システムシンキング基礎 −問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する− 【バーチャル・クラスルーム】	¥71,500	1日	グループ演習	オンライン	20	10	9	16			−
HSV285	Renewal	イノベーティブ思考基礎 ー生成AIを活用した事業創出プロセス体験ー 【バーチャル・クラスルーム】	¥110,000	2日	グループ演習	オンライン			4~5, 15~16		16~17	12~13	−
HSJ285	Renewal	イノベーティブ思考基礎 ー生成AIを活用した事業創出プロセス体験ー	¥110,000	2日	グループ演習	東京（大森）				27~28			−
HSV275		新・発想力を高めるラテラルシンキング（TM） 【バーチャル・クラスルーム】	¥150,700	2日	グループ演習	オンライン		25~26			26~27		−
HSV273		新・仕事に振り回されないための5ステップ仕事整理術 −GTD®：Getting Things Done®− 【バーチャル・クラスルーム】	¥181,500	2日	グループ演習	オンライン	28~29	19~20			5~6		−
HSJ270		5ステップ仕事整理術復習・定着セッション −GTD®：Getting Things Done®	¥48,400	0.5日	レクチャ	東京（大森）		7			10		−

チームで働く力

掲載ページ：P. 134 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
HSE148		<eラーニング> アサーティブ・コミュニケーション ー発展的・協調的な自己主張ー	¥16,500	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSV126		報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	グループ演習	オンライン	17,27	11,25	4,18	16	12	13	−
HSE142		<eラーニング> 3時間でわかる ロジカルコミュニケーション 報・連・相を徹底演習!	¥8,800	3時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSV251		(PDU)アサーティブ・コミュニケーション ー職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上ー【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥41,800	1日	グループ演習	オンライン	21	6,18	8	27	6,17	10	−
HSV314		(PDU)アサーティブ・マネジメント ー建設的コミュニケーションによる部下指導ー 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥160,600	2日	グループ演習	オンライン			4~5		18~19		−
HSV315		ロジカルライティング ー読み手が納得・行動する文書を作成するー 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】	¥70,400	1日	グループ演習	オンライン	14	20	10,16	23	9		お申込み締め切り後にeラーニングをご案内をいたしますので研修開催日までに受講標準学習時間3時間を終了してください
HSE715		<eラーニング> ビジネスライティング ーケース別演習で身につく!読み手に伝わる文書作成ー	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSV233		(PDU)ストラクチャード・コミュニケーション ー会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考えるー 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】PDU	¥60,500	0.5日	グループ演習	オンライン	20	26	17	20			お申込み締め切り後にeラーニングをご案内をいたしますので研修開催日までに受講標準学習時間2時間を終了してください
HSV230		ロジカルプレゼンテーション基礎 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】	¥93,500	1.5日	グループ演習	オンライン	22~23	19~20	18~19		24~25		お申込み締め切り後にeラーニングをご案内をいたしますので研修開催日までに受講標準学習時間2時間を終了してください
HSV318		【少人数制】 聴き手を惹き込むプレゼンテーション・デリバリー ー心をつかむ表現を磨くー 【バーチャル・クラスルーム】	¥108,900	1.5日	グループ演習	オンライン		12~13			19~20		−
HSV266		プレゼンを生き生きさせるビジュアル化技法 ー相手を惹きつけるための資料作成ー 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	0.5日	グループ演習	オンライン	17	7	9		12		お申込み締め切り後にeラーニングをご案内をいたしますので研修開催日までに受講標準学習時間2時間を終了してください

※2025年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
HSE151		<eラーニング> ビジュアル化技法の基本 ー魅力的なビジュアル資料を作るー	¥14,300	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE138		<eラーニング> グラフィカルトレーニング ー思考を図解で強化するー	¥9,900	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE153		<eラーニング>【スキル定着】 ビジュアルデザイン	¥14,300	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE143		<eラーニング> 協創を生みだす交渉（基礎知識編）	¥13,200	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSV145		協創を生みだす交渉（基礎演習編） 【バーチャル・クラスルーム】	¥27,500	1日	グループ演習	オンライン	24	18	15		6		−
HSV264		(PDU)協創を生みだす交渉（実践演習編） 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥104,500	1.5日	グループ演習	オンライン		6~7			19~20		−
HSV185		行動経済学を応用したパースエイション（説得）のスキル −ハーバード流交渉学の真価を発揮するために− 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	グループ演習	オンライン		12			13		−
HSV257		隠れたニーズとホンネを引き出す 傾聴・質問力トレーニング 【バーチャル・クラスルーム】	¥159,500	2日	グループ演習	オンライン		25~26	8~9		9~10		−
HSE155		<eラーニング> コミュニケーション力を高めるリスニングスキル ー傾聴&質問力で受信力を高めるー	¥16,500	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE712		<eラーニング> 1on1面談のコツ ーシチュエーション別マニュアルと1on1に役立つ生成AI活用法ー	¥13,200	3時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSV268		コーチング基礎 ーメンバーがコミットする目標設定編ー 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】	¥60,500	1日	グループ演習	オンライン	15		15		18		お申込み締め切り後にeラーニングをご案内をいたしますので研修開催日までに受講標準学習時間2時間を終了してください
HSJ268		コーチング基礎 ーメンバーがコミットする目標設定編ー 【eラーニング（事前学習）+集合研修】	¥60,500	1日	グループ演習	東京（大森）		10		26			お申込み締め切り後にeラーニングをご案内をいたしますので研修開催日までに受講標準学習時間2時間を終了してください
HSV263		コーチング基礎 ー目標達成を促すフォローアップ・フィードバック編ー 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】	¥60,500	1日	グループ演習	オンライン		14	17		9		お申込み締め切り後にeラーニングをご案内をいたしますので研修開催日までに受講標準学習時間2時間を終了してください
HSJ263		コーチング基礎 ー目標達成を促すフォローアップ・フィードバック編ー 【eラーニング（事前学習）+集合研修】	¥60,500	1日	グループ演習	東京（大森）	28			16			お申込み締め切り後にeラーニングをご案内をいたしますので研修開催日までに受講標準学習時間2時間を終了してください
HSE157		<eラーニング> コーチング基礎ーレクチャ編ー	¥14,300	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSV284	Renewal	(PDU)部下のパフォーマンスを高める1on1面談とフィードバック 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥73,700	1日	グループ演習	オンライン	16	17	5	22	5	6	−
HSV239		(PDU)コーチング実践 ー部下のやる気と成長を促すー 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥165,000	1.5日 (0.5日 ×3回)	グループ演習	オンライン	日程1:11/18(1日目)、12/16(2日目)、1/20(3日目) 日程2:1/23(1日目)、2/24(2日目)、3/24(3日目)						−
HSV282		(PDU)自分を知り他者を知るコミュニケーション マネジメントー DiSCモデルによるー 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥112,200	2日	グループ演習	オンライン	9~10	20~21	11~12	14~15	16~17		−
HSV218		自己回復力を高めるストレスマネジメント ーレジリエンスを育むためにー 【バーチャル・クラスルーム】	¥75,900	1日	グループ演習	オンライン	20	18	17		6		−
HSV248		ピーク・パフォーマンス ー集中力を上げ、仕事を主体的に捉え直すー 【バーチャル・クラスルーム】	¥71,500	1日	レクチャ	オンライン		17			19		−
HSV283	Renewal	(PDU)リーダーのためのマインドフルネス ー成果発揮へのセルフリーダーシップとマインドフルー 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥73,700	1日	グループ演習	オンライン		19			6		−

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。　CDU：CBAP®/CCBA®資格更新に必要なポイント（CDU）を取得できます。3年間で60CDUが必要です。

学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.63）を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
前に踏み出す力 掲載ページ：P. 142 ～													
HSV329		(PDU)周囲の能動性を発揮させるリーダシップ 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥178,200	2日	グループ演習	オンライン	29~30	6~7		21~22	19~20		−
HSV330		成果を創り出す働きかけ力 ー自分と相手の真のニーズを満たすコミュニケーションー 【バーチャル・クラスルーム】	¥105,600	1.5日	グループ演習	オンライン		17~18	11~12	21~22	19~20		−
HSV281	New	(PDU)チーム力を上げるためのエンパワーメント 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥140,800	2日	グループ演習	オンライン		18~19		26~27	19~20		−
HSV331		(PDU)ファシリテーション研修 ー成果を出す会議の進め方ー 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】PDU	¥112,200	1日（0.5日×2回）	グループ演習	オンライン	日程1:10/8(1日目), 10/29(2日目) 日程2:10/16(1日目), 11/6(2日目) 日程3:11/5(1日目), 11/26(2日目) 日程4:11/13(1日目), 12/4(2日目) 日程5:12/18(1日目), 1/15(2日目) 日程6:1/16(1日目), 2/6(2日目) 日程7:2/17(1日目), 3/10(2日目) 日程8:3/4(1日目), 3/25(2日目)						お申込み締め切り後にeラーニングをご案内をいたしますので研修開催日までに受講標準学習時間3時間を終了してください
HSV261		部下のキャリア開発を支援するためのプロセスとフレームーメンバーの自己理解を促し、自律へのモチベーションを高めるー 【バーチャル・クラスルーム】	¥144,100	1.5日	グループ演習	オンライン				日程1:12/4(1日目), 1/15(2日目) 日程2:2/5(1日目), 3/5(2日目)			−
HSV240		自律型人財に求められるフォロワーシップ ー相乗効果を発揮し、チームの成果を最大化するー 【バーチャル・クラスルーム】	¥57,200	1日	グループ演習	オンライン	7,24	10,25	15	29	10	9	−
HSJ271		成功するチームビルディング ー自律チームを創る5つのフェーズー	¥134,200	1.5日	グループ演習	東京（大森）		日程1:11/12(1日目), 12/10(2日目:オンライン研修) 日程2:1/21(1日目), 2/18(2日目:オンライン研修)					−
HSJ272		未来を描く組織開発ワークショップ ー「管理・統制」から「対話・成長」を軸とした組織へー	¥149,600	1日	グループ演習	東京（大森）		17		20			−
HSV334		(PDU)リスキリングを成功させるアンラーン ー思考とスキルをアップデートして変化を取り込むー 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥102,300	1日	グループ演習	オンライン			5				−
目的別（コンプライアンス / 業種・業界 / ビジネス教養） 掲載ページ：P. 145 ～													
HSE158		<eラーニング> (PDU)財務諸表の基礎知識 PDU	¥14,300	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE129		<eラーニング> SNSのリスクと利用時のガイドライン	¥6,600	1時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE134		<eラーニング> サプライチェーンマネジメント（SCM）基礎 ー世界標準の知見に基づいた戦略的SCMの実現へ向けてー	¥19,800	3時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSJ226	Renewal	体験型サプライチェーン経営（SCM）学習プログラム「The Fresh Connection」	¥162,800	2日	レクチャ	東京（大森）					17~18		−
HSE161		<eラーニング> 思考技法の概要	¥13,200	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE126		<eラーニング> ロジカルシンキング基礎 ー論理の可視化と論理チェックのポイントー	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE163		<eラーニング> QFD（品質機能展開）で学ぶマトリクス表の上手な使い方ーマトリクス表を使って「決める」を考えるー	¥13,200	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE164		<eラーニング> TRIZで学ぶ発想のパターン ー科学的な強制発想法ー	¥13,200	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE165		<eラーニング> 意思決定のスキル ー合理と心理を理解したうえでの意思決定ー	¥12,100	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE166		<eラーニング>【スキル定着】 相手を納得させる論理構成力を磨く	¥14,300	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE099		<eラーニング> (PDU)よくわかるマクロ経済1 ー効率性と公平性、アダムスミスとケインズー PDU	¥17,600	4時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は28日間です

※2025年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
HSE100		<eラーニング> (PDU)よくわかるマクロ経済2 ーGDP、為替、財政ー PDU	¥17,600	6時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は28日間です
HSE101		<eラーニング> (PDU)よくわかるマクロ経済3 ー金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーターー PDU	¥17,600	4時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は28日間です
HSE102		<eラーニング> (PDU)よくわかるマクロ経済4 ー景気循環、経済成長、格差社会と少子高齢化ー PDU	¥17,600	6時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は28日間です
HSE118		<eラーニング> (PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済1 ー 経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論ー PDU	¥17,600	6時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は28日間です
HSE098		<eラーニング> (PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済2 ー不完全な情報、期待効用、行動経済学ー PDU	¥17,600	4時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は28日間です
HSE103		<eラーニング> (PDU)よくわかるファイナンス1 ー投資の判断、リスクとリターンー PDU	¥17,600	4時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は28日間です
HSE104		<eラーニング> (PDU)よくわかるファイナンス2 ー企業価値評価ー PDU	¥17,600	4時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は28日間です
HSE105		<eラーニング> (PDU)よくわかるファイナンス3 ー資金調達の方法ー PDU	¥17,600	6時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は28日間です
HSE106		<eラーニング> (PDU)よくわかるファイナンス4 ーM&A、コーポレートガバナンス、財務計画ー PDU	¥17,600	6時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は28日間です
HSE109	休講	<eラーニング> 経世済民の哲学としての朱子学	¥33,000	10時間	eラーニング								−
HSE111		<eラーニング> (PDU)孫子の兵法を現代に役立てる方法 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は56日間です
HSE115		<eラーニング> (PDU)中国古典に見る指導者の条件 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は56日間です
HSE112		<eラーニング> (PDU)「韓非子」のリーダ学 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は56日間です
HSE113		<eラーニング> (PDU)「貞観政要」に学ぶリーダの心得 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は56日間です
HSE114		<eラーニング> (PDU)「書経」に学ぶリーダの心得 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は56日間です
HSE110		<eラーニング> (PDU)リーダに必要な人間力 三国志から学ぶリーダ学 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は56日間です

プロジェクトマネジメント

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
プロジェクトマネジメント 掲載ページ：P. 151 ～													
PMV065		プロジェクトマネジメント基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	2日	グループ演習	オンライン			15~16			5~6	−
PME022		<eラーニング> プロジェクトマネジメント基礎	¥22,000	8時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PMJ066	休講	(PDU)ワークショップで学ぶ プロジェクトマネジメント実践 PDU	¥77,000	2日	グループ演習								−
PMV003	休講	(PDU)プロジェクト経験者のための プロジェクトマネジメント上級編 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥88,000	2日	グループ演習								−
PME005		<eラーニング> (PDU)2時間でわかるファンクションポイント法 PDU	¥8,800	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。　CDU：CBAP®/CCBA®資格更新に必要なポイント（CDU）を取得できます。3年間で60CDUが必要です。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.63）を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
PME023		<eラーニング> (PDU)ファンクションポイント法基礎 PDU	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CTV083	New	(PDU)1日で学ぶプロジェクトのスコープコントロールースコープ・クリープを防ぐプロジェクト管理ー 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥70,400	1日	グループ演習	オンライン				26			ー
PMV101		(PDU)実現可能性を高めるスケジュール・マネジメント 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥63,800	1日	グループ演習	オンライン				27		6	ー
PMV121		(PDU)プロジェクトマネージャのための ファイナンシャルマネジメント 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥178,200	2日	グループ演習	オンライン			3~4				ー
PMV100		(PDU)1日で学ぶプロジェクトのリスクマネジメント 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥63,800	1日	グループ演習	オンライン				26		2	ー
PMV123		(PDU)プロジェクト関係者と良好な関係を築くための ステークホルダーマネジメント 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥70,400	1日	グループ演習	オンライン					9		ー
PMV113		(PDU)プロジェクト協創のためのベンダーマネジメント ー守りから攻めのPMシリーズー 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥187,000	2日	グループ演習	オンライン		10~11		22~23		9~10	ー
PMV125		(PDU)プロジェクトマネージャのためのメンバーの力を引き出すモチベーション・マネジメント ー行動特性分析に基づくー 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥116,600	2日	グループ演習	オンライン		13~14	4~5		9~10		ー
PMV057	Renewal	(PDU)プロジェクトを円滑に進めるための 合意形成力強化トレーニング 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥103,400	2日	グループ演習	オンライン	27~28	25~26			24~25		ー
PMV112		(PDU)デジタル時代のプロジェクトマネジメント ー守りから攻めのPMシリーズー 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥66,000	1日	レクチャ	オンライン		11					ー
PMV110		(PDU)ケースメソッドによる PM判断・行動力強化 Part1 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥49,500	1日	グループ演習	オンライン			5		6		ー
PMV111		(PDU)ケースメソッドによる PM判断・行動力強化 Part2 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥49,500	1日	グループ演習	オンライン			18				ー
PMV115		(PDU)現場で活きるプロジェクトマネジメント ー次世代に伝えたい!火消しPMが語る *PMBOK®ガイド*では学べないノウハウー 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥55,000	1日	グループ演習	オンライン				27			ー
CTV084	New	(PDU)トラブルプロジェクトのアセスメント 【パーソル総合研究所 ライブ配信】PDU	¥110,000	2日	グループ演習	オンライン						24~25	ー
PMV105		(PDU)プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント ープロジェクトの横断的な把握、経営資源の 効果的な配分のためにー 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥99,000	2日	グループ演習	オンライン			1~2			2~3	ー
PMV103		(PDU)マネージャのための1日でわかる アジャイル・プロジェクトマネジメントの効用 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥38,500	1日	グループ演習	オンライン				30			ー

プロジェクトマネジメント資格取得

掲載ページ：P. 162 ～

PMV094		PMP® 資格試験対策5日間コース 【パーソル総合研究所 ライブ配信】PDU	¥220,000	5日	レクチャ	オンライン	日程1:10/8(1日目),10/9(2日目),10/10(3日目),10/23(4日目),10/24(5日目) 日程2:11/5(1日目),11/6(2日目),11/7(3日目),11/20(4日目),11/21(5日目) 日程3:12/3(1日目),12/4(2日目),12/5(3日目),12/18(4日目),12/19(5日目) 日程4:1/14(1日目),1/15(2日目),1/16(3日目),1/22(4日目),1/23(5日目) 日程5:2/4(1日目),2/5(2日目),2/6(3日目),2/19(4日目),2/20(5日目) 日程6:3/4(1日目),3/5(2日目),3/6(3日目),3/18(4日目),3/19(5日目)						ー
PMV108		(PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥92,400	2日	レクチャ	オンライン	28~29		11~12		16~17		ー
PME036		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(1) プロジェクトとは PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME037		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(2) プロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネジャーの役割 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

※2025年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
PME038		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(3) 統合マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME039		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(4) スコープ・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME040		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(5) スケジュール・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME041		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(6) コスト・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME042		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(7) 品質マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME043		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(8) 資源マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME044		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(9) コミュニケーション・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME045		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(10) リスク・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME046		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(11) 調達マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME047		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(12) ステークホルダー・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME024		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー (1) PMを取り巻くもの PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME025		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー (2) 原理・原則 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME026		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー (3) ステークホルダー・パフォーマンス領域 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME027		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー (4) チーム・パフォーマンス領域 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME028		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー (5) 開発アプローチとライフサイクル・パフォーマンス領域 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME029		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー (6) 計画パフォーマンス領域 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME030		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー (7) プロジェクト作業パフォーマンス領域 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME031		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー (8) デリバリー・パフォーマンス領域 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME032		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー (9) 測定パフォーマンス領域 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME033		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー (10) 不確かさパフォーマンス領域 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME034		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー (11) テーラリング PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。　CDU：CBAP®/CCBA®資格更新に必要なポイント（CDU）を取得できます。3年間で60CDUが必要です。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.63）を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
PME035		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー（12） モデル、方法、作成物 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

ビジネスアーキテクト

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
ビジネスアーキテクト 掲載ページ：P. 174 ～													
CTV078		(PDU)(CDU)ビジネスアナリシス基礎 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 PDU CDU	¥99,000	2日	レクチャ	オンライン			9~10		12~13		−
CDV008		(PDU) CBAP® 試験対策コース 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 PDU CDU	¥165,000	3日	レクチャ	オンライン			15~17				−
CDV028	Renewal	(PDU) IT経営ストラテジ （デジタル経営実行計画コース） 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 PDU	¥88,000	2日	グループ演習	オンライン			23~24			11~12	−
CDV029	Renewal	(PDU) IT経営ストラテジ （デジタル経営戦略コース） 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 PDU	¥88,000	2日	グループ演習	オンライン		25~26			24~25		−
CDV016		(PDU) IT経営ストラテジ（変革認識コース） 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 PDU	¥88,000	2日	グループ演習	オンライン				27~28			−
CTV071		IT主導で攻めのビジネスを実現するための ビジネス要件とIT企画の作り方 【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	レクチャ	オンライン				19	26		−
CTV087		(PDU)(CDU)ビジネスアナリシスに基づいた 業務改善の顧客提案 【バーチャル・クラスルーム】 PDU CDU	¥160,600	2日	グループ演習	オンライン			4~5			12~13	−
CTV076		(PDU)変革の時代に生き残るために必要な 戦略的IT投資のポイント −守りから攻めのPMシリーズ− 【バーチャル・クラスルーム】 PDU	¥38,500	1日	グループ演習	オンライン			10		5		−
CTV089		(PDU)(CDU)要件定義スキル基礎 −ロールプレイによる要求の引き出し− 【バーチャル・クラスルーム】 PDU CDU	¥112,200	2日	グループ演習	オンライン					9~10		−
SPV103		システムのニーズ分析 【バーチャル・クラスルーム】	¥95,700	2日	グループ演習	オンライン			2~3	20~21	24~25		−
SPV104		要件定義における業務の可視化を成功させる トレーニング−業務ニーズから導くシステム化要件− 【バーチャル・クラスルーム】	¥95,700	2日	グループ演習	オンライン				15~16			−
CTV090		(PDU)(CDU)ビジネスニーズに沿った ユーザー要件定義の実践力強化 【バーチャル・クラスルーム】 PDU CDU	¥160,600	2日	グループ演習	オンライン			11~12				−
CTV091		(PDU)(CDU)上位ニーズから不断なく正確に システム要件を定義する実践力強化 【バーチャル・クラスルーム】 PDU CDU	¥160,600	2日	グループ演習	オンライン					19~20		−
CTV072		現場主導で現状業務の見える化を推進するための 業務フロー作成技法 【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	レクチャ	オンライン					13		−
CTV073		既存システムの改修／リプレースのための 現行システム要件と利用業務状況の洗い出し方 【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	レクチャ	オンライン				26			−

開発／基盤

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
クラウド 掲載ページ：P. 180 ～													
UXE003		<eラーニング> クラウドコンピューティング入門	¥7,700	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CLV014		実機で学ぶ!クラウドコンピューティング入門 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	マシン実習	オンライン		4,21	8,17	16	2,27		−

※2025年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
DBV152	休講	ビッグデータにおけるシステム設計実践 −多様なデータを統合しビッグデータとして活用する− 【バーチャル・クラスルーム】	¥47,300	1日	マシン実習								−
CLE002		<eラーニング> Cloud beginnerのためのインフラストラクチャ基礎	¥19,800	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CDV032		事業と技術の観点から検討する クラウドへの移行と管理−Cloud Essentials− 【バーチャル・クラスルーム】	¥134,200	2日	グループ演習	オンライン					4~5		−
CLV026		クラウドコンピューティングで読み解く ITサービスの最新動向 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	0.5日	レクチャ	オンライン			22				−
CDV019		AWS Cloud Practitioner Essentials &AWS Technical Essentials 【バーチャル・クラスルーム】	¥154,000	2日	マシン実習	オンライン	6~7,30~31		11~12	19~20	5~6	2~3	−
CDV027	New	Developing Generative AI Applications on AWS 【バーチャル・クラスルーム】	¥154,000	2日	レクチャ	オンライン				19~20			−
CDV021		AWS Security Essentials 【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	1日	マシン実習	オンライン		17			2		−
CDV012		Architecting on AWS 【バーチャル・クラスルーム】	¥231,000	3日	マシン実習	オンライン		4~6		21~23		4~6	−
CDV013		Developing on AWS 【バーチャル・クラスルーム】	¥231,000	3日	マシン実習	オンライン		12~14					−
CLV027		Microsoft Azure概説 【バーチャル・クラスルーム】	¥45,100	1日	マシン実習	オンライン	3	10	1,10,19	20	6,24		−
CDV037		【短縮版】Microsoft Azure Administrator 【バーチャル・クラスルーム】	¥217,800	3日	マシン実習	オンライン				21~23			−
CLV022		Microsoft Azureを用いたAIサービス入門 −自然言語処理・画像認識の体験− 【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	マシン実習	オンライン			12			4	−
CLV029		Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門 【バーチャル・クラスルーム】	¥45,100	1日	マシン実習	オンライン			15			6	−
CLV021		Microsoft Azureによるサイト間ネットワークの構築 −ハイブリッドクラウド構成の基礎− 【トレノケート株式会社 ライブ配信】	¥71,500	1日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
CLV023		Microsoft Azure データの基本（DP−900T00） 【トレノケート株式会社 ライブ配信】	¥71,500	1日	レクチャ	別途ご案内いたします							−
CLV024		Microsoft セキュリティ、コンプライアンス、 ID の基礎（SC−900T00） 【トレノケート株式会社 ライブ配信】	¥71,500	1日	レクチャ	別途ご案内いたします							−
CDJ001	New	Google Cloud Fundamentals : Core Infrastructure	¥55,000	1日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
CDJ002	New	Getting Started with GKE	¥55,000	1日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
CDJ003	New	Introduction to Developer Efficiency with Gemini on Google Cloud	¥110,000	1日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
CLV005		実機で学ぶ! サーバ仮想化入門 −VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、 KVM−【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	マシン実習	オンライン				26	5		−
モダン開発（アジャイル開発含む） 掲載ページ：P. 185 ～													
SPV084		スクラムの基礎と実践 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000	1日	グループ演習	オンライン		28	19	30		13	−
SPV083		(PDU)［リーダー向け］ アジャイル開発における自律型チーム運営 【バーチャル・クラスルーム】 PDU	¥46,200	1日	グループ演習	オンライン			8				−
SPV070		アジャイル開発（スクラム）における プロダクトオーナー体験ワークショップ 【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	1日	グループ演習	オンライン					12		−

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。　CDU：CBAP®/CCBA® 資格更新に必要なポイント（CDU）を取得できます。3年間で60CDUが必要です。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.63）を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
PDV018		「EXIN アジャイル スクラム ファンデーション」資格対策【ITプレナーズジャパン ライブ配信】	¥174,900	2日	レクチャ	別途ご案内いたします							−
UXV072		gitによるソフトウェア構成管理【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	マシン実習	オンライン		10	17		10		−
SPV072		Javaによる単体テスト自動化とテスト駆動開発演習【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	マシン実習	オンライン				29			−
SPV035		SeleniumによるWebアプリケーションテスト自動化演習【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	マシン実習	オンライン					18		−
SPV079		ソフトウェア開発者のためのアジャイル開発演習【バーチャル・クラスルーム】	¥127,600	2日	マシン実習	オンライン					5~6		−
SPV089		サーバーレスアプリケーション開発入門【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	マシン実習	オンライン					20		−
UXV071		クラウドアプリケーション開発【バーチャル・クラスルーム】	¥99,000	2日	マシン実習	オンライン			18~19		24~25		−
SPV086		DevOps入門 −バージョン管理とCI／CDを活用した効率的な開発フロー−【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000	1日	マシン実習	オンライン			15		2		−
SPV090		Jenkinsを用いたCI実践研修【フルネス社 ライブ配信】	¥44,000	1日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
SDV006		クラウドネイティブまるごと理解 −DevOpsからマイクロサービス、クラウドデザインまで−【アイ・ラーニング ライブ配信】	¥99,000	1日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
CDV022		マイクロサービスアーキテクチャ入門研修【株式会社フルネス ライブ配信】	¥88,000	2日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
SPD002		DevOpsテスト入門 ～継続的デリバリーを実現するテストのアプローチ～	¥46,200	1日	グループ演習	別途ご案内いたします							−
CDV026		ドメイン駆動設計基礎研修【株式会社フルネス ライブ配信】	¥88,000	2日	マシン実習	別途ご案内いたします							−

開発工程全般・企画・設計

掲載ページ：P. 190 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
SPE022		<eラーニング> はじめて学ぶ情報システム開発 −レガシー開発からクラウドまで−	¥18,700	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWE032		<eラーニング> Webシステム入門	¥18,700	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPV114		演習で学ぶ!情報システムの役割と開発の進め方【バーチャル・クラスルーム】	¥79,200	2日	グループ演習	オンライン		12~13,27~28					−
SJE029		<eラーニング> システム開発の基礎	¥9,900	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPE024		<eラーニング> 待ち行列理論	¥26,400	7時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPV115		ソフトウェア開発における生成AIの活用 −要件定義から実装・テストまでの新しいアプローチ−【バーチャル・クラスルーム】	¥63,800	0.5日	レクチャ	オンライン	16	12		21	26		−
SPV101	New	生成AIで実現するソフトウェア開発工程 自動化ハンズオン【バーチャル・クラスルーム】	¥83,600	1日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
ITV019	New	(PDU)ソフトウェアとシステムの開発効率向上の鍵を握る構成管理 −多様な開発形態を支援する最新動向から実践技法まで−【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥211,200	2日	レクチャ	オンライン				22~23			−
ITV018	New	実践的アーキテクチャ設計による システムズエンジニアリング【バーチャル・クラスルーム】	¥105,600	1日	レクチャ	オンライン				30			−
IOV030		開発のムダを減らすモデルベースシステムズエンジニアリング実践 ー IT ／ OT 融合時代のモデルベースアプローチー【バーチャル・クラスルーム】	¥99,000	1日	グループ演習	オンライン		14					−

※2025年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
SPV024		システムの要件定義技法【バーチャル・クラスルーム】	¥70,400	2日	グループ演習	オンライン				15~16			−
CTV094		(PDU)トラブルを防止する調達要件の分析 −RFPの作成と提案書の評価を中心に−【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥123,200	2日	グループ演習	オンライン				26~27			−
CTV046	休講	情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	グループ演習								−
CTV075		業務のIT化を推進するための新業務フロー作成技法とシステムへの要求のまとめ方【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	レクチャ	オンライン		25					−
IOV032		システムズエンジニアリング領域における「セーフティ」と「セキュリティ」の実現【バーチャル・クラスルーム】	¥105,600	1日	グループ演習	オンライン			8				−
NWE031		<eラーニング> Webアプリケーション設計の基礎	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPE025		<eラーニング> 構造化モデリングによるシステムの機能抽出	¥26,400	5時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CTV065		エンタープライズ ITアーキテクチャのセオリー【バーチャル・クラスルーム】	¥99,000	2日	レクチャ	オンライン					19~20		−
SPV073		業務要件とユーザビリティを確保するためのユーザ要件定義とUIデザインのコツ【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	レクチャ	オンライン	24		18			16	−
SPV118		新しいUI ／ UXデザイン【バーチャル・クラスルーム】	¥41,800	0.5日	レクチャ	オンライン		19					−
SPV078		アプリケーション・アーキテクチャ策定演習【バーチャル・クラスルーム】	¥82,500	2日	マシン実習	オンライン			11~12	13~14	4~5		−
CTE009		<eラーニング> アプリケーション・アーキテクチャ基礎	¥25,300	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CTE008		<eラーニング> アプリケーション・アーキテクチャ応用	¥18,700	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPV074		後工程で慌てない!ユーザ／業務要件の漏れを未然に防ぐシステム要件定義のコツ【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	レクチャ	オンライン			16				−
SPV075		開発の手戻りを最小限にするシステム要件の品質チェックと基本設計のコツ【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	レクチャ	オンライン	16	17	19	23	12	18	−
OTV036	New	組込みソフトウェア流用開発と構造設計における品質改善【バーチャル・クラスルーム】	¥222,200	2日	レクチャ	オンライン				15~16			−
IOV033		システムズエンジニアリング体験 ー間違いのない設計課題洗い出しと設計変更ー【バーチャル・クラスルーム】	¥105,600	1日	マシン実習	オンライン		13					−
OJE029		<eラーニング> オブジェクト指向概説	¥25,300	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
IOV034		システムズエンジニアリングの勘所 ーつなぎ(IF)と変化点ー【バーチャル・クラスルーム】	¥83,600	1日	グループ演習	オンライン				9			−
HSV335		システムトラブルの予防と是正 −障害事例分析を中心に−【バーチャル・クラスルーム】	¥90,200	2日	グループ演習	オンライン				21~22			−
CTV026		情報システムのユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備実務【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	グループ演習	オンライン		20		26			−
HSV062		事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方 −高信頼性システム実現のために−【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	グループ演習	オンライン	10	7	4	16	18		−

プログラミング・情報技術

掲載ページ：P. 200 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
CBE305		<eラーニング> アルゴリズムの基礎−フローチャート編−	¥24,200	16時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。　CDU：CBAP®/CCBA®資格更新に必要なポイント(CDU)を取得できます。3年間で60CDUが必要です。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例 (P.63) を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
DBV123		プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門− 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	マシン実習	オンライン				28			−
DBE107		<eラーニング>【マシン演習付き】 プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門−	¥39,600	6時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
CCE009		<eラーニング> C言語プログラミング1（前編） −制御文と関数を学ぶ−	¥25,300	8時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CCE010		<eラーニング> C言語プログラミング1（後編） −データ構造とポインタを学ぶ−	¥49,500	16時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CCV016		C言語プログラミング1 −基本マスタ編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥118,800	3日	マシン実習	オンライン	6~8	5~7					−
CCE008		<eラーニング> C言語プログラミング2 −ポインタ実践編−	¥78,100	24時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CCV017		C言語プログラミング2 −ポインタ実践編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥92,400	2日	マシン実習	オンライン	9~10						−
OJV016		Javaプログラミング1（基本文法編） 【バーチャル・クラスルーム】	¥99,000	3日	マシン実習	オンライン	20~22						−
OJE030		<eラーニング> Javaプログラミング1−基本文法編−	¥80,300	24時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
OJE031		<eラーニング>【スキル定着】 Javaプログラミング1（前編）	¥14,300	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
OJE032		<eラーニング>【スキル定着】 Javaプログラミング1（後編）	¥14,300	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
OJV017		Javaプログラミング2（基本クラス編） 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	2日	マシン実習	オンライン	29~30			22~23			−
OJE027		<eラーニング> Javaプログラミング2−基本クラス編−	¥40,700	16時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
OJV020		実践! Javaプログラミング 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	2日	マシン実習	オンライン		26~27			2~3		−
OJV038		Javaプログラミング3 −StreamAPI、モジュールシステム編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥79,200	2日	マシン実習	オンライン					26~27		−
OJV039		サーバサイド Javaプログラミング （Servlet ／ JSP編） 【バーチャル・クラスルーム】	¥118,800	3日	マシン実習	オンライン			8~10				−
OJV040		Javaによる保守開発のためのリファクタリング 【バーチャル・クラスルーム】	¥39,600	1日	マシン実習	オンライン				20			−
OJV041		Javaによるデータベースプログラミング 【バーチャル・クラスルーム】	¥79,200	2日	マシン実習	オンライン			15~16				−
NWE033		<eラーニング> HTML ／ CSSによるWebコンテンツ制作	¥19,800	8時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWV141		JavaScriptプログラミング −ECMAScript 2015対応− 【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	2日	マシン実習	オンライン		17~18		13~14			−
NWV152		JavaScriptプログラマのためのTypeScript入門 【バーチャル・クラスルーム】	¥52,800	1日	マシン実習	オンライン						9	−
NWV142		HTML5プログラミング 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	マシン実習	オンライン				21			−
NWV154	Renewal	HTML5 ／ JavaScriptによるWebアプリケーション開発実践 【バーチャル・クラスルーム】	¥110,000	2日	マシン実習	オンライン					19~20		−
VBV041		Visual Basicプログラミング 【バーチャル・クラスルーム】	¥90,200	2日	マシン実習	オンライン				15~16			−

※2025年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
VCV011		Visual C#プログラミング 【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	2日	マシン実習	オンライン				29~30			−
DBV138		Python入門 −データ分析での活用をテーマとして− 【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	2日	マシン実習	オンライン	16~17			26~27			−
DBE065		<eラーニング> Pythonで簡単!数学の謎解き	¥66,000	8時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
DBV135		REST APIプログラミング体験 − Pythonによるクラウドサービス活用− 【バーチャル・クラスルーム】	¥39,600	1日	マシン実習	オンライン					6		−
DBV137		プログラミング活用術 −面倒な定型業務はPythonで自動化しよう− 【バーチャル・クラスルーム】	¥39,600	1日	マシン実習	オンライン		14			13	6	−
DBE063		<eラーニング> 「Python3 エンジニア認定データ分析試験」対策講座 （Aidemy社）	¥79,200	19.5時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
SPV085		Pythonによるテスト自動化 −単体テストからシステムテストまで− 【バーチャル・クラスルーム】	¥52,800	1日	マシン実習	オンライン				19	26		−
CBV009		COBOLプログラミング基礎編 【バーチャル・クラスルーム】	¥82,500	3日	マシン実習	オンライン					3~5		−
CBV010	New	COBOLプログラミング応用編 【バーチャル・クラスルーム】	¥235,400	4日	マシン実習	オンライン						10~13	−
CBE306		<eラーニング>【マシン演習付き】 COBOLプログラミング基礎編（PAD）	¥118,800	24時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
CBE307		<eラーニング>【マシン演習付き】 COBOLプログラミング応用編（PAD）	¥150,700	32時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
CBE308		<eラーニング>【マシン演習付き】 COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）	¥118,800	24時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
CBE309		<eラーニング>【マシン演習付き】 COBOLプログラミング応用編（フローチャート）	¥150,700	32時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
CBE310		<eラーニング> COBOLプログラミング基礎編（PAD）	¥38,500	16時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CBE311		<eラーニング> COBOLプログラミング応用編（PAD）	¥38,500	16時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CBE312		<eラーニング> COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）	¥38,500	16時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CBE313		<eラーニング> COBOLプログラミング応用編（フローチャート）	¥38,500	16時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
−		COBOLプログラミング基礎編（PAD） （自習テキスト）	¥4,400	18時間	自習テキスト								−
−		COBOLプログラミング応用編（PAD） （自習テキスト）	¥4,400	18時間	自習テキスト								−
−		COBOLプログラミング基礎編（フローチャート） （自習テキスト）	¥4,400	18時間	自習テキスト								−
−		COBOLプログラミング応用編（フローチャート） （自習テキスト）	¥4,400	18時間	自習テキスト								−
ESE003		<eラーニング> 組込みシステムとは	¥25,300	7時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
ESJ001		リアルタイム OSを利用した ソフトウェアプログラミング	¥66,000	2日	マシン実習	東京（大森）			11~12				−
OTV025		C言語で学ぶマイクロコンピュータの基礎 −マイコンを使ってシステムを制御するために 必要な基礎知識−【バーチャル・クラスルーム】	¥187,000	3日	マシン実習	オンライン			22~24				−
SJV100		IT技術はじめの一歩 − ITリテラシー向上をめざして− 【バーチャル・クラスルーム】	¥39,600	1日	レクチャ	オンライン	22						−

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
POU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。　CDU：CBAP®/CCBA®資格更新に必要なポイント（CDU）を取得できます。3年間で60CDUが必要です。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.63）を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
SJE034		<eラーニング> IT技術はじめの一歩 ー ITリテラシー向上をめざしてー	¥18,700	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJV104		コンピュータ基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥165,000	5日	レクチャ	オンライン			1~5				−
SJE324		<eラーニング> コンピュータ基礎ー情報の基礎理論編ー	¥12,100	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE325		<eラーニング> コンピュータ基礎ーハードウェア編ー	¥24,200	8時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE326		<eラーニング> コンピュータ基礎ーソフトウェア編ー	¥24,200	8時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE327		<eラーニング> コンピュータ基礎ー情報システム編ー	¥12,100	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBV192		実装から学ぶメタバース入門 ー WebXR開発体験ー 【バーチャル・クラスルーム】	¥50,600	1日	マシン実習	オンライン	24						−
DBE110		<eラーニング>【スキル定着】 Rでのデータ可視化 ーオープン環境を活用した実装力の磨き方ー	¥14,300	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBV134		0から始めるRの基礎 ーデータ分析と可視化体験ー 【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	2日	グループ演習	オンライン					16~17		−
DBV156		NVIDIA Deep Learning Institute（DLI） 認定コース ディープラーニングの基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥93,500	1日	マシン実習	オンライン		11			3		−
DBV154		NVIDIA Deep Learning Institute（DLI） 認定コース AIを応用した予知保全 【バーチャル・クラスルーム】	¥93,500	1日	マシン実習	オンライン						6	−

品質・技法・信頼性

掲載ページ：P. 222 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
ITV020	New	エンジニアのための、開発上流における コスト意識のポイント 【バーチャル・クラスルーム】	¥72,600	1日	レクチャ	オンライン				29			−
SPE026		<eラーニング> プログラムのテスト技法	¥25,300	7時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPV123		品質確保のためのソフトウェアテスト 【バーチャル・クラスルーム】	¥39,600	1日	レクチャ	オンライン				22	20		−
SPE016		<eラーニング> 実践!テストケース設計（テスト技法演習編）	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPV051		実践!テストケース設計（テスト設計実践編） 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	グループ演習	オンライン			11	29	27		−
SPE028		<eラーニング> 速習! Webシステムテストのポイント	¥12,100	3時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPD004		非機能テスト入門（性能・負荷、ユーザビリティ） ー注目度急上昇のテスト領域ー	¥46,200	1日	レクチャ	別途ご案内いたします							−
SPV063		ソフトウェアテストの管理手法 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	レクチャ	オンライン				30			−
SDV005		テストプロセス改善 ー評価・改善案策定を一日で習得!ー 【株式会社SHIFT ライブ配信】	¥55,000	1日	グループ演習	別途ご案内いたします							−
IOV035		スキルアップをめざすエンジニアのための レビュー力向上ポイント 【バーチャル・クラスルーム】	¥178,200	2日	グループ演習	オンライン					26~27		−
OTV026		ソフトウェア品質・生産性向上のためのレビュー講座 【バーチャル・クラスルーム】	¥198,000	2日	レクチャ	オンライン			18~19				−
SPD006		（PDU）テスト計画 ー成功するためのテスト方針／工数見積りの極意を伝授ー PDU	¥46,200	1日	レクチャ	別途ご案内いたします							−

※2025年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
SPD007		（PDU）テスト管理 ーテスト実行時の管理手法／留意するポイント／ 各種秘訣を伝授ー PDU	¥46,200	1日	レクチャ	別途ご案内いたします							−
SPD008		（PDU）テスト戦略 ーテスト計画に繋がる具体的な戦略立案の肝ー PDU	¥55,000	1日	レクチャ	別途ご案内いたします							−
OTV031	休講	効果的な設計システム導入と「強い設計」を実現させる 改革手法 ーPLM・BOMの失敗要因と成功要因、あるべき システム導入ー【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000	1日	レクチャ								−

セキュリティ

掲載ページ：P. 228 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
SCV041		セキュリティ最新動向 【バーチャル・クラスルーム】	¥30,800	0.5日	レクチャ	オンライン		14		30			−
SCV052		情報セキュリティ基礎 ーセキュリティ全体を俯瞰するー 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	レクチャ	オンライン			8		16		−
SCE016		<eラーニング> 情報技術者に求められるセキュリティの基礎 ー要素技術（暗号、認証）編ー	¥25,300	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SCE012		<eラーニング> 情報技術者に求められるセキュリティの基礎 ーネットワーク構成技術とシステム保護の概要編ー	¥18,700	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SCV058		CCT（認定サイバーセキュリティ技術者） 【GSXライブ配信】	¥198,000	3日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
SCE018		<eラーニング> 情報セキュリティリテラシー ーセキュリティの必要性と対策ー	¥13,200	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SCV060	New	（PDU）ゼロトラスト・アーキテクチャ概論 【アイ・ラーニング ライブ配信】PDU	¥77,000	1日	レクチャ	別途ご案内いたします							−
SCE015		<eラーニング> 情報セキュリティマネジメント概説 ーセキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度ー	¥19,800	8時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SCV047		ケーススタディから学ぶ 情報セキュリティリスクマネジメント 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	レクチャ	オンライン				20			−
SCV055		ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスク対策 【バーチャル・クラスルーム】	¥60,500	1日	グループ演習	オンライン	21	18	16		17	17	−
SCV051		ネットワークセキュリティ対策実習 ーFW ／ IDS ／ PKIー 【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	2日	マシン実習	オンライン		13~14				3~4	−
SDV016		CND（認定ネットワークディフェンダー） 【GSXライブ配信】	¥360,800	3日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
SCV059	New	CSA（認定SOCアナリスト） 【GSXライブ配信】	¥300,300	3日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
SDV019	Renewal	CEH（認定ホワイトハッカー） 【GSXライブ配信】	¥651,200	5日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
SDV007		セキュリスト（SecuriST） 認定 Webアプリケーション脆弱性診断士 【GSXライブ配信】	¥220,000	2日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
SDV008		セキュリスト（SecuriST） 認定 ネットワーク脆弱性診断士 【GSXライブ配信】	¥220,000	2日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
SDV018		CHFI（デジタルフォレンジック） 【GSXライブ配信】	¥445,500	4日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
SCE011		<eラーニング> サイバー攻撃対応基礎（知識修得編）	¥11,000	3時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SCV069		サイバー攻撃対応コミュニケーション訓練 （ITシステム編） 【バーチャル・クラスルーム】	¥31,900	0.5日	グループ演習	オンライン				21	24		−

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。　CDU：CBAP®/CCBA®資格更新に必要なポイント（CDU）を取得できます。3年間で60CDUが必要です。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.63）を参照ください。

プラットフォーム（Linux/Microsoft）

掲載ページ：P. 234 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
UXV083		UNIX ／ Linux 基礎−コマンド編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	2日	マシン実習	オンライン	9~10		9~10		25~26		−
UXV090		UNIX ／ Linux 基礎−シェルスクリプト編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥79,200	2日	マシン実習	オンライン	27~28				24~25	11~12	−
UXE013		<eラーニング>【マシン演習付き】 UNIX ／ Linux基礎−コマンド編−	¥39,600	8時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
UXE011		<eラーニング> 基本OSアーキテクチャ解説	¥15,400	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12, 19,26	3,10, 17,24	7,14, 21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
UXV085		Linuxシステム管理 前編 −Linuxインストールとシステム／ネットワーク管理の基礎− 【バーチャル・クラスルーム】	¥99,000	2日	マシン実習	オンライン		12~13		19~20	9~10		−
UXV030		Linuxシステム管理 後編 −システム起動の仕組みとディスク管理技術− 【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	2日	マシン実習	オンライン		17~18		29~30	5~6		−
UXE015		<eラーニング>【マシン演習付き】 Linuxシステム管理 前編1 −ユーザ／ネットワーク管理−	¥56,100	8時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
UXE016		<eラーニング>【マシン演習付き】 Linuxシステム管理 前編2 −パッケージ／ログ管理とセキュリティ−	¥56,100	8時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
UXV080		Linuxトラブルシューティング 【バーチャル・クラスルーム】	¥88,000	2日	マシン実習	オンライン		27~28			19~20		−
UXE009		<eラーニング> （詳解）Linuxシステム管理 −システム管理・パフォーマンス管理・仮想化を深く知りたい方へ−	¥36,300	55時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12, 19,26	3,10, 17,24	7,14, 21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
UXE004		<eラーニング> オープンソースソフトウェア（OSS）概説	¥9,900	3時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12, 19,26	3,10, 17,24	7,14, 21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
UXV081		OSSによるWebシステム構築入門 −Linux、Apache、PostgreSQL、PHP− 【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	2日	マシン実習	オンライン			8~9		2~3		−
UXE010		<eラーニング> Kubernetesはじめの一歩	¥15,400	10時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12, 19,26	3,10, 17,24	7,14, 21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
UXE006		<eラーニング> Kubernetes基礎	¥36,300	35時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12, 19,26	3,10, 17,24	7,14, 21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CLV020		サーバ仮想化／コンテナ仮想化技術解説 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	レクチャ	オンライン					26		−
CDV024		触れて学ぶコンテナ基礎 【アイ・ラーニング ライブ配信】	¥55,000	1日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
CDV025		触れて学ぶコンテナ実践−Docker実践編− 【アイ・ラーニング ライブ配信】	¥66,000	1日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
CLE011		<eラーニング>【マシン演習付き】 コンテナ技術入門	¥47,300	7.5時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は21日間です
MSV055		Windows Server入門 【バーチャル・クラスルーム】	¥82,500	2日	マシン実習	オンライン	22~23			29~30			−
MSV056		Active Directory入門 【バーチャル・クラスルーム】	¥82,500	2日	マシン実習	オンライン				15~16			−
MSV057		Windows PowerShell入門 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	マシン実習	オンライン			8	19			−
OAV050		実践Excel−VBA 【アイ・ラーニング ライブ配信】	¥66,000	2日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
OAE042	Renewal	<eラーニング> Microsoft Excel エントリー	¥7,700	2時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
OAE043	Renewal	<eラーニング> Microsoft Excel ベーシック	¥7,700	2時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です

※2025年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン／配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
OAE044	Renewal	<eラーニング> Microsoft Excel アドバンス	¥7,700	2時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
OAE045	Renewal	<eラーニング> Microsoft PowerPoint エントリー	¥7,700	2時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
OAE046	Renewal	<eラーニング> Microsoft PowerPoint ベーシック	¥7,700	2時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
OAE047	Renewal	<eラーニング> Microsoft PowerPoint アドバンス	¥7,700	2時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
OAE048	Renewal	<eラーニング> Microsoft Word エントリー	¥7,700	2時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
OAE049	Renewal	<eラーニング> Microsoft Word ベーシック	¥7,700	2時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
OAE050	Renewal	<eラーニング> Microsoft Word アドバンス	¥7,700	2時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です

ITサービス

掲載ページ：P. 243 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
ITV017		ITIL®4ファンデーション （受験バウチャーチケット付き） 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥144,100	2日	レクチャ	オンライン	14~15	10~11	9~10	13~14			−
ITE010		<eラーニング> ITIL®4ファンデーション （受験バウチャーチケット付き）PDU	¥107,800	10時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
ITE008		<eラーニング> 運用管理概説	¥18,700	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12, 19,26	3,10, 17,24	7,14, 21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
ITV010		情報システム運用入門 −運用からITサービスへ− 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	レクチャ	オンライン	24			23			−
SPV033		保守開発におけるトラブル対策の考え方 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	グループ演習	オンライン						6	−
ITV004		システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ 【バーチャル・クラスルーム】	¥83,600	2日	グループ演習	オンライン	23~24						−
ITV009		IT運用におけるヒューマンエラー予防 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	グループ演習	オンライン		14	12	16	20		−

プロダクト（IT）

基盤製品（データベース）

掲載ページ：P. 247 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
DBV158		データベース基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	レクチャ	オンライン				28			−
DBE076		<eラーニング> データベース基礎	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12, 19,26	3,10, 17,24	7,14, 21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE112		<eラーニング> SQL入門	¥24,200	8時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12, 19,26	3,10, 17,24	7,14, 21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBV063		基礎から学ぶSQL −現場で使える力をつける− 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	2日	マシン実習	オンライン			4~5	19~20			−
DBV090		データ分析に使えるSQL −SQLでビッグデータに立ち向かう− 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	マシン実習	オンライン		25					−
DBV067		脱初心者のためのSQL −SQLでここまでできる− 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	マシン実習	オンライン				15			−
DBE113		<eラーニング> OLTP概説	¥26,400	7時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12, 19,26	3,10, 17,24	7,14, 21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

New：新設コース　*Renewal*：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。　CDU：CBAP®/CCBA®資格更新に必要なポイント（CDU）を取得できます。3年間で60CDUが必要です。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.63）を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
UXV086		OSS-DB PostgreSQL 導入と運用 【バーチャル・クラスルーム】	¥88,000	2日	マシン実習	オンライン			11~12				−
DBV170		Microsoft SQL Server 基礎 【トレノケート株式会社 ライブ配信】	¥66,000	1日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
DBV172		SQL Server 運用管理（前編）−管理編− 【トレノケート株式会社 ライブ配信】	¥214,500	3日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
DBV173		SQL Server 運用管理（後編）−開発編− 【トレノケート株式会社 ライブ配信】	¥143,000	2日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
DBV171		Microsoft SQL Server パフォーマンス チューニング 【トレノケート株式会社 ライブ配信】	¥143,000	2日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
DBE114		<eラーニング> データウェアハウス概説	¥26,400	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE115		<eラーニング> データウェアハウスにおけるデータモデリング解説	¥26,400	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBV055		速習! 1日でわかるデータベース設計の基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	レクチャ	オンライン				23			−
DBE116		<eラーニング> 速習! 1日でわかるデータベース設計の基礎	¥34,100	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE055		<eラーニング> データベース概説−入門・設計・SQL編−	¥36,300	12時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBV054		データベース設計技法と演習 【バーチャル・クラスルーム】	¥72,600	2日	レクチャ	オンライン	16~17		4~5	15~16	12~13		−
DBE058		<eラーニング> データベース設計基礎	¥19,800	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBV160		Oracle Database：SQL 基礎I 【バーチャル・クラスルーム】	¥275,000	3日	マシン実習	オンライン		12~14					−
DBV161		Oracle Database：SQL 基礎II 【バーチャル・クラスルーム】	¥187,000	2日	マシン実習	オンライン				29~30			−
DBV166		Oracle Database： SQLチューニングワークショップ 【バーチャル・クラスルーム】	¥275,000	3日	マシン実習	オンライン						9~11	−
DBV164		Oracle Database：PL／SQL 基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥187,000	2日	マシン実習	オンライン			18~19				−
DBV165		Oracle Database：PL／SQL プログラム開発 【バーチャル・クラスルーム】	¥275,000	3日	マシン実習	オンライン				21~23			−
DBV162		Oracle Database：管理クイック・スタート 【バーチャル・クラスルーム】	¥187,000	2日	マシン実習	オンライン			1~2				−
DBV163		Oracle Database：管理ネクスト・ステップ 【バーチャル・クラスルーム】	¥275,000	3日	マシン実習	オンライン					4~6		−
DBV177	Renewal	Oracle Database： マルチテナント・アーキテクチャ【短縮版】 【バーチャル・クラスルーム】	¥363,000	3日	マシン実習	オンライン						2~4	−
DBV178	Renewal	Oracle Database： バックアップ・リカバリ【短縮版】 【バーチャル・クラスルーム】	¥451,000	3日	マシン実習	オンライン					16~18		−

基盤製品（ネットワーク）

掲載ページ：P. 257 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
NWV103		ネットワーク基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000	2日	レクチャ	オンライン		17~18			9~10		−
NWE044		<eラーニング> ネットワーク基礎 I−イーサネットの仕組み−	¥48,400	12時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWE045		<eラーニング> ネットワーク基礎 II−TCP／IPの仕組み−	¥48,400	12時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWJ151		TCP／IPプロトコル解析	¥90,200	2日	マシン実習	東京（大森）		26~27			3~4		−

※2025年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
NWE038		<eラーニング> TCP／IP機能概説−ルーティング編−	¥19,800	8時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWE047		<eラーニング> WANの技術−VPNサービスへの変遷−	¥26,400	8時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWE048		<eラーニング> LANの技術−高可用ネットワーク−	¥26,400	8時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWV146		ネットワーク設計基礎と演習 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	レクチャ	オンライン	9				19		−
NWE028		<eラーニング> ネットワーク設計基礎	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWV153		ネットワークインフラ構築−基礎編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	マシン実習	オンライン		5	17,18	20,27,28	18,19	2,3	−
NWJ084		ネットワークトラブル解決	¥81,400	2日	マシン実習	東京（大森）					9~10, 25~26	10~11, 12~13	−
NWV138		ネットワークインフラ構築−ルータ編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	2日	マシン実習	オンライン			4~5			5~6	−
NWJ133		ネットワークインフラ構築 −スイッチ編−	¥81,400	2日	マシン実習	東京（大森）	29~30			8~9			−
NWJ155		ネットワークインフラ構築 −冗長化・負荷分散編−	¥94,600	2日	マシン実習	東京（大森）		12~13			12~13		−
NWE050		<eラーニング> ネットワーク管理解説	¥26,400	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWE051		<eラーニング> IPv6の基礎と移行技術	¥48,400	12時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

ミドル・アプリケーション製品

掲載ページ：P. 261 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
PDV001		(Pentaho認定)ビジネスアナリティクス ユーザーコンソール 【バーチャル・クラスルーム】	¥110,000	1日	マシン実習	オンライン		11					−
PTV003		Pentahoによるデータの可視化・分析 【バーチャル・クラスルーム】	¥41,800	0.5日	マシン実習	オンライン				20			−
PDV003		(Pentaho認定)ビジネスアナリティクス データモデリング 【バーチャル・クラスルーム】	¥209,000	2日	マシン実習	オンライン			18~19				−
PDV002		(Pentaho認定)ビジネスアナリティクス レポートデザイナー 【バーチャル・クラスルーム】	¥209,000	2日	マシン実習	オンライン					9~10		−
PDV004		(Pentaho認定) CToolsの基本 【バーチャル・クラスルーム】	¥209,000	2日	マシン実習	オンライン		13~14					−
PTV004		データ加工・統合入門−Pentahoを用いて− 【バーチャル・クラスルーム】	¥72,600	1日	マシン実習	オンライン				19			−
PDV005		(Pentaho認定)データ統合の基本 【バーチャル・クラスルーム】	¥308,000	3日	マシン実習	オンライン			3~5				−
RPV021		Power Platform入門 (Power Automate DesktopによるRPA活用編) 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	1日	マシン実習	オンライン	14	18	10		4		−
RPV025		Power Platform入門 (Power Appsによるキャンバスアプリ開発編) 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	1日	マシン実習	オンライン		7		19	24		−
RPV022	休講	Power Platform入門 (Power Automateによるクラウドフロー活用編) 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	1日	マシン実習								−
RPV019		Power Platform入門 (Power BI Desktopによるデータ活用編) 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	1日	マシン実習	オンライン			11	29			−
RPV026		Power Platform入門 (Power QueryとExcelによるデータ加工編) 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	1日	マシン実習	オンライン			16		4		−

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。　CDU：CBAP®/CCBA®資格更新に必要なポイント（CDU）を取得できます。3年間で60CDUが必要です。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.63）を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
DBV215	New	Tableau入門ハンズオン 【バーチャル・クラスルーム】	¥58,300	0.5日	マシン実習	オンライン	14						–
DBV213		Tableau Desktop 基礎［前編］ 【バーチャル・クラスルーム】	¥233,200	2日	マシン実習	別途ご案内いたします							–
DBV214		Tableau Desktop 基礎［後編］ 【バーチャル・クラスルーム】	¥277,200	2日	マシン実習	別途ご案内いたします							–
SPV095	New	Anypoint Platform Development： Fundamentals（開発：基礎）［前編］ 【セールスフォース・ドットコム社 ライブ配信】	¥209,000	2日	マシン実習	別途ご案内いたします							–
SPV097	New	Anypoint Platform Architecture： Application Networks （アーキテクチャ：アプリケーションネットワークス） 【セールスフォース・ドットコム社 ライブ配信】	¥313,500	3日	レクチャ	別途ご案内いたします							–
SPV096	New	Anypoint Platform Development： Fundamentals（開発：基礎）［後編］ 【セールスフォース・ドットコム社 ライブ配信】	¥313,500	3日	マシン実習	別途ご案内いたします							–
SPV093	New	Anypoint Platform Architecture： Integration Solutions （インテグレーションソリューションズ） 【セールスフォース・ドットコム社 ライブ配信】	¥522,500	5日	マシン実習	別途ご案内いたします							–
SPV098	New	Anypoint Platform Development： Production－Ready［前編］ 開発ベストプラクティス 【セールスフォース・ドットコム社 ライブ配信】	¥313,500	3日	マシン実習	別途ご案内いたします							–
SPV099	New	Anypoint Platform Development： Production－Ready［後編］ インテグレーション・ベストプラクティス 【セールスフォース・ドットコム社 ライブ配信】	¥418,000	4日	マシン実習	別途ご案内いたします							–

RPA製品

掲載ページ：P. 266 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
RPV007		RPA入門 －概説と操作体験（Automation Anywhere）－ 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	1日	マシン実習	オンライン	16			23			–
RDV006		Automation Anywhere認定 RPAトレーニング （Mastering Bots：Automation 360） 【バーチャル・クラスルーム】	¥261,800	3日	マシン実習	オンライン				14~16			–
RPV033		Automation Anywhereにおける ロボット開発の勘所 【バーチャル・クラスルーム】	¥41,800	0.5日	レクチャ	オンライン		10					–
RPV034		IQ Botトレーニング － Automation Anywhere－ 【バーチャル・クラスルーム】	¥94,600	1日	マシン実習	オンライン				28			–
RPV035		UiPath公式速習プログラム入門 －基本操作ハンズオン－ 【バーチャル・クラスルーム】	¥56,100	1日	マシン実習	オンライン		7		22			–
RPV036		UiPath公式速習プログラム実践 －業務プロセス定義書・ワークフロー開発－ 【バーチャル・クラスルーム】	¥112,200	2日	マシン実習	オンライン					12~13		–
RPV010		UiPath公式 UiPath StudioX 開発トレーニング 【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	マシン実習	オンライン		25					–
RPV038		UiPath公式 UiPath Orchestrator 構築・運用トレーニング 基礎編 【バーチャル・クラスルーム】	¥78,100	1日	マシン実習	オンライン					18		–
RPV039		UiPath公式 UiPath Orchestrator 構築・運用トレーニング 実践編 【バーチャル・クラスルーム】	¥78,100	1日	マシン実習	オンライン					24		–
RPV011		WinActor入門トレーニング －ロボット開発の基本操作－ 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	1日	マシン実習	オンライン		20			3		–
RPV012		WinActor実践トレーニング －安定性・メンテナンス性を向上させるための ロボット開発－ 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	1日	マシン実習	オンライン					25		–

※2025年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

IoT

掲載ページ：P. 269 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
IOV001		IoT概説 【バーチャル・クラスルーム】	¥20,900	0.5日	レクチャ	オンライン	17			15			–
IOV023		IoT技術解説−最新技術動向・適用事例編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥28,600	0.5日	レクチャ	オンライン					18		–
IOV024		「IoTシステム技術検定（基礎検定）」対策講座 【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1.5日	レクチャ	オンライン			4~5				–
IOV021		「IoTシステム技術検定（中級）」対策講座 【バーチャル・クラスルーム】	¥92,400	2日	レクチャ	オンライン		13~14					–
IOE017	New	<eラーニング> 「IoTシステム技術検定（基礎検定）」対策講座	¥46,200	8時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
IOE018	New	<eラーニング> 「IoTシステム技術検定（中級）」対策講座	¥86,900	13時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
IOE013		<eラーニング> IoT技術解説 IoTネットワーク編	¥12,100	3時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
IOE014		<eラーニング> IoT技術解説 5G編	¥12,100	2.5時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
IOE015		<eラーニング> IoT技術解説 セキュリティ編	¥12,100	3時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
UXE008		<eラーニング> ブロックチェーンの基礎と日立の取り組み	¥19,800	6時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSD013		ヒューマンエラー対策研修 基礎コース	¥52,800	1日	レクチャ	別途ご案内いたします							–
HSD014		ヒューマンエラー対策研修 ヒアリング＆分析コース	¥58,300	1日	レクチャ	別途ご案内いたします							–
HSD015		ヒューマンエラー対策研修 基礎＋ヒアリング＆分析コース	¥88,000	2日	レクチャ	別途ご案内いたします							–
HSD016		ヒューマンエラー対策研修 仕組みコース	¥58,300	1日	レクチャ	別途ご案内いたします							–
HSD017		ヒューマンエラー対策研修 行動コース	¥58,300	1日	レクチャ	別途ご案内いたします							–

設計・モノづくり（OT）

電気・計測制御

掲載ページ：P. 273 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
OTV040		初心者のための エレクトロニクス入門 【バーチャル・クラスルーム】	¥123,200	2日	レクチャ	オンライン	6~7						–
OTJ038		電気が苦手な人のための電気回路入門 －リレーシーケンスとトラブルシューティングから学ぶ－	¥123,200	2日	マシン実習	大阪		27~28					–
OTJ039		センサ活用技術の基礎	¥112,200	2日	レクチャ	勝田		25~26					–
OTJ040		実験・実習で学ぶ電子回路基礎	¥235,400	4日	マシン実習	勝田			16~19				–

機械・設計技法

掲載ページ：P. 275 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
OTV008		機械四力の基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥60,500	1日	レクチャ	オンライン			1				–
OTV012		伝熱工学＋CAE解析 ＋機械学習を取り入れた最適化技術 【eラーニング（事前学習）＋バーチャル・クラスルーム】	¥110,000	0.5日	グループ演習	オンライン			2				お申込み締め切り後にeラーニングをご案内いたしますので研修開催日までに受講標準学習時間6時間を終了してください

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。　CDU：CBAP®/CCBA®資格更新に必要なポイント（CDU）を取得できます。3年間で60CDUが必要です。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.63）を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
OTE002		<eラーニング> 公差設計の基礎	¥33,000	4時間	eラーニング	学習開始日	1			1			サービス有効期間は90日間です
OTE001		<eラーニング> 幾何公差の基礎	¥49,500	6時間	eラーニング	学習開始日	1			1			サービス有効期間は90日間です
OTV020		成熟を打破する顧客価値の捉え方と イノベーション構想の描き方 【バーチャル・クラスルーム】	¥60,500	1日	グループ演習	オンライン			9				–
OTV033	*Renewal*	技術の棚卸と組み合わせによる ビジネス創生と生成AI活用のポイント 【バーチャル・クラスルーム】	¥60,500	1日	レクチャ	オンライン	27						–
OTV029		世界No.1製品を実現するための 開発プロジェクト指南 【バーチャル・クラスルーム】	¥60,500	1日	グループ演習	オンライン	28						–
OTV034	*Renewal*	生成AIと特許情報を活用した 技術マーケティングの実践メソッド 【バーチャル・クラスルーム】	¥67,100	1日	レクチャ	オンライン						9	–
OTV028		ニーズ・シーズ思考でなく 超常識思考ですごいビジョンを実践 【バーチャル・クラスルーム】	¥60,500	1日	グループ演習	オンライン						10	–

生産・サプライチェーンエンジニアリング

掲載ページ：P. 279 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
OTJ041		監督者安全教育（RST）	¥214,500	3.5日	グループ演習	日立		4~7					–
OTJ026	休講	生産管理基礎研修（生産管理 基礎コース）	¥217,800	4日	レクチャ								–
OTJ027	休講	SCMとIoT活用による生産革新マネジメント （生産管理 中級コース）	¥193,600	4日	レクチャ								–
OTJ044		最新事例（SCMとIoT）による次期マネージャー養成 （製造系管理者 上級コース）	¥183,700	3日	レクチャ	勝田		18~20					–
OTJ045		新QC手法研修	¥183,700	3日	グループ演習	勝田				14~16			–
IOJ028		作業改善のための治工具・雇の作り方研修	¥330,000	5日	マシン実習	日立	20~24						–

製造・モノづくり基盤技術

掲載ページ：P. 282 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
OTJ046		1度は経験!溶接日帰り体験	¥61,600	1日	マシン実習	日立		12	19		20	24	–
OTJ047		今こそ体験! 1日 機械加工体験	¥61,600	1日	マシン実習	日立		27				19	–
OTJ048		製造・生産技術者のための自動機製作総合講座	¥305,800	5日	マシン実習	日立						9~13	–
OTJ049		今こそ体験! NCプログラミング体験	¥101,200	2日	グループ演習	日立						25~26	–
OTJ050		今こそ体験! 1日 NCマシニングセンタ加工体験	¥61,600	1日	マシン実習	日立						27	–
OTJ051		産業用ロボット特別安全教育（教示）	¥64,900	1.5日	マシン実習	日立				14~15			–
OTJ052		産業用ロボットの教示と基本操作習得	¥184,800	3日	マシン実習	日立					4~6		–
OTJ053		リレーシーケンスの基礎とトラブル診断	¥123,200	2日	マシン実習	大阪		27~28					–
OTJ054		リレーシーケンスの基礎とPLC入門	¥184,800	3日	マシン実習	大阪					4~6		–
OTJ055		シーケンスコントローラ活用入門	¥305,800	5日	マシン実習	勝田		10~14					–
OTJ056		トラブルシューティング（制御系基礎）	¥305,800	5日	マシン実習	日立					16~20		–

※2025年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
OTJ057		PLCプログラミング応用	¥305,800	5日	マシン実習	勝田				26~30			–
OTJ058		設備稼働率向上研修（初級）（TPM入門）	¥272,800	4.5日	マシン実習	日立						9~13	–
OTJ059		設備稼働率向上研修（中級：故障予知編）	¥196,900	3.5日	マシン実習	日立						16~19	–
OTV035	*New*	デジタル新時代に対応したIoT×AIの概要と その利用技術【バーチャル・クラスルーム】	¥128,700	2日	グループ演習	オンライン		6~7					–

情報処理技術者試験対策

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
SJE316		<eラーニング> 集中演習 ITパスポート試験【IP】	¥9,900	70時間	eラーニング	学習開始日		20	11	15,29	19	12	11月,12月開始は4月30日まで,1月,2月,3月開始は6月30日までになります
SJV105		基本情報技術者試験【FE】対策講座 （試験直前に模擬試験で得点をUPする） 【バーチャル・クラスルーム】	¥45,100	1日	レクチャ	オンライン						11	–
SJE315		<eラーニング> 集中演習 基本情報技術者試験【FE】	¥18,700	140時間	eラーニング	学習開始日				15,29	19	12	開始日にかかわらず学習終了日は6月30日になります
SJV106		応用情報技術者試験【AP】対策講座 （合格に必要な知識と解答力を養う） 【バーチャル・クラスルーム】	¥135,300	3日	レクチャ	オンライン	日程:1/26(1日目), 2/13(2日目), 3/6(3日目)						–
SJV107		応用情報技術者試験【AP】対策講座 （試験直前に模擬試験で得点をUPする） 【バーチャル・クラスルーム】	¥45,100	1日	レクチャ	オンライン						9,19	–
SJE304		<eラーニング> 集中演習 応用情報技術者試験【AP】	¥18,700	135時間	eラーニング	学習開始日				15,29	19	12	開始日にかかわらず学習終了日は6月30日になります
SJE317		<eラーニング> 集中演習 情報セキュリティマネジメント試験【SG】	¥12,100	70時間	eラーニング	学習開始日				15,29	19	12	開始日にかかわらず学習終了日は6月30日になります
SJV108		情報処理安全確保支援士試験【SC】対策講座 （合格に必要な知識と解答力を養う） 【バーチャル・クラスルーム】	¥135,300	3日	レクチャ	オンライン	日程:1/27(1日目), 2/13(2日目), 3/5(3日目)						–
SJV109		情報処理安全確保支援士試験【SC】対策講座 （試験直前に模擬試験で得点をUPする） 【バーチャル・クラスルーム】	¥47,300	1日	レクチャ	オンライン						10	–
SJE312		<eラーニング> 集中演習 情報処理安全確保支援士試験【SC】	¥18,700	150時間	eラーニング	学習開始日				15,29	19	12	開始日にかかわらず学習終了日は6月30日になります
SJV110		ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座 （合格に必要な知識と解答力を養う） 【バーチャル・クラスルーム】	¥135,300	3日	レクチャ	オンライン	日程:1/23(1日目), 2/12(2日目), 2/27(3日目)						–
SJV111		ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座 （試験直前に模擬試験で得点をUPする） 【バーチャル・クラスルーム】	¥47,300	1日	レクチャ	オンライン						13	–
SJE308		<eラーニング> 集中演習 ネットワークスペシャリスト試験【NW】	¥18,700	135時間	eラーニング	学習開始日				15,29	19	12	開始日にかかわらず学習終了日は6月30日になります
SJV112		高度試験受験者向け 論文の書き方 −問題文の読み方から論文構成方法まで− 【バーチャル・クラスルーム】	¥72,600	1日	レクチャ	オンライン		12		21			–
SJV113		高度試験[SM][SA][ST]対策講座 実践!論文を書く −添削指導で合格するための論述力を養成する− 【バーチャル・クラスルーム】	¥112,200	2日	レクチャ	オンライン	日程:2/2(1日目), 3/3(2日目)						–
SJE305		<eラーニング> 集中演習 ITストラテジスト試験【ST】	¥18,700	180時間	eラーニング	学習開始日				15,29	19	12	開始日にかかわらず学習終了日は6月30日になります
SJE306		<eラーニング> 集中演習 システムアーキテクト試験【SA】	¥18,700	180時間	eラーニング	学習開始日				15,29	19	12	開始日にかかわらず学習終了日は6月30日になります

掲載ページ：P. 286 ～

New：新設コース　*Renewal*：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。　CDU：CBAP®/CCBA®資格更新に必要なポイント（CDU）を取得できます。3年間で60CDUが必要です。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.63）を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
SJE310		<eラーニング> 集中演習 ITサービスマネージャ試験【SM】	¥18,700	180時間	eラーニング	学習開始日				15,29	19	12	開始日にかかわらず学習終了日は6月30日になります
SJV004	休講	データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座 （合格に必要な知識と解答力を養う） 【バーチャル・クラスルーム】	¥115,500	3日	レクチャ								–
SJV005	休講	データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座 （試験直前に模擬試験で得点をUPする） 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	レクチャ								–
SJE309	休講	<eラーニング> 集中演習 データベーススペシャリスト試験【DB】	¥18,700	135時間	eラーニング								–
SJV014	休講	高度試験【PM】【AU】対策講座 実践!論文を書く −添削指導で合格するための論述力を養成する− 【バーチャル・クラスルーム】	¥99,000	2日	レクチャ								–
SJE307	休講	<eラーニング> 集中演習 プロジェクトマネージャ試験【PM】	¥18,700	180時間	eラーニング								–
SJE311	休講	<eラーニング> 集中演習 システム監査技術者試験【AU】	¥18,700	180時間	eラーニング								–

グローバル

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
グローバル 掲載ページ：P. 295 ～													
GBE024		<eラーニング> (PDU)インドビジネスの鉄則 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は56日間です
GBE027		<eラーニング> シミュレーションゲームで学ぶ 異文化コミュニケーション（基礎編）	¥24,200	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
GBE028		<eラーニング> シミュレーションゲームで学ぶ 異文化コミュニケーション（マネジメント編）	¥24,200	2時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
GBE010		<eラーニング> (PDU)グローバルビジネスの基礎 −ビジネスルールと多様性−（基本セット） PDU	¥22,000	4時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
GBE025		<eラーニング> 多様性の理解（グローバルナビゲーター） A. アジア編	¥5,500	3時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
GBE026		<eラーニング> 多様性の理解（グローバルナビゲーター） B. ロシア、インド、イスラム編	¥5,500	3時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
GBE008		<eラーニング> 多様性の理解（グローバルナビゲーター） C.ヨーロッパ編	¥5,500	3時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
GBE009		<eラーニング> 多様性の理解（グローバルナビゲーター） D.アメリカ、オセアニア編	¥5,500	3時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28	4,18,25	4,11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

グリーントランスフォーメーション

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
グリーントランスフォーメーション													
GXE001		<eラーニング> カーボンニュートラルの全体像 −自分事として考えるための基礎知識−（Aidemy社）	¥74,800	5時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です
GXE002		<eラーニング> カーボンニュートラルに向けたアプローチ −企業における見える化と先行事例−（Aidemy社）	¥90,200	4.5時間	eラーニング	学習開始日	2	6	4	8	5	5	サービス有効期間は90日間です

※コース詳細はWebサイトにてご確認ください

ITスキル基礎

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
ITサービス 掲載ページ：P. 15													
SJE340		<eラーニング> ITスキル基礎（ライトパッケージ）	¥138,600	80時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28			開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE341		<eラーニング> ITスキル基礎（フルパッケージ）	¥237,930	177時間	eラーニング	学習開始日	8,15,22	5,12,19,26	3,10,17,24	7,14,21,28			開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

※2025年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

New：新設コース　*Renewal*：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。　CDU：CBAP®/CCBA®資格更新に必要なポイント（CDU）を取得できます。3年間で60CDUが必要です。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.63）を参照ください。

バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）のご案内

「働き方の多様化」に対応して、人財育成においても、「タイム＆ロケーションフリーの新たな学び方」が求められています。日立アカデミーでは、インターネットに接続可能なデバイスがあれば、どこからでもライブで受講できる「バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）」をご提供しています。

バーチャル・クラスルーム のメリット

豊富なコースをどこからでも受講可能

日立アカデミーの専門性の高い豊富なコースを職場や自宅から受講できます。Web会議と同じ機材で受講できるので、特別な準備は不要です。

Web会議と同じ機材でOK



必要なのはPC、インターネット環境、
マイク・スピーカー※

移動は不要



自宅や職場から受講できます

※一部カメラを使用するコースがございます。

講師とのコミュニケーション、グループワークも可能

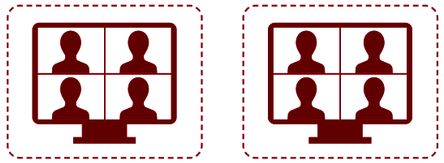
バーチャル・クラスルームは講義を聞くだけではなく、質疑応答やグループワークを通して双方向で学びを深めることができます。
マイクが使えない場合はチャットを利用して研修への参加が可能です。

リアルタイムで質問できます



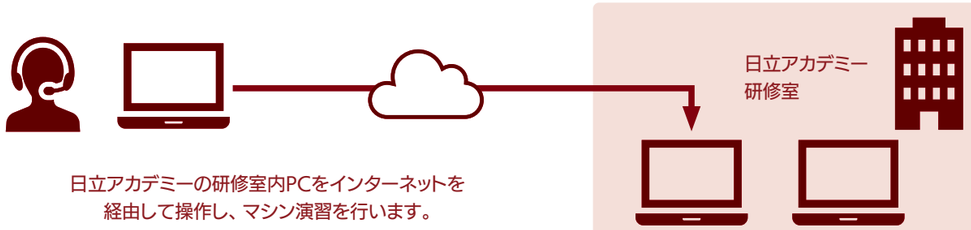
マイク・チャットによる質問

グループディスカッションもできます



マシン演習も可能

日立アカデミーのバーチャル・クラスルームではオンラインでマシン演習が実施できます。
実際のマシン操作をすることで、より理解を深め、技術を修得することができます。



日立アカデミーの研修室内PCをインターネットを
経由して操作し、マシン演習を行います。

バーチャル・クラスルーム の受講環境

Web会議等でご利用のPC、インターネット、マイク・スピーカーをご用意ください。スマートデバイスの利用も可能です。

1 PC（Windows10以降）
ブラウザ（Chrome・Edge）
（iPad/iPhone）



2 マイク・スピーカー
（ヘッドセット）



3 インターネット接続環境



※マシン実習コースでは、PCが必要です。スマートデバイスのみでの学習はできません。
※ご利用に際しツールのインストールが必要です。
※電子教材を使用するコースは、教材共有サービス（SmartSession）で教材を提供いたします（一部、対象外のコースがございます）。

●受講環境の詳細については、当社Webサイトをご確認ください。

日立アカデミーWebサイトトップページ ＞ サービス ＞ オープン研修（日立講習会） ＞ バーチャル・クラスルーム

URL：https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/virtualclassroom/vcr_guide.html

受講環境確認・接続サポート

■受講環境の事前確認ができます

バーチャル・クラスルームの環境確認のために、接続確認サイトをご提供しております。
お申込み前にご受講環境をご確認ください。

■接続確認ページ

日立アカデミーWebサイトトップページ ＞ サービス ＞ オープン研修（日立講習会） ＞ バーチャル・クラスルーム ＞ 接続体験してみよう!

URL：https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/virtualclassroom/popup3.html



■お困りの際は、スタッフがサポートいたします

バーチャル・クラスルームご参加時のトラブルや操作にお困りの際は、スタッフが適切にサポートいたします。



提携コース　オンライン研修

日立アカデミーのオンライン研修の中に一部提携コースがあります。提携各社によって学習環境や利用要領が異なります。詳しくは各コースの詳細情報をご覧ください。

●バーチャル・クラスルームについての詳細は日立アカデミーWebサイトをご覧ください。

日立アカデミーWebサイトトップページ ＞ サービス ＞ オープン研修（日立講習会） ＞ バーチャル・クラスルーム

URL：https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/virtualclassroom/vcr_guide.html

eラーニングコースのご紹介

ビジネススタイルやライフスタイルが多様化する中、自分の空いた時間を有効活用して知識やスキルを修得できる「eラーニング」は、非常に有効な研修方法です。
当社のeラーニングには、当社が提供するオリジナルeラーニングと、他社に委託し提供する提携コースeラーニングがあります。種類やコースによってサービスの利用期間や学習利用環境（PCおよびWeb環境）が異なります。サービスの利用期間については、「開催コース/スケジュール一覧」（P.26～）または当社のWebサイトでご確認ください。学習利用環境については、当社のWebサイトでご確認いただけます。

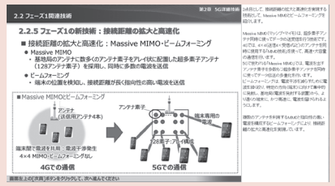
オリジナル e ラーニング

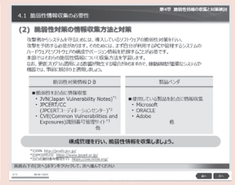
当社にて提供しているeラーニングであり、コースによって、さまざまな学習形態を用意しています。

● 音声不要コース

説明画面と説明文で学習するタイプのeラーニングです。

- 音声再生環境は不要です
- 図表を活用してわかりやすく解説します
- 説明画面のみで学習するコースもあります

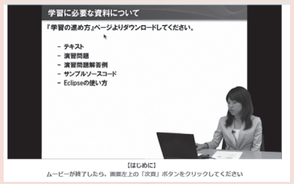




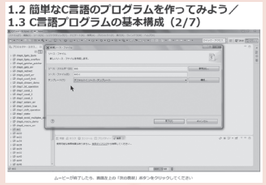
● 音声必須コース

説明画面と説明音声で学習するタイプのeラーニングです。

- 音声再生環境が必要です
- 収録した講義画面と講師の説明音声により、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができます
- 講義のプレゼンテーション画面や業務用アプリケーションなどのソフトウェア操作画面を再現し、講師の説明音声と合わせ、わかりやすく学習できます



講義のプレゼンテーション画面を再現！



ソフトウェア操作画面を再現！

● 音声任意コース

説明画面と説明音声で学習するタイプのeラーニングに、解説文・説明音声の字幕・文字起こし等の文字情報を付け加えたeラーニングです。

- 字幕や文字起こし情報を表示するので音声再生環境がなくても学習いただけます



説明音声を字幕表示！



説明音声の文字起こし情報を表示！

オリジナルeラーニングには、次の特長を持つコースもあります。

● スキル定着を支援する e ラーニング

「知識（わかる）」を「スキル（できる）」に！　スキル定着を支援するeラーニングです。

○ スキル定着を支援する e ラーニングの特長

学習者の「知識（わかる）」を「スキル（できる）」にレベルアップさせる学習経験の機会を拡大し、さらなる主体的、継続的な学習や「実践力（使える）」の養成に向けたスキル定着のプロセスを支援します。

Point 1 繰り返し設問に取り組むことにより、知識がスキルとして定着することを支援します。

Point 2 実務ベースで起こりうるシーンを設問に取り入れているため、すぐに業務に活用できます。

●設問の画面例



●回答の画面例





設問に取り組みます。

自分なりの回答を作成後、回答例を確認します。

さらなるレベルアップをめざした継続的な学習や実践力養成をめざしたスキル定着を支援するｅラーニング！

● マシン演習付きオリジナル e ラーニング

従来のコンテンツによる学習やテストに加え、クラウド上のマシン環境で操作演習できるeラーニングです。

○ マシン演習付きオリジナル e ラーニングの特長

学習者主体の学びが実現できるeラーニングに、クラウド上のマシン演習環境を合わせてご提供いたします。eラーニングで理解した内容をクラウド上のマシンで操作演習し、知識とスキルを定着させます。

Point 1 Web ブラウザとインターネット環境があれば、実機演習を用いた学習をすぐに開始できます。
※学習教材はPDFファイルにて提供いたします。

Point 2 ご自身のペースで実機演習に取り組めます。

Point 3 受講期間中は、何度でもマシン演習環境を利用できます。

●学習教材 閲覧画面



●マシン演習 操作画面



操作演習用テキスト（PDF）をダウンロード

クラウド活用により迅速に演習環境を提供

実機演習を中心に知識とスキルを身につけるタイプのｅラーニング！

提携コース e ラーニング

提携コースeラーニングは、各社に委託し提供しているeラーニングです。
このeラーニングは、提携各社のサービスを利用します。
（学習利用環境、学習要領など提携各社ごとに異なりますので、あらかじめご了承ください）

提携コースeラーニングには、以下のコースがあります。

- アイテック社　情報処理技術者試験対策eラーニングコース
- SBI大学院 eラーニングコース
- ライトワークス社 Microsoft Officeシリーズ eラーニングコース
- STANDARD社 eラーニングコース
- プラーナー社 eラーニングコース
- Study-AI社 eラーニングコース
- ITプレナーズ社　ITIL®4ファンデーションeラーニングコース
- Aidemy社 eラーニングコース

eラーニングの学習利用環境

eラーニングのコースによって学習利用環境が異なります。

学習利用環境　学習利用環境については、下記のURLをご確認ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning

eラーニングの利用期間

（1）オリジナルeラーニングの利用期間

開始日にかかわらず学習終了日は各期の当社最終営業日となります。（3月末または9月末）
開始日によっては最大6ヶ月の利用期間となりますが、期末に近い開始日では利用期間が短くなりますので、お申し込み時に確認をお願いいたします。
なお、マシン演習付きオリジナルeラーニングと提携コースeラーニングは、従来どおりコースごとに設定された利用期間で変更はございません。

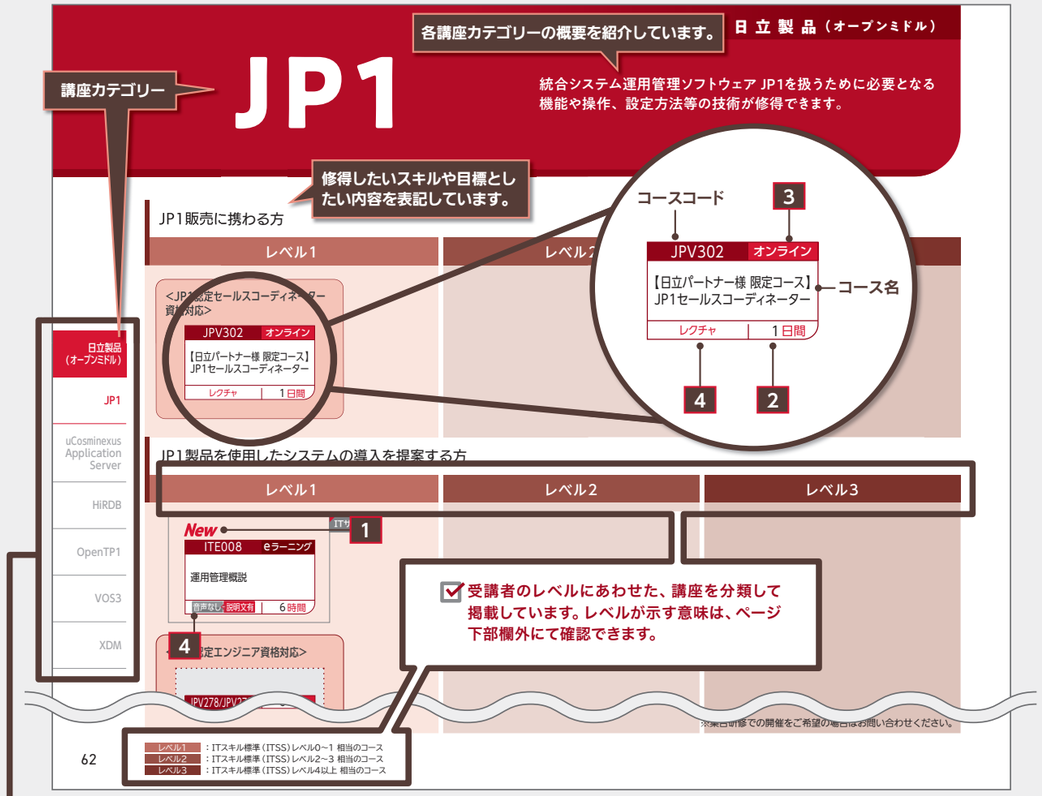
（2）利用時間

メンテナンス日を除き、サービスの利用時間は24時間365日となります。メンテナンスの日程は当社のWebサイトでお知らせします。

講座別コースフロー／コースカリキュラム

お客さまの人財育成に役立てていただけるよう適切な体系を考え、また各種スキル標準に沿ったかたちで、さまざまなカリキュラムをご用意しています。40の講座カテゴリーに分類し、体系的に学習し、効率的なスキルアップを図れるよう、コースフローを紹介しています。

コースフロー参照の POINT!



講座カテゴリー

日立製品研修

日立製品（オープンミドル）
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HiRDB
- OpenTP1
- VOS3
- XDM

日立製品（ハードウェア／ストレージ）

IT／ビジネス研修

デジタルトランスフォーメーション
- デジタル導入
- セールス／フロント
- サービス
- イノベーション
- データサイエンス
- プロセス／プロダクト

ビジネス
- 経営力
- 思考力／考え抜く力
- チームで働く力
- 前に踏み出す力
- 目的別（コンプライアンス／業種・業界／ビジネス教養）

プロジェクトマネジメント
- プロジェクトマネジメント
- プロジェクトマネジメント資格取得

ビジネスアーキテクト

開発／基盤
- クラウド
- モダン開発（アジャイル開発含む）
- 開発工程全般・企画・設計
- プログラミング・情報技術
- 品質・技法・信頼性
- セキュリティ
- プラットフォーム（Linux/Microsoft）
- IT サービス

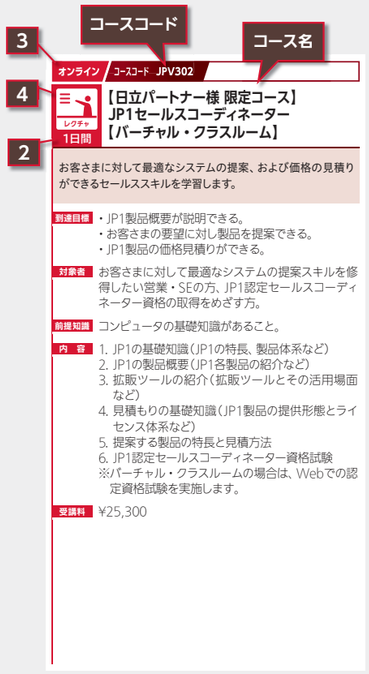
プロダクト（IT）
- 基盤製品（データベース）
- 基盤製品（ネットワーク）
- ミドル・アプリケーション製品
- RPA 製品
- IoT

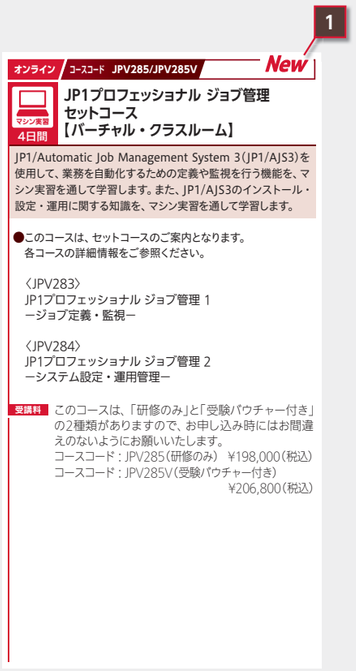
設計・モノづくり（OT）
- 電気・計測制御
- 機械・設計技法
- 生産・サプライチェーンエンジニアリング
- 製造・モノづくり基盤技術

情報処理技術者試験対策

グローバル

コースカリキュラム参照の POINT!





アイコン凡例

1 開催区分

New 新設コース　Renewal 改訂コース

休講 今期の定期開催はありません

2 開催日数／平均学習時間

コースの開催日数となります。
e ラーニング、自習テキストの場合は平均学習時間を表記しています。

3 受講方法

受講方法は大きく4種類があります。学習形態をご確認の上、講座をお選びください。

オンライン（バーチャル・クラスルーム）	集合研修	eラーニング	自習テキスト
オンライン環境で日立アカデミーの研修をライブで受講できる講座です。	研修会場へご来場いただき、講座を受講していただく講座です。	インターネットに接続し、オンデマンドコンテンツで学習いただく講座です。	自習書で独習いただく講座です。

4 学習形態・e ラーニング利用環境

学習形態により学習利用環境が異なりますので、Web サイトをご参照のうえ、事前に環境をご確認ください。

バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）／集合研修

- マシン実習：原則として1人1台のマシンを使用しながらの研修
- グループ演習：グループ演習を中心とした研修
- レクチャ：座学による研修

eラーニング

- 音声有＋説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
- 音声有＋説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- 音声なし＋説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- 音声なし＋説明文なし：説明画面で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

JP1

統合システム運用管理ソフトウェア JP1を扱うために必要となる
機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。

JP1販売に携わる方

レベル1

<JP1認定セールススコーディネーター資格対応>

JPV302 オンライン
【日立パートナー様 限定コース】
JP1セールススコーディネーター
レクチャ | 1日間

JP1製品を使用したシステムの導入を提案する方

レベル1

ITサービス

ITE008 eラーニング
運用管理概説
音声なし・説明文有 | 6時間

<JP1認定エンジニア資格対応>

JPV278/JPV278V オンライン
JP1エンジニアー機能概説−
レクチャ | 1日間

または

※
JPJ278/JPJ278T 集合
JP1エンジニアー機能概説−
レクチャ | 1日間

JPV306 オンライン
JP1操作入門
マシン実習 | 1日間

または

JPJ306 集合
JP1操作入門
マシン実習 | 1日間

JPE016 eラーニング
JP1機能概説
(Version 11)
音声なし・説明文有 | 6時間

※集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

JP1統合管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

レベル1

<JP1認定エンジニア資格対応>

JPV278/JPV278V オンライン
JP1エンジニアー機能概説−
レクチャ | 1日間

または

※
JPJ278/JPJ278T 集合
JP1エンジニアー機能概説−
レクチャ | 1日間

JPV306 オンライン
JP1操作入門
マシン実習 | 1日間

または

JPJ306 集合
JP1操作入門
マシン実習 | 1日間

JPE016 eラーニング
JP1機能概説
(Version 11)
音声なし・説明文有 | 6時間

レベル2

<JP1認定プロフェッショナル（統合管理）資格対応>

JPV308 オンライン
JP1プロフェッショナル
統合管理 1−システム監視−
マシン実習 | 3日間

または

JPJ308 集合
JP1プロフェッショナル
統合管理 1−システム監視−
マシン実習 | 3日間

または

JPE331 eラーニング
【マシン演習付き】
JP1プロフェッショナル
統合管理 1−システム監視−
音声有・説明文なし | 18時間

JPV309/JPV309V オンライン
JP1プロフェッショナル
統合管理 2−システム設定−
マシン実習 | 2日間

または

JPJ309/JPJ309T 集合
JP1プロフェッショナル
統合管理 2−システム設定−
マシン実習 | 2日間

または

JPE332 eラーニング
【マシン演習付き】
JP1プロフェッショナル
統合管理 2−システム設定−
音声有・説明文なし | 12時間

または

JPV310/JPV310V オンライン
JP1プロフェッショナル
統合管理 セットコース
マシン実習 | 5日間

または

JPJ310/JPJ310T 集合
JP1プロフェッショナル
統合管理 セットコース
マシン実習 | 5日間

JPE017 eラーニング
【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ！JP1/IM管理1
−システム監視−(Version 11)
音声有・説明文なし | 12時間

JPE018 eラーニング
【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ！JP1/IM管理2
−システム設定−(Version 11)
音声有・説明文なし | 12時間

JPE329 eラーニング
【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ！JP1/IM管理1
−システム監視−(Version 12)
音声有・説明文なし | 12時間

JPE330 eラーニング
【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ！JP1/IM管理2
−システム設定−(Version 12)
音声有・説明文なし | 12時間

レベル3

※集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

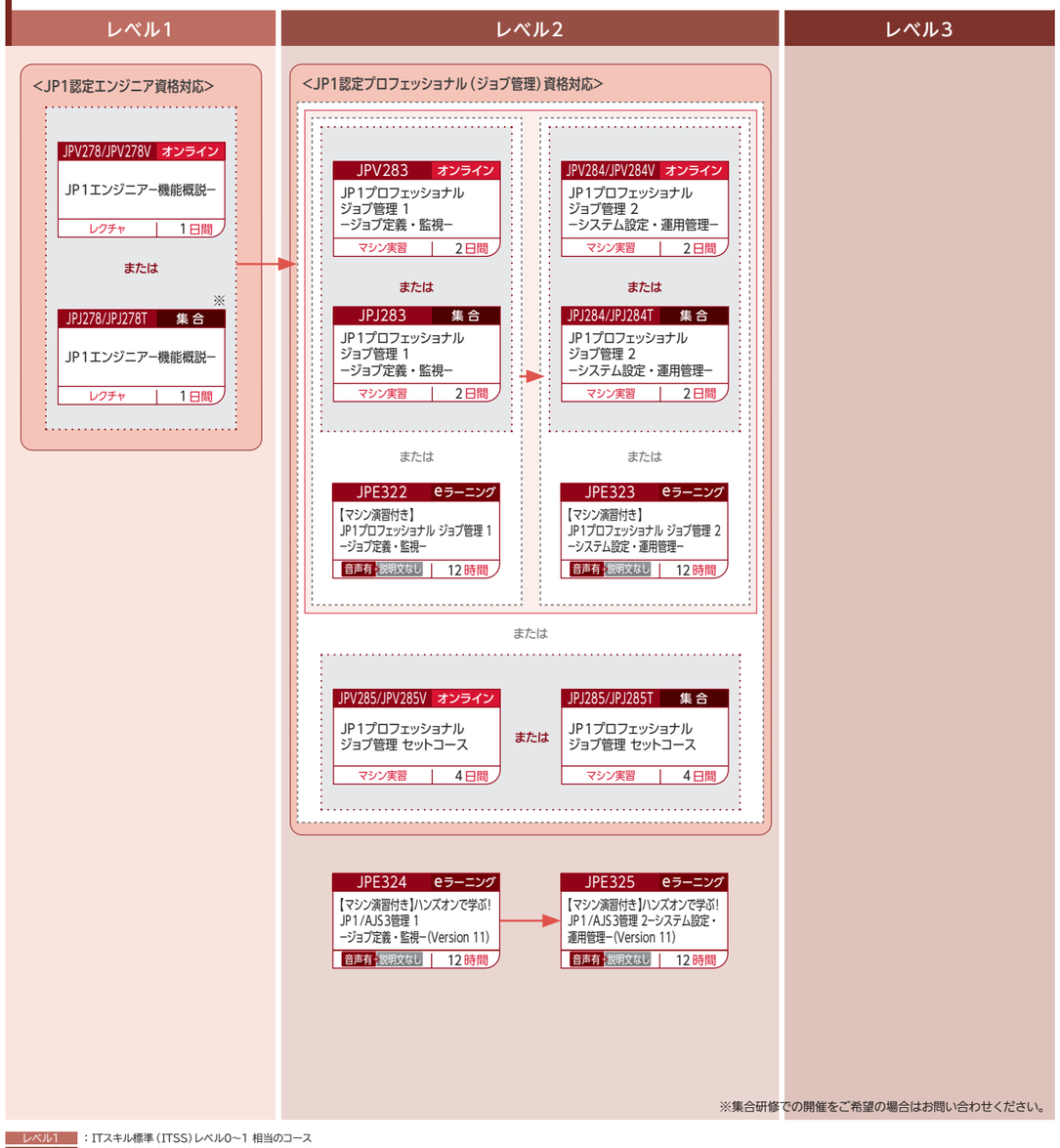
音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

日立製品（オープンミドル）
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM

JP1 IT運用自動化製品を使用したシステムを構築・運用する方



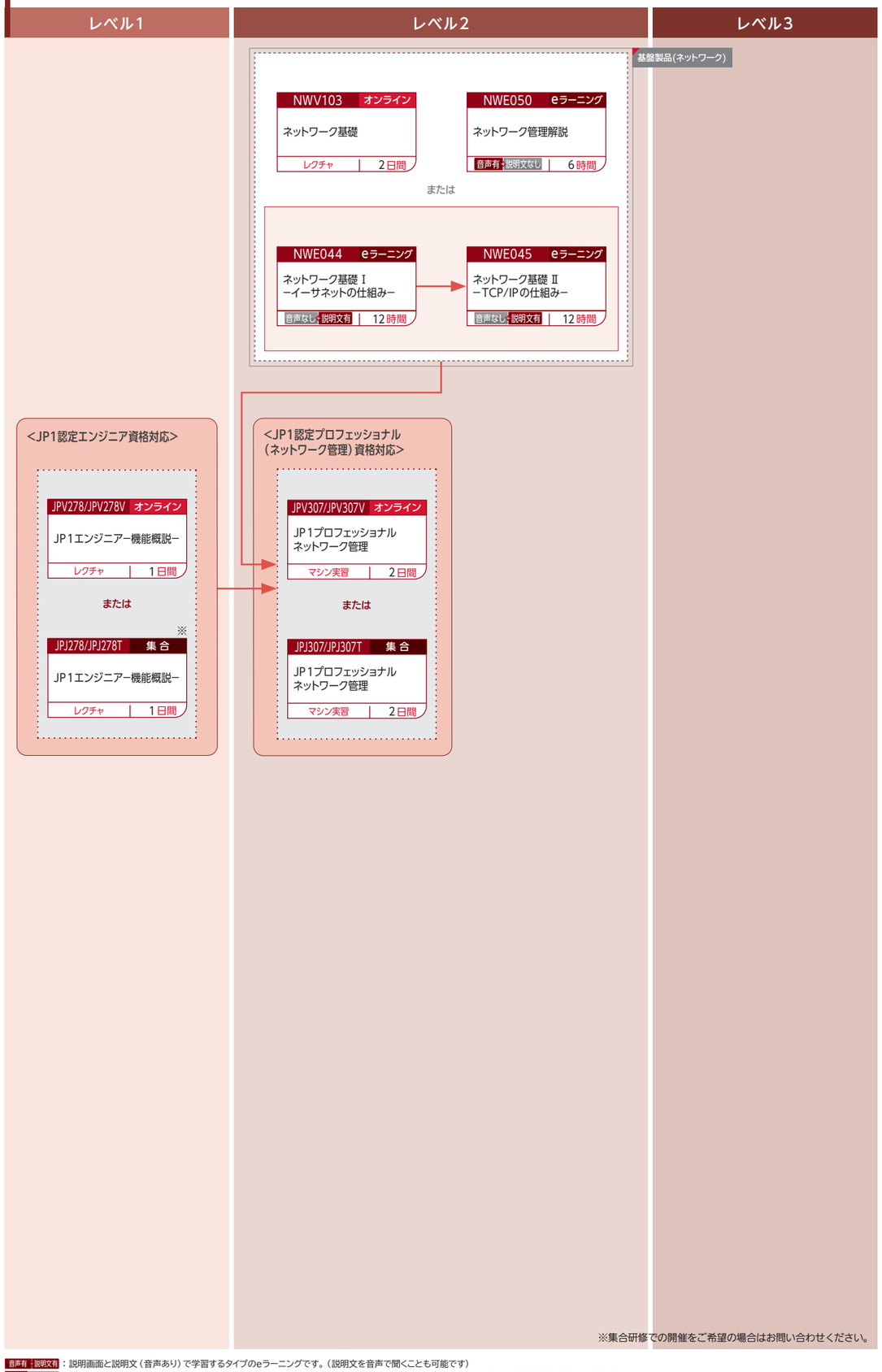
JP1ジョブ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



※集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

JP1ネットワーク管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



※集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

日立製品（オープンミドル）
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM

JP1資産・配布管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

レベル1	レベル2	レベル3
<JP1認定エンジニア資格対応> JPV278/JPV278V オンライン JP1エンジニアー機能概説ー レクチャ 1日間 または ※ JPJ278/JPJ278T 集合 JP1エンジニアー機能概説ー レクチャ 1日間	<JP1認定プロフェッショナル（資産・配布管理）資格対応> JPV305/JPV305V オンライン JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 マシン実習 2日間 または ※ JPJ305/JPJ305T 集合 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 マシン実習 2日間	

JP1セキュリティ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

レベル1	レベル2	レベル3
<JP1認定エンジニア資格対応> JPV278/JPV278V オンライン JP1エンジニアー機能概説ー レクチャ 1日間 または ※ JPJ278/JPJ278T 集合 JP1エンジニアー機能概説ー レクチャ 1日間 セキュリティ SCE016 eラーニング 情報技術者に求められるセキュリティの基礎ー要素技術（暗号、認証）編ー 音声有 説明文有 6時間	<JP1認定プロフェッショナル（セキュリティ管理）資格対応> JPV295/JPV295V オンライン JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 マシン実習 1日間 または ※ JPJ295/JPJ295T 集合 JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 マシン実習 1日間	

※集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

JP1パフォーマンス管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

レベル1	レベル2	レベル3
<JP1認定エンジニア資格対応> JPV278/JPV278V オンライン JP1エンジニアー機能概説ー レクチャ 1日間 または ※ JPJ278/JPJ278T 集合 JP1エンジニアー機能概説ー レクチャ 1日間	<JP1認定プロフェッショナル（パフォーマンス管理）資格対応> JPV282/JPV282V オンライン JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 マシン実習 2日間 または 休講 JPJ282/JPJ282T 集合 JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 マシン実習 2日間 または JPE328 eラーニング 【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 音声有 説明文なし 12時間 JPE019 eラーニング 【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ！JP1/PFM（Version 11） 音声有 説明文なし 12時間	

JP1バックアップ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

レベル1	レベル2	レベル3
<JP1認定エンジニア資格対応> JPV278/JPV278V オンライン JP1エンジニアー機能概説ー レクチャ 1日間 または ※ JPJ278/JPJ278T 集合 JP1エンジニアー機能概説ー レクチャ 1日間	<JP1認定プロフェッショナル（バックアップ管理）資格対応> JPV287/JPV287V オンライン JP1プロフェッショナル バックアップ管理 マシン実習 1日間 または ※ JPJ287/JPJ287T 集合 JP1プロフェッショナル バックアップ管理 マシン実習 1日間	

※集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

JP1の各カテゴリ製品のシステム設計をする方

レベル1

<JP1認定エンジニア資格対応>

JPV278/JPV278V オンライン
JP1エンジニアー機能概説ー
レクチャ | 1日間

または

※
JPJ278/JPJ278T 集合
JP1エンジニアー機能概説ー
レクチャ | 1日間

JPV306 オンライン
JP1操作入門
マシン実習 | 1日間

または

JPJ306 集合
JP1操作入門
マシン実習 | 1日間

レベル2

JPV283 オンライン
JP1プロフェッショナル
ジョブ管理 1
ージョブ定義・監視ー
マシン実習 | 2日間

または

JPJ283 集合
JP1プロフェッショナル
ジョブ管理 1
ージョブ定義・監視ー
マシン実習 | 2日間

JPV284/JPV284V オンライン
JP1プロフェッショナル
ジョブ管理 2
ーシステム設定・運用管理ー
マシン実習 | 2日間

または

JPJ284/JPJ284T 集合
JP1プロフェッショナル
ジョブ管理 2
ーシステム設定・運用管理ー
マシン実習 | 2日間

または

JPV285/JPV285V オンライン
JP1プロフェッショナル
ジョブ管理 セットコース
マシン実習 | 4日間

または

JPJ285/JPJ285T 集合
JP1プロフェッショナル
ジョブ管理 セットコース
マシン実習 | 4日間

<JP1認定コンサルタント（ジョブ管理）資格対応>

JPV298 オンライン
JP1コンサルタント
ジョブ管理
ーシステム設計編ー
レクチャ | 1日間

JPV299/JPV299V オンライン
JP1コンサルタント
ジョブ管理ーチューニング編ー
レクチャ | 1日間

または

※
JPJ299/JPJ299T 集合
JP1コンサルタント
ジョブ管理ーチューニング編ー
レクチャ | 1日間

<JP1認定コンサルタント（資産・配布管理）資格対応>

JPV305/JPV305V オンライン
JP1プロフェッショナル
資産・配布管理
マシン実習 | 2日間

または

JPJ305/JPJ305T 集合
JP1プロフェッショナル
資産・配布管理
マシン実習 | 2日間

JPV300/JPV300V オンライン
JP1コンサルタント
資産・配布管理
レクチャ | 1日間

または

※
JPJ300/JPJ300T 集合
JP1コンサルタント
資産・配布管理
レクチャ | 1日間

レベル3

※集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

レベル1

レベル2

JPV308 オンライン
JP1プロフェッショナル
統合管理 1ーシステム監視ー
マシン実習 | 3日間

または

JPJ308 集合
JP1プロフェッショナル
統合管理 1ーシステム監視ー
マシン実習 | 3日間

JPV309/JPV309V オンライン
JP1プロフェッショナル
統合管理 2ーシステム設定ー
マシン実習 | 2日間

または

JPJ309/JPJ309T 集合
JP1プロフェッショナル
統合管理 2ーシステム設定ー
マシン実習 | 2日間

または

JPV310/JPV310V オンライン
JP1プロフェッショナル
統合管理 セットコース
マシン実習 | 5日間

または

JPJ310/JPJ310T 集合
JP1プロフェッショナル
統合管理 セットコース
マシン実習 | 5日間

<JP1認定コンサルタント（統合管理）資格対応>

JPV312/JPV312V オンライン
JP1コンサルタント
統合管理
レクチャ | 1日間

または

※
JPJ312/JPJ312T 集合
JP1コンサルタント
統合管理
レクチャ | 1日間

<JP1認定コンサルタント（パフォーマンス管理）資格対応>

JPV282/JPV282V オンライン
JP1プロフェッショナル
パフォーマンス管理
マシン実習 | 2日間

休講 または

JPJ282/JPJ282T 集合
JP1プロフェッショナル
パフォーマンス管理
マシン実習 | 2日間

JPV297/JPV297V オンライン
JP1コンサルタント
パフォーマンス管理
レクチャ | 1日間

または

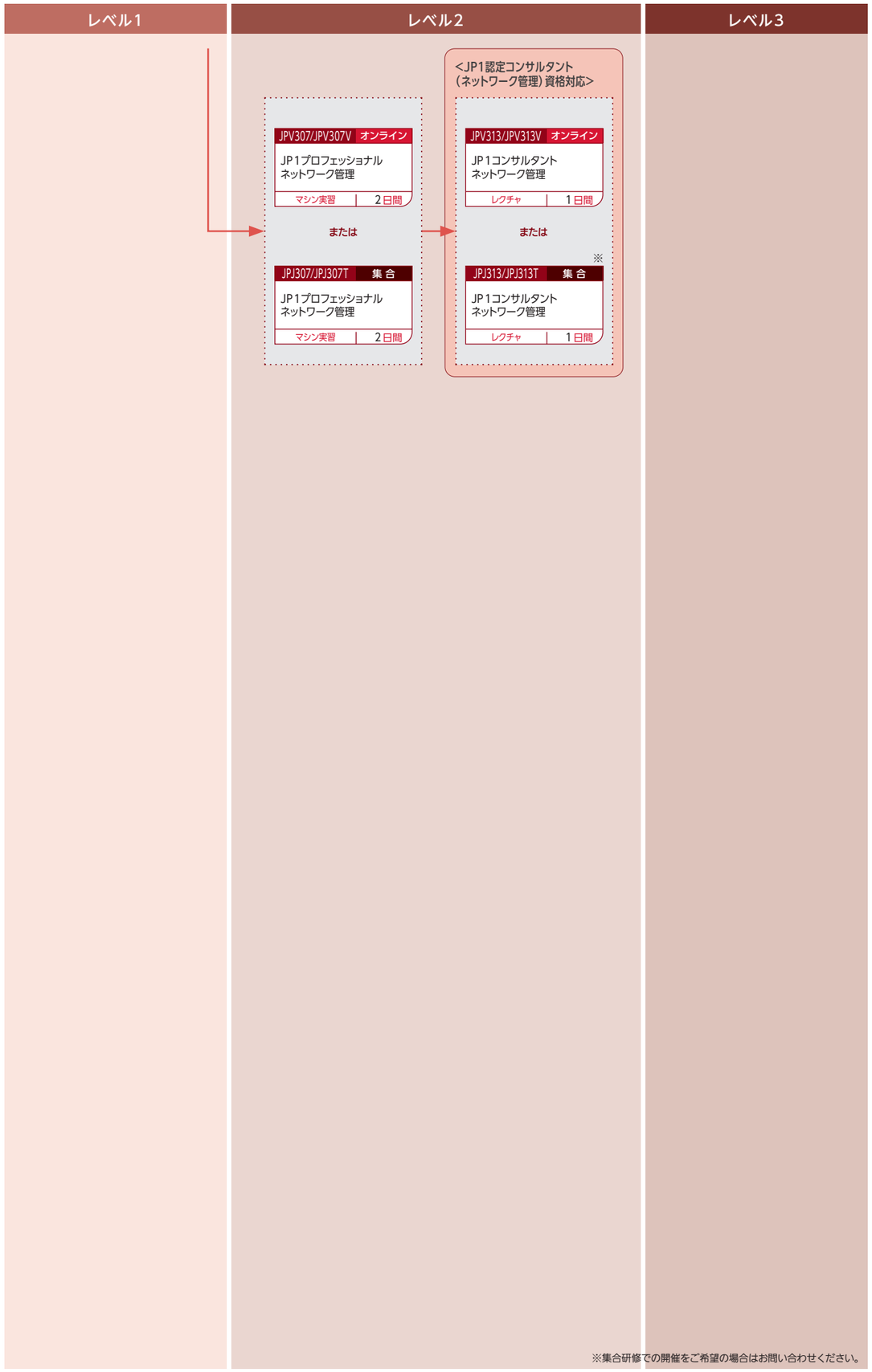
※
JPJ297/JPJ297T 集合
JP1コンサルタント
パフォーマンス管理
レクチャ | 1日間

レベル3

※集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

音声有：説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有：説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし：説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

日立製品（オープンミドル）
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM



※集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度 ── オープンミドルウェア編

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度（オープンミドルウェア編）は、JP1製品を対象に、一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。セールスからシステム構築・運用、アプリケーション開発まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

資格取得をサポート

試験合格をサポートする学習コース「講座」もご用意しております。講座は、試験に準拠した内容となっており、かつ高度な知識やノウハウを体系的・効率的に学べる、と大変好評をいただいております。

信頼と安心の技術者資格認定

資格取得者は、そのスキルレベルを客観的に示すことができ、日立オープンミドルウェア各製品をご利用いただくお客さま、ソリューションやサービスを提供する方々から高い信頼と評価を得ることができます。また、人材育成や技術者のテクニカルスキルをはかる尺度としても活用できます。

資格取得者の特典

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度では、資格取得者に対して専用のWebサイトをご用意し、資格のバージョンアップや継続してスキルアップを図るための技術情報をご提供しております。（ご希望の方にはメールでもご案内しております。）
また、認定証や名刺に貼ってご利用いただける認定ロゴシールや印刷して使用できるロゴも資格者専用の会員サイトにてご提供しております。

＜受験にあたってのお願い＞
- 受験当日は、ご本人を確認できる顔写真付き証明書（免許証、従業員証、パスポートなど）を忘れずにご持参ください。ご持参いただかない場合は、受験が無効になることがありますので、ご注意ください。
- 認定試験はマークシート方式のため、鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック製消しゴムをご持参ください。
- 試験付コースをお申し込みの場合は、お申し込みの情報を日立オープンミドルウェア技術者認定センターに提供いたします。

JP1 技術者資格認定試験一覧

試験名		試験内容	認定基準	試験時間
JP1認定エンジニア	CBT 日立	試験問題20問	70%以上正解	40分
JP1認定プロフェッショナル （各カテゴリ別認定） ・統合管理 ・パフォーマンス管理（Version 12対応） ・ジョブ管理 ・資産・配布管理 ・セキュリティ管理 ・ネットワーク管理 ・バックアップ管理	CBT 日立	試験問題30問	70%以上正解	60分
JP1認定コンサルタント （各カテゴリ別認定） ・統合管理 ・パフォーマンス管理（Version 12対応） ・ジョブ管理 ・資産・配布管理 ・ネットワーク管理	CBT 日立	試験問題30問	70%以上正解	60分
JP1認定セールスコーディネーター※	CBT 日立	試験問題20問	70%以上正解	30分

CBT CBT試験サービス会社で受験できる試験　日立 当社で研修とともに受験できる試験

※日立パートナー様のみ受験可能です。

資格認定試験は、（株）日立製作所が提供するものです。
運営は、（株）日立アカデミーおよびCBT試験サービス会社に委託しています。

※受験可能なCBT試験サービス会社は下記のWebサイトでお確かめください。

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度サイト ▶▶ JP1 http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/jp1/event/cert/index.html

● JP1 技術者資格認定制度の詳細・最新情報について
http://www.hitachi.co.jp/products/it/cert/middleware/index.html

● （株）日立製作所 マネージド & プラットフォームサービス事業部 日立オープンミドルウェア技術者認定センター お問い合わせ窓口
https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp

日立製品（オープンミドル）
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM

JP1技術者資格認定制度（Version 13対応）

※旧Versionについては日立オープンミドルウェア技術者認定センターまでお問い合わせください。

JP1

JP1技術者資格認定制度は、JP1の一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。
セールスからシステム構築・運用まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「JP1試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

JP1 技術者資格認定一覧

資格名	認定スキル
JP1認定エンジニア　<*Certified JP1 Engineer*>	JP1全般の理解、および運用に必要なテクニカルスキルを修得したエンジニアを認定します。
JP1認定プロフェッショナル　<*Certified JP1 Professional*> ・統合管理　・パフォーマンス管理（Version 12対応となります） ・ジョブ管理　・資産・配布管理 ・セキュリティ管理　・ネットワーク管理　・バックアップ管理	JP1各カテゴリ製品の導入とシステム構築ができるテクニカルスキルを修得したエンジニアをカテゴリごとに認定します。
JP1認定コンサルタント　<*Certified JP1 Consultant*> ・統合管理　・パフォーマンス管理（Version 12対応となります） ・ジョブ管理　・資産・配布管理　・ネットワーク管理	JP1各カテゴリ製品について、最適なコンサルテーションができるテクニカルスキルを修得したエンジニアを、カテゴリごとに認定します。
JP1認定セールスコーディネーター　<*Certified JP1 Sales Coordinator*>※	お客さまに対し最適なJP1の提案・見積もりができるセールススキルを修得したエンジニアを認定します。

※日立パートナー様のみ受験可能です。

JP1 技術者資格認定制度の体系

構築・運用エンジニア　JP1 の構築・運用に携わる方

コース名 JP1 操作入門 ▶ 【資格名】JP1 認定エンジニア（コース名 JP1 エンジニア） ▶ 【資格名】JP1 認定プロフェッショナル（※1）（コース名 JP1 プロフェッショナル） ▶ 【資格名】JP1 認定コンサルタント（※2）（コース名 JP1 コンサルタント）

（※1）「JP1認定プロフェッショナル」には機能カテゴリごとに認定講座、認定試験があります。　（※2）「JP1認定コンサルタント」には機能カテゴリごとに認定講座、認定試験があります。

セールスエンジニア　JP1 の販売に携わる方

コース名 JP1 操作入門 ▶ 【資格名】JP1 認定セールスコーディネーター ※（コース名 JP1 セールスコーディネーター）

※日立パートナー様のみ受験可能です。

JP1 技術者資格認定制度における出題範囲

試験名	試験の出題範囲
JP1認定エンジニア	「JP1エンジニアー機能概説ー」（コースコード：JPV278、JPJ278）のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル 統合管理	「JP1プロフェッショナル 統合管理 1 ーシステム監視ー」（コースコード：JPV308、JPJ308）、「JP1プロフェッショナル 統合管理 2 ーシステム設定ー」（コースコード：JPV309、JPJ309）のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル パフォーマンス管理（Version12対応となります）	「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理」（コースコード：JPV282、JPJ282）のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル ジョブ管理	「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 ージョブ定義・監視ー」（コースコード：JPV283、JPJ283）、「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 ーシステム設定・運用管理ー」（コースコード：JPV284、JPJ284）のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル 資産・配布管理	「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理」（コースコード：JPV305、JPJ305）、のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル ネットワーク管理	「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理」（コースコード：JPV307、JPJ307）のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル バックアップ管理	「JP1プロフェッショナル バックアップ管理」（コースコード：JPV287、JPJ287）のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル セキュリティ管理	「JP1プロフェッショナル セキュリティ管理」（コースコード：JPV295、JPJ295）のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント 統合管理	「JP1コンサルタント 統合管理」（コースコード：JPV312、JPJ312）、「JP1プロフェッショナル 統合管理 1 ーシステム監視ー」（コースコード：JPV308、JPJ308）、「JP1プロフェッショナル 統合管理 2 ーシステム設定ー」（コースコード：JPV309、JPJ309）のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント パフォーマンス管理（Version12対応となります）	「JP1コンサルタント　パフォーマンス管理」（コースコード：JPV297、JPJ297）、「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理」（コースコード：JPV282、JPJ282）のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント ジョブ管理	「JP1コンサルタント ジョブ管理ーシステム設計編ー」（コースコード：JPV298、JPJ298）、「JP1コンサルタント ジョブ管理ーチューニング編ー」（コースコード：JPV299、JPJ299）、「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 ージョブ定義・監視ー」（コースコード：JPV283、JPJ283）、「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 ーシステム設定・運用管理ー」（コースコード：JPV284、JPJ284）のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント 資産・配布管理	「JP1コンサルタント 資産・配布管理」（コースコード：JPV300、JPJ300）、「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 」（コースコード：JPV305、JPJ305）、のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント ネットワーク管理	「JP1コンサルタント ネットワーク管理」（コースコード：JPV313、JPJ313）、「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理」（コースコード：JPV307、JPJ307）のテキスト内容から出題
JP1認定セールスコーディネーター※	「JP1セールスコーディネーター」（コースコード：JPV302）のテキスト内容から出題　※日立パートナー様のみ受験可能です。

オンライン / コースコード JPV302

レクチャ 1日間

【日立パートナー様 限定コース】JP1セールスコーディネーター【バーチャル・クラスルーム】

お客さまに対して最適なシステムの提案、および価格の見積りができるセールススキルを学習します。

到達目標
・JP1製品概要が説明できる。
・お客さまの要望に対し製品を提案できる。
・JP1製品の価格見積りができる。

対象者 お客さまに対して最適なシステムの提案スキルを修得したい営業・SEの方、JP1認定セールスコーディネーター資格の取得をめざす方。

前提知識 コンピュータの基礎知識があること。

内 容
1. JP1の基礎知識（JP1の特長、製品体系など）
2. JP1の製品概要（JP1各製品の紹介など）
3. 拡販ツールの紹介（拡販ツールとその活用場面など）
4. 見積もりの基礎知識（JP1製品の提供形態とライセンス体系など）
5. 提案する製品の特長と見積方法
6. JP1認定セールスコーディネーター資格試験

※バーチャル・クラスルームの場合は、Webでの認定資格試験を実施します。

受講料 ¥25,300

オンライン / コースコード JPV278/JPV278V

レクチャ 1日間

JP1エンジニアー機能概説ー【バーチャル・クラスルーム】

すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。

到達目標
・JP1製品の特長が説明できる。
・各管理製品にどのような製品があるか説明できる。
・各管理の主要製品の主な機能を説明できる。

対象者 JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売する方、JP1認定エンジニア資格の取得をめざす方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。

内 容
1. JP1の基礎知識
2. Intelligence
3. Intelligent Monitoring
4. Intelligent Automation
5. Intelligent Governance

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPV278（研修のみ）　¥44,000（税込）
コースコード：JPV278V（受験バウチャー付き）　¥50,600（税込）

オンライン / コースコード JPV306

マシン実習 1日間

JP1操作入門【バーチャル・クラスルーム】

JP1の代表的な5製品の基本操作を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・JP1の主要5製品の特長を説明できる。
・JP1/Automatic Job Management System3（ジョブ管理）で業務を自動実行するための基本操作ができる。
・JP1/IT Desktop Management2（資産・配布管理）で資産管理をするための基本操作ができる。
・JP1/Cm2/Network Node Manager i（ネットワーク管理）でネットワークの監視をするための基本操作ができる。
・JP1/Performance Management（パフォーマンス管理）で稼働情報を監視するための基本操作ができる。

対象者 JP1を使用してシステム運用管理をする方。JP1の導入を検討する方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知で、かつMicrosoft Windowsの操作経験があること。

内 容
1. システム運用管理とJP1
2. ジョブ管理の操作入門
3. 資産・配布管理の操作入門
4. ネットワーク管理の操作入門
5. パフォーマンス管理の操作入門
6. 統合管理の操作入門

受講料 ¥44,000

集 合 / コースコード JPJ306

マシン実習 1日間

JP1操作入門

JP1の代表的な5製品の基本操作を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・JP1の主要5製品の特長を説明できる。
・JP1/Automatic Job Management System3（ジョブ管理）で業務を自動実行するための基本操作ができる。
・JP1/IT Desktop Management2（資産・配布管理）で資産管理をするための基本操作ができる。
・JP1/Cm2/Network Node Manager i（ネットワーク管理）でネットワークの監視をするための基本操作ができる。
・JP1/Performance Management（パフォーマンス管理）で稼働情報を監視するための基本操作ができる。

対象者 JP1を使用してシステム運用管理をする方。JP1の導入を検討する方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知で、かつMicrosoft Windowsの操作経験があること。

内 容
1. システム運用管理とJP1
2. ジョブ管理の操作入門
3. 資産・配布管理の操作入門
4. ネットワーク管理の操作入門
5. パフォーマンス管理の操作入門
6. 統合管理の操作入門

受講料 ¥44,000

オンライン / コースコード JPV308

マシン実習 3日間

JP1プロフェッショナル 統合管理 1 ーシステム監視ー【バーチャル・クラスルーム】

JP1/Integrated Management（JP1/IM）を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・統合管理の概要を説明できる。
・統合オペレーション・ビューアー、セントラルコンソールを使って事象監視ができる。
・監視画面のカスタマイズができる。
・システム障害の絞り込みができる。
・システム障害の調査・対処ができる。
・他製品と連携したシステム状況の把握ができる。
・統合管理のカスタマイズができる。

対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方。JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1エンジニアー機能概説ー」コース、または「JP1操作入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 統合管理の概要
2. システム監視
   （1）システム監視の基本操作
   （2）監視画面の表示設定
   （3）監視対象のJP1イベントの絞り込み
3. システム障害の検知
   （1）監視画面での状況把握
   （2）障害イベント発生時の通報・対処の自動化
4. システム障害の調査・対処
   （1）コマンド実行による調査および対処
   （2）対処アクションの提案機能
   （3）ガイド情報の表示
   （4）JP1イベントにメモ情報を設定
5. 統合管理のカスタマイズ

受講料 ¥165,000

オンライン / コースコード JPV309/JPV309V

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル 統合管理 2 ーシステム設定ー【バーチャル・クラスルーム】

JP1/Integrated Management（JP1/IM）のインストール、設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
・マネージャ、エージェントを構築できる。
・認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
・ログファイル監視の設定ができる。
・稼働監視の設定ができる。
・他製品と連携した監視の設定ができる。
・イベントを管理しやすく設定できる。

対象者 JP1/IMのシステム構築をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1ーシステム監視ー」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内 容
1. 統合管理の導入
   （1）インストール
   （2）IMデータベースの構築
   （3）インテリジェント統合管理の有効化
   （4）サービスの起動・終了
2. 統合管理の設定
   （1）構成管理の設定
   （2）JP1イベントの転送設定
   （3）リモートログ監視の構成管理の設定
   （4）インテリジェント統合管理の設定
3. ユーザー管理機能
   （1）ユーザー認証の設定
   （2）認証サーバの閉塞
   （3）ユーザーマッピングの設定
4. 監視対象の設定
   （1）インテリジェント統合管理の監視設定
   （2）アプリケーション

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPV309（研修のみ）　¥110,000（税込）
コースコード：JPV309V（受験バウチャー付き）　¥118,800（税込）

オンライン　コースコード　JPV310/JPV310V

JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 5日間

JP1/Integrated Management（JP1/IM）を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/IMのインストール・設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。
各コースの詳細情報をご参照ください。

〈JPV308〉
JP1プロフェッショナル 統合管理 1ーシステム監視ー

〈JPV309〉
JP1プロフェッショナル 統合管理 2ーシステム設定ー

受講料 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPV310（研修のみ）　¥253,000（税込）
コースコード：JPV310V（試験付）　¥261,800（税込）

集合　コースコード　JPJ308

JP1プロフェッショナル 統合管理 1ーシステム監視ー

マシン実習 3日間

JP1/Integrated Management（JP1/IM）を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・統合管理の概要を説明できる。
・統合オペレーション・ビューアー、セントラルコンソールを使って事象監視ができる。
・監視画面のカスタマイズができる。
・システム障害の絞り込みができる。
・システム障害の調査・対処ができる。
・他製品と連携したシステム状況の把握ができる。
・統合管理のカスタマイズができる。

対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方。JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1エンジニアー機能概説ー」コース、または「JP1操作入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 統合管理の概要
2. システム監視
　（1）システム監視の基本操作
　（2）監視画面の表示設定
　（3）監視対象のJP1イベントの絞り込み
3. システム障害の検知
　（1）監視画面での状況把握
　（2）障害イベント発生時の通報・対処の自動化
4. システム障害の調査・対処
　（1）コマンド実行による調査および対処
　（2）対処アクションの提案機能
　（3）ガイド情報の表示
　（4）JP1イベントにメモ情報を設定
5. 統合管理のカスタマイズ

受講料 ¥165,000

集合　コースコード　JPJ309/JPJ309T

JP1プロフェッショナル 統合管理 2ーシステム設定ー

マシン実習 2日間

JP1/Integrated Management（JP1/IM）のインストール、設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
・マネージャ、エージェントを構築できる。
・認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
・ログファイル監視の設定ができる。
・稼働監視の設定ができる。
・他製品と連携した監視の設定ができる。
・イベントを管理しやすく設定できる。

対象者 JP1/IMのシステム構築をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1ーシステム監視ー」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内　容
1. 統合管理の導入
　（1）インストール
　（2）IMデータベースの構築
　（3）インテリジェント統合管理の有効化
　（4）サービスの起動・終了
2. 統合管理の設定
　（1）構成管理の設定
　（2）JP1イベントの転送設定
　（3）リモートログ監視の構成管理の設定
　（4）インテリジェント統合管理の設定
3. ユーザー管理機能
　（1）ユーザー認証の設定
　（2）認証サーバの閉塞
　（3）ユーザーマッピングの設定
4. 監視対象の設定
　（1）インテリジェント統合管理の監視設定
　（2）アプリケーション
5. 統合管理のカスタマイズ

受講料 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPJ309（研修のみ）　¥110,000（税込）
コースコード：JPJ309T（試験付）　¥118,800（税込）

集合　コースコード　JPJ310/JPJ310T

JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース

マシン実習 5日間

JP1/Integrated Management（JP1/IM）を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/IMのインストール・設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。
各コースの詳細情報をご参照ください。

〈JPJ308〉
JP1プロフェッショナル 統合管理 1ーシステム監視ー

〈JPJ309〉
JP1プロフェッショナル 統合管理 2ーシステム設定ー

受講料 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPJ310（研修のみ）　¥253,000（税込）
コースコード：JPJ310T（試験付）　¥261,800（税込）

eラーニング　コースコード　JPE331

<eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル 統合管理1ーシステム監視ー

eラーニング 18時間

JP1/Integrated Management（JP1/IM）を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・統合管理の概要を説明できる。
・統合オペレーション・ビューアー、セントラルコンソールを使って事象監視ができる。
・監視画面のカスタマイズができる。
・システム障害の絞り込みができる。
・システム障害の調査・対処ができる。
・他製品と連携したシステム状況の把握ができる。
・統合管理のカスタマイズができる。

対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方。
JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1エンジニアー機能概説ー」コース、または「JP1操作入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 統合管理の概要
2. システム監視
　（1）システム監視の基本操作
　（2）監視画面の表示設定
　（3）監視対象のJP1イベントの絞り込み
3. システム障害の検知
　（1）監視画面での状況把握
　（2）障害イベント発生時の通報・対処の自動化
4. システム障害の調査・対処
　（1）コマンド実行による調査および対処
　（2）対処アクションの提案機能
　（3）ガイド情報の表示
　（4）JP1イベントにメモ情報を設定
5. 統合管理のカスタマイズ

受講料 ¥165,000

eラーニング　コースコード　JPE332

<eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル 統合管理 2ーシステム設定ー

eラーニング 12時間

JP1/Integrated Management（JP1/IM）のインストール・設定に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
・マネージャ、エージェントを構築できる。
・認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
・ログファイル監視の設定ができる。
・稼働監視の設定ができる。
・他製品と連携した監視の設定ができる。
・イベントを管理しやすく設定できる。

対象者 JP1/IMのシステム構築をする方。
JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1ーシステム監視ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 統合管理の導入
　（1）インストール
　（2）IMデータベースの構築
　（3）インテリジェント統合管理の有効化
　（4）サービスの起動・終了
2. 統合管理の設定
　（1）構成管理の設定
　（2）JP1イベントの転送設定
　（3）リモートログ監視の構成管理の設定
　（4）インテリジェント統合管理の設定
3. ユーザー管理機能
　（1）ユーザー認証の設定
　（2）認証サーバの閉塞
　（3）ユーザーマッピングの設定
4. 監視対象の設定
　（1）インテリジェント統合管理の監視設定
　（2）アプリケーションプログラムが出力するログの監視
　（3）Windowsイベントログの監視
　（4）リモート監視ホストのログ監視
　（5）イベントストーム発生時のイベント転送抑止設定

受講料 ¥110,000

eラーニング　コースコード　JPE329

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ！JP1／IM 管理 1ーシステム監視ー（Version 12）

eラーニング 12時間

JP1/Integrated Management（JP1/IM）を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。
・セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。
・イベント監視ページのカスタマイズができる。
・セントラルコンソールに表示するイベントの設定（フィルター設定）ができる。
・自動アクションの設定ができる。
・重要イベントページのカスタマイズができる。
・必要なイベントを検索できる。
・他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。
・コマンド実行の操作ができる。

対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1エンジニアー機能概説ー」コース、または「JP1操作入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 統合管理の全体像
2. システム監視
　（1）システム監視の基本操作
　（2）繰り返しイベントの表示抑止
　（3）フィルターによるJP1イベントの絞り込み
3. システム障害の検知
　（1）自動アクション
　（2）ローカルアクション
　（3）重要イベントページ
　（4）ビジュアル監視
　（5）監視ツリー
4. システム障害の調査・対処
　（1）ガイド情報の表示
　（2）メモ情報の設定
　（3）コマンド実行

受講料 ¥110,000

eラーニング　コースコード　JPE330

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ！JP1／IM 管理 2ーシステム設定ー（Version 12）

eラーニング 12時間

JP1/Integrated Management（JP1/IM）のインストール・設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
・認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
・マネージャ・エージェントを構築できる。
・ログファイル監視の設定ができる。
・監視ツリーの作成やカスタマイズができる。
・ビジュアル監視の設定ができる。

対象者 JP1/IMのシステム構築をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1ーシステム監視ー」コース、または、「【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ！JP1／IM 管理 1ーシステム監視ー（Version 12）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 統合管理の概要
2. 統合管理の導入
　（1）インストール
　（2）IMデータベースの構築
　（3）サービスの起動・終了
3. JP1イベントの集中管理設定
　（1）構成管理設定
　（2）JP1イベントの転送設定
　（3）リモート監視構成管理の設定
4. ユーザー管理機能
　（1）ユーザー認証の設定
　（2）認証サーバの閉塞
　（3）ユーザーマッピングの設定
5. 監視対象の設定
　（1）アプリケーションが出力するログの監視
　（2）Windowsイベントログの監視
　（3）リモート監視ホストのログ監視
　（4）イベントストーム発生時のイベント転送抑止設定
6. 監視画面の設定
　（1）セントラルスコープのセットアップ
　（2）監視ツリー画面の設定
　（3）ビジュアル監視画面の設定

受講料 ¥110,000

オンライン　コースコード　JPV283

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1ージョブ定義・監視ー【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・JP1/AJS3の機能概要が説明できる。
・自動化する業務（ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ）の定義ができる。
・運用スケジュール（運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど）の設定ができる。
・業務を実行する条件（イベント監視、起動条件）の定義ができる。
・ジョブネットの実行（即時、計画、確定）および監視（ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況）の操作ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. JP1/AJS3の概要
2. 業務の自動化
　（1）ジョブ定義
　（2）即時実行登録
　（3）ジョブ実行状況の監視
3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
　（1）カレンダー情報の設定
　（2）スケジュール設定
　（3）計画/確定実行登録
　（4）実行スケジュールの確認
4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
　（1）ファイル更新契機のジョブの実行
　（2）起動条件の設定
5. 業務の実行監視

受講料 ¥110,000

オンライン　コースコード　JPV284/JPV284V

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2ーシステム設定・運用管理ー【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）のインストール、設定、運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・JP1/AJS3製品のインストールができる。
・エージェントの追加・変更ができる。
・JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報の設定ができる。
・ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。
・運用中のジョブネットの変更（ジョブネット変更・リリース管理）ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナルジョブ管理1ージョブ定義・監視ー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. JP1/AJS3のインストール
　（1）JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
2. ジョブ実行環境の設定
　（1）エージェント管理機能の設定
3. ユーザー管理機能の設定
　（1）JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
4. JP1/AJS3システムの運用
　（1）複数スケジューラーサービス
　（2）スケジューラーサービス参照制限
　（3）実行エージェントの制限
　（4）同時接続数制限
5. ジョブネットの運用
　（1）ジョブネット定義の退避・回復
　（2）運用中のジョブネット変更
　（3）運用状況の監視

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPV284（研修のみ）　¥110,000（税込）
コースコード：JPV284V（受験バウチャー付き）
¥118,800（税込）

オンライン　コースコード　JPV285/JPV285V

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 セットコース【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 4日間

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/AJS3のインストール・設定・運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。
各コースの詳細情報をご参照ください。

〈JPV283〉
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1ージョブ定義・監視ー

〈JPV284〉
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2ーシステム設定・運用管理ー

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPV285（研修のみ）　¥198,000（税込）
コースコード：JPV285V（受験バウチャー付き）
¥206,800（税込）

オンライン　コースコード　JPV286

JP1プロフェッショナル IT運用自動化【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

JP1/Automatic Operation（JP1/AO）を使用してIT運用自動化のための定義や監視を行う機能をマシン実習を通して学習します。

到達目標
・JP1/AOの概要が説明できる。
・JP1/AOのインストールができる。
・サービスの登録、設定、実行の操作ができる。
・サービステンプレートの作成、部品の作成、カスタマイズができる。
・JP1/Navigation Platform（JP1/NP）と連携した運用ができる。

対象者 JP1/AOを使用してシステム構築・運用管理をする方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. JP1/AOの概要
2. 設計と構築
3. JP1/AO運用
4. サービステンプレートの作成
5. JP1/NPとの連携

受講料 ¥110,000

集合 コースコード JPJ283

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 ージョブ定義・監視ー

JP1/Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/AJS3の機能概要が説明できる。
- 自動化する業務(ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ)の定義ができる。
- 運用スケジュール(運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど)の設定ができる。
- 業務を実行する条件(イベント監視、起動条件)の定義ができる。
- ジョブネットの実行(即時、計画、確定)および監視(ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況)の操作ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内 容
1. JP1/AJS3の概要
2. 業務の自動化
   (1)ジョブ定義
   (2)即時実行登録
   (3)ジョブ実行状況の監視
3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
   (1)カレンダー情報の設定
   (2)スケジュール設定
   (3)計画/確定実行登録
   (4)実行スケジュールの確認
4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
   (1)ファイル更新契機のジョブの実行
   (2)起動条件の設定
5. 業務の実行監視

受講料 ¥110,000

集合 コースコード JPJ284/JPJ284T

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 ーシステム設定・運用管理ー

JP1/Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)のインストール、設定、運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/AJS3製品のインストールができる。
- エージェントの追加・変更ができる。
- JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報の設定ができる。
- ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。
- 運用中のジョブネットの変更(ジョブネット変更・リリース管理)ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナルジョブ管理1ージョブ定義・監視ー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. JP1/AJS3のインストール
   (1)JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
2. ジョブ実行環境の設定
   (1)エージェント管理機能の設定
3. ユーザー管理機能の設定
   (1)JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
4. JP1/AJS3システムの運用
   (1)複数スケジューラーサービス
   (2)スケジューラーサービス参照制限
   (3)実行エージェントの制限
   (4)同時接続数制限
5. ジョブネットの運用
   (1)ジョブネット定義の退避・回復
   (2)運用中のジョブネット変更
   (3)運用状況の監視

受講料 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード:JPJ284(研修のみ) ¥110,000(税込)
コースコード:JPJ284T(試験付) ¥118,800(税込)

集合 コースコード JPJ285/JPJ285T

マシン実習 4日間

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 セットコース

JP1/Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/AJS3のインストール・設定・運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。
各コースの詳細情報をご参照ください。

〈JPJ283〉
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1
ージョブ定義・監視ー

〈JPJ284〉
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2
ーシステム設定・運用管理ー

受講料 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード:JPJ285(研修のみ) ¥198,000(税込)
コースコード:JPJ285T(試験付) ¥206,800(税込)

eラーニング コースコード JPE322

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 ージョブ定義・監視ー

JP1/Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)の業務自動化定義や監視操作を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- JP1/AJS3の機能概要が説明できる。
- 自動化する業務(ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ)の定義ができる。
- 運用スケジュール(運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど)の設定ができる。
- 業務を実行する条件(イベント監視、起動条件)の定義ができる。
- ジョブネットの実行(即時、計画、確定)および監視(ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況)の操作ができる。

対象者
- JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方。
- JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内 容
1. JP1/AJS3の概要
2. 業務の自動化
   (1)ジョブ定義
   (2)即時実行登録
   (3)ジョブ実行状況の監視
3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
   (1)カレンダー情報の設定
   (2)スケジュール設定
   (3)計画/確定実行登録
   (4)実行スケジュールの確認
4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
   (1)ファイル更新契機のジョブの実行
   (2)起動条件の設定
5. 業務の実行監視
6. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません)

受講料 ¥110,000

eラーニング コースコード JPE323

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 ーシステム設定・運用管理ー

JP1/Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)のインストール・設定・運用に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- JP1/AJS3のインストールができる。
- ジョブ実行環境のセットアップができる。
- JP1/AJS3を操作するユーザー情報の設定ができる。
- JP1/AJS3スケジューラーサービスの分割および参照制限ができる。
- 実行エージェントや接続元ホストでのジョブ実行の制限ができる。
- JP1ユーザーの同時接続制限ができる。
- ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。
- 運用中のジョブネットの変更ができる。

対象者
- JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方。
- JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理1ージョブ定義・監視ー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. JP1/AJS3のインストール
   (1)JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
2. ジョブ実行環境の設定
   (1)エージェント管理機能の設定
3. ユーザー管理機能の設定
   (1)JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
4. JP1/AJS3システムの運用
   (1)複数スケジューラーサービス
   (2)スケジューラーサービス参照制限
   (3)実行エージェントの制限
   (4)同時接続数制限
5. ジョブネットの運用
   (1)ジョブネット定義の退避・回復
   (2)運用中のジョブネット変更
   (3)運用状況の監視
6. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません)

受講料 ¥110,000

集合 コースコード JPJ307/JPJ307T

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル ネットワーク管理

JP1/Network Node Manager i(JP1/NNMi)によるネットワーク接続機器の監視、管理と設定方法、JP1/SNMP System Observer(JP1/SSO)によるサーバのリソース管理、プロセス監視と設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/NNMi 、JP1/SSOのシステム構成と基本機能を説明できる。
- JP1/NNMi 、JP1/SSOのインストール後のセットアップができる。
- JP1/NNMi の監視環境の構築(検出、ポーリング設定)ができる。
- JP1/NNMi によるインシデントの管理ができる。
- JP1/SSOによるシステムリソースの参照、収集設定ができる。
- JP1/SSOによるプロセスリソースの状態監視、監視設定ができる。
- JP1/SSOとJP1/NNMiの連携設定ができる。

対象者
- JP1/NNMiを使用したネットワーク管理、システム構築を行う方。
- JP1/SSOを使用してサーバのリソース管理、プロセス管理を行う方。
- JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。「ネットワーク管理概説と演習」コースを修了しているか、ネットワーク管理プロトコルであるSNMPに関する知識があること。

内 容
1. JP1によるネットワーク管理の概要
   (1) JP1の概要 (2) JP1によるネットワーク管理
2. JP1/NNMiによるネットワーク管理
   (1) JP1/NNMiを用いたネットワーク管理の概要
   (2) ユーザアカウントの作成 (3) 通信の基本設定
   (4) 監視対象の登録 (5) ノードグループの作成
3. JP1/NNMiによるノードの監視
   (1) 障害監視
   (2) インシデントの監視
4. JP1/SSOによるリソース・プロセス管理
   (1) JP1/SSOの概要
5. JP1/SSOによるリソース管理
   (1) システムリソースの参照、収集
6. JP1/SSOによるプロセスおよびサービス監視
   (1) プロセスおよびサービスの監視
7. JP1/NNMiとの連携
   (1) JP1/NNMiを用いた監視

受講料 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード:JPJ307(研修のみ) ¥110,000(税込)
コースコード:JPJ307T(試験付) ¥118,800(税込)

オンライン コースコード JPV307/JPV307V

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル ネットワーク管理【バーチャル・クラスルーム】

JP1/Network Node Manager i(JP1/NNMi)によるネットワーク接続機器の監視、管理と設定方法、JP1/SNMP System Observer(JP1/SSO)によるサーバのリソース管理、プロセス監視と設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/NNMi 、JP1/SSOのシステム構成と基本機能を説明できる。
- JP1/NNMi 、JP1/SSOのインストール後のセットアップができる。
- JP1/NNMi の監視環境の構築(検出、ポーリング設定)ができる。
- JP1/NNMi によるインシデントの管理ができる。
- JP1/SSOによるシステムリソースの参照、収集設定ができる。
- JP1/SSOによるプロセスリソースの状態監視、監視設定ができる。
- JP1/SSOとJP1/NNMiの連携設定ができる。

対象者
- JP1/NNMiを使用したネットワーク管理、システム構築を行う方。
- JP1/SSOを使用してサーバのリソース管理、プロセス管理を行う方。
- JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。「ネットワーク管理概説と演習」コースを修了しているか、ネットワーク管理プロトコルであるSNMPに関する知識があること。

内 容
1. JP1によるネットワーク管理の概要
   (1) JP1の概要 (2) JP1によるネットワーク管理
2. JP1/NNMiによるネットワーク管理
   (1) JP1/NNMiを用いたネットワーク管理の概要
   (2) ユーザアカウントの作成 (3) 通信の基本設定
   (4) 監視対象の登録 (5) ノードグループの作成
3. JP1/NNMiによるノードの監視
   (1) 障害監視
   (2) インシデントの監視
4. JP1/SSOによるリソース・プロセス管理
   (1) JP1/SSOの概要
5. JP1/SSOによるリソース管理
   (1) システムリソースの参照、収集
6. JP1/SSOによるプロセスおよびサービス監視
   (1) プロセスおよびサービスの監視
7. JP1/NNMiとの連携
   (1) JP1/NNMiを用いた監視

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード:JPV307(研修のみ) ¥110,000(税込)
コースコード:JPV307V(受験バウチャー付き) ¥118,800(税込)

オンライン コースコード JPV295/JPV295V

マシン実習 1日間

JP1プロフェッショナル セキュリティ管理【バーチャル・クラスルーム】

JP1/秘文を使用したセキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/秘文のシステム構成と基本機能を説明できる。
- JP1/秘文のインストールとセットアップができる。
- 秘文DCによる持ち出し/読み込み制御の操作ができる。
- 秘文DEによるHD、リムーバブルディスク、ファイルの暗号化の操作ができる。
- 秘文Serverの設定と操作ができる。

対象者 JP1/秘文を使用してセキュリティ管理を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 セキュリティの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内 容
1. JP1/秘文の概要
2. 秘文DC、秘文Serverの主要機能
3. 秘文DEの主要機能
4. 秘文DE(FS)、秘文Sever(ファイルサーバ)の主要機能
5. 秘文Server(秘文LM)
6. 秘文DPの主要機能

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード:JPV295(研修のみ) ¥55,000(税込)
コースコード:JPV295V(受験バウチャー付き) ¥63,800(税込)

オンライン コースコード JPV282/JPV282V

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理【バーチャル・クラスルーム】

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management(JP1/PFM)製品の機能について、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
- パフォーマンスデータの収集ができる。
- レポート、アラームの作成、操作ができる。
- 統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

内 容
1. アベイラビリティ管理の概要
2. JP1/PFMによる稼動情報の監視
   (1)監視コンソールサーバへのログイン
   (2)サーバの稼動監視
   (3)アラームによる稼動監視
   (4)レポートによるパフォーマンスデータの参照
3. JP1/PFMのシステム構築
   (1)JP1/PFMのシステム構成
   (2)JP1/PFMのインストールとセットアップ
   (3)JP1/PFM-RMのセットアップ(エージェントレス構成)
   (4)JP1/PFMの起動と停止
   (5)ユーザーアカウントの管理
4. 監視エージェントの設定

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード:JPV282(研修のみ) ¥110,000(税込)
コースコード:JPV282V(受験バウチャー付き) ¥118,800(税込)

集合 コースコード JPJ282/JPJ282T 休講

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management(JP1/PFM)製品の機能について、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
- パフォーマンスデータの収集ができる。
- レポート、アラームの作成、操作ができる。
- 統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

内 容
1. アベイラビリティ管理の概要
2. JP1/PFMによる稼動情報の監視
   (1)監視コンソールサーバへのログイン
   (2)サーバの稼動監視
   (3)アラームによる稼動監視
   (4)レポートによるパフォーマンスデータの参照
3. JP1/PFMのシステム構築
   (1)JP1/PFMのシステム構成
   (2)JP1/PFMのインストールとセットアップ
   (3)JP1/PFM-RMのセットアップ(エージェントレス構成)
   (4)JP1/PFMの起動と停止
   (5)ユーザーアカウントの管理
4. 監視エージェントの設定

受講料 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード:JPJ282(研修のみ) ¥110,000(税込)
コースコード:JPJ282T(試験付) ¥118,800(税込)

eラーニング コースコード JPE328

<eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理

12時間

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management(JP1/PFM)製品の機能について、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
・パフォーマンスデータの収集ができる。
・レポート、アラームの作成、操作ができる。
・統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

内 容
1. アベイラビリティ管理の概要
2. JP1/PFMによる稼働情報の監視
 (1)監視コンソールサーバへのログイン
 (2)サーバの稼動監視
 (3)アラームによる稼動監視
 (4)レポートによるパフォーマンスデータの参照
3. JP1/PFMのシステム構築
 (1)JP1/PFMのシステム構成
 (2)JP1/PFMのインストールとセットアップ
 (3)JP1/PFM-RMのセットアップ(エージェントレス構成)
 (4)JP1/PFMの起動と停止
 (5)ユーザーアカウントの管理
4. 監視エージェントの設定
 (1)エージェント階層の設定
 (2)パフォーマンスデータの収集設定
 (3)レポート定義のカスタマイズ
 (4)新規レポートの定義
5. アラーム定義
 (1)アラームの概要
 (2)クイックガイドでのアラームの作成
 (3)アラーム階層でのアラーム作成
 (4)プロセス・サービスの稼働状況監視
 (5)複数アラームテーブルの監視
 (6)稼動状況のサマリ表示
6. 統合コンソールとの連携
 (1)統合コンソールとの連携の概要
 (2)サーバ稼働管理と統合コンソールの連携

受講料 ¥110,000

オンライン コースコード JPV287/JPV287V

JP1プロフェッショナル バックアップ管理【バーチャル・クラスルーム】

マシン演習 1日間

JP1/VERITAS NetBackupによるバックアップ管理機能を理解し、その使い方を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・JP1/VERITAS NetBackupの主な機能を説明できる。
・JP1/VERITAS NetBackupのシステム構成を説明できる。
・JP1/VERITAS NetBackupのインストールと環境設定ができる。
・バックアップジョブとリストアジョブを作成し実行できる。

対象者 JP1/VERITAS NetBackupを使用してバックアップ管理を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。また、一般的なバックアップの基礎知識があること。

内 容
1. JP1/VERITAS NetBackupの概要
 (1)バックアップとリストアの基礎知識
 (2)JP1/VERITAS NetBackupの製品概要
 (3)JP1/VERITAS NetBackupのシステム構成
2. インストールと環境設定
 (1)JP1/VERITAS NetBackupのインストール
 (2)JP1/VERITAS NetBackupの環境設定
3. バックアップとリストア
 (1)JP1/VERITAS NetBackupによるデータバックアップ
 (2)JP1/VERIT

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード:JPV287(研修のみ) ¥55,000(税込)
コースコード:JPV287V(受験バウチャー付き) ¥63,800(税込)

オンライン コースコード JPV298

JP1コンサルタント ジョブ管理 −システム設計編−【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

JP1/AJS3を中心としたジョブ設計、運用設計に関する知識を学習します。要件の確認からシステム設計、ジョブ運用までの一連の流れを学習します。

到達目標 JP1/AJS3を中心としたジョブ設計、運用設計に関する知識を修得できる。

対象者
・JP1ジョブ管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方。
・JP1コンサルタント資格(ジョブ管理)をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理1−ジョブ定義・監視−」および「JP1プロフェッショナル ジョブ管理2−システム設定・運用管理−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 顧客要件の確認
2. システム設計
3. JP1設計ポイント
4. トラブルシュート

受講料 ¥55,000

オンライン コースコード JPV299/JPV299V

JP1コンサルタント ジョブ管理 −チューニング編−【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

JP1/AJS3を中心としたジョブ管理の性能設計・性能対策および移行について学習します。

到達目標
・性能設計に必要な条件が説明できる。
・性能向上のための性能対策ができる。
・移行の注意事項が説明できる。

対象者 JP1ジョブ管理製品の導入・構築・運用において性能設計・性能対策および移行を行う方、JP1認定コンサルタント資格(ジョブ管理)の取得をめざす方。

前提知識 「JP1コンサルタントジョブ管理−構築・運用−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 性能に関するチューニング
2. JP1/AJS3への移行
3. JP1/AJS3トラブル事例

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード:JPV299(研修のみ) ¥55,000(税込)
コースコード:JPV299V(受験バウチャー付き) ¥66,000(税込)

オンライン コースコード JPV300/JPV300V

JP1コンサルタント 資産・配布管理【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

JP1資産・配布管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標 JP1資産・配布管理製品の導入・構築のための設計ができる。

対象者 JP1資産・配布管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方、JP1認定コンサルタント資格(資産・配布管理)の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル資産・配布管理」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 設計
2. 構築
3. JP1製品との連携
4. 障害事例

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード:JPV300(研修のみ) ¥55,000(税込)
コースコード:JPV300V(受験バウチャー付き) ¥66,000(税込)

オンライン コースコード JPV312/JPV312V

JP1コンサルタント 統合管理【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

JP1統合管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標 JP1統合管理製品の導入・構築のための設計ができる。

対象者 JP1統合管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方、JP1認定コンサルタント資格(統合管理)の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1−システム監視−」コースおよび「JP1プロフェッショナル 統合管理 2−システム設定−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. JP1による運用管理システムの構築工程
2. 想定する顧客システムの構成
3. 要件定義
4. 設計
5. 構築作業
6. 運用に向けて
7. 障害事例

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード:JPV312(研修のみ) ¥55,000(税込)
コースコード:JPV312V(受験バウチャー付き) ¥66,000(税込)

オンライン コースコード JPV297/JPV297V

JP1コンサルタント パフォーマンス管理【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

JP1パフォーマンス管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標 JP1パフォーマンス管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を修得できる。

対象者 JP1パフォーマンス管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方、JP1認定コンサルタント(パフォーマンス管理)資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. パフォーマンス管理の導入事例
2. 想定するお客さまとシステムの概要
3. 稼働監視システムの運用サイクル
4. 稼働監視システムの設計
5. 環境構築
6. 運用に向けた留意事項
7. 他のJP1製品との連携
8. 障害事例

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード:JPV297(研修のみ) ¥55,000(税込)
コースコード:JPV297V(受験バウチャー付き) ¥66,000(税込)

オンライン コースコード JPV313/JPV313V

JP1コンサルタント ネットワーク管理【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

JP1ネットワーク管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標 JP1ネットワーク管理製品の導入・構築のための設計ができる。

対象者 JP1ネットワーク管理製品の導入・構築コンサルテーションをする方、JP1認定コンサルタント資格(ネットワーク管理)の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 想定するお客さま環境例
2. 監視要件の整理
3. 各種設定の解説

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード:JPV313(研修のみ) ¥55,000(税込)
コースコード:JPV313V(受験バウチャー付き) ¥66,000(税込)

eラーニング コースコード JPE016

<eラーニング>JP1機能概説(Version 11)

eラーニング 6時間

すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。

到達目標
・JP1製品の特長が説明できる。
・各管理製品にどのような製品があるか説明できる。
・各管理の主要製品の主な機能を説明できる。

対象者
・JP1製品の導入を検討する方。
・JP1のシステム構築・販売をする方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知のこと。

内 容
1. JP1の基礎知識
2. オートメーション
3. モニタリング
4. コンプライアンス
5. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません)

受講料 ¥30,800

eラーニング コースコード JPE017

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ!JP1/IM管理 1−システム監視−(Version 11)

eラーニング 12時間

JP1/Integrated Management(JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。
・セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。
・イベント監視ページのカスタマイズができる。
・セントラルコンソールに表示するイベントの設定(フィルター設定)ができる。
・自動アクションの設定ができる。
・重要イベントページのカスタマイズができる。
・必要なイベントを検索できる。
・他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。
・コマンド実行の操作ができる。

対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方。

前提知識 「JP1機能概説(Version 11)」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 統合管理の全体像
2. システム監視
 (1)システム監視の基本操作
 (2)繰り返しイベントの表示抑止
 (3)フィルターによるJP1イベントの絞り込み
3. システム障害の検知
 (1)自動アクション
 (2)ローカルアクション
 (3)重要イベントページ
 (4)ビジュアル監視
 (5)監視ツリー
4. システム障害の調査・対処
 (1)ガイド情報の表示
 (2)メモ情報の設定
 (3)コマンド実行
5. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません)

受講料 ¥110,000

eラーニング コースコード JPE018

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ!JP1/IM管理 2−システム設定−(Version 11)

eラーニング 12時間

JP1/Integrated Management(JP1/IM)のインストール、設定に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
・認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
・マネージャ・エージェントを構築できる。
・ログファイル監視の設定ができる。
・監視ツリーの作成やカスタマイズができる。
・ビジュアル監視の設定ができる。

対象者 JP1/IMのシステム構築をする方。

前提知識 「【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ!JP1/IM管理 1−システム監視−(Version 11)」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 統合管理の概要
2. 統合管理の導入
 (1)インストール
 (2)IMデータベースの構築
 (3)サービスの起動・終了
3. JP1イベントの集中管理設定
 (1)構成管理設定
 (2)JP1イベントの転送設定
 (3)リモート監視構成管理の設定
4. ユーザー管理機能
 (1)ユーザー認証の設定
 (2)認証サーバの閉塞
 (3)ユーザーマッピングの設定
5. 監視対象の設定
 (1)アプリケーションが出力するログの監視
 (2)Windowsイベントログの監視
 (3)リモート監視ホストのログ監視
 (4)イベントストーム発生時のイベント転送抑止設定
6. 監視画面の設定
 (1)セントラルスコープのセットアップ
 (2)監視ツリー画面の設定
 (3)ビジュアル監視画面の設定
7. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません)

受講料 ¥110,000

eラーニング コースコード JPE324

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ!JP1/AJS3管理 1−ジョブ定義・監視−(Version 11)

eラーニング 12時間

JP1/Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)の業務自動化定義や監視操作を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・JP1/AJS3の機能概要が説明できる。
・自動化する業務(ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ)の定義ができる。
・運用スケジュール(運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど)の設定ができる。
・業務を実行する条件(イベント監視、起動条件)の定義ができる。
・ジョブネットの実行(即時、計画、確定)および監視(ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況)の操作ができる。

対象者
・JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方。
・JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

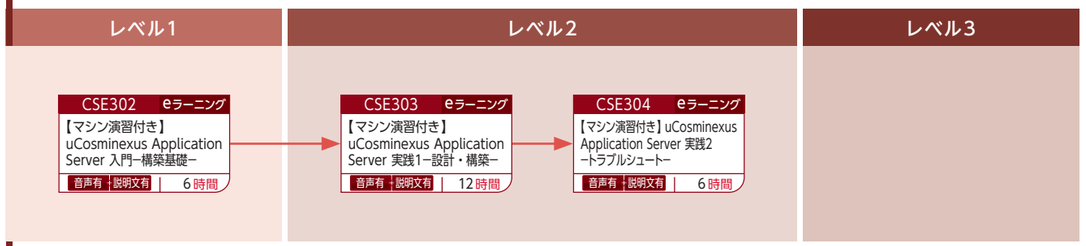
内 容
1. JP1/AJS3の概要
2. 業務の自動化
 (1)ジョブ定義
 (2)即時実行登録
 (3)ジョブ実行状況の監視
3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
 (1)カレンダー情報の設定
 (2)スケジュール設定
 (3)計画/確定実行登録
 (4)実行スケジュールの確認
4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
 (1)ファイル更新契機のジョブの実行
 (2)起動条件の設定
5. 業務の実行監視
6. 修了試験(JP1認定資格試験ではありません)

受講料 ¥110,000

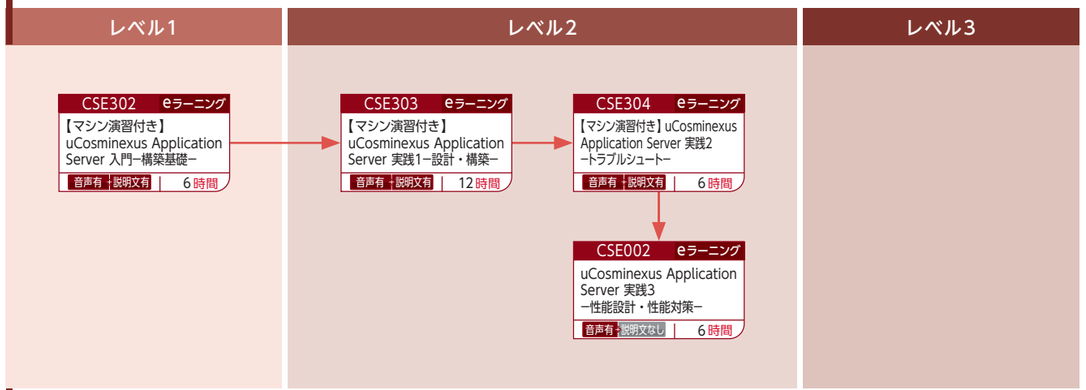
uCosminexus Application Server

uCosminexus Application Serverを使用したアプリケーション開発やシステム構築を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

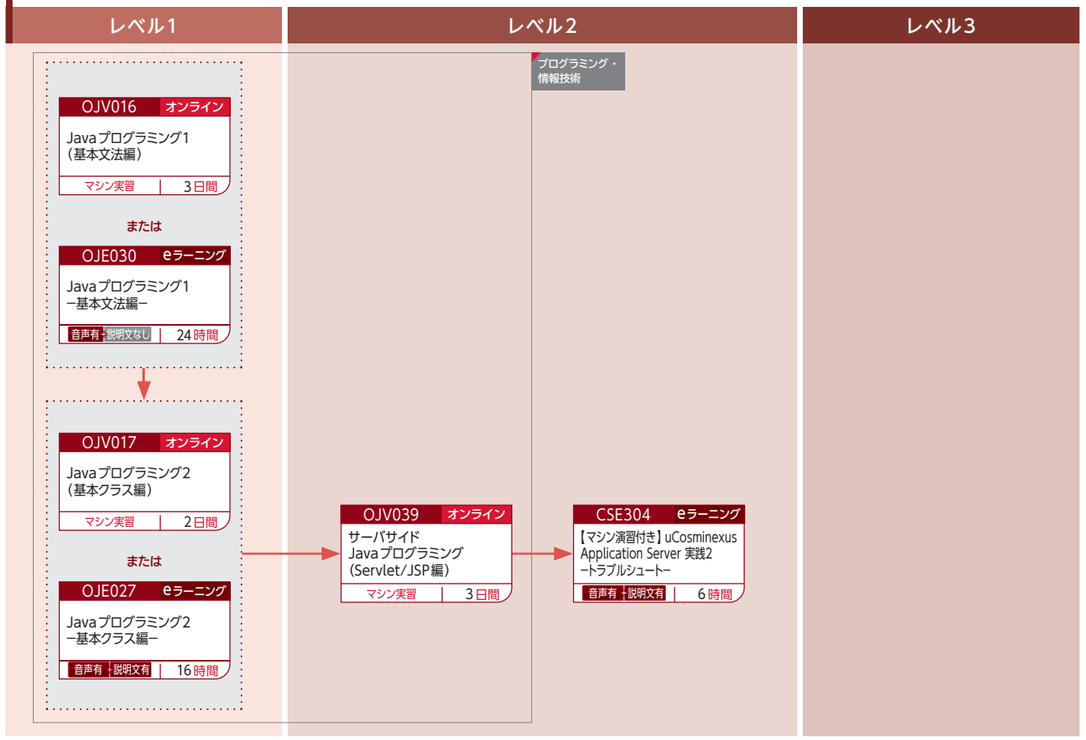
uCosminexus Application Serverの設計・構築・運用をする方



uCosminexus Application Serverを使用したWebシステムの性能設計・性能対策をする方



uCosminexus Application Serverを使用してWebアプリケーションの開発をする方



レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

eラーニング コースコード JPE325

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ!JP1／AJS3管理 2 −システム設定・運用管理−（Version 11）

12時間

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）のインストール・設定・運用に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・JP1/AJS3のインストールができる。
・ジョブ実行環境のセットアップができる。
・JP1/AJS3を操作するユーザー情報の設定ができる。
・JP1/AJS3スケジューラーサービスの分割および参照制限ができる。
・実行エージェントや接続元ホストでのジョブ実行の制限ができる。
・JP1ユーザーの同時接続制限ができる。
・ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。
・運用中のジョブネットの変更ができる。

対象者
・JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方。
・JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識
「JP1プロフェッショナル ジョブ管理1−ジョブ定義・監視−（Version 11）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. JP1/AJS3のインストール
　(1)JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
2. ジョブ実行環境の設定
　(1)エージェント管理機能の設定
3. ユーザー管理機能の設定
　(1)JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
4. JP1/AJS3システムの運用
　(1)複数スケジューラーサービス
　(2)スケジューラーサービス参照制限
　(3)実行エージェントの制限
　(4)同時接続数制限
5. ジョブネットの運用
　(1)ジョブネット定義の退避・回復
　(2)運用中のジョブネット変更
　(3)運用状況の監視
6. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

受講料 ¥110,000

eラーニング コースコード JPE019

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ!JP1／PFM（Version 11）

12時間

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management（JP1/PFM）製品の機能について、自席PCから演習マシンに接続し、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
・パフォーマンスデータの収集ができる。
・レポート、アラームの作成、操作ができる。
・統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

内 容
1. アベイラビリティ管理の概要
2. JP1/PFMによる稼働情報の監視
3. JP1/PFMのシステム構築
4. 監視エージェントの設定
5. レポート定義
6. アラーム定義
7. 統合コンソールとの連携
8. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

受講料 ¥110,000

HiRDB

データベースマネジメントシステムであるHiRDBの システム運用やアプリケーション開発を行ううえで 必要となる知識と技術が修得できます。

eラーニング / コースコード CSE302

<eラーニング>【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 入門ー構築基礎ー

eラーニング 6時間

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの構築手法を学習します。uCosminexus Application Serverのインストールからシステムの構築までを扱います。

到達目標
・uCosminexus Application Serverの機能概要を説明できる。
・uCosminexus Application Serverを用いて基本的な構成のWebシステムを構築できる。

対象者 uCosminexus Application Serverを用いてWebシステムを構築する方、uCosminexus Application Serverの導入を検討している方。

前提知識 Webアプリケーションに関する基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. アプリケーションサーバ概要
2. uCosminexus Application Serverシステム構築の流れ
3. uCosminexus Application Serverのインストール
4. セットアップウィザードを用いたシステム構築
5. 運用管理ポータルを用いた操作・設定
6. 修了試験

受講料 ¥33,000

eラーニング / コースコード CSE303

<eラーニング>【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践1ー設計・構築ー

eラーニング 12時間

uCosminexus Application Serverを用いたシステムの設計・構築・運用に必要なノウハウを学習します。

到達目標
・要件にあった運用方法や信頼性確保手順を説明できる。
・システム構築に使用するパラメータを設計できる。
・システムの構築・運用ができる。

対象者 uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの設計・構築をする方。

前提知識 「【マシン演習付き】uCosminexus Application Server入門ー構築基礎ー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにWebシステムの構築または運用に携わった経験があること。

内　容
1. 作業概要とシステム基本構成
2. システム基本設計
3. システム詳細設計
4. システム構築
5. 修了試験

受講料 ¥88,000

eラーニング / コースコード CSE304

<eラーニング>【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践2ートラブルシュートー

eラーニング 6時間

uCosminexus Application Serverを用いたシステムのトラブルシュートについて学習します。トラブルが発生したときの対処方法を理解できます。

到達目標
・トラブルシュートの流れを説明できる。
・代表的なトラブルについて、原因を切り分けることができる。

対象者 uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの障害対応をする方、JavaEEアプリケーションの開発をする方。

前提知識 「【マシン演習付き】uCosminexus Application Server実践1ー設計・構築ー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにJavaEEアプリケーション開発に携わった経験があること。

内　容
1. トラブルシュートの概要
2. トラブルシュート手順
3. 代表的なトラブルの原因切り分け方法
4. 修了試験

受講料 ¥44,000

eラーニング / コースコード CSE002

<eラーニング> uCosminexus Application Server 実践3ー性能設計・性能対策ー

eラーニング 6時間

uCosminexus Application Server を用いたWebシステムにおいて、要件を満たす性能設計、性能対策について学習します。

到達目標
・性能設計と性能検証の関係について説明できる。
・要件を満たす性能設計ができる。
・ボトルネックの要因を分析し、性能対策ができる。

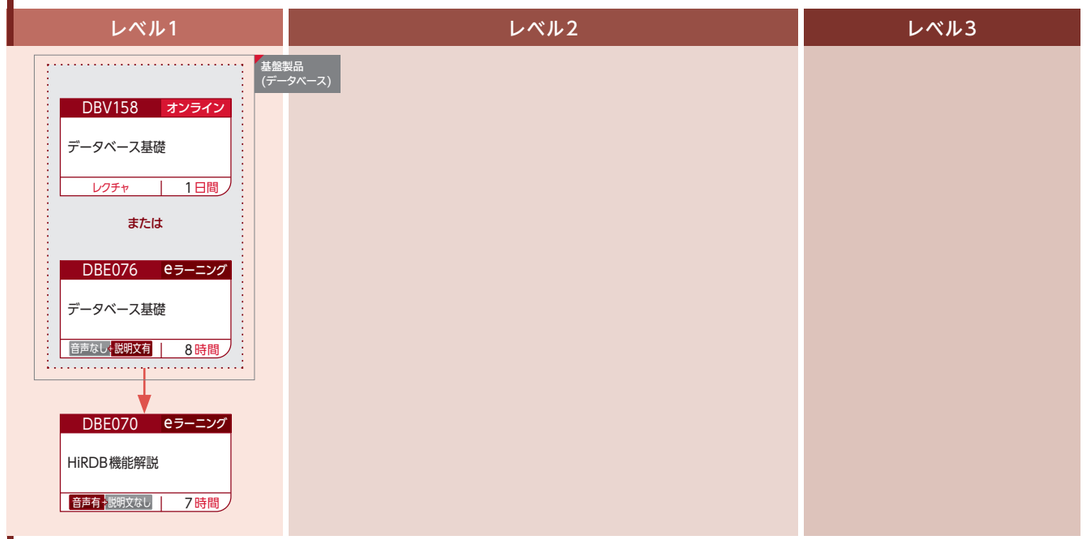
対象者 uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの性能設計および性能対策をする方。

前提知識 「【マシン演習付き】uCosminexus Application Server実践1ー設計・構築ー」および「【マシン演習付き】uCosminexus Application Server実践2ートラブルシュートー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

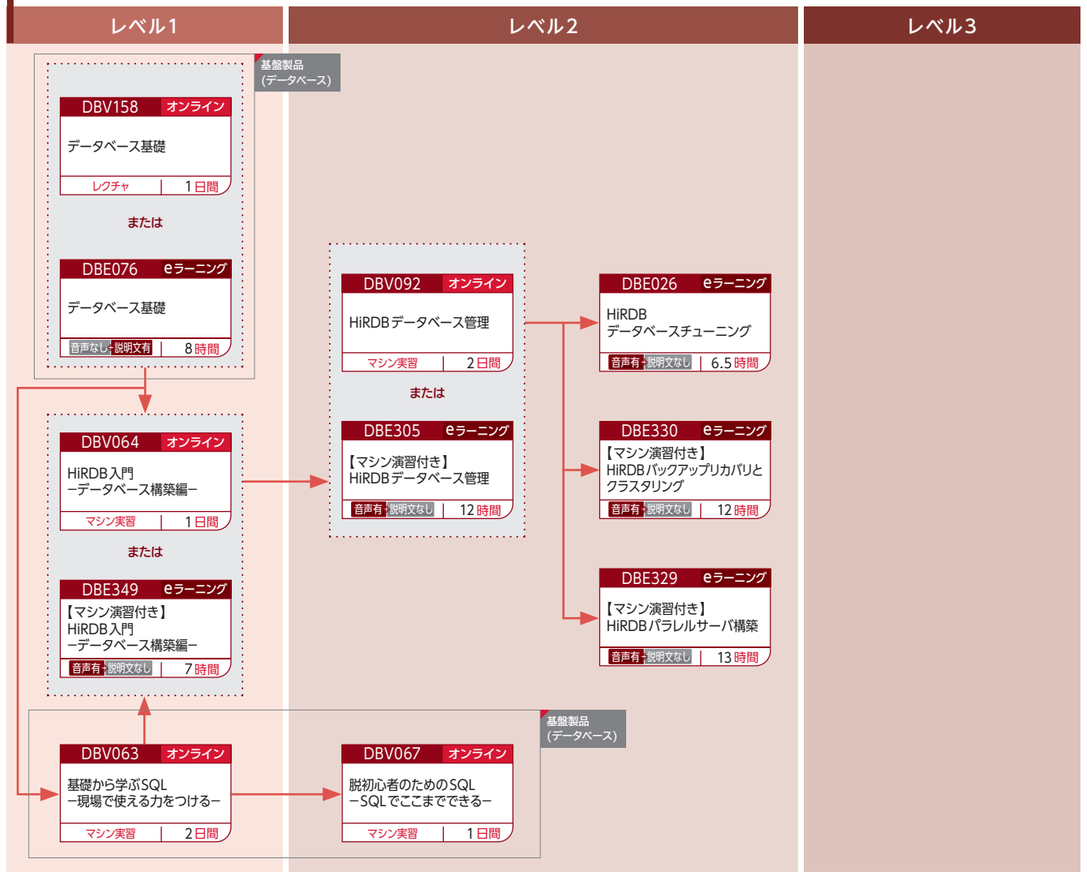
内　容
1. 性能設計と性能検証
2. 性能設計
3. 性能検証とチューニング
4. 修了試験

受講料 ¥34,100

HiRDBの機能概要を修得したい方

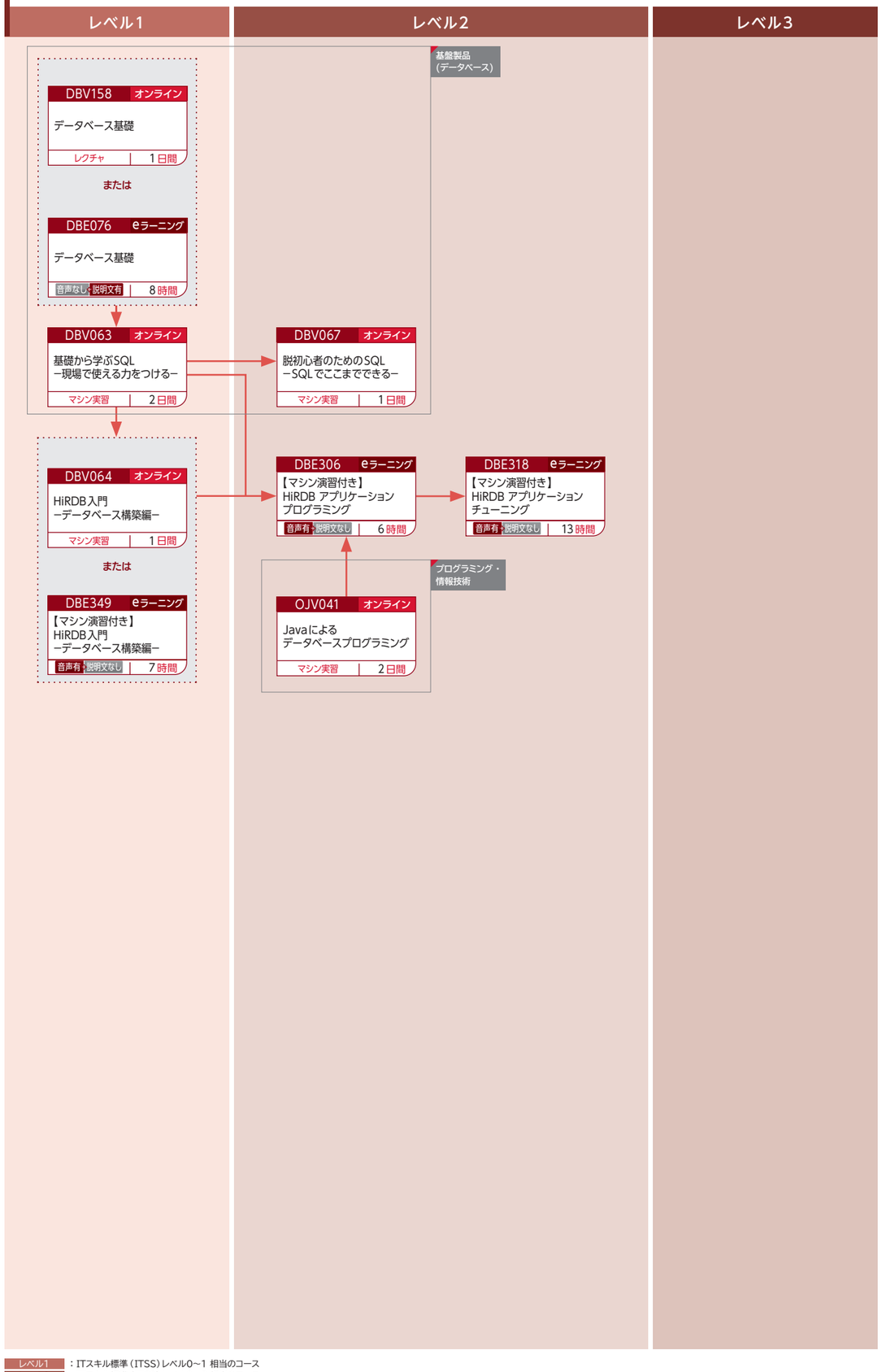


HiRDBを使用してデータベースを構築・運用する方



レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

HiRDBにアクセスするアプリケーションプログラムを開発する方



レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

eラーニング / コースコード DBE070

<eラーニング> HiRDB機能解説

eラーニング 7時間

HiRDBの特長、システム構成およびデータベース活用のための各種機能について学習します。

到達目標
- HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
- HiRDBシステムの各種機能の概要を理解し説明できる。

対象者 HiRDBシステムの設計・運用を行う方、HiRDBシステムの導入を検討している方。

前提知識 「データベース基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 並列データベースの技術
2. HiRDBの概要
3. データベースの構造
4. HiRDBの各種機能
5. 修了試験

受講料 ¥27,500

オンライン / コースコード DBV064

HiRDB入門−データベース構築編− 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

HiRDBを初めて使用するにあたって必要なHiRDBのアーキテクチャや、HiRDBにおけるユーザ・表・インデックスの概念、およびその定義方法に関する基礎知識を学習します。HiRDB講座の導入コースとしてお薦めです。

到達目標
- HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
- 定義系SQLを用いて、HiRDB上にユーザ、スキーマ、テーブル、ビュー、インデックスを作成できる。

対象者 HiRDBシステムの基礎的な知識を必要とする方、現在HiRDBの導入を検討している方。

前提知識 「データベース基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. HiRDBの概要
2. HiRDBインストール
3. HiRDB環境設定
4. HiRDBの開始と終了
5. ユーザの作成
6. スキーマの作成
7. 表の作成
8. インデックスの作成

受講料 ¥33,000

eラーニング / コースコード DBE349

<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB入門−データベース構築編−

eラーニング 7時間

HiRDBを初めて使用するにあたって必要な、HiRDBのアーキテクチャや、HiRDBにおけるユーザ・表・インデックスに関する基礎知識を学習します。HiRDB講座の導入コースとしてお薦めです。

到達目標
- HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
- 定義系SQLを用いて、HiRDB上にユーザ、スキーマ、テーブル、ビュー、インデックスを作成できる。

対象者 ITエンジニア職、若手/中堅HiRDB初学者の方で、データベース構築を基礎から学習したい方。

前提知識 「データベース基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. HiRDBの概要
2. HiRDBのインストール
3. HiRDBの環境設定
4. HiRDBの開始と終了
5. ユーザの作成
6. スキーマの作成
7. 表の作成
8. インデックスの作成
9. 修了試験（HiRDB資格認定試験ではありません）

受講料 ¥33,000

オンライン / コースコード DBV092

HiRDBデータベース管理 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

HiRDBのデータベース物理設計から環境構築、定期的な運用（バックアップ/リカバリ、再編成、セキュリティ等）など、データベース管理者として必要な基礎知識を学習します。

到達目標
- HiRDBシステムの設計を行える。
- HiRDBのコマンドを用いHiRDBシステムを構築できる。
- HiRDBシステムの基本的な管理作業の概要を理解し説明できる。

対象者 HiRDBのデータベース管理者としての基本的な知識を必要とする方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL−現場で使える力をつける−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. HiRDBのアーキテクチャ
2. 構築と運用要件の確認
3. データベース設計
4. データベース構築
5. データベースセキュリティ
6. データベースの運用と保守
7. トラブルシューティング

受講料 ¥66,000

eラーニング / コースコード DBE305

<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBデータベース管理

eラーニング 12時間

HiRDBのデータベース物理設計から環境構築、定期的な運用（バックアップ/リカバリ、再編成、セキュリティ等）など、データベース管理者として必要な基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- HiRDBシステムの設計を行える。
- HiRDBのコマンドを用い、HiRDBシステムを構築できる。
- HiRDBシステムの基本的な管理作業の概要を理解し、説明できる。

対象者 HiRDBのデータベース管理者としての基本的な知識を必要とする方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL−現場で使える力をつける−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. HiRDBのアーキテクチャ
2. 構築と運用要件の確認
3. データベース設計
4. データベース構築
5. データベースセキュリティ
6. データベースの運用と保守
7. トラブルシューティング
8. 修了試験

受講料 ¥66,000

eラーニング / コースコード DBE026

<eラーニング> HiRDBデータベースチューニング

eラーニング 6.5時間

HiRDBを効率良く運用するために必要なパフォーマンス診断や、チューニング方法を学習します。

到達目標 HiRDBサーバ上の各種要素に対するパフォーマンス診断、チューニング方針を理解し、説明できる。

対象者 HiRDBのパフォーマンスチューニングの知識を必要とする方。

前提知識 「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

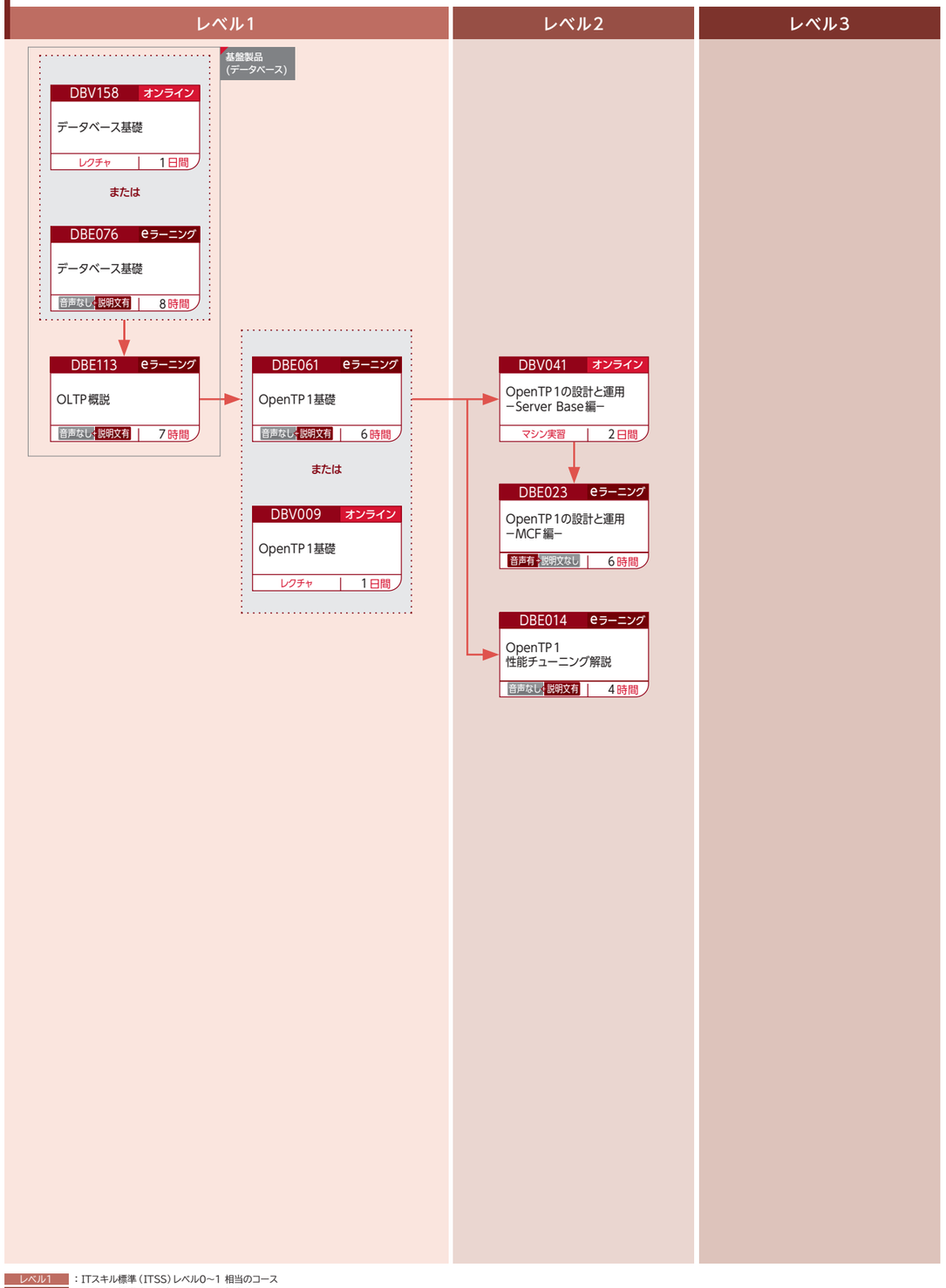
内 容
1. パフォーマンスチューニング概要
2. データベース設計
3. グローバルバッファのチューニング
4. ログバッファのチューニング
5. SQLオブジェクトバッファのチューニング
6. 修了試験

受講料 ¥30,800

OpenTP1

TPモニタであるOpenTP1システムの構築や運用、およびアプリケーションを開発するうえで必要となる知識と技術が修得できます。

OpenTP1を使用してOLTPシステムを構築・運用・設計する方



レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

eラーニング コースコード DBE330

<eラーニング>【マシン演習付き】HiRDBバックアップリカバリとクラスタリング

12時間

HiRDBを安定して運用するための技術や、各種障害に応じたリカバリ方法およびクラスタリング（系切り替え）技術を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・HiRDBシステムに対する各種バックアップ・リカバリ作業を行える。
・HiRDBシステムに対するクラスタリング技術の概要を理解し、説明できる。

対象者 HiRDB管理者として障害対策に関する知識を必要とする方。

前提知識 「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. バックアップリカバリとクラスタリングの概要
2. バックアップリカバリにあたっての基礎知識
3. データベースのバックアップ
4. データベースのリカバリ
5. システムファイルの障害対処
6. クラスタリングの概要
7. クラスタリング環境の構築と運用
8. 修了試験

受講料 ¥88,000

eラーニング コースコード DBE329

<eラーニング>【マシン演習付き】HiRDBパラレルサーバ構築

13時間

HiRDBパラレルサーバを使ったHiRDBシステムの構築や運用に必要な基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・HiRDBパラレルサーバシステムの物理設計ができる。
・HiRDBパラレルサーバシステムの構築ができる。
・HiRDBパラレルサーバシステムが持つ機能について理解し、説明できる。

対象者 HiRDBのデータベース管理者としてHiRDBパラレルサーバシステムの構築に関する知識を必要とする方。

前提知識 「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. HiRDBパラレルサーバのアーキテクチャ
   (1)HiRDBパラレルサーバの構成
   (2)HiRDBパラレルサーバの特長
   (3)HiRDBパラレルサーバの採用基準
2. 要件確認
   (1)要件確認の目的
   (2)要件確認項目一覧
   (3)項目の確認および調査
   (4)BES数見積もりに必要な項目の確認および調査
3. BESとFESの配置方針と必要台数の見積り
   (1)基本的なサーバの配置方針
   (2)BESの配置および必要台数の決定
   (3)FESの配置および必要台数の決定
4. リソースの配置方針と容量見積り
   (1)リソースの配置方針
   (2)容量見積り
5. データベース構築
   (1)データベース構築手順
   (2)サーバマシン環境・データベース環境の決定
   (3)システム定義ファイルの作成
   (4)HiRDBファイルシステム領域の作成
   (5)システムファイルの作成
   (6)RDエリアの作成とHiRDBシステムの開始
   (7)表の定義
6. HiRDBパラレルサーバのその他の機能
   (1)高性能を実現するHiRDBパラレルサーバの機能
   (2)HiRDBパラレルサーバシステムにおけるHAクラスタ
7. 修了試験

受講料 ¥88,000

eラーニング コースコード DBE306

<eラーニング>【マシン演習付き】HiRDB アプリケーションプログラミング

6時間

HiRDBにアクセスするアプリケーションを開発するために必要な知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 各種アプリケーション開発技術を用い、HiRDBにアクセスするアプリケーションを作成できる。

対象者 HiRDBにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL－現場で使える力をつけるー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. HiRDBのアーキテクチャ
2. HiRDBのアプリケーションプログラミング概要
3. 表のデータ型
4. アプリケーションプログラムの実装
5. ストアドプロシージャ、ストアドファンクションとトリガー
6. データベースセキュリティ
7. 修了試験

受講料 ¥33,000

eラーニング コースコード DBE318

<eラーニング>【マシン演習付き】HiRDB アプリケーションチューニング

13時間

HiRDBに適した処理効率の良い業務アプリケーションの開発技術や、アプリケーションのパフォーマンス診断およびチューニング方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・応用的なSQLを用い、HiRDBを効率的に使用するための技術を実装できる。
・HiRDBに接続するアプリケーションの、パフォーマンス診断、チューニング作業を行える。

対象者 HiRDBにアクセスする処理効率の良いアプリケーションの開発技術を必要とする方。

前提知識 「【マシン演習付き】HiRDBアプリケーションプログラミング」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. SQLコーディングテクニック
   (1)応用的なSQL
   (2)APの保守性/性能を高めるためのSQLの書き方
2. 排他制御
   (1)排他制御の概要
   (2)Isolationレベルの制御
   (3)デッドロック対策
3. アクセス効率の良いアプリケーションプログラムの作成
   (1)アクセスパス
   (2)SQLとインデックス
   (3)SQL最適化
4. SQLチューニング
   (1)統計情報の収集
   (2)SQLチューニング
   (3)HiRDB SQL Tuning Advisorを使用したSQLチューニング
5. 修了試験

受講料 ¥88,000

VOS3

日立メインフレームOSであるVOS3の使用方法や機能、システム運用管理技術が修得できます。

eラーニング　コースコード DBE061

<eラーニング> OpenTP1基礎

6時間

OLTPシステムを構築するにあたり必要となるOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能について学習します。

到達目標
・トランザクションの特長とOLTPについて理解し説明できる。
・OpenTP1の役割、構成、機能について理解し説明できる。

対象者 OpenTP1システムを構築および管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 「OLTP概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. OLTPの基礎知識
　(1)クライアントサーバシステム
　(2)OLTPの基礎知識
　(3)OpenTP1の特長
　(4)インターネット連携
2. OpenTP1の機能
　(1)アプリケーション間の通信形態
　(2)リモートプロシジャコール
　(3)メッセージ送受信形態
　(4)メッセージキューイング形態
　(5)OpenTP1のプロセス制御
　(6)トランザクション制御
　(7)OpenTP1のソフトウェア製品
3. OpenTP1の日常的な運用
　(1)システムファイル
　(2)OpenTP1の運用
4. 修了試験

受講料 ¥18,700

オンライン　コースコード DBV009

OpenTP1基礎 【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

OLTPシステムの構築に必要なOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能を学習します。

到達目標
・トランザクションの定義を説明できる。
・OLTPを説明できる。
・OpenTP1の機能を説明できる。

対象者 OpenTP1システムを構築・管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 OS、データベースおよびネットワークの基礎知識があること。

内　容
1. OLTPの基礎知識
　(1)クライアントサーバシステム
　(2)OLTPの基礎知識
　(3)インターネット連携
2. OpenTP1の機能
　(1)アプリケーション間の通信形態
　(2)リモートプロシジャコール(RPC)
　(3)メッセージ送受信形態
　(4)メッセージキューイング形態
　(5)OpenTP1のプロセス制御
　(6)トランザクション制御
3. OpenTP1の日常的な運用
　(1)システムファイル
　(2)OpenTP1の開始および終了

受講料 ¥33,000

オンライン　コースコード DBV041

OpenTP1の設計と運用 −Server Base編− 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

OpenTP1によるOLTPシステムの構築に必要なOpenTP1のシステムの作成、運用方法を学習します。

到達目標
・OpenTP1のコマンドを用いOpenTP1システムを構築できる。
・OpenTP1システムの基本的な管理ができる。

対象者 OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. OpenTP1の概要
2. OpenTP1システム構築
3. システムファイルの作成
4. システム定義の作成
5. リソースマネジャの登録
6. OpenTP1の運用
7. ユーザサーバの設定と運用
8. システムファイルの障害対策
9. OpenTP1クライアントの設定

受講料 ¥88,000

eラーニング　コースコード DBE023

<eラーニング> OpenTP1の設計と運用−MCF編−

6時間

MCFを使用するOpenTP1のシステムの作成、運用方法について学習します。

到達目標
・OpenTP1のコマンドを用い、MCFの機能を実装したOpenTP1システムを構築できる。
・MCFの機能を実装したOpenTP1システムの基本的な管理作業ができる。

対象者 OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1設計と運用−Server Base編−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. メッセージ送受信形態
2. OpenTP1システムの構築
3. ネットワークコミュニケーション定義の作成
4. OpenTP1の運用
5. 修了試験

受講料 ¥19,800

eラーニング　コースコード DBE014

<eラーニング> OpenTP1性能チューニング解説

4時間

OpenTP1における性能見積の考え方と、さまざまな性能チューニング方法について学習します。

到達目標
・OpenTP1における性能見積の考え方を理解し説明できる。
・さまざまな性能チューニング方法を理解し説明できる。

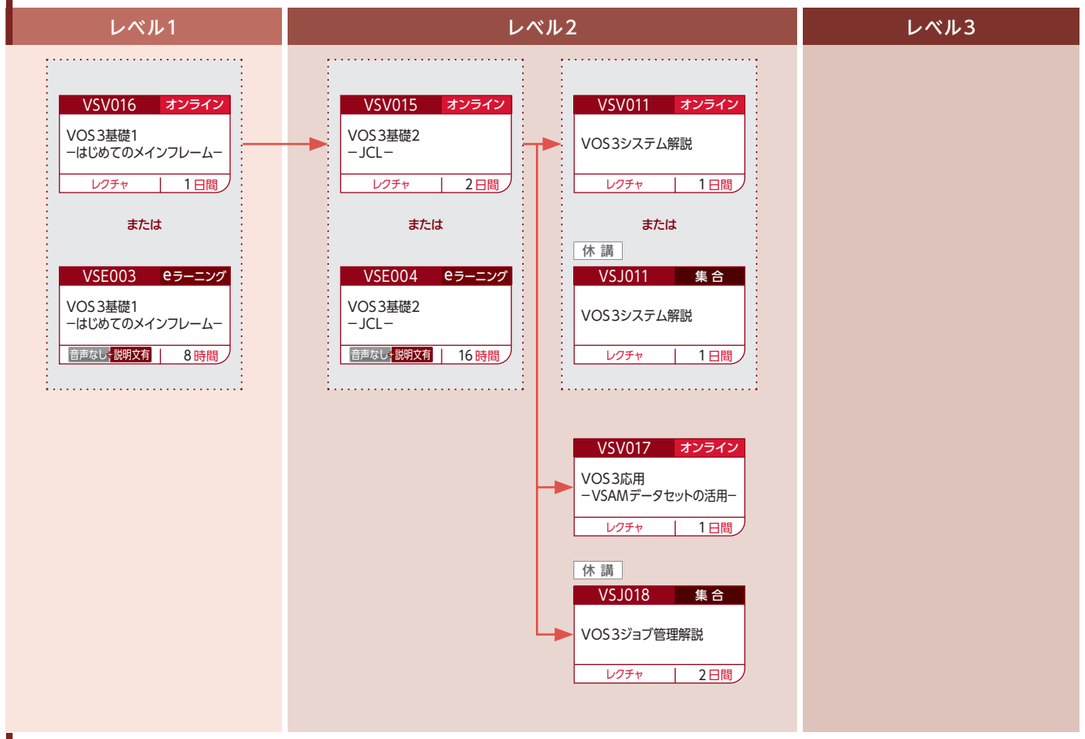
対象者 OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

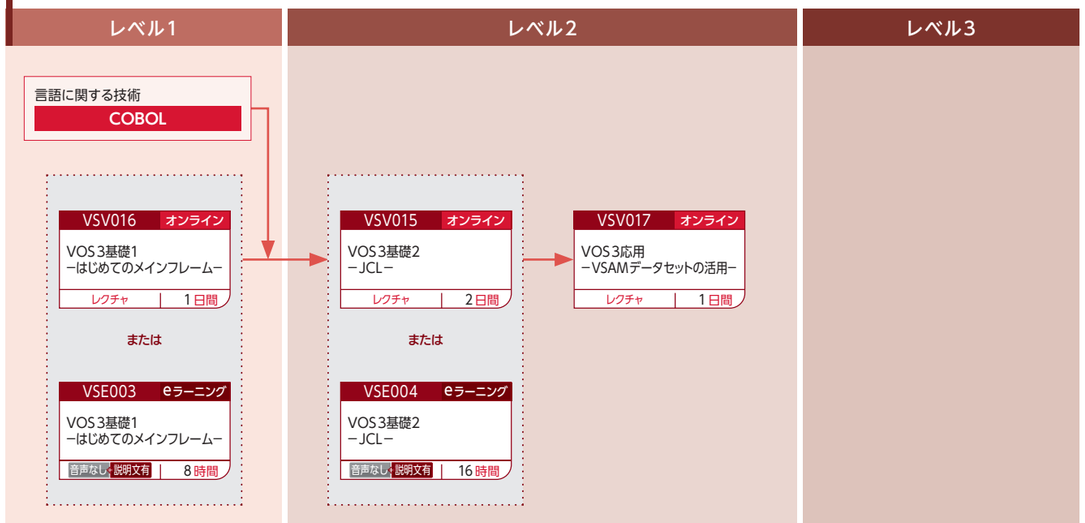
内　容
1. OpenTP1の通信性能
2. OpenTP1のトランザクション性能
3. OpenTP1のプロセス・メモリ性能
4. OpenTP1の性能全般
5. 修了試験

受講料 ¥11,000

VOS3システムの運用設計および実装・運用する方



VOS3システムでアプリケーションを開発する方



レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

日立製品（オープンミドル）
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

オンライン　コースコード VSV016

レクチャ 1日間

VOS3基礎1 −はじめてのメインフレーム− 【バーチャル・クラスルーム】

メインフレームシステムの構成要素（ハードウェア/ソフトウェア）、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。

到達目標
- メインフレームシステムの概要を説明できる。
- メインフレームシステムのデータ管理方式を説明できる。
- メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。
- メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。
- メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。

対象者 はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. メインフレームシステムの概要
2. メインフレームシステムのデータ管理方式
3. メインフレームシステムでのプログラム開発手順
4. メインフレームシステムでのジョブの実行手順
5. メインフレームシステムの運用管理機能

受講料 ¥33,000

eラーニング　コースコード VSE003

eラーニング 8時間

<eラーニング> VOS3基礎1 −はじめてのメインフレーム−

メインフレームシステムの構成要素（ハードウェア/ソフトウェア）、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。

到達目標
- メインフレームシステムの概要を説明できる。
- メインフレームシステムのデータ管理方式を説明できる。
- メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。
- メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。
- メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。

対象者 はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. メインフレームシステムの概要
2. メインフレームシステムのデータ管理方式
3. メインフレームシステムでのプログラム開発手順
4. メインフレームシステムでのジョブの実行手順
5. メインフレームシステムの運用管理機能
6. 修了試験

受講料 ¥18,700

オンライン　コースコード VSV015

レクチャ 2日間

VOS3基礎2−JCL− 【バーチャル・クラスルーム】

VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL（ジョブ制御文）や、システムメッセージリストの見方を学習します。

到達目標
- JCL（ジョブ制御文）の役割を説明できる。
- JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。
- システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。

対象者 VOS3システムでJCL（ジョブ制御文）を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。

前提知識 「VOS3基礎1−はじめてのメインフレーム−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. JCL（ジョブ制御文）の役割
2. ジョブの実行過程
3. ジョブ制御文
   （1）JOB文
   （2）EXEC文
   （3）DD文
4. システムメッセージリストの見方

受講料 ¥61,600

eラーニング　コースコード VSE004

eラーニング 16時間

<eラーニング> VOS3基礎2−JCL−

VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL（ジョブ制御文）や、システムメッセージリストの見方を学習します。

到達目標
- JCL（ジョブ制御文）の役割を説明できる。
- JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。
- システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。

対象者 VOS3システムでJCL（ジョブ制御文）を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。

前提知識 「VOS3基礎1−はじめてのメインフレーム−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. JCL（ジョブ制御文）の役割
2. ジョブの実行過程
3. ジョブ制御文
   （1）JOB文
   （2）EXEC文
   （3）DD文
4. システムメッセージリストの見方
5. 修了試験

受講料 ¥36,300

オンライン　コースコード VSV011

レクチャ 1日間

VOS3システム解説 【バーチャル・クラスルーム】

VOS3システムを管理するために必要となるVOS3の基礎知識や機能を学習します。

到達目標
- VOS3システムの処理形態を説明できる。
- 仮想空間の構成について説明できる。
- 仮想空間と記憶装置（主記憶・補助記憶）の関係を説明できる。
- TRUSTの機能について説明できる。
- システム運用の自動化機能について説明できる。

対象者 VOS3システムを管理する方。

前提知識 「VOS3基礎2−JCL−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。VOS3の利用経験が2年以上あると、より理解が深まります。

内　容
1. VOS3の概要
2. 各種処理形態
   （1）バッチ
   （2）TSS
   （3）DB/DC
3. 仮想記憶装置のしくみ
4. データ処理の高速化機能
   （1）LPAの利用
   （2）XPL
   （3）VSAMHAF
   （4）VIO
   （5）SAMESF
5. セキュリティ管理機能（TRUST）
6. システム運用の自動化機能
   （1）AOMPLUS
   （2）HOPSS3
   （3）JP1との連携

受講料 ¥33,000

集合　コースコード VSJ011　休講

レクチャ 1日間

VOS3システム解説

VOS3システムを管理するために必要となるVOS3の基礎知識や機能を学習します。

到達目標
- VOS3システムの処理形態を説明できる。
- 仮想空間の構成について説明できる。
- 仮想空間と記憶装置（主記憶・補助記憶）の関係を説明できる。
- TRUSTの機能について説明できる。
- システム運用の自動化機能について説明できる。

対象者 VOS3システムを管理する方。

前提知識 「VOS3基礎 2−JCL−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。VOS3の利用経験が2年以上あると、より理解が深まります。

内　容
1. VOS3の概要
2. 各種処理形態
   （1）バッチ
   （2）TSS
   （3）DB/DC
3. 仮想記憶装置のしくみ
4. データ処理の高速化機能
   （1）LPAの利用
   （2）XPL
   （3）VSAM HAF
   （4）VIO
   （5）SAM ESF
5. セキュリティ管理機能（TRUST）
6. システム運用の自動化機能
   （1）AOMPLUS
   （2）HOPSS3
   （3）JP1との連携

受講料 ¥33,000

オンライン　コースコード VSV017

レクチャ 1日間

VOS3応用 −VSAMデータセットの活用− 【バーチャル・クラスルーム】

VOS3システムを管理、およびVOS3システムでアプリケーションプログラムを開発するうえで必要となるVSAMの基礎知識や機能を学習します。

到達目標
- VSAMデータセットの特長を説明できる。
- VSAMユーティリティの機能を説明できる。
- ライブラリ管理システム LIME E2の機能を説明できる。
- カタログの役割、機能を説明できる。

対象者 VOS3システムの運用を行う方、VOS3システムでアプリケーションの開発を行う方。

前提知識 「VOS3基礎2−JCL−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. データセットとディスクボリューム
2. VSAMデータセットの特長
3. ライブラリ管理システムLIMEE2の機能
4. データセットのカタログ機能
5. VSAMユーティリティの機能

受講料 ¥33,000

集合　コースコード VSJ018　休講

レクチャ 2日間

VOS3ジョブ管理解説

VOS3のシステム管理をするために必要となるJSS3の機能と設定方法を学習します。

到達目標
- JSS3の機能を説明できる。
- JSS3の起動の流れや仕組みを説明できる。
- ジョブ入出力に関するパラメタを説明できる。
- ジョブの実行スケジュールに関するパラメタを説明できる。

対象者 VOS3システムの運用管理に携わる方。

前提知識 「VOS3基礎2−JCL−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. JSS3の概要
2. JSS3の起動と初期設定
   （1）JSS3起動用カタログドプロシジャ
   （2）JSS3初期設定パラメタ
3. ジョブの実行管理
   （1）ジョブの流れ
   （2）ジョブの入力
   （3）ジョブの実行スケジュール
   （4）ジョブの実行制御
   （5）ジョブ結果の出力
   （6）スプールとジョブキューの管理

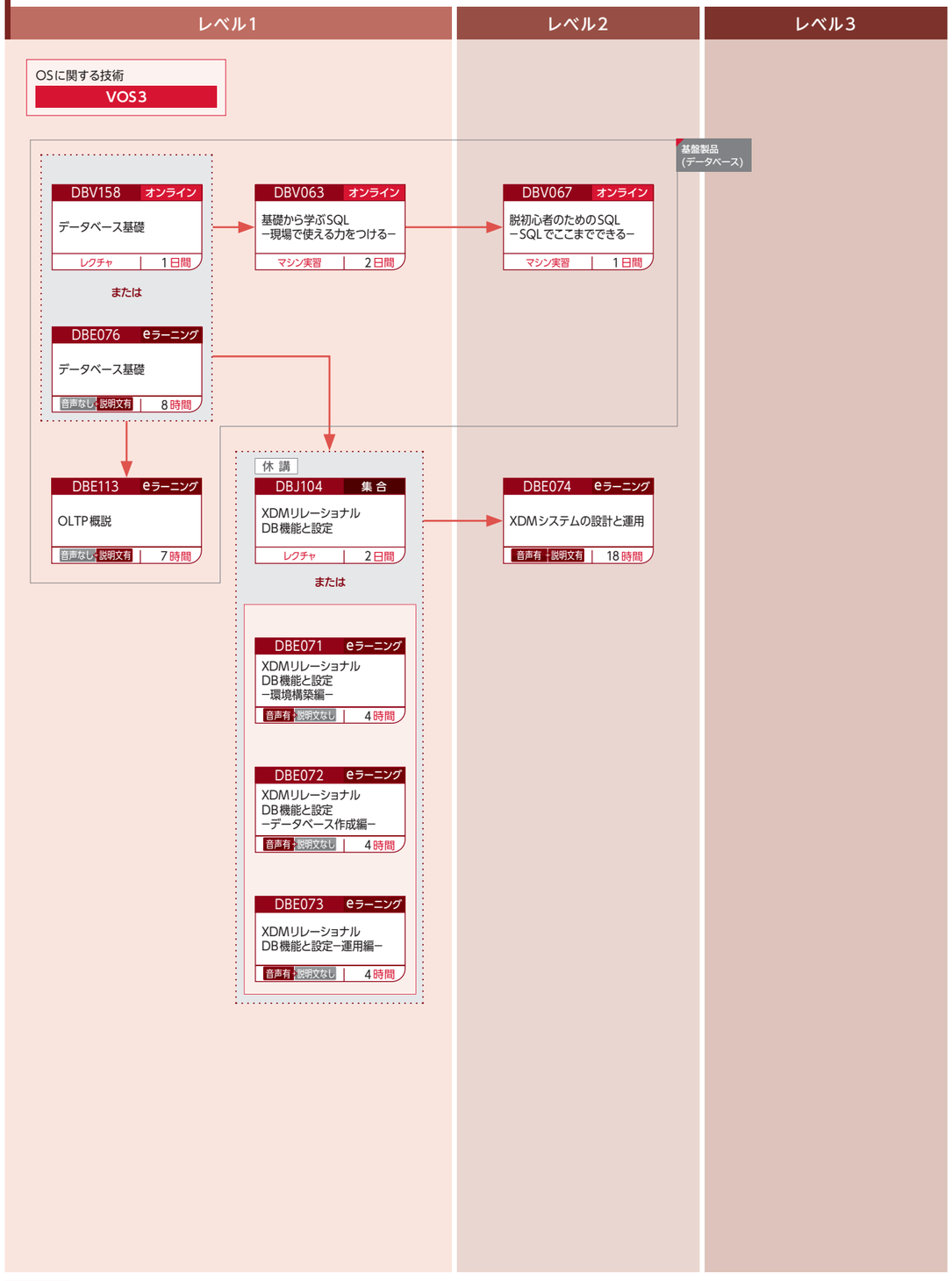
受講料 ¥61,600

日立製品（オープンミドル）
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM

XDM

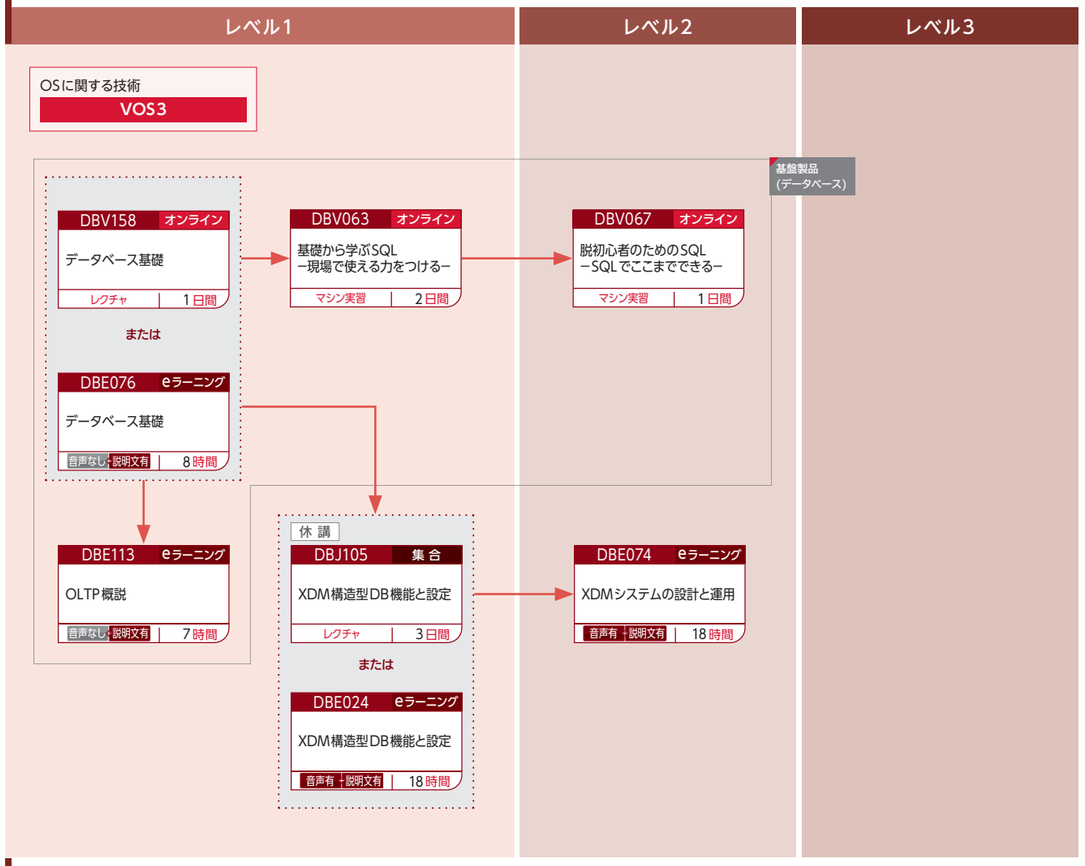
日立メインフレーム DB/DCである XDMの機能や 設定、システム運用管理技術が修得できます。

XDMを使用してリレーショナルデータベースを構築・運用・設計する方



レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

XDMを使用して構造型データベースを構築・運用・設計する方



XDM/DCCM3オンラインシステムを構築・運用・設計する方



音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

日立製品（オープンミドル）
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM

集合 コースコード DBJ104 休講

XDMリレーショナルDB機能と設定

レクチャ 2日間

XDMリレーショナルデータベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標
・論理構造と物理構造を理解し、説明できる。
・表およびインデクスを定義できる。
・機密保護、排他制御を理解し、説明できる。
・パッチUAP用ユーザ空間を起動できる。

対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. XDMシステムの概要
2. データベースの定義と作成
 (1)データベースの論理構造
 (2)データベースの物理構造
 (3)XDM/RDシステムの作成
3. データベースの管理と保守
 (1)データディクショナリ
 (2)機密保護
 (3)排他制御
4. データベースの運用
 (1)XDM/RDシステムの起動と停止
 (2)データベースの再編成

受講料 ¥55,000

eラーニング コースコード DBE071

<eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 −環境構築編−

eラーニング 4時間

XDMリレーショナルデータベース（XDM/RD）システムを構築する際に必要なデータベースの構造と、XDM/RD空間を起動するのに必要な定義方法を学習します。

到達目標
・論理構造と物理構造を理解し説明できる。
・RD初期設定ユティリティで設定するオペランドを理解し説明できる。

対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. XDMシステムの概要
2. データベースの論理構造と物理構造
 (1)データベースの論理構造
 (2)データベースの物理構造
3. XDM/RDシステムの作成
 (1)XDM/RDシステムの作成手順
 (2)XDM/RDシステムの作成の準備
 (3)XDM/RDシステムの環境設定
4. 修了試験

受講料 ¥15,400

eラーニング コースコード DBE072

<eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 −データベース作成編−

eラーニング 4時間

XDMリレーショナルデータベースシステム（XDM/RD）を構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法を学習します。

到達目標
・論理構造と物理構造を理解し説明できる。
・表およびインデクスを定義に必要なオペランドを理解し説明できる。

対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. XDMシステムの概要
2. データベースの論理構造と物理構造
 (1)データベースの論理構造
 (2)データベースの物理構造
3. データベースの作成
 (1)表の定義
 (2)インデクスの定義
 (3)データの初期ロードとインデクスの作成
 (4)ビュー表の定義
4. 修了試験

受講料 ¥15,400

eラーニング コースコード DBE073

<eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 −運用編−

eラーニング 4時間

XDMリレーショナルデータベース（XDM/RD）システムを構築する際に必要なデータベースの構造と、XDM/RD空間を起動するのに必要な定義方法を学習します。

到達目標
・機密保護、排他制御を理解し説明できる。
・パッチUAP用ユーザ空間の起動制御文に必要なオペランドを理解し説明できる。

対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. XDMシステムの概要
2. データベースの定義と作成
 (1)データベースの論理構造
 (2)データベースの物理構造
3. データベースの管理と保守
 (1)データディクショナリ
 (2)機密保護
 (3)排他制御
4. データベースの運用
 (1)XDM/RDシステムの起動と停止
 (2)データベースの再編成
5. 修了試験

受講料 ¥15,400

eラーニング コースコード DBE074

<eラーニング> XDMシステムの設計と運用

eラーニング 18時間

XDMによるオンラインシステムを構築、運用する際に必要な効果的なシステムの定義方法や運用の手順、およびそれらの作業方法を学習します。

到達目標
・XDM空間を起動できる。
・オンラインのさまざまなオプションを選択し性能改善できる。
・センタ運用のさまざまなオプションを選択し省力化が図れる。

対象者 XDMシステムの管理者としてシステムの定義作成や運用をする方。

前提知識 「XDM構造型DB機能と設定」コース、または「XDMリレーショナルDB機能と設定」eラーニングコース（3コースすべて）と、「XDM/DCCM3機能解説とシステム運用」コースを修了し、かつVOS3の各種用語や機能についての知識があること。

内　容
1. 概要
2. XDMシステムの構築と運用
 (1)XDM運用のポイント
3. XDMシステムの管理を支援するツール
 (1)XDM/AOFE2
 (2)XDM/PAF
4. XDMの設計指針
 (1)性能設計
 (2)信頼性設計
 (3)DB設計
 (4)DC設計

受講料 ¥79,200

集合 コースコード DBJ105 休講

XDM構造型DB機能と設定

レクチャ 3日間

XDM構造型データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標
・スキーマ、格納スキーマの適切な構造を定義できる。
・データベース実行環境の適切なオプションを選択できる。
・データベースの構造変更等の保守ができる。

対象者 XDM構造型データベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. XDMシステムの概要
2. データベースの論理構造とデータ操作
3. データベースの格納構造と定義
4. データベースの物理構造と定義
5. プログラムからのデータベース利用
 (1)仮想構造
 (2)データベースの操作機能
6. データベースの作成と保守
7. データベースの管理
 (1)排他制御
 (2)コミット（同期点）処理
 (3)データベースの障害回復

受講料 ¥82,500

eラーニング コースコード DBE024

<eラーニング> XDM構造型DB機能と設定

eラーニング 18時間

XDM構造型データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標
・スキーマ、格納スキーマの適切な構造を定義できる。
・データベース実行環境の適切なオプションを選択できる。
・データベースの構造変更等の保守ができる。

対象者 XDM構造型データベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. XDMシステムの概要
2. データベースの論理構造とデータ操作
3. データベースの格納構造と定義
4. データベースの物理構造と定義
5. プログラムからのデータベース利用
 (1)仮想構造
 (2)データベースの操作機能
6. データベースの作成と保守
7. データベースの管理
 (1)排他制御
 (2)コミット（同期点）処理
 (3)データベースの障害回復

受講料 ¥55,000

集合 コースコード DBJ103 休講

XDM／DCCM3機能解説とシステム運用

レクチャ 2日間

XDMによるオンラインシステムを構築、運用するにあたり必要なXDM/DCCM3のメッセージ制御機能とオンラインシステム運用のための機能を説明します。

到達目標
・メッセージ制御についてさまざまなオプションを選択し、機能設定できる。
・トランザクション定義ができる。

対象者 XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。

前提知識 データベースおよびネットワークの基礎知識があること。

内　容
1. XDMシステムの概要
2. メッセージ制御
 (1)メッセージ受信/送信処理
 (2)UAPのローディング方式
 (3)メッセージ編集など
3. オンラインの運用
 (1)XDMシステムの開始と終了
 (2)センタ運用
 (3)端末運用
4. XDM/DCCM3システム定義例

受講料 ¥55,000

eラーニング コースコード DBE025

<eラーニング> XDM／DCCM3機能解説とシステム運用

eラーニング 12時間

XDMによるオンラインシステムを構築、運用するにあたり必要なXDM/DCCM3のメッセージ制御機能とオンラインシステム運用のための機能を説明します。

到達目標
・メッセージ制御についてさまざまなオプションを選択し、機能設定できる。
・トランザクション定義ができる。

対象者 XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。

前提知識 データベースおよびネットワークの基礎知識があること。

内　容
1. XDMシステムの概要
2. メッセージ制御
 (1)メッセージ受信/送信処理
 (2)UAPのローディング方式
 (3)メッセージ編集など
3. オンラインの運用
 (1)XDMシステムの開始と終了
 (2)センタ運用
 (3)端末運用
4. XDM/DCCM3システム定義例

受講料 ¥37,400

日立製品（オープンミドル）
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM

日立製品（ハードウェア／ストレージ）

日立ブロックストレージに関する製品・機能について必要な知識やスキルを修得できます。

ストレージの基礎および周辺知識を知りたい方

レベル1

CLE007 eラーニング
ストレージシステム基礎
音声なし・説明文有 | 8時間

SJE318 eラーニング
SCSI入門
−ストレージインタフェースを理解するために−
音声有・説明文なし | 2時間

SJE319 eラーニング
SAS（Serial Attached SCSI）入門−ストレージインタフェースを理解するために−
音声有・説明文なし | 2時間

SJE320 eラーニング
SATA入門
音声有・説明文なし | 2時間

レベル2

SJE321 eラーニング
Fibre Channel概説
−日立ストレージ・ホストの接続を理解するために−
音声有・説明文なし | 4時間

CLE008 eラーニング
SAN概説
音声有・説明文なし | 5時間

Renewal
SLJ007 集合
プラットフォーム統合構築・操作実習（仮想化サーバ・ストレージ・ネットワーク）
−プラットフォームシステムを学ぶ−
マシン実習 | 3日間

CLE004 eラーニング
ストレージ関連者向け
サーバ仮想化技術概説
音声なし・説明文有 | 3時間

Renewal
SLV105 オンライン
日立ストレージ製品概要
−ストレージ基礎・製品紹介編−
レクチャ | 1日間

SLV088 オンライン
初歩から学ぶ
ストレージ構築のポイント
レクチャ | 0.5日間

SLV087 オンライン
初歩から学ぶ
日立ストレージ GUI/CLIツール
−各ツールの操作を体験する−
マシン実習 | 0.5日間

レベル3

日立ストレージのハードウェア製品特長・構成を知りたい方

レベル1

レベル2

Renewal
SLV105 オンライン
日立ストレージ製品概要
−ストレージ基礎・製品紹介編−
レクチャ | 1日間

SLV089 オンライン
日立ミッドレンジストレージ
ハードウェア解説
レクチャ | 0.5日間

SLV088 オンライン
初歩から学ぶ
ストレージ構築のポイント
レクチャ | 0.5日間

SLV073 オンライン
日立ミッドレンジストレージ
VSP One解説
マシン実習 | 0.5日間

レベル3

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

日立ストレージの各機能を使用したシステムの構築・運用技術を知りたい方

レベル1

レベル2

SLV089 オンライン
日立ミッドレンジストレージ
ハードウェア解説
レクチャ | 0.5日間

SLV091 オンライン
日立ストレージ
基本ソフトウェア解説
マシン実習 | 0.5日間

SLV102 オンライン
日立ストレージ
スナップショット機能
レクチャ | 0.5日間

【ハンズオンコース】

SLV093 オンライン
日立ストレージ
ローカルコピー機能
マシン実習 | 0.5日間

SLV095 オンライン
日立ストレージ
仮想ボリューム機能
マシン実習 | 0.5日間

SLV094 オンライン
日立ストレージ
リモートコピー機能
マシン実習 | 0.5日間

SLV103 オンライン
日立ストレージ
データ移行機能
マシン実習 | 0.5日間

SLV096 オンライン
日立ストレージ
ストレージ二重化機能
マシン実習 | 0.5日間

SLV090 オンライン
日立ストレージ
REST API概要
レクチャ | 0.5日間

SLV092 オンライン
REST APIによる
日立ストレージ操作
マシン実習 | 0.5日間

SLV087 オンライン
初歩から学ぶ
日立ストレージ GUI/CLIツール
−各ツールの操作を体験する−
マシン実習 | 0.5日間

SLV098 オンライン
日立ストレージ
RAID Manager概要
レクチャ | 0.5日間

【ハンズオンコース】

SLV099 オンライン
日立ストレージ
RAID Manager操作
−ローカルコピー・スナップショット−
マシン実習 | 0.5日間

SLV100 オンライン
日立ストレージ
RAID Manager操作
−リモートコピー・GAD−
マシン実習 | 0.5日間

SLV101 オンライン
日立ストレージ
Storage Navigator操作
マシン実習 | 0.5日間

レベル3

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

eラーニング　コースコード　CLE007

<eラーニング> ストレージシステム基礎

8時間

ストレージ（ディスク、テープ）に関する基本事項を学習します。

到達目標 ストレージに関する基本的な用語を理解でき、業務に活用できる。

対象者 ストレージに関する業務をこれから始める方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ディスクシステムとは
   (1)ディスクシステムの位置付け
2. ディスクシステム基礎技術
   (1)RAID技術
   (2)ストレージインタフェース（オープンシステム・メインフレーム）
   (3)ネットワークを使用したストレージ
   (4)サーバ関連事項
3. テープバックアップ
   (1)バックアップの必要性、テープバックアップを実現する要素
   (2)テープ関連基礎知識
4. 修了試験

受講料 ¥19,800

eラーニング　コースコード　SJE318

<eラーニング> SCSI入門 −ストレージインタフェースを理解するために−

2時間

ホスト（UNIX・Windows）とストレージ（HDD）を接続するインタフェースであるSCSIの基本事項について、パラレルSCSIを中心に学習します。

到達目標
- パラレルSCSIのシステム構成を説明できる。
- パラレルSCSIの動作概要を説明できる。
- シリアルSCSIの種類と特長を説明できる。

対象者 サーバ・ストレージなどSCSIを使用した製品に関する業務を担当する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. SCSIとは
2. パラレルSCSI概要
   (1)ハードウェア
   (2)システム構成
3. パラレルSCSI詳細
   (1)コマンド体系
   (2)ステータス、センスデータ
   (3)コマンドシーケンス
4. 関連事項　CommandQueuing機能
5. 修了試験

受講料 ¥14,300

eラーニング　コースコード　SJE319

<eラーニング> SAS（Serial Attached SCSI）入門 −ストレージインタフェースを理解するために−

2時間

SASの基本知識を学習します。

到達目標
- SASのシステム構成を説明できる。
- SASの動作概要を説明できる。
- SASのSATAデバイスサポートを説明できる。

対象者 サーバ・ストレージなどHDDを使用した製品に関する業務を担当する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. SASとは
2. SAS概要
   (1)ハードウェア
   (2)システム構成
3. SAS詳細
   (1)データ転送
   (2)コマンド体系
   (3)コマンドシーケンス
4. SASのSATAデバイスサポート
5. 修了試験

受講料 ¥14,300

eラーニング　コースコード　SJE320

<eラーニング> SATA入門

2時間

SATAの機能・システム構成・内部動作を学習します。

到達目標
- SATAの機能、システム構成を説明できる。
- SATAの内部動作を理解できる。

対象者 サーバ・ストレージなどHDDを使用した製品に関する業務を担当する方。

前提知識 PCの構造を理解していること。

内　容
1. ATAとは
   (1)歴史
   (2)ATAのシステム的な位置づけ
2. パラレルATA
   (1)システム構成
   (2)レジスタインタフェース
   (3)基本的なシーケンス
3. シリアルATA（SATA）
   (1)パラレルATAとの異なり/システム構成
   (2)基本的なシーケンス
   (3)独自機能コマンドキューイング・SAS連携
4. 修了試験

受講料 ¥14,300

eラーニング　コースコード　SJE321

<eラーニング>Fibre Channel概説 −日立ストレージ・ホストの接続を理解するために−

4時間

ホスト・ストレージ間接続に使用されるFibre Channelについての基礎知識を学習します。

到達目標
- Fibre Channelに関する用語を使いこなすことができる。
- サーバ・ストレージ製品で使用されているFibre Channel技術を理解できる。

対象者 日立ストレージに関する業務を担当している方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. Fibre Channelの歴史と特長
2. Fibre Channelハードウェア
   (1)メディアタイプ
   (2)FC-Switch
3. Fibre Channel基本事項
   (1)トポロジ
   (2)アドレス構成
4. 憶えておきたいキーワード
5. Fibre Channel詳細/各レイヤの詳細
6. 修了試験

受講料 ¥14,300

集合　コースコード　SLJ007　Renewal

プラットフォーム統合構築・操作実習（仮想化サーバ・ストレージ・ネットワーク） −プラットフォームシステムを学ぶ−

3日間

日立の主要なプラットフォーム製品（サーバ、ストレージ、ネットワーク）を使用したシステム構築・操作を行い、統合システムを構築するための基礎力を育成します。

到達目標
- 日立の主要なプラットフォーム製品を理解できる。
- プラットフォームを組み合わせたシステム構築、操作を理解できる。

対象者 日立プラットフォーム製品に関する業務（提案/システム構築/開発など）に携わる方。

前提知識 新人研修で各製品（サーバ、ストレージ、ネットワーク）の基礎知識を学習された方。

内　容
1. 製品紹介とホスト・ストレージ接続：1日目
   (1)製品紹介 HA8000/LANスイッチ/ミッドレンジストレージ他
   (2)ホスト・ストレージ接続実習
2. 仮想化システムの構築：2日目
   (1)仮想化の基本的な考え方
   (2)VMware概要
   (3)システムの構築実習 ESXi、vCenter Server、vSphere Client
3. ネットワーク：3日目
   (1)ネットワーク概要 Ethernet/TCP/IPネットワーク
   (2)LANスイッチによるネットワーク構築実習

受講料 ¥115,500

eラーニング　コースコード　CLE008

<eラーニング> SAN概説

5時間

SAN（Storage Area Network）およびSAN関連製品に携わっていくためのSANの基礎知識を学習します。

到達目標 SANの全体像が説明できる。

対象者 SAN関連業務に従事する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. SANとは
2. SANトポロジ（FC-SAN、IP-SAN）
3. SANソリューション バックアップ、ディザスタリカバリ、ストレージ仮想化
4. ストレージ管理
5. NAS（Network Attached Storage）/データアーカイブ
6. 修了試験

受講料 ¥26,400

eラーニング　コースコード　CLE004

<eラーニング> ストレージ関連者向け サーバ仮想化技術概説

3時間

VMware・Hyper-Vなどのサーバ仮想化環境で日立ストレージを動作させる場合のシステム構成・ポイントをサーバ仮想化の基本技術を交えて学習します。

到達目標 VMware・Hyper-Vなどのサーバ仮想化環境で日立ストレージを動作させる場合のシステム構成・ポイントをサーバ仮想化の基本技術を理解できる。

対象者 ストレージ関連の方で、サーバ仮想化に興味のある方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. サーバ仮想化概要
2. 代表的なサーバ仮想化製品
3. サーバ仮想化環境でのストレージ関連設定
4. 修了試験

受講料 ¥8,800

オンライン　コースコード　CLE003　Renewal

<eラーニング> 日立ストレージ製品概要 −ストレージ基礎・製品紹介編−

1日間

Hitachi Storage Solutions製品の基礎知識、提案および見積りの手順について学習します。

到達目標
- Hitachi Storage Solutionsの基礎知識、提案、見積りに必要な事項を修得し、カタログを用いてHitachi Storage Solutionsの製品説明ができるようになる。
- 顧客のニーズを把握できるようになる。

対象者 顧客に対しHitachi Storage Solutionsに関する最適なシステムの提案技術の修得をめざす営業・SEの方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ストレージと基礎知識
2. ストレージ製品ラインアップと特長
3. 日立ストレージソフトウェアおよびソリューション
4. 日立ストレージ管理ソフトウェア
5. 日立ストレージ提案・見積り

受講料 ¥38,500

オンライン　コースコード　SLV088

初歩から学ぶ ストレージ構築のポイント 【バーチャル・クラスルーム】

0.5日間

日立ストレージの性能に関するポイントや、ストレージ障害発生時の装置状態、アラート情報の確認方法、ストレージシステム構築時に必要となるハードウェア、ソフトウェアなど、日立ストレージを使用したシステムを構築するために知っておきたい内容を学習します。

到達目標
- 日立ストレージの性能に関するポイントが説明できる。
- 装置の状態、アラート情報の確認ができる。
- ストレージシステム構築に必要となるハードウェア、ソフトウェアが理解できる。

対象者 日立ストレージを担当する営業、SEの方。

前提知識 日立ストレージに関する知識があること。

内　容
1. 日立ストレージ紹介
2. 日立ストレージ性能ポイント
3. 装置状態の確認
4. ストレージ製品利用例

受講料 ¥27,500

オンライン　コースコード　SLV087

初歩から学ぶ 日立ストレージ GUI／CLIツール−各ツールの操作を体験する− 【バーチャル・クラスルーム】

0.5日間

日立ストレージが提供する各種ツール（GUI/CLI）の導入方法および基本的な操作を学習します。オンラインで各種ツールを使用した演習を行います。

到達目標
- 日立ストレージの各種ツールを説明できる。
- 各種ツールの操作できる機能の違いが理解できる。
- GUIツールのインストールおよび操作ができる。
- CLIツールのインストールおよび操作ができる。

対象者 日立ストレージの設定を担当している方、およびこれから担当する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. GUI/CLIツール概要
2. Hitachi Storage Advisor Embedded操作
   (1)接続方法
   (2)サーバ登録、ボリューム作成、LUNマッピング操作など
3. Storage Navigator操作
   (1)インストール、装置登録
   (2)ストレージ情報の確認
   (3)ボリューム作成、LUNマッピング操作など
4. RAID Manager操作
   (1)インストール、定義ファイル編集
   (2)ストレージ情報の確認
   (3)ボリューム作成、LUNマッピング操作など
5. REST API操作
   (1)ストレージ情報の確認
   (2)ボリューム作成、LUNマッピング操作など

受講料 ¥27,500

オンライン　コースコード　SLV073

日立ミッドレンジストレージ VSP One解説 【バーチャル・クラスルーム】

0.5日間

日立ミッドレンジストレージ Hitachi Virtual Storage Platform One（VSP One）の特長、ハードウェア構成、および従来製品との違いについて学習します。また、新たにサポートされた操作ツール「VSP One Block Administrator」を操作して、VSP Oneの設定方法を学習します。

到達目標
- 日立ミッドレンジストレージVSP Oneについて説明できるようになる。
- 従来製品との違いがわかる。
- 新ツールVSP One Block AdministratorによるVSP Oneの設定方法がわかる。

対象者 日立ミッドレンジストレージVSP Oneについて修得をめざす方。

前提知識 日立のミッドレンジストレージに関する知識があること。

内　容
1. VSP One概要
   (1)VSP One概要
   (2)VSP One特長
   (3)VSP One仕様
   (4)VSP Oneハードウェア
2. VSP Oneと従来製品との違い
   (1)ハードウェアの違い
   (2)ソフトウェアの違い
3. VSP One Block Administrator概要
   (1)VSP One Block Administrator概要
   (2)VSP One Block Administrator操作

受講料 ¥27,500

オンライン　コースコード SLV089

レクチャ 0.5日間

日立ミッドレンジストレージ ハードウェア解説【バーチャル・クラスルーム】

日立のミッドレンジストレージ製品のラインアップとオプション構成などハードウェアシステム構成ができる知識について学習します。

到達目標
・日立ミッドレンジストレージ製品が説明できるようになる。
・日立ミッドレンジストレージのハードウェア構成がわかる。

対象者 日立ミッドレンジストレージについて基本的な技術の修得をめざす方。

前提知識 ストレージに関する知識があること。

内　容
1. ミッドレンジストレージ製品概要
　(1)製品ラインアップ
　(2)製品概要
　(3)製品特長
　(4)製品仕様
2. ミッドレンジストレージ　ハードウェア
　(1)ハードウェア構成
　(2)ハードウェアコンポーネント
　(3)その他　ハードウェア関連

受講料 ¥27,500

オンライン　コースコード SLV091

マシン実習 0.5日間

日立ストレージ 基本ソフトウェア解説【バーチャル・クラスルーム】

日立ストレージが提供する、基本ソフトウェアの操作・設定ができる知識について学習します。なお、GUI操作も体験いただけます。

到達目標
・日立ストレージの基本ソフトウェアが説明できる。
・基本ソフトウェアの操作ができる。

対象者 日立ストレージの基本ソフトウェアを知りたい方。

前提知識 日立ストレージの知識があること。

内　容
1. 日立ストレージ管理インタフェース(GUI)
2. 基本ソフトウェア機能
　(1)LUN Manager
　(2)Dynamic Provisioning
　(3)Performance Monitor
　(4)その他機能

受講料 ¥33,000

オンライン　コースコード SLV102

レクチャ 0.5日間

日立ストレージ スナップショット機能【バーチャル・クラスルーム】

日立ストレージのスナップショット機能：Thin Imageについて、基本機能を学習します。

到達目標
・Thin Imageの基本機能を説明できる。
・Thin Imageのペア操作、ペア状態を説明できる。

対象者 日立ストレージのスナップショット機能：Thin Imageの機能の修得をめざす方。

前提知識「日立ミッドレンジストレージ ハードウェア解説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Thin Image概要
　(1)基本機能
　(2)ペア操作と状態遷移
2. Storage Navigatorによる操作

受講料 ¥24,200

オンライン　コースコード SLV093

マシン実習 0.5日間

日立ストレージ ローカルコピー機能【バーチャル・クラスルーム】

日立ストレージのローカルコピー機能：ShadowImageについて、基本機能を学習します。

到達目標
・ShadowImageの基本機能を説明できる。
・ShadowImageのペア操作、ペア状態を説明できる。

対象者 日立ストレージのローカルコピー機能：ShadowImageの機能の修得をめざす方。

前提知識「日立ミッドレンジストレージ ハードウェア解説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ShadowImage概要
　(1)基本機能
　(2)ペア操作と状態遷移
2. Storage Navigatorによる操作

受講料 ¥24,200

オンライン　コースコード SLV095

マシン実習 0.5日間

日立ストレージ 仮想ボリューム機能【バーチャル・クラスルーム】

日立ストレージの仮想化機能：Dynamic Provisioning、Dynamic Tieringの基本機能、システム構成、設定について学習します。

到達目標
・Dynamic Provisioningの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Dynamic Tieringの知識を修得し、操作・設定ができる。
・active flashの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ストレージの仮想化機能：Dynamic Provisioning、Dynamic Tiering、active flashの機能の修得をめざす方。

前提知識「日立ミッドレンジストレージ ハードウェア解説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Dynamic Provisioning(HDP)
　(1)基本機能、システム構成
　(2)操作(仮想ボリューム、プール作成、ホスト接続)
　(3)操作演習
2. Dynamic Tiering(HDT)
　(1)基本機能、システム構成、操作概要
3. active flash
　(1)基本機能、操作概要

受講料 ¥33,000

オンライン　コースコード SLV094

マシン実習 0.5日間

日立ストレージ リモートコピー機能【バーチャル・クラスルーム】

日立ストレージのリモートコピー機能：TrueCopy、Universal Replicatorの基本機能を学習します。

到達目標
・TrueCopyの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Universal Replicatorの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ストレージのリモートコピー機能：TrueCopy、Universal Replicatorの機能の修得をめざす方。

前提知識「日立ミッドレンジストレージ ハードウェア解説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. TrueCopy
　(1)基本機能
　(2)ペア操作と状態遷移
　(3)システム構成
2. Universal Replicator
　(1)基本機能
　(2)ペア操作と状態遷移
　(3)システム構成
3. リモートコピー設定
4. ローカルコピー連携構成

受講料 ¥26,400

マシン実習　マシンを使用しながらの研修
グループ演習　グループ演習を中心とした研修
レクチャ　座学による研修
eラーニング　インターネット接続による自己学習
自習テキスト　自習書による独習

オンライン　コースコード SLV103

マシン実習 0.5日間

日立ストレージ データ移行機能【バーチャル・クラスルーム】

日立ストレージの外部ストレージ接続機能：Universal Volume Managerの基本機能を学習します。

到達目標
・Universal Volume Managerの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Universal Volume Managerを使用してデータ移行ができる。

対象者 日立ストレージの外部ストレージ接続機能：Universal Volume Managerの機能の修得をめざす方。

前提知識「日立ミッドレンジストレージ ハードウェア解説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Universal Volume Manager(UVM)概要
　(1)基本機能、システム設定・操作
2. Universal Volume Managerを使用したデータ移行
　(1)データ移行概要
　(2)データ移行操作演習

受講料 ¥27,500

オンライン　コースコード SLV096

マシン実習 0.5日間

日立ストレージ ストレージ二重化機能【バーチャル・クラスルーム】

日立ストレージのストレージ二重化機能：global-active deviceの基本機能を学習します。

到達目標 global-active deviceの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ストレージのストレージ二重化機能：global-active deviceの機能の修得をめざす方。

前提知識「日立ストレージ リモートコピー機能」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. global-active device概要
　(1)基本機能
　(2)ペア操作と状態遷移
　(3)システム構成
2. global-active device設定

受講料 ¥24,200

オンライン　コースコード SLV090

レクチャ 0.5日間

日立ストレージ REST API概要【バーチャル・クラスルーム】

REST APIによる日立ストレージの操作に関する基本的な内容を学習します。

到達目標
・REST APIを説明できるようになる。
・REST APIの基本的な使用方法が理解できる。

対象者 ストレージの運用・管理を行う方。

前提知識 日立ストレージに関する知識があること。

内　容
1. REST APIとは
2. REST API操作概要
　(1)管理対象リソースの指定方法
　(2)メインの形式
　(3)REST APIの基本実行フロー
　(4)セッション認証
　(5)RESTクライアントに関して

受講料 ¥19,800

オンライン　コースコード SLV092

マシン実習 0.5日間

REST APIによる日立ストレージ操作【バーチャル・クラスルーム】

日立ストレージの設定、管理方法をマシン実習を通じて学習します。

到達目標
・REST APIを使用してストレージの設定ができる。
・REST APIを使用してストレージの情報を確認できる。

対象者 ストレージの運用・管理を行う方。

前提知識 日立ストレージに関する知識があること。

内　容
1. REST APIセッション生成操作
2. ストレージ基本設定操作
　(1)ストレージ情報の取得
　(2)パリティグループの作成
　(3)ボリューム作成、LUNマッピング
　(4)Dynamic Provisioning操作
3. ボリュームコピー機能操作
　(1)ShadowImage操作

受講料 ¥27,500

オンライン　コースコード SLV098

レクチャ 0.5日間

日立ストレージ RAID Manager概要【バーチャル・クラスルーム】

日立ストレージをコマンドで操作するRAID Managerについて、概要、インストール、設定方法について学習します。

到達目標 RAID Managerの知識を修得し、設定ができる。

対象者 RAID Managerのインストール、設定方法の修得をめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. RAID Manager概要
2. RAID Manager設定
　(1)インストール
　(2)構成定義ファイル設定
3. RAID Manager演習
　(1)構成定義ファイルの作成、インスタンス起動

受講料 ¥33,000

オンライン　コースコード SLV099

マシン実習 0.5日間

日立ストレージ RAID Manager操作ーローカルコピー・スナップショットー【バーチャル・クラスルーム】

RAID Managerによるローカルコピー機能、スナップショット機能の操作を学習します。

到達目標
・ローカルコピー機能、スナップショット機能を操作するためのセットアップができる。
・コマンドを使用してローカルコピー機能の操作ができる。
・コマンドを使用してスナップショット機能の操作ができる。

対象者 RAID Managerによるローカルコピー機能、スナップショット機能の操作方法の修得をめざす方。

前提知識「日立ストレージRAID Manager概要」、「日立ストレージ ローカルコピー機能」、「日立ストレージ RAID Manager操作ーローカルコピー・スナップショットー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ローカルコピー機能操作
　(1)操作コマンド
　(2)操作演習
2. スナップショット機能操作
　(1)操作コマンド
　(2)操作演習

受講料 ¥33,000

日立製品
（ハードウェア／
ストレージ）

オンライン　コースコード SLV100

マシン実習 0.5日間

日立ストレージ RAID Manager操作 −リモートコピー・GAD− 【バーチャル・クラスルーム】

RAID Managerによるリモートコピー機能、GAD機能の操作を学習します。

到達目標
・リモートコピー機能、GAD機能を操作するためのセットアップがでできる。
・コマンドを使用してリモートコピー機能の操作ができる。
・コマンドを使用してGAD機能の操作ができる。

対象者
RAID Managerによるリモートコピー機能、GAD機能の操作方法の修得をめざす方。

前提知識
「日立ストレージRAID Manager概要」、「日立ストレージ リモートコピー機能」、「日立ストレージ ストレージ二重化機能」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. リモートコピー機能操作
　(1)操作コマンド
　(2)操作演習
2. GAD機能操作
　(1)操作コマンド
　(2)操作演習

受講料
¥33,000

オンライン　コースコード SLV101

マシン実習 0.5日間

日立ストレージ Storage Navigator操作 【バーチャル・クラスルーム】

日立ストレージをGUIで操作するStorage Navigatorについて、概要、各種機能の操作方法について学習します。

到達目標
・Storage Navigatorを使用して各種コピー機能の操作ができる。
・リモートコピー機能、GAD機能の筐体間の接続設定ができる。

対象者
Storage Navigatorによる各種機能の操作方法の修得をめざす方。

前提知識
「初歩から学ぶ 日立ストレージGUI／CLIツール」、「日立ストレージ　基本ソフトウェア解説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ローカルコピー機能操作
2. スナップショット機能操作
3. リモートコピー、GAD機能操作
　(1)筐体間接続操作
　(2)TrueCopy操作
　(3)Universal Replicator操作
　(4)GAD操作

受講料
¥33,000

デジタル導入

DX事業推進のために、デジタル技術を活用した製品・サービスの企画・開発・実装を行う方や、デジタル化された業務を遂行する方に必要なDXのマインド、プロセス、要素技術などのデジタルリテラシーを高めることができます。

DXマインド

レベル1

イノベーション

思考力/考え抜く力

HSJ163 集合
クリエイティブシンキング
グループ演習 | 1日間

または

HSV163 オンライン
クリエイティブシンキング
グループ演習 | 1日間

Renewal
HSJ285 集合
イノベーティブ思考基礎
−生成AIを活用した
事業創出プロセス体験−
グループ演習 | 2日間

または

Renewal
HSV285 オンライン
イノベーティブ思考基礎
−生成AIを活用した
事業創出プロセス体験−
グループ演習 | 2日間

レベル2

レベル3

DXプロセス

レベル1

DBE069 eラーニング
考えてみようDX
−デジタルトランス
フォーメーション理解編−
音声有+説明文有 | 3時間

DBE041 eラーニング
考えてみようDX
−ビジネス着想編−
音声有+説明文有 | 3時間

DBE042 eラーニング
考えてみようDX
−データ活用による業務改善編−
音声有+説明文有 | 3時間

レベル2

レベル3

デジタル技術の基礎知識

レベル1

DBE097 eラーニング
DXによって我々の事業は何が
変わるのか−テクノロジーの
進化から見るDXの本質−
音声有+説明文有 | 2.5時間

Renewal
IOE019 eラーニング
デジタル時代に必要な
IT技術概説
音声有+説明文有 | 9時間

IOE020 eラーニング
マイクロラーニングで学ぶ!
はじめてのIoT
音声有+説明文有 | 8時間

SPV080 オンライン
やってみようDX
−ローコードプログラミングに
よる業務のDX−
マシン実習 | 1日間

レベル2

レベル3

レベル1 ：デジタル技術や数理・データサイエンス・AIに関する基礎素養を身に付けたい方 【リテラシーレベル】
レベル2 ：デジタル技術やデータを活用することで自社内の業務改善を図りたい方、お客さまのDXに対する課題を見つけ、サービスを企画・提案・実装したい方 【ベーシックレベル】
レベル3 ：事業マネジメント・業務改革のためにDXを推進したい方、DXに関するサービスやプロダクトを事業化・サービス化したい方 【アドバンスレベル】

データ分析の基礎

レベル1	レベル2	レベル3

デジタルリテラシー協議会 3検定対策講座

AIE014 eラーニング
AI・データサイエンス基礎
音声有＋説明文有 | 6時間

AIE009 eラーニング
日本ディープラーニング協会（JDLA）G検定取得対策講座（Study-AI社）
音声有・説明文なし | 24時間

DBE064 eラーニング
データサイエンティスト検定 リテラシーレベル取得対策講座（Aidemy社）
音声なし・説明文有 | 9.5時間

情報処理技術者試験対策

SJE316 eラーニング
集中演習 ITパスポート試験【IP】
音声なし・説明文有 | 70時間

生成AIの業務活用

レベル1	レベル2	レベル3

AIV003 オンライン
ChatGPT×Excel研修 －Excel初級者でもAIの力で使いこなす－
レクチャ | 1日間

AIV004 オンライン
ChatGPTを活用したビジネス文書研修 －文書作成の新スタンダードを学ぶ－
レクチャ | 1日間

---

eラーニング / コースコード DBE069

<eラーニング> 考えてみようDX －デジタルトランスフォーメーション理解編－

3時間

デジタルトランスフォーメーションは、あらゆる業種に広がり、あらゆる業務でデジタル化に取り組む必要があります。今、世の中でデジタルによりどのような変革が起きているのか、今後どのように取り組んでいくべきなのかを身近に感じていただきます。

到達目標
・デジタルトランスフォーメーションとは何かを理解できる。
・事例を通してデジタルトランスフォーメーションを身近な自分事として捉えられる。

対象者
・デジタルトランスフォーメーションを理解したい方。
・これからデジタルトランスフォーメーションに取り組む方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 社会変化とデジタルトランスフォーメーション
2. DXによるイノベーションの事例
3. DXのトレンド
4. 急激なサービス化の流れ
5. カスタマーサクセス
6. DXを実現するテクノロジー
7. データ・AIを利活用する上で知っておくべきこと

受講料 ¥8,800

eラーニング / コースコード DBE041

<eラーニング> 考えてみようDX －ビジネス着想編－

3時間

デジタルトランスフォーメーション（DX）に関して持たれがちな「難しそう」というイメージを取り除き、思ったより簡単であるとイメージしていただくためのコースです。DXで何ができるのか、データを活用した事業案やサービス案をどうやって考えればいいかについて、学習します。

到達目標
・フレームワークを使って着想できる。
・ワークシートを使って検証計画を立てられる。

対象者
・はじめてDXを学ぶ方。
・これからDXの活用を考えている方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. アイディア着想
   (1)デジタル化
   (2)データ転送
   (3)可視化
   (4)予測
2. 行動計画への落とし込み
   (1)着想
   (2)データ分析課題への翻訳
   (3)検証計画の策定
3. 着想のパターンと検証計画

受講料 ¥8,800

eラーニング / コースコード DBE042

<eラーニング> 考えてみようDX －データ活用による業務改善編－

3時間

デジタルトランスフォーメーション（DX）に関して持たれがちな「難しそう」という印象を取り除き、思ったより簡単であるとイメージしていただくためのコースです。これまでのような経験や勘に頼った判断ではなく、データ分析の結果に基づいて、合理的な意思決定をするにはどうしたらいいのかについて、学習します。

到達目標
・DXにおける分析の流れを理解できる。
・分析計画を立て、計画に従って分析を実行できる。

対象者
・はじめてDXを学ぶ方。
・これからDXの活用を考えている方。

前提知識 「考えてみようDX－ビジネス着想編－」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 分析の流れ体験
2. 分析計画を立てる
   (1)問題の発見
   (2)どんな分析が必要かを考える
   (3)分析の実行

受講料 ¥8,800

---

eラーニング / コースコード DBE097

<eラーニング> DXによって我々の事業は何が変わるのか －テクノロジーの進化から見るDXの本質－

2.5時間

デジタルトランスフォーメーションの実現において、その本質を理解しておく必要があります。テクノロジーの進化から見て、DXで何が変わるのかという本質を学習します。
なお、このコースの内容は、コースコード：IOE012「<eラーニング>デジタル時代に必要なIT技術概説」の1章と同じになります。

到達目標
・デジタルトランスフォーメーションとは何かを説明できる。
・デジタルトランスフォーメーションによる社会やビジネスの変化や価値創造について説明できる。

対象者
・IT職種ではないが、デジタルトランスフォーメーションに取り組みたい方。
・自社および自組織のデジタルトランスフォーメーションを企画、推進される方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 基礎知識（UIとUX、デジタルとは何か）
2. デジタル・トランスフォーメーション
3. DX実践の勘所

受講料 ¥19,800

eラーニング / コースコード IOE019 Renewal

<eラーニング> デジタル時代に必要なIT技術概説

9時間

デジタルトランスフォーメーションとは何か、実現によりどのような価値が生まれるのか、などの基礎知識を学びます。また、デジタルトランスフォーメーションの実現に必要な技術（クラウド、AI、IoT、アジャイル開発/DevOps、生成AIなど）の概要を学びます。

到達目標
・デジタルトランスフォーメーションとは何かを理解し、社会やビジネスの変化や価値創造について説明できる。
・デジタルトランスフォーメーションの実現に重要となる技術の概要を説明できる。

対象者 自組織のDXを推進される方やデジタルビジネスに関わる方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 基礎知識（UIとUX、デジタルとは何か）
2. デジタル・トランスフォーメーション
3. これからのビジネス戦略
4. クラウド・コンピューティング
5. サイバー・セキュリティ
6. IoT／モノのインターネット
7. AI／人工知能
8. 圧倒的なビジネス・スピードに対処するための開発と運用（アジャイル開発、DevOps、コンテナとマイクロサービスなど）
9. いま注目しておきたいテクノロジー（量子コンピューター、ブロックチェーン、Web3）

受講料 ¥19,800

eラーニング / コースコード IOE020

<eラーニング> マイクロラーニングで学ぶ！ はじめてのIoT

8時間

IoTについての幅広い知識に加え、OT、ITの関連知識を学習いただけます。
【マイクロラーニングの特長】
◆ご自身の知識・技術レベルにあわせ、学習したい項目を選んで学習いただけます。
◆一つの学習項目が数分で完了する作りになっていますので、すき間時間に学習できます。

到達目標 IoTのシステム構成およびOTの目的/基本構成を理解し、IoT適用業務にスムーズに参加できるようになる。

対象者
・これからIoTを業務に適用する予定があり、IoT、IT、OTの技術や知識が不足していると感じている方。
・IoTを適用するIT技術者、SEの方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. IoTと関連技術を理解する
2. IoTデバイスを理解する
3. IoTにおける通信方法を理解する
4. IoTでデータを活用する
5. IoTシステムのセキュリティ
6. OTを知る

受講料 ¥24,200

レベル1 ：デジタル技術や数理・データサイエンス・AIに関する基礎素養を身に付けたい方 【リテラシーレベル】
レベル2 ：デジタル技術やデータを活用することで自社内の業務改善を図りたい方、お客さまのDXに対する課題を見つけ、サービスを企画・提案・実装したい方 【ベーシックレベル】
レベル3 ：事業マネジメント・業務改革のためにDXを推進したい方、DXに関するサービスやプロダクトを事業化・サービス化したい方 【アドバンスレベル】

セールス/フロント

顧客を取り巻く環境の変化をふまえて、経営課題から顧客ビジネスを理解します。そのうえで経営層やステークホルダーに適切な課題提言や解決策を提案し、顧客協創を推進するための活動プロセスに関する領域です。

提案活動プロセス

顧客課題探索

レベル1	レベル2	レベル3
	New HSV278 オンライン 戦略的な営業活動を実現するためのアカウントプランニング グループ演習 2日間	
	HSV288 オンライン 顧客協創を促すディスカッションペーパーの作成・活用の仕方 グループ演習 1日間	
	PDU HSV289 オンライン (PDU)顧客の心をつかむ戦略的提案活動 −体系的に学ぶ提案活動の進め方− グループ演習 1日間 (0.5日×2回) 事前学習(eラーニング) 3時間	
	New HSV279 オンライン 案件発掘のための経営課題分析研修 グループ演習 2日間	

提案計画/提案書作成/提案

レベル1	レベル2	レベル3
	PDU HSV289 オンライン (PDU)顧客の心をつかむ戦略的提案活動 −体系的に学ぶ提案活動の進め方− グループ演習 1日間 (0.5日×2回) 事前学習(eラーニング) 3時間	
	PDU HSV290 オンライン (PDU) 高評価をねらえる提案書作成 −顕在・潜在ニーズに訴求する− グループ演習 0.5日間 事前学習(eラーニング) 2時間	

PDU ：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。3年間で60PDUが必要です。

レベル1 ：営業の業務経験がほとんど無い方、または、営業経験が比較的浅い方
レベル2 ：営業活動経験がある方で、担当顧客を一人で任され、また必要に応じて他のメンバの支援も行う方
レベル3 ：複数の顧客または複数プロジェクトの営業担当の経験を有し、自チームの営業戦略の策定に携わる方

オンライン / コースコード SPV080

やってみようDX −ローコードプログラミングによる業務のDX−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

現在、多くの企業でDXがすすめられており、技術系、事務系にかかわらず事業や業務へのAIやIoT、クラウドサービスの活用の知識が必要とされています。新たなビジネス基礎知識ともいわれるAI、IoT、クラウドサービスの用い方とそれらを組み合わせて活用するのに必要なプログラミングがどのようなものかを実習を通じて体験して理解していただきます。このコースではコードを一行一行記述するのではなく、ローコードプログラミングとよばれる直感的に理解できる方法(ツールとしてはNode-Redを使用)を用います。そのため、プログラミング知識のない方でも業務のDXが可能であることを学んでいただけます。

到達目標
・受講者のテーマに対してDX技術(AIやクラウド技術など)をどのように活用するのかをイメージできる。
・より高度な段階のＩＴスキル取得への関心を高め、それらによりできることがイメージできる。

対象者
・顧客へのサービスシステム提案活動に関わるフロント(営業/SE/設計)人財の方。
・OT × ITでサービス開発を試行されたい方。
・自身の業務で自らDX実践を試みたいスタッフ部門の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. ノンプログラミングの魅力とは
2. Node-REDで業務のDXをやってみよう
 (1)基本操作
 (2)画面を作ってみる
 (3)センサデータをグラフにする
 (4)AI(画像分類)を使ってみる
 (5)自分のデータを他者が使えるようにする
 (6)デジタル技術を組み合わせて処理を行ってみる
  スマホでの領収書の撮影から、Teamsを使用した承認通知まで
3. 実務適用の事例

受講料 ¥39,600

---

eラーニング / コースコード AIE014

<eラーニング> AI・データサイエンス基礎

eラーニング 6時間

デジタルトランスフォーメーションの実現において、その中核技術の1つにAIがあります。こうした技術が組み込まれたシステム・仕組みをもとに、データを読み解きながら、業務遂行する時代となりました。このコースでは、全ての人が理解しておくべき、AI・データサイエンスに関する基礎知識を学習します。

到達目標
・AIの概要の理解と共に、世の中での活用事例やその拡がりなど、AIによってどのようなことができるのか説明できる。
・データの特長を理解し、集計されたグラフなどからデータを読み解くといった、データ利活用のための基本的な考え方を説明できる。
・データの利活用に関する、法的、倫理的、社会的、セキュリティ面での注意点が説明できる。

対象者
・AI・データサイエンスに関する基礎知識を身につけたい方。
・データ利活用に対する行動規範を理解し、適切な行動を習慣として身につけたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. AIで何ができるか-データ・AIの活用領域とその拡がり-
2. データを利活用するには-データの特長の捉え方から分析プロセスまで-
3. データ・AIの利活用で注意すること-求められる倫理や関連法規の理解-

受講料 ¥25,300

---

eラーニング / コースコード AIE009

<eラーニング> 日本ディープラーニング協会(JDLA) G検定取得対策講座(Study−AI社)

eラーニング 24時間

日本ディープラーニング協会(JDLA)のG検定の対策および、ディープラーニングを用いた事業開発においてスピーディーな判断ができるように、人工知能の基礎を学習します。

到達目標 G検定に合格できる知識を修得する。

対象者
・G検定の合格をめざす方。
・ディープラーニングを事業活用するための知識を身につけたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. G検定講座
 (1)機械学習の具体的手法
 (2)ディープラーニングの概要
 (3)ディープラーニングの手法
2. G検定模擬試験(720題以上)

※各項目の詳細は、下記のJDLA Webサイトのシラバスをご参照ください。
https://www.jdla.org/certificate/general/
なお、シラバスは定期的に見直しされます。シラバス見直しに伴い、このコースへの申込・受講のタイミングで、学習項目、研修時間等が予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

受講料 ¥31,900

---

eラーニング / コースコード DBE064

<eラーニング> データサイエンティスト検定リテラシーレベル取得対策講座(Aidemy社)

eラーニング 9.5時間

データサイエンティスト協会のデータサイエンティスト検定リテラシーレベルの対策および、データ分析の基礎知識、データ分析プロジェクトの進め方を学習します。

到達目標 データサイエンティスト検定リテラシーレベルに合格できる知識を修得する。

対象者
・データサイエンティスト検定リテラシーレベルの合格をめざす方。
・データサイエンティストとしてデータ分析業務に携わる方。
・データサイエンス、データ利活用という言葉に興味のある方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. ビジネスパーソンのためのデータサイエンス入門
 (1)データ分析プロジェクトの進め方
2. 「データサイエンティスト検定リテラシーレベル」対策
 (1)データサイエンス力
 (2)データエンジニアリング力
 (3)ビジネス力

受講料 ¥52,800

オンライン / コースコード AIV003

ChatGPT×Excel研修 −Excel初級者でもAIの力で使いこなす−【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

このコースでは、ChatGPTを用いてExcelの困りごとを解決したり、自身のスキルを向上させたりする方法を学びます。ChatGPTの使用経験に関しては、はじめて使う方、使い慣れていない方を想定しています。Excelを使い始めてすぐの頃は、関数をいくつか知っていても、現実の複雑なケースにうまく対処するのは難しく感じるものです。本来は時間と経験を重ねて身につけていくExcel技術ですが、対話型AIの活用により、その時間を大幅に短縮して質の高いアウトプットにつなげることができます。使用する関数に迷ったときやうまくいかなくなったときのChatGPTへの質問の仕方など、ケーススタディを通じて実践しながら身につけていきます。
【以下、必ずお読みください】
本研修のハンズオンは「ChatGPT」が利用できる環境であれば受講できます。
※「ChatGPT」の利用については、受講者ご自身の所属する組織の情報セキュリティルールをご確認のうえご準備ください。
※事前にご自身のPCで「ChatGPT」への入力操作ができることをご確認ください。
※このコースの1〜3章までは、AIV002「ChatGPTを活用したビジネス文書研修−文書作成の新スタンダードを学ぶ−」と同等の内容です。

到達目標
・ChatGPTとインターネット検索を使い分けられる。
・ChatGPTを用いてExcelに関数を出力させる方法がわかる。
・ChatGPTに出力させた回答をもとにExcelを操作することができる。

対象者
・業務でExcelを使う方。
・Excel初級者(関数を使ったことがある方)。
・ChatGPTをはじめて使う方、まだ使い慣れていない方。

前提知識 Excelの使用経験があること。

内 容
1. AIの力で一段階上のレベルに立つ
2. 対話型AIとは
3. ChatGPTとインターネットを使い分ける
4. ChatGPTでExcelスキルをレベルアップする
5. 実践演習

受講料 ¥50,600

オンライン / コースコード AIV004

ChatGPTを活用したビジネス文書研修 −文書作成の新スタンダードを学ぶ−【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

このコースでは、ChatGPTと対話しながら文書をつくるワークに挑戦し、欲しい回答を得るための指示出しのコツを掴むスキルを身につけます。ChatGPTの使用経験に関しては、はじめて使う方、使い慣れていない方を想定しています。ChatGPTは高い品質の文章を自動生成するとともに、アイデアやメッセージを一層鮮やかに伝える力を兼ね備えています。活用することで日々の業務のあらゆる場面で文書を早く・うまく作れるようになり、生産性を最大化できます。
【以下、必ずお読みください】
本研修のハンズオンは「ChatGPT」が利用できる環境であれば受講できます。
※「ChatGPT」の利用については、受講者ご自身の所属する組織の情報セキュリティルールをご確認のうえご準備ください。
※事前にご自身のPCで「ChatGPT」への入力操作ができることをご確認ください。
※このコースの1〜3章までは、AIV001「ChatGPT×Excel研修−Excel初級者でもAIの力で使いこなす−」と同等の内容です。

到達目標
・ChatGPTに的確な指示を与えられるようになる。
・ツールが得意としている分野を理解し、文書作成業務に応用できる。

対象者
・ChatGPTをはじめて使う方、まだ使い慣れていない方。
・文書作成業務を効率化したい方。
・ChatGPTを活用して文書の質を向上させたい方。
・テキストでのコミュニケーション力が不足していると感じている方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 圧倒的な業務効率化を可能にするChatGPT
2. ChatGPTが作成した文書を評価するための基本知識
3. 欲しい答えを引き出すプロンプト(指示)テクニック
4. 【シーン別】ChatGPTの効果的な活用法
5. 実践！ChatGPTを活用した文書作成
6. まとめ

受講料 ¥50,600

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

一般業務遂行力

レベル1	レベル2	レベル3
HSV235 オンライン 本質的なニーズを引き出すヒアリング術ーオンラインでも成果を出せる面談スキルー グループ演習 1日間		

レベル1 ：営業の業務経験がほとんど無い方、または、営業経験が比較的浅い方
レベル2 ：営業活動経験がある方で、担当顧客を一人で任され、また必要に応じて他のメンバの支援も行う方
レベル3 ：複数の顧客または複数プロジェクトの営業担当の経験を有し、自チームの営業戦略の策定に携わる方

オンライン コースコード HSV278 New

グループ演習 2日間

戦略的な営業活動を実現するためのアカウントプランニング【バーチャル・クラスルーム】

自組織の営業戦略を実現するためには、企業単位で営業活動のより具体的な計画、つまりアカウントプランを立て、それに沿って活動、その結果をプランに反映することで改善、精度を上げていくことが重要です。このコースでは、顧客との関係構築のためのアカウントプランの構造を理解します。また、ケーススタディをとおして、顧客の経営課題を明確にするための手法を学習します。

到達目標
・アカウントプラン立案から改善までの一連のプロセスを理解できる。
・プロファイルおよびシナリオ作成のポイントが理解でき、自業務で活用できる。
・アカウントプラン精度向上のためにどうすべきか具体的に考察できる。

対象者 主任職、または課長職の方で、自組織の営業戦略をふまえ営業活動を主体的に進められるが、アカウントプランの適切・効果的な作成・改善にお悩みの方。

前提知識 営業活動の基本的なプロセスを理解していること。自分の担当する案件をお持ちのことが望ましい。

内 容
1. ソリューション 営業とアカウトプラン
 (1)ソリューション営業とは
 (2)アカウントプランの重要性
 (3)アカウントプランの概要
2. アカウントプラン作成のための技法
 (1)財務分析
 (2)SWOT分析
 (3)ロジックツリー
 (4)パワーストラクチャー
3. アカウントプラン作成演習
4. アカウントプランレビュー

受講料 ¥178,200

オンライン コースコード HSV279 New

グループ演習 2日間

案件発掘のための経営課題分析研修【バーチャル・クラスルーム】

このコースでは、具体的なケース用いて、お客さまの会社情報（収益推移等一般に入手できる経営情報、個別入手情報）を基に、お客さまの状況を分析し、仮説（状況仮説、問題仮説など）を設定します。そして、不足情報の収集、仮説の検証を役員・部門長クラスへのヒアリングを通じて行い、それらの結果に基づき、問題原因の分析、課題の形成をし、課題解決のソリューションを発掘します。これらを4回のヒアリング演習と講師のフィードバックをとおし、実践的に理解いただきます。

到達目標
・お客さまの会社情報（収益推移等一般に入手できる経営情報）を基にお客さまの問題を分析できる。
・不足情報を階層別ヒアリングにより情報収集し、課題形成を行い、課題解決のソリューションを発掘できる。

対象者
・お客さまと面談しヒアリングをする機会のある方、または今後する予定のある方。
・顧客のニーズを深く理解し、提案力を強化したい方。
・経営層や部門長とのコミュニケーションを通して、仮説検証を行い、実践的な解決策を導き出したい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 経営課題（仮説）を見つけるために必要な考え方と情報
2. 経営分析から提案までの流れ
3. ケーススタディ
 (1)ケーススタディ・オリエンテーション
 (2)ケース情報の読み込み
 (3)経営環境分析と経営課題（仮説）の抽出
 (4)ヒアリング準備（ヒアリング項目の抽出）
 (5)ヒアリング実施（前半）
 (6)経営課題を見つけるためのヒアリングの留意点
 (7)ヒアリング実施（後半）
 (8)ヒアリング結果の整理・分析方法
 (9)ヒアリング結果の整理
 (10)問題原因の分析
 (11)課題の設定とソリューションの抽出
 (12)チーム別発表

受講料 ¥184,800

オンライン コースコード HSV288

グループ演習 1日間

顧客協創を促すディスカッションペーパーの作成・活用の仕方【バーチャル・クラスルーム】

顧客の状況や課題を整理した討議資料を事前に作成しておけば、それを用いて顧客の発言を促し、情報を引き出すことができます。そして、その情報を元に、提案内容に磨きをかけていくことができます。提案プロセスにおいて「ディスカッション・ペーパー」は、本提案前に仮説（提案シナリオ案）を顧客に提示して、それを検証するためのツールとなります。このコースは「ディスカッション・ペーパー」の考え方や作成方法を通して、顧客との打合せに向けてアジェンダを設定し、ファシリテーション・シナリオを用意できるようになります。

到達目標
・ディスカッション・ペーパーとは何か、その必要性とともに説明できる。
・顧客とのミーティングにおいてディスカッション・ペーパーを活用できる。

対象者 営業職の方、営業職と共に顧客にヒアリング・提案活動されるフロントの方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 問題解決のステップ
 (1)「業務・システムの視点」ではなく「事業の視点」を持つ
 (2)顧客の現状を整理し、整理された事実から意味合いを抽出し、本質的な課題が何かをまとめる
2. 仮説の構築と検証
 (1)仮説の構築・検証のサイクルがソリューションビジネスにおける付加価値の源泉
 (2)顧客とのミーティングにおいて仮説を構築・検証する
3. 顧客とのミーティング
 (1)会議の着地点を想定して戦略的にアジェンダを設定する
 (2)アジェンダに基づいて会議のプロセスをデザインし、ファシリテーション・シナリオを用意する
 (3)検証したい仮説をファシリテーション・シナリオに則って「ディスカッション・ペーパー」に反映させる
4. 総合演習
 (1)他社事例をベースにした「ディスカッション・ペーパー」の作成・活用

受講料 ¥45,100

オンライン コースコード HSV290

グループ演習 0.5日間

（PDU）高評価をねらえる提案書作成ー顕在・潜在ニーズに訴求するー【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】PDU

・このコースは、基礎知識をeラーニング（2時間）にて学習いただき、研修当日（0.5日間）は演習中心に進めます。
・このコースでは、「提案書」を通じて決裁者から高評価を得るための体系的手法とベストプラクティスを学びます。お客さま側の提案評価者がその提案に何を求めているのかを理解し、それに応じた提供価値が的確に伝わる具体的な表現方法や、効果的な提案計画を作成するスキルを身につけることができます。RFPを受領してから提出するまでの期間における、提案戦略の検討、スケジュール、章立て、枠割分担を、ケースを用いて修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・無駄な作業を減らし、提案書内容の質を高めるための提案書作成計画のポイントが説明できる。
・短い時間で訴求力のある提案書を作成するポイントが説明できる。
・提案書の章立てやキーメッセージの組み立て方を理解できる。

対象者
・ITエンジニア職、営業職の方。
・勝つ提案書をチームで効率よく書くにはどうすればよいか、迷っている方。
・お客さまに自社の提案を高く評価してもらえる書き方、構成にお悩みの方。
・提案活動を一つのプロジェクトとして捉え、体系的/戦略的にマネジメントされた提案活動が必要だと感じている方。

前提知識 1年以上の業務経験があるか、または同等の知識があること。

内 容 【講義開始前のカリキュラム】
eラーニング（標準学習時間：2時間）
1. はじめに
2. 最良の提案に必須なスキルを学ぶ
3. 提案戦略を策定する
4. 高評価を狙う提案書作成計画
5. 高評価を狙える提案書作成
※バーチャル・クラスルームでは、eラーニングでの学習および事前課題が完了していることを前提とします。
※事前課題は自案件の分析　（当日持参、提出不要）です。詳細はeラーニングにてご確認ください。
【講義のカリキュラム】
バーチャル・クラスルーム（グループ演習）：0.5日
1. あなたの提案書はなぜ伝わらないのか
2. プロポーザルプランニング
3. 提案戦略を策定する
4. コンテンツプラン：高評価を得る提案書を作る

受講料 ¥79,200

オンライン コースコード HSV289

グループ演習 0.5日間×2回

（PDU）顧客の心をつかむ戦略的提案活動ー体系的に学ぶ提案活動の進め方ー【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】PDU

・このコースは、基礎知識をeラーニング（3時間）にて学習いただき、研修当日（0.5日間×2回）は演習中心に進めます。
・ビジネスが複雑化しスピードアップする中、関係者で分担しつつ提案プロセスを効果的にマネジメントすることが求められています。このコースでは、グローバル標準とされる提案手法に基づき、受注をねらい優位な立場をつくるための提案戦略策定、リモート環境でも社内関係者と適切に連携して、提案書を作成するためのエグゼクティブサマリを作成します。多様な企業から参加される受講者間で自案件分析を共有します。あらかじめご了承いただきますようお願いいたします。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：11ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・引き合いを可視化する見込みある案件に注力する方法を理解できる。
・顧客組織内に競合よりも優位なポジションの確立方法を理解できる。
・理解した内容を、自担当業務に活用できる。
・リモートでの提案活動レビューの進め方が理解できる。

対象者
・提案活動に関わるITエンジニア職、営業職の方。
・提案活動において、顧客の悩みをつかみ、社内を巻き込み組織的に解決策を協創できないかお悩みの方。
・提案活動を一つのプロジェクトとして捉え、戦略的にマネジメントすることが必要だと感じている方。
・リモートでの提案内容レビューの進め方にお悩みの方。

前提知識 1年以上の業務経験があるか、または同等の知識があること。

内 容 【講義開始前のカリキュラム】
eラーニング（標準学習時間：3時間）
1. はじめに
2. 最良の提案に必要なスキルを学ぶ
3. オポチュニティプランを作る
まとめ 1日目の事前課題
4. 優位性あるポジションを獲得する
5. 最良の提案を生み出す
まとめ 2日目の事前課題
※バーチャル・クラスルームでは、eラーニングでの学習および事前課題が完了していることを前提とします。
※事前課題は自案件の分析（当日持参、提出不要）です。詳細はeラーニングにてご確認ください。
【講義のカリキュラム】
【1日目】バーチャル・クラスルーム（グループ演習）：0.5日
1. eラーニング振り返り
2. 事前課題をもちいたオポチュニティプランレビュー
3. 振り返りと2日目に向けたご案内
【2日目】バーチャル・クラスルーム（グループ演習）：0.5日
1. 1日目からの活動振り返り
2. エグゼクティブサマリーレビュー
3. 振り返りと今後に向けて

受講料 ¥106,700

オンライン コースコード HSV235

グループ演習 1日間

本質的なニーズを引き出すヒアリング術ーオンラインでも成果を出せる面談スキルー【バーチャル・クラスルーム】

オンラインでは一般的に、コミュニケーションが全体的にドライになり、必要なこと以外がカットされていく傾向にあります。そして双方向のキャッチボールが難しくなりがちです。このコースでは、対面での面談はもちろんのこと、オンライン面談への知見を身につけることを土台としたうえで、「ヒアリングのプロセスの理解」と「それをうまくやるための能力修得」を両面から理解を深めます。ヒアリングのフレームワークを「聴き手の頭を深掘りし、情報を取得するプロセス」だけではなく、「顧客の心を解きほぐし、情報のキャッチボールができるようになるプロセス」として学習します。これにより、対面／オンライン問わず、ヒアリングがより効果的に行えるようになることをめざします。

到達目標
・ヒアリングをする手順と具体的な質問項目がわかり、それをよりどころに一歩を踏み出せる。
・相手の状況を踏まえた柔軟性あるヒアリングを行うためのスキルが強化できる。
・事前に定型化できる作業と、それに基づいた準備により、戦略的かつ臨機応変な面談が実現できる。

対象者
・オンライン面談が増えているが、対面との違いにチューニングが合わせ切れていないとお悩みの方。
・オンラインに限らずリアルでもヒアリングを駆使して「顧客の本質的なニーズを引き出す」能力を高めたいとお考えの方。
・若手にヒアリングのポイントを学ばせたいが、よりどころになる対面・オンラインを問わないポイントを明確に整理しきれないとお考えの方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. ヒアリングの役割と重要性
 (1)一般的な面談ヒアリングの目的・意義
 (2)ヒアリングで必要なスキルとマインド
2. オンライン面談とリアル面談の違いを理解する
 (1)オンライン面談のメリット／デメリット
 (2)オンラインで訪れる2つの壁
3. 相手のニーズを仮説構築する
 (1)ヒアリングとは仮説の検証である
 (2)仮説構築の3ステップ
4. オンラインヒアリングのフレームワーク
 (1)ヒアリングのマクロの流れ（公転）
 (2)ヒアリングのミクロのサイクル（自転）
5. ヒアリングプロセスを成功させるスキルセット
 (1)受け手の心を開くスキル
 (2)受け手の頭の中を構造化するスキル
 (3)受け手の思考を深めさせるスキル
6. 総括オンラインヒアリングロールプレイ

受講料 ¥71,500

サービス

顧客との協創を実現しながら顧客課題に応えるための新たなDX事業のビジネスモデル検討と、そのためのサービスの企画・開発に必要なビジネスフレームワークやツールの活用方法とその検討プロセスに関する領域です。

サービス事業創生の考え方・手法を学びたい方へ

レベル2

Renewal

HSV280 オンライン
イノベーションプロセスを強化するシナリオプランニング
グループ演習 | 1日間

HSV159 オンライン
顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン
グループ演習 | 2日間

経営力
PDU
HSV277 オンライン
(PDU)経営戦略の基本と最新動向ーイノベーション実現のためにー
グループ演習 | 1日間

レベル3

HSV237 オンライン
ケーススタディで学ぶカスタマーサクセス−顧客のリピートを生み出す世界標準のメソッド−
グループ演習 | 1日間

サービスマネジメントの考え方・手法を学びたい方へ

レベル2

ITE011 eラーニング
SLAにおけるサービスレベル設計の基礎
音声なし+説明文有 | 4時間

レベル3

PDU
IT サービス
ITV017 オンライン
ITIL®4ファンデーション（受験バウチャーチケット付き）
レクチャ | 2日間

PDU ：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。3年間で60PDUが必要です。

レベル1 ：デジタル技術や数理・データサイエンス・AIに関する基礎素養を身に付けたい方 【リテラシーレベル】
レベル2 ：デジタル技術やデータを活用することで自社内の業務改善を図りたい方、お客さまのDXに対する課題を見つけ、サービスを企画・提案・実装したい方 【ベーシックレベル】
レベル3 ：事業マネジメント・業務改革のためにDXを推進したい方、DXに関するサービスやプロダクトを事業化・サービス化したい方 【アドバンスレベル】

オンライン コースコード HSV280 Renewal

グループ演習 1日間

イノベーションプロセスを強化するシナリオプランニング【バーチャル・クラスルーム】

シナリオプランニングの具体的な考え方・手法について学習します。

到達目標
・企業などの組織が長期的な戦略策定をする際の方法論としてのシナリオプランニングを理解する。
・複数の未来を前提にし、長期的な視点で、広く世の中を見渡し、一度客観的に考える事ができる。

対象者
・新しい製品・サービスを生みだす部署の担当の方。
・顧客に対して新しい価値を提供する営業・フロントSEの方。
・将来、顧客のビジネス創出につながる提案をしていく方。

前提知識 7年以上の実務経験がある主任・係長以上であること。

内 容
1. シナリオプランニング概要
 (1)シナリオプランニングとは
 (2)ケーススタディ
2. シナリオ作成
 (1)シナリオテーマ作成
 (2)外部要因分析
 (3)ドライビング・フォース見極め
 (4)シナリオマトリクス作成
3. アクションプラン作成
 (1)戦略オプション検討
 (2)アクションプラン検討
4. 振り返り

受講料 ¥63,800

オンライン コースコード HSV159

グループ演習 2日間

顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン【バーチャル・クラスルーム】

ビジネスモデルキャンバスを活用し、ビジネスモデルを可視化することで新たな価値の発見につなげます。顧客の潜在的価値発見の部分に重点を置き、ビジネスモデルを検討します。

到達目標
・ビジネスモデルキャンバスの活用方法を説明できる。
・ビジネスモデルを俯瞰し、検証する方法を説明できる。
・顧客の潜在的な価値を発見し、ビジネスモデルに反映することができる。

対象者 既存事業やサービスのビジネスモデルを検証し新たな価値を発見したい方、新規事業やサービスでイノベーションを起こしたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. ビジネスモデルキャンバス
 (1)ビジネスモデルキャンバスの理解
 (2)事例をもとにしたビジネスモデルの可視化
2. 顧客の潜在価値発見
 (1)VP(バリュープロポジション)キャンバスによる検証
 (2)共感マップの理解・作成
 (3)「顧客理解」と「提供できる価値提案」を検証
3. 事例で学ぶビジネスモデルの作り方
 (1)ケーススタディ

受講料 ¥66,000

オンライン コースコード HSV237

グループ演習 1日間

ケーススタディで学ぶカスタマーサクセス−顧客のリピートを生み出す世界標準のメソッド−【バーチャル・クラスルーム】

このコースでは、近年サブスクリプション型の収益モデルが隆盛を極める中でビジネスを成功させるために重要とされる、カスタマーサクセスの基本的な考え方について学びます。架空の企業をモデルとしたカスタマーサクセスの実践演習を通じ、ユーザーへの継続的な価値提供、信頼関係の構築のための勘所を修得します。
※このコースは22年度下期まで開催「HSV237 シミュレーションゲームで学ぶカスタマーサクセス−サブスクリプション時代の顧客との付き合い方−」コースの内容と一部重複する内容を含みます。

到達目標
・カスタマーサクセスの全体像や要諦について説明できる。
・自分の業務においてカスタマーサクセスを適用、実践するマインドが持てる。

対象者 ご自身が担当するお客さまやユーザに対して、継続的に価値を提供する、信頼関係を構築するためのノウハウを学ぶ意欲のある方。

前提知識 カスタマーサクセスの基本的な知識があること。
以下書籍を事前にお読みいただくことをお薦めします。
◆カスタマーサクセスとは何か――日本企業にこそ必要な「これからの顧客との付き合い方」弘子ラザヴィ著
◆カスタマーサクセス――サブスクリプション時代に求められる「顧客の成功」10の原則ニック・メータ他著

内 容
1. 基礎から学ぶカスタマーサクセス概論
2. BtoB企業のカスタマーサクセス実践事例
3. シミュレーションゲームを通じたカスタマーサクセスマネジメントの疑似体験
4. ケーススタディを通じたカスタマーサクセス実践計画の疑似体験
5. カスタマーサクセスに関する学びや気づきの共有

受講料 ¥95,700

---

eラーニング コースコード ITE011

eラーニング 4時間

<eラーニング> SLAにおけるサービスレベル設計の基礎

ITサービスの設計要素として、キャパシティ、可用性、継続性の項目を学習します。サービスレベルに基づくサービス設計の基礎を身につけます。

到達目標
・ITサービスのキャパシティ、可用性、継続性を説明できる。
・キャパシティ、可用性、継続性の基本的な設計ができる。

対象者 ITサービスの設計を行う方。

前提知識 運用管理の概要、用語など基礎知識があること。

内 容
1. ITサービスの設計の概要
2. 可用性管理の設計
3. キャパシティ管理の設計
4. 継続性管理の設計
5. 情報セキュリティの設計
6. 修了試験

受講料 ¥14,300

イノベーション

自社の既存ビジネスや業務プロセスといった枠組みにとらわれず、社会課題起点による新たな事業をイノベーティブに検討することや、顧客の現場を観察し真の課題を浮き彫りにするためのデザイン思考に関する領域です。

イノベーション創出

新たなサービスを創出したい方、自分たちの製品・サービスを軸に、モノからコトへとビジネスを変化させたい方

レベル1

思考力/考え抜く力

HSE133 eラーニング
視座を高める
システムシンキング
音声なし・説明文有 | 6.5時間

Renewal
HSJ285 集合
イノベーティブ思考基礎
ー生成AIを活用した
事業創出プロセス体験ー
グループ演習 | 2日間

または

Renewal
HSV285 オンライン
イノベーティブ思考基礎
ー生成AIを活用した
事業創出プロセス体験ー
グループ演習 | 2日間

HSJ163 集合
クリエイティブシンキング
グループ演習 | 1日間

または

HSV163 オンライン
クリエイティブシンキング
グループ演習 | 1日間

レベル2

HSV295 オンライン
協創型イノベーション開発手法
(全体プロセス編)ーモノとコトを
結び顧客価値創出を実現するー
グループ演習 | 2日間

または

HSV296 オンライン
協創型イノベーション開発手法(インサイト
発見編)ー新しい切り口による探索から
顧客が気づいていない本質を見抜くー
グループ演習 | 1日間

※HSV296はHSV295の研修内容の一部を切り出したものです。
一連のプロセスを体感、理解するためにはHSV295を推奨します。

※HSJ163とHSV163は基本的には同内容ですが、
オンライン研修は遠方の方や時短勤務中の方など、集合研修の受講が難しい方向けのクラスです。
オンライン研修ではクリエイティブシンキングの本質を「理解」していただくことは可能ですが、
「納得」して「実践」につなげていただくためには集合研修の受講を推奨します。

レベル3

レベル1：デジタル技術や数理・データサイエンス・AIに関する基礎素養を身に付けたい方 【リテラシーレベル】
レベル2：デジタル技術やデータを活用することで自社内の業務改善を図りたい方、お客さまのDXに対する課題を見つけ、サービスを企画・提案・実装したい方 【ベーシックレベル】
レベル3：事業マネジメント・業務改革のためにDXを推進したい方、DXに関するサービスやプロダクトを事業化・サービス化したい方 【アドバンスレベル】

集合 / コースコード HSJ163

グループ演習 1日間

クリエイティブシンキング

イノベーションを切り開くために必須となる、クリエイティブなアイデアを閃くためのプロセスを実践演習を通して体感・学習します。

到達目標
・クリエイティブなアイデアを閃くプロセスを実体験を通して理解することができる。
・クリエイティブなアイデアを閃くために必要な思考、行動様式を知ることができる。

対象者 新しいことを考え出したいすべての方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. なぜ今クリエイティブシンキングなのか?
2. イノベーションと知識創造社会とか何か?
3. IT人財にとってのクリエイティブ、イノベーティブとは?
4. クリエイティブシンキングの実体とは?
5. なぜ、できないのか?どうすれば、できるのか?
6. どうすれば実務で活かせるのか?
7. ワークショップ
8. 最後に

受講料 ¥44,000

オンライン / コースコード HSV163

グループ演習 1日間

クリエイティブシンキング【バーチャル・クラスルーム】

イノベーションを切り開くために必須となる、クリエイティブなアイデアを閃くためのプロセスを実践演習を通して体感・学習します。
※このコースは集合研修とオンライン研修のクラスをご用意しております。オンライン研修は遠方の方や時短勤務中の方など、集合研修の受講が難しい方向けのクラスとなっております。オンライン研修ではクリエイティブシンキングの本質を「理解」していただくことは可能ですが、「納得」して「実践」につなげていただくためには【コースコード:HSJ163】集合研修の受講を推奨します。

到達目標
・クリエイティブなアイデアを閃くプロセスを実体験を通して理解することができる。
・クリエイティブなアイデアを閃くために必要な思考、行動様式を知ることができる。

対象者 新しいことを考え出したいすべての方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. なぜ今クリエイティブシンキングなのか?
2. イノベーションと知識創造社会とか何か?
3. IT人財にとってのクリエイティブ、イノベーティブとは?
4. クリエイティブシンキングの実体とは?
5. なぜ、できないのか?どうすれば、できるのか?
6. どうすれば実務で活かせるのか?
7. ワークショップ
8. 最後に

受講料 ¥44,000

オンライン / コースコード HSV295

グループ演習 2日間

協創型イノベーション開発手法(全体プロセス編)ーモノとコトを結び顧客価値創出を実現するー【バーチャル・クラスルーム】

イノベーション型の商品やサービスの開発は、従来の技術革新型開発やVOC型開発とは全く異なる開発スタイルです。このコースでは、日本企業の強みや良さを活かした協創型イノベーション開発手法を、日立製品を題材にした一連の流れ(着眼/観察/アイデア検討/効果評価/仮説立案)を講義とワークショップを通じて学びます。

到達目標 日立グループに求められている『イノベーション型商品やサービスの開発』は、従来型の技術革新型開発(発明型)やVOC型開発(改善型)とは全く異なる思想の開発スタイルです。本講座では、日本企業の強みや良さを活かして実践出来る(凡人だが皆がプロの集団)、イノベーション開発の考え方やり方(協創型イノベーション開発手法)を、講義だけでなく、日立製品を題材にした一連の流れ(着眼/観察/アイデア検討/効果評価/仮説立案)をワークショップを通じて学びます。

対象者 社会イノベーション事業の核となるイノベーティブな製品やサービスを創生しようとしている事業企画、設計開発、品質保証、生産管理、営業、保守部門の部長、課長、主任技師・主任研究員、技師・研究員など。

前提知識 自部門のビジネス、製品、サービスの内容や、対象としている顧客の内容を理解していること。

内 容
1. イノベーションとは何か?
2. ワークショップ(顧客価値創造)
   2-1 顧客特定
   2-2 潜在課題可視化
   2-3 アイデア出し
   2-4 ベネフィット定義
   2-5 概念モデル(仮説)定義
   2-6 方法洗い出し

受講料 ¥151,800

オンライン / コースコード HSV296

グループ演習 1日間

協創型イノベーション開発手法(インサイト発見編)ー新しい切り口による探索から顧客が気づいていない本質を見抜くー【バーチャル・クラスルーム】

イノベーション型ビジネスを生み出す際に、最初の段階で遭遇する3つの壁を乗り越えるやり方について、講義とワークショップにて研修を行います。
第1の壁:自分たちの常識の可視化<アンラーン(学びほぐし)>
参加者の事業(製品やサービス)を対象に、自分たちには見えていない「自分たちの常識を可視化」するやり方について学びます。
第2の壁:新しい切り口の発見<リフレーム>
可視化された常識の壁を乗り越える、「新しい切り口」の見つけ方について学びます。
第3の壁:顧客インサイトの発見<インサイト>
新しい切り口で使用されている、現在の製品・サービスへの顧客の「ウォンツ」「顕在ニーズ」「潜在ニーズ」分析では見出せない、顧客が気付いていないインサイトを発見するやり方について学びます。
※このコースは「(HSV295)協創型イノベーション開発手法(全体プロセス編)ーモノとコトを結び顧客価値創出を実現するー」の研修内容の一部を切り出したものです。HSV295をご受講済みの方はご注意ください。

到達目標 考え方とやり方を理解し、自部門のビジネスや製品・サービスに当てはめて実施できるようになる。

対象者 イノベーション型ビジネスや製品・サービス開発に携わる企画、営業、研究開発、設計、製造部門の方々。
※このコースは「(HSV295)協創型イノベーション開発手法(全体プロセス編)ーモノとコトを結び顧客価値創出を実現するー」の研修内容の一部を切り出したものです。このコースをご受講済みの方はご注意ください。

前提知識 自部門のビジネス、製品、サービスの内容や、対象としている顧客の内容を理解していること。

内 容
1. 講義 - イノベーションビジネスや製品・サービスを開発する際に最初に遭遇する3つの壁と、乗り越える考え方・やり方について
2. グループワーク1 - 自分達の製品・サービスを対象に、自分達では見えていない常識の壁を可視化する
3. グループワーク2 - 可視化された常識の壁の中から、競合他社が超えていない、自分達が乗り越えたい壁を選択して、それを超える新しい切り口を発見する
4. グループワーク3 - 発見した新しい切り口で使用されている現在の製品・サービスへの顧客の要望を深堀して、それを俯瞰して顧客が気付いていないインサイトを発見する

受講料 ¥72,600

データサイエンス

顧客や自社の経営・業務について、データドリブンに改革・改善するために、課題解決手法、データ分析手法、AI、機械学習など、データサイエンスに必要なビジネス・サイエンス・エンジニアリングに関する領域です。

AIリテラシー

レベル1

デジタル導入

- AIE014 eラーニング
  AI・データサイエンス基礎
  音声有・説明文有 | 6時間
- DBE064 eラーニング
  データサイエンティスト検定リテラシーレベル取得対策講座（Aidemy社）
  音声なし・説明文有 | 9.5時間
- AIE012 eラーニング
  AIリテラシー
  －AI技術の概要と活用事例－
  音声有・説明文なし | 20時間

ビジネス

レベル1

- HSV175 オンライン
  データ利活用のパターンとビジネス着想
  レクチャ | 0.5日間
- AIE007 eラーニング
  AIマーケティングの基礎
  音声有・説明文なし | 2時間
- AIE010 eラーニング
  AIの活用におけるマネジメント入門－データ分析の役割と法令やAI倫理の注意点－
  音声なし・説明文有 | 8時間

レベル2

- HSV198 オンライン
  定量分析のスキル
  レクチャ | 2日間

データサイエンス

レベル1

- DBE062 eラーニング
  Excelによる問題解決のためのデータ分析
  音声有・説明文有 | 7時間

または

- OAV049 オンライン
  Excelによる問題解決のためのデータ分析
  マシン実習 | 1日間

デジタル導入

- AIE009 eラーニング
  日本ディープラーニング協会（JDLA）G検定取得対策講座（Study-AI社）
  音声有・説明文なし | 24時間

レベル2

- HSE116 eラーニング
  データ分析手法の理論と適用
  音声有・説明文有 | 14時間

または

- HSV109 オンライン
  データ分析手法の理論と適用－ビジネスにおける統計的手法活用の広がり－
  マシン実習 | 2日間
- HSV211 オンライン
  BI活用事例に学ぶ分析提案の進め方
  マシン実習 | 1日間

レベル1 ：デジタル技術や数理・データサイエンス・AIに関する基礎素養を身に付けたい方 【リテラシーレベル】
レベル2 ：デジタル技術やデータを活用することで自社内の業務改善を図りたい方、お客さまのDXに対する課題を見つけ、サービスを企画・提案・実装したい方 【ベーシックレベル】
レベル3 ：事業マネジメント・業務改革のためにDXを推進したい方、DXに関するサービスやプロダクトを事業化・サービス化したい方 【アドバンスレベル】

データエンジニアリング

データ処理・可視化

レベル2

- DBE050 eラーニング
  Pythonの基礎とデータ分析ライブラリ
  音声なし・説明文有 | 16時間
- DBE051 eラーニング
  データ加工基礎
  音声なし・説明文有 | 6.5時間

Renewal

- DBJ125 集合
  データビジュアライゼーション基礎
  マシン実習 | 1日間
- DBE102 eラーニング
  【スキル定着】Pythonでのデータ可視化－オープン環境を活用した実装力の磨き方－
  音声なし・説明文有 | 4時間

機械学習・ディープラーニング

レベル2

- DBE049 eラーニング
  機械学習 基礎知識編
  －初めてでもOK！データ分析を身近に－
  音声有・説明文有 | 9時間
- DBV132 オンライン
  体感！機械学習
  マシン実習 | 1日間
- DBE052 eラーニング
  自然言語処理基礎
  音声なし・説明文有 | 10.5時間

New

- AIE013 eラーニング
  時系列解析基礎（Aidemy社）
  音声有・説明文なし | 9.5時間
- AIE005 eラーニング
  ディープラーニング入門－AIを学ぶための基礎知識と実装演習－：日本ディープラーニング協会（JDLA）E資格取得対策講座（Study-AI社）
  音声有・説明文なし | 40時間

レベル3

- DBV120 オンライン
  機械学習 ケーススタディで学ぶ実践編－製造物の種類判別と生産設備の故障予兆－
  マシン実習 | 2日間
- DBV184 オンライン
  テキストマイニング ケーススタディで学ぶ実践編
  －自然言語処理による設備点検記録分析編－
  マシン実習 | 1日間
- AIE006 eラーニング
  ディープラーニング応用－応用数学と機械学習・深層学習実践－：日本ディープラーニング協会（JDLA）E資格取得対策講座（Study-AI社）
  音声有・説明文なし | 170時間

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

eラーニング / コースコード AIE012

<eラーニング> AIリテラシー −AI技術の概要と活用事例−

eラーニング 20時間

AIの技術やAI活用に関するリテラシーについて、学習します。

到達目標
- AIの基礎知識がわかる。
- データの活用方針が理解できる。
- AIエンジニアと技術的な会話ができる。

対象者
- AIについて、その概要や活用方法を学びたい方。
- データの活用方針の理解やAIで解決すべき課題の提起ができるようになりたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
0. はじめに
1. AIを利用する目的
2. AI技術の変換
3. AIの定義
4. 機械学習とは
5. 深層学習とは
6. 応用例と活用事例
7. 適切な組織構造
8. ビジネスサイドの要件
9. 契約と知的財産
10. データ関連技術

受講料 ¥55,000

オンライン / コースコード HSV175

データ利活用のパターンとビジネス着想【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 0.5日間

IoTの事例は昨今たくさんあります。ただ、いくら事例を見ても、それだけでは自分のビジネスにおける活用は思いつきません。事例で示されるのはそのビジネス、その状況での非常に具体的な話であって、自分のビジネスとは何から何まで条件が違うのですから、どの箇所を参考にすればいいのか分かりません。適度に同じところと違うところが混在する抽象化が着想には必要となります。このコースでは、データ利活用を9パターンに抽象化し、具体的な利活用例とそれらを抽象化・整理したパターンを交互に見ることで、自らのビジネスに置き換えたデータ利活用のアイディア着想ができます。

到達目標
- データ利活用の事例をパターン化して理解できる。
- 自分のドメインや担当顧客でのデータ利活用を発想できる。
- 顧客と一緒に発想するワークショップのファシリテーションを自分がやってみようと思える。

対象者 フロント業務を行っており、事業案やサービス案を顧客と一緒に考える必要のある方、データを利活用したサービス提案をしなくてはいけないが顧客側でももやもやしており、着想のきっかけをつかみたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. はじめに
2. パターン　(1)入力の手間を無くせる
3. パターン　(2)行かなくても確認できる
4. パターン　(3)判断を肩代わりする
5. パターン　(4)未然に防げる
6. パターン　(5)改善のサイクルが素早く回る
7. パターン　(6)最適配分してくれる
8. パターン　(7)問題と解決策を引き合わせる
9. パターン　(8)利害が一致する
10. パターン　(9)タイムリーにコンタクトできる
11. そして実務へ

受講料 ¥28,600

eラーニング / コースコード AIE007

<eラーニング> AIマーケティングの基礎

eラーニング 2時間

「AIをマーケティングに活用するノウハウ」がわかる入門コースです。マーケティング業務とAIができることを具体的に関連付けて情報を整理し、「AIマーケター」へとステップアップするための知識を身につけます。また、AIをビジネスに活用する時に考えたいことや、導入後の注意点などを紹介します。なぜAIを、業務システムなど従来のITと同じように考えてはいけないかを理解します。

到達目標
- マーケティング活動のどんなフェーズにAIを活用できるのか分かる。
- 実際にAIを使ってどう解決するのかの概要が分かる。
- AI開発導入におけるリスクを理解できる。
- AIデータ分析ツールのメリット・デメリットを理解できる。
- AI導入決定後の具体的な行動について理解できる。

対象者
- AIを活用したデータドリブンなマーケティングを展開したいと考えている方。
- 業務でAIを導入・活用したい方。
- AI が実際のビジネスにどう活用されているのか知りたい方。
- AI を使って何かやってみたい、ビジネスに役立てたい方。

前提知識 AI、機械学習の基礎的な知識があること。

内 容
1. AIマーケター育成コース
(1)AIをマーケティングに活用するノウハウ
2. マスクド・アナライズの「AIビジネス活用を考える」
(1)AIをビジネスに活用する時に考えること
(2)導入後の注意点

受講料 ¥39,600

eラーニング / コースコード AIE010

<eラーニング> AIの活用におけるマネジメント入門 −データ分析の役割と法令やAI倫理の注意点−

eラーニング 8時間

「データサイエンス」や「データサイエンティスト」という言葉に興味があるビジネスパーソンを対象とした入門講座です。データサイエンスとは何か？データ分析でできること、データサイエンティストに求められるスキル、データ分析・AIプロジェクトの進め方について、初心者にもわかりやすく解説しています。
また、AIビジネスにどのような法律が関わることになるのかと、近年議論が高まりつつあるAI倫理に関して、AIの開発・運用プロセスに沿って、その全体像を明らかにします。

到達目標
- データサイエンスの概要とデータサイエンティストがどういった役割を担うかがわかる。
- データ分析・AIプロジェクトの進め方がわかる。
- AIビジネスに関わる法律とAI開発契約について注意すべき点を把握していること。

対象者
- データサイエンスやデータサイエンティストの概要を知り、ビジネスにデータサイエンスを生かしたいと考えている方。
- AIプロジェクトのマネジメントや推進を行うにあたっての基礎知識を知りたい方。
- AI開発の発注を検討しており、ビジネスでAIを扱う際に気をつけるべき法律やAI倫理といった知識を身につけたい方。
- これから機械学習の準備を進めるにあたって、教師データを作成する手法を知りたい方。

前提知識
- Excelの基本的な操作ができること。
- 「教師データ」の定義と役割を理解していること。
- 一般的なプロジェクトマネジメントについての知識を有すること。

内 容
1. ビジネス統計学入門
2. AIビジネスの法律入門
3. アノテーション(AIデータラベリング)
4. ビジネスパーソンのためのデータサイエンス入門
5. AIプロジェクトマネジメント
6. AIプロジェクト推進力向上

受講料 ¥132,000

オンライン / コースコード HSV198

定量分析のスキル【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 2日間

問題発見と解決の具体的な流れに従い、お客さまの課題を捉え、提案・解決する能力を学習します。演習での失敗、気付き、成功体験を通して、大量データに自身が惑わされず何を読み取り、どう扱うか学習します。

到達目標
- 問題発見・解決のプロセスを理解し、問題を定量的に捉えられる。
- お客さまのビジネス上の課題を構造的に捉え企画・提言ができる。

対象者
- 論理的思考を活用しながらビジネスにおける課題を数値的に捉えたい方。
- 大量のデータを読み解き、企画・提案につなげたい方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. はじめに(ケース学習の概要と経験学習のご説明)
2. 目的の明確化と意味合いの抽出の重要性
3. 仮説立案の重要性と合理的決定の方法
4. 仮説立案、解析準備、解析・検証のサイクル
5. そして実務へ - 実務での適用に向けた分析計画 -
6. 2日間の振り返り

受講料 ¥82,500

eラーニング / コースコード DBE062

<eラーニング> Excelによる問題解決のためのデータ分析

eラーニング 7時間

業務で利用するデータをどのように分析し、問題解決につなげるか、一連の分析プロセスを理解しながら、Excelの分析機能を用いて学習します。

到達目標
- データ分析のプロセス(データを読むことで問題を把握し、原因仮説を立て、データによって検証し、実際に行動に移す施策を決め、実行した施策をデータで評価する)を理解できる。
- データ分析のための可視化(グラフ)の種類と各グラフを使った分析の計画に立て方、各グラフの作り方、読み方を理解できる。
- 自分の業務でのダッシュボード案を考えることができる。

対象者
- Excelのデータを用いて、問題解決のためのデータ分析における基礎的なスキルを修得したい方。
- データは手元にあるが、その活用方法を模索している方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. はじめに
2. 分析によって問題を見つける
3. 分析によって原因を考えるのを助ける
4. 分析によって施策の効果を確かめる
5. 自分の業務への適用に向けて

受講料 ¥19,800

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

オンライン / コースコード OAV049

Excelによる問題解決のためのデータ分析【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

業務で利用するデータをどのように分析し、問題解決につなげるか、一連の分析プロセスを理解しながら、Excelの分析機能を用いて学習します。

到達目標
- データ分析のプロセス(データを読むことで問題を把握し、原因仮説を立て、データによって検証し、実際に行動に移す施策を決め、実行した施策をデータで評価する)を理解できる。
- データ分析のための可視化(グラフ)の種類と各グラフを使った分析の計画に立て方、各グラフの作り方、読み方を理解できる。
- 自分の業務でのダッシュボード案を考えることができる。

対象者
- Excelのデータを用いて、問題解決のためのデータ分析における基礎的なスキルを修得したい方。
- データは手元にあるが、その活用方法を模索している方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. はじめに
2. 分析によって問題を見つける
3. 分析によって原因を考えるのを助ける
4. 分析によって施策の効果を確かめる
5. 自分の業務への適用に向けて

受講料 ¥37,400

eラーニング / コースコード HSE116

<eラーニング> データ分析手法の理論と適用

eラーニング 14時間

データ分析の理論や作業スキルに加え、各分析手法を適用する際の考え方も学習します。データを手に入れてからレポートとするまでの一連の頭と手の動かし方を学習します。

到達目標
- 分析の目的と仮説を分析手法適用のインプットに反映できる。
- 分析結果から意味を抽出し、提案や企画に活かすことができる。
- 統計における各種数式の意味が理解できる。
- Excelを用いて効率よく分析ができる。

対象者
- データ分析におけるExcel活用を学びたい方。
- Excel操作に留まらず、データ分析の考え方のポイントを知りたい方。
- 「データ分析手法の理論と適用」コースをじっくり再学習したい、集合コースを受ける前に基礎知識を身につけておきたい方。
- じっくり自分のペースで学習したい方。

前提知識 Excelの基本的な操作経験があること。かつ、「ロジカルシンキング基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。(20年度まで開講しておりました「ロジカルシンキング基礎」をご受講の方は同等とみなします)

内 容
1. はじめに(データ分析力/分析計画/分析の掘り下げ)
2. データ分析手法の分類
3. QC手法の適用
(1)ヒストグラムと基本統計量
(2)管理図の活用(時系列図)
(3)パレート分析　(4)散布図と単回帰分析
(5)クロス集計とアソシエーション分析
4. 多変量解析の適用
(1)重回帰分析　(2)数量化理論I類
(3)判別分析　(4)ロジスティック回帰分析
(5)決定木分析(分類木)
(6)クラスター分析(k-means法)
(7)主成分分析
5. 確率と検定の適用
(1)確率分布と検定手法の分類
(2)区間推定
(3)t検定(平均値の差の検定)
(4)χ2検定(独立性の検定)
(5)F検定(等分散の検定)
6. そして実務へ

受講料 ¥36,300

オンライン / コースコード HSV109

データ分析手法の理論と適用 −ビジネスにおける統計的手法活用の広がり−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

このコースでは、ビッグデータの分析やデータマイニングの根底にある、データ分析の理論や作業スキルを学習します。
また、理論や作業スキルにとどまらず、各分析手法をビジネスデータに適用する際の考え方もあわせて学習します。
例えば、分析手法適用の際のインプットデータは、目的や仮説に基づいて抽出する必要があります。また、アウトプットの図表からは、「だから何が言えるのか」という、提言につながる考察を抽出する必要があります。このような、データを入手してからレポート作成するまでの一連の思考過程と作業を、Excelを利用した演習を通して学習します。

到達目標
- 分析の目的と仮説を分析手法適用のインプットに反映できる。
- 分析結果から意味を抽出し、提案や企画に活かすことができる。
- 統計における各種数式の意味が理解できる。
- Excelを用いて効率よく分析ができる。

対象者 データ分析におけるExcel活用を学びたい方、Excel操作にとどまらずデータ分析における考え方のポイントを知りたい方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があり、かつExcelの基本的な操作経験があること。

内 容
1. データ分析手法の分類
(1)目的によるデータ分析手法の分類
(2)データの種類によるデータ分析手法の分類
2. データ分析手法
(1)分析のアウトプットの意味を考える
(2)分析のインプットデータをどうすべきか考える(ヒストグラム/基本統計量/時系列分析/パレート分析/単回帰分析/散布図/重回帰分析/数量化I類/主成分分析/判別分析/クラスター分析)
3. 確率と検定
(1)区間推定
(2)検定(t検定/独立性の検定/分散分析)
(3)シミュレーションへの確率分布の適用
4. そして実務へ

受講料 ¥82,500

オンライン / コースコード HSV211

BI活用事例に学ぶ分析提案の進め方【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

データ活用提案をする際には、顧客要望や顧客の持つデータのパターンに応じて、分析のストーリーを提示できる必要があります。このコースでは、どのような点に注意して提案活動を進めていくのかを実例の紹介・BIツール(QlikSense)を用いた演習を交えて学習します。

到達目標
- BIツールで何ができるか理解できる。
- データを前にして、ステークホルダに提示する可視化(図表)が複数パターンイメージできる。

対象者
- データ分析の企画・提案をする/される立場の方。
- BIツールを活用した分析提案を検討および実行している方。
- BIツールの社内導入を検討および実行している方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. はじめに
2. BIツールを中心とした分析提案の進め方
(1)分析提案のプロセス(要件ヒアリング/概念検証/提案スペックの確定/見積の作成)
(2)分析提案事例(特定APPへの帳票・分析機能追加/既存BI環境のリプレース/SaaS型サービスへの機能付加/UPへの分析機能追加)

受講料 ¥59,400

eラーニング / コースコード DBE050

<eラーニング> Pythonの基礎とデータ分析ライブラリ

eラーニング 16時間

機械学習で最も使われるプログラミング言語「Python」の基礎を学びます。文字の出力、変数の概要、条件分岐、ループなど、「Python」の基本的な使い方を身につけます。また、「Python」のベクトルや行列計算を高速に行うためのライブラリ「NumPy(ナンパイ)」の基礎、データ分析用ライブラリ「Pandas(パンダス)」の基礎を学びます。さらに、Matplotlibを用いてデータを可視化する方法を学びます。折れ線グラフ、円グラフ、ヒストグラム、3Dグラフを作成を学びます。

到達目標
- Pythonの基本的な操作ができる。
- NumPyの概要について理解できる。
- NumPyの基本的な操作ができる。
- Seriesの生成などPandasの基本的な操作ができる。
- DataFrameの連結・結合などのPandasの応用的な操作ができる。
- グラフの種類やそれぞれの長所を理解できる。
- Matplotlibを使用して、さまざまなグラフを作成できる。

対象者
- Pythonを体系立てて学習したい方。
- 機械学習を実装したい方。
- 定量データ解析やデータの可視化、グラフの作成をしたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. はじめてのPython
(1)Pythonについて、変数と型、プログラミングらしい処理
2. Python基礎
(1)はじめに、複数の値を持つ型、for文によるループ処理、関数、クラス、ライブラリ
3. ライブラリ「NumPy」基礎(数値計算)
(1)NumPyによるベクトル、行列計算
4. ライブラリ「Pandas」基礎(表計算)
(1)Pandasによる数表、時系列計算
5. ライブラリ「Matplotlib」基礎(可視化)
(1)Matplotlibによるデータ可視化

受講料 ¥88,000

eラーニング / コースコード DBE051

<eラーニング> データ加工基礎

eラーニング 6.5時間

データクレンジングとは、機械学習モデルにデータを読み込ませるために、データの欠損値や画像の前処理を行う手法です。CSVデータの扱い方や欠損値の処理、OpenCVを用いた画像加工の方法などを学びます。また、Pythonで機械学習を行う際に必要となるさまざまな前処理を学びます。CSV・Excel・DBからのデータの取得、欠損値への対応方法、不均衡データの調整方法、データのスケール調整や、縦持ち横持ち変換など、実務で必須となる前処理を、ライブラリを使ったコード例を確認しながら修得します。

到達目標
- 機械学習における前処理の概要について理解できる。
- lambda式やリスト内包表記を使用できる。
- DataFrameを用いたデータクレンジングができる。
- OpenCVを使用して、画像の前処理ができる。
- 欠損値、外れ値、不均衡データの取り扱いについて理解できる。

対象者
- データクレンジングの考え方を学習したい方。
- 画像データの前処理を学習したい方。
- Pythonを使った機械学習におけるチューニングを学習したい方。

前提知識 Pythonの基礎的な知識と、基本的なライブラリ(NumPy、Pandas算)、Matplotlibなど)についての知識があること、もしくは「Pythonの基礎とデータ分析ライブラリ」eラーニングコースを修了しているか、同等の知識があること。

内 容
1. データクレンジング
(1)lambdaやmapなどの便利なPython記法
(2)DataFrameを用いたデータクレンジング
(3)OpenCVの利用と画像データの前処理
2. 機械学習におけるデータ前処理
(1)機械学習における前処理概要
(2)データの取得
(3)欠損値・外れ値・不均衡データの取り扱い
(4)データの変換

受講料 ¥44,000

集合 / コースコード DBJ125 — Renewal

マシン実習 1日間

データビジュアライゼーション基礎

データ可視化について、基礎的な原理原則とその実務への活用方法を豊富な事例や方法論をもとに学習します。チャートの基本構造や成り立ちそのものを理解することで、「可視化したい」と思った時にすぐに手を動かせるようになることをめざします。このコースでは可視化ツールとして、RawGraph、Google Colabを利用し、また、Flourish、DataWrapper等の概要をご紹介します。

到達目標
・チャートの基本構造や成り立ちそのものを理解して、適切な可視化のためのチャートの使い分けができるようになる。
・要件に沿って可視化ツールの選定ができるようになる。

対象者
・ビジネス課題解決のために、ダッシュボード化を通じた業務改善を推進したい方、またはデータに基づく意思決定プロセスを改善したい方。
・プレゼンテーションでの説得力向上のために、顧客や上司への提案・報告で効果的なチャートを活用したい方、または見やすいチャートの作成スキルを向上させたい方。

前提知識 プログラミングの基礎知識があること。
※プログラミング経験は必須ではありませんが、簡単なコードを読める程度の知識があることが望ましいです。
※研修では Python を使用しますが、Python の実装スキル向上自体は目的としておりません。

内 容
1. チャートの構造を理解する
 (1)チャートクイズ
 (2)ビジュアル変換とスペース変換
 (3)スケール
2. データビジュアライゼーションの基本
 (1)何を可視化するか… データへの理解
 (2)どう可視化するか… 可視化手法の分類
3. 課題探索と表現伝達への活用
 (1)課題探索の実例　(2)表現伝達の実例
4. ウェアプリの使用方法
 (1)ワークフローに沿った実装
 (2)試行錯誤の進め方
5. 可視化計画の立て方
 (1)グループワークによる可視化計画の立案
6. まとめ
 (1)今後の学びのために役立つアプリの紹介
 (2)今後のスキルの磨き方

受講料 ¥60,500

eラーニング / コースコード DBE102

eラーニング 4時間

<eラーニング>【スキル定着】Pythonでのデータ可視化 −オープン環境を活用した実装力の磨き方−

さまざまなデータ可視化の実装を通して、実践で使えるレパートリーを増やします。繰り返し実装することで、Pythonでのデータ活用の流れの定着を図ります。Python実行環境はJupyterです。Python実行環境につきましてはご自身で用意をお願いします。

到達目標
・Pythonを使った可視化の実装ができる。
・オープンな環境を利用してどのように学び(自己学習)を深めればいいか理解できる。

対象者
・Pythonのライブラリを活用して可視化の実装を試したい方。
・Pythonの基本は分かったので腕試ししたい方。

前提知識 「Python入門−データ分析での活用をテーマとして−」コースを修了しているか、または同等の知識(Pythonを実装できる環境構築やPythonの基本構文・データ構造の理解)があること。

内 容
1. データ可視化とは
 (1)データ可視化の目的
 (2)データ可視化の種類
 (3)データ可視化の手順
 (4)データ可視化のセオリー(データインク比、データ濃度、表現方法の選択)
2. Pythonを使ったデータ可視化の進め方
 (1)ライブラリの種類と目的に応じた選択
 (2)可視化に使える主なWebアプリとその選択
 (3)学習に使えるオープンデータとソースコード
3. Pythonによるさまざまなデータの可視化の紹介および実装
 (1)平行座標プロット
 (2)散布図行列
 (3)ヒートマップ
 (4)デンドログラム
 (5)ワードクラウド
 (6)コロプレス地図
 (7)ネットワーク図
 (8)アニメーションバブル図
※ご紹介する可視化手法は予告なく変更する場合があります

受講料 ¥14,300

eラーニング / コースコード DBE049

eラーニング 9時間

<eラーニング> 機械学習 基礎知識編 −初めてでもOK!データ分析を身近に−

このコースは、データマイニングの代表的な方法論である「CRISP-DM」に沿って、予測モデルを構築する一連の流れおよびモデルを構築するために必要な各種分析手法を学習します。ご受講時には、ソフトウェア(KNIME Analytics Platform)をインストール可能なPCを用意いただくことを推奨します。PCを用意いただくことで、画面の解説に従ってソフトウェアをインストールおよびハンズオンで確認しながら学習することができます。このコースを受講することで、今までよりもデータ分析を身近に感じていただくことができます。

到達目標
・データマイニングの基本プロセスを説明できる。
・多変量解析やクラスター分析、決定木分析などデータマイニングの基本的な手法を説明できる。

対象者
・データ活用案件において、アナリティクスを担当する必要がある、したい方。
・実際のモデル構築がどんな作業になるかを知っておく必要があると思われる方。
・予測モデルの手法を体系的に学びたい方。
・「機械学習 ケーススタディで学ぶ実践編」を受講される方。

前提知識
・一次方程式の関数(y=f(x))がわかること。
・ソフトウェア(KNIME Analytics Platform)のインストールができること。
・平均や分散、標準偏差など基本統計量について理解できていること。

内 容
1. データマイニング概要
2. データの理解
3. データの準備
4. モデリング
5. 評価と展開

受講料 ¥39,600

オンライン / コースコード DBV120

マシン実習 2日間

機械学習 ケーススタディで学ぶ実践編 −製造物の種類判別と生産設備の故障予兆− 【バーチャル・クラスルーム】

「機械学習 基礎知識編−初めてでもOK!データ分析を身近に−」eラーニングコースで学んだ手法を駆使してモデル構築のケーススタディを行います。ケーススタディは2種類あり、データ分析の結果を大きく左右する「データ磨き(バリューアップ)」の要所を二段階で修得します。業界動向はじめ現場のリアルなやり取りなど実践に役立つ情報を提供します。

到達目標
・予測モデル構築の一連の流れが理解できる。
・データの背景にある顧客業務を理解できる。
・預かった生データを分析用のデータセットとして磨き上げることができる。
・最適なモデルを決めるため、複数の手法でのパフォーマンスを比較できる。

対象者
・データ分析作業を担当する方、またはしたいと考えている方。
・データ分析提案にあたり、実際のモデル構築がどんな作業になるかを知っておく必要がある方。
・モデリングの検討手順が分からず、データ分析の学習に迷われている方。
・予測モデルの手法を体系的に学びたい方。

前提知識 以下のすべてを満たしていること。
・KNIME、Excelの基本的な操作がわかること。
・分析の基本的なプロセスがわかること。
・「機械学習 基礎知識編−初めてでもOK!データ分析を身近に−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
 (1)オリエンテーション
 (2)基礎知識編(eラーニング)の学習内容のおさらい
2. ケース演習
 (1)データから顧客の業務や運用を推測して質問に纏める
 (2)データ汚れの有無をデータ検査ノードや各種グラフを使って確認する
 (3)複数の手法でモデリング
 (4)精度評価とチューニング
 (5)レポート化
  ・ケーステーマ例1:製造メーカーにおける種別判別を99%を超える精度で判別するモデルの構築
  ・ケーステーマ例2:品質検査におけるばらつきの原因推定モデルの構築
3. おわりに

受講料 ¥108,900

オンライン / コースコード DBV132

マシン実習 1日間

体感!機械学習 【バーチャル・クラスルーム】

このコースでは、収集したデータの活用技術の一つとして機械学習の導入を学びます。データを活用したシステムに向けた技術を修得できます。

到達目標
・機械学習の概要が説明できる。
・ツールを用いて簡単な機械学習を用いた分析ができる。

対象者 ビッグデータ関連事業に携わる方。

前提知識 基本的なプログラムの文法(言語は問いません)を理解しており、かつ「デジタル時代に必要なIT技術概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 機械学習の概要
 (1)機械学習とは
 (2)機械学習の種類
 (3)機械学習のプロセス
 (4)ビッグデータにおける機械学習の位置づけ
 (5)機械学習とデータマイニング
2. 分析ツールを利用した機械学習
 (1)Rの概要
 (2)事例1最適化
 (3)事例2異常検知
 (4)事例3数値予測
 (5)精度の確認
3. 機械学習の実装

受講料 ¥44,000

eラーニング / コースコード DBE052

eラーニング 10.5時間

<eラーニング> 自然言語処理基礎

自然言語処理について学びます。文章を数値に変換する手法を学び、教師あり学習(分類)を使ってカテゴリ分類を実践します。また、自然言語処理とネットワーク分析により、日本語テキストからトピック(話題)を抽出し特性を把握する方法を学びます。さらに、ニューラルネットワークモデルを用いた自然言語処理における、前処理、具体的手法を、質問応答システムを作成しながら解説し、実装します。

到達目標
・自然言語処理の概要について理解できる。
・単語の類似性や連続性から発話の特長を捉えるモデルを実装できる。
・自然言語処理における深層学習の概要について理解できる。
・RNN、LSTMの概要について理解できることができる。
・基本的な回答文選択システムを構築することができる。

対象者
・自然言語処理の基本に興味のある方。
・深層学習を用いた自然言語処理に興味のある方。

前提知識 Pythonの基礎的な知識と、基本的なライブラリ(NumPy、Pandas算)、Matplotlibなど)についての知識があること、もしくは「Pythonの基礎とデータ分析ライブラリ」eラーニングコースをを修了しているか、同等の知識があること。

内 容
1. 自然言語処理基礎
 (1)文章の単語分割と正規化
 (2)自然言語のベクトル表現
2. 日本語テキストのトピック抽出
 (1)形態素解析
 (2)単語の類似性から発話の特長
 (3)単語の連続性から発話の特長
3. 自然言語処理を用いた質問応答
 (1)基礎編:自然言語処理における深層学習
 (2)実践編:回答文選択システムの実装

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード DBV184

マシン実習 1日間

テキストマイニング ケーススタディで学ぶ実践編 −自然言語処理による設備点検記録分析編− 【バーチャル・クラスルーム】

このコースでは、テキストマイニングの基礎スキル、事例をもとにした実践スキルを身につけます。テキストデータを入手してから分析結果を解釈し、報告レポートを作成するまでの一連の思考過程と作業を、事例とケーススタディを通して学習します。生成AIとテキストマイニングを比較し、分析課題に基づいた適切な技術の選択、実際のプロジェクトでの使い分けも学習します。この講座では、データ分析プロセス(Crisp-DM)に基づいたテキストマイニングの進め方、結果の解釈・活用を中心に学んでいただくため、分析ツールはGUIベースで作業できるKNIMEを主に活用します。

到達目標
・テキストマイニングの一連の流れが理解できる。
・テキストマイニングの活用が適した課題を見極め、適切に分析プロセスを設計できる。
・テキストデータを分析用のデータセットとして磨き上げることができる。
・分析結果から意味を抽出し、提案や企画に活かすことができる。

対象者
・テキストマイニング業務を担当する方、またはしたいと考えている方。
・テキストデータがどのように利活用できるのか事例を知りたい方。
・テキストデータの活用提案にあたり、実際のテキストマイニングがどんな作業になるかを知っておく必要がある方。
・テキストマイニングを活用して自社や顧客の課題解決をめざす方。

前提知識 データ分析の基礎的な知識があること。

内 容
1. テキストマイニングの概要・事例紹介
2. KNIMEの紹介・使い方
3. テキストマイニング基礎知識とハンズオン
4. テキストマイニングケーススタディ

受講料 ¥83,600

eラーニング / コースコード AIE013 — New

eラーニング 9.5時間

<eラーニング> 時系列解析基礎(Aidemy社)

時系列解析とは、時間経過・推移に伴って変化する「時系列データ」を分析する手法です。時系列データは、一定の時間間隔で収集されたデータポイントの集合であり、経済、金融、気象、医療、製造などさまざまな分野で利用されています。
このコースでは、時系列解析の基礎知識や時系列データの扱い方、一般的な予測モデルについて学習します。また、学んだ予測モデルを実際のデータセットに適用し、売上予測にも挑戦いただきます。

到達目標
・時系列データの基本的な扱いについて理解できる。
・StatsModels/SARIMAモデルを用いた時系列分析が実施できる。
・実際のデータセットを用いて、RNNやLSTMを適用し、予測を行うことができる。
・Kerasを用いてLSTMモデルを構築し、時系列データを解析できる。
・データの前処理やモデルの評価方法を理解できる。

対象者
・時系列データの基礎的な扱いや時系列分析を行う際に持つべき視点を理解したい方。
・時系列データの前処理から、モデルの構築・予測を学習したい方。

前提知識
・Pythonの基礎的な知識と、基本的なライブラリ(NumPy、Pandas算)、Matplotlibなど)についての知識があること、もしくは「Pythonの基礎とデータ分析ライブラリ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
・統計学の基礎知識(平均、分散、相関など)があること。

内 容
1. 時系列解析I(統計学的モデル)
 ・時系列データに触れてみよう
 ・定常性、ARMA・ARIMAモデル
 ・時系列データの前処理
 ・SARIMAモデルの構築
2. 時系列解析II(RNNとLSTM)
 ・RNN/LSTM基礎
 ・RNN/LSTM実装編
3. 時系列解析III(LSTM応用)
 ・売上予測

受講料 ¥68,200

eラーニング / コースコード AIE005

eラーニング 40時間

<eラーニング>ディープラーニング入門 −AIを学ぶための基礎知識と実装演習−:日本ディープラーニング協会(JDLA)E資格取得対策講座(Study-AI社)

AIを実装するための基礎について学習します。

到達目標
・AIの基礎理論を理解し説明できる。
・機械学習に必要なPythonの基礎的な文法を理解し説明できる。
・AIに使われる数学や数式を理解し説明できる。

対象者
・0からAIを実装できる基礎を身につけたい方。
・AI実装検定A級の取得をめざす方。
・E資格の取得をめざす方。

前提知識 因数分解など、中学レベルの数学知識を有すること。

内 容
1. 超AI入門講座
 (1)AI基礎 1 - ニューラルネットワークの順伝播(実装ベース解説/閲覧のみ)
 (2)AI基礎 2 - ニューラルネットワークの逆伝播(実装ベース解説/閲覧のみ)
 (3)AI基礎 3 - 手書き文字の認識(実装ベース解説/閲覧のみ)
2. AIを学ぶための本格Python講座
 (1)はじめてのPython
 (2)Pythonの基礎
 (3)ライブラリ
 (4)NumPy
 (5)Pandas
 (6)MatplotlibとSeaborn
 (7)Scikit-learn
3. AIを学ぶための本格数学講座
 (1)基礎数学
 (2)微分
 (3)線形代数
 (4)確率統計

受講料 ¥55,000

eラーニング / コースコード AIE006

eラーニング 170時間

<eラーニング>ディープラーニング応用 −応用数学と機械学習・深層学習実践−:日本ディープラーニング協会(JDLA)E資格取得対策講座(Study-AI社)

実務で必要な周辺処理や実践手法を中心に、ディープラーニングに関する知識や技術を、数理的な基礎原理から体系的に学習します。

到達目標
・ディープラーニングの理論を理解し適切な手法を選択して実装ができる。
・E資格試験(日本ディープラーニング協会主催)に合格できる知識や技術の基礎を修得する。

対象者
・ディープラーニングを実装するエンジニアとしての技能を修得したい方。
・E資格試験(日本ディープラーニング協会主催)の合格をめざす方。

前提知識 高校数学までの数学知識、プログラミング経験を有すること。
※プログラミングの言語は問わない。

内 容
1. 応用数学
2. 機械学習
3. 深層学習
4. 開発・運用環境
※各項目の詳細は、下記のJDLA Webサイトのシラバスをご参照ください。
https://www.jdla.org/certificate/engineer/
なお、シラバスは定期的に見直しされます。シラバス見直しに伴い、このコースへの申込・受講のタイミングで、学習項目、研修時間等が予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

受講料 ¥341,000

プロセス/プロダクト

製造業におけるエンジニアリング・オペレーションの高度化、製品のコネクティッド化など、製造業DXを進めるうえで必要な基礎知識・技術を修得できます。

製造業のDXリテラシー

製造業のDXの基礎知識

レベル1	レベル2	レベル3

HSV301 オンライン
製造業のDX基礎
−スマートファクトリーへの第一歩−
レクチャ | 0.5日間

デジタライゼーションの基礎技術

レベル1	レベル2	レベル3

Renewal
デジタル導入
IOE019 eラーニング
デジタル時代に必要なIT技術概説
音声有+説明文有 | 9時間

DBE066 eラーニング
量子コンピュータの基礎とビジネス動向
音声有+説明文有 | 3時間

IoT
IOV001 オンライン
IoT概説
レクチャ | 0.5日間

IOV023 オンライン
IoT技術解説
−最新技術動向・適用事例編−
レクチャ | 0.5日間

IOE013 eラーニング
IoT技術解説
IoTネットワーク編
音声なし+説明文有 | 3時間

IOE014 eラーニング
IoT技術解説　5G編
音声なし+説明文有 | 2.5時間

IOE015 eラーニング
IoT技術解説
セキュリティ編
音声なし+説明文有 | 3時間

データサイエンス
AIE012 eラーニング
AIリテラシー
−AI技術の概要と活用事例−
音声有+説明文なし | 20時間

デジタル導入
AIE014 eラーニング
AI・データサイエンス基礎
音声有+説明文有 | 6時間

DBE041 eラーニング
考えてみようDX
−ビジネス着想編−
音声有+説明文有 | 3時間

IOJ025 集合
IoT活用技術
（システム基礎編）
マシン実習 | 3日間

SPV092 オンライン
作って動かす!
生成AI・LLMの基礎
マシン実習 | 1日間

AIE011 eラーニング
マテリアルズ・インフォマティクス(MI)リテラシー講座
−データ活用による効率的な材料開発−
音声有+説明文なし | 2.5時間

プログラミング・情報技術
DBV137 オンライン
プログラミング活用術
−面倒な定型業務はPythonで自動化しよう−
マシン実習 | 1日間

ミドル・アプリケーション製品
RPV021 オンライン
Power Platform入門
（Power Automate DesktopによるRPA活用編）
マシン実習 | 1日間

デジタル導入
SPV080 オンライン
やってみようDX
−ローコードプログラミングによる業務のDX−
マシン実習 | 1日間

レベル1 ：デジタル技術や数理・データサイエンス・AIに関する基礎素養を身に付けたい方　【リテラシーレベル】
レベル2 ：デジタル技術やデータを活用することで自社内の業務改善を図りたい方、お客さまのDXに対する課題を見つけ、サービスを企画・提案・実装したい方　【ベーシックレベル】
レベル3 ：事業マネジメント・業務改革のためにDXを推進したい方、DXに関するサービスやプロダクトを事業化・サービス化したい方　【アドバンスレベル】

各業界の業務理解

レベル1	レベル2	レベル3

目的別（コンプライアンス/業種・業界/ビジネス教養）
HSE134 eラーニング
サプライチェーンマネジメント(SCM)基礎−世界標準の知見に基づいた戦略的SCMの実現へ向けて−
音声なし+説明文有 | 3時間

エンジニアリングの高度化

レベル1	レベル2	レベル3

機械・設計技法
OTV012 オンライン
伝熱工学＋CAE解析＋機械学習の取り入れた最適化技術
グループ演習 | 0.5日間
事前学習(eラーニング) 6時間

オペレーションの高度化

レベル1	レベル2	レベル3

休講
DBV144 オンライン
数理最適化における定式化の基礎
−顧客課題を数式で表す−
マシン実習 | 1日間

DBE067 eラーニング
数理最適化問題に対する実践的なアプローチ−Pythonで数理最適化問題を解く−(Aidemy社)
音声なし+説明文有 | 4時間

データサイエンス
DBE049 eラーニング
機械学習 基礎知識編
−初めてでもOK!
データ分析を身近に−
音声有+説明文有 | 9時間

DBV120 オンライン
機械学習 ケーススタディで学ぶ実践編−製造物の種類判別と生産設備の故障予兆−
マシン実習 | 2日間

製造・モノづくり基盤技術
OTJ052 集合
産業用ロボットの教示と基本操作習得
マシン実習 | 3日間

プログラミング・情報技術
DBV154 オンライン
NVIDIA Deep Learning Institute (DLI)認定コース
AIを応用した予知保全
マシン実習 | 1日間

プロダクトのコネクティッド化

レベル1	レベル2	レベル3

イノベーション
HSV295 オンライン
協創型イノベーション開発手法（全体プロセス編）−モノとコトを結び顧客価値創出を実現する−
グループ演習 | 2日間

PDU
IDV003 オンライン
(PDU) IoTコンセプトデザイン
−IoTビジネスの理解と自社の新しいIoTサービスを創出する−[アイ・ラーニング ライブ配信]
レクチャ | 1日間

DBV186 オンライン
IoTによるコネクテッドプロダクトの企画・開発ワークショップ
−アイデア発想からマネタイズまで−
グループ演習 | 1日間
事前学習(eラーニング) 1.5時間

PDU ：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。3年間で60PDUが必要です。
音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

オンライン / コースコード HSV301

レクチャ 0.5日間

製造業のDX基礎 −スマートファクトリーへの第一歩− 【バーチャル・クラスルーム】

製造業においてスマートファクトリーを実現するためにはデジタル・トランスフォーメーション（DX）、すなわちデータ活用によるプロセス改革が不可欠です。このコースでは、スマートファクトリーの実現に向けて必要となる工場の基本知識を学びます。その後、設計、品質、納期、セールス&オペレーション・プランニング（S&OP）の課題を解決するためにデータがどのように活用されているかを学びます。

到達目標
・工場の基本的な用語、仕事について理解できる。
・設計、品質、納期、セールス&オペレーション・プランニング（S&OP）のDXの基本的な考え方を理解できる。

対象者
・自社の製造拠点のDXに関わる方
・お客さまの製造拠点のDXに関わる営業・SE

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 工場の製造システム
2. 設計のDX
3. 品質のDX
4. 納期のDX
5. S&OPのDX
6. これからの工場のDX

受講料 ¥36,300

eラーニング / コースコード DBE066

eラーニング 3時間

<eラーニング> 量子コンピュータの基礎とビジネス動向

この数年、業界で世界的に競争が激化している量子コンピュータ関連の知識を学ぶことができます。量子コンピュータの技術概要、ビジネス適用の見取り図、動向を解説することで、将来の導入のために営業、フロントSE、エンジニアの方が必要となるスキルを学習します。

到達目標
・量子コンピュータの技術概要を理解できる。
・量子コンピュータのビジネス適用の概要を理解できる。
・量子コンピュータ関連の業界動向を理解できる。

対象者 営業、フロントSE、エンジニアの方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 量子コンピュータの基礎
2. 量子物理学、および量子アルゴリズムの概略
3. 量子コンピュータのビジネス適用と業界動向

受講料 ¥16,500

オンライン / コースコード SPV092

マシン実習 1日間

作って動かす！生成AI・LLMの基礎 【バーチャル・クラスルーム】

2022年にリリースされたChatGPTを皮切りに、生成AIや大規模言語モデル（LLM）が急速に注目を集めています。私たちの日常生活や業務で広く活用されつつある技術ですが、実務で適切に活用するためには、生成AIやLLMの仕組みを理解することが重要です。しかし、ディープラーニングをベースとしたこれらの技術は、非常に高度であり、学び始めるのにも困難が伴います。
そこで、このコースでは、2017年度技術書大賞を獲得した大ヒットセラー「ゼロから作るDeep Learning」シリーズの著者で、日本有数のAI技術を持つPFN社の斎藤 康毅氏監修のコンテンツを用いて、データの生成のデモや演習を交えて解説し、理解を深めます。さらに、小さなLLMを一から構築することにもチャレンジしながら、今後生成AIやLLMを業務で活用していくための土台を作ります。

到達目標
・生成AI、LLMの基本的なしくみを理解し説明できる。
・業務で生成AIを活用したサービスを提供するために必要な基礎を身につける。
・生成AI、LLMの入門書が読める。

対象者
・生成AIやLLMを活用するシステムを開発・提供するSEおよび開発者、営業の方。
・LLM、生成AIの基礎を修得したい方。

前提知識
・「Python入門-データ分析での活用をテーマとして」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
・研修の効果を高めるために、「体感！機械学習」コース、「NVIDIA Deep Learning Institute（DLI）認定コース ディープラーニングの基礎」コースを修了もしくは同等のスキルを修得していることを推奨します。

内　容
1. 生成AIの概要　AIとディープラーニング　生成AIとは
   ・拡散モデルと画像生成
   ・大規模言語モデルと文章生成
   ・その他のデータの生成
2. ニューラルネットワーク　テンソル　ニューラルネットワークの基礎
3. 言語モデル　トークン化　シンプルな言語モデル
   言語モデルの学習と文章生成　ミニマム言語モデルの作成
   ・シェイクスピア風文章の生成
4. LLM　言語モデルと対話AI　現代のLLMと活用
   ・ファインチューニング、プロンプト、LoRA、RAG　など

受講料 ¥55,000

eラーニング / コースコード DBE067

eラーニング 4時間

<eラーニング> 数理最適化問題に対する実践的なアプローチ −Pythonで数理最適化問題を解く−（Aidemy社）

このコースでは、数理最適化の概要を学んだ後、Pythonを用いて数理最適化問題を解く方法を学びます。また、数理最適化の基本問題、実践問題をPythonで解く演習に取り組んでいただきます。

到達目標 Pythonを用いて数理最適化問題を解く方法を修得する。

対象者
・数理最適化の活用・実装を検討しているエンジニアの方。
・データサイエンティストとしてのスキルを向上したい方。

前提知識
・Pythonの基本構文を知っていること。
・数理最適化の概要を知っている、または典型問題を知っていること。

内　容
1. 現場で役立つPython×数理最適化：入門編
   ・数理最適化とPython
   ・集合分割問題
   ・ナップザック問題
2. 現場で役立つPython×数理最適化：実践編
   ・業務割振り
   ・ロボットの最短経路探索
   ・配送計画

受講料 ¥44,000

オンライン / コースコード IDV003

レクチャ 1日間

（PDU）IoTコンセプトデザイン −IoTビジネスの理解と自社の新しいIoTサービスを創出する−【アイ・ラーニング ライブ配信】 PDU

このコースは、IoTを活かしたビジネスコンセプトやサービスを立案するスキルを修得します。サービスや製品の開発では企画案の「コンセプト」段階で、成否の方向性が決まります。多くのモノがインターネットに繋がり新機器やサービスが続々生まれる今、社内・社外向けに新サービスの企画検討の課題が浮上します。まず、IoTの本質と社会への影響、ビジネスへの変化等、IoTの企画で考え始める、考えるべきポイントについて、具体的な事例を踏まえながら説明します。さらに新ビジネスの創造の可能性、コンセプトを具体的な手順を示しながら学びます。IoTの概要から、活用分野、自社適用やサービスの作り方等、自社社内での企画案までの一連のサービス開発の流れに沿って学びます。第一線で活躍中の工業デザイナーによる研修。初心者かつ技術者でなくても分かり易く丁寧にIoTやIoTを含めたサービスを、ワークショップや演習を交えて説明します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：7ポイント）の取得が可能です。

到達目標
1. IoTビジネスの概要、適用を理解できる。
2. 自社でIoTビジネス開発、取扱いや販売を行う方法を検討・立案する手順を理解できる。
3. 新商品・サービス企画を纏めるプロセスを理解できる。

対象者 営業職、エンジニア職の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. IoTと社会背景
2. IoTの基本構成
3. 身近なIoTの事例
4. IoT実践へのアプローチ
5. IoTコンセプトをデザインする
   （1）顧客のウォンツを探索する
   （2）既存商品を起点に考える
   （3）データ活用アイデアを出す
   （4）基本コンセプトを立案する
   （5）ビジネスモデルを構築する
   （6）プレゼンテーション

受講料 ¥44,000

オンライン / コースコード DBV186

グループ演習 1日間

IoTによるコネクテッドプロダクトの企画・開発ワークショップ −アイデア発想からマネタイズまで− 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】

・このコースは、基礎知識をeラーニング（1.5時間）にて学習いただき、研修当日（1日間）は演習中心に進めます。
・ネットワークにつながるモノといえば、これまではPCや携帯電話・スマホが中心だったのが、今ではあらゆるモノへと広がっています。このネットワークにつながるモノ（コネクテッドプロダクト）から生み出される膨大なデータを分析し、新たな価値を見出すことで、ハードウェア売り切りからサービスに対する継続課金へと、ビジネスが変わってきています。このコースでは、事前学習、ワークショップを通して、IoTによるコネクテッドプロダクトが生み出す価値を学んでいただくとともに、その企画・開発プロセスと各プロセスで押さえるべきポイントを修得いただきます。

到達目標
・IoTによるコネクテッドプロダクトが生み出す価値を理解する。
・修得したIoTによるコネクテッドプロダクトの企画・開発プロセスに沿ってアイデアを具体化できる。

対象者
・IoTによるコネクテッドプロダクトの企画・開発に関わる方。
・今後、IoTを活用した新たなサービスを企画・開発したい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
【講義開始前のカリキュラム】eラーニング（標準学習時間：1.5時間）
1. IoTとIoTを支える技術
   ※バーチャル・クラスルームでは、eラーニングでの学習が完了していることを前提とします。なお、不明点はバーチャル・クラスルームの際に講師へご質問ください。

【講義のカリキュラム】バーチャル・クラスルーム（グループ演習）1日
1. IoTプロダクトの可能性
2. IoTプロダクトを伴うビジネスの事業化
3. IoTアイデア創成ワークショップ
   ・アイデア書き出し&共有&絞込み
   ・サービス／ターゲット／機能的価値
   ・システム／コンセプト検証／マネタイズ
   ・グループ発表会／講評

受講料 ¥81,400

eラーニング / コースコード AIE011

eラーニング 2.5時間

<eラーニング>マテリアルズ・インフォマティクス（MI）リテラシー講座 −データ活用による効率的な材料開発−

マテリアルズ・インフォマティクス（MI）は、データを活用することで効率的な材料探索を実現可能とする材料開発手法であり、政府の「マテリアル革新力強化戦略」において、重要な基幹技術の一つに位置付けられています。MIにより、材料品質向上、開発リードタイムの短縮、未知の材料の発見などにつながると期待されています。このコースでは、MIの概要、導入事例、導入プロセスについて学習します。

到達目標
・近年のデジタル革新　前提知識としての、近年のデジタル革新について理解する。
・MIの定義と目的意義　MIの定義から、その概要について理解する。
・MIの先進事例　実際に取り組まれたMIの導入事例について理解する。
・基礎的な技術アプローチ　MIに関する基礎的な技術アプローチを理解する。
・MI導入の進め方　実際にMI導入を進めていくためのプロセスを理解する。

対象者 マテリアルズ・インフォマティクス（Materials Informatics）について、その概要や活用方法を学びたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 近年のデジタル革新
2. MIの定義と目的意義
3. MIの先進事例
4. 基礎的な技術アプローチ
5. MI導入の進め方

受講料 ¥88,000

集合 / コースコード IOJ025

マシン実習 3日間

IoT活用技術（システム基礎編）

このコース、OT（Operational Technology：運用技術）とIT（Information Technology：情報技術）の融合を体験できるIoT（Internet Of Things）活用実践講座です。システム基礎編では、センサからのデータ収集、マイコンでの前処理、ネットワークを経由したデータベース格納、Excelによるデータベースアクセスまで幅広い知識と技術の体験ができる講座です。

到達目標
・IoTシステム（IoTデバイス、IoTサーバ）を構築する技術（センサ、ハードウェア、ネットワーク、データベース、見える化）を理解できる。
・IoTシステム開発総合演習を通して、IoTシステムの企画力、開発力を向上できる。

対象者 IoT実現のためのシステム構築・データ収集に興味を持つ若手技術者の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. IoT概論
2. システム設計例
3. マイコンボード（Raspberry Pi）の使い方
4. Python演習
5. 電子工作の基本
6. ネットワークの基礎
7. データベースの基礎
8. Excel-VBAによる解析
9. 総合演習（センサデータをマイコンで前処理しデータベースに格納、PCで解析しネットワーク経由でマイコンにフィードバック）

受講料 ¥198,000

オンライン / コースコード DBV144　休講

マシン実習 1日間

数理最適化における定式化の基礎 −顧客課題を数式で表す− 【バーチャル・クラスルーム】

数理最適化により顧客課題を解決するためには、顧客課題を数式で表すことが必要不可欠です。本研修では、まず、数理最適化問題の種類と特長について学習します。次に、実ビジネスにおける典型的な課題を例に取り上げて、目的関数と制約条件に分解し、数式として表現する考え方を学習します。最後に、定式化した問題をExcelで解く演習を通じて、定式化の理解を深めます。演習ではExcelを使います。事前に業務PC・Excelにソルバーアドインをインストールしてください。
ご参考：Microsoftサポートページ
［URL］https://onl.tw/f1cEtjW

到達目標
・典型的な課題（ケース）から目的関数と制約条件を抽出し、目的関数と制約条件を適切に数式で表現することができる。
・Excelを用いて、簡単な数理最適化問題を解くことができる。

対象者
・数理最適化について知りたい方。
・顧客から行動判断の支援を求められている、または顧客データからソリューションを導出することを考えている等の営業、フロントSE、エンジニアの方。
・多くの顧客業務制約の下で、評価指標を改善するための数理的な手法をお探しの方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. はじめに　数理最適化の概要
2. 数理最適化における定式化
3. 演習
   Excelソルバーを使った数理最適化問題の求解
4. おわりに
   数理最適化を実問題へ適用するために

受講料 ¥49,500

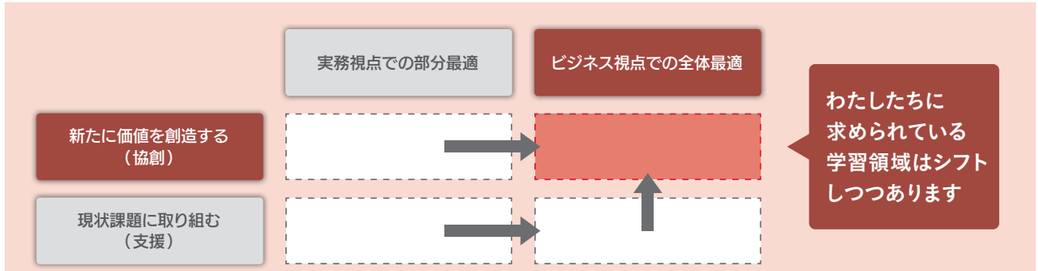
ビジネススキル修得のための推奨　講座体系 ～変化の激しい時代を生き抜くために～

今、わたしたちに求められる経営の視点

DX・AIをはじめとする最新技術が融合した市場・社会のパラダイムシフトに企業が応えるためには、企業活動と技術との融合を継続的に進化（深化）させていくことが必要です。そんな変化の激しいビジネスにおいて働くわたしたちは「自分の実務を知るだけの人」で良いのでしょうか。

技術の発展とその活用は、もはや会社経営において無くてはならない時代になりました。すなわち、それら技術に関わるわたしたち全員が、お客さまの経営視点に立って事業上の課題を特定・解決するべきであるといえます。そのためには、戦略的思考、計数管理、人間的管理といった経営基礎知識を身につけ、実務においてそのスキルを発揮することが不可欠となります。よって、自分の担当する実務の知識・スキルの獲得はもとより、ビジネスのあらゆる場面を支える広範囲な知識修得が求められるとともに、会社がわたしたちに期待する役割も、もはや現場の業務範囲内にとどまらず、ビジネス視点で全体最適な解決策を提案することといえます。

技術と社会が融合する世の中で成功するには、みなさんの「企業経営の視点からの協創」が不可欠です。わたしたちは時代の変化に対応し学習の領域を拡げていくことが望まれています。



あわせて見直したい！ 人生100年時代の「社会人基礎力」

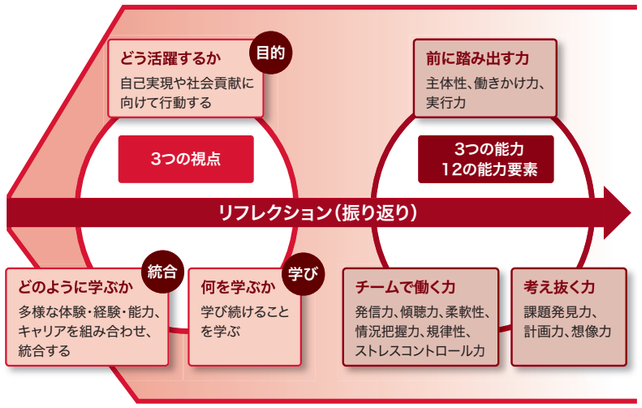
人生100年時代、働き方改革、ニューノーマル…、私たちは今、大きな変革期の只中にいます。従来のビジネスも様変わりせざるを得なくなり、対応のためにさまざまな工夫をしています。しかし、この「ニュー」がなくなり、「ノーマル」になる時代もそう遠くありません。

変化に対応するうえで、今私たちに必要なのは「自身のアップデート」です。必要なものを残したまま、新しいやり方を取り入れるようなイメージです。

そのために、今の自分に不足しているものを把握するために、社会人基礎力の項目に沿ってコースをピックアップいたしました。

「人生100年時代の社会人基礎力」とは

「人生100年時代の社会人基礎力」は、これまで以上に長くなる個人の企業・組織・社会との関わりの中で、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力と定義され、社会人基礎力の3つの能力／12の能力要素を内容としつつ、能力を発揮するにあたって、自己を認識してリフレクション（振り返り）しながら、目的、学び、統合のバランスを図ることが、自らキャリアを切りひらいていく上で必要と位置つけられます。



出典：経済産業省「人生100年時代の社会人基礎力」説明資料

ほぼ全てのコースがバーチャル・クラスルーム（オンライン研修）にて提供しますので、移動を伴わずご受講いただける環境にもなっています。

講座体系を活用したコースの選び方

ビジネス講座は、必要な人に必要な学びを必要な時にご提案できるサービスをめざして、分かりやすく受講選択し易い研修体系に整理しました。具体的にはビジネス推進のスキルとして欠かせない、二分野（ビジネスマネジメント、業務遂行力（社会人基礎力））を採用しています。

お客さま自身の強みの強化や弱みの克服をはじめ、人材育成計画にもとづく組織的な取り組みにおいて、皆さまの経験年数・業務経験・職位などと照らし合わせて、ご受講されるコースを選択ください。実績豊富な日立講習会のビジネス講座をご活用いただければ幸いです。

ビジネス講座　体系概要

ビジネスマネジメント

マネジメント経営力	経営戦略
	マーケティング
	財務会計
	組織管理
	グローバリゼーション
	経営哲学
シンキング・思考力	論理力
	創造力
	計画力
目的別	ビジュアルデザイン
	業種・業界知識
	ビジネス教養

ビジネス遂行にあたって、すべてのビジネスパーソンが理解すべき経営基礎力を身につけることができるコース群です。

- ●マネジメントの各スキルを支える経営思想関連コース
- ●顧客の環境変化や顧客との協創を考え、ビジネスアイデアを創造する戦略・マーケティング関連コース
- ●売上、費用といったカネによる経営分析を確かなものとする、アカウンティング・ファイナンス関連コース
- ●論理的に問題解決に取り組むための論理力・創造力関連コース
- ●視覚に訴えるビジュアルデザインや、知っておきたいビジネス教養など多様な目的にこたえるコース

業務遂行力（社会人基礎力）

前に踏み出す力	主体性
	働きかけ力
	実行力
考え抜く力	課題発見力
	計画力
	創造力
チームで働く力	発信力
	傾聴力
	柔軟性
	情況把握力
	規律性
	ストレスコントロール力

日々の業務遂行能力を磨くためのスキルを身につけることができるコース群です。
経済産業省が提唱する社会人基礎力である3つの能力（12の能力要素）でスキルアップを計画することができます。

- ●リーダーシップやチームビルディングなど「前に踏み出す力」に関連するコース
- ●疑問を持ち問題を構造化して考えるマインドと技法など「考え抜く力」に関連するコース
- ●コーチングなどの指導法やコミュニケーションに欠かせない他者理解と自己理解など「チームで働く力」に関連するコース

ビジネス
経営力
思考力/考え抜く力
チームで働く力
前に踏み出す力
目的別（コンプライアンス/業種・業界/ビジネス教養）

経営力

会社の戦略を遂行し、チームを成功に導くマネジメントスキルの基礎（戦略、マーケティング、財務、会計、マネジメントマインドセット、洞察力など）が修得できます。

経営力

戦略（ビジネスモデル）

レベル1	レベル2	レベル3
PDU HSE141 eラーニング (PDU)ビジネスモデル思考 音声有・説明文なし | 12.2時間	PDU HSV277 オンライン (PDU) 経営戦略の基本と最新動向 −イノベーション実現のために− グループ演習 | 1日間	

マーケティング

レベル1	レベル2	レベル3
	PDU HSV303 オンライン (PDU)顧客価値を解き明かす マーケティングリサーチ 最新技法 グループ演習 | 1日間	Renewal PDU HSV286 オンライン (PDU)サービス視点の マーケティング戦略 −顧客と共に創る価値− グループ演習 | 2日間

アカウンティング

レベル1	レベル2	レベル3
HSE146 eラーニング WHYで学ぶアカウンティング （基礎知識編） 音声なし・説明文有 | 8時間	HSV304 オンライン 財務分析と 戦略的意思決定力を高める アカウンティング グループ演習 | 1日間	

グローバリゼーション

レベル1	レベル2	レベル3
PDU HSV305 オンライン (PDU)契約基礎−今こそ押さえて おきたい!エンジニアと営業のための 日文・英文契約書の見方・ポイント− グループ演習 | 2日間		

組織管理

レベル1	レベル2	レベル3
New HSJ287 集合 ナレッジマネジメント概説 −属人化を防ぎ 業務効率を向上させる− グループ演習 | 1日間		

レベル1 ：学びの型を忠実に守り繰り返す段階を表します
レベル2 ：学びの基本に自分なりの要素を加え、創造性を養う段階を表します　参考：技師、主任
レベル3 ：学びの形にとらわれない自由な境地に至り、独創性を追求する段階を表します　参考：月俸者

eラーニング / コースコード HSE141

<eラーニング> (PDU)ビジネスモデル思考 PDU

12.2時間

起業や社内ベンチャーのビジネスプランの策定、そして、ステークホルダーに向けた企業の統合報告でもビジネスモデル（BM）の重要性が高まっています。
このコースでは、ビジネスモデルの定義、戦略との関係、講師が提唱する「ビジネスモデルマッピング法」、ビジネスモデルのパターン、イノベーティブなビジネスモデルの創出法など、ビジネスモデルマネジメントの全容を学習します。また「IoT（モノのインターネット）」の活用や、「モノからコトへ」に象徴されるサービスドミナントロジックを取込んだビジネスモデルイノベーションも取り上げます。
このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：9.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- ビジネスモデルと事業戦略との関係を説明できる。
- ビジネスモデル・マッピング法を理解し、ビジネスモデルの分析、構想、設計にある程度活用することができる。
- 代表的なビジネスモデルのパターンを理解し、ビジネスモデルの改良・革新に当たり参照することができる。
- 重要テーマであるIoT、サービス・ドミナント・ロジック、ビジネス・エコシステムなどの概略を理解し、イノベーティブなビジネスモデルの構想に応用することができる。

対象者 ビジネスパーソン全般（若手〜経営者）。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. オリエンテーション「ビジネスモデル思考」を持とう!（ビジネスモデルの見える化からIoTによる革新まで）
2. ビジネスモデルの定義と見える化（ビジネスモデルの定義、戦略との関係、見える化技法の概説）
3. ビジネスモデル・マッピング法を使ったビジネスモデルの見える化（BM-Tree、BM-Map他フレームワーク）
4. ビジネスモデルの各種パターンとロジスチックス革新のビジネスモデルパターン（代表的なビジネスモデル・パターンとSPAの特長）
5. ICT（情報通信技術）が加速するビジネスモデルパターン（フリー、ロングテール、シェア等の特長とケース）
6. IoTを活用してイノベーティブなビジネスモデルを創造する（IoT概説、ビジネス・エコシステム、価値星座）
7. ビジネスモデルのイノベーションに有効な考え方と技法（ベンチマーク、水平思考、サービス・ドミナント・ロジック）

受講料 ¥33,000

オンライン / コースコード HSV277

(PDU)経営戦略の基本と最新動向 −イノベーション実現のために− 【バーチャル・クラスルーム】 PDU

グループ演習 1日間

ポジショニングやリソースベーストビュー等の事業・企業戦略論をしっかりと腹落ちして自らの事業に適用できるようになるまで理解します。
イノベーションやサービスビジネス創造のための実践的な知的基盤を形成できます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 事業戦略の理論について理解し、自らの事業に適用できる。
- ITビジネスの戦略として押さえるべき最新動向について理解し、自らの事業に適用できる。

対象者 技師・主任クラス以上の方（目安）。事業戦略や企業戦略、あるいはイノベーションやビジネス創造について主体的に取り組む意思のある方。

前提知識 特に必要としませんが、ロジカルシンキング等ビジネス系コンセプチュアルスキルを一通り踏まえていることが望ましい。

内 容
1. 事業戦略、企業戦略とは
   (1)事業における戦略とは
   (2)戦略論の系譜
   (3)自事業にとっての意味合い
2. 戦略の最新動向
   (1)ITビジネス戦略の最新動向
   (2)その他の注目すべき動向
   (3)自事業にとっての意味合い
3. ケーススタディ
   (1)グループ討議
   (2)全体討議
4. まとめ

受講料 ¥55,000

オンライン / コースコード HSV303

(PDU)顧客価値を解き明かす マーケティングリサーチ最新技法 【バーチャル・クラスルーム】 PDU

グループ演習 1日間

言語化が難しい、顧客のインサイトを、定性的・定量的リサーチを駆使して掌握します。特にデジタル領域のマーケターが駆使している技法を中心に、BtoBビジネスへの適用を想定しながら修得します。
このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 顧客にとっての真の価値を探るためのリサーチのポイントを修得する。
- 社会の変化と顧客の行動や心理の複雑化に対応した、マーケティングの最新技法が使えるようになる。

対象者 顧客の本質的理解のためのリサーチを知りたい主任職以上（目安）の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. マーケティングリサーチの基本
2. 市場・顧客を理解する
3. 調査手法の基本
4. 顧客課題の調査・分析
5. 顧客体験の調査・分析
6. プロモーションにおける調査・分析

受講料 ¥52,800

オンライン / コースコード HSV286 Renewal

(PDU)サービス視点のマーケティング戦略 −顧客と共に創る価値− 【バーチャル・クラスルーム】 PDU

グループ演習 2日間

日立が考える社会課題の解決やイノベーション事業の創出には、顧客とともに価値を共創することが欠かせません。
モノづくりを含めたすべての経済活動をサービスとして捉える「サービスドミナントロジック（S-DL）」をベースにマーケティングを考えることにより、顧客価値協創を実現します。
顧客ニーズを理解し、競争優位を築くためのマーケティング理論を武器に、実践的なマーケティングスキルを修得しましょう。
このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- サービス・ドミナント・ロジック（S-DL）に基づき、顧客との価値協創を実現するマーケティング戦略策定スキルを身につけ実践できる。
- 顧客ビジネスを俯瞰的に考察するための分析方法と思考法を身につけ実践できる。
- 最新マーケティング理論やツールについて理解できる。

対象者 中堅-技師・主任クラス（目安）の方。

前提知識 特に必要としませんが、マーケティングについての基礎的な知識があることが望ましい。

内 容
1. 顧客提案におけるマーケティングの役割
2. 顧客ビジネスを俯瞰的に考察する視点
3. サービス・ドミナント・ロジックによる顧客価値の設計
4. イノベーションとマーケティング
5. DXによるソリューション
6. 実在企業に対するマーケティング提案演習

受講料 ¥147,400

eラーニング / コースコード HSE146

<eラーニング> WHYで学ぶアカウンティング （基礎知識編）

8時間

「なぜ（Why）」の問いかけを通じて、アカウンティングの必要性を理解しながら、財務諸表を読み解くための基礎知識を学習します。

到達目標
- 財務諸表に必要な基礎知識を理解できる。
- 財務諸表の諸数値の意味を理解できる。

対象者 財務の視点をお持ちになりたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. なぜアカウンティングか
2. なぜ財務三表か　B/S、P/L、CF
3. B/S - 資産、負債、純資産の意味と構造
4. P/L - 売上、費用、利益の意味と構造
5. CF - キャッシュフローの意味と構造
6. キャッシュフロー経営
7. 管理会計 - 固定費、変動費、損益分岐点
8. 修了試験

受講料 ¥24,200

オンライン / コースコード HSV304

財務分析と戦略的意思決定力を高める アカウンティング 【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 1日間

アカウンティングは、企業や組織のお金の管理や経営状況を把握するための知識です。
財務諸表やデータを分析すると、企業がどれくらいお金を稼いでいるのか／使っているのかがわかり、将来のビジネス展開や投資のリスクを評価することができます。また、企業の信頼性や透明性を高めるためにも役立ちます。このコースでは、自社や有名企業の財務諸表を見て、会社の経営状況を考察するスキルを身につけることができます。将来のビジネス展開や収益性を見極めるための視点を養い、財務諸表の変化がビジネスに与える影響を実感しましょう。
ビジネスの成功や、個人のお金の管理に役立つスキルを身につけてみませんか。

到達目標
- 自社もしくは有名会社のP／L、B／S、CFを読めるようになる。そこから会社の経営状況が考察できるようになる。
- 今後どんなビジネスをやれば生き残れるのか、儲かるのか、にアンテナが立てられるようになる。
- 財務諸表を見て、どのようなビジネス展開をすると、財務諸表にどのように変化が起きるか、を体感する。

対象者
- ファイナンス／アカウンティングについてレベル1のコースを受講したことがある、もしくは、財務三表を読むことができる方。
- 技師・主任レベルをめざしており、今後管理職レベルもめざしていきたいと考えている方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. アカウンティングとは
   (1)アカウンティングを学ぶに必要な基礎知識
2. 有名な会社の財務データを見てみよう
   (1)身近なBtoC企業の財務三表の読み解き
   (2)財務三表を見る際のポイント
3. ステークホルダーが変わると財務三表はどう見えるか?
   (1)ステークホルダーの立場による財務三表の見え方、見るポイントの変化
   (2)BtoB企業の財務三表の読み解き（BtoC企業との違いや国際会計基準、企業の経営方針の違い）

受講料 ¥83,160

コースの詳細（開催時間や注意事項など）・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

ビジネス
経営力
思考力／考え抜く力
チームで働く力
前に踏み出す力
目的別（コンプライアンス／業種・業界／ビジネス教養）

思考力／考え抜く力

自らが問題提起を行い、解決のためのシナリオを描ける思考力（課題発見力、計画力、創造力）が修得できます。

思考力／考え抜く力

論理力

レベル1	レベル2	レベル3
HSV269 オンライン ロジカルシンキング基礎 −論理の可視化と論理チェックのポイント− グループ演習 | 2日間	HSV270 オンライン 仮説構築のマインドと技法 −深い洞察を得るために− グループ演習 | 1日間	
HSV245 オンライン 問題解決入門 −クリティカルマインドを発揮し、正しくプロセスをまわす− レクチャ | 1日間	HSV223 オンライン システムシンキング基礎 −問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する− グループ演習 | 1日間	
HSE133 eラーニング 視座を高める システムシンキング 音声なし 説明文有 | 6.5時間		

創造力

レベル1	レベル2	レベル3
Renewal HSJ285 集合 イノベーティブ思考基礎 −生成AIを活用した事業創出プロセス体験− グループ演習 | 2日間 または Renewal HSV285 オンライン イノベーティブ思考基礎 −生成AIを活用した事業創出プロセス体験− グループ演習 | 2日間	HSV275 オンライン 新・発想力を高める ラテラルシンキング（TM） グループ演習 | 2日間	

計画力

レベル1	レベル2	レベル3
HSV273 オンライン 新・仕事に振り回されないための5ステップ仕事整理術 −GTD®：Getting Things Done®− グループ演習 | 2日間 ↓ HSJ270 集合 5ステップ仕事整理術 復習・定着セッション −GTD®：Getting Things Done®− レクチャ | 0.5日間		

レベル1 ：学びの型を忠実に守り繰り返す段階を表します
レベル2 ：学びの基本に自分なりの要素を加え、創造性を養う段階を表します　参考：技師、主任
レベル3 ：学びの形にとらわれない自由な境地に至り、独創性を追求する段階を表します　参考：月俸者

ビジネス
経営力
思考力／考え抜く力
チームで働く力
前に踏み出す力
目的別（コンプライアンス／業種・業界／ビジネス教養）

オンライン　コースコード HSV305

（PDU）契約基礎−今こそ押さえておきたい！エンジニアと営業のための日文・英文契約書の見方・ポイント−【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 2日間

日本・海外（英文）を比較しながら、契約の基本や、契約書の見方・読み方、押さえるポイントを学びます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 商取引・契約とはなにかを知る。
- 契約にどのような種類があるかを知る。
- 契約書の基本構成を知る（日本国内、英文契約）。
- 契約書の注意点がある程度わかる。

対象者
- 原則、社会人経験2年以上で、契約を交わすような案件に関わる技術職、営業職、戦略企画職、事務職、担当・マネージャーの方。
- 契約の基本を体系的に学びたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 概論：取引と契約
2. 概論：契約の種類
3. 契約書の基本（日本）
4. 海外取引
5. 契約書の基本（英文）
6. トラブル予防

受講料 ¥134,200

集合　コースコード HSJ287　New

ナレッジマネジメント概説−属人化を防ぎ業務効率を向上させる−

グループ演習 1日間

属人化している「暗黙知」を「形式知」に変え、組織で共有することの重要性と方法論を学習します。また、ナレッジマネジメントの一連のプロセスを理解することで、継続的に組織のナレッジを維持および管理することができるようになります。

到達目標
- 知識（ナレッジ）を共有することの重要性を理解できる。
- 知識（ナレッジ）を共有する方法を演習を通じて理解できる。

対象者
- 初めてナレッジマネジメントについて学習する方。
- 自部署の暗黙知を形式知化したい方。
- 業務ノウハウが属人化してお困りの方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ナレッジマネジメントとは
   （1）SECIモデル
   （2）ナレッジマネジメントツール
2. 暗黙知の形式知化
   （1）ケーススタディ

受講料 ¥56,100

オンライン / コースコード HSV269

グループ演習 2日間

ロジカルシンキング基礎 −論理の可視化と論理チェックのポイント− 【バーチャル・クラスルーム】

問題を解決する際や、相手の納得を得られるために伝える際に必要となる、論理的思考の標準的なプロセスと構成を学習します。日々の業務での出来事・経験と自己の成長と結び付けながら思考技術を学習します。

到達目標
- 論理展開の基本が理解できる。
- 論理的問題解決のプロセスを理解できる。
- 本当にそれは問題か、本当にそれは真の原因か、本当にそれは最もよい解決策か、本当にその解決策は実行して成果を生むかをクリティカルマインドを持って確認できる。

対象者
- 問題解決の標準的な進め方を身につけたい方。
- うまく相手に伝えられないと感じている方。
- 仕事のやり方を概念的に見つめ直したい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. オリエンテーション
2. 論理的思考の基礎知識
3. 論理構成の可視化
4. 問題解決プロセスへの論理思考の適用

受講料 ¥78,100

オンライン / コースコード HSV245

レクチャ 1日間

問題解決入門−クリティカルマインドを発揮し、正しくプロセスをまわす− 【バーチャル・クラスルーム】

ビジネスシーンにおける問題は複雑で、不適切な解決策に無駄な時間と労力をとられることも多々あります。問題解決の精度をあげるためには正しい考え方、プロセスを理解し、結果を評価しながらPDCAサイクルを回していくことが重要です。このコースでは問題解決の一連の流れを一通り体験し、スキルアップへ向けてどのような能力開発を行う必要があるかを体感していただきます。

到達目標
- 問題解決の正しい考え方、プロセスを理解できる。
- PDCAサイクルを回すため、結果の評価の仕方を理解できる。
- 問題解決力を向上させるために開発すべき能力がわかる。

対象者 問題解決の一連の流れを一通り体験し、今後のスキルアップへ向けてどのような能力開発を行う必要があるかを体感したい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 問題解決とは
2. 思考法の概要
3. PDCAサイクルを回す
4. クリティカルマインド
5. 今後に向けて

受講料 ¥58,300

eラーニング / コースコード HSE133

eラーニング 6.5時間

<eラーニング> 視座を高めるシステムシンキング

システムとは、ITシステムではなく、より広い「系」を指します。システム思考とは、社会・企業・人間集団を構成する要素の相互作用を捉え、問題の根源を見つけるミクロな視点と、その問題の根源に手を加えることによる「系」全体の変化のマクロな視点の両方を持ちながら問題解決にあたる考え方です。このコースでは、システムを可視化する方法として因果ループ図・欲求連鎖分析の基本知識を学習します。また、これらの方法を使って以下のようなサイズのシステムの問題解決に有効であることを学習します。
- 全員が本心を隠しながら働くチームのもやもや
- 部門の目標に集中すると会社としての共通目標から遠ざかるセクショナリズム
- BtoCの単純な形から、BtoBtoCやBtoCtoCなどへ変化するエコシステム

到達目標
- 行動変容方針に活かすために、他者の動機/行動を因果ループ図（強化ループ）で描く意義が理解できる。
- 全体最適方針に活かすために、自社の部門をまたぐ課題を表現する因果ループ図の描き方が理解できる。
- 業界の協創に向けたビジネスのエコシステムを欲求連鎖分析図で考えられる。

対象者 相互の関連する要因から成る問題の現状把握をしたい方。例えば、部下/後輩の行動に悩みがある、部門横断的に生産性の全体最適を考える必要がある、顧客/競合と共に協創するエコシステムを考える必要がある方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。（20年度まで開講しておりました「ロジカルシンキング基礎」をご受講の方は同等とみなします）　行動科学、TOCの基礎知識を持っていると望ましい。

内　容
1. システムシンキングに役立つ手法
   （1）システムシンキングとは
   （2）因果ループ図
   （3）バリューグラフ
   （4）欲求連鎖分析図
2. さまざまなシステムを描き考える
   （1）個人の行動と動機
   （2）チームのコミュニケーション
   （3）社内の利害関係　（4）手段と価値
   （5）ビジネスシステム　（6）ビジネスモデル
   （7）社会課題

受講料 ¥22,000

オンライン / コースコード HSV270

グループ演習 1日間

仮説構築のマインドと技法 −深い洞察を得るために− 【バーチャル・クラスルーム】

すでにある事実から、帰納・演繹の思考体系を用い、仮説を構造化する考え方を学習します。

到達目標
- 得られている事実から仮説を構造化できる。
- 仮説構築と調査検証を繰り返し、深い洞察ができる。

対象者
- 仮説構築の考え方を身につけ、ビジネスデータの利用につなげたい方。
- 「ロジカルシンキング基礎−論理の可視化と論理チェックのポイント−」コースを修了した若年層〜主任層の方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 仮説構築のための情報収集前の思考
2. 情報収集結果から仮説構築する思考
3. 仮説を検証するための検証計画を立てる際の思考
4. 二次調査のソース

受講料 ¥74,800

オンライン / コースコード HSV223

グループ演習 1日間

システムシンキング基礎−問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する−【バーチャル・クラスルーム】

システムとは、ITシステムではなく、より広い「系」を指します。システム思考とは、社会・企業・人間集団を構成する要素の相互作用を捉え、問題の根源を見つけるミクロな視点と、その問題の根源に手を加えることによる「系」全体の変化のマクロな視点の両方を持ちながら問題解決にあたる考え方です。このコースでは、eラーニングで学習したシステム思考の知識をもとに、実際の業務でどのように活用していけばよいか、演習を通して活用のヒントを学習します。

到達目標
- 他者の動機/行動について因果ループ図（強化ループ）が描け、行動変容方針に活かせる。
- 自社の部門をまたぐ課題を因果ループ図で描け、全体最適方針に活かせる。
- ビジネスのエコシステムを欲求連鎖分析図で描け、業界の協創を思い描ける。

対象者 相互の関連する要因から成る問題の現状把握をしたい方、例えば、部下/後輩の行動に悩みがある、部門横断的に生産性の全体最適を考える必要がある、顧客・競合と共に協創するエコシステムを考える必要がある方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎」eラーニングコース および「視座を高めるシステムシンキング」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。（20年度まで開講しておりました「ロジカルシンキング基礎」をご受講の方は同等とみなします）

内　容
1. システムシンキング基礎知識の振り返り
2. 行動をシステムとして捉える
3. 部門の利害をシステムで捉える
4. ビジネスの構造をシステムとして捉える
5. 付録 さまざまなシステム例
6. そして実務へ

受講料 ¥71,500

オンライン / コースコード HSV285 Renewal

グループ演習 2日間

イノベーティブ思考基礎 −生成AIを活用した事業創出プロセス体験− 【バーチャル・クラスルーム】

マクロ環境の分析から問題定義、サービスアイディアの創出、価値検討、ビジネスモデルの評価といった事業創出の一連のプロセスを学習します。各プロセスにおいて、システム思考・デザイン思考といったイノベーティブな問題解決を進めるための思考法と、生成AIを使って事業創出を体感します。
【以下、必ずお読みください】
本研修では一部の演習で「ChatGPT」を使用します。
※「ChatGPT」の利用については、受講者ご自身の所属する組織の情報セキュリティルールをご確認のうえご準備ください。
※事前にご自身のPCで「ChatGPT」への入力操作ができることをご確認ください。

到達目標
- 事業創出の一連のプロセスを理解できる。
- 仮定義された問題に対して、「なぜそれが問題なのか」を掘り下げて捉えられる。
- 「イテレーティブなアプローチ」および「自分の思考の枠を超えたイノベーティブな発想」ができる。

対象者
- 職種、年齢層を問わず、自組織や自分自身がイノベーティブでないと思い込んでいる方。
- 自社や自チームをイノベーティブな風土にしていく最初の一歩のきっかけをつかみたい方。

前提知識 論理的思考の基礎知識があること。

内　容
1. イノベーティブ思考に必要な基礎知識
2. マクロ環境の分析
3. サービスアイディアの創出
4. 価値検討（Value Chain）
5. ビジネスモデルの評価
6. プロトタイピング

受講料 ¥110,000

集合 / コースコード HSJ270

レクチャ 0.5日間

5ステップ仕事整理術復習・定着セッション −GTD®：Getting Things Done®

「新・仕事に振り回されないための5ステップ仕事整理術 -GTD®：Getting Things Done®-」で学んだことを一度復習して正しい理解をし直します。GTD研修で学んだことを現場で実践してみた時に生じる疑問やハードルを公認トレーナーが質疑応答で解消します。

到達目標
- GTD®の5つのステップが復習でき、全体像が説明できる。
- GTD®の流れに沿ったレビューを実践し、あらためて手元を整理することができる。
- 実践の中で浮かんだ疑問が解消されて、仕事整理術を自分なりに改善することができる。

対象者
- 「新・仕事に振り回されないための5ステップ仕事整理術−GTD®：Getting Things Done®−」コースを過去に受講したことがある方。特に、最近受講してやってみてはいるが、実践する中で、疑問もあり解消したい方。
- まとまって自分の現状を整理する時間がとりたい方。
- 過去に受講はしたものの、最近また仕事が上手く整理出来ず学び直したい方。

前提知識 「新・仕事に振り回されないための5ステップ仕事整理術−GTD®：Getting Things Done®−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. オリエンテーションと目的・概要の説明
2. 自己紹介と事前課題をもとにGTD®実践状況・解消したい疑問などの共有
3. 全体で「週次レビューの流れ」に沿ってGTD®でレビュー実践・パートごとでQ&A
4. 本日やれたこと・気づいたことの共有
5. 全体で聞き逃したことなど追加の質疑応答とまとめ

受講料 ¥48,400

集合 / コースコード HSJ285 Renewal

グループ演習 2日間

イノベーティブ思考基礎 −生成AIを活用した事業創出プロセス体験−

マクロ環境の分析から問題定義、サービスアイディアの創出、価値検討、ビジネスモデルの評価といった事業創出の一連のプロセスを学習します。各プロセスにおいて、システム思考・デザイン思考といったイノベーティブな問題解決を進めるための思考法と、生成AIを使って事業創出を体感します。
【以下、必ずお読みください】
本研修では一部の演習で「ChatGPT」を使用します。
※「ChatGPT」の利用については、受講者ご自身の所属する組織の情報セキュリティルールをご確認のうえご準備ください。
※事前にご自身のPCで「ChatGPT」への入力操作ができることをご確認ください。

到達目標
- 事業創出の一連のプロセスを理解できる。
- 仮定義された問題に対して、「なぜそれが問題なのか」を掘り下げて捉えられる。
- 「イテレーティブなアプローチ」および「自分の思考の枠を超えたイノベーティブな発想」ができる。

対象者
- 職種、年齢層を問わず、自組織や自分自身がイノベーティブでないと思い込んでいる方。
- 自社や自チームをイノベーティブな風土にしていく最初の一歩のきっかけをつかみたい方。

前提知識 論理的思考の基礎知識があること。

内　容
1. イノベーティブ思考に必要な基礎知識
2. マクロ環境の分析
3. サービスアイディアの創出
4. 価値検討（Value Chain）
5. ビジネスモデルの評価
6. プロトタイピング

受講料 ¥110,000

オンライン / コースコード HSV275

グループ演習 2日間

新・発想力を高めるラテラルシンキング（TM）【バーチャル・クラスルーム】

ビジネスにおいて論理的思考法は重要ですが「合理の枠を越えての発想ができない」という弱点があります。思い切った対策、斬新な方法が必要とされる場面で、単なる思いつきやひらめきではない新しいアイデアを案出したいときには「ラテラルシンキング（水平思考）」が有効です。目的と成果を意識しながらも「枠を超えていく思考法」、その考え方と使い方を個人演習、グループ演習を通じて身につけます。

到達目標
- 感覚や思い付きだけでなく多様な角度から検討し、いくつもの解決アイデアを創出することができる。
- たくさん創出したアイデアの中から、有効なアイデアを絞り込むことができる。
- 問題解決のための施策検討を、他者を巻き込みながらシステマチックに進め、チーム全体で既存の枠にとらわれない多様なアイデアを創出することができる。

対象者 全職種を対象にしておりますが、次のような方に特にお薦めします。
- 職場ブレストなどで、代わり映えのしないアイデアしか思いつけないとお悩みの方。
- 既存の枠から離れて考えるのが苦手で発想力に自信が持てない方。
- 論理思考には自信があるが逆に論理にとらわれがちで、柔らかい発想に苦手意識をお持ちの方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ラテラルシンキング：ツール
   （1）【代替案・コンセプト抽出】最初のアイデアを活かして、複数のアイデアを生みだす手法
2. ラテラルシンキング：【集点の再定義・洗練】アイデアを出すためのテーマ設定の工夫/テーマを見直しのための手法
3. ラテラルシンキング：ツール
   （2）【チャレンジ】既存の（目に見える）モノ・価値観や見方を疑ってみる/“省く”という創造性
4. ラテラルシンキング：ツール
   （3）【ランダム入力】関係のなさそうなヒントから、突飛なアイデアを生み出す手法
5. グループ演習1「通勤電車を快適にする」
6. グループ演習2「過疎化した町を活性化する」
7. グループ演習3「職場の働き方改革を推進する」

受講料 ¥150,700

オンライン / コースコード HSV273

グループ演習 2日間

新・仕事に振り回されないための5ステップ仕事整理術 −GTD®：Getting Things Done®− 【バーチャル・クラスルーム】

上司や他者からの飛び込み業務（緊急依頼業務）に忙殺され、自分で決めた仕事が後回し、頭も体もフル回転、おまけにストレスがたまり続ける毎日。そんな仕事に振り回される日々から脱し、本当に「やりたいこと」「やるべきこと」に専念できるようになるための「仕事整理の方法」を理解します。

到達目標
- 仕事や生活で気になっていることが整理でき、まず次に何をすべきか具体的な行動を明確にできる。
- 「やらなければいけない」とは思いつつ、手が付けられずにいた事に着手できる。
- 「あれもこれも」と煽りされるストレスから解放され、集中してものごとに取り組むことができる。

対象者 全職種を対象にしておりますが、次のような方に特にお薦めします。
- 上司や他者からの飛び込み業務（緊急依頼業務）に忙殺され、自分で決めた仕事が後回しになり残業が多い方。
- 「やるべきこと」や「気になること」が次々と頭に浮かんできて、目の前のことに集中できない方。
- 「ルーティンワーク」よりも「考える仕事」が多いが、じっくり考える時間が取れない方。
- 本当は人に仕事を依頼したいが、結局自分で抱え込んでしまいがちな方。
- 社会人経験5年目程度から主任相当職ぐらいまでの、比較的若手層の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. GTD®-の考え方・GTD®-の基本５ステップ：「把握する」⇒「見極める」⇒「整理する」⇒「更新する」⇒「選択する」
2. 生産性を阻害する要因の対処／ナチュラルプランニングモデル／プロジェクトのモレをなくす

受講料 ¥181,500

チームで働く力

多様な人々と共に、目標達成に向け協力するために必要なスキル（発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力）が修得できます。

チームで働く力

発信力(Face to Face)

レベル1	レベル2	レベル3
HSE148 eラーニング アサーティブ・コミュニケーション −発展的・協調的な自己主張− 音声有＋説明文有 | 2時間	PDU HSV251 オンライン (PDU)アサーティブ・コミュニケーション−職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上− グループ演習 | 1日間	PDU HSV314 オンライン (PDU)アサーティブ・マネジメント−建設的コミュニケーションによる部下指導− グループ演習 | 2日間
HSV126 オンライン 報連相のための ビジネスコミュニケーション基礎 グループ演習 | 1日間		
HSE142 eラーニング 3時間でわかる ロジカルコミュニケーション 報・連・相を徹底演習！ 音声有＋説明文有 | 3時間		

発信力（文書）

レベル1	レベル2	レベル3
HSV315 オンライン ロジカルライティング −読み手が納得・行動する文書を作成する− グループ演習 | 1日間 ＋ 事前学習(eラーニング) 3時間	PDU HSV233 オンライン (PDU)ストラクチャード・コミュニケーション−会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える− グループ演習 | 0.5日間 ＋ 事前学習(eラーニング) 2時間	
HSE715 eラーニング ビジネスライティング −ケース別演習で身につく！読み手に伝わる文書作成− 音声なし＋説明文有 | 8時間	セールス/フロント PDU HSV290 オンライン (PDU) 高評価をねらえる提案書作成 −顕在・潜在ニーズに訴求する− グループ演習 | 0.5日間 ＋ 事前学習(eラーニング) 2時間	

発信力(プレゼンテーション)

レベル1	レベル2	レベル3
HSV230 オンライン ロジカルプレゼンテーション基礎 グループ演習 | 1.5日間 ＋ 事前学習(eラーニング) 2時間	HSV266 オンライン プレゼンを生き生きさせるビジュアル化技法−相手を惹きつけるための資料作成− グループ演習 | 0.5日間 ＋ 事前学習(eラーニング) 2時間	HSE151 eラーニング ビジュアル化技法の基本 −魅力的なビジュアル資料を作る− 音声有＋説明文有 | 4時間
HSV318 オンライン 【少人数制】聴き手を惹き込むプレゼンテーション・デリバリー −心をつかむ表現を磨く− グループ演習 | 1.5日間	HSE138 eラーニング グラフィカルトレーニング −思考を図解で強化する− 音声なし＋説明文有 | 2時間	HSE153 eラーニング 【スキル定着】 ビジュアルデザイン 音声なし＋説明文有 | 4時間

レベル1 ：学びの型を忠実に守り繰り返す段階を表します
レベル2 ：学びの基本に自分なりの要素を加え、創造性を養う段階を表します　参考：技師、主任
レベル3 ：学びの形にとらわれない自由な境地に至り、独創性を追求する段階を表します　参考：月俸者

発信力（交渉）

レベル1	レベル2	レベル3
HSE143 eラーニング 協創を生みだす交渉 （基礎知識編） 音声有＋説明文有 | 4時間	PDU HSV264 オンライン (PDU)協創を生みだす交渉 （実践演習編） グループ演習 | 1.5日間	HSV185 オンライン 行動経済学を応用したパースエイション（説得）のスキルーハーバード流交渉学の真価を発揮するために− グループ演習 | 1日間
HSV145 オンライン 協創を生みだす交渉 （基礎演習編） グループ演習 | 1日間	Renewal PDU プロジェクトマネジメント PMV057 オンライン (PDU)プロジェクトを円滑に進めるための合意形成力強化トレーニング グループ演習 | 2日間	

傾聴力

レベル1	レベル2	レベル3
HSV257 オンライン 隠れたニーズとホンネを引き出す傾聴・質問力トレーニング グループ演習 | 2日間	HSE712 eラーニング 1on1面談のコツ −シチュエーション別マニュアルと1on1に役立つ生成AI活用法− 音声なし＋説明文有 | 3時間	Renewal PDU HSV284 オンライン (PDU) 部下のパフォーマンスを高める1on1面談とフィードバック グループ演習 | 1日間
HSE155 eラーニング コミュニケーション力を高めるリスニングスキル −傾聴&質問力で受信力を高める− 音声有＋説明文有 | 2時間	HSV268 オンライン コーチング基礎 −メンバーがコミットする目標設定編− グループ演習 | 1日間 ＋ 事前学習(eラーニング) 2時間 または HSJ268 集合 コーチング基礎 −メンバーがコミットする目標設定編− グループ演習 | 1日間 ＋ 事前学習(eラーニング) 2時間	PDU HSV239 オンライン (PDU)コーチング実践 −部下のやる気と成長を促す− グループ演習 | 1.5日間 (0.5日×3回)
	HSV263 オンライン コーチング基礎 −目標達成を促すフォローアップ・フィードバック編− グループ演習 | 1日間 ＋ 事前学習(eラーニング) 2時間 または HSJ263 集合 コーチング基礎 −目標達成を促すフォローアップ・フィードバック編− グループ演習 | 1日間 ＋ 事前学習(eラーニング) 2時間	
	HSE157 eラーニング コーチング基礎 −レクチャ編− 音声有＋説明文有 | 4時間	

柔軟性・情況把握力

レベル1	レベル2	レベル3
PDU HSV282 オンライン (PDU)自分を知り他者を知るコミュニケーションマネジメント −DiSCモデルによる− グループ演習 | 2日間		

ストレスコントロール力

レベル1	レベル2	レベル3
HSV218 オンライン 自己回復力を高めるストレスマネジメント −レジリエンスを育むために− グループ演習 | 1日間	HSV248 オンライン ピーク・パフォーマンス −集中力を上げ、仕事を主体的に捉え直す− レクチャ | 1日間	Renewal PDU HSV283 オンライン (PDU)リーダーのためのマインドフルネス−成果発揮へのセルフリーダーシップとマインドフル− グループ演習 | 1日間

音声有＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有＋説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

eラーニング　コースコード HSE148

<eラーニング>アサーティブ・コミュニケーション −発展的・協調的な自己主張−

2時間

アサーティブ・コミュニケーションとは、相手の立場や意見を尊重しながら自分の考えや気持ちを明快に伝えるコミュニケーションスタイルのことです。DE&I実現においても重要な、相互尊重のマインドに基づいたコミュニケーションのポイントを学習します。上司、同僚、部下、顧客、取引先、立場に関わらず、さまざまな相手にものをきちんと伝えるためのフレームワークを提供します。

到達目標
- アサーティブの考えを理解できる。
- 正しい自己主張が対人関係、仕事の生産性に与える重要性を認識できる。
- 自分の日頃の伝え方、聴き方を振り返り、課題を認識できる。

対象者
- コミュニケーション能力を高めたい方。
- 相手とよい関係を築きながら、自分の意見を率直に伝えたい方。
- 「依頼する」「NOと言う」「指摘する」など、言いづらいと感じることをうまく伝えたい方。
- 相手に何かを伝える際、時に言い方がきつくなってしまう方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. アサーティブとは - いまなぜアサーティブか
2. 現状確認 - それぞれの自己表現の特長から考えるレベルアップ
3. アサーティブの基本
4. アサーティブとそれ以外のスタイル（受身的、攻撃的）との違い
5. なぜ、アサーティブを身につけるのか
   （1）受身的、攻撃的すぎることの弊害
6. アサーティブな行動をとるために
   （1）依頼する、NOと言う、指摘する

受講料 ¥16,500

オンライン　コースコード HSV126

報連相のための ビジネスコミュニケーション基礎 【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 1日間

社会人として身につけたい報連相（報告・連絡・相談）の重要性を、グループによる論議やロールプレイを行うことで学習します。

到達目標
- 効率的な伝え方に必要なスキルを高められる。
- 報連相の重要なポイントをふまえ、質の高いアウトプットで仕事ができる。

対象者 新入社員、または若手社員の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 報連相の基本ポイント
   （1）なぜ報連相が必要なのか - PDCAサイクル
   （2）報連相とは
   （3）仕事における報連相のサイクル
   （4）報告
   （5）連絡
   （6）相談
2. コミュニケーションの基本とポイント
   （1）コミュニケーションとは何か
   （2）コミュニケーションの手段
   （3）職場で求められるコミュニケーション能力
   （4）仕事に対する基本姿勢
   （5）言語と非言語コミュニケーション
3. 話し方
   （1）ONEWAYでなくTWOWAYを心がける
   （2）話し方のポイント
   （3）話す技術
4. 聴き方
   （1）聴き方のポイント
   （2）聴く技術
   （3）良い聴き手となるために
   （4）質問

受講料 ¥33,000

eラーニング　コースコード HSE142

<eラーニング>3時間でわかる ロジカルコミュニケーション 報・連・相を徹底演習！

eラーニング 3時間

仕事では、さまざまな人とのコミュニケーションが発生します。経験が浅いうちは、上司や先輩の指導を受けながら仕事をすることが多いでしょうから、報告、連絡、相談が欠かせません。報連相を上手に行うようになるには、ロジカルシンキングの基本をおさえることが大切です。このコースではロジカルシンキングの基本を活かした報連相と、それらを応用したロジカルコミュニケーションまでを学びます。

到達目標
- ロジカルシンキングの基本を学び、仕事上のコミュニケーションに役立てることができるようになる。
- 情報を整理してまとめ、主旨をわかりやすく伝えることができるようになる。
- 「ホウレンソウ（報告・連絡・相談）」のポイントを学び、業務上のコミュニケーションを、円滑に要領よく行えるようになる。
- ロジカルコミュニケーションのスキルを使って、的確で簡潔な文書やEメールを書けるようになる。
- 文章作成のスキルを伸ばし、報告書や提案書、議事録の作成へつなげる。

対象者 新入社員、または若手社員の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 仕事脳は、ロジカルシンキングで
2. 「報告」の基本スキルを身につけよう
3. 「連絡」の基本スキルを身につけよう
4. 「相談」の基本スキルを身につけよう
5. ロジカルライティング技術を磨こう

受講料 ¥8,800

オンライン　コースコード HSV251

（PDU）アサーティブ・コミュニケーション −職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上−【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 1日間

自他尊重のマインドに基づいて、自分の考えや気持ちを明快に伝えるアサーティブコミュニケーションを学習します。また、自分と異なるコミュニケーションスタイルの後輩や上司・先輩、顧客への効果的なアプローチのポイントを紹介します。マイケースを用いて、伝えづらいことを建設的に伝えるための「アサーティブに伝える戦略」を検討し、職場での実行計画を作成します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- アサーティブの考えを理解し、自己主張が対人関係に与える重要性を説明できる。
- 相手のコミュニケーションスタイル（「Passive」「Agressive」「Assertive」）ごとの効果的なアプローチ方法を説明できる。
- 自分の日頃の伝え方、聞き方を認識し、課題を明確にできる。
- マイケースを用いて、「アサーティブに伝える戦略」を検討し、職場での実行計画を立てられる。

対象者
- コミュニケーション能力を高めたい方。
- 相手の年齢、立場に関わらず、建設的に意見を伝えたいとお考えの方。

前提知識 3年以上の業務経験があること（4年次以降が対象）。

内　容
1. アサーティブとは
   （1）なぜアサーティブが必要なのか
   （2）アサーティブ行動の意義
2. コミュニケーションの現状振り返り
   （1）アサーティブ傾向の理解
   （2）業務におけるコミュニケーションの振り返り
3. 自己表現のコミュニケーションスタイル
   （1）代表的な3つの自己表現
   （2）相手ごとの効果的なアプローチ方法
   （3）なぜ人はアサーティブになれないのか
   （4）自分の自己表現を考える
   （5）各自己表現への自分の関わりを振り返る
4. アサーティブ行動のために必要なこと
   （1）必要な考え方と対策
   （2）自己チェック
   （3）伝え方の流れとポイント
   （4）断り方の流れとポイント
5. 実践へ向けての改善
   （1）実践プラッシュアップ準備
6. まとめ
   （1）アサーティブ行動に向けて　（2）全体振り返り

受講料 ¥41,800

オンライン　コースコード HSV314

（PDU）アサーティブ・マネジメント −建設的コミュニケーションによる部下指導−【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 2日間

マネジメントの大切な役割であるチーム活性化や部下育成のために、自他尊重のマインドで建設的に意見を伝えるアサーティブについて学びます。
個々の成果を掛け合わせてチームの生産性を上げるためには、伝えにくいことを建設的に伝えるスキルをリーダー自身がリスキル・スキルアップするだけでなく、部下や後輩もステークホルダーに対してアサーティブなコミュニケーションを取れるよう指導する必要があります。
このコースでは、現場における具体的課題を想定した実践ロールプレイとフィードバックを行って実情に即したスキルアップにつなげます。
このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：10ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 人を動かす発展的かつ協調的な自己主張のアサーティブについて説明できる。
- チームの生産性を上げるために必要な真の“Diversity, Equity, & Inclusion”を理解する。
- 部下や後輩に対してより建設的なコミュニケーションを取ることができる。
- 部下や後輩に建設的な意見の伝え方を指導することができる。

対象者
- チームやメンバーの課題解決や目標達成に向け、伝えづらいことを建設的に伝えられるようになりたい方。
- 部下や後輩に対して建設的なコミュニケーションを取れるようになりたい方。
- 部下や後輩にも建設的な意見の伝え方を身につけさせたいとお考えの方。

前提知識 特に必要としませんが、このコースの前に「（PDU）アサーティブ・コミュニケーション」コースを受講すると研修効果が高まります。

内　容
1. はじめに
2. 多様性の尊重とアサーティブ
3. アサーティブの基本
4. アサーティブ・マネジメントの実践（1）- 周りを動かす - 影響力の行使
5. アサーティブ・マネジメントの実践（2）- 部下指導・育成 - チームの力最大化
6. 各自の実践につなげる
7. まとめ＆今後のアクション

受講料 ¥160,600

オンライン　コースコード HSV315

ロジカルライティング −読み手が納得・行動する文書を作成する−【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 1日間

・このコースは、基礎知識をeラーニング（3時間）にて学習いただき、研修当日（1日間）は演習中心に進めます。
・論理構造化の手法を使った論理的な文書作成方法をeラーニングで学びます。オンライン研修で、「自分の意見を説得力をもって伝え、読み手の意思決定・行動を引き出せる」文書作成のスキルを実習を通して身につけます。このコースは、Microsoft PowerPointとMicrosoft Wordを使ったワークがあります。オンライン研修に接続するデバイスで各ツールをご準備ください。

到達目標
- 文書の目的を整理し、自分の意見を説得力をもって伝えるための論理構成を考えられる。
- 論理構成をもとに、読み手を納得・行動させる論理的で分かりやすい文書を作成できる。

対象者 読み手を納得・行動させ、仕事を前に進められる、論理的な文書を作成したい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
【講義開始前のカリキュラム】eラーニング（標準学習時間：3時間）
1. “読み手が納得・行動する”文書とは
2. 準備をする
3. 文書を作成する
4. 推敲する
※バーチャル・クラスルームでは、eラーニングでの学習が完了していることを前提とします。
必ず学習を完了していただき、不明点はバーチャル・クラスルームの際に講師へご質問ください。
【講義のカリキュラム】
バーチャル・クラスルーム（グループ演習）：1日
1. イントロダクション
2. 準備をする（振り返り）
   （1）【演習1】事前課題のプラッシュアップ
   （2）【演習2】ピラミッドストラクチャのロジックチェック
3. 文書を作成する（振り返り）
   （1）【演習3】文書構成のレイアウト作成
4. 推敲する（振り返り）
   （1）【演習4】提案書の作成
   （2）【演習5】文書の相互添削
   （3）【演習6】添削結果のブラッシュアップ
5. まとめ

受講料 ¥70,400

eラーニング　コースコード HSE715

<eラーニング>ビジネスライティング −ケース別演習で身につく！ 読み手に伝わる文書作成−

eラーニング 8時間

読み手を意識したわかりやすい文章を作成するためのポイントや、メールや議事録、報告書の書き方を学びます。また、「上司・先輩への相談メール」など、日常的なケースでの文書作成を練習します。準備シートを用いて情報を整理し、メール文面の草案を生成することもできます（作成例あり）。

到達目標
- 読み手を意識したわかりやすい文章を作成できる。
- わかりやすいメール、議事録、報告書作成のポイントを説明できる。
- 情報や自分の思考を整理し、文書に落とし込むポイントを説明できる。

対象者
- ビジネス文書の基本を学びたい新入社員の方。
- ビジネス文書作成スキルを向上させたい担当クラスの方。
- 日頃の業務において、文章でコミュニケーションを取る機会の多い方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ビジネス文書とは
2. 文書作成サイクル
   （1）文書作成サイクル
   （2）文書作成前の準備
   （3）文書の作成
   （4）文書のレビュー
3. ビジネスシーンに応じた文書の書き方
   （1）メールの書き方（社外/社内）
   （2）議事録の書き方
   （3）報告書の書き方
4. ケース別：情報整理のポイント
   （1）情報整理のフレーム
   （2）【演習】業務上の不明点を相談するメール
   （3）【演習】作業の進め方の疑問点を質問するメール
   （4）【演習】タスクの進捗遅れを相談するメール
   （5）補足：言いづらいことを伝えるメールのポイント（期限を過ぎた依頼事項を催促する、相手の誤認識を指摘する）
5. まとめ

受講料 ¥18,700

オンライン　コースコード HSV233

（PDU）ストラクチャード・コミュニケーション −会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える−【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 0.5日間

・このコースは、基礎知識をeラーニング（2時間）にて学習いただき、研修当日（0.5日間）は演習中心に進めます。
・このコースでは、限られた時間の中で、できるだけ有効な情報を引き出し、整理し、考えを伝えることが求められる方が、相手とのコミュニケーションにおいて、情報を構造化し図で表現するために必要な知識を学びます。基本となる図解パターンを元に、考えを伝える演習や、聞く演習、また考えをまとめる演習を通じて、相手の課題を解決するための図解スキルを修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 自分の伝えたい情報を構造化し図に描きながら説明できる。
- 相手からヒヤリングした情報を構造化し図にまとめながら確認できる。
- 相手を巻き込み共に図を描きながら交渉を進められる。

対象者
- 相手とのやり取りを口頭だけで済ませず、イメージを明確に共有しつつコミュニケーションを進めたい方。
- お客さまをはじめ、社内関係者など業務上の関係者と交渉や調整をされる方。
- 部下・後輩（入社5年目まで）指導に当たられる方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
【事前学習：eラーニング（標準学習時間：2時間）】
1. ストラクチャード・コミュニケーションとは
2. 図解で伝える
   （1）代表的な情報の構造の基本パターン
   （2）情報の構造の図解表現を知る
   （3）自分の伝えたいことを図解で説明する
3. 図解で聴く
   （1）相手の発言を書き出す
4. 図解で考える
   （1）相手の考えを図解でまとめる
   （2）図解しやすいように質問を構造化する
   （3）情報を構造化してから文章にまとめる
【研修：0.5日】
1. オリエンテーション
2. 図解で伝える
   （1）【演習】自分の伝えたいことを図解で説明する
3. 図解で聴く
   （1）【演習】相手の発言を図解しながら聴く
4. 図解で考える
   （1）【演習】課題や解決策を図に描きながら考える
5. 振り返りとまとめ

受講料 ¥60,500

オンライン　コースコード HSV230

ロジカルプレゼンテーション基礎【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 1.5日間

・このコースは、基礎知識をeラーニング（2時間）にて学習いただき、研修当日（1.5日間）は演習中心に進めます。
・聞き手を納得・行動させるために必要なプレゼンテーションの構成や、効果的に伝えるデリバリー、資料のポイントを学びます。特に、説得力を持って分かりやすく伝えるためのストラクチャリングとストーリーデザインを中心に学びます。実際に「自部門における業務効率化や職場の改善」をテーマに発表し、フィードバックをもとに改善します。

到達目標
- プレゼンテーションの基本概念を理解できる。
- プレゼンテーションに不可欠な4種のスキル（ストラクチャリング、ストーリーデザイン、ビジュアライゼーション、デリバリー）のポイントを理解できる。
- プレゼンテーション準備のプロセスを理解できる。

対象者 プレゼンテーション能力を高めたい方。例えば、社内での改善提案/企画のプレゼンテーションを控えている、社外で顧客向けにプレゼンテーションをする機会がある、プレゼンテーションの学習を通して相手に分かりやすく伝え、素早く納得を得るスキルを磨きたい方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。（20年度まで開講しておりました「ロジカルシンキング基礎」をご受講の方は同等とみなします）

内　容
【事前学習：eラーニング（標準学習時間：2時間）】
1. プレゼンテーションの基礎知識
2. デリバリーのポイント
3. 定義分析フェーズのポイント
4. 論理構成のポイント
5. ストーリーを作るポイント
6. 資料作成のポイント
7. 【事前課題】論理構成作成

【研修　1日目（0.5日）】
1. オリエンテーション
2. 【演習】論理構成（事前課題）のプラッシュアップ
3. 【演習】ストーリーデザイン作成
【研修　2日目（1日）】
4. 【演習】発表資料作成
5. 【演習】リハーサル
6. 【演習】プレゼンテーション発表
7. 振り返りとまとめ

受講料 ¥93,500

オンライン　コースコード HSV318

【少人数制】聴き手を惹き込むプレゼンテーション・デリバリー −心をつかむ表現を磨く−【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 1.5日間

相手に信頼感を印象付けるヒューマンスキルの基本を学び、プレゼンテーションを通して自分の想いを聴き手に伝えるためのデリバリースキルを学習します。プレゼンテーション実習を通して、自分が伝えたいこと、自分の想いを聴き手に感じとってもらうためにはどのように話せばよいのか、話の構成から言葉の選び方・語調、アイコンタクト等の各種スキルをブラッシュアップします。聴き手に自分の想いを伝えるスキルを学びます。
学習効果を高めるため、カメラおよびPowerPointを使用できる環境でご受講ください。

到達目標
- 聴き手を惹きつけ信頼感を与える、話し方、立ち居振る舞い、構成、言葉の表現でプレゼンテーションができる。
- 質疑応答において、信頼感を高める対応ができる。
- 自身の戦略（聴き手に与えたい印象、魅せ方）に即した表現で、プレゼンテーションできる。

対象者
- 人前で話すことに対して、苦手意識がある方。
- プレゼンテーションの内容に自信はあっても、デリバリーに自信がない方。
- 会議や提案の場において、聴き手を飽きさせず惹きつける話し方を身につけたい方。
- 質疑応答を通して、信頼感を高めたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. プレゼンテーション とは
   （1）ビジネスプレゼンテーションの目的
   （2）聴き手に与える第一印象の重要性
   （3）良きプレゼンターの話し方
2. 聴き手を惹き込むデリバリースキル
   （1）姿勢、映り方、背景、身だしなみ、ジェスチャーの効果的な使い方
   （2）アイコンタクトと視線の配り方、オンラインならではのポイント
   （3）発音発声、滑舌練習、話のスピード、抑揚の付け方、間のとり方
   （4）話の構成
   （5）聴き手の分析
   （6）画面共有のポイント、オンラインならではの機能活用
   （7）質疑応答のポイント
3. プレゼンテーションの実践 Before
   （1）自己印象を客観的に知る
4. 弱点改善練習
5. プレゼンテーションの実践 After
   （1）聴き手を惹きつけるプレゼンテーションの実践
6. 研修のまとめ
   （1）今後に向けた自己目標設定

受講料 ¥108,900

オンライン　コースコード HSV266

プレゼンを生き生きさせるビジュアル化技法 −相手を惹きつけるための資料作成−【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 0.5日間

・このコースは、基礎知識をeラーニング（2時間）にて学習いただき、研修当日（0.5日間）は演習中心に進めます。
・ビジュアル化は、プレゼンテーションを成功させるための重要な技術の一つです。見やすく、訴求力の高い資料を作成するためのビジュアル化技法を、演習主体で実践、学習します。このコースでは実際にPowerPointスライドを編集します。PCなど、PowerPointを使用できる機器を必ずご用意ください。また、あらかじめお取り組み頂いた事前課題をご用意ください。

到達目標
- ビジュアル化技法とは何かを学び、それぞれの要素技術を説明することができる。
- 見やすい資料の作成ポイントを理解し、実践に活かすことができる。

対象者 ビジュアル化技法を学び、訴求力の高い資料を作成したい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
【講義開始前のカリキュラム】
eラーニング（標準学習時間：2時間）
1. デザインの基本
2. 図解のポイント
3. 色彩のポイント
4. レイアウトのポイント
5. ユニバーサルデザイン
6. スライドの訴求力を高めるためのポイント
※バーチャル・クラスルームでは、eラーニングでの学習が完了していることを前提とします。
必ず学習を完了していただき、不明点はバーチャル・クラスルームの際に講師へご質問ください。
【講義のカリキュラム】
バーチャル・クラスルーム（グループ演習）：0.5日
1. イントロダクション
2. 事前課題の振り返りとポイントの解説
3. ビジュアル化技法の実践
   （1）課題の説明
   （2）課題取り組み
4. 振り返りとフィードバック
5. クロージング

受講料 ¥44,000

eラーニング　コースコード HSE151

<eラーニング>ビジュアル化技法の基本 −魅力的なビジュアル資料を作る−

eラーニング 4時間

プレゼンテーションのビジュアル資料に不可欠なビジュアル要素として、図解、レイアウト、色彩、ユニバーサルデザインの基本を学習します。

到達目標 ビジュアル化技法とは何かを学び、それぞれの要素技術を説明することができる。

対象者
- ビジュアル化技法に関心のある方。
- 「プレゼンを生き生きさせるビジュアル化技法」をご受講される方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. レイアウトの基本
   （1）代表的なレイアウト
   （2）余白の効果
   （3）レイアウトを美しく見せるコツ
2. 図解の基本
   （1）図解のプロセス
   （2）読解力を養う
   （3）内容を整理する
3. 色彩の基本
   （1）色の構成
   （2）色の三属性
   （3）色の表現
4. ユニバーサルデザインの基本
   （1）ユニバーサルデザインとは
   （2）UDによる色の考え方
   （3）配色の工夫

受講料 ¥14,300

eラーニング / コースコード HSE138

<eラーニング> グラフィカルトレーニング −思考を図解で強化する−

eラーニング 2時間

情報の伝達は速く正確であることが求められます。情報の可視化は「考えや情報をうまく伝えられない」「伝わるまでに時間がかかる」という悩みを解決する技術の一つです。このコースでは、「思考を視覚化するヒント」「図解の基本的なパターン」「美しく分かりやすい図解を作るための基本セオリー」のポイントを中心として、整理され、伝わりやすい情報の可視化技法の基本手法を学習します。

到達目標
・文章や口頭の説明では伝えにくいような概念を、ダイレクトにイメージとして伝達するためのコツを理解できるようになる。
・自分なりの実践の仕方を身につける。

対象者
・資料（Webページや提案資料など）を作成するさまざまな場面で、言葉で表現すると伝わりにくい概念などを、ダイレクトに伝わるイメージを美しく、かつ一目で伝わるようにしたい方。
・基本となる知識を短時間で手軽に知りたい、または改めて整理したい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. オリエンテーション
2. 情報を可視化する意義
3. 情報を図で整理する基本
   (1)情報整理のコツ
   (2)演習：情報を整理する
4. 情報を図で表現する基本
   (1)図で可視化するための基本要素
   (2)要素を組み合わせた基本パターン
   (3)応用パターン
   (4)表とグラフ
   (5)演習：情報に最適な図を選ぶ
5. Officeアプリケーションを用いたグラフィック化
   (1)文字と数字
   (2)位置揃え
   (3)囲みと余白
   (4)表とグラフ
   (5)演習：Excelでグラフィックを活用する

受講料 ¥9,900

eラーニング / コースコード HSE153

<eラーニング>【スキル定着】 ビジュアルデザイン

eラーニング 4時間

提案などの場において、内容を伝達するのに資料を活用する機会は多いです。その資料がビジュアル化されていることで、よりわかりやすく迅速に、かつ誤解なく、相手に伝達することができます。このコースでは、ビジュアル化技法の問題に繰り返し取り組むことで、知識としてのビジュアル化技法からより実践的なポイントを押さえたビジュアル化技法を身につけます。

到達目標
・わかりやすいビジュアル資料の作成ポイントを踏まえ、自信を持って実践できる。
・実現したい効果を狙い、適切な方法でビジュアル資料を作成できる。
・他者の作成した資料も、具体的な効果とそれに到達するための方法を踏まえ、適切にレビューできる。

対象者
・ITエンジニア（若手・中堅）の方。
・提案などでビジュアル資料の作成が必要だが、これまでは我流で行ってきており、改めて効果的な資料作成ポイントを知りたい方。
・資料作成はひととおりできるが、それがわかりやすさという点で効果的なものであるか自信が持てない方。
・見やすい・わかりやすい資料を作成したいが、何をポイントにしたらよいかわからない方。

前提知識 ビジュアル化技法について、基本的な知識があること。

内 容
1. レイアウトドリル
2. 色彩ドリル
3. 図解ドリル
4. 表ドリル
5. グラフドリル

受講料 ¥14,300

eラーニング / コースコード HSE143

<eラーニング> 協創を生みだす交渉（基礎知識編）

eラーニング 4時間

ビジネスにおける交渉の位置づけや、交渉を合理的な合意に導くプロセスを、交渉研究によって培われた基礎理論に基づき学習します。

到達目標
・交渉相手との状況からどのようにミッション、ZOPA、BATNAを設定するかを理解できる。
・交渉相手と自分を取り巻く環境分析を行い図式化する必要性を理解できる。
・交渉で使われる心理テクニックやコンフリクトマネジメントのポイントを理解できる。

対象者 担当の方、または交渉の基礎知識を修得したい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. イントロダクション
2. 交渉とは
   (1)交渉の原則
   (2)交渉のタイプ
   (3)ロジカルシンキングと発想力
3. 交渉のプロセス
   (1)プロセス全体像
   (2)交渉準備
   (3)交渉の実施
   (4)合意後のアクション
4. 交渉の心理テクニック
5. コンフリクトマネジメント
6. まとめ

受講料 ¥13,200

オンライン / コースコード HSV145

協創を生みだす交渉（基礎演習編）【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 1日間

模擬交渉を通じて、交渉研究による基礎理論とロジカルシンキングを活用した基礎的な問題解決型交渉スキルを学びます。模擬交渉は1対1の社内交渉であり、協創を生みだした実例から開発したケースを用いて実施します。

到達目標
・交渉相手との状況からミッション、ZOPA、BATNAを設定できる。
・交渉相手と自分を取り巻く環境分析を行い図式化できる。
・比較的対立の少ない状況において、交渉シナリオに基づき協創を生みだす交渉ができる。

対象者 交渉を基礎から学びたい方。

前提知識 「協創を生みだす交渉（基礎知識編）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 事前学習の振り返り
2. 演習1
   (1)クリエイティブオプションのためのストレッチトレーニング
   (2)トレーニングの振り返り
3. 演習2
   (1)利害関係者のマッピングトレーニング
4. 模擬交渉「共通ミッション達成に向け部門間で役割分担と稼動調整をする」
   (1)模擬交渉の進め方
   (2)事前準備と作戦会議
   (3)模擬交渉実施（1対1交渉）
   (4)振り返りとまとめ

受講料 ¥27,500

オンライン / コースコード HSV264

（PDU） 協創を生みだす交渉（実践演習編）【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 1.5日間

模擬交渉を通じて最新の交渉研究による基礎理論とロジカルシンキングを活用した問題解決型交渉を学びます。模擬交渉は協創を生みだした実例から開発したケースを用いて実施します。ある顧客のシステム統合について、顧客と提案ベンダーに分かれ、社内交渉、社外交渉をロールプレイで実践します。考え方や利害関係が異なるステークホルダーとWin-Winとなる交渉をめざします。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：10ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・交渉相手との状況からミッション、ZOPA、BATNAを設定できる。
・交渉相手と自分を取り巻く環境分析を行い図式化できる。
・交渉シナリオに基づいて協創を生みだす交渉ができる。

対象者 入社3年次以上の方。ご自身の交渉力を更に強化したい、またはコンフリクト（意見の対立や衝突）交渉に直面することが多い方。

前提知識 「協創を生みだす交渉（基礎演習編）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 交渉学の基礎理論（ミッション、BATNA、ZOPAなど）の復習
2. 模擬交渉
   ・共通ミッション達成に向け部門間で役割分担と稼動調整をする
3. クリエイティブオプション、利害関係者のマッピング
   ・交渉相手が用いがちな交渉テクニックの紹介
4. 模擬交渉
   ・問題が起きた状況下で部門間の利害を調整し協力して問題解決する
5. 模擬交渉
   ・顧客との間に生じたコンフリクトを解消する

受講料 ¥104,500

オンライン / コースコード HSV185

行動経済学を応用したパースエイション（説得）のスキル −ハーバード流交渉学の真価を発揮するために− 【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 1日間

ハーバード流の基本を押えつつ、人間の不合理な行動を理解した説得のスキルを身につけます。協調戦略や損失回避・期間選択・心理会計といった行動経済学上のテーマを活用しながら、役割を交代しつつロールプレイを実施し、体験的に交渉力を改善します。

到達目標
・交渉においてうまく行かないと感じていた脳筋の突破口が開ける。
・ハーバード流交渉学の真価を理解することができる。

対象者 どなたでも受講できます。交渉の基礎コースを受講済みであることが望ましい。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. はじめに
   (1)ハーバード流交渉学がめざすもの
   (2)パースエイション（説得）のスキルと行動経済学
2. ロールプレイ1
   (1)理論と実践
   (2)ロールプレイ
   (3)振り返り
3. ロールプレイ2
   (1)理論と実践
   (2)ロールプレイ
   (3)振り返り
4. ロールプレイ3
   (1)理論と実践
   (2)ロールプレイ
   (3)振り返り
5. まとめ

受講料 ¥38,500

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

オンライン / コースコード HSV257

隠れたニーズとホンネを引き出す傾聴・質問力トレーニング【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 2日間

しっかり話を聞いているつもりでも、実は興味・関心があることを質問しているだけ、表面的で当たり障りの無い要望しか聞き出せていない、そんな会話になることはありませんか？
このコースでは、相手が安心して語れる環境を整えるポイントや、相手が隠し持つ本音や相手自身も気づいていない課題や願望を引き出すための、傾聴と質問のセオリーと使い方のコツを手に入れます。

到達目標
・交渉・会議・面談・人財育成などさまざまなビジネスシーンで、相手の心情や要望を引き出すための効果的な場の作り方を修得し、問題解決力やコミュニケーション力を強化します。
・相手の立場や状況に応じた傾聴のしかたを理解するとともに、質問のための準備（仮説を立てる）による効果的な質問の使い分け方が修得できます。
・GPMのコーチング＆フィードバックなど話し合いの場で、より建設的で有意義な対話ができます。
・深い信頼関係を築くことで、相手が自然と心情や意見を話してくれるようになることも期待できます。

対象者 全職種を対象にしておりますが、次のような方に特にお薦めします。
・傾聴・質問力を活用してコミュニケーションの質を向上させたい方。
・取引先や関係部署と良好な関係を築きながら、隠れたニーズやホンネを引き出したい方。
・チーム内のひとりひとりの意見を積極的に引き出すことで、チームをサポート・リードしたい方。
・先輩や上司の考えや気持ちを自然な対話で引き出せるようになりたい方。
・部下や後輩を育成・リードする立場の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. コミュニケーション環境を整える
2. 傾聴力を高める
3. 質問力の基本
4. 相手を理解すること
5. 相手に応じた質問の進め方

受講料 ¥159,500

eラーニング / コースコード HSE155

<eラーニング> コミュニケーション力を高めるリスニングスキル −傾聴&質問力で受信力を高める−

eラーニング 2時間

建設的で発展的な対話に必要な2大スキル「発信力」と「受信力」のうち、「受信力」を高めます。説得力のある人、交渉において信頼を得ながら話し合いをリードしている人の特長は相手の話を聴き取れている人です。発信力を高める基本としても必要な傾聴力、質問力アップのポイントを学習します。

到達目標
・傾聴＆質問の必要性を認識する。
・自分の日頃の聴き方を振り返り、課題を認識できる。
・傾聴＆質問の基本スキルを学ぶ。

対象者
・コミュニケーション能力を高めたい方。
・現在の自分の聴き方で本当によいのか確認したい方。
・一方的に話してしまい、相手の意見を引き出せない方。
・聴くだけに終始して話の広がりが得られない方。
・しなやかで力強い発信力実現の前提として、受信力を高めたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 「きく」ということ
2. なぜ人の話を聴けないのか - 現状チェック
3. 傾聴の基本スキル
4. 質問の基本スキル
5. 難しい場面への対応

受講料 ¥16,500

eラーニング / コースコード HSE712

<eラーニング>1on1面談のコツ −シチュエーション別マニュアルと1on1に役立つ生成AI活用法−

eラーニング 3時間

1on1面談の基本的な進め方とスキルを学びます。シチュエーション別の具体的な会話例、マニュアルを紹介します。「このような言い回しをすると、こういうことを聞く質問がしやすい」等のヒントにしていただけます。
また、1on1面談を効果的に実施するための準備のポイントと、効率的に準備するための生成AI活用方法を紹介します。

到達目標
・1on1面談の目的や基本的な流れを理解できる。
・相手の本当の気持ちや状態に寄り添った1on1面談を実施するための知識を修得する。
・部下育成の観点で、自分の振る舞いの意味を理解し、1on1面談の質を高めることができる。

対象者
・部下、後輩を持つ全ての方。
・1on1面談で、どのように会話すればよいか分からない方。
・1on1面談を実施しているものの、いつも話しやすいテーマ（業務の進捗確認など）ばかりになってしまう方。
・1on1面談で、踏み込んだ質問ができず、表面的な会話で終わってしまう方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. はじめに
2. 1on1面談とは
3. 1on1面談の流れとポイント
4. シチュエーション別1on1マニュアル
5. 生成AIの活用
6. おわりに

受講料 ¥13,200

オンライン / コースコード HSV268

コーチング基礎 −メンバーがコミットする目標設定編− 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 1日間

・このコースは、基礎知識をeラーニング（2時間）にて学習いただき、研修当日（1日間）は演習中心に進めます。
・メンバーが本来持っている能力や行動を引き出し、目標達成や成長を促進するコーチングスキルを学びます。
「信頼関係の構築」「傾聴」「承認」「フィードバック」「質問」「提案」などコーチングに必要な要素や、コーチングの基本プロセスである「GROWモデル」を紹介します。このコースは、目標設定シーンにおけるコーチングを深堀し、コーチングスキルの実務への活用イメージを高めます。メンバーに気持ちよく目標にコミットしてもらうことをめざして、実際に目標設定シーンにおけるロールプレイング（コーチング）を行います。
※オンライン開催するクラスと、集合（対面）開催するクラスがあります。お申し込み時に、よくご確認ください。
※このコースの事前eラーニングおよび1～2章までは、HSJ263/HSV263「コーチング基礎 -目標達成を促すフォローアップ・フィードバック編-」と同等の内容です

到達目標
・コーチングの基本概念を説明できる。
・コーチングが有効である場面を説明できる。
・自律と目標へのコミットを意識したコーチングを実施できる。

対象者
・部下または新規配属者などを指導する立場の方。
・メンバーに適切な目標を設定してほしい方。
・メンバーに気持ちよく目標にコミットしてもらいたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
【講義開始前のカリキュラム】
eラーニング（標準学習時間：2時間）
1. コーチングとは
2. GROWモデル
3. 部下のタイプ別「目標設定面談におけるコーチングデモ動画」
   (1)ある程度方向性を示すと目標を設定できる部下
   (2)期待される役割の一部にしか意欲を示さない部下
   (3)確実性のない挑戦をしたがらない部下
※バーチャル・クラスルームでは、eラーニングでの学習が完了していることを前提とします。
必ず学習を完了していただき、不明点はバーチャル・クラスルームの際に講師へご質問ください。
【講義のカリキュラム】
バーチャル・クラスルーム（グループ演習）：1日
1. はじめに
2. eラーニングの振り返り
3. 目標設定のポイント
4. ケース演習
5. コーチング実践のために

受講料 ¥60,500

集合 / コースコード HSJ268

コーチング基礎 −メンバーがコミットする目標設定編− 【eラーニング（事前学習）+集合研修】

グループ演習 1日間

・このコースは、基礎知識をeラーニング（2時間）にて学習いただき、研修当日（1日間）は演習中心に進めます。
・メンバーが本来持っている能力や行動を引き出し、目標達成や成長を促進するコーチングスキルを学びます。
「信頼関係の構築」「傾聴」「承認」「フィードバック」「質問」「提案」などコーチングに必要な要素や、コーチングの基本プロセスである「GROWモデル」を紹介します。このコースは、目標設定シーンにおけるコーチングを深堀し、コーチングスキルの実務への活用イメージを高めます。メンバーに気持ちよく目標にコミットしてもらうことをめざして、実際に目標設定シーンにおけるロールプレイング（コーチング）を行います。
※オンライン開催するクラスと、集合（対面）開催するクラスがあります。お申し込み時に、よくご確認ください。
※このコースの事前eラーニングおよび1～2章までは、HSJ263/HSV263「コーチング基礎 -目標達成を促すフォローアップ・フィードバック編-」と同等の内容です

到達目標
・コーチングの基本概念を説明できる。
・コーチングが有効である場面を説明できる。
・自律と目標へのコミットを意識したコーチングを実施できる。

対象者
・部下または新規配属者などを指導する立場の方。
・メンバーに適切な目標を設定してほしい方。
・メンバーに気持ちよく目標にコミットしてもらいたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
【講義開始前のカリキュラム】
eラーニング（標準学習時間：2時間）
1. コーチングとは
2. GROWモデル
3. 部下のタイプ別「目標設定面談におけるコーチングデモ動画」
   (1)ある程度方向性を示すと目標を設定できる部下
   (2)期待される役割の一部にしか意欲を示さない部下
   (3)確実性のない挑戦をしたがらない部下
※集合研修では、eラーニングでの学習が完了していることを前提とします。
必ず学習を完了していただき、不明点は研修の際に講師へご質問ください。
【講義のカリキュラム】集合研修（グループ演習）：1日
1. はじめに
2. eラーニングの振り返り
3. 目標設定のポイント
4. ケース演習
5. コーチング実践のために

受講料 ¥60,500

オンライン / コースコード HSV263

コーチング基礎 −目標達成を促すフォローアップ・フィードバック編− 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 1日間

・このコースは、基礎知識をeラーニング（2時間）にて学習いただき、研修当日（1日間）は演習中心に進めます。
・メンバーが本来持っている能力や行動を引き出し、目標達成や成長を促進するコーチングスキルを学びます。
「信頼関係の構築」「傾聴」「承認」「フィードバック」「質問」「提案」などコーチングに必要な要素や、コーチングの基本プロセスである「GROWモデル」を紹介します。このコースは、目標設定後のフォローアップ、フィードバックシーンにおけるコーチングを深堀し、コーチングスキルの実務への活用イメージを高めます。目標達成において課題が生じている部下に対してフォローアップするシーンを想定し、実際にロールプレイング（コーチング）を行います。
※オンライン開催するクラスと、集合（対面）開催するクラスがあります。お申し込み時に、よくご確認ください。
※このコースの事前eラーニングおよび1～2章までは、HSJ268/HSV268「コーチング基礎 -メンバーがコミットする目標設定編-」と同等の内容です。

到達目標
・コーチングの基本概念を説明できる。
・コーチングが有効である場面を説明できる。
・目標フォローアップにコーチングスキルを活用できる。
・部下のパフォーマンス向上をめざすフィードバックができる。

対象者
・部下または新規配属者などを指導する立場の方。
・目標達成に向けて効果的に部下をフォローアップしたい方。
・部下にフィードバックすることに苦手意識がある方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
【講義開始前のカリキュラム】
eラーニング（標準学習時間：2時間）
1. コーチングとは
2. GROWモデル
3. 部下のタイプ別「目標フォローアップにおけるコーチングデモ動画」
   (1)ある程度自律している部下
   (2)モチベーションが落ちている部下
   (3)他責思考に陥っている部下
※バーチャル・クラスルームでは、eラーニングでの学習が完了していることを前提とします。
必ず学習を完了していただき、不明点はバーチャル・クラスルームの際に講師へご質問ください。
【講義のカリキュラム】
バーチャル・クラスルーム（グループ演習）：1日
1. はじめに
2. eラーニングの振り返り
3. フォローアップ・フィードバックのポイント
4. ケース演習
5. コーチング実践のために

受講料 ¥60,500

ビジネス
経営力
思考力/考え抜く力
チームで働く力
前に踏み出す力
目的別（コンプライアンス/業種・業界/ビジネス教養）

集合 コースコード HSJ263

グループ演習 1日間

コーチング基礎 −目標達成を促すフォローアップ・フィードバック編− 【eラーニング（事前学習）+集合研修】

・このコースは、基礎知識をeラーニング（2時間）にて学習いただき、研修当日（1日間）は演習中心に進めます。
・メンバーが本来持っている能力や行動を引き出し、目標達成や成長を促進するコーチングスキルを学びます。
「信頼関係の構築」「傾聴」「承認」「フィードバック」「質問」「提案」などコーチングに必要な要素や、コーチングの基本プロセスである「GROWモデル」を紹介します。このコースは、目標設定後のフローアップ、フィードバックシーンにおけるコーチングを深堀し、コーチングスキルの実務への活用イメージを高めます。目標達成において課題が生じている部下に対してフォローアップするシーンを想定し、実際にロールプレイング（コーチング）を行います。
※オンライン開催するクラスと、集合（対面）開催するクラスがあります。お申し込み時に、よくご確認ください。
※このコースの事前eラーニングおよび1～2章までは、HSJ268/HSV268「コーチング基礎 -メンバーがコミットする目標設定編-」と同等の内容です。

到達目標
・コーチングの基本概念を説明できる。
・コーチングが有効である場面を説明できる。
・目標フォローアップにコーチングスキルを活用できる。
・部下のパフォーマンス向上をめざすフィードバックができる。

対象者
・部下または新規配属者などを指導する立場の方。
・目標達成に向けて効果的に部下をフォローアップしたい方。
・部下にフィードバックすることに苦手意識がある方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
【講義開始前のカリキュラム】
eラーニング（標準学習時間：2時間）
1. コーチングとは
2. GROWモデル
3. 部下のタイプ別「目標フォローアップにおけるコーチングデモ動画」
（1）ある程度自律している部下
（2）モチベーションが落ちている部下
（3）他責思考に陥っている部下
※集合研修では、eラーニングでの学習が完了していることを前提とします。
必ず学習を完了していただき、不明点は研修の際に講師へご質問ください。
【講義のカリキュラム】集合研修（グループ演習）：1日
1. はじめに
2. eラーニングの振り返り
3. フォローアップ・フィードバックのポイント
4. ケース演習
5. コーチング実践のために

受講料 ¥60,500

eラーニング コースコード HSE157

eラーニング 4時間

<eラーニング> コーチング基礎−レクチャ編−

部下または新規配属者などを指導する立場の方が、OJTを効果的に進めるためのポイントを学習します。コーチングのさまざまなスキルを活用した、部下指導に役立つ内容です。このコースは演習を含みません。演習を通して理解を深めたい方は、「コーチング基礎」コースの受講をお薦めします。

到達目標
・コーチングの基本概念を説明できる。
・コーチングが有効である場面を説明できる。
・コーチングスキルを部下指導に活用できる。

対象者 部下または新規配属者などを指導する立場の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. コーチングとは
2. コーチングの活用場面
3. コーチングの基本スキル
（1）傾聴
（2）確認
（3）承認
（4）質問
（5）提案
4. GROWモデル
5. コーチングスキルをOJTに活かすポイント

受講料 ¥14,300

オンライン コースコード HSV284 Renewal

グループ演習 1日間

（PDU）部下のパフォーマンスを高める 1on1面談とフィードバック 【バーチャル・クラスルーム】PDU

メンバーが話したいことを話すミーティングとは何か、またメンバーの自主性が上がっていく会話とは何か、をロールプレイングを通して体系的に学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・メンバーと適切な信頼関係構築ができる。
・メンバーのモチベーションを向上させながら意図したフィードバックを伝えることができる。

対象者 部下、後輩を持つ全ての方。
次のような事項にお悩みの方。
・そもそもメンバーとどのように会話したらよいかわからない。
・メンバーの本音を引き出せない。
・自分に自信がなく、メンバーに厳しいフィードバックを伝えられない。
・こんなことを伝えたら、パワハラに繋がってしまうのではないか。
・メンバーにどうコミットさせればよいか、モチベーションを少しでも上げるにはどうしたらよいかわからない。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 1on1面談
（1）1on1面談とは
（2）メンバの経験学習サイクルを促進させる
（3）コーチングとの違い
2. 1on1面談の効果
（1）メンバの視点・タイムリーに相談できるメリットとその効果
（2）リーダの視点・メンバのさまざまな情報を得ることで指導・育成に役立てる・メンバとの関係性を強化する
3. 1on1面談の注意点
4. 1on1の基本スキル-メンバがリーダに忌憚なく話す条件とは-
（1）信頼関係の構築/アクティブリスニング
（2）目的や背景を伝える
（3）適切な頻度の設定
（4）アジェンダの設定
（5）リーダの話す時間は2割
5. フィードバックの目的
（1）メンバの学びを深める3つの働きかけ・ティーチング、コーチング、フィードバック
（2）フィードバックの目的
6. フィードバックのスキル
（1）相手のパフォーマンス観察
（2）メンバの学びを深める3つの働きかけ
（3）パフォーマンス強化のための伝え方
（4）パフォーマンス改善のための伝え方
7. ロールプレイング
8. 振り返り

受講料 ¥73,700

オンライン コースコード HSV239

グループ演習 0.5日間×3回

（PDU）コーチング実践 −部下のやる気と成長を促す− 【バーチャル・クラスルーム】PDU

現場でのコーチング実践に課題を感じている方向けのコースです。コーチングフレームやスキルを適切に使えていないのではないか、メンバ（クライアント）に行動変容が起きないのはなぜなのか、など、悩み/困りごとを解消するために課題を明らかにし、3回シリーズで解決していきます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）の取得が可能です。
※このコースは、21年度「コーチングカレッジ」と同内容のコースです。

到達目標
・GROWモデルを何も見ずに実施することができる。
・コーチングにおける自身の課題を自身で克服する方法を身につけることができる。
・新たに確認するスキルを使ってより深いコーチングを実施できる。

対象者
・メンバ育成をさらに促進させたい方。
・コーチのマインドとコーチングスキルをブラッシュアップしたい方。
・コーチング実践における悩み、課題解決をしたい方。

前提知識
（1）「コーチング基礎」コース、「コーチング基礎」eラーニングコース、もしくは「目標達成のためのコーチング実践」コースのいずれかを修了していること。
（2）現場でコーチングを実践した経験があること。
※GROWモデルを知っており、使用したことがある方は同等知識を持つ方とみなします。

内 容
■Day1：課題を知る
1. 3か月でコーチングスキルを活かして、どのような違いをもたらしたいのか
2. 3か月で自分はどのようなチャレンジをするのか
3. コーチングやコミュニケーションの課題を明確にする
4. ゴールを明確にするロールプレイング
■Day2：スキルを磨く
1. コーチとしてのクライアントとの向き合い方
2. クライアントの特性を踏まえた話し方とプロセスとは
3. 使う言葉、扱うチャンクでクライアントの意識にアクセスする
4. 現状と選択肢を確認するロールプレイング
■Day3：整合する、決意する
1. コーチング、1on1の仕組みづくり
2. 観念、価値観の引き出しと扱い方
3. ビジョンを描くためのプロセス
4. 未来を実現するためのロールプレイング

受講料 ¥165,000

オンライン コースコード HSV282

グループ演習 2日間

（PDU）自分を知り他者を知るコミュニケーションマネジメント−DiSCモデルによる− 【バーチャル・クラスルーム】PDU

さまざまな考え方やキャリアを持つ他者と、どうコミュニケーションをとればよいか学習します。
自己を知り、他者を推察し「違いは間違いではない」という考えのもと、具体的アプローチ方法を学習します。
このコースでは「DiSC®：行動特性を測るアセスメント」を事前に受検いただきます。パーソナライズされたレポートをもとに、自身のコミュニケーションパターンを知り、他者と良好な関係を構築するための示唆を得ることができます。
このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・自己のDiSCスタイルを認識し、他者のDiSCスタイルの推察ができる。
・他者を推察し、相手に合った対応ができる。
・コミュニケーションにおけるPDCAサイクルを回すことができる。
・チームに効果的なアプローチのアクションプランが作成できる。

対象者 自己の、そして職場のコミュニケーション改善をしたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 「あの人」が苦手な理由、好きな理由
2. 自分のスタイルを知る
3. 他のスタイルを理解する
4. DiSCスタイルの見分け方
5. 強みと弱みは表裏一体
6. より効果的な人間関係を築く

受講料 ¥112,200

オンライン コースコード HSV218

グループ演習 1日間

自己回復力を高めるストレスマネジメント −レジリエンスを育むために− 【バーチャル・クラスルーム】

ストレスについて正しい知識とその対処法を修得するとともに、セルフケアを中心に、自分に合った適切なストレス対処法を学習します。

到達目標
・レジリエンスとは何かを学び、心を鍛える重要性を認識する。
・リラクゼーション法や対人ストレスを軽減するためのストローク（聴き方、ほめ方）を修得できる。
・対人関係をスムーズにするコミュニケーション手法を理解できる。

対象者 ストレスをうまく管理したいと感じている方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. レジリエンスの基礎知識
（1）「レジリエンス」とは何か
（2）自身のストレス状況を振り返る
2. レジリエンスの7つのスキル
（1）思考のクセを知る
（2）役に立たない思いこみを払拭する
（3）心の支えを作る
（4）自分の強みを生かす
（5）心をしずめるボディワーク
（6）リアルタイム・レジリエンス
（7）感謝の感情を育む

受講料 ¥75,900

オンライン コースコード HSV248

レクチャ 1日間

ピーク・パフォーマンス −集中力を上げ、仕事を主体的に捉え直す− 【バーチャル・クラスルーム】

仕事において日々さらされるストレスや環境による作業効率の変化を認識することで、それらをコントロールし、成果の向上に繋げた上でよりよい生活を送れる力を身につけます。「体の仕組み/状態とパフォーマンス向上の関係性」を理解し、オフィスや自宅で簡単にできるマインドフルネス、ストレッチなどを体験します。心身の緊張をほぐし、一つの事柄に集中して取り組む能力を高めること、且つ高めた集中力を安定して持続させることをめざします。

到達目標 セルフケア能力を身につけ、仕事でのパフォーマンス向上につなげることができる。

対象者
・仕事のストレスや忙しさから成果を出しにくくなっていると感じる方。
・ビジネスシーンで集中力を発揮して、重要な局面を乗り越えたい方。
・疲労がたまって業務時間が長引いていると感じる方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 3つの健康とパフォーマンスの関係
2. 集中力とは - 集中力の大きな特長
3. マインドフルネスとは
4. すぐに意識すべき「集中力」実践メソッド
5. 復元性（レジリエンス）
6. ニュートラル_1（自律神経）
7. ニュートラル_2（気持ちや気分、感情、意識を変化）
8. まとめ

受講料 ¥71,500

オンライン コースコード HSV283

グループ演習 1日間

（PDU）リーダーのためのマインドフルネス −成果発揮へのセルフリーダーシップとマインドフル− 【バーチャル・クラスルーム】PDU

忙しい現代ビジネスパーソンが集中力を高め記憶力や思考力を増進し、些事に悩まない強靭なリーダーシップが発揮できるようになるための手がかりです。グーグルやインテルのみならず世界のトップ企業において実践され始めている、マインドフルネスについて学習します。基本的な方法論を学び、実践できるようにします。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標 マインドフルネスという概念と手法について理解し、実践できるようになる。

対象者 ビジネスリーダーを志す方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. パフォーマンス発揮の仕組み
2. パフォーマンス向上とセルフリーダーシップ
3. エクスペリエンス（体験）の強化
4. 強化トレーニングの代表メニュー
5. マインドフル強化の神経科学アプローチ
6. 現場実践でのレバートリー拡大
7. 定着と行動革新に向けて

受講料 ¥73,700

前に踏み出す力

試行錯誤しながら、失敗を恐れず、自ら一歩前に踏み出すために必要なスキル（主体性、実行力、働きかけ力）が修得できます。

前に踏み出す力

主体性

レベル1	レベル2	レベル3
		PDU HSV329 オンライン (PDU) 周囲の能動性を発揮させるリーダシップ グループ演習 | 2日間

働きかけ力

レベル1	レベル2	レベル3
HSV330 オンライン 成果を創り出す働きかけ力 −自分と相手の真のニーズを満たすコミュニケーション− グループ演習 | 1.5日間	New HSV281 オンライン (PDU) チーム力を上げるための エンパワーメント グループ演習 | 2日間 PDU HSV331 オンライン (PDU) ファシリテーション研修 −成果を出す会議の進め方− グループ演習 | 1日間 (0.5日×2回) ＋ 事前学習（eラーニング） 3時間	HSV261 オンライン 部下のキャリア開発を支援するための プロセスとフレームーメンバーの自己理解を促し、自律へのモチベーションを高めるー グループ演習 | 1.5日間

実行力

レベル1	レベル2	レベル3
HSV240 オンライン 自律型人財に求められるフォロワーシップ−相乗効果を発揮し、チームの成果を最大化するー グループ演習 | 1日間	HSJ271 集合 成功するチームビルディング −自律チームを創る 5つのフェーズー グループ演習 | 1.5日間 ※1日目は集合研修、 2日目はバーチャル・クラスルーム（オンライン）の開催となります	HSJ272 集合 未来を描く組織開発ワークショップ −「管理・統制」から 「対話・成長」を軸とした組織へ− グループ演習 | 1日間 PDU HSV334 オンライン (PDU)リスキリングを成功させるアンラーン−思考とスキルをアップデートして変化を取り込むー グループ演習 | 1日間

レベル1 ：学びの型を忠実に守り繰り返す段階を表します
レベル2 ：学びの基本に自分なりの要素を加え、創造性を養う段階を表します　参考：技師、主任
レベル3 ：学びの形にとらわれない自由な境地に至り、独創性を追求する段階を表します　参考：月俸者

オンライン / コースコード HSV329

グループ演習 2日間

(PDU) 周囲の能動性を発揮させるリーダシップ【バーチャル・クラスルーム】PDU

当事者意識を持ち、リーダーシップが発揮でき、組織（チーム）に対して影響力を持つリーダーになるためのマインドセットを行います。チームビルディングを体感し、メンバーのモチベーション向上と指導/育成を学びます。また、一体感あるチーム作りに必要な観点を紹介します。チームメンバーが安心できる環境づくり（メンバーに能動的に関わる、問題解決サポート、対話）をすることで、メンバーのやる気を高めると同時に組織風土がよくなっていくことを演習を通して学び、受講者自身の主体的行動を促します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 当事者意識を持ち、リーダーシップが発揮でき、組織（チーム）に対して影響力を持つリーダーになるためのマインドセットを行う。
- チームビルディングを体感し、メンバーのモチベーション向上と指導/育成を学ぶ。
- 一体感あるチーム作りに必要な観点を学ぶ。
- チームメンバーが安心できる環境づくり（メンバーに能動的に関わる、問題解決サポート、対話）をすることで、メンバーのやる気を高めると同時にメンバーの主体性や前に踏み出す一歩を後押しすることに繋がることを学び、行動に移す準備を行う。

対象者
- リーダーシップを発揮し、ステークホルダーを巻き込みながら成果を上げたい方。
- ステークホルダーのモチベーション向上、指導や育成の基礎を学びたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. リーダーシップの基礎知識（本質・発揮するための当事者意識）
2. リーダーシップとマネジメントの違い
3. メンバーとの信頼関係構築に必要な観点とは（モチベーションマネジメント）
4. マネジメントの前提となる自己認識
5. チームメンバーへのマネジメントスキル向上のポイント（意欲/スキルの見極め）
6. ケースを利用した組織活性化（チームビルディング）のポイント学習
7. メンバーとの1対1のコミュニケーション強化プログラム（ロールプレイ）
8. 職場の具体的な事例を取り上げ議論する
9. めざす姿とアクションプランの設定（自己理解を整理した上でのSTART/STOP/KEEP）

受講料 ¥178,200

オンライン / コースコード HSV330

グループ演習 1.5日間

成果を創り出す働きかけ力 −自分と相手の真のニーズを満たすコミュニケーション−【バーチャル・クラスルーム】

誰しも内面に本質的な要望を持っていますが、無意識に表出させてしまい、得たい成果が得られないことがあります。
周囲に働きかけて相互に望ましい成果を創出するために、自身の本質的な要望を深堀りし、自分のコミュニケーションをコントロールする手法を身につけます。

到達目標
- 自身の本質的な要望に向き合い、コミュニケーションの捉え方に柔軟性を持たせるための考え方やスキルを理解できる。
- 相手のニーズを把握し、表出する自身のコミュニケーションを意識的に選択できる。

対象者 本質的なニーズを認識し、納得感のある成果を得るための働きかけ力を養いたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. はじめに
2. コミュニケーションをセルフコントロールする必要性
3. 自分の内面を見つめて自己理解を深める
   (1)互いの意見が異なるシーンにおける自身のコミュニケーション傾向を把握する
   (2)自身の本質的な要望を明らかにする
4. 自分と相手のニーズに共通項を見つけ、成果を再定義する
5. 共通の成果に向かって実現手段の選択肢を増やす
6. 複雑な場面を想定したケース演習
7. 望ましい成果を創り出すためのアクションプラン

受講料 ¥105,600

オンライン / コースコード HSV281 New

グループ演習 2日間

(PDU) チーム力を上げるためのエンパワーメント【バーチャル・クラスルーム】PDU

メンバーのやる気を引き出し、組織生産性を向上させるために必要な管理者の役割や行動について学習します。
権限委譲がうまくいかないケース事例をもとに、当事者としてどのような判断や行動をとるかを検討します。他の参加者とのディスカッションを通じて、複数の観点やアプローチに気づきます。自身の課題に置き換えて、メンバーにどのようにアプローチしていくかを検討し、職場での実践につなげます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- マネジメントのおさえるべき知識とスキルを説明できる。
- メンバの動機付けに必要なポイントをつかむことができる。

対象者 主任相当の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. チームのあり方とリーダの行動
   (1)メンバーの立場からあるべき姿を描く
   (2)ジョブ型移行期チーム（組織）の5つの進化過程
2. エンパワーメント
   (1)エンパワーメントのために必要なリーダの行動
   (2)ストレッチゾーンの仕事の渡し方ケーススタディ
3. リーダのマネジメントスタイル
4. チームをまとめる要素
   (1)アラインメントで仕事の目的、ビジョン、目標を合意する
5. メンバーのスタイルに応じたアプローチ
6. 上司へのマネージングアップ
   (1)上司のスタイルに応じたアプローチ
   (2)マネージングアップ戦略

受講料 ¥140,800

オンライン / コースコード HSV331

グループ演習 0.5日間×2回

(PDU) ファシリテーション研修 −成果を出す会議の進め方−【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】PDU

- このコースは、基礎知識をeラーニング（3時間）にて学習いただき、研修当日（0.5日×2回）は演習中心に進めます。
- 成果を出す会議に必要なファシリテーションスキルを学習します。会議の種類と場面において、自身の課題や苦手意識がどこにあるのかを明確します。そのうえで、効果的なファシリテーションプランならびに現場での実践を通して、ファシリテーションスキルの向上をめざします。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：11ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 良い会議の基本要素である会議のゴール設定（Must、Want事項）、時間枠、アジェンダの必要性を理解し、実践できる。
- 会議の種類毎にファシリテーションスキルにおける自身の課題や苦手意識がどこにあるのか、明確に理解し、会議の種類に応じたファシリテーションプランが作成できる。
- 現場での実践を通して、自身のファシリテーションスキルの向上ならびに会議の質を向上させることができる。

対象者
- 会議の議事進行を担当される方。
- さまざまな立場の方が参加する会議で、参加者の率直な意見を引き出したいとお考えの方。
- 会議でアイデア出しや企画を検討する場面において、多様な意見を引き出したいとお考えの方。
- 会議内での合意形成において、異なる意見の収束に苦手意識をお感じになっている方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
【講義開始前のカリキュラム】
eラーニング（標準学習時間：3時間）
1. 概論
2. コンテンツマネジメント
3. 参加者マネジメント
4. セルフマネジメント
※バーチャル・クラスルームでは、eラーニングでの学習が完了していることを前提とします。必ず学習を完了していただき、不明点はバーチャル・クラスルームの際に講師へご質問ください
【講義のカリキュラム】
【1日目】バーチャル・クラスルーム（グループ演習）：0.5日
1. 成果を出す会議のファシリテーション概要
2. 効果的な会議の進め方（会議進行編）
【2日目】バーチャル・クラスルーム（グループ演習）：0.5日
1. インターバル期間中の実践と課題の共有
2. 効果的な会議の進め方（問題解決編）

受講料 ¥112,200

オンライン / コースコード HSV261

グループ演習 1.5日間

部下のキャリア開発を支援するためのプロセスとフレームーメンバーの自己理解を促し、自律へのモチベーションを高めるー【バーチャル・クラスルーム】

部下のキャリア開発を支援するための効果的なプロセスとフレームを学習します。キャリア支援に必要な考え方、在り方、具体的アプローチ方法を体系的に確認します。また、実務上の場面を想定したロールプレイを実施することにより、具体的な実践方法を学習します。

到達目標
- 部下/メンバーがキャリアについて考える際に重要な「システマティックアプローチ」のポイントを理解し、修得することができる。
- 部下/メンバーの意欲を引き出すための働き掛け方のポイントを再確認できる。
- 部下/メンバーの関心事を整理するためのフレームワークを知り、選択し実施することができる。

対象者 PM（ピープルマネジャー）もしくはPM（ピープルマネジャー）に準ずる業務を行っている方で、部下やメンバーの指導・支援をする必要のある方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
【1日目】：メインセッション（1日）
1. キャリアを取り巻く環境
2. キャリア支援をする上での基本姿勢/前提
3. 部下とのキャリア対話（支援）の考え方
4. 代表的なケースにおける対応策（4パターンについてロールプレイング）
5. キャリア対話サポートツール紹介
6. まとめ（フォローアップワークショップまでの実施事項の共有）

【2日目】：フォローアップセッション（0.5日）
1. メインセッションの振り返り
2. 参加者の実施事例の共有
3. ロールプレイング
4. 改善策に向けたディスカッション（困り事を解消するためのソリューション）
5. 部下/メンバーに伝えるつもりで、行動再宣言

受講料 ¥144,100

オンライン / コースコード HSV240

グループ演習 1日間

自律型人財に求められるフォロワーシップ −相乗効果を発揮し、チームの成果を最大化する−【バーチャル・クラスルーム】

フォロワーシップの概念を理解し、フォロワーが担う役割を学びます。現場でフォロワーシップを発揮するために自身の課題と向き合い、主体的に能力を伸ばすポイントを学習します。さらに、チームのリーダやメンバと建設的な関係を築き、自身とチームの成果を最大化するための要素を学び、職場での実践方法を計画します。

到達目標
- フォロワーシップの概念を理解し、自律型人財として求められるフォロワー像を説明できる。
- フォロワーとしての役割を把握し、職場で主体的、能動的に実践していく上で自身の課題が明確になる。
- チームの価値を最大化するために、メンバと相乗効果を生み出す方法を検討・準備し、職場での実行するための手ごたえを感じることができる。

対象者
- リーダの指示待ちではなく、当事者意識を持って仕事をしたい方。
- チームのリーダやメンバと相乗効果を生み出し、自身とチームの成果を出したいとお考えの方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. はじめに
2. フォローワーシップの基本
   (1)フォローワーシップの在り方
   (2)フォローワーシップの構成要素
   (3)フォローワーシップの5類型
   (4)フォローワーシップの効果（個人/組織）
3. フォローワーシップを発揮するために
   (1)フォローワーシップの現状理解
   (2)自律型人財のフォロワーシップ
   (3)主体的な能力開発・能力を活かすマインド
   (4)仕事の質を決める中核能力
   (5)成果を生み出す発展能力
4. 相乗効果でチームの成果を最大化する
   (1)成果を挙げ続けるチームの要素
   (2)ゴールに到達するためのマイルストーン
   (3)ナレッジを共有する仕組みとメリット
   (4)相乗効果を生むためのポイント
   (5)職場での実践シート作成、行動宣言

受講料 ¥57,200

ビジネス
経営力
思考力/考え抜く力
チームで働く力
前に踏み出す力
目的別（コンプライアンス/業種・業界/ビジネス教養）

目的別
（コンプライアンス／業種・業界／ビジネス教養）

業務遂行にあたって、意志決定を行うためのバックヤードとなる知見（コンプライアンス、業界知識、リベラルアーツ）が修得できます。

集合 コースコード HSJ271

成功するチームビルディング
－自律チームを創る5つのフェーズ－

グループ演習 1.5日間

単なる集団ではなくチームとして成果を出すための要件と必要なリーダーシップ行動を学びます。また、チームのパフォーマンスを高めるためのアクションプランを作成し、現場での実践につなげます。

到達目標
・集団ではなくチームの体を成すために必要な要件とプロセスを理解する。
・チームの状態を把握し、リーダーとしての課題ととるべきリーダーシップ行動を把握する。
・メンバーの自発的貢献意欲を引き出すために、効果的な施策を検討し、職場で実行するための手ごたえを感じることができる。
・継続的に施策を実行することを通して、メンバーの自律性と協働性を高め、チームのパフォーマンスが向上できる。

対象者
・グループからチームに変容を遂げるための方法を学びたいとお考えの方。
・チームの方向性を示し、メンバーのコミットメントを高めたいとお考えの方。
・多様なメンバーの能力や志向性を活かし、メンバー相互の関わりによりチームのパフォーマンスを高めたいとお考えの方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
【1日目の講義のカリキュラム】
：大森キャンパスでの集合研修
1. はじめに
2. チーム形成に必要な要素
3. チーム形成を迅速化するリーダーシップ行動
4. チームの現状徹底分析
5. 多様なメンバーの強みを活かし成果をあげるチームの創り方
【2日目の講義のカリキュラム】
：バーチャル・クラスルーム
1. 実践内容の振り返り
2. リーダーシップ発揮上の阻害要因の検討と実践の強化
3. 今後の実行計画

受講料 ¥134,200

集合 コースコード HSJ272

未来を描く組織開発ワークショップ
－「管理・統制」から「対話・成長」を軸とした組織へ－

グループ演習 1日間

組織開発の概論とプロセスのフレームワークを知り、対話型組織開発のポイントを理解します。自組織について、「理想とする組織を創り上げるには、まず何から着手したら良いのか？中長期的に何をするべきか？」という問題意識を起点に、参加者同士で意見を交わしながら実現手段を具体化します。

到達目標
・組織開発手法の基本概念と代表的なフレームワークを理解できる。
・組織開発における対話の必要性を理解する。
・組織開発をビジネスの現場で行う際の留意点を理解する。
・組織のVisionを実現するために、具体的なアクションプランを検討し、実行に移す準備ができる。

対象者 人事・総務部門における施策展開担当者およびピープルマネージャー、ピープルマネージャーに準ずる方で組織をけん引する役割の方。

前提知識 特に必要としません。事前課題に基づき、現状、ありたき姿、組織開発時の阻害要因（仮説）が整理できていることが望ましい。

内　容
1. はじめに
2. 組織開発概論
（1）組織開発とは？施策展開がうまくいかない理由
（2）あるべき組織に関する組織内の認識Gapを埋めるために、対話の仕組みを準備する（「7S」フレームワーク）
3. 対話型組織開発とは
（1）AI（Appreciative Inquiry）アプローチ概要/5-D Step
（2）あるべき姿を問い、課題（阻害要因）の仮説を立てる
（3）現状と理想の組織レベルについて、Gap（差異）を確認する
（4）組織のVisonを描き、組織の成長に関する「KGI」と「KPI」を設定する
（5）実行時の留意点を把握する
4. まとめ
（1）自身のマネジメントスタイルと作り出している職場の風土、雰囲気を振り返る
（2）アクションプランを策定する

受講料 ¥149,600

オンライン コースコード HSV334

（PDU）リスキリングを成功させるアンラーン
－思考とスキルをアップデートして変化を取り込む－
【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 1日間

キャリア、経験を積み、成果を生み出してきたビジネスパーソンには、成功のパターンと呼ばれる考え方や行動の習慣があります。多くの場合、その成功パターンで次の成功を生み出すことができると思いがちですが、その法則が現在の環境に合わなかったり、成長を阻害する可能性もあります。このコースでは、これまでに学んだ知識や身につけた技術を振り返り、さらなる学びや成長につながる形に整理し直すプロセスを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・バイアスの考え方を知り、払拭する術を自分に適用できる。
・どのような行動が、他者にどのように映るのか説明できる。
・アンラーニングの実践方法を自身の業務に適用できる。

対象者
・既存の正攻（成功）法を手放し、新しい方法を手に入れたい方。
・新しい業務に就く方。

前提知識 15年以上の業務経験があること。

内　容
1. アンラーンとその必要性とは
（1）今注目のアンラーンとは、なぜ必要なのか
（2）アンラーンを習慣化する根っこ「学習志向」
（3）アンラーンのプロセス
（4）自分のアンラーンの必要性をチェックする
2. アンラーンポイントを振り返る
（1）効き脳診断から自分の思考のクセを知る
（2）事前課題のJDから自分のルーティン行動を洗い出す
（3）アンラーンポイントを発見する問い
（4）アンラーンポイントをシェアする
3. アンラーンする方向性をダイアログで描く
（1）フタを取っ払い自分らしさを表現する
（2）パーパスを発見する10のKEY
（3）ダイアログ（対話/内省）でパーパスを描く
4. 違和感を大切に小さな変化を積み重ねる
（1）新しい可能性に向けてリラーンする
（2）新たに修得したい知識やスキル（リスキリング）を考える

受講料 ¥102,300

キーワード	コースコード	コース名	実施方法	時間数
財務	HSE158	<eラーニング>（PDU）財務諸表の基礎知識	eラーニング	4時間
法務	HSE129	<eラーニング>SNSのリスクと利用時のガイドライン	eラーニング	1時間
一般	HSE141	<eラーニング>（PDU）ビジネスモデル思考 経営力	eラーニング	12.2時間
サプライチェーンマネジメント	HSE134	<eラーニング>サプライチェーンマネジメント（SCM）基礎 ― 世界標準の知見に基づいた戦略的SCMの実現へ向けて ―	eラーニング	3時間
	HSJ226	Renewal 体験型サプライチェーン経営（SCM）学習プログラム「The Fresh Connection」	集合	2日間
思考	HSE161	<eラーニング>思考技法の概要	eラーニング	4時間
	HSE126	<eラーニング>ロジカルシンキング基礎 ― 論理の可視化と論理チェックのポイント ―	eラーニング	8時間
	HSE163	<eラーニング>QFD（品質機能展開）で学ぶマトリクス表の上手な使い方 ― マトリクス表を使って「決める」を考える ―	eラーニング	4時間
	HSE164	<eラーニング>TRIZで学ぶ発想のパターン ― 科学的な強制発想法 ―	eラーニング	4時間
	HSE165	<eラーニング>意思決定のスキル ― 合理と心理を理解したうえでの意思決定 ―	eラーニング	4時間
	HSE166	<eラーニング>【スキル定着】相手を納得させる論理構成力を磨く	eラーニング	4時間
経済	HSE099	<eラーニング>（PDU）よくわかるマクロ経済1― 効率性と公平性、アダムスミスとケインズ ―	eラーニング	4時間
	HSE100	<eラーニング>（PDU）よくわかるマクロ経済2 ― GDP、為替、財政 ―	eラーニング	6時間
	HSE101	<eラーニング>（PDU）よくわかるマクロ経済3 ― 金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーター ―	eラーニング	4時間
	HSE102	<eラーニング>（PDU）よくわかるマクロ経済4 ― 景気循環、経済成長、格差社会と少子高齢化 ―	eラーニング	6時間
	HSE118	<eラーニング>（PDU）よくわかるビジネス・ミクロ経済1 ― 経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論 ―	eラーニング	6時間
	HSE098	<eラーニング>（PDU）よくわかるビジネス・ミクロ経済2 ― 不完全な情報、期待効用、行動経済学 ―	eラーニング	4時間
	HSE103	<eラーニング>（PDU）よくわかるファイナンス1 ― 投資の判断、リスクとリターン ―	eラーニング	4時間
	HSE104	<eラーニング>（PDU）よくわかるファイナンス2 ― 企業価値評価 ―	eラーニング	4時間
	HSE105	<eラーニング>（PDU）よくわかるファイナンス3 ― 資金調達の方法 ―	eラーニング	6時間
	HSE106	<eラーニング>（PDU）よくわかるファイナンス4 ― M&A、コーポレートガバナンス、財務計画 ―	eラーニング	6時間
古典	HSE109	<eラーニング>経世済民の哲学としての朱子学 休講	eラーニング	10時間
	HSE111	<eラーニング>（PDU）孫子の兵法を現代に役立てる方法	eラーニング	10時間
	HSE115	<eラーニング>（PDU）中国古典に見る指導者の条件	eラーニング	10時間
	HSE112	<eラーニング>（PDU）「韓非子」のリーダ学	eラーニング	10時間
	HSE113	<eラーニング>（PDU）「貞観政要」に学ぶリーダの心得	eラーニング	10時間
	HSE114	<eラーニング>（PDU）「書経」に学ぶリーダの心得	eラーニング	10時間
	HSE110	<eラーニング>（PDU）リーダに必要な人間力 三国志から学ぶリーダ学	eラーニング	10時間

eラーニング　コースコード HSE158

<eラーニング>（PDU）財務諸表の基礎知識 PDU

4時間

財務諸表の目的（役割）と用語を学習します。財務三表ともいわれる貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書の仕組みや見方の基礎を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：4ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・財務諸表の基礎を理解し、分析のための前提知識が説明できる。
・経済の時事・動向に興味をもち、業務に活かせる。

対象者
・財務諸表の構成、内容を知りたい方。
・財務の入門知識を簡単に確認したい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 財務諸表の概念
2. 貸借対照表
3. 損益計算書
4. キャッシュフロー計算書
5. 修了試験

受講料 ¥14,300

eラーニング　コースコード HSE129

<eラーニング>SNSのリスクと利用時のガイドライン

1時間

SNSの特性やリスクについて事例を交えて紹介します。トラブルを未然に防ぐ重要性とそのポイントを学習し、SNS利用時のガイドラインを紹介します。また、万一、トラブルが起きた時に影響を最小化するためのポイントを学習します。

到達目標
・SNSの特性、リスクを理解できる。
・トラブル予防の重要性を理解し、実行できる。
・迅速な対応の重要性を理解し、トラブル発生可能性がある、または発生した際に適切な初期対応ができる。

対象者
・SNSを利用している全ての方。
・SNS上のトラブルを予防したい方。
・トラブル発生時の対応を知りたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. SNSとは
　(1)SNSとは　(2)SNSの影響力
　(3)利便性と危険性の共存
　(4)トラブルに巻き込まれる企業
　(5)SNSのトラブルは身近な問題
2. SNSの特性
　(1)SNS理解の重要性
　(2)SNSの特性　(3)SNS利用時には
3. SNSのリスクおよび個人・企業への影響
　(1)SNSのリスクを知る意義
　(2)SNSのリスク分類
　(3)企業の機密情報の漏えい
　(4)顧客情報の漏えい
　(5)私的な投稿によるトラブル
　(6)著作権・肖像権侵害リスク
　(7)不適切な業務遂行に関する投稿
　(8)誹謗中傷・風評
　(9)なりすまし
　(10)企業におよぼす影響
4. SNS利用時のガイドライン
　(1)トラブル防止の重要性
　(2)SNS利用時のガイドライン
　(3)ガイドラインの目的
5. トラブル発生時の対応
　(1)初期対応の重要性　(2)トラブル対応の流れ
　(3)企業の初期対応　(4)従業員の初期対応
6. まとめ
　(1)SNSのリスクの再確認
　(2)今後に向け

受講料 ¥6,600

eラーニング　コースコード HSE134

<eラーニング>サプライチェーンマネジメント（SCM）基礎−世界標準の知見に基づいた戦略的SCMの実現へ向けて−

3時間

SCM関連業務に関わる基礎的ながらも改善に関わる重要なキーワードを取り上げ、SCMの世界標準の知見を踏まえ、演習なども交えながら学習します。在庫・物流業務等、製造業の主たる一連のマネジメント業務とその関連知識を学習します。標準的な英語を合わせて学習することで、国内外の社内外の組織との連携の円滑化に求められる知識が底上げされます。eラーニングですので、安心して受講いただけるとともに、ご自身の都合の良い時間での受講が可能となります。

到達目標
・担当する関連業務の質とスピードの向上ができる。
・国内外の関連部門、組織との連絡効率の向上ができる。

対象者
・製造・流通・物流業の営業・マーケティング、SCM、需給調整、生産管理、製造・倉庫、調達・購買・資材関連業務部門関係者の方。
・SCM関連コンサル・ITエンジニアの方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. サプライチェーンの戦略
2. サプライチェーンの設計
3. サプライチェーンの計画
4. サプライチェーンの計画演習 ～需要予測～在庫基準の検討演習～
5. サプライチェーンの実行と管理
6. サプライチェーンの測定 ～KPIと財務指標～

受講料 ¥19,800

集合　コースコード HSJ226

体験型サプライチェーン経営（SCM）学習プログラム「The Fresh Connection」

2日間

架空のフルーツジュース製造業、The Fresh Connection社のサプライチェーン経営（SCM）の疑似体験を通じ、SCM関連の業務プロセスを把握し、このプロセス上で行う意思決定が、業績にどう影響するかを体験学習します。加えて、チームでプレーすることにより、業務間の繋がりの持つ意味や、戦略に沿ったチームでの意思決定の有り方を体験学習します。

到達目標
・目標と戦略を実現できる意思決定、組織間連携の加速ができる。
・経営・財務の視点を踏まえた改善活動の加速ができる。
・SCM業務・コミュニケーションの円滑化ができる。

対象者
・製造・流通・物流業の営業・マーケティング、SCM、需給調整、生産管理、製造・倉庫、調達・購買資材関連業務部門関係者の方。
・SCM関連コンサル・ITエンジニアの方。

前提知識 特に必要としませんが、次の前提条件を満たしていることが望ましいです。
・SCMに関わる基本的な役割と業務内容を理解していること。
・財務諸表（損益計算書、貸借対照表）の基本的な見方を理解していること。
※自信のない方には、「サプライチェーン経営（SCM）の世界標準APICSの認定講師と学ぶSCM基礎」の同時受講をお薦めします。

内　容
1. チーム編成　イントロ
2. ラウンド1（1期）
3. ラウンド2（2期）
4. ラウンド3（3期）
5. ラウンド4（4期）
6. ラウンド5（5期）
7. ラウンド6（6期）
8. 結果発表　振り返り

受講料 ¥162,800

eラーニング　コースコード HSE161

<eラーニング>思考技法の概要

4時間

これまで以上に業務における「思考」のウェイトが増しています。このような状況に対応するため、古今東西のあらゆる思考技法を、発想と情報整理の技法を中心に広く浅く学習します。

到達目標
・業務における思考の重要性を理解し、思考に時間を割く意識が持てる。
・各思考法の特長とそれぞれの適用シーンを理解できる。
・自己業務で有効な思考法を特定し、その技法の修得計画を立案できる。

対象者
・思考法についてこれから学習をはじめる方。
・アイデア出しや情報を整理する必要があり、その手法を知りたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 発散技法
　(1)ブレインストーミング
　(2)ブレインライティングほか多数
2. 収束技法
　(1)KJ法
　(2)特性要因図ほか多数
3. 統合技法
　(1)ケプナートリゴー法
　(2)TOC思考プロセス
　(3)バランススコアカード
　(4)ロジックツリーほか多数
4. 態度技法
5. 修了試験

受講料 ¥13,200

eラーニング　コースコード HSE126

<eラーニング>ロジカルシンキング基礎−論理の可視化と論理チェックのポイント−

8時間

問題を解決する際や、相手の納得を得られるために伝える際に必要となる、論理的思考の標準的なプロセスと構成を学習します。日々の業務での出来事・経験と自己の成長と結び付けながら思考技術を学習します。

到達目標
・論理展開の基本が理解できる。
・前提から結論までの論理のつなぎかたを理解できる。
・事実としての正しさを考える論理的問題解決のプロセスを理解できる。

対象者
・問題解決の標準的な進め方を身につけたい方。
・うまく相手に伝えられないと感じている方。
・仕事のやり方を概念的に見つめ直したい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 論理的思考の基礎知識
　(1)意味論と構文論
　(2)論点と切り口
　(3)問題解決のプロセス
　(4)仮説検証サイクル
　(5)挙げる（拡散思考）/絞る（収束思考）/確かめる（事実による検証）
2. 構文論の基本
　(1)演繹法のポイント
　(2)帰納法のポイント
3. 構文論力の向上の方法
　(1)ピラミッドストラクチャによる論理構成の可視化
　(2)「なぜそう言えるの?」と「だから何が言えるの?」
　(3)「なぜ大事な論点が漏れていないと言えるの?」
　(4)「話の筋が通っているってどういうこと?」
4. 意味論力向上の方法
　(1)選択肢を挙げる/絞り込む手法
　(2)問題解決のプロセスへの論理思考の適用

受講料 ¥18,700

eラーニング　コースコード HSE163

<eラーニング>QFD（品質機能展開）で学ぶマトリクス表の上手な使い方 −マトリクス表を使って「決める」を考える−

4時間

QFD（品質機能展開）の手法を学習します。

到達目標 QFD（品質機能展開）の概要を説明できる。

対象者
・「決める」プロセスを知りたい方。
・QFDに興味のある方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. QFDの基礎知識
　(1)QFDとは何か?
　(2)QFDはどう役立つのか?
　(3)QFDはどう進めるのか?
　(4)品質って何?
2. 要求分析の手順とポイント
　(1)要求品質の抽出
　(2)品質企画の設定
　(3)品質特性の抽出
　(4)要求品質と品質特性の関連付け
　(5)品質設計の設定
3. 考える手順の応用
　(1)どんな横軸・縦軸が考えられるか?
　(2)決めたいことには何があるか?

受講料 ¥13,200

eラーニング　コースコード HSE164

<eラーニング>TRIZで学ぶ発想のパターン −科学的な強制発想法−

4時間

TRIZの手法を学習します。

到達目標 TRIZの概要を説明できる。

対象者
・「発想する」プロセスを知りたい方。
・TRIZに興味のある方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. TRIZの基礎知識
　(1)TRIZとは何か?
　(2)TRIZはどう役立つのか?
　(3)TRIZはどう進めるのか?
2. 矛盾を定義する
　(1)何を良くしたいのか?
　(2)誰の究極の理想解なのか?
　(3)何が妨げになるのか?
3. 解決策を考える
　(1)40の発明原理
　(2)矛盾解決マトリクス（48のパラメータ）

受講料 ¥13,200

eラーニング　コースコード HSE165

<eラーニング>意思決定のスキル −合理と心理を理解したうえでの意思決定−

4時間

ロジカルシンキングを踏まえ、ビジネス上の意思決定の場面において必要な基本概念とスキルを学習できます。意思決定において無意識のうちに行ってしまう錯誤のパターンをクイズ形式で解きながら体感します。

到達目標
・意思決定の際に無意識に行ってしまう勘違いを理解し「思考のワナ」に陥ることなく正しい意思決定ができる。
・阻害要因などを取り除き、状況を整理してから意思決定を行うことができる。
・デシジョンツリーを使って合理的な意思決定の考え方を理解できる。

対象者
・決めることに毎回迷いのある方。
・何かを決める際に一貫性がないと思われる方。
・何かを決めた後によく後悔のある方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。（20年度まで開講しておりました「ロジカルシンキング基礎」をご受講の方は同等とみなします）

内　容
1. 意思決定における心理的側面
　(1)ヒューリスティックによるバイアス
　(2)フレーミングによるバイアス
2. 合理的意思決定の考え方
　(1)デシジョンツリーの作り方
　(2)期待値とミニマックス

受講料 ¥12,100

eラーニング　コースコード HSE166

<eラーニング>【スキル定着】相手を納得させる論理構成力を磨く

4時間

ロジックツリーやピラミッドストラクチャを何度も作って練習します。例えば、相手を納得させなければならない企画・提案の状況をケースとして設定し、その中で相手を納得させる論理構成をピラミッドストラクチャで作ります。

到達目標 ロジックツリーやピラミッドストラクチャに対して自分なりの活用シーン、活用の型をイメージできるようになる。

対象者
・営業・ITエンジニア（若手・中堅）の方。
・ロジカルシンキング基礎を学び、ロジックツリーやピラミッドストラクチャを理解したが、練習の機会が研修だけで実務に適用するには不安のある方。
・もっとさまざまな問題を解いて活用に慣れたい方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識（ロジックツリーやピラミッドストラクチャの理解）があること。

内　容
1. 論拠をつなげて主張をとおす
2. 論拠を事実で支える
3. 結論を支える枠組みを考える
4. 結論を納得させるうえで何が言えればよいかを考える
5. 何が言えればよいか、を構造的に整理する

受講料 ¥14,300

eラーニング　コースコード HSE099

<eラーニング>（PDU）よくわかるマクロ経済1 −効率性と公平性、アダムスミスとケインズ− PDU

4時間

ビジネスに必要な知識である経済用語、経済データ、経済の仕組み、経済理論を学ぶだけではなく、各々の理論の枠を超えた経済思想について、その思想の社会的背景を踏まえて学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・一国経済全体や世界経済の動きを論理的に分析し、それが自分のビジネスや生活にどのように関わるのかを理解できる。
・時代背景を含めて経済思想を学び、現在の経営判断に活用できる。
・経済論理を使って、将来をどこまで予測でき、どこからは予測できないかを認識できる。

対象者
・対象業務・業界に参入した方。
・マクロ経済について概要や動向、業務などに不理解な点があり、整理して理解したいと考えている方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 望ましい経済とは何か? - 効率性と公平性 -
2. 市場経済 - アダム・スミスの思想と時代背景から何を学ぶか-
3. 有効需要管理政策 - ケインズ理論と時代背景から何を学ぶか-
※「よくわかるマクロ経済1 - 4」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

受講料 ¥17,600

eラーニング　コースコード HSE100

<eラーニング>（PDU）よくわかるマクロ経済2 −GDP、為替、財政− PDU

6時間

ビジネスに必要な知識である経済用語、経済データ、経済の仕組み、経済理論を学ぶだけではなく、各々の理論の枠を超えた経済思想について、その思想の社会的背景を踏まえて学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：4ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・一国経済全体や世界経済の動きを論理的に分析し、それが自分のビジネスや生活にどのように関わるのかを理解できる。
・時代背景を含めて経済思想を学び、現在の経営判断に活用できる。
・経済論理を使って、将来をどこまで予測でき、どこからは予測できないかを認識できる。

対象者
・対象業務・業界に参入した方。
・マクロ経済について概要や動向、業務などに不理解な点があり、整理して理解したいと考えている方。

前提知識 「（PDU）よくわかるマクロ経済1ー効率性と公平性、アダムスミスとケインズー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 国内総生産（GDP）・物価の推移
2. 為替レートの推移と日本経済
3. 財政の3機能
4. 財政危機と日本経済
※「よくわかるマクロ経済1 - 4」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

受講料 ¥17,600

ビジネス
経営力
思考力／考え抜く力
チームで働く力
前に踏み出す力
目的別（コンプライアンス／業種・業界／ビジネス教養）

eラーニング　コースコード　HSE101

<eラーニング>（PDU）よくわかるマクロ経済3 −金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーター− PDU

eラーニング 4時間

ビジネスに必要な知識である経済用語、経済データ、経済の仕組み、経済理論を学ぶだけではなく、各々の理論の枠を超えた経済思想について、その思想の社会的背景を踏まえて学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・一国経済全体や世界経済の動きを論理的に分析し、それが自分のビジネスや生活にどのように関わるのかを理解できる。
・時代背景を含めて経済思想を学び、現在の経営判断に活用できる。
・経済論理を使って、将来をどこまで予測でき、どこからは予測できないかを認識できる。

対象者 ビジネスにマクロ経済学を活用したい方。

前提知識 「（PDU）よくわかるマクロ経済1ー効率性と公平性、アダムスミスとケインズー」eラーニングコース、および「（PDU）よくわかるマクロ経済2ーGDP、為替、財政ー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 金融政策
2. 選択の自由 - ハイエクとフリードマンの思想と時代背景から何を学ぶのか-
3. イノベーション - シュンペーターの思想と時代背景から何を学ぶか-

※「よくわかるマクロ経済1 - 4」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

受講料 ¥17,600

eラーニング　コースコード　HSE102

<eラーニング>（PDU）よくわかるマクロ経済4 −景気循環、経済成長、格差社会と少子高齢化− PDU

eラーニング 6時間

ビジネスに必要な知識である経済用語、経済データ、経済の仕組み、経済理論を学ぶだけではなく、各々の理論の枠を超えた経済思想について、その思想の社会的背景を踏まえて学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：3.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・一国経済全体や世界経済の動きを論理的に分析し、それが自分のビジネスや生活にどのように関わるのかを理解できる。
・時代背景を含めて経済思想を学び、現在の経営判断に活用できる。
・経済論理を使って、将来をどこまで予測でき、どこからは予測できないかを認識できる。

対象者 ビジネスにマクロ経済学を活用したい方。

前提知識 「（PDU）よくわかるマクロ経済1ー効率性と公平性、アダムスミスとケインズー」/「（PDU）よくわかるマクロ経済2ーGDP、為替、財政ー」/「（PDU）よくわかるマクロ経済3ー金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーターー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 景気循環
2. 経済成長
3. 格差社会（+複雑系経済）
4. 少子化と高齢化の日本経済への影響（+フリー経済・シェア経済）

※「よくわかるマクロ経済1 - 4」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

受講料 ¥17,600

eラーニング　コースコード　HSE118

<eラーニング>（PDU）よくわかるビジネス・ミクロ経済1 −経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論− PDU

eラーニング 6時間

ビジネスでの活用を念頭に、ビジネスケースにおける課題を提示し、その課題解決のための有効な枠組みとしてミクロ経済学の思考法と理論を学習します。数式は多用せず、言葉とグラフによる論理展開によって、文系出身のビジネスマンにも理解できるよう紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：3ポイント）の取得が可能です。

到達目標 ミクロ経済学の理論を活用して、ビジネス上での課題をより適切に解決できる。

対象者
・対象業務・業界に参入した方。
・ビジネス・ミクロ経済について概要や動向、業務などに不理解な点があり、整理して理解したいと考えている方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 経済学の思考法をビジネスに活かす【エコカー導入のケース】
2. 誤った費用分析が誤った判断を引き起こす【受注可否判断のケース】
3. 市場経済の機能と限界【アウトソーシング判断のケース】
4. ライバルとの駆け引きくゲーム理論>【価格戦略・出店戦略に関するケース】
5. 修了試験

※「よくわかるビジネス・ミクロ経済1 - 2」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

受講料 ¥17,600

eラーニング　コースコード　HSE098

<eラーニング>（PDU）よくわかるビジネス・ミクロ経済2 −不完全な情報、期待効用、行動経済学− PDU

eラーニング 4時間

ビジネスでの活用を念頭に、ビジネスケースにおける課題を提示し、その課題解決のための有効な枠組みとしてミクロ経済学の思考法と理論を学習します。数式は多用せず、言葉とグラフによる論理展開によって、文系出身のビジネスマンにも理解できるよう紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標 ミクロ経済学の理論を活用して、ビジネス上での課題をより適切に解決できる。

対象者
・対象業務・業界に参入した方。
・ビジネス・ミクロ経済について概要や動向、業務などに不理解な点があり、整理して理解したいと考えている方。

前提知識 「（PDU）よくわかるビジネス・ミクロ経済1ー経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論ー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 情報不完全が現実経済をこう変える【大手ブランドのOEMか自社ブランドか判断するケース】
2. 人はなぜ保険に入るのか<期待効用理論>【成果型賃金体系の導入検討のケース】
3. 合理性と非合理性が入り交じる相場の世界<行動経済学>【ネット証券の新サービス企画のケース】

※「よくわかるビジネス・ミクロ経済1 - 2」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

受講料 ¥17,600

eラーニング　コースコード　HSE103

<eラーニング>（PDU）よくわかるファイナンス1 −投資の判断、リスクとリターン− PDU

eラーニング 4時間

ファイナンスの基本論点をマスターするだけではなく、ファイナンスに関する指標を計算し、その指標を用いて経営を語ることができるように学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：3.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・自社や投資プロジェクトの収益率の計算方法が分かり、自分でExcelを使って計算できる。
・ベンチャー企業へ出資する際、どのような点を考慮すれば企業価値向上に貢献できるのかを理解できる。
・出資か借り入れか、株主構成はどうあるべきか等に関し、勘所を理解できる。
・理論を自分の仕事に当てはめて考え、ファイナンスの視点から振り返ることができる。

対象者 ファイナンスの知識を業務に活用したい方。

前提知識 Excelの基本的操作ができること。

内　容
1. ファイナンスの重要性・講義概要
2. 投資の判断
3. リスクとリターン

※「よくわかるファイナンス1 - 4」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

受講料 ¥17,600

eラーニング　コースコード　HSE104

<eラーニング>（PDU）よくわかるファイナンス2 −企業価値評価− PDU

eラーニング 4時間

ファイナンスの基本論点をマスターするだけではなく、ファイナンスに関する指標を計算し、その指標を用いて経営を語ることができるように学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・自社や投資プロジェクトの収益率の計算方法が分かり、自分でExcelを使って計算できる。
・ベンチャー企業へ出資する際、どのような点を考慮すれば企業価値向上に貢献できるのかを理解できる。
・出資か借り入れか、株主構成はどうあるべきか等に関し、勘所を理解できる。
・理論を自分の仕事に当てはめて考え、ファイナンスの視点から振り返ることができる。

対象者 ファイナンスの知識を業務に活用したい方。

前提知識
・Excelの基本的操作ができること。
・「（PDU）よくわかるファイナンス1ー投資の判断、リスクとリターンー」eラーニングコースを修得しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 企業価値評価　（1）
2. 企業価値評価　（2）
3. 企業価値と資本構成

※「よくわかるファイナンス1 - 4」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

受講料 ¥17,600

eラーニング　コースコード　HSE105

<eラーニング>（PDU）よくわかるファイナンス3 −資金調達の方法− PDU

eラーニング 6時間

ファイナンスの基本論点をマスターするだけではなく、ファイナンスに関する指標を計算し、その指標を用いて経営を語ることができるように学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：3.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・自社や投資プロジェクトの収益率の計算方法が分かり、自分でExcelを使って計算できる。
・ベンチャー企業へ出資する際、どのような点を考慮すれば企業価値向上に貢献できるのかを理解できる。
・出資か借り入れか、株主構成はどうあるべきか等に関し、勘所を理解できる。
・理論を自分の仕事に当てはめて考え、ファイナンスの視点から振り返ることができる。

対象者 ファイナンスの知識を業務に活用したい方。

前提知識
・Excelの基本的操作ができること。
・「（PDU）よくわかるファイナンス1ー投資の判断、リスクとリターンー」/「（PDU）よくわかるファイナンス2ー企業価値評価ー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 資金調達の方法
2. 債券
3. 株式
4. デリバティブ、予想レンジ

※「よくわかるファイナンス1 - 4」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

受講料 ¥17,600

eラーニング　コースコード　HSE106

<eラーニング>（PDU）よくわかるファイナンス4 −M&A、コーポレートガバナンス、財務計画− PDU

eラーニング 6時間

ファイナンスの基本論点をマスターするだけではなく、ファイナンスに関する指標を計算し、その指標を用いて経営を語ることができるように学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：3.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・自社や投資プロジェクトの収益率の計算方法が分かり、自分でExcelを使って計算できる。
・ベンチャー企業へ出資する際、どのような点を考慮すれば企業価値向上に貢献できるのかを理解できる。
・出資か借り入れか、株主構成はどうあるべきか等に関し、勘所を理解できる。
・理論を自分の仕事に当てはめて考え、ファイナンスの視点から振り返ることができる。

対象者 ファイナンスの知識を業務に活用したい方。

前提知識
・Excelの基本的操作ができること。
・「（PDU）よくわかるファイナンス1ー投資の判断、リスクとリターンー」/「（PDU）よくわかるファイナンス2ー企業価値評価ー」/「（PDU）よくわかるファイナンス3ー資金調達の方法ー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 外国為替管理、合併・買収・ガバナンス
2. 財務計画
3. ベンチャーファイナンス
4. まとめ（企業評価のケーススタディ）

※「よくわかるファイナンス1 - 4」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

受講料 ¥17,600

eラーニング　コースコード　HSE109　休講

<eラーニング>経世済民の哲学としての朱子学

eラーニング 10時間

朱子学を通してモラルセンスの向上を学習します。経世済民（世の乱れを治め、人の苦しみを救うこと）をめざす実践的かつ人道的な朱子学ならびに陰陽五行、医学など中国思想を広く学習します。

到達目標
・朱子学で使われる主要な用語を理解できる。
・朱子学の概要を理解できる。
・朱子学を自身のモラルセンス向上に役立てることができる。

対象者
・自己のモラルセンスを高め、より良い社会、顧客価値を追求したい方。
・リーダとしてコンプライアンス意識向上の必要性を感じている方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 朱子学の誕生
　（1）朱子学とは
2. 朱子学から見た宇宙
　（1）世の中を構成する理と気を知る
3. 朱子学から見た人間
　（1）自分自身の法則を知り、道心にしたがう
4. 朱子学から見た人生
　（1）天命を果たすために困難に立ち向かい学ぶことで自分を鍛える
5. 朱子学から見た学問
　（1）モラルセンスのある人になるために学ぶ
6. 朱子学から見た教育
　（1）本当の意味で豊かな社会を実現するための教育
7. 朱子学の展開
　（1）これからのトップやリーダに求められる素質とは
8. 修了試験

受講料 ¥33,000

eラーニング　コースコード　HSE111

<eラーニング>（PDU）孫子の兵法を現代に役立てる方法 PDU

eラーニング 10時間

孫子の兵法の概要を理解したうえで、その教えを現代に活かすための考え方を学習します。このコースでは「孫武の兵法」に加え、戦国時代の「孫臏の兵法」の両方を紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：8ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・孫子の兵法の概要を理解できる。
・孫子の兵法を活用するための思考方法を会得できる。

対象者
・「孫子の兵法」に興味がある方。
・これから戦略を学び始める方で、古典を知っておきたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 孫武の兵法始計から謀攻まで
　（1）中国兵法を現代のビジネスに活かすにあたり必要なこと
2. 孫武の兵法軍形から虚実まで
　（1）戦わずして勝つ方法
3. 孫武の兵法軍争から行軍まで
　（1）戦わずして勝つ方法
4. 孫武の兵法地形から用間まで
　（1）状況や環境に応じてやり方を変える
5. 孫ぴんの兵法擒ホウ涓から殺士まで
　（1）成功には信用と正義が欠かせない
6. 孫ぴんの兵法延気から将義まで
　（1）イマジネーションを働かせて活用の方法を考えてみる
7. 孫ぴんの兵法将徳から奇正まで
　（1）事前に準備をし、勝ちに行ける状態を作っておく
8. 修了試験

受講料 ¥33,000

eラーニング　コースコード　HSE115

<eラーニング>（PDU）中国古典に見る指導者の条件 PDU

eラーニング 10時間

ヒューマニズムに立って「徳治」を主張した「論語」、性悪説に立って「法」と「術」による統治を唱えた「韓非子」、それらに類する中国古典を通して現代におけるリーダの条件を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：7ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・「徳治」、「法と術による統治」の考え方と思想を理解できる。
・リーダとしての正しい判断力を会得できる。

対象者
・リーダとしての振る舞いに悩み・疑問を抱えている方。
・リーダ像を考えるきっかけを必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 今なぜ中国古典か -「修己治人」の学
2. 孔子のめざしたもの -「事上磨錬」の教え
3. 信頼される指導者の条件とは -『徳』の教え
4. 「韓非子」と性悪説
5. 法と術による統治 - 部下を使うことについて
6. 危機管理について -「狡兎三窟」
7. 指導者の要件とは -「桃李不言、下自成蹊」について
8. 修了試験

受講料 ¥33,000

eラーニング　コースコード　HSE112

<eラーニング>（PDU）「韓非子」のリーダ学 PDU

eラーニング 10時間

中国戦国時代の法家である韓非子の著書「韓非子」から、春秋・戦国時代の思想・社会における性悪説に立ったリーダのあり方について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：5ポイント）の取得が可能です。

到達目標 従来の「性善説」に基づく組織運営に、「性悪説」に基づく組織運営のよいところを取り入れるポイントを理解できる。

対象者
・リーダとしての振る舞いに悩み・疑問を抱えている方。
・今後リーダになるにあたり、リーダ像を考えるきっかけを必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 韓非子の思想
　（1）理想のトップとしてのあり方
2. 理想のリーダ像
　（1）部下に心の中を見せないようにする
3. 組織管理のコツ
　（1）部下に権限を与えすぎないようにする
4. トップの自滅する理由
　（1）トップは過ちを犯した場合、すぐ改めるようにする
5. 実権者に仕える心得
　（1）部下はトップに対し、礼儀を持ち、諫言はほのめかすように伝える
6. 現実を生きる人間像
　（1）大事になる前に手を打つことが、問題解決の秘訣である
7. 韓非子の名言
　（1）トップは部下を信用しすぎないようにする
8. 修了試験

受講料 ¥33,000

eラーニング / コースコード HSE113

<eラーニング>（PDU）「貞観政要」に学ぶリーダの心得 PDU

eラーニング 10時間

帝王学の指南書とされる「貞観政要」を通して、現代企業の経営者が持つべき指導者のあり方、人間に不変な倫理観について理論面と行動面を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・経営者として持つべきリーダシップに必要な考え方を理解できる。
・あるべきリーダとなるために琢磨を推進する基礎力を会得する。

対象者
・リーダとしての振る舞いに悩み・疑問を抱えている方。
・今後リーダになるにあたり、リーダ像を考えるきっかけを必要とする方。

前提知識
「（PDU）中国古典に見る指導者の条件」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 創業か守成か
　(1) 創業（攻めの経営）と守成（守りの経営）ではどちらが難しいか
2. わが身を正す
　(1) トップが自分の姿勢を正すようにすると、部下はついてくる
3. 緊張感を持続させる
　(1) 安定している時こそ気持ちを引き締める
4. 諫言に耳を傾ける
　(1) 部下が意見を言いやすい環境作りを心がける
5. 自己コントロール
　(1) 私利私欲をなくしてこそ、組織をまとめていくことができる
6. 謙虚にそして慎重に
　(1) トップの発言は影響力が大きいため、謙虚さ・慎重さを忘れない
7. 初心忘るべからず
　(1) 初心に戻り、自分を戒め、前に進んでいく
8. 修了試験

受講料 ¥33,000

eラーニング / コースコード HSE114

<eラーニング>（PDU）「書経」に学ぶリーダの心得 PDU

eラーニング 10時間

儒教の唱えた政治学の原典とされる「書経」を通して、組織を統率する者はどうあるべきか、時代を超えて現代にも当てはまる指導者の心得の条件を先人の苦労を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・組織を統率するのに必要な技術力や能力を高められる。
・リーダとして、組織のさまざまな担当者の立場と心得を理解できる。

対象者
・リーダとしての振る舞いに悩み・疑問を抱えている方。
・今後リーダになるにあたり、リーダ像を考えるきっかけを必要とする方。

前提知識
特に必要としません。

内 容
1. 堯と舜 - 理想の天子
　(1) 堯と舜から組織をまとめていくコツを学ぶ
2. 禹 - 治水の功労者
　(1) リーダの率先垂範、刻苦精励により部下はついてくる
3. 殷の湯王 - 日々に新たに
　(1) リーダは日々徳を身につけ、より良くなるように努める
4. 伊尹と太甲
　(1) 仕事を成功させる秘訣は「熟慮」と「断行」である
5. 傅説と高宗
　(1) 補佐役の重要性について説くとともに、なるほどと思ったことは実行に移していく
6. 周の文王と武王
　(1) どんな仕事でも、最後まで気を抜かずにとりかかる
7. 周公旦と成王
　(1) 大きな仕事を成し遂げるためには「志」と「勤」が必要である
8. 修了試験

受講料 ¥33,000

eラーニング / コースコード HSE110

<eラーニング>（PDU）リーダに必要な人間力 三国志から学ぶリーダ学 PDU

eラーニング 10時間

正史『三国志』にもとづき、主な登場人物 - 魏の曹操、蜀の劉備、呉の孫権、蜀の諸葛亮、魏の司馬懿らを取り上げ、彼らがこの激動の時代を、どう生き抜いたのか、また、リーダとしてどんな長所を持っていたのか、そのあたりを中心に紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：7ポイント）の取得が可能です。

到達目標 激動の時代を生きた『三国志』のリーダから、現代を生きる知略と勇気を学ぶことができる。

対象者 3年以上の業務経験がある方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 非常の人、曹操1
2. 非常の人、曹操2
3. 蜀の劉備
4. 呉の孫権
5. 戦略家、諸葛亮1
6. 名宰相、蜀の諸葛亮2
7. 権謀家、魏の司馬懿

受講料 ¥33,000

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

プロジェクトマネジメント

プロジェクトの計画・実行を行うために必要な知識や手順、技法が修得できます。

プロジェクトマネジメントの全体像の理解

PMコアコース

レベル1

PMV065 オンライン
プロジェクトマネジメント基礎
グループ演習 | 2日間

休講 PDU
PMJ066 集合
(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践
グループ演習 | 2日間

PME022 eラーニング
プロジェクトマネジメント基礎
音声なし+説明文有 | 8時間

レベル2

休講 PDU
PMV003 オンライン
(PDU)
プロジェクト経験者のための
プロジェクトマネジメント上級編
グループ演習 | 2日間

レベル3

PMBOK®ガイド

レベル1

PDU
PMV108 オンライン
(PDU)
PMBOK®ガイド
第7版セミナー
レクチャ | 2日間

※このコース群は、全12本のeラーニングで*PMBOK®ガイド*第7版を学習します。

PDU
PME024 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(1)PMを取り巻くもの−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME025 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(2)原理・原則−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME026 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー −(3)ステークホルダー・パフォーマンス領域−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME027 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(4)チーム・パフォーマンス領域−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME028 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー −(5)開発アプローチとライフサイクル・パフォーマンス領域−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME029 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(6)計画パフォーマンス領域−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME030 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー −(7)プロジェクト作業パフォーマンス領域−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME031 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー −(8)デリバリー・パフォーマンス領域−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME032 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(9)測定パフォーマンス領域−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME033 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(10)不確かさパフォーマンス領域−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME034 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(11)テーラリング−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME035 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(12)モデル、方法、作成物−
音声有+説明文有 | 2時間

レベル2

レベル3

*PMBOK®ガイド*とPMP®はプロジェクトマネジメント協会(Project ManagementInstitute, Inc.)の登録商標です。

PDU ：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。3年間で60PDUが必要です。

レベル1 ：プロジェクト経験がほとんど無い方、または、プロジェクト経験が比較的浅い方
レベル2 ：プロジェクト経験がある程度ある方で、プロジェクトマネージャ候補の方、またはプロジェクトマネージャとして活動を開始された方
レベル3 ：複数のプロジェクトの経験を有し、プロジェクトマネージャとして活動されている方

PMP®資格取得コース

レベル1	レベル2	レベル3

PDU
PMV094 オンライン
PMP®資格試験対策
5日間コース
【パーソル総合研究所 ライブ配信】
レクチャ | 5日間

*PMBOK®ガイド*の知識エリア・PMヒューマンスキル

PMBOK®ガイド

レベル1	レベル2	レベル3

PDU
PMV108 オンライン
(PDU)
PMBOK®ガイド
第7版セミナー
レクチャ | 2日間

※このコース群は、全12本のeラーニングで*PMBOK®ガイド*第7版を学習します。

PDU
PME024 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(1)PMを取り巻くもの−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME025 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(2)原理・原則−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME026 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー −(3)ステークホルダー・パフォーマンス領域−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME027 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(4)チーム・パフォーマンス領域−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME028 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*第7版
セミナー −(5)開発アプローチとライフサイクル・パフォーマンス領域−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME029 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(6)計画パフォーマンス領域−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME030 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*第7版
セミナー −(7)プロジェクト作業パフォーマンス領域−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME031 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー −(8)デリバリー・パフォーマンス領域−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME032 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(9)測定パフォーマンス領域−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME033 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(10)不確かさパフォーマンス領域−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME034 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(11)テーラリング−
音声有+説明文有 | 2時間

PDU
PME035 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(12)モデル、方法、作成物−
音声有+説明文有 | 2時間

※このコース群は、全12本のeラーニングで*PMBOK®ガイド*をプロセスベースで学習します。

PDU
PME036 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(1)
プロジェクトとは
音声有+説明文なし | 2時間

PDU
PME037 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(2) プロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネジャーの役割
音声有+説明文なし | 2時間

PDU
PME038 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(3)
統合マネジメント
音声有+説明文なし | 2時間

PDU
PME039 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(4)
スコープ・マネジメント
音声有+説明文なし | 2時間

PDU
PME040 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(5)
スケジュール・マネジメント
音声有+説明文なし | 2時間

PDU
PME041 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(6)
コスト・マネジメント
音声有+説明文なし | 2時間

PDU
PME042 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(7)
品質マネジメント
音声有+説明文なし | 2時間

PDU
PME043 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(8)
資源マネジメント
音声有+説明文なし | 2時間

PDU
PME044 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(9)
コミュニケーション・マネジメント
音声有+説明文なし | 2時間

PDU
PME045 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(10)
リスク・マネジメント
音声有+説明文なし | 2時間

PDU
PME046 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(11)
調達マネジメント
音声有+説明文なし | 2時間

PDU
PME047 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(12)
ステークホルダー・マネジメント
音声有+説明文なし | 2時間

プロジェクトマネジメント
プロジェクトマネジメント
プロジェクトマネジメント資格取得

レベル1 ：プロジェクト経験がほとんど無い方、または、プロジェクト経験が比較的浅い方
レベル2 ：プロジェクト経験がある程度ある方で、プロジェクトマネージャ候補の方、またはプロジェクトマネージャとして活動を開始された方
レベル3 ：複数のプロジェクトの経験を有し、プロジェクトマネージャとして活動されている方

*PMBOK®ガイド*とPMP®はプロジェクトマネジメント協会（Project ManagementInstitute, Inc.）の登録商標です。
PDU ：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。3年間で60PDUが必要です。
音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

見積技術

レベル1	レベル2	レベル3
PDU PME005 eラーニング (PDU)2時間でわかる ファンクションポイント法 音声有+説明文なし | 2時間 PDU PME023 eラーニング (PDU) ファンクションポイント法基礎 音声なし+説明文有 | 4時間		

スコープ・マネジメント

レベル1	レベル2	レベル3
	New PDU CTV083 オンライン (PDU)1日で学ぶプロジェクトの スコープコントロール-スコープ・ クリープを防ぐプロジェクト管理- グループ演習 | 1日間	

スケジュール・マネジメント

レベル1	レベル2	レベル3
	PDU PMV101 オンライン (PDU)実現可能性を高める スケジュール・マネジメント グループ演習 | 1日間	

コスト・マネジメント

レベル1	レベル2	レベル3
	PDU PMV121 オンライン (PDU) プロジェクトマネージャのための ファイナンシャルマネジメント グループ演習 | 2日間	

リスク・マネジメント

レベル1	レベル2	レベル3
	PDU PMV100 オンライン (PDU) 1日で学ぶプロジェクトの リスクマネジメント グループ演習 | 1日間	

レベル1 ：プロジェクト経験がほとんど無い方、または、プロジェクト経験が比較的浅い方
レベル2 ：プロジェクト経験がある程度ある方で、プロジェクトマネージャ候補の方、またはプロジェクトマネージャとして活動を開始された方
レベル3 ：複数のプロジェクトの経験を有し、プロジェクトマネージャとして活動されている方

ステークホルダー・マネジメント

レベル1	レベル2	レベル3
	PDU PMV123 オンライン (PDU)プロジェクト関係者と 良好な関係を築くための ステークホルダーマネジメント グループ演習 | 1日間	

調達マネジメント

レベル1	レベル2	レベル3
		PDU PMV113 オンライン (PDU)プロジェクト協創の ためのベンダーマネジメント -守りから攻めのPMシリーズ- グループ演習 | 2日間

コンピテンシ強化

レベル1	レベル2	レベル3
チームで働く力 PDU HSV282 オンライン (PDU)自分を知り他者を知る コミュニケーションマネジメント -DiSCモデルによる- グループ演習 | 2日間		PDU PMV125 オンライン (PDU)プロジェクトマネージャのための メンバーの力を引き出すモチベーション・ マネジメント-行動特性分析に基づく- グループ演習 | 2日間

コミュニケーション強化

レベル1	レベル2	レベル3
チームで働く力 PDU HSV251 オンライン (PDU)アサーティブ・コミュニケー ション-職場に活かせる建設的 コミュニケーションスキルの向上- グループ演習 | 1日間		

ファシリテーション

レベル1	レベル2	レベル3
前に踏み出す力 PDU HSV331 オンライン (PDU) ファシリテーション研修 -成果を出す会議の進め方- グループ演習 | 1日間 (0.5日×2回) + 事前学習(eラーニング) 3時間		

*PMBOK®ガイド*とPMP®はプロジェクトマネジメント協会(Project ManagementInstitute, Inc.)の登録商標です。
PDU ：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。3年間で60PDUが必要です。

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

リーダシップ

レベル1	レベル2	レベル3

Renewal PDU
PMV057 オンライン
(PDU)プロジェクトを円滑に進めるための合意形成力強化トレーニング
グループ演習 | 2日間

交渉力強化

レベル1	レベル2	レベル3

チームで働く力
PDU
HSV264 オンライン
(PDU)協創を生みだす交渉（実践演習編）
グループ演習 | 1.5日間

HSV185 オンライン
行動経済学を応用したパースエイション（説得）のスキルーハーバード流交渉学の真価を発揮するためにー
グループ演習 | 1日間

PDU
PMV123 オンライン
(PDU)プロジェクト関係者と良好な関係を築くためのステークホルダーマネジメント
グループ演習 | 1日間

プロジェクトマネジメント実践力強化

守りから攻めのPMシリーズ

レベル1	レベル2	レベル3

PDU
PMV112 オンライン
(PDU)デジタル時代のプロジェクトマネジメントー守りから攻めのPMシリーズー
レクチャ | 1日間

ビジネスアーキテクト
PDU
CTV076 オンライン
(PDU)変革の時代に生き残るために必要な戦略的IT投資のポイントー守りから攻めのPMシリーズー
グループ演習 | 1日間

PDU
PMV113 オンライン
(PDU)プロジェクト協創のためのベンダーマネジメントー守りから攻めのPMシリーズー
グループ演習 | 2日間

判断・行動力強化

レベル1	レベル2	レベル3

PDU
PMV110 オンライン
(PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化　Part1
グループ演習 | 1日間

PDU
PMV111 オンライン
(PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化　Part2
グループ演習 | 1日間

PDU
PMV115 オンライン
(PDU)現場で活きるプロジェクトマネジメントー次世代に伝えたい!火消しPMが語る*PMBOK®ガイド*では学べないノウハウー
グループ演習 | 1日間

レベル1 ：プロジェクト経験がほとんど無い方、または、プロジェクト経験が比較的浅い方
レベル2 ：プロジェクト経験がある程度ある方で、プロジェクトマネージャ候補の方、またはプロジェクトマネージャとして活動を開始された方
レベル3 ：複数のプロジェクトの経験を有し、プロジェクトマネージャとして活動されている方

トラブル対応力強化

レベル1	レベル2	レベル3

New PDU
CTV084 オンライン
(PDU)トラブルプロジェクトのアセスメント【パーソル総合研究所 ライブ配信】
グループ演習 | 2日間

プログラム／ポートフォリオ

レベル1	レベル2	レベル3

PDU
PMV105 オンライン
(PDU)プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメントープロジェクトの横断的な把握、経営資源の効果的な配分のために−
グループ演習 | 2日間

アジャイルマネジメント

レベル1	レベル2	レベル3

SPV084 オンライン
スクラムの基礎と実践
グループ演習 | 1日間

PDU
SPV083 オンライン
(PDU)［リーダー向け］アジャイル開発における自律型チーム運営
グループ演習 | 1日間

モダン開発（アジャイル開発含む）

SPV070 オンライン
アジャイル開発（スクラム）におけるプロダクトオーナー体験ワークショップ
グループ演習 | 1日間

PDU
PMV103 オンライン
(PDU)マネージャのための1日でわかるアジャイル・プロジェクトマネジメントの効用
グループ演習 | 1日間

*PMBOK®ガイド*とPMP®はプロジェクトマネジメント協会（Project ManagementInstitute, Inc.）の登録商標です。
PDU ：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。3年間で60PDUが必要です。
音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文無 ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声無し・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

プロジェクトマネジメント
プロジェクトマネジメント
プロジェクトマネジメント資格取得

オンライン / コースコード PMV065

グループ演習 2日間

プロジェクトマネジメント基礎【バーチャル・クラスルーム】

プロジェクトマネジメントを進めるために必要なプロジェクトの概念やプロジェクトマネジメントのための各手法、考え方を、講義と演習を通して学習します。

到達目標 ・プロジェクトの概念が説明できる。
・プロジェクトマネジメントのための各手法、考え方が説明できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方でこれからプロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 情報システム開発プロジェクトへの参加経験があり、システム開発に関する基礎知識があること。

内　容
1. プロジェクトマネジメントとは
2. プロジェクト立上げ(ケーススタディ、演習)
   (1)上位マネジメントの役割
   (2)プロジェクト憲章
3. プロジェクト計画(ケーススタディ、演習)
   (1)プロジェクトマネジメント計画書(スコープ、WBS、スケジュール、コスト、品質、リソース、コミュニケーション、リスク、調達)
4. 実行とコントロール(ケーススタディ、演習)
   (1)ベースラインの確認
   (2)パフォーマンス評価
   (3)アーンド・バリュー・マネジメント
   (4)実績報告書作成
5. プロジェクト完了

受講料 ¥66,000

eラーニング / コースコード PME022

eラーニング 8時間

<eラーニング>プロジェクトマネジメント基礎

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである*PMBOK®ガイド*をベースに、プロジェクトマネジメントの基本を学習します。

到達目標 プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである*PMBOK®ガイド*をベースに、プロジェクトマネジメントの基本を説明できる。

対象者 ITエンジニア職、担当クラスの方でプロジェクトマネジメントの基礎知識を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. プロジェクトマネジメントの概要
2. プロジェクトマネージャの仕事の流れ
3. *PMBOK®ガイド*の考え方
4. プロジェクトマネジメントの各知識エリアの概要
5. 修了試験

受講料 ¥22,000

集合 / コースコード PMJ066 休講

グループ演習 2日間

(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践 PDU

プロジェクトマネジメントのベースとなるステークホルダー登録簿、スコープ記述書、プロジェクトマネジメント計画書、リスク登録簿など、プロジェクト計画のための各手法、考え方を、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・スコープ記述書が作成できる。
・ステークホルダー分析ができる。
・プロジェクトマネジメント計画書が作成できる。
・リスク登録簿が作成できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方でこれからプロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. プロジェクトマネジメントの概要
2. *PMBOK®ガイド*の概要
   (1)演習：ステークホルダー分析
3. スコープ記述書
   (1)演習：スコープ記述書の作成
4. プロジェクト管理計画書
   (1)演習：プロジェクト管理計画書の作成
5. リスクマネジメント
   (1)演習：リスク登録簿の作成

受講料 ¥77,000

オンライン / コースコード PMV003 休講

グループ演習 2日間

(PDU)プロジェクト経験者のためのプロジェクトマネジメント上級編【バーチャル・クラスルーム】 PDU

プロジェクトマネージャが、失敗しない(成功する)プロジェクトをめざすために必要な計画・管理工程における各種ガイドラインについて、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)の取得が可能です。

到達目標 計画・管理工程における各種ガイドラインを用いて、プロジェクトマネジメントを実践できる。

対象者 プロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 プロジェクトの計画と管理に関する基礎知識があり、「(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. モダンプロジェクトマネジメントの重要性
2. プロジェクトの立上げ、計画プロセスにおけるマネジメントと留意点
3. プロジェクト遂行プロセスにおけるマネジメントと留意点
4. プロジェクト完了プロセスにおけるマネジメントと留意点
5. 事例演習と講評

受講料 ¥88,000

eラーニング / コースコード PME005

eラーニング 2時間

<eラーニング>(PDU)2時間でわかるファンクションポイント法 PDU

ソフトウェア開発の規模を見積るためのファンクションポイント法について、計測方法の基礎を2時間で解説します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ファンクションポイント法の概要、および計測手順を説明できる。

対象者 プロジェクトリーダ(マネージャ)の方、または今後めざす方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ファンクションポイント法の基本的な概念
2. ファンクションポイント算出手順
3. データファンクションの計測
4. トランザクションファンクションの計測
5. ファンクションポイントの算出
6. 修了試験

受講料 ¥8,800

eラーニング / コースコード PME023

eラーニング 4時間

<eラーニング>(PDU)ファンクションポイント法基礎 PDU

ソフトウェアの機能量を測る手段であり、顧客や開発発注先との価格交渉、見積に効果的なファンクションポイント法の基本を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：4ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ファンクションポイント法の基本について説明できる。

対象者 担当クラスの方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. FP算出方法
2. FPの性質と特長
3. FP法と見積
4. 修了試験

受講料 ¥11,000

オンライン / コースコード CTV083 New

グループ演習 1日間

(PDU)1日で学ぶプロジェクトのスコープコントロール−スコープ・クリープを防ぐプロジェクト管理−【バーチャル・クラスルーム】 PDU

計画駆動型のプロジェクトにおいては、顧客の要求事項からスコープと呼ばれる成果物や作業の仕様を定義した上で、それを達成すべくスケジュールやコストなどを設定します。つまりプロジェクト運営の中心となるのがスコープであり、具体的にはWBSを作成してスコープの管理基準とします。スコープの進捗は、いわばプロジェクト全体の進捗を表すものであり、プロジェクト運営にとって最も重要な管理基準です。このコースでは、プロジェクト全体におけるスコープ・マネジメントの位置づけとスコープの進捗管理およびその他管理要素との相互関係について学びます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・プロジェクトスコープの進捗管理の重要性と留意点について説明できる。
・スコープと他の管理要素との相互作用について説明できる。

対象者 プロジェクトにおけるスコープ管理能力を向上させたい方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. プロジェクトの進捗管理
2. スコープの進捗管理
3. 他の管理要素との相互作用
4. ケーススタディ:顧客からの追加(変更)要求への対処

受講料 ¥70,400

オンライン / コースコード PMV101

グループ演習 1日間

(PDU)実現可能性を高めるスケジュール・マネジメント【バーチャル・クラスルーム】 PDU

プロジェクトにおけるスケジュールは、プロジェクトにかかわるすべての人が プロジェクトの全体像を理解し、適切な行動をとることができるための案内図です。このコースでは納期を守るためのスケジュール作成から工程管理までのスケジュール・マネジメントの基礎を学ぶことができます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・スケジュール・マネジメントの意義と留意点を説明できる。
・スケジュール・マネジメントのプロセスに従って基本的なマネジメントができる。

対象者 ・スケジュール管理能力を向上したい方。
・体系的にスケジュール・マネジメントを学びたい方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. スケジュール・マネジメントの概要
   (1)プロジェクトマネジメントとは
   (2)スケジュール・マネジメントの必要性とプロセス
2. スケジュール・マネジメント
   (1)スケジュール作成
   (2)実行(実績と傾向の報告)
   (3)監視・コントロール
   (4)遅延防止のための管理ポイント
   (5)遅延に対する対策

受講料 ¥63,800

オンライン / コースコード PMV121

グループ演習 2日間

(PDU)プロジェクトマネージャのためのファイナンシャルマネジメント【バーチャル・クラスルーム】 PDU

プロジェクトの投資意思決定に必要な現在価値計算、資本コスト計算に加えて、プロジェクト遂行における資金繰りのやり方など、実践的な知識をレクチャーとケース・ディスカッションを通じて修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・財務・会計の基本、契約時の利益計画、資産管理などを説明できる。
・プロジェクト遂行における一般的な財務分析ツールについて説明できる。

対象者 プロジェクトやプログラムにおけるコスト/財務管理にかかわる方。

前提知識 プロジェクト経験があり、*PMBOK®ガイド*などのプロジェクトマネジメント知識があること。

内　容
1. 基本ツール+「正味現在価値」ツール
2. 資本市場論
3. 経営分析
4. 連結決算、EBIT、Ajusted EBITA、決算書の読み方、工事進行基準：ケーススタディ
5. 資金繰り(C/F)、バリエーション
6. 決算書から読み解く企業価値
7. デュポンモデル：ケーススタディ
8. 資金繰り：ケーススタディ

受講料 ¥178,200

オンライン / コースコード PMV100

グループ演習 1日間

(PDU)1日で学ぶプロジェクトのリスクマネジメント【バーチャル・クラスルーム】 PDU

リスクマネジメントはすべてのプロジェクト計画に関連するスキルであり、立上げ、各種計画の策定から実行、監視・コントロール、終結に至るまで、常時細心の注意を払うべきマネジメントの中核でもあります。このコースはプロジェクトマネージャならびにリーダの経験者がご自身のプロジェクト経験をもとに課題に対するディスカッションを行い、ご自身が気付いていなかった新たなリスクを認識、対策のバリエーションを見出すことができるようデザインされています。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・リスクマネジメントプロセスの意義と留意点を説明できるようになる。
・新しい視点でリスクの洗い出しができるようになる。
・一つのリスクに対して複数のリスク対策を考えられるようになる。

対象者 プロジェクト・マネジメント計画書の作成、あるいは作成を支援した経験がある方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. プロジェクトのリスク
   (1)リスクマネジメントのプロセス
   (2)なぜプロジェクトのリスクマネジメントが必要なのか
   (3)プロジェクトの成功と失敗
   (4)リスクヘッジ
2. リスクの特定
   (1)プロセスでの「特定」の意義と留意点
   (2)リスクの洗い出し
3. リスクの分析と対策
   (1)プロセスでの「分析と対策」の意義と留意点
   (2)専門家の判断
   (3)発生確率と影響度による評価
   (4)リスク対応戦略
4. その他のリスクマネジメントの留意点

受講料 ¥63,800

オンライン / コースコード PMV123

グループ演習 1日間

(PDU)プロジェクト関係者と良好な関係を築くためのステークホルダーマネジメント【バーチャル・クラスルーム】 PDU

プロジェクトの複雑度やスピード感が高まる中、顧客や上級マネジメント、関連部署などプロジェクトに影響を与えるステークホルダーは複雑化しています。プロジェクトではステークホルダーの関与を促進し、協力的な関与を引き出すことが、プロジェクトの成功に直結します。このコースではステークホルダーの特定・分析、コミュニケーションの観点によりステークホルダーマネジメントの基礎を学ぶことができます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・ステークホルダーマネジメントの意義と留意点を説明できる。
・ステークホルダーマネジメントのプロセスに従って基本的なマネジメントができる。

対象者 ・プロジェクトマネジメントの基礎知識を有し、プロジェクトマネジメント業務を行う方。
・ステークホルダーとの良好な関係を築きたい方。
・体系的にステークホルダーマネジメントを学びたい方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ステークホルダーマネジメントとは何か
2. ステークホルダー分析の手法
3. ステークホルダーの期待をマネジメントする
4. ステークホルダーのプロジェクトへの協力を得る
5. ステークホルダーと交渉する
6. ステークホルダーマネジメントを計画する
7. ケーススタディ
   (1)顧客とのよい関係を作る
   (2)上位組織を動かす
   (3)チームを結束させる
8. ステークホルダーマネジメントの難しさ

受講料 ¥70,400

オンライン / コースコード PMV113

グループ演習 2日間

(PDU)プロジェクト協創のためのベンダーマネジメント−守りから攻めのPMシリーズ−【バーチャル・クラスルーム】 PDU

このコースでは、調達方針を踏まえ、開発プロジェクトの現場でサブベンダーを取り纏める際のベンダーマネジメントについて、サブベンダーの作業実態を把握し、作業進捗管理とリスクマネジメントを遂行する方法を修得します。ベンダーと良好な信頼関係をもち、協創できる関係性を作るベンダーマネジメントについて学びます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)の取得が可能です。
・このコースの最少催行人数は8名です。最少催行人数に満たない場合は、開催中止となる可能性がございますのでご注意ください。

到達目標 ・ベンダーマネジメントの基本枠組みを説明できる。
・ベンダーの問題解決行動を判断、評価する方法を説明できる。
・ベンダーと協創関係をつくる方法を説明できる。
・ベンダーマネジメントの改善策の実務検討ができる。

対象者 組織外の協力先とビジネスパートナーとして協業して成果を出す役割をもつ方。

前提知識 プロジェクト経験があり、*PMBOK®ガイド*などのプロジェクトマネジメント知識があること。

内　容
1. ベンダー選定
2. ベンダーとの契約
3. 協創の価値観を共有する
4. 前提条件のマネジメント
5. 進捗レビューとコントロール
6. 利害対立のコントロール
7. 協創のコミュニケーションを育む
8. ベンダーを評価し関係を発展させる
9. 《学び》を協創のためのベンダーマネジメントに役立てる

受講料 ¥187,000

オンライン / コースコード PMV125

(PDU)プロジェクトマネージャのための メンバーの力を引き出すモチベーション・マネジメント −行動特性分析に基づく−【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 2日間

部下やメンバーなど、他者の意欲や能力を引き出し、自律的な活動をうながすためには「メンタリング」が効果的です。また、ニューノーマルではリモートでのコミュニケーションが主流となります。非言語情報を活用できない環境下でのオンライン・メンタリングのコツも学びます。このコースでは、さまざまな場面で頼れるメンターになるためのスキルをスグに使えるフレームワークを通じて学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)の取得が可能です。
※このコースは、統合共育研究所発行の「メンターズガイド」をフレームワークとして利用します。

到達目標
・メンタリングとは何かを説明できる。
・部下のモチベーションの源泉を説明できる。

対象者 情報システム開発プロジェクトへの参加経験があり、後続の育成に興味を持っている方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. メンタリングの理解
2. メンタリングの心構え
3. メンタリングのプロセス理解
   (1)診断フェーズ
   (2)信頼構築フェーズ
   (3)支援フェーズ
   (4)自律フェーズ
4. PMメンタリング事例
   (1)ケースを元に、メンターとしてアドバイスするにはどうするかを議論する

受講料 ¥116,600

オンライン / コースコード PMV057 Renewal

(PDU)プロジェクトを円滑に進めるための合意形成力強化トレーニング【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 2日間

顧客やチームメンバと合意形成するコミュニケーションのプロセスを理解しながら、自己のコミュニケーションの「クセ」ならびに、その改善・強化方法を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：13ポイント)の取得が可能です。

到達目標
・成功確率を高める交渉の原則を説明できる。
・プロジェクトマネジメントに必要な交渉技法を身につけられる。
・顧客と信頼関係を築くコミュニケーションをとることができる。

対象者 業務経験5年以上の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ビジネスコミュニケーションとは
2. コミュニケーションプロセスの理解
   (1)アイスブレイク
   (2)自分の意見を説明する
   (3)相手の意見を積極的に聞きだす
   (4)解決ポイントを見出す
   (5)協力して解決策を作成する
   (6)合意を形成する
3. コミュニケーションプロセス理解のためのミニ演習
4. 総合ロールプレイングトレーニング

受講料 ¥103,400

オンライン / コースコード PMV112

(PDU)デジタル時代のプロジェクトマネジメント −守りから攻めのPMシリーズ−【バーチャル・クラスルーム】PDU

レクチャ 1日間

顧客視点の価値向上を実現するSoE(Sysytem of Engagement)では、より不確実性が高く、俊敏性が求められます。従来の社内業務の効率化・利便性改善だけで満足するのではなく、既存ビジネスの高付加価値化や新事業への進出、ビジネスモデルの転換など、顧客視点での企業価値向上をめざす「攻めのPM」として創造性を発揮していくために、必要なマネジメントスキルを追求するマインドセットを、実践演習を通して学びます。このコースは、22年度まで提供されていた、「(PDU)デジタル時代のプロジェクトマネジメント(前編)」と「(PDU)デジタル時代のプロジェクトマネジメント(後編)」の統合コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標
・SoE(System of Engagement)がもたらす価値を理解し、市場の動向変化を基に、「攻めのPM」の必要性を理解する。
・「攻めのPM」のマネジメントスタイル、マインドセットを理解する。

対象者
・プロジェクト経験のある方。
・デジタルを始める方。

前提知識 ソリューションビジネスに携わった経験があること。

内　容
1. 市場の変化を眺める
2. 2025年の崖(経産省)を乗り越えるための要素
3. PMI®の主張
4. 「攻めのPM」と「守りのPM」
5. 顧客体験(Customer Experience)を提供するには?
6. 顧客視点のサービスを提供するためのプロセス
7. 実践演習：顧客視点のサービスを提供する
8. プロジェクトマネジャーとして果たすべき役割と自分の動機の振り返り

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード PMV110

(PDU)ケースメソッドによる PM判断・行動力強化 Part1【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 1日間

プロジェクトマネジャーがよく遭遇する事例を対象に、トラブル原因を分析し、ある時点・ある状況に対してどのような対策が必要かを学びます。数多くの事例に取り組むことで、短期間で実践力を身につけます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標
・複雑な前提条件や制約条件のプロジェクトマネジメントにおいて、具体的な問題解決の思考ができる。
・QCD含め様一なトレードオフの状況下で、問題解決の思考ができる。
・他受講者との交流により、多様な解決方法や文化を理解し、視野を広げることができる。

対象者
・プロジェクトマネジメントに従事している方(サブリーダ、リーダ、マネジャー)。
・運用/保守など特定業務に従事し、プロジェクトマネジメント経験を十分に積むことができない方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ケースメソッドによる学習のコンセプト
2. ステークホルダーの合意を得てスコープをコントロールする
3. ステークホルダーを巻き込んで品質を確保する
4. プロジェクトメンバとのコミュニケーション(役割分担など)を行う
5. スコープとスケジュールのバランスを保つ
6. コストとスケジュールのバランスを保つ

受講料 ¥49,500

オンライン / コースコード PMV111

(PDU)ケースメソッドによる PM判断・行動力強化 Part2【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 1日間

プロジェクトマネジャーがよく遭遇する事例を対象に、トラブル原因を分析し、ある時点・ある状況に対してどのような対策が必要かを学びます。上流工程(企画-基本設計)を主なテーマとして、数多くの事例に取り組むことで、短期間で実践力を身につけます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標
・上流工程での複雑な前提条件や制約条件のプロジェクトマネジメントにおいて、具体的な問題解決の思考ができる。
・QCD含めさまざまなトレードオフの状況下で、問題解決の思考ができる。
・他受講者との交流により、多様な解決方法や文化を理解し、視野を広げることができる。

対象者
・プロジェクトマネジメントに従事している方(サブリーダ、リーダ、マネジャー)。
・運用/保守など特定業務に従事し、プロジェクトマネジメント経験を十分に積むことができない方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ケースメソッドによる学習のコンセプト
2. ステークホルダーとの関係を強化する
3. 要求仕様を明確にする
4. プロジェクトスコープを明確化・コントロールする
5. プロジェクト体制を構築する
6. 要求仕様があいまな状態で概算見積りをする
7. パッケージ適用開発を推進する

受講料 ¥49,500

オンライン / コースコード PMV115

(PDU)現場で活きるプロジェクトマネジメント −次世代に伝えたい!火消しPMが語るPMBOK®ガイドでは学べないノウハウ−【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 1日間

実際のプロジェクト現場で発生する種一の問題を取り上げ、講師や受講者との討論によって、実践的なマネジメント知識・技術・能力を体得し、プロジェクト現場の課題解決に必要なPMの意識改革につなげます。実際にPMO部門でプロジェクト監視を行ってきた専門家が講師を担当します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標 実際のプロジェクト現場で発生する種一の問題について、実務的なノウハウとして、適切な判断・行動方法を修得できる。

対象者 プロジェクトマネジメントに従事している方(マネジャー、リーダ、サブリーダなど)。マネジメント経験年数7年以上が望ましい。

前提知識 プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. プロジェクト現場に求められる課題
2. 実践PM計画編
   (1)リソース計画
   (2)スコープ計画
   (3)スケジュール計画
   (4)体制設計
   (5)原価計画
3. 実践PM実行編
   (1)コミュニケーション
   (2)懸案管理
   (3)調達管理
   (4)プロジェクトリスク診断
   (5)要件管理
   (6)進捗管理
   (7)原価管理
   (8)品質管理
   (9)成果物管理
4. PMの資質
   (1)PMの能力診断
   (2)PMの適正診断
5. 教訓
   (1)教訓
   (2)受託開発に潜む本質的な問題点と今後

受講料 ¥55,000

オンライン / コースコード CTV084 New

(PDU)トラブルプロジェクトのアセスメント【パーソル総合研究所 ライブ配信】PDU

グループ演習 2日間

問題が起きたプロジェクトのアセスメントの計画・実施、また最初の計画に戻すためのステップ・技法を学習する。この技術を学ぶことにより、典型的なプロジェクトのミスを避けることも可能となる。スピード、正確さ、慎重さおよびスキルを用いて迅速に対応しなければならないプロジェクト・マネジャーにとって必須のプログラムです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。

到達目標
・トラブルについての基本的な概念を理解することができる。
・トラブルのアセスメント方法について理解することができる。
・トラブルの復旧方法について理解することができる。

対象者 プロジェクトマネージャー、または今後プロジェクトマネージャーとなる方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
イントロダクション
1. トラブルのアセスメントと復旧とは
2. トラブルの理解と方針策定
3. トラブル・アセスメントの計画
4. トラブル・アセスメントの実施
5. トラブル復旧の計画
6. トラブル復旧の実施
7. トラブルの未然防止
※各章にて演習・ケーススタディを実施します。

受講料 ¥110,000

オンライン / コースコード PMV105

(PDU)プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント −プロジェクトの横断的な把握、経営資源の効果的な配分のために−【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 2日間

組織の戦略設定とプロジェクト選定(ポートフォリオ)、個々のプロジェクト実施の戦略的なプロジェクトマネジメントを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)の取得が可能です。

到達目標 個々のプロジェクトの状況や特性(進捗、将来性、リスクなど)に応じたプロジェクトの選定・投資・中止などの意志決定について説明できる。

対象者
・プロジェクトに携わる主任技師、技師の方。
・複数のプロジェクトを管理する立場の方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. キーコンセプト解説
2. 組織戦略の内容
3. 組織戦略：アプローチとテクニック
4. ポートフォリオ・マネジメント：戦略内容
5. ポートフォリオ・マネジメント：認定と選定
6. ポートフォリオ・マネジメント：アライメントの維持
7. 戦略的プロジェクトマネジメント
8. プロジェクトマネジメント：アライメントの維持
9. まとめ

受講料 ¥99,000

オンライン / コースコード PMV103

(PDU)マネージャのための1日でわかるアジャイル・プロジェクトマネジメントの効用【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 1日間

従来、行われてきた計画重視型のプロジェクトマネジメントから、アジャイル開発導入への変化をマネジメント視点で学びます。経営管理上のメトリクスを残しながら、プロジェクトガバナンスをどのように確立するかを理解し、顧客に提案できる知識を身につけます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標 マネジメント視点でのアジャイル開発の利点を理解し、顧客に提案できる。

対象者 アジャイル開発の導入を検討しているマネジャー、リーダの方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. アジャイルの背景
   (1)なぜアジャイルが生まれたのか
   (2)従来の「ウォーターフォール」との相違
2. アジャイルによるマネジメント
   (1)アジャイルマネジメントの導入
   (2)失敗例からの教訓
   (3)アジャイルマネジメントの事例から
3. まとめ

受講料 ¥38,500

プロジェクトマネジメント資格取得

プロジェクトマネジメントの国際資格PMP®（PMI®認定）の取得に役立つコース群です。

プロジェクトマネジメント資格取得

PMP®資格取得コース

レベル1	レベル2	レベル3

PDU
PMV094 オンライン
PMP®資格試験対策
5日間コース
【パーソル総合研究所 ライブ配信】
レクチャ | 5日間

PMBOK®ガイド

レベル1	レベル2	レベル3

PDU
PMV108 オンライン
(PDU)
PMBOK®ガイド
第7版セミナー
レクチャ | 2日間

※このコース群は、全12本のeラーニングで*PMBOK®ガイド*第7版を学習します。

PDU
PME024 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(1)PMを取り巻くもの−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME025 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(2)原理・原則−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME026 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー −(3)ステークホルダー・パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME027 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(4)チーム・パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME028 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー −(5)開発アプローチとライフサイクル・パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME029 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(6)計画パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME030 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー −(7)プロジェクト作業パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME031 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー −(8)デリバリー・パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME032 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(9)測定パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME033 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(10)不確かさパフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME034 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(11)テーラリング−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME035 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*
第7版セミナー
−(12)モデル、方法、作成物−
音声有・説明文有 | 2時間

レベル1：プロジェクト経験がほとんど無い方、または、プロジェクト経験が比較的浅い方
レベル2：プロジェクト経験がある程度ある方で、プロジェクトマネージャ候補の方、またはプロジェクトマネージャとして活動を開始された方
レベル3：複数のプロジェクトの経験を有し、プロジェクトマネージャとして活動されている方

レベル1	レベル2	レベル3

※このコース群は、全12本のeラーニングで*PMBOK®ガイド*をプロセスベースで学習します。

PDU
PME036 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(1)
プロジェクトとは
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME037 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(2) プロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネジャーの役割
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME038 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(3)
統合マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME039 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(4)
スコープ・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME040 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(5)
スケジュール・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME041 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(6)
コスト・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME042 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(7)
品質マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME043 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(8)
資源マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME044 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(9)
コミュニケーション・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME045 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(10)
リスク・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME046 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(11)
調達マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME047 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(12)
ステークホルダー・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

資格 PMP®資格（米国PMI®認定）

- Project Management Professional（PMP）®資格は、プロジェクトマネジメントの専門知識を有していることを証明するために、米国Project Management Institute（PMI）®が認定する資格です。
- PMP®の人気は世界的に非常に高く、資格受験者は年々増加を続けています。
- PMP®は、システム発注条件に記載されるケースも増えており、また、各社のプロジェクト・マネージャ資格認定制度においても認定要件である公的資格の一つに位置付けられることが多く、プロジェクト・マネージャをめざす方にとって人気の高い資格となっています。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/pmp.html

Authorized Training Partner
Project Management Institute

PMI ATP ロゴはプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

*PMBOK®ガイド*とPMP®はプロジェクトマネジメント協会（Project ManagementInstitute, Inc.）の登録商標です。

PDU ：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。3年間で60PDUが必要です。

音声有・説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

● PDU 対象コース一覧

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません

分野	コースコード	区分	コース名	日数※	PDU合計	働き方	パワースキル	ビジネス感覚
デジタルトランスフォーメーション								
セールス／フロント	HSV289		(PDU)顧客の心をつかむ戦略的提案活動 −体系的に学ぶ提案活動の進め方− 【eラーニング(事前学習)+バーチャル・クラスルーム】	1日(0.5日×2回)	11	0	0	11
	HSV290		(PDU)高評価をねらえる提案書作成 −顕在・潜在ニーズに訴求する− 【eラーニング(事前学習)+バーチャル・クラスルーム】	0.5日	6	0	4	2
プロセス／プロダクト	IDV003		(PDU) IoTコンセプトデザイン −IoTビジネスの理解と自社の新しいIoTサービスを創出する− 【アイ・ラーニング ライブ配信】	1日	7	0	0	7
ビジネス								
経営力	HSE141		<eラーニング>(PDU)ビジネスモデル思考	12.2時間	9.5	1	2	6.5
	HSV277		(PDU)経営戦略の基本と最新動向 −イノベーション実現のために−【バーチャル・クラスルーム】	1日	6.5	0	0	6.5
	HSV303		(PDU)顧客価値を解き明かすマーケティングリサーチ最新技法 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6.5	0	0	6.5
	HSV286	Renewal	(PDU)ビジネス提案のための実践マーケティング戦略 −顧客とともに実践する価値創造−【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	0	2	10
	HSV305		(PDU)契約基礎−今こそ押さえておきたい!エンジニアと営業のための日文・英文契約書の見方・ポイント−【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	6	0	6
チームで働く力	HSV251		(PDU)アサーティブ・コミュニケーション −職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上− 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	0	6	0
	HSV314		(PDU)アサーティブ・マネジメント −建設的コミュニケーションによる部下指導−【バーチャル・クラスルーム】	2日	10	0	10	0
	HSV233		(PDU)ストラクチャード・コミュニケーション −会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える− 【eラーニング(事前学習)+バーチャル・クラスルーム】	0.5日	6	0	6	0
	HSV264		(PDU)協創を生みだす交渉(実践演習編) 【バーチャル・クラスルーム】	1.5日	10	0	10	0
	HSV284	Renewal	(PDU)部下のパフォーマンスを高める1on1面談とフィードバック 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	0	5	1
	HSV239		(PDU)コーチング実践 −部下のやる気と成長を促す− 【バーチャル・クラスルーム】	1.5日(0.5日×3回)	12	0	12	0
	HSV282		(PDU)自分を知り他者を知るコミュニケーションマネジメント −DiSCモデルによる− 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	0	12	0
	HSV283	Renewal	(PDU)リーダのためのマインドフルネス −成果発揮へのセルフリーダシップとマインドフル− 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	0	6	0
前に踏み出す力	HSV329		(PDU)周囲の能動性を発揮させるリーダシップ 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	6	6	0
	HSV281	New	(PDU)チーム力を上げるためのエンパワーメント 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	2	9	1
	HSV331		(PDU)ファシリテーション研修−成果を出す会議の進め方− 【eラーニング(事前学習)+バーチャル・クラスルーム】	1日(0.5日×2回)	11	0	10	1
	HSV334		(PDU)リスキリングを成功させるアンラーン −思考とスキルをアップデートして変化を取り込む− 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	0	6	0
目的別(コンプライアンス/業種・業界/ビジネス教養)	HSE158		<eラーニング>(PDU)財務諸表の基礎知識	4時間	4	3	0	1
	HSE099		<eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済1 −効率性と公平性、アダムスミスとケインズ−	4時間	2.5	0	0	2.5
目的別(コンプライアンス/業種・業界/ビジネス教養)	HSE100		<eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済2 −GDP、為替、財政−	6時間	4	0	0	4
	HSE101		<eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済3 −金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーター−	4時間	2.5	0	0	2.5
	HSE102		<eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済4 −景気循環、経済成長、格差社会と少子高齢化−	6時間	3.5	0	0	3.5
	HSE118		<eラーニング>(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済1 − 経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論−	6時間	3	0	0	3
	HSE098		<eラーニング>(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済2 −不完全な情報、期待効用、行動経済学−	4時間	2.5	0	0	2.5
	HSE103		<eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス1 −投資の判断、リスクとリターン−	4時間	3.5	0	0	3.5
	HSE104		<eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス2 −企業価値評価−	4時間	2.5	0	0	2.5
	HSE105		<eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス3 −資金調達の方法−	6時間	3.5	0	0	3.5
	HSE106		<eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス4 −M&A、コーポレートガバナンス、財務計画−	6時間	3.5	0	0	3.5
	HSE111		<eラーニング>(PDU)孫子の兵法を現代に役立てる方法	10時間	8	0	8	0
	HSE115		<eラーニング>(PDU)中国古典に見る指導者の条件	10時間	7	0	7	0
	HSE112		<eラーニング>(PDU)「韓非子」のリーダ学	10時間	5	0	5	0
	HSE113		<eラーニング>(PDU)「貞観政要」に学ぶリーダの心得	10時間	5	0	5	0
	HSE114		<eラーニング>(PDU)「書経」に学ぶリーダの心得	10時間	6	0	6	0
	HSE110		<eラーニング>(PDU)リーダに必要な人間力 三国志から学ぶリーダ学	10時間	7	0	7	0
プロジェクトマネジメント								
プロジェクトマネジメント	PMJ066	休講	(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践	2日	12	6	4	2
	PMV003	休講	(PDU)プロジェクト経験者のためのプロジェクトマネジメント上級編 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	6	4	2
	PME005		<eラーニング>(PDU)2時間でわかるファンクションポイント法	2時間	2	2	0	0
	PME023		<eラーニング>(PDU)ファンクションポイント法基礎	4時間	4	4	0	0
	CTV083	New	(PDU)1日で学ぶプロジェクトのスコープコントロール -スコープ・クリープを防ぐプロジェクト管理- 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	4	2	0
	PMV101		(PDU)実現可能性を高めるスケジュール・マネジメント 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	4	2	0
	PMV121		(PDU)プロジェクトマネージャのためのファイナンシャルマネジメント 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	0	0	12

※eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。
PDU数とその内訳は予告なく変更になる場合がございます。

分　野	コースコード	区　分	コース名	日数※	PDU合計	働き方	パワースキル	ビジネス感覚
プロジェクトマネジメント	PMV100		(PDU)1日で学ぶプロジェクトのリスクマネジメント 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	4	2	0
	PMV123		(PDU)プロジェクト関係者と良好な関係を築くための ステークホルダーマネジメント【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	4	2	0
	PMV113		(PDU)プロジェクト協創のためのベンダーマネジメント −守りから攻めのPMシリーズ− 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	8	0	4
	PMV125		(PDU)プロジェクトマネージャのためのメンバーの力を引き出す モチベーション・マネジメント−行動特性分析に基づく− 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	0	12	0
	PMV112		(PDU)デジタル時代のプロジェクトマネジメント −守りから攻めのPMシリーズ− 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	0	2	4
	PMV057	Renewal	(PDU)プロジェクトを円滑に進めるための合意形成力強化トレーニング 【バーチャル・クラスルーム】	2日	13	5	3	5
	PMV110		(PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化　Part1 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	2	2	2
	PMV111		(PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化　Part2 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	2	2	2
	PMV115		(PDU)現場で活きるプロジェクトマネジメント −次世代に伝えたい！火消しPMが語る*PMBOK®ガイド*では学べないノウハウ− 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	1.5	2	2.5
	CTV084	New	(PDU)トラブルプロジェクトのアセスメント 【パーソル総合研究所 ライブ配信】	2日	14	0	0	14
	PMV105		(PDU)プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント −プロジェクトの横断的な把握、経営資源の効果的な配分のために− 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	0	0	12
	PMV103		(PDU)マネージャのための1日でわかる アジャイル・プロジェクトマネジメントの効用【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	3	2	1
プロジェクトマネジメント資格取得	PMV094		PMP®資格試験対策5日間コース 【パーソル総合研究所 ライブ配信】	5日	35	35	0	0
	PMV108		(PDU)*PMBOK®ガイド*第7版セミナー 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	12	0	0
	PME036		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(1) プロジェクトとは	2時間	2	2	0	0
	PME037		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(2) プロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネジャーの役割	2時間	2	2	0	0
	PME038		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(3) 統合マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME039		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(4) スコープ・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME040		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(5) スケジュール・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME041		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(6) コスト・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME042		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(7) 品質マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME043		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(8) 資源マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME044		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(9) コミュニケーション・マネジメント	2時間	2	2	0	0

※eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。
PDU数とその内訳は予告なく変更になる場合がございます。

マシン実習　マシンを使用しながらの研修
グループ演習　グループ演習を中心とした研修
レクチャ　座学による研修
eラーニング　インターネット接続による自己学習
自習テキスト　自習書による独習

分　野	コースコード	区　分	コース名	日数※	PDU合計	働き方	パワースキル	ビジネス感覚
プロジェクトマネジメント資格取得	PME045		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(10) リスク・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME046		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(11) 調達マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME047		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(12) ステークホルダー・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME024		<eラーニング> (PDU)　*PMBOK®*ガイド第7版セミナー (1)　PMを取り巻くもの	2時間	2	2	0	0
	PME025		<eラーニング> (PDU)　*PMBOK®*ガイド第7版セミナー (2)原理・原則	2時間	2	2	0	0
	PME026		<eラーニング> (PDU)　*PMBOK®*ガイド第7版セミナー (3)ステークホルダー・パフォーマンス領域	2時間	2	2	0	0
	PME027		<eラーニング> (PDU)　*PMBOK®*ガイド第7版セミナー (4)チーム・パフォーマンス領域	2時間	2	2	0	0
	PME028		<eラーニング> (PDU)　*PMBOK®*ガイド第7版セミナー (5)開発アプローチとライフサイクル・パフォーマンス領域	2時間	2	2	0	0
	PME029		<eラーニング> (PDU)　*PMBOK®*ガイド第7版セミナー (6)計画パフォーマンス領域	2時間	2	2	0	0
	PME030		<eラーニング> (PDU)　*PMBOK®*ガイド第7版セミナー (7)プロジェクト作業パフォーマンス領域	2時間	2	2	0	0
	PME031		<eラーニング> (PDU)　*PMBOK®*ガイド第7版セミナー (8)デリバリー・パフォーマンス領域	2時間	2	2	0	0
	PME032		<eラーニング> (PDU)　*PMBOK®*ガイド第7版セミナー (9)測定パフォーマンス領域	2時間	2	2	0	0
	PME033		<eラーニング> (PDU)　*PMBOK®*ガイド第7版セミナー (10)不確かさパフォーマンス領域	2時間	2	2	0	0
	PME034		<eラーニング> (PDU)　*PMBOK®*ガイド第7版セミナー (11)テーラリング	2時間	2	2	0	0
	PME035		<eラーニング> (PDU)　*PMBOK®*ガイド第7版セミナー (12)モデル、方法、作成物	2時間	2	2	0	0
ビジネスアーキテクト								
ビジネスアーキテクト	CTV078		(PDU)(CDU)ビジネスアナリシス基礎 【パーソル総合研究所 ライブ配信】	2日	14	5.25	0	8.75
	CDV008		(PDU)　CBAP®試験対策コース 【パーソル総合研究所 ライブ配信】	3日	24	24	0	0
	CDV029	Renewal	(PDU)　IT経営ストラテジ(デジタル経営戦略コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】	2日	16	0	0	16
	CDV028	Renewal	(PDU)　IT経営ストラテジ(デジタル経営実行計画コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】	2日	16	0	0	16
	CDV016		(PDU)　IT経営ストラテジ(変革認識コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】	2日	16	0	0	16
	CTV087		(PDU)(CDU)ビジネスアナリシスに基づいた業務改善の顧客提案 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	7	0	5
	CTV076		(PDU)変革の時代に生き残るために必要な戦略的IT投資のポイント −守りから攻めのPMシリーズ− 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	0	0	6

※eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。
PDU数とその内訳は予告なく変更になる場合がございます。

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません

分　野	コースコード	区　分	コース名	日数※	PDU合計	働き方	パワースキル	ビジネス感覚
ビジネスアーキテクト	CTV089		(PDU)(CDU)要件定義スキル基礎 −ロールプレイによる要求の引き出し− 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	12	0	0
	CTV090		(PDU)(CDU)ビジネスニーズに沿ったユーザー要件定義の実践力強化 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	4	0	8
	CTV091		(PDU)(CDU)上位ニーズから不断なく正確にシステム要件を定義する実践力強化 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	8	0	4
開発/基盤								
モダン開発(アジャイル開発含む)	SPV083		(PDU)[リーダー向け]アジャイル開発における自律型チーム運営 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	4.5	1.5	0
開発工程全般・企画・設計	ITV019	New	(PDU)ソフトウェアとシステムの開発効率向上の鍵を握る構成管理−多様な開発形態を支援する最新動向から実践技法まで−【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	11	1	0
	CTV094		(PDU)トラブルを防止する調達要件の分析 −RFPの作成と提案書の評価を中心に− 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	0	0	12
品質・技法・信頼性	SPD006		(PDU)テスト計画 −成功するためのテスト方針／工数見積りの極意を伝授−	1日	6	3	1	2
	SPD007		(PDU)テスト管理 −テスト実行時の管理手法／留意するポイント／各種秘訣を伝授−	1日	6	2	3	1
	SPD008		(PDU)テスト戦略 −テスト計画に繋がる具体的な戦略立案の肝−	1日	6	2	1	3
セキュリティ	SCV060	New	(PDU)ゼロトラスト・アーキテクチャ概論 【アイ・ラーニング ライブ配信】	1日	7	0	1	6
ITサービス	ITV017		ITIL®4ファンデーション(受験バウチャーチケット付き) 【バーチャル・クラスルーム】	2日	14	4	6	4
	ITE010		<eラーニング> ITIL®4ファンデーション(受験バウチャーチケット付き)	10時間	10	3	4	3
グローバル								
グローバル	GBE024		<eラーニング>(PDU)インドビジネスの鉄則	10時間	6	0	0	6
	GBE010		<eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎 −ビジネスルールと多様性−(基本セット)	4時間	4	0	2	2

※eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。
PDU数とその内訳は予告なく変更になる場合がございます。

マシン実習　マシンを使用しながらの研修
グループ演習　グループ演習を中心とした研修
レクチャ　座学による研修
eラーニング　インターネット接続による自己学習
自習テキスト　自習書による独習

オンライン / コースコード PMV094

レクチャ 5日間

PMP®資格試験対策5日間コース【パーソル総合研究所 ライブ配信】PDU

PMI®より認定を受けたPMP®資格を取得するための試験対策講座です。試験合格に向けた学習のポイントからテクニック、模擬試験、重点解答解説、総復習までを幅広く学習します。PMP®受験要件の1つである学習時間35時間をカバーしています。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：35ポイント)の取得が可能です。

到達目標 PMP®資格試験合格に必要な*PMBOK®ガイド*および関連知識、解答のポイントを修得できる。

対象者 PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 プロジェクトへの参加経験があり、*PMBOK®ガイド*の基礎知識を修得していること。

内　容
1. PMP®概説と受験申請手続き
2. 【ビジネス環境】
(1)テキスト　レッスン5
「常にビジネスを念頭に置く」
3. 【プロセス】
(1)テキスト　レッスン2
「プロジェクトを開始する」
(2)テキスト　レッスン3
「作業の実行」
4. 【人】
(1)テキスト　レッスン1
「高パフォーマンスチームを組成する」
(2)テキスト　レッスン4
「常にチームを軌道に乗せる」
5. テキスト　アジャイル・テーマのまとめ
6. 模擬試験
7. 解答と解説
8. 全体の振返り

※このコースは、PMI®テキストと補助教材を使用します。

受講料 ¥220,000

オンライン / コースコード PMV108

レクチャ 2日間

(PDU)*PMBOK®ガイド*第7版セミナー【バーチャル・クラスルーム】PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 序論
2. 価値実現システム
3. 原理・原則
4. ステークホルダー
5. チーム
6. 開発アプローチ
7. 計画
8. プロジェクト作業
9. デリバリー
10. パフォーマンス測定
11. 不確実性
12. テーラリング
13. モデル、方法、作成

受講料 ¥92,400

eラーニング / コースコード PME036

eラーニング 2時間

<eラーニング>(PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(1)プロジェクトとは PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 本ガイドの概要と目的
2. 基本的要素
3. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME037

eラーニング 2時間

<eラーニング>(PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(2)プロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネジャーの役割 PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 概要
2. 組織体の環境要因(EEE)
3. 組織のプロセス資産(OPA)
4. 組織のシステム
5. プロジェクト・マネジャーの定義(概要含む)
6. プロジェクト・マネジャーの影響がおよぶ範囲
7. プロジェクト・マネジャーのコンピテンシー
8. 統合の実施
9. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME038

eラーニング 2時間

<eラーニング>(PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(3)統合マネジメント PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. プロジェクト憲章の作成
2. プロジェクトマネジメント計画書の作成
3. プロジェクト作業の指揮・マネジメント
4. プロジェクト知識のマネジメント
5. プロジェクト作業の監視・コントロール
6. 統合変更管理
7. プロジェクトやフェーズの終結
8. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME039

eラーニング 2時間

<eラーニング>(PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(4)スコープ・マネジメント PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. スコープ・マネジメントの計画
2. 要求事項の収集
3. スコープの定義
4. WBSの作成
5. スコープの妥当性確認
6. スコープのコントロール
7. 修了試験

受講料 ¥11,000

プロジェクトマネジメント
プロジェクトマネジメント
プロジェクトマネジメント資格取得

eラーニング / コースコード PME040

<eラーニング>(PDU) プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(5) スケジュール・マネジメント PDU

eラーニング 2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. スケジュール・マネジメントの計画
2. アクティビティの定義
3. アクティビティの順序設定
4. アクティビティの所要期間見積り
5. スケジュールの作成
6. スケジュールのコントロール
7. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME041

<eラーニング>(PDU) プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(6) コスト・マネジメント PDU

eラーニング 2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. コスト・マネジメントの計画
2. コストの見積り
3. 予算の設定
4. コストのコントロール
5. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME042

<eラーニング>(PDU) プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(7) 品質マネジメント PDU

eラーニング 2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 品質マネジメントの計画
2. 品質のマネジメント
3. 品質のコントロール
4. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME043

<eラーニング>(PDU) プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(8) 資源マネジメント PDU

eラーニング 2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 資源マネジメントの計画
2. アクティビティ資源の見積り
3. 資源の獲得
4. チームの育成
5. チームのマネジメント
6. 資源のコントロール
7. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME044

<eラーニング>(PDU) プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(9) コミュニケーション・マネジメント PDU

eラーニング 2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. コミュニケーション・マネジメントの計画
2. コミュニケーションのマネジメント
3. コミュニケーションの監視
4. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME045

<eラーニング>(PDU) プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(10) リスク・マネジメント PDU

eラーニング 2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. リスク・マネジメントの計画
2. リスクの特定
3. リスクの定性的分析
4. リスクの定量的分析
5. リスク対応の計画
6. リスク対応策の実行
7. リスクの監視
8. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME046

<eラーニング>(PDU) プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(11) 調達マネジメント PDU

eラーニング 2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 調達マネジメントの計画
2. 調達の実行
3. 調達のコントロール
4. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME047

<eラーニング>(PDU) プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(12) ステークホルダー・マネジメント PDU

eラーニング 2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ステークホルダーの特定
2. ステークホルダー・エンゲージメントの計画
3. ステークホルダー・エンゲージメントのマネジメント
4. ステークホルダー・エンゲージメントの監視
5. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME024

<eラーニング>(PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー(1) PMを取り巻くもの PDU

eラーニング 2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド*第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*第7版の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. プロジェクトマネジメントの背景
2. 何のためのプロジェクトか?
3. プロジェクトマネジメント標準
4. 価値実現システム

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME025

<eラーニング>(PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー(2) 原理・原則 PDU

eラーニング 2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド*第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*第7版の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. プロジェクトマネジメントの原理・原則
2. スチュワード
3. 協働的なチーム環境
4. ステークホルダーと効果的に関わる
5. 価値に焦点をあてる
6. システムの相互作用
7. リーダーシップ
8. テーラリング
9. プロセスと成果物に品質を組み込む
10. 複雑さへの対処
11. リスク対応の最適化
12. 適応力と回復力
13. 変革

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME026

<eラーニング>(PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー(3) ステークホルダー・パフォーマンス領域 PDU

eラーニング 2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド*第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*第7版の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ステークホルダー・パフォーマンス領域
2. ステークホルダー・エンゲージメント
3. 他のパフォーマンス領域との相互作用
4. 結果のチェック

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME027

<eラーニング>(PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー(4) チーム・パフォーマンス領域 PDU

eラーニング 2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド*第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*第7版の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. チーム・パフォーマンス領域
2. プロジェクト・チーム・マネジメントとリーダーシップ
3. プロジェクト・チームの文化
4. パフォーマンスが高いプロジェクト・チーム
5. リーダーシップ・スキル
6. リーダーシップ・スタイルのテーラリング
7. 他のパフォーマンス領域との相互作用
8. 結果のチェック

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME028

<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第7版セミナー（5）開発アプローチとライフサイクル・パフォーマンス領域 PDU

2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド*第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*第7版の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 開発アプローチとライフサイクル・パフォーマンス領域
2. 開発、ケイデンス、ライフサイクルの関係
3. デリバリー・ケーデンス
4. 開発アプローチ
5. 開発アプローチの選択に関する考慮事項
6. ライフサイクルとフェーズの定義
7. デリバリー・ケーデンス、開発アプローチ、およびライフサイクルの整合性
8. 他のパフォーマンス領域との相互作用
9. 結果のチェック

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME029

<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第7版セミナー（6）計画パフォーマンス領域 PDU

2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド*第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*第7版の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 計画パフォーマンス領域
2. 計画の概要
3. 計画変数
4. プロジェクト・チームの編成と構造
5. コミュニケーション
6. 物的資源
7. 調達
8. 変更
9. メトリックス
10. 整合
11. 他のパフォーマンス領域との相互作用
12. 結果のチェック

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME030

<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第7版セミナー（7）プロジェクト作業パフォーマンス領域 PDU

2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド*第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*第7版の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. プロジェクト作業パフォーマンス領域
2. プロジェクト・プロセス
3. 競合する制約条件のバランスをとる
4. プロジェクト・チームが注力すべき観点の維持
5. プロジェクトのコミュニケーションとエンゲージメント
6. 物的資源のマネジメント
7. 調達での対応
8. 新しい作業と変更の監視
9. プロジェクト期間を通じた学習
10. 他のパフォーマンス領域との相互作用
11. 結果のチェック

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME031

<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第7版セミナー（8）デリバリー・パフォーマンス領域 PDU

2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド*第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*第7版の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. デリバリー・パフォーマンス領域
2. 価値の実現
3. 成果物
4. 品質
5. 次善の成果
6. 他のパフォーマンス領域との相互作用
7. 結果のチェック

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME032

<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第7版セミナー（9）測定パフォーマンス領域 PDU

2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド*第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*第7版の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 測定パフォーマンス領域
2. 効果的な尺度の確立
3. 測定の対象
4. 情報の提示
5. 測定の落とし穴
6. パフォーマンスのトラブルシューティング
7. 成長と改善
8. 他のパフォーマンス領域との相互作用
9. 結果のチェック

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME033

<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第7版セミナー（10）不確かさパフォーマンス領域 PDU

2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド*第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*第7版の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 不確かさパフォーマンス領域
2. 一般的な不確かさ
3. 曖昧さ
4. 複雑さ
5. 変動性
6. リスク
7. 他のパフォーマンス領域との相互作用
8. 結果のチェック

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME034

<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第7版セミナー（11）テーラリング PDU

2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド*第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*第7版の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. テーラリング
2. テーラリングする理由
3. テーラリングする対象
4. テーラリング・プロセス
5. パフォーマンス領域のテーラリング
6. 診断
7. まとめ

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME035

<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第7版セミナー（12）モデル、方法、作成物 PDU

2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド*第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*第7版の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. モデル、方法、作成物
2. よく使用されるモデル
3. 複数のパフォーマンス領域に適用されるモデル
4. よく使われる方法
5. 複数のパフォーマンス領域に適用される方法
6. よく使用される作成物
7. 複数のパフォーマンス領域に適用される作成物

受講料 ¥11,000

プロジェクトマネジメント
プロジェクトマネジメント
プロジェクトマネジメント資格取得

ビジネスアーキテクト

ビジネスアナリシスのフレームワーク、ビジネス戦略に沿った企画立案、ビジネス要求に沿った価値提供を確実にする要件定義、業務プロセス改革を推進するための可視化技術など、ビジネスアーキテクトに必要な知識・技法を修得できます。

事業戦略・投資管理・ビジネスモデル

ビジネスアナリシスのフレームワーク〜企業の変革を成功に導くために〜

レベル2

PDU CDU
CTV078 オンライン
(PDU)(CDU)
ビジネスアナリシス基礎
【パーソル総合研究所 ライブ配信】
レクチャ | 2日間

PDU CDU
CDV008 オンライン
(PDU)
CBAP® 試験対策コース
【パーソル総合研究所 ライブ配信】
レクチャ | 3日間

Renewal PDU
CDV028 オンライン
(PDU) IT経営ストラテジ
(デジタル経営実行計画コース)
【パーソル総合研究所 ライブ配信】
グループ演習 | 2日間

レベル3

Renewal PDU
CDV029 オンライン
(PDU) IT経営ストラテジ
(デジタル経営戦略コース)
【パーソル総合研究所 ライブ配信】
グループ演習 | 2日間

PDU
CDV016 オンライン
(PDU) IT経営ストラテジ
(変革認識コース)
【パーソル総合研究所 ライブ配信】
グループ演習 | 2日間

ビジネス戦略に沿ったシステム企画立案〜IT投資に見合う企業価値創造のために〜

レベル1

CTV071 オンライン
IT主導で攻めのビジネスを
実現するためのビジネス要件と
IT企画の作り方
レクチャ | 1日間

レベル2

PDU CDU
CTV087 オンライン
(PDU)(CDU)ビジネスアナリシス
に基づいた業務改善の顧客提案
【パーソル総合研究所 ライブ配信】
グループ演習 | 2日間

PDU
CTV076 オンライン
(PDU)変革の時代に生き残るために
必要な戦略的IT投資のポイント
−守りから攻めのPMシリーズ−
グループ演習 | 1日間

ビジネス要求に沿った価値提供を確実にする要件定義〜企画・提案の実現性を担保する〜

レベル1

PDU CDU
CTV089 オンライン
(PDU)(CDU)要件定義スキル
基礎−ロールプレイによる
要求の引き出し−
グループ演習 | 2日間

レベル2

PDU CDU
SPV103 オンライン
システムのニーズ分析
グループ演習 | 2日間

業務要件（業務改革）
SPV104 オンライン
要件定義における業務の可視化を
成功させるトレーニング
−業務ニーズから導くシステム化要件−
グループ演習 | 2日間

ユーザー要件 PDU CDU
CTV090 オンライン
(PDU)(CDU)
ビジネスニーズに沿った
ユーザー要件定義の実践力強化
グループ演習 | 2日間

システム要件 PDU CDU
CTV091 オンライン
(PDU)(CDU) 上位ニーズから
不断なく正確にシステム要件を
定義する実践力強化
グループ演習 | 2日間

レベル1 ：要件定義の経験がほとんど無い方、または、要件定義の経験が比較的浅い方
レベル2 ：要件定義の経験がある程度ある方で、マネージャ候補の方、またはマネージャとして活動を開始された方
レベル3 ：複数の要件定義の経験を有し、マネージャとして活動されている方

業務プロセスの改革を推進〜システム企画立案・要件定義で必須の可視化技術〜

レベル1

CTV072 オンライン
現場主導で現状業務の
見える化を推進するための
業務フロー作成技法
レクチャ | 1日間

CTV073 オンライン
既存システムの改修/リプレースの
ための現行システム要件と
利用業務状況の洗い出し方
レクチャ | 1日間

レベル2

SPV104 オンライン
要件定義における業務の可視化を
成功させるトレーニング−業務
ニーズから導くシステム化要件−
グループ演習 | 2日間

システムの企画立案から要件定義（要件定義以降を含めた）までの人財育成

レベル1

企画

CTV071 オンライン
IT主導で攻めのビジネスを
実現するためのビジネス要件と
IT企画の作り方
レクチャ | 1日間

レベル2

PDU CDU
CTV087 オンライン
(PDU)(CDU)ビジネスアナリシス
に基づいた業務改善の顧客提案
【パーソル総合研究所 ライブ配信】
グループ演習 | 2日間

PDU
CTV076 オンライン
(PDU)変革の時代に生き残るために
必要な戦略的IT投資のポイント
−守りから攻めのPMシリーズ−
グループ演習 | 1日間

Renewal PDU
CDV028 オンライン
(PDU) IT経営ストラテジ
(デジタル経営実行計画コース)
【パーソル総合研究所 ライブ配信】
グループ演習 | 2日間

レベル3

Renewal PDU
CDV029 オンライン
(PDU) IT経営ストラテジ
(デジタル経営戦略コース)
【パーソル総合研究所 ライブ配信】
グループ演習 | 2日間

PDU
CDV016 オンライン
(PDU) IT経営ストラテジ
(変革認識コース)
【パーソル総合研究所 ライブ配信】
グループ演習 | 2日間

要件定義/業務の可視化

レベル1

PDU CDU
CTV089 オンライン
(PDU)(CDU)要件定義スキル
基礎−ロールプレイによる
要求の引き出し−
グループ演習 | 2日間

CTV072 オンライン
現場主導で現状業務の
見える化を推進するための
業務フロー作成技法
レクチャ | 1日間

CTV073 オンライン
既存システムの改修/リプレースの
ための現行システム要件と
利用業務状況の洗い出し方
レクチャ | 1日間

レベル2

SPV103 オンライン
システムのニーズ分析
グループ演習 | 2日間

CTV075 オンライン
業務のIT化を推進するための
新業務フロー作成技法と
システムへの要求のまとめ方
レクチャ | 1日間

開発工程全般・企画・設計

PDU CDU
CTV090 オンライン
(PDU)(CDU)
ビジネスニーズに沿った
ユーザー要件定義の実践力強化
グループ演習 | 2日間

PDU CDU
CTV091 オンライン
(PDU)(CDU) 上位ニーズから
不断なく正確にシステム要件を
定義する実践力強化
グループ演習 | 2日間

SPV104 オンライン
要件定義における業務の可視化を
成功させるトレーニング−業務
ニーズから導くシステム化要件−
グループ演習 | 2日間

PDU ：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。3年間で60PDUが必要です。
CDU ：CBAP®/CCBA® 資格更新に必要なポイント（CDU）を取得できます。3年間で60CDUが必要です。

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文可 ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

レベル1	レベル2	レベル3

システム要件定義以降

開発工程全般・企画・設計

- SPV074 オンライン
  後工程で慌てない！ユーザ／業務要件の漏れを未然に防ぐシステム要件定義のコツ
  レクチャ | 1日間
- SPV073 オンライン
  業務要件とユーザビリティを確保するためのユーザ要件定義とUIデザインのコツ
  レクチャ | 1日間
- SPV075 オンライン
  開発の手戻りを最小限にするシステム要件の品質チェックと基本設計のコツ
  レクチャ | 1日間

BABOK® 関連

- PDU CDU CTV078 オンライン
  (PDU)(CDU)ビジネスアナリシス基礎【パーソル総合研究所 ライブ配信】
  レクチャ | 2日間
- PDU CDU CTV087 オンライン
  (PDU)(CDU)ビジネスアナリシスに基づいた業務改善の顧客提案【パーソル総合研究所 ライブ配信】
  グループ演習 | 2日間

資格取得コース

レベル1	レベル2	レベル3

- PDU CDU CTV078 オンライン
  (PDU)(CDU)ビジネスアナリシス基礎【パーソル総合研究所 ライブ配信】
  レクチャ | 2日間
- PDU CDU CDV008 オンライン
  (PDU)CBAP® 試験対策コース【パーソル総合研究所 ライブ配信】
  レクチャ | 3日間

資格 CBAP®/CCBA®資格受験・更新（IIBA®認定）

- 日立アカデミーは、IIBA®（International Institute of Business Analysis）から認定を受けた教育プロバイダー（Endorsed Education Provider）です。
- IIBA®は、国際的かつ中立的立場でビジネスアナリシスの啓蒙を行う非営利団体で、全世界に120を超える支部と30,000名を超える会員を有する団体です。
- IIBA®は、ビジネスアナリシスの知識体系をまとめたBABOK®（Business Analysis Body of Knowledge®）ガイドを発行すると共に、ビジネスアナリシスの専門知識を有していることを証明するための資格認定プログラムを提供しています。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/iiba.html

IIBA Endorsed Education Provider™

IIBA®、IIBA®ロゴ、BABOK®は、International Institute of Business Analysisが所有する登録商標です。

PDU ：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。3年間で60PDUが必要です。
CDU ：CBAP®/CCBA®資格更新に必要なポイント（CDU）を取得できます。3年間で60CDUが必要です。

レベル1 ：要件定義の経験がほとんど無い方、または、要件定義の経験が比較的浅い方
レベル2 ：要件定義の経験がある程度ある方で、マネージャ候補の方、またはマネージャとして活動を開始された方
レベル3 ：複数の要件定義の経験を有し、マネージャとして活動されている方

CDU 対象コース一覧

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません

分野	コースコード	区分	コース名	日数	CDU
ビジネスアーキテクト					
	CTV078		(PDU)(CDU)ビジネスアナリシス基礎【パーソル総合研究所 ライブ配信】	2日	14
	CDV008		(PDU)CBAP(R)試験対策コース【パーソル総合研究所 ライブ配信】	3日	24
	CTV087		(PDU)(CDU)ビジネスアナリシスに基づいた業務改善の顧客提案【バーチャル・クラスルーム】	2日	12
	CTV090		(PDU)(CDU)ビジネスニーズに沿ったユーザー要件定義の実践力強化【バーチャル・クラスルーム】	2日	12
	CTV091		(PDU)(CDU)上位ニーズから不断なく正確にシステム要件を定義する実践力強化【バーチャル・クラスルーム】	2日	12
	CTV089		(PDU)(CDU)要件定義スキル基礎−ロールプレイによる要求の引き出し−【バーチャル・クラスルーム】	2日	12

※資格試験および対応コースは、随時変更される可能性があります。

オンライン / コースコード CTV078

レクチャ 2日間 (PDU)(CDU)ビジネスアナリシス基礎【パーソル総合研究所 ライブ配信】 PDU CDU

多くの人が、“ビジネスアナリシス”という領域を知らないまま、ビジネスアナリスト（BA）の役割を担っていたり、または、無意識にビジネスアナリシスを行っているのが現状です。
無意識にBA業務をしている組織のマネジャーや専門職の人は、BA業務は役職にかかわらず、企業にとって大きな価値をもたらすということを知らずにいることが多々あります。
このビジネスアナリシス基礎では、「ビジネスアナリシスとは」から始まり、BABOK® V3.0の知識エリアに沿った形でビジネスアナリシスの基礎的なフレームワークや考え方を学びます。

- 米国PMI®認定コースに認定されており、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：14ポイント）の取得が可能です。
- IIBA®認定コースに認定されており、CBAP®資格更新に必要なポイント（CDU：14ポイント）および、受験に必要な事前学習時間（14時間）の取得が可能です。
- ITコーディネータ協会の実践力ポイント対象コースに認定されており、認定学習時間（14時間）/7ポイントの取得が可能です。

到達目標
- BABOK®を知りたい方、ビジネスアナリシスを学びたい方。
- ビジネス価値を生むことに責任を持ち、プロジェクト・ベースで仕事をする全ての方。

対象者 特に必要としません。

前提知識
【1日目】
イントロダクション
1. ビジネスアナリシスとは
2. 戦略を分析する
3. 要求を引き出す
【2日目】
4. 要求を分析する
5. 要求のライフサイクルをマネジメントする
6. ソリューションを評価する
7. ビジネスアナリシスの計画を立てる
※各章にて演習・ケーススタディを実施します。

内容 ¥99,000

受講料

オンライン / コースコード CDV008

レクチャ 3日間 (PDU)CBAP®試験対策コース【パーソル総合研究所 ライブ配信】 PDU CDU

CBAP®試験は米国の非営利団体IIBA（International Institute of Business Analysis）が認定する資格で唯一日本語での受験が可能な資格です。そのCBAP®資格を取得するための試験対策として、米国Strategy Execution社のノウハウを活用し、合格に向けた学習ポイントを修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：24ポイント）、CCBA®/CBAP®資格更新に必要なポイント（CDU：24ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- BABOK®の全体像と基礎知識を深く掘り下げ、合格に向けた学習ポイントや試験傾向と対策を説明できる。
- 現状知識の強いエリア・弱いエリアを明確にし、受験に向けた強化ポイントを説明できる。
- CBAP®およびIIBAに関する知識と受験申請の手続き、受験に際しての心構えについて説明できる。

対象者 CBAP®資格取得をめざす方。

前提知識 BABOK®の基礎知識を修得していること。

内容
1. 試験概要/受験申請手続き
2. 基本概念
3. 計画と監視
4. 引き出しとコラボレーション
5. 戦略アナリシス
6. 要求分析とデザイン定義
7. ソリューション評価
8. 基礎コンピテンシー
9. 要求ライフサイクル管理
10. パースペクティブ
11. 150問模擬試験/解答解説

受講料 ¥165,000

オンライン / コースコード CDV028 Renewal

グループ演習 2日間 (PDU)IT経営ストラテジ（デジタル経営実行計画コース）【パーソル総合研究所 ライブ配信】 PDU

このコースは、ITコーディネータ協会が発刊する「ITコーディネータ・プロセスガイドライン」に準拠し、デジタル経営を推進するプロセスとして「価値実現サイクル」の「デジタル経営実行計画プロセス」、「IT開発・導入プロセス」および「価値提供・運用プロセス」を中心に学習します。研修では、企業ケース事例を用いながら価値実現のための「デジタル経営実行計画」や「IT開発・IT導入計画」を立案し、その実行を評価する「IT利活用による価値の提供アクティビティ」の活動を通じて「改善案やアクションプラン」の実行の重要性を理解します。このコースは、「経済産業省推進資格ITコーディネータ」を取得するための「ケース研修の受講・修了」の一部として認定され、ITコーディネータ資格の取得をめざす人にとって推奨される研修になっています。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：16ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- ITが経営戦略に基づくものであることを理解できる。
- ITユーザー企業視点に基づいたIT戦略およびIT利活用に関するポイントを理解できる。

対象者
- ITコーディネータ資格をめざす方。
- ITユーザー企業へIT開発・IT導入を提案する方。
- IT開発・IT導入の前工程を学びたい方。
- デジタル経営企画業務に興味を持つ方。
- IT提案に経営者視点を加味したい方。

前提知識 特に必要としません。

内容
【講義】
1. ITコーディネータプロセスガイドラインの理解
2. 価値実現サイクルの理解
   (1)デジタル経営実行計画プロセス
   (2) IT開発・導入プロセス
   (3) 価値提供・運用プロセス

【演習課題】
- デジタル経営実行計画の情報収集と分析
- デジタル経営実行計画の作成
- ITシステム開発の実施
- ITシステム導入の実施
- 価値提供と運用

受講料 ¥88,000

オンライン / コースコード CDV029 Renewal

グループ演習 2日間

（PDU）IT経営ストラテジ（デジタル経営戦略コース）【パーソル総合研究所 ライブ配信】PDU

このコースは、ITコーディネータ協会が発刊する「ITコーディネータ・プロセスガイドライン」に準拠し、デジタル経営を推進するプロセスである「デジタル経営成長サイクル」の「デジタル経営戦略プロセス」を中心に学習します。研修では、企業ケース事例を用いながら経営課題やデジタル上の課題を引き出し、デジタル経営実現ための「デジタル経営戦略」を策定し、その実行を評価する「価値提供検証プロセス」の活動を通じて「プロセス・アクティビティ・タスクの改善」の提案や実行の重要性を理解します。このコースは、「経済産業省推進資格ITコーディネータ」を取得するための「ケース研修の受講・修了」の一部として認定され、ITコーディネータ資格の取得をめざす人にとって推奨される研修になっています。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：16ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・IT経営の戦略策定と評価のポイントについて理解できる。
・経営者視点に基づいた経営戦略の策定に関するポイントを理解できる。

対象者
・IT提案に経営者視点を加味したい方。
・デジタル経営実行計画の前工程を学びたい方。
・デジタル経営企画業務に興味を持つ方。
・経営改革または業務改革を提案する方。
・ITコーディネータ資格をめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
【講義】
1. ITコーディネータプロセスガイドラインの理解
2. デジタル経営成長サイクルの理解
　（1）デジタル経営戦略プロセス
3. 価値実現サイクルの理解
　（1）価値提供・運用プロセス
　（2）提供価値検証プロセス

【演習課題】
・デジタル経営の情報収集と分析
・あるべき姿の構築
・経営リスクの評価と対応
・デジタル経営戦略の策定
・デジタル経営戦略の展開
・提供価値の検証とフィードバック

受講料 ¥88,000

オンライン / コースコード CDV016

グループ演習 2日間

（PDU）IT経営ストラテジ（変革認識コース）【パーソル総合研究所 ライブ配信】PDU

このコースではIT経営の上流となる変革認識および、ITコーディネータプロセスガイドラインを学ぶことを通じて、ITコーディネータケース研修に相当する知識をトータルで修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：16ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・経営に必要な変革の必要性および、組織の変革ニーズを整理し、コンセンサスとコミットメントを得ることができる。
・ITコーディネータプロセスガイドラインの概要を把握し、自らの変革プロジェクトに適用できる。

対象者
・IT提案に経営者視点を加味したい方。
・IT戦略の前工程を学びたい方。
・経営企画業務に携わる方。
・経営改革または業務改革を提案する方。

前提知識 「IT経営ストラテジ（デジタル経営戦略コース）」および「IT経営ストラテジ（デジタル経営実行計画コース）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. IT経営認識領域と変革認識プロセスの理解
2. 持続的成長認識プロセスの理解
3. 変革マネジメントプロセスの理解とまとめ
4. IT経営共通領域の理解

受講料 ¥88,000

オンライン / コースコード CTV071

レクチャ 1日間

IT主導で攻めのビジネスを実現するためのビジネス要件とIT企画の作り方【バーチャル・クラスルーム】

ITを全面的に活用することでこれまでになかった新しいビジネスを実現する企業がどんどん生まれています。自社においてこのような取り組みをどのように進めれば良いのか。その最重要ポイントに絞って、書籍「ビジネスデザイン」の著者が豊富な現場経験に基づく実戦的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。

到達目標
・ITの真の価値について説明できる。
・顧客ニーズの設定手法について説明できる。
・ビジネスシナリオの作り方について説明できる。

対象者 現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者（IT知識が無くても可）やシステムエンジニアの方。

前提知識 5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。情報システムの開発または連用に携わった経験があると尚良い。

内　容
1. IT化と従来のシステム化の違い
2. ビジネスと顧客
3. 顧客ニーズと提供価値
4. IT主導のビジネスシナリオ
5. 演習

受講料 ¥49,500

オンライン / コースコード CTV087

グループ演習 2日間

（PDU）（CDU）ビジネスアナリシスに基づいた業務改善の顧客提案【バーチャル・クラスルーム】PDU CDU

このコースは、ビジネス分析のフレームワークを理解し適用するために必要な基礎的知識を修得します。そのうえで、広い視点を持ちながら、顧客のビジネス戦略と齟齬のない「正しいソリューション」を提供するために適切なビジネス分析活動を実施し、システム化の構想を策定する方法を学習します。
本研修は、ラーニング・ツリー・インターナショナル（株）の講師が担当します（使用言語：日本語）。
本研修の担当講師は、OS・ミドルウェアからアプリケーションにいたるまで、ソフトウェア開発の要件定義や基本設計の実務経験豊富な方です。
このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）、CCBA®/CBAP®資格更新に必要なポイント（CDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・ビジネス分析のフレームワークを理解し適用できる。
・ビジネス戦略に合致した、プロジェクトの目標、スコープ、要件の優先順位判定基準を策定しプロジェクトの立ち上げをスムーズに実施できる。
・業務レベルでの広い視点を持ちながら、システム化の構想を策定できる。

対象者 プロジェクトマネージャ、および顧客要件取りまとめ、社内情報システム、プレ活動、プロセス改善を担当される方。

前提知識 プロジェクト・マネジメント、顧客要件取り纏め、社内情報システム構築、プレ活動、プロセス改善などの業務を行っているか、その経験がある方。

内　容
1. 顧客の期待に応えるソリューションを構築するための考慮点
　（1）顧客は何を求めているのか？
　（2）顧客プロジェクトのタイプ
2. ビジネスアナリシスのフレームワークとプロセス
　（1）ビジネスアナリシス（ビジネス分析）、ビジネスアナリシス知識体系ガイド、ビジネスアナリシスのプロセス
3. ビジネスプロセスのモデリング
　（1）業務フロー図とは？
　（2）BPMによる業務フローの記述、業務改善と業務プロセス改善
4. ソリューション案の作成と評価
　（1）代替案と評価方法、前提条件の明確化
5. コースのまとめ

受講料 ¥160,600

オンライン / コースコード CTV076

グループ演習 1日間

（PDU）変革の時代に生き残るために必要な戦略的IT投資のポイント−守りから攻めのPMシリーズ−【バーチャル・クラスルーム】PDU

関与者とコミュニケーションを取りながらビジネス変革の成功シナリオを共有し、戦略的IT投資でそれを実現するための具体的手法を修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・戦略的IT投資案件の企画および提案の具体的な進め方が説明できる。
・限られた予算を有効活用するIT投資マネジメントの考え方が説明できる。

対象者
・IT投資案件を提案する方。
・セールスエンジニアの方。
・ビジネスアナリストの方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内　容
1. 今なぜ戦略的IT投資なのか
　（1）IT投資を取り巻く環境
　（2）最新ITトレンド情報
2. IT投資のアイデアを発掘する
　（1）ラン・ザ・ビジネスの効率化
　（2）バリューアップの創出
3. ビジネス戦略にIT投資を連動させる
　（1）バランススコアカードの考え方
　（2）ITソリューションへの応用
　（3）ITイノベーションへの展開
4. 経営者に投資対効果を説明する
　（1）見積金額の妥当性
　（2）投資効果の算出方法

受講料 ¥38,500

オンライン / コースコード CTV089

グループ演習 2日間

（PDU）（CDU）要件定義スキル基礎−ロールプレイによる要求の引き出し−【バーチャル・クラスルーム】PDU CDU

このコースでは、要件定義の進め方の概要について学びます。要件定義を進める上で共通的に必要となるスキル（コミュニケーション、問題解決）について、内容の理解が容易な事例を用いた演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）、CCBA®/CBAP®資格更新に必要なポイント（CDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・要件定義の進め方を理解し、説明できる。
・要件定義を進める際に、問題を理解・把握し、解決策を提示するための知識を説明できる。
・要件定義を進める際に、関係者と円滑にコミュニケーションを取るための知識を説明できる。

対象者 要件定義の基礎的なスキルを学びたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 要件定義の全体手順
　（1）作業ステップ
　（2）成果物
2. 要件定義を進めるために必要となるコミュニケーション力
　（1）ヒアリングのスキル
　（2）ミーティング進行のスキル
3. 要件定義を進めるために必要となる問題解決力
　（1）問題分析のスキル

受講料 ¥112,200

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

オンライン / コースコード SPV103

グループ演習 2日間

システムのニーズ分析【バーチャル・クラスルーム】

顧客の業務に一歩踏み込み、的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を、ニーズ分析の進め方の解説と演習を通して学習します。

到達目標
・ニーズ分析の基礎を説明できる。
・顧客の業務に一歩踏み込み、的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を理解できる。

対象者
・顧客業務要求に合わせたシステム化要件の要求分析に関心のある方。
・要件定義プロセスにて顧客との合意形成を勧めたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ニーズ分析の位置付けと意義
　（1）「上流工程」で行うべきこと
　（2）ニーズ分析の全体プロセス
　（3）ニーズ分析の意義
2. ニーズ分析のプロセス
　（1）準備フェーズ
　（2）分析フェーズ

受講料 ¥95,700

オンライン / コースコード SPV104

グループ演習 2日間

要件定義における業務の可視化を成功させるトレーニング−業務ニーズから導くシステム化要件−【バーチャル・クラスルーム】

ニーズ分析の結果をもとに業務・システムの要件を定義するトレーニングです。要件定義において業務の可視化を行うことにより合意形成できる要件定義を行うための手法を修得できます。

到達目標
・要件定義全体の流れについて説明できる。
・業務の可視化ができる。
・システムニーズを反映した新しい業務・システムの要件が整理できる。

対象者
・要件定義のプロジェクトに今後参加される方、または参加したいと考えている方。
・要件定義の活動の取りまとめを行う方。

前提知識 「システムのニーズ分析」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 業務要件定義の位置付けと意義
　（1）「超上流工程」（要件定義）で行うべきこと
　（2）業務要件定義の全体プロセス
　（3）業務要件定義の意義
2. 業務要件定義のプロセス
　（1）業務プロセスデザインフェーズ
　（2）アプリケーションデザインフェーズ

受講料 ¥95,700

オンライン / コースコード CTV090

グループ演習 2日間

（PDU）（CDU）ビジネスニーズに沿ったユーザー要件定義の実践力強化【バーチャル・クラスルーム】PDU CDU

要件の取りまとめは、あらゆるプロダクト、サービス、システムのプロジェクトの要です。しかしながら、顧客やユーザーが真に必要としているものの要件をイメージできていない場合、上流工程は混沌とした状況に陥り、顧客・ユーザー視点の重要な要件が抜けたままシステムの要件定義へと移ってしまうケースがあります。これを未然に防ぐには、顧客やユーザーの視点からユーザーストーリーを作成してユーザー要件を識別し、文書化し、最適化を図った上で、ユーザーと合意することが有効です。このコースでは、明確に定義されたプロセスを用いて、ユーザー要件を獲得する上で必要な知識とスキルを講義・演習を通じて学習します。
このコースは、ラーニング・ツリー・インターナショナル（株）の講師が担当します（使用言語：日本語）。
このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）、CCBA®/CBAP®資格更新に必要なポイント（CDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・ユーザーストーリーを用いてユーザー要件を獲得し、文書化・モデル化することができる。
・ユースケース手法を使用できる。
・ユースケースの精緻化・最適化を図ることができる。

対象者
・業種・職種を問わずプロダクト、システム、サービス、ソリューションの要件定義に従事される方。
・要件獲得をめざす方、上流工程の担当者、要件定義からシステム開発を担当する方。

前提知識 特段、前提とするスキルはありませんが、ソフトウェアの開発経験があることが望ましい。
UML使用経験は特に必要ありません。

内　容
1. 要件定義のアプローチ
2. ユーザー業務フローとユースケースの作成
　（1）ユーザーストーリーを想定し、ユースケース手法でまとめる
3. ユースケースの精緻化・最適化
　（1）トップダウンで段階的にユースケースを作成するスパイラル手法
　（2）リファクタリング技術を利用し、ユースケースを精緻化あるいは最適化
　（3）ユーザーストーリーを図示し、矛盾・漏れ・重複を排除し、同時にステークホルダーの理解を促すことで容易にユーザーの合意を得る
4. 要件の妥当性確認とテストへの活用

受講料 ¥160,600

オンライン / コースコード CTV091

グループ演習 2日間

（PDU）（CDU）上位ニーズから不断なく正確にシステム要件を定義する実践力強化【バーチャル・クラスルーム】PDU CDU

プロダクト、サービス、システムのプロジェクトを成功させるためには、『ビジネスニーズに沿ったユーザー要件/業務要件を正確に読み解き、それを正確且つ効率的にシステム要件へと落とし込む』一連の流れを意識した要件定義プロセスが重要となります。このプロセスをおろそかにすると、定義した要件の誤解釈・見落とし・誇大展開などにより、実際に開発する際に欠陥が混入し、以降の工程で何度も手戻りが発生したり、顧客やユーザーのニーズに合っていない成果物になってしまう可能性があります。
このコースでは、ユーザー要件／業務要件を正確に読み解き、システムに対する制約や条件などのシステム要件を過不足なく明確に定義する手法を講義・演習を通じて学習します。
このコースは、ラーニング・ツリー・インターナショナル（株）の講師が担当します（使用言語：日本語）。
このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）、CCBA®/CBAP®資格更新に必要なポイント（CDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・ユーザー要件／業務要件を元とした設計を円滑に実施するために、システム要件を定義できる。
・ユーザー要件／業務要件とシステム要件、設計が不断なく繋がっていることを確認することができる。

対象者
・業種・職種を問わずプロダクト、システム、サービス、ソリューションの要件定義に従事される方。
・システム要件を受け取り、開発プロジェクトの指揮、設計、テスト、管理する方。
このコースは、ソフトウェア開発に重点を置いておりますが、ITプロジェクトに限定しておりません。OTプロジェクトでも活用できます。

前提知識 特に必要としませんが、ソフトウェアの開発経験があることが望ましいです。なお、UML使用経験は特に必要ありません。

内　容
1. ユーザー要件／業務要件の理解
2. ユーザー要件／業務要件からシステム要件を定義
　（1）システム要件とは
　（2）I/F 要件（プロトタイプ、状態遷移図）
　（3）データ要件（クラス図）
　（4）プロセス要件
　（5）非機能要件（信頼性・可用性・性能など）
3. 要件の妥当性確認とテストへの活用

受講料 ¥160,600

オンライン / コースコード CTV072

レクチャ 1日間

現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法【バーチャル・クラスルーム】

RPAなどの現場主導によるIT化／業務改善がますます増えています。このような取り組みを推進するには現行業務の見える化が不可欠です。しかし業務の見える化は決して簡単ではなく時間もかかるため、なかなか期待通りに進まず失速するケースも多々あります。多忙な現場担当者が割く時間を最小限に抑えながら精度の高い現場業務の見える化を実現するための方法について、書籍「はじめよう！プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実戦的な手法を紹介します。

到達目標
・業務の構造について説明できる。
・業務フローの作成方法について説明できる。

対象者
・生産性向上や働き改革などのテーマに取り組まなければならないがどこからどう進めれば良いかお悩みの方。
・現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者（IT知識が無くても可）やシステムエンジニアの方。

前提知識 1年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。

内　容
1. どうして業務改善が難しいのか
2. 業務の構造
3. 見える化が難しい理由
4. 業務フロー作成技法
5. 見える化の罠を乗り越える
6. 演習

受講料 ¥49,500

オンライン / コースコード CTV073

レクチャ 1日間

既存システムの改修／リプレースのための現行システム要件と利用業務状況の洗い出し方【バーチャル・クラスルーム】

21世紀も四半世紀を過ぎた今、既存システムの高度化・デジタルビジネス対応は喫緊の課題です。しかし多くの取り組みで発生している問題は現状の利用実態を把握しきれず必要な業務ニーズを取りこぼすことです。これを予防するには現行システムの利用状況をしっかりと把握する必要があります。ともすればドキュメントが揃ってなかったりする現実において、現状の洗い出しを高速かつ簡便に実現する方法について、書籍「はじめよう！要件定義」の著者が豊富な現場経験に基づく実戦的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。

到達目標
・業務の構造について説明できる。
・業務フローの作成方法について説明できる。
・見える化の罠について説明できる。

対象者 現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者（IT知識が無くても可）やシステムエンジニアの方。

前提知識 3年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。情報システムの開発または連用に携わった経験があると尚良い。

内　容
1. 「現行通り」とは何か
2. 洗い出すべきもの
3. システム要件と業務の関係
4. ユーザの期待と失望
5. 洗い出しの手順
6. 演習

受講料 ¥49,500

ビジネス
アーキテクト

クラウド

クラウドや仮想化の基礎知識と技術が修得できます。

クラウド基盤の基礎知識や技術を修得したい方

レベル1 | レベル2 | レベル3

- UXE003 eラーニング クラウドコンピューティング入門（音声なし・説明文有 | 4時間）
- CLV014 オンライン 実機で学ぶ！クラウドコンピューティング入門（マシン実習 | 1日間）
- 休講 DBV152 オンライン ビッグデータにおけるシステム設計 実践−多様なデータを統合しビッグデータとして活用する−（マシン実習 | 1日間）
- SDV006 オンライン クラウドネイティブまるごと理解 −DevOpsからマイクロサービス、クラウドデザインまで−【アイ・ラーニング ライブ配信】（マシン実習 | 1日間）［モダン開発（アジャイル開発含む）］
- CDV032 オンライン 事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理 −Cloud Essentials−（グループ演習 | 2日間）
- CLV026 オンライン クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向（レクチャ | 0.5日間）
- CLE002 eラーニング Cloud beginnerのためのインフラストラクチャ基礎（音声なし・説明文有 | 6時間）
- CDV019 オンライン AWS Cloud Practitioner Essentials＆AWS Technical Essentials（マシン実習 | 2日間）
- New CDV027 オンライン Developing Generative AI Applications on AWS（レクチャ | 2日間）
- CLV027 オンライン Microsoft Azure概説（マシン実習 | 1日間）
- CDV037 オンライン 【短縮版】Microsoft Azure Administrator（マシン実習 | 3日間）
- CDV021 オンライン AWS Security Essentials（マシン実習 | 1日間）
- CLV023 オンライン Microsoft Azure データの基本 (DP-900T00)【トレノケート株式会社 ライブ配信】（レクチャ | 1日間）
- CLV022 オンライン Microsoft Azureを用いたAIサービス入門 −自然言語処理・画像認識の体験−（マシン実習 | 1日間）
- CDV012 オンライン Architecting on AWS（マシン実習 | 3日間）
- CLV024 オンライン Microsoft セキュリティ、コンプライアンス、IDの基礎 (SC-900T00)【トレノケート株式会社 ライブ配信】（レクチャ | 1日間）
- CLV029 オンライン Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門（マシン実習 | 1日間）
- CDV013 オンライン Developing on AWS（マシン実習 | 3日間）
- MSV055 オンライン Windows Server入門（マシン実習 | 2日間）
- CLV021 オンライン Microsoft Azureによるサイト間ネットワークの構築−ハイブリッドクラウド構成の基礎−【トレノケート株式会社 ライブ配信】（マシン実習 | 1日間）［プラットフォーム（Linux/Microsoft）］
- New CDJ001 集合 Google Cloud Fundamentals：Core Infrastructure（マシン実習 | 1日間）
- New CDJ002 集合 Getting Started with GKE（マシン実習 | 1日間）
- New CDJ003 集合 Introduction to Developer Efficiency with Gemini on Google Cloud（マシン実習 | 1日間）

サーバ仮想化・コンテナ仮想化の基礎知識や技術を修得したい方

レベル1 | レベル2 | レベル3

［プラットフォーム（Linux/Microsoft）］
- CLV020 オンライン サーバ仮想化／コンテナ仮想化技術解説（レクチャ | 1日間）
- CDV024 オンライン 触れて学ぶコンテナ基礎【アイ・ラーニング ライブ配信】（マシン実習 | 1日間）
- CDV025 オンライン 触れて学ぶコンテナ実践 −Docker実践編−【アイ・ラーニング ライブ配信】（マシン実習 | 1日間）
- CLE011 eラーニング【マシン演習付き】コンテナ技術入門（音声なし・説明文有 | 7.5時間）
- UXE010 eラーニング Kubernetesはじめの一歩（音声なし・説明文有 | 10時間）
- UXE006 eラーニング Kubernetes基礎（音声有・説明文有 | 35時間）

［モダン開発（アジャイル開発含む）］
- SDV006 オンライン クラウドネイティブまるごと理解 −DevOpsからマイクロサービス、クラウドデザインまで−【アイ・ラーニング ライブ配信】（マシン実習 | 1日間）
- CLV005 オンライン 実機で学ぶ！サーバ仮想化入門 −VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVM−（マシン実習 | 1日間）

資格 アマゾン ウェブ サービス（AWS）認定資格

AWS 認定資格は、AWS プラットフォームで稼働するアプリケーションの設計、デプロイ、管理に必要なスキルと技術知識を有する IT プロフェッショナルであることを証明します。認定資格を取得することにより AWS に関してスキルや知識を有していることを証明できるだけでなく、所属組織が AWS ベースのアプリケーションを運用構築ができる人材を有していることを証明します。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/aws.html

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文有 ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

eラーニング / コースコード UXE003

<eラーニング> クラウドコンピューティング入門

4時間

クラウドコンピューティングの基本的な内容、適用技術を学習します。

到達目標 クラウドコンピューティングの概要を説明できる。

対象者 クラウドコンピューティングに関する基礎的な知識を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. クラウドコンピューティングとは
   (1)クラウドコンピューティングの定義
   (2)クラウドコンピューティングの背景と出現
   (3)クラウドコンピューティングの提供形態
   (4)クラウドコンピューティングのサービスモデル
   (5)クラウドコンピューティングの歴史
   (6)クラウドコンピューティングのメリット、デメリット
   (7)クラウドコンピューティングの動向
2. クラウドコンピューティングの適用
   (1)パブリッククラウドの適用
   (2)プライベートクラウドの構築と運用
   (3)クラウドを支える基礎技術
3. 修了試験

受講料 ¥7,700

オンライン / コースコード CLV014

実機で学ぶ! クラウドコンピューティング入門 【バーチャル・クラスルーム】

1日間

AWSとMicrosoft Azureの概要や違いを実機を操作しながら学習します。

到達目標
- AWSとMicrosoft Azureの概要を理解し、基本的な違いを説明できる。
- 仮想マシンの起動など、AWSとMicrosoft Azureの操作コンソールで基本的な操作ができる。

対象者 これからクラウドを利用・提案するうえで、主要なパブリッククラウドを比較検討したい方。

前提知識 コンピュータの基礎知識があること。

内　容
1. クラウドコンピューティングの概要
2. AWS
3. Microsoft Azure
4. AWSとMicrosoft Azureの比較

受講料 ¥38,500

オンライン / コースコード DBV152 / 休講

ビッグデータにおけるシステム設計実践 −多様なデータを統合しビッグデータとして活用する− 【バーチャル・クラスルーム】

1日間

設備保守支援システム、業務最適化支援システムからテーマを選択し、それを実現するためのシステムの初期設計を行います。どこにどのような装置やソフトウェアを配置し、それらをどのようにつなげるか検討し、議論することでデータ活用システムの設計力を身につけます。

到達目標
- システムを構成するうえで必要となる要素技術の全体像を説明できる。
- ビッグデータシステムにおいて顧客要件から必要な技術を選択しシステムを設計できる。
- 設計したシステムの意図を他者に説明できる。

対象者
- ITエンジニア職、若手・中堅の方。
- 基幹DBや他のデータを、分析用に加工および統合するシステムを設計する方。
- 分析に適したデータ設計をする方。

前提知識
- データベース、仮想環境、ビッグデータに関する基礎知識があること。
- 基幹業務システムを構成する技術要素の基礎知識があること。

内　容
1. オリエンテーション
2. 利用する技術要素の概要
3. グループワーク
4. 発表

受講料 ¥47,300

eラーニング / コースコード CLE002

<eラーニング> Cloud beginnerのための インフラストラクチャ基礎

6時間

サーバ、ネットワーク、ストレージ、認証、DNS（名前解決）、データベース、HA、バックアップ、クラウドの基本（XaaS、仮想化、パブリック／プライベートクラウド）といった点について、クラウドの研修を受講する前に押さえておきたい基礎を学習します。

到達目標 クラウドを利用するうえで必要となるインフラの基礎知識を修得し、AWS認定コースなどのクラウド研修の前提知識を修得できる。

対象者
- これからクラウドを利用するにあたり、インフラの幅広い知識を修得したい方。
- AWS認定コースなどのクラウド研修を受講前に、前提知識を修得したい方。

前提知識 コンピュータの基礎知識があること。

内　容
1. 仮想サーバ
2. ストレージ
3. コンテナ
4. ネットワーク
5. DNS
6. データベース
7. バックアップ
8. 可用性
9. クラウド

受講料 ¥19,800

オンライン / コースコード CDV032

事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理−Cloud Essentials− 【バーチャル・クラスルーム】

2日間

特定の技術やベンダーに依存しない、汎用的なクラウドの事業上および技術的な観点について学習します。クラウドの導入、運用および管理の方法についての理解を深めます。

到達目標
- クラウドの事業上の利点、考慮点を理解しお客さまにクラウドサービスのコンサルテーションができるようになる。
- ITサービスマネジメントの観点からクラウド・コンピューティングへ移行する場合の検討事項を理解できる。

対象者 クラウドサービスの提案を行うプレSE・営業の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. クラウド・コンピューティングの概要
2. 事業上の観点
3. 技術上の観点
4. クラウド・コンピューティングの導入
5. クラウド・コンピューティングの運用
6. クラウド・コンピューティングの管理

受講料 ¥134,200

オンライン / コースコード CLV026

クラウドコンピューティングで読み解く ITサービスの最新動向 【バーチャル・クラスルーム】

0.5日間

クラウドコンピューティングの技術的背景を総括しながら、新たなITサービスの動向や、今後の可能性について紹介します。

到達目標
- クラウドコンピューティングの概念を理解できる。
- ビジネスにおける活用例を知ることができる。
- 提案につなげるヒントについて考えることができる。

対象者 最近のIT動向を把握したいとお考えの営業/SE/プログラマの方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. クラウドコンピューティングとは?
2. クラウドコンピューティングを実現する技術
3. クラウドコンピューティングを実現化するサービス実例
4. クラウドコンピューティングによる近未来のITサービス

受講料 ¥33,000

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

オンライン / コースコード CDV019

AWS Cloud Practitioner Essentials &AWS Technical Essentials 【バーチャル・クラスルーム】

2日間

1日目はAWSを全体的に理解し、AWS認定クラウドプラクティショナー試験の準備にも役立ちます。2日目はハンズオンを通してAWSを使ったシステムの作成をします。

到達目標
- コンピューティング、ネットワーク、データベース、ストレージといった、AWS の主要なサービスついて説明できる。
- AWS クラウドサービスを使用した適切なソリューションついて説明できる。
- AWS Well-Architected フレームワークついて説明できる。
- AWS クラウドへの移行の基本について説明できる。
- 主要な請求、アカウント管理、料金モデルついて説明できる。
- Amazon CloudWatch のモニタリング機能ついて説明できる。

対象者
- これからAWSを使い始める方。
- AWSのサービスについて技術上の利点をお客さまに説明する方。
- AWSのソリューションアーキテクト（設計構築者）、システム運用管理者、および開発者をめざす方。

前提知識
- IT 部門での業務経験があること。
- 一般的なデータセンターのアーキテクチャとコンポーネント（サーバ、ネットワーク、データベース、アプリケーションなど）に関する基本的な知識があること。

内　容
●AWS Cloud Practitioner Essentials
1. アマゾン ウェブ サービスの紹介
2. クラウドでのコンピューティング
3. グローバルインフラストラクチャと信頼性
4. ネットワーク
5. ストレージとデータベース
6. セキュリティ
7. モニタリングと分析
8. 料金とサポート
9. 移行とイノベーション
10. AWS 認定クラウドプラクティショナーの基本

●AWS Technical Essentials
1. Amazon Web Services の紹介
2. AWS のコンピューティング
3. AWS のネットワーキング
4. AWS のストレージ
5. データベース
6. モニタリング、最適化およびサーバーレス

受講料 ¥154,000

オンライン / コースコード CDV027 / New

Developing Generative AI Applications on AWS 【バーチャル・クラスルーム】

2日間

AWSサービスを使って、大規模言語モデルを利用した生成AIアプリケーションを開発する方法を学習します。

到達目標
- 生成 AI の重要性を定義し、その潜在的なリスクと利点を理解できる。
- 生成 AI のユースケースからビジネス価値を理解できる。
- 生成 AI に関する技術的基礎と重要な用語について理解できる。
- 特定のモデルに最適なプロンプト手法を理解できる。
- 生成 AI アプリケーションを構築するために Amazon Bedrock を利用して実装できるアーキテクチャパターンを理解できる。

対象者 AWSで大規模言語モデルを利用した生成AIアプリケーションを開発される方。

前提知識 「AWS Cloud Practitioner Essentials&AWS Practical Startup Workshop」コース、「Python入門ーデータ分析での活用をテーマとしてー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 生成AIの概要 可能性を実現する力
2. 生成AIプロジェクトの計画
3. Amazon Bedrock入門
4. プロンプトエンジニアリングの基礎
5. Amazon Bedrockアプリケーションコンポーネント
6. Amazon Bedrock基盤モデル
7. LangChainを使う
8. アーキテクチャパターン

受講料 ¥154,000

オンライン / コースコード CDV021

AWS Security Essentials 【バーチャル・クラスルーム】

1日間

このコースは、AWS クラウドのセキュリティコンセプトについて取り扱い、これには AWS アクセスコントロール、データ暗号化方式、AWS インフラストラクチャーへのネットワークアクセスをセキュアにする方法などを紹介します。また、AWS 共有セキュリティモデルに基づいて、AWS クラウドのどの点でセキュリティ対策を講じる必要があるかを説明し、利用できるセキュリティ指向のサービスと、セキュリティサービスが組織のセキュリティニーズを満たすのに役立つ理由と方法についても学習します。

到達目標
- AWS クラウドを使用する際のセキュリティ上の利点と責務を理解できる。
- AWS のアクセスコントロールとアクセス管理機能について説明できる。
- 機密性の高いデータのセキュリティのためのさまざまなデータ暗号化方式について理解できる。
- AWS リソースへのネットワークアクセスを保護する方法について説明できる。

対象者
- クラウドのセキュリティプラクティスに興味をお持ちで IT ビジネスレベルのプロフェッショナルの方。
- AWS について最低限の実践的知識を持つセキュリティプロフェッショナルの方。

前提知識 「AWS Cloud Practitioner Essentials&AWS Technical Essentials」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. AWSのセキュリティ
   (1)セキュリティの設計原則
   (2)責任共有モデル
2. クラウドのセキュリティ
   (1)AWSグローバルインフラストラクチャ
   (2)データセンターのセキュリティ
   (3)コンプライアンスとガバナンス
3. クラウド内のセキュリティ - パート1
   (1)アイデンティティとアクセスの管理
   (2)データ保護の基本
4. クラウド内のセキュリティ - パート2
   (1)インフラストラクチャの保護
   (2)モニタリングと発見的統制
5. クラウド内のセキュリティ - パート3
   (1)DDoSの緩和
   (2)インシデント対応の基本
6. コースのまとめ
   (1)AWS Well-Architected Tool
   (2)次のステップ

受講料 ¥77,000

オンライン / コースコード CDV012

Architecting on AWS 【バーチャル・クラスルーム】

3日間

AWSサービスを使って、システムを設計／構築する方法を学習します。また、伸縮自在性、スケーラビリティ、セキュリティ、および高可用性のためのベストプラクティスと機能について学習します。

到達目標
- AWS上での、一般的なアーキテクチャーパターンを理解できる。
- 拡張性、柔軟性、高可用性を考慮したシステム設計を理解できる。
- クラウドへの移行パスを理解できる。
- コスト最適化を考慮したシステム設計を理解できる。

対象者
- AWS上にシステムを設計／構築される方。
- AWSをお客さまへご提案される方。

前提知識 「AWS Cloud Practitioner Essentials&AWS Technical Essentials」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
※AWS Cloud Practitioner Essentials&AWS Technical Essentialsは、AWS Cloud Practitioner Essentials&AWS Practical Startup Workshopを改訂したコースです。

内　容
1. AWSの主要な知識
2. AWSの主要サービス
3. 環境を設計する
4. 環境の可用性を向上させるパート1
5. 環境の可用性を向上させるパート2
6. インフラストラクチャの自動化
7. インフラストラクチャを疎結合化する
8. ウェブスケールストレージの設計
9. そのWell-Architectedフレームワーク
10. トラブルシューティング

受講料 ¥231,000

オンライン / コースコード CDV013

Developing on AWS 【バーチャル・クラスルーム】

3日間

セキュアで信頼性が高く、スケーラブルなAWSベースのアプリケーションを設計、構築する方法を学習します。AWS コードライブラリ、SDK、IDE ツールキットの使い方も学習し、AWS プラットフォームでの効率的なコード開発とデプロイの方法を学習します。

到達目標
- AWS SDKとIDEツールキットをインストールして設定できる。
- 基本的なAWSサービス操作をC#またはJavaを利用して自動化できる。
- セキュリティモデルを使用してAWSへのアクセスを管理できる。
- AWSでのデプロイメントモデルと利用方法を理解できる。

対象者 AWSサービスを利用してソフトウェア（アプリケーション）を開発される方。

前提知識
- 「AWS Cloud Practitioner Essentials&AWS Technical Essentials」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
- ソフトウェア開発の実務的知識、クラウドコンピューティングの概念の知識、Javaの基本的な知識があること。

※AWS Cloud Practitioner Essentials&AWS Technical Essentialsは、AWS Cloud Practitioner Essentials&AWS Practical Star

内　容
1. Developing on AWSの紹介
2. データストアを選択する
3. Amazon S3を使用してストレージソリューションを開発する
4. Amazon DynamoDBを使用して柔軟なNoSQLソリューションを開発する
5. イベントの使用
6. Amazon Kinesisを使用してイベントドリブン型ソリューションを開発する
7. AWS Step Functions、Amazon SQS、Amazon SNSを使用してイベントドリブン型ソリューションを開発する
8. AWS Lambdaを使用してイベントドリブン型ソリューションを開発する
9. 安全なアプリケーションを開発する
10. スケーラビリティのために情報をキャッシュする
11. Amazon CloudWatchを使用してアプリケーションとAWSリソースをモニタリングする
12. AWS Elastic BeanstalkとAWS CloudFormationを使用してアプリケーションをデプロイする

受講料 ¥231,000

オンライン / コースコード CLV027

Microsoft Azure概説 【バーチャル・クラスルーム】

1日間

Microsoft Azureの概要およびMicrosoft AzureのPaaS機能、IaaS機能について学習します。マシン実習によりMicrosoft AzureのPaaS、IaaSに対する理解を深めます。なお、演習では、2015年12月から正式提供が開始された新ポータルを使用します。

到達目標
- Microsoft Azureの概要を説明できる。
- 簡単なプログラムを開発しMicrosoft AzureのPaaS機能を利用できる。
- Microsoft AzureのIaaSを利用した仮想マシンを作成できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方で、Microsoft Azureを初めて学習する方。

前提知識 「クラウドコンピューティング入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Microsoft Azureの概要
2. Microsoft AzureによるPaaS
3. Microsoft AzureによるIaaS

受講料 ¥45,100

クラウド
モダン開発（アジャイル開発含む）
開発工程全般・企画・設計
プログラミング・情報技術
品質・技法・信頼性
セキュリティ
プラットフォーム（Linux/Microsoft）
ITサービス
開発 / 基盤

オンライン / コースコード CDV037

マシン実習 3日間

【短縮版】Microsoft Azure Administrator【バーチャル・クラスルーム】

Microsoft Azure Administrator試験に対応した、Microsoft AzureのIaaSサービス、IDaaSサービスについて基礎的な内容を学習します。

到達目標
- Azureの管理ツールを使用して、Azureを管理できる。
- 仮想マシンを作成できる。
- ストレージを作成できる。
- 仮想ネットワークの構成ができる。
- バックアップの構成ができる。
- サイト間接続ソリューションの構成ができる。
- ネットワークトラフィックの管理ができる。
- サブスクリプションやアカウントの管理ができる。
- Azure Active Directoryの実装方法が説明できる。
- ID保護の方法を説明できる。
- データ共有の方法を説明できる。
- Azureインフラストラクチャの監視ができる。

対象者 Microsoft Azureの基礎知識を修得したい方、Microsoft Azure Administrator試験に対応した内容を学習したい方。

前提知識 「Microsoft Azure概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Azureの管理
2. Azure仮想マシン
3. Azure Storage
4. 仮想ネットワーク
5. サイト間接続
6. Azureの監視
7. データ保護
8. ネットワークトラフィック管理
9. Azure Active Directory
10. IDの保護
11. ガバナンスとコンプライアンス
12. データサービス

受講料 ¥217,800

オンライン / コースコード CLV022

マシン実習 1日間

Microsoft Azureを用いたAIサービス入門 −自然言語処理・画像認識の体験−【バーチャル・クラスルーム】

Microsoft AzureのAIサービスの概要と利用について、マシン実習を通して学習します。
※このコースはAIの詳細について学習するコースではありません。
※演習ではPythonを利用しますが、Pythonの知識や経験がなくても問題なくご受講いただけます。

到達目標
- Microsoft Azure の AI サービスの概要を説明することができる。
- Microsoft AzureのAIサービスを利用し、自然言語処理や画像認識をすることができる。

対象者 Microsoft AzureのAIサービスに興味があり、初めて学習する方。

前提知識 プログラミングの基本を理解し、「Microsoft Azure概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Microsoft AzureのAIサービスの概要
2. Microsoft AzureのAIサービスの利用

受講料 ¥49,500

オンライン / コースコード CLV029

マシン実習 1日間

Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門【バーチャル・クラスルーム】

Microsoft AzureのWeb Appsやクラウドサービス上に、Webアプリを開発、配置する方法を、マシン実習を通して学習します。また、Webアプリのデータを SQLデータベースやストレージに保存する方法も学習します。

到達目標
- Microsoft Azure上で動作するWebアプリの開発方法を説明できる。
- Microsoft Azure上でWebアプリを動作させるためのサービスの概要を説明できる。
- Microsoft Azure上で動作する簡単なWebアプリを開発できる。
- Microsoft Azure上のSQLデータベースと連携するWebアプリを開発できる。
- Microsoft Azure上でサーバーレスアーキテクチャを利用したアプリを開発できる。

対象者
- Microsoft Azure上で動作するWebアプリを開発したい方。
- Microsoft Azure上で動作するWebアプリの開発方法を知りたい方。

前提知識 「Microsoft Azure概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Microsoft Azureで動作するWebアプリの開発概要
2. Web Appsを利用したWebアプリ開発
3. ストレージサービスを利用したWebアプリ開発
4. SQLデータベースを利用したWebアプリ開発
5. Logic Apps・Azure Functionsを利用したサーバレスアプリの開発

受講料 ¥45,100

オンライン / コースコード CLV021

マシン実習 1日間

Microsoft Azureによるサイト間ネットワークの構築 −ハイブリッドクラウド構成の基礎−【トレノケート株式会社 ライブ配信】

Microsoft Azureは、サイト間接続機能によってオンプレミスとVPN接続ができます。このコースでは、サイト間接続を構成する手順について学習し、クラウドとオンプレミスの間でActive Directoryやファイルサーバーの連携環境を構成します。なお、Express Routeについては概念のみ紹介します。

到達目標
- Microsoft Azure上の仮想ネットワークと社内LANを接続する。
- Microsoft Azure上の仮想マシンを2台目のActive Directoryドメインコントローラーとして構成する。

対象者 Microsoft Azure上にWindows Serverベースの仮想サーバーを構築し、社内システムと連携運用したい方。

前提知識
- 「Microsoft Azure概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
- 「Windows Server入門（旧コース名 Windows Server2019管理概説）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Microsoft Azure概要
2. Azure仮想ネットワーク
3. Azure仮想マシン
4. Active Directoryドメインサービス
5. ファイルサーバー

受講料 ¥71,500

オンライン / コースコード CLV023

レクチャ 1日間

Microsoft Azure データの基本（DP−900T00）【トレノケート株式会社 ライブ配信】

- リレーショナル、非リレーショナル、ビッグ データ、分析などのコアデータの概念を認識および理解し、このテクノロジが Microsoft Azure でどのように実装されているかについて検証します。
- データ全体におけるロール、タスク、責任についても調査します。
- Microsoft Azure でのリレーショナル データ サービスの概要、リレーショナル データベースのプロビジョニングとデプロイ、およびクラウド データソリューションを介したリレーショナル データのクエリについて、学習します。
- Microsoft Azure での非リレーショナル データ サービスの概要、非リレーショナル データベースのプロビジョニングとデプロイ、および非リレーショナル データ ストアの概要についても解説します。
- Azure でのデータ分析ソリューションの構築に利用できる処理のオプションについても詳しく学習します。
- Azure Synapse Analytics、Azure Databricks、および Azure HDInsight の詳細や、Power BI の概要について、ブロックの構築やその連携方法についても学習します。

到達目標
- Azureでのコア データの概念を説明できる。
- Azureでのリレーショナル データの概念について説明できる。
- Azureでの非リレーショナル データの概念について説明できる。
- Azureでの最新のデータ ウェアハウスのコンポーネントを識別できる。

対象者
- クラウド環境でのデータベース概念の基本を学習し、クラウド データ サービスでの基本スキルを身につけ、Microsoft Azure クラウド データ サービスの基本知識の修得をしたい方。
- MCP試験「DP-900：Microsoft Azure Data Fundamentals」受験予定の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. コア データの概念を理解する
2. Azure のリレーショナル データの詳細を理解する
3. Azure の非リレーショナル データの詳細を理解する
4. Azure の最新データ ウェアハウス分析の詳細を理解する

受講料 ¥71,500

オンライン / コースコード CLV024

レクチャ 1日間

Microsoft セキュリティ、コンプライアンス、ID の基礎（SC−900T00）【トレノケート株式会社 ライブ配信】

このコースでは、セキュリティ、コンプライアンス、IDの概念、および関連するクラウドベースのMicrosoftソリューションに関する基礎的なレベルの知識を提供します。
このコースを修了すると、Microsoft AzureとMicrosoft 365を含むマイクロソフトのセキュリティ、コンプライアンス、およびID管理サービスが提供するソリューションを理解し、導入の意志決定をサポートできるようになります。

到達目標
- セキュリティ、コンプライアンス、およびIDの基本的な概念について説明できる。
- Microsoft IDおよびアクセス管理ソリューションの概念と機能について説明できる。
- マイクロソフトのセキュリティソリューションの機能について説明できる。
- マイクロソフトのコンプライアンス管理機能について説明できる。

対象者
- マイクロソフトのクラウドサービスのセキュリティに関心のある方。
- MCP試験「SC-900：Microsoft Security, Compliance, and Identity Fundamentals」受験予定の方。

前提知識 一般的なITの知識または経験が必要です（技術者としてのIT経験は必要ありません）。

内　容
1. セキュリティ、コンプライアンス、およびIDの基本的な概念
   (1) セキュリティの概念と方法
   (2) マイクロソフトのセキュリティとコンプライアンスの原則
2. Microsoft IDおよびアクセス管理ソリューションの概念と機能
   (1) IDの概念
   (2) Azure ADの基本的なサービスとIDの種類
   (3) Azure ADの認証機能
   (4) Azure ADのアクセス管理機能
   (5) Azure ADのID保護とガバナンス機能
3. マイクロソフトのセキュリティソリューションの機能
   (1) Azureの基本的なセキュリティ機能
   (2) Azureのセキュリティ管理機能
   (3) Azure Sentinelのセキュリティ機能
   (4) Microsoft 365の脅威対策機能
   (5) Microsoft 365のセキュリティ管理機能
   (6) Microsoft Intuneのエンドポイントセキュリティ
4. マイクロソフトのコンプライアンス管理の機能
   (1) マイクロソフトのコンプライアンス管理機能
   (2) Microsoft 365の情報保護およびガバナンス機能
   (3) Microsoft 365のインサイダーリスク機能
   (4) Microsoft 365の電子情報開示機能
   (5) Microsoft 365の監査機能
   (6) Azureのリソースガバナンス機能

受講料 ¥71,500

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

集合 / コースコード CDJ001 New

マシン実習 1日間

Google Cloud Fundamentals：Core Infrastructure

Google Cloud（GCP）の概要をハンズオンを交えながら学習するトレーニングです。Google Cloud にはどのようなプロダクトが存在するのかを網羅的に知り、自分のビジネスに役立つプロダクトを探すことができます。基礎コースではありますが、Google Cloud を利用するための重要なポイントをお伝えします。

到達目標 Google Cloud にはどのようなプロダクトが存在するのかを網羅的に理解し、自分のビジネスに役立つプロダクトを探すことができる。

対象者
- ソリューション デベロッパーの方。
- システム運用担当者の方。
- ソリューション アーキテクトの方。
- ビジネスの意思決定者の方。

前提知識 前提条件は不要。
以下の知識があると役に立ちます
- アプリケーション開発
- Linux オペレーティング システム
- システム オペレーション
- データ分析 / 機械学習

内　容
モジュール1：Google Cloud とは
モジュール2：クラウドにおけるリソースとアクセス
モジュール3：クラウドにおける仮想マシンとネットワーク
モジュール4：クラウドのストレージ
モジュール5：クラウドのコンテナ
モジュール6：クラウドのアプリケーション
モジュール7：まとめ

受講料 ¥55,000

集合 / コースコード CDJ002 New

マシン実習 1日間

Getting Started with GKE

ワークロードの Docker コンテナへのコンテナ化、Google Kubernetes Engine が提供する Kubernetes クラスタへのデプロイ、トラフィックの増加に対応してこれらのワークロードをスケールする方法を学びます。また、Kubernetes クラスタに新しいコードを継続的にデプロイしてアプリケーションを更新する方法も学びます。

到達目標
- ワークロードの Docker コンテナへのコンテナ化、Google Kubernetes Engine が提供する Kubernetes クラスタへのデプロイ、トラフィックの増加に対応してこれらのワークロードをスケールする方法が理解できる。
- Kubernetes クラスタに新しいコードを継続的にデプロイしてアプリケーションを更新する方法が理解できる。

対象者
- アプリケーション開発者、クラウド ソリューション アーキテクト、DevOps エンジニア、IT マネージャーの方。
- Google Cloud（GCP）を使用して新しいソリューションを作成する、または既存のシステム、アプリケーション、環境、インフラストラクチャを Google Cloud と統合するデベロッパーの方。

前提知識
- コマンドライン ツールと Linux オペレーティング システム環境およびウェブサーバーについての基本的なスキルがある。
- システム運用の経験がある（これには、オンプレミスまたはパブリック クラウド環境でのアプリケーションのデプロイと管理も含まれます）。

内　容
モジュール1：Google Cloud の紹介
モジュール2：コンテナと Kubernetes の概要
モジュール3：Kubernetes のアーキテクチャ
モジュール4：Kubernetes ワークロードの概要

受講料 ¥55,000

集合 / コースコード CDJ003 New

マシン実習 1日間

Introduction to Developer Efficiency with Gemini on Google Cloud

生成 AI は、ソフトウェアの設計、構築、実行、管理の方法を変革する中心的役割を担っています。生成 AI はデベロッパーにとって、コーディングの効率を向上させ、アプリケーション内で Gemini API や PaLM API などの API を使用するための強力なツールです。このコースでは、生成 AI を通じて、デベロッパーがより効率的にコードを記述し、アプリケーションに新機能を実装する方法を紹介します。Vertex AI Model Garden で利用可能なモデルについても説明します。

到達目標
- 生成 AI を通じてより効率的にコードを記述し、アプリケーションに新機能を実装する方法が理解できる。
- Vertex AI Model Garden で利用可能なモデルについて理解できる。

対象者 Google Cloud 上の生成 AI によって、開発がどのように効率化されるかを理解したいアプリケーション開発者の方。

前提知識 「Google Cloud Fundamentals：Core Infrastructure」の修了、または同等のGoogle Cloudに関する基礎的な知識を修得していること。

内　容
モジュール1：Google Cloud でのデベロッパーの効率性
モジュール2：開発ライフサイクル全体を通して Gemini を使用する
モジュール3：Gemini のプロンプト設計
モジュール4：デベロッパー ワークフローでの Codey の活用
モジュール5：Vertex AI Model Garden を使用したモデル API の検出

受講料 ¥110,000

オンライン / コースコード CLV005

マシン実習 1日間

実機で学ぶ！ サーバ仮想化入門 −VMware vSphere、Microsoft Hyper−V、KVM−【バーチャル・クラスルーム】

サーバ仮想化の基礎を解説し、市場で大きなシェアを持っているVMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVMを利用したサーバ仮想化方法を実機で学習します。

到達目標
- サーバ仮想化の概要を説明できる。
- 各種製品（VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVM）をインストールしそれらの製品を使用して仮想サーバを作成できる。

対象者 サーバ仮想化の提案、構築を行う営業、SEの方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. サーバ仮想化の概要
2. VMware vSphereの概要と特長
   (1)演習1：VMware vSphereのインストールと仮想サーバの作成
3. Hyper-Vの概要と特長
   (1)演習2：Microsoft Hyper-Vのインストールと仮想サーバの作成
4. KVMの概要と特長
   (1)演習3：KVMのインストールと仮想サーバの作成

受講料 ¥38,500

クラウド
モダン開発（アジャイル開発含む）
開発工程全般・企画・設計
プログラミング・情報技術
品質・技法・信頼性
セキュリティ
プラットフォーム（Linux/Microsoft）
ITサービス

モダン開発（アジャイル開発含む）

アジャイルやクラウド環境を利用するモダンな開発に関する基礎知識と技術が修得できます。

アジャイル開発の基本やポイントを修得したい方

レベル1	レベル2	レベル3

SPV084 オンライン
スクラムの基礎と実践
グループ演習 | 1日間

SPV083 オンライン PDU
（PDU）［リーダー向け］
アジャイル開発における
自律型チーム運営
グループ演習 | 1日間

プロジェクトマネジメント

PMV103 オンライン PDU
（PDU）マネージャのための
1日でわかるアジャイル・
プロジェクトマネジメントの効用
グループ演習 | 1日間

SPV070 オンライン
アジャイル開発（スクラム）に
おけるプロダクトオーナー
体験ワークショップ
グループ演習 | 1日間

PDV018 オンライン
「EXIN アジャイル スクラム
ファンデーション」資格対策
【ITPライブ配信】
レクチャ | 2日間

アジャイル開発を支える技術やツール群について修得したい方

レベル1	レベル2	レベル3

UXV072 オンライン
gitによる
ソフトウェア構成管理
マシン実習 | 1日間

SPV084 オンライン
スクラムの基礎と実践
グループ演習 | 1日間

プログラミング・情報技術

SPV085 オンライン
Pythonによるテスト自動化
ー単体テストから
システムテストまでー
マシン実習 | 1日間

SPV079 オンライン
ソフトウェア開発者のための
アジャイル開発演習
マシン実習 | 2日間

OJV040 オンライン
Javaによる保守開発のための
リファクタリング
マシン実習 | 1日間

SPV072 オンライン
Javaによる
単体テスト自動化と
テスト駆動開発演習
マシン実習 | 1日間

SPV035 オンライン
Seleniumによる
Webアプリケーションテスト
自動化演習
マシン実習 | 1日間

PDU ：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。3年間で60PDUが必要です。

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

モダンなアプリケーション開発のための技術を修得したい方

レベル1	レベル2	レベル3

SPV089 オンライン
サーバーレスアプリケーション
開発入門
マシン実習 | 1日間

UXV071 オンライン
クラウドアプリケーション開発
マシン実習 | 2日間

SPV086 オンライン
DevOps入門
ーバージョン管理とCI／CDを
活用した効率的な開発フローー
マシン実習 | 1日間

SPV090 オンライン
Jenkinsを用いたCI実践研修
【株式会社フルネス ライブ配信】
マシン実習 | 1日間

SDV006 オンライン
クラウドネイティブまるごと理解
ーDevOpsからマイクロサービス、クラウド
デザインまでー【アイ・ラーニング ライブ配信】
マシン実習 | 1日間

CDV022 オンライン
マイクロサービス
アーキテクチャ入門研修
【株式会社フルネス ライブ配信】
マシン実習 | 2日間

CDV026 オンライン
ドメイン駆動設計基礎研修
【株式会社フルネス ライブ配信】
マシン実習 | 2日間

SPD002 集合
DevOpsテスト入門
～継続的デリバリーを実現する
テストのアプローチ～
グループ演習 | 1日間

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

オンライン / コースコード SPV084

グループ演習 1日間

スクラムの基礎と実践【バーチャル・クラスルーム】

このコースは、アジャイル開発手法の中でも主流のスクラムを取り上げます。基礎知識の解説に加え、実際のプロジェクトの進め方や要素技術など、アジャイル開発／スクラムの基礎と実践について学習します。また演習やワークショップによってアジャイル開発のメリットを体験します。

到達目標 スクラムの基本的なプロセスフレームワークを理解し、実践できる。

対象者
- アジャイル開発の基礎を修得したい方。
- スクラムの修得をめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. アジャイル開発の概要
2. スクラム入門
3. アジャイル開発の演習／ワークショップ
4. まとめ

受講料 ¥55,000

オンライン / コースコード SPV083

グループ演習 1日間

（PDU）[リーダー向け]アジャイル開発における自律型チーム運営【バーチャル・クラスルーム】PDU

アジャイル開発を担当するリーダーとして、その力量がもっとも発揮されるべき局面がチーム運営です。「チームがうまくまとまっていかない」「メンバは指示待ちで自分から動かない」というように自律型チームにならないことが多いのが現実です。このコースでは、自律的なチームとは何か、どうすれば自律的なチームになるのかを、開発現場の状況を想定したグループディスカッションや講師との質疑応答を通して考察します。それを通して、適用可能なプラクティスからチーム運営のあり方をつかむことをめざします。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- リーダーとしてアジャイル手法におけるチーム運営のヒントを説明できる。
- 効果的にチームをサポートするポイントを説明できる。

対象者 アジャイル開発に適したチームを作りたいリーダー（マネージャー）の方。

前提知識
- 「スクラムの基礎と実践」コースを修了されているか、または同等の知識があること。
- ソフトウェア開発の経験があること。

内　容
1. アジャイル開発がチームに期待するもの
2. 要求とスコープの管理
3. 進捗の可視化
4. 自己改善のサイクル

受講料 ¥46,200

オンライン / コースコード SPV070

グループ演習 1日間

アジャイル開発（スクラム）におけるプロダクトオーナー体験ワークショップ【バーチャル・クラスルーム】

このコースは、ワークショップを通してアジャイル開発（スクラム）におけるプロダクトオーナーの責務、作業内容、振る舞いについて体験します。

到達目標 アジャイル開発（スクラム）においてプロダクトオーナーを実践できる。

対象者 スクラムにおけるプロダクトオーナの責務、仕事の進め方を理解し体験したい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. アジャイル開発の概要
2. スクラムの基礎
3. 製品開発のプロダクトオーナー体験ワークショップ

受講料 ¥77,000

オンライン / コースコード PDV018

レクチャ 2日間

「EXIN アジャイル スクラム ファンデーション」資格対策【ITプレナーズジャパン ライブ配信】

このコースは、EXIN本部が公開する試験要件に沿ったカリキュラムにより基本事項の概念や用例を学習します。なお、研修の最後にアジャイル スクラム ファンデーション認定試験（60分）を用意しています。

到達目標
- アジャイル手法の重要性と、アジャイルがどのように付加価値を付けられるかを説明できる。
- アジャイルの原則とアジャイルマニフェストについて説明できる。
- アジャイル・プロジェクトマネジメント・フレームワークを説明できる。
- アジャイル スクラム ファンデーション認定試験に合格できる。

対象者 アジャイル・プロジェクトマネジメント、スクラムの基本を体系的に把握したい方。

前提知識 プロジェクトマネジメントに関する基本的な知識・技術があること。

内　容
1. アジャイルとスクラム
2. 役割、儀式、タイムボックス
3. 手法とプラクティス
4. バックログ
5. 上級概念
6. 計画とリリース
7. モニタリング
8. アジャイル スクラム ファンデーション認定試験（60分）

受講料 ¥174,900

オンライン / コースコード UXV072

マシン実習 1日間

gitによるソフトウェア構成管理【バーチャル・クラスルーム】

構成管理の必要性や集中型/分散型それぞれの特長など、構成管理の基礎を学習します。特に、利用者が多い分散型の構成管理ツールであるGitについては、マシン演習を通じて基本操作を修得します。また、複数人での開発における問題点とその解決策も学習します。

到達目標
- 構成管理の必要性と概要を説明できる。
- 構成管理ツールの基本的な操作ができる。
- 複数人で構成管理する時の注意点を説明できる。

対象者 これから構成管理を利用してアプリケーションを開発する方。

前提知識 システム開発で実装工程の経験があること。

内　容
1. 構成管理とは
2. 構成管理の方法
3. 構成管理ツールの利用-ローカルリポジトリに対する操作-
4. 構成管理ツールの利用-リモートリポジトリに対する操作-

受講料 ¥33,000

オンライン / コースコード SPV072

マシン実習 1日間

Javaによる単体テスト自動化とテスト駆動開発演習【バーチャル・クラスルーム】

テストを活用した開発手法であるテスト駆動開発について学習します。また、合わせてテスト駆動開発に必須である、単体テスト（モジュールテスト）の自動化について学習します。Javaによるアプリケーション開発を通して、テスト駆動開発の進め方やJUnitなどを利用した自動化について学習します。

到達目標
- テスト駆動開発の進め方や留意点を説明できる。
- ツールを利用して自動テストを実施できる。
- 実装前にテストコードを作成し、テストファーストの開発を実践できる。

対象者
- テスト自動化による効率的な単体テストの実施方法を修得したい方。
- テスト駆動開発を利用して開発を進める方。

前提知識 「品質確保のためのソフトウェアテスト」および「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. はじめに
2. テスト駆動開発概要
3. テスト自動化
4. テスト駆動開発の流れ
5. テスト駆動開発演習

受講料 ¥33,000

オンライン / コースコード SPV035

マシン実習 1日間

Seleniumによる Webアプリケーションテスト自動化演習【バーチャル・クラスルーム】

SeleniumによりWebアプリケーションテストを自動化し、JUnitとSelenium WebDriverを用いてテストコードを作成して、効率的にテストを実施する方法について学習します。

到達目標
- Selenium WebDriverのJava用APIを利用してブラウザの操作を行うプログラムを作成できる。
- Selenium WebDriverとJUnitフレームワークを利用して、Webアプリケーションの自動テストを実施できる。

対象者 Webアプリケーションのテストを行う方、Webアプリケーション自動操作のツールを作成する方。

前提知識 「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Seleniumとは
2. Selenium WebDriver使用方法
3. JUnitフレームワークを利用したWebアプリケーションのテスト作成
4. Webアプリケーションのテスト自動化演習

受講料 ¥33,000

オンライン / コースコード SPV079

マシン実習 2日間

ソフトウェア開発者のためのアジャイル開発演習【バーチャル・クラスルーム】

このコースでは、スクラムをベースとした開発手法で、与えられた要件を実装する演習に、個人・チームで取り組みます。演習を通じて、アジャイル開発の実装フェーズでの勘所を修得していただきます。
※このコースはアジャイル開発の流れについては修得済みであることを前提としています。
※実装演習では、JavaによるWebアプリケーションを題材として扱います。

到達目標 アジャイル開発の実装フェーズで取るべきアクションが理解できる。

対象者 これからアジャイルによるソフトウェア開発を実施する方。

前提知識
- 「スクラムの基礎と実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
- テスト駆動開発の知識、gitの操作経験があることが望ましい。

内　容
1. アジャイル開発の特長
2. アジャイル開発実践演習-個人演習編-
3. アジャイル開発実践演習-チーム演習編-

受講料 ¥127,600

オンライン / コースコード SPV089

マシン実習 1日間

サーバーレスアプリケーション開発入門【バーチャル・クラスルーム】

サーバーレス・コンピューティングの基礎を学習します。実装演習では、AWS LambdaとAzure Functionsの2つを取り扱うことで、各種サービスの共通点と違いを理解します。

到達目標 サーバーレス・コンピューティングを利用したアプリケーション開発の基本を理解できる。

対象者 サーバーレス・コンピューティングを利用したアプリケーション開発に興味がある方。

前提知識 クラウドコンピューティング・Webアプリケーションに関する基本的な知識があること。

内　容
1. サーバレス・コンピューティングの基礎
2. AWS Lambda
3. Azure Functions
4. サーバレスアプリケーション開発体験

受講料 ¥49,500

オンライン / コースコード UXV071

マシン実習 2日間

クラウドアプリケーション開発【バーチャル・クラスルーム】

クラウド環境によるアプリケーションを効果的に設計する上で、必須となる「スケール」について学習します。また、従来の3層アーキテクチャでのアプリケーション構造との比較、留意点などの知識を学習します。
マシン演習では、Amazon Web Servicesを利用します。

到達目標
- スケールアウトするうえで注意すべき点を理解できる。
- スケーラビリティを意識した設計ができる。
- Webアプリケーションをスケールアウトさせる実装ができる。

対象者 クラウド環境化でのWebアプリケーションを設計される方。

前提知識 「サーバサイドJavaプログラミングーServlet/JSP編ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. クラウド概要
2. Webレイヤでのスケール
3. APレイヤでのスケール
4. DBレイヤでのスケール

受講料 ¥99,000

オンライン / コースコード SPV086

マシン実習 1日間

DevOps入門ーバージョン管理とCI／CDを活用した効率的な開発フローー【バーチャル・クラスルーム】

DevOpsの概要、およびDevOps適用時の改善の観点について学習します。DevOpsで特に重要な開発パイプラインの自動化（ソースコードのバージョン管理およびCI/CD）はマシン演習を通して理解を深めます。

到達目標
- DevOpsの概要を説明できる。
- 自動化された開発パイプラインの概要、および効果を説明できる。
- 継続した改善の観点を説明できる。

対象者 DevOpsによるアプリケーション開発を行う予定の方。

前提知識 システム開発に関する基礎知識があること。何かしらのシステム開発業務（設計・実装など）の経験があることが望ましい。

内　容
1. DevOps概要
   （1）DevOps登場の背景
   （2）DevOpsのポイント
   （3）期待される効果
2. 自動化された開発パイプライン
   （1）ソースコードのバージョン管理
   （2）CI／CD
3. 継続した改善
   （1）モニタリング
   （2）アーキテクチャ
   （3）チーム文化

受講料 ¥55,000

オンライン / コースコード SPV090

マシン実習 1日間

Jenkinsを用いたCI実践研修【フルネス社 ライブ配信】

このコースでは、講義と演習を通して、Jenkinsを用いたCI環境の構築について学びます。演習では実際にJenkinsとGitLabとRedmineを運用するCI環境を構築します。近年、テストの自動化やアジャイル開発などの普及により、開発からリリース運用までが高速化しています。これらを一貫して行うDevOpsの実現には作業の自動化が不可欠であり、自動化の為のツールとして、オープンソースのJenkinsが広く使われています。このコースを通してJenkinsとGitLabとRedmineを運用するような実践的なCI環境の構築方法を学ぶことができます。

到達目標
- Jenkinsの概要を説明することができる。
- Jenkinsを利用してCIを実現することができる。

対象者 業務でDevOpsに携わる方。

前提知識
- 基礎的なGitの利用経験があること。
- 基礎的なLinuxの利用経験があること。

内　容
1. Jenkins
2. CI環境構築
3. Jenkinsの基本機能
4. ビルド環境との連携
5. GitLabとの連携
6. Redmineとの連携
7. CIの実現
8. 高度な利用

受講料 ¥44,000

開発工程全般・企画・設計

IT・OT・プロダクトの開発に関する工程ごとの技術（工程全体の俯瞰や企画、要件定義、設計や、関連手法）が修得できます。プログラミングなどの実装技術はプログラミング・情報技術、テスト工程については品質・技法・信頼性を参照ください。

開発工程全般（IT）・全般（OT）

開発工程全般（IT）

レベル1

基礎用語

- SPE022 eラーニング — はじめて学ぶ情報システム開発 −レガシー開発からクラウドまで− — 音声なし・説明文有 | 6時間
- NWE032 eラーニング — Webシステム入門 — 音声なし・説明文有 | 6時間

開発工程

- SPV114 オンライン — 演習で学ぶ！情報システムの役割と開発の進め方 — グループ演習 | 2日間
- SJE029 eラーニング — システム開発の基礎 — 音声なし・説明文有 | 4時間
- SPE024 eラーニング — 待ち行列理論 — 音声なし・説明文有 | 7時間

レベル2

生成AI

非エンジニアでもAI開発プロセスがわかる

- SPV115 オンライン — ソフトウェア開発における生成AIの活用−要件定義から実装・テストまでの新しいアプローチ− — レクチャ | 0.5日間

AIを活用した開発技術を身につけたい

New

- SPV101 オンライン — 生成AIで実現するソフトウェア開発工程自動化ハンズオン — マシン実習 | 1日間

品質・技法・信頼性

- IOV035 オンライン — スキルアップをめざすエンジニアのためのレビュー力向上ポイント — グループ演習 | 2日間

構成管理

モダン開発（アジャイル開発含む）

- UXV072 オンライン — gitによるソフトウェア構成管理 — マシン実習 | 1日間

New PDU

- ITV019 オンライン — (PDU)ソフトウェアとシステムの開発効率向上の鍵を握る構成管理−多様な開発形態を支援する最新動向から実践技法まで− — レクチャ | 2日間

レベル3

IT/OT共通

レベル1

レベル2

レベル3

New

- ITV018 オンライン — 実践的アーキテクチャ設計によるシステムズエンジニアリング — レクチャ | 1日間

PDU ：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。3年間で60PDUが必要です。

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。これから業務を担当される方。（目安）ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：業務上必要な知識・技術の修得を期待されている方。（目安）ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。（目安）ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

オンライン / コースコード SDV006

マシン実習 1日間

クラウドネイティブまるごと理解 −DevOpsからマイクロサービス、クラウドデザインまで−【アイ・ラーニング ライブ配信】

クラウドネイティブを構成する技術要素は、DevOps、Continuous Delivery、Container、Microserviceの4つといわれています。このコースでは、サービス提供視点からクラウドを使いこなす知識を身につけます。クラウドデザインにてサービスの動作を理解し、フルマネージドサービスでのシステム設計、マイクロサービス、ドメイン駆動設計を用いたアプリケーション設計からKubernetesへのデプロイ、およびその特有のリリースマネジメント等々、多くの要素のポイントを重点的かつ網羅的に学びます。このコースでのクラウド基盤はMicrosoft Azureを中心として講義しますが、他のクラウドプラットフォームへの応用も可能です。

到達目標
- 自社またはお客さまのシステムをクラウドネイティブ化するための基礎を身につける。
- DevOpsの本質を理解し、技術面だけでなく組織や文化の変革が必要なことを理解できる。
- 継続的デリバリーおよび自動化やマネジメントに必要なポイントを理解できる。
- コンテナ活用とマイクロサービス開発に必要なポイントを理解できる。
- クラウドデザインをベースとして設計をすることができる。

対象者 アプリケーション開発エンジニア/インフラエンジニア/マネージャーの方。

前提知識
- アプリケーション開発またはシステム運用の実務経験があること。
- クラウドの基本的な用語と仕組みを理解していること。

内 容
1. クラウドネイティブ
2. DevOps
3. Developer Experience
4. 仮想コンテナ技術
5. クラウドネイティブなソフトウェア設計
6. Well-Architected Framework
7. DXの推進

受講料 ¥99,000

オンライン / コースコード CDV022

マシン実習 2日間

マイクロサービスアーキテクチャ入門研修【株式会社フルネス ライブ配信】

マイクロサービスは、小さい（マイクロ）サービスの集まったものであり、全体で1つの大きなサービスを機能します。各サービスは、それぞれのプロセスで稼働しており、サービスによって別の開発言語で作られていても動作は稼働します。このコースでは、マイクロサービスアーキテクチャの基本的な概念の理解と、実際にマイクロサービスとしてアプリケーションの実装、運用、デプロイをしながらその勘所を学習します。現在非常に注目されている研修の一つとなっております。

到達目標
- マイクロサービスアーキテクチャの基本概念が説明できる。
- 簡単なマイクロサービスを構築を通して基本的なマイクロサービスの実装方法が説明できる。

対象者 これからマイクロサービスの実装、運用をお考えの方。

前提知識 Java、PHP等の何らかのプログラミング言語の経験があること。

内 容
1. マイクロサービスアーキテクチャ概要
   (1)マイクロサービスアーキテクチャとは
   (2)マイクロサービスアーキテクチャの特徴
   (3)マイクロサービスの利用事例紹介
   (4)マイクロサービス化のメリット・デメリット
2. マイクロサービスアーキテクチャ設計
   (1)サービスのモデル化方法
   (2)サービスの連携手法
   (3)モノリシックシステムの分割
   (4)コンウェイの法則(オーケストレーションとコレオグラフィ)
   (5)セキュリティ
   (6)デプロイ方法
   (7)テストの自動化
   (8)監視
   (9)組織構造とアーキテクチャの相互作用(コンウェイの法則)
   (10)大規模なマイクロサービス
3. マイクロサービスの実装&デプロイ
   (1)REST APIの実装、Restful APIの理解。Spring Bootによる実装
   (2)クライアントアプリケーションの実装
   (3)リアクティブプログラミングの理解
   (4)クライアントアプリの実装
   (5)API GatewayによるAPI管理
   (6)メッセージブローカーによるサービス間連携の実装
4. マイクロサービスの運用・監視の実践
   (1)テストの自動化、スタブとドライバの実装、GithubとJenkinsの連携でテストを自動化
   (2)デプロイ、Dockerによるコンテナへのデプロイ
   (3)サービス監視
   (4)障害対策
   (5)スケーリング

受講料 ¥88,000

集合 / コースコード SPD002

グループ演習 1日間

DevOpsテスト入門 〜継続的デリバリーを実現するテストのアプローチ〜

DevOpsについての基本的な考え方を学び、DevOpsやアジャイルにおける継続的開発でのテストのアプローチを身につける講座です。DevOpsについてその背景と歴史を学んだうえで、DevOpsの全体のプロセスを俯瞰し、テストの位置づけを明確にし、DevOpsに求められるテストの基礎知識を学びます。また、継続的デリバリーを実現するために必要なデプロイメントパイプラインの概念および、組織文化の変革の勘所を演習を通して学びます。

到達目標
- 基本的なDevOpsの概念を理解できる。
- DevOpsにおける品質の捉え方、またアジャイルテストにおけるリスクベースドテストを活用したテスト技法の使い分け、自動テストとマニュアルテストの使い分けができる。
- TDD/ATDD/BDDを活用した自動化テストの基礎が理解できる。

対象者 DevOpsにおけるテストについての基礎を学び、より効果的、効率的なテストを会得したい方。

前提知識 システム開発に関わった経験があること。

内 容
1. DevOps基礎、はじまりと現在
   (1)DevOpsとは
   (2)DevOpsとは〜最新動向〜
   (3)DevOpsと品質
2. DevOpsにおけるテストアプローチとテスト駆動開発の基礎
   (1)DevOpsとテストアプローチ
   (2)TDD/ATDD/BDDによる欠陥予防
3. DevOpsにおけるテスト計画とリスクベースドテスト
   (1)DevOpsにおけるテスト計画
   (2)ソフトウェアとリスク
   (3)DevOpsとリスクベースドテスト

受講料 ¥46,200

オンライン / コースコード CDV026

マシン実習 2日間

ドメイン駆動設計基礎研修【株式会社フルネス ライブ配信】

ドメイン駆動設計（DDD）とは、オブジェクトの設計に役立つ原則とパターンをまとめたものです。設計に適用することで、ドメインモデルと呼ばれるソフトウェアの抽象化を実現しており、複雑なビジネスロジックをカプセル化できるため、実際の業務とプログラムの間のギャップを小さくすることができます。このコースでは、ドメイン駆動設計の特長や仕組みを解説しながら、演習を通してドメイン駆動設計を理解していただきます。

到達目標
- ドメイン駆動設計の基本概念が説明できる。
- ドメイン駆動設計を行う上で必要な技術知識を理解しながら、演習を通して、基本的なドメイン駆動設計の流れが説明できる。

対象者 ドメイン駆動設計を学びたい方。

前提知識
- Java、PHP等の何らかのプログラミング言語の経験があること。
- オブジェクト指向設計の基本概念が理解していること。

内 容
1. ドメイン駆動設計概論
   (1)ドメイン駆動設計(DDD)とは
   (2)DDDのメリット　(3)DDDを行う方法
   (4)DDDを採用する事業価値
   (5)DDD導入にあたっての課題
2. ドメイン駆動設計の戦略的設計
   (1)ドメイン　(2)サブドメイン
   (3)境界づけられたコンテキスト
   (4)コンテキストマップ
   (5)コンテキストマップを作る目的
   (6)境界づけられたコンテキストの分割指針
3. ドメインモデル設計
   (1)モデル駆動設計　(2)ユビキタス言語
   (3)ドメインモデル
   (4)ドメインモデルで設計する事のメリット
   (5)ドメインオブジェクトの見つけ方
   (6)ユビキタス言語
4. ドメインモデルの実装
   (1)アーキテクチャ
   ・レイアードアーキテクチャ
   ・依存性逆転の法則
   ・ヘキサゴナルアーキテクチャ
   ・REST　・CQRS
   (2)エンティティ　(3)値オブジェクト
   (4)サービス　(5)ドメインイベント
   (6)集約　(7)ファクトリ
   (8)リポジトリ
   (9)境界づけられたコンテキストとの結合
   (10)アプリケーション　(11)UIの構築

受講料 ¥88,000

マシン実習：マシンを使用しながらの研修
グループ演習：グループ演習を中心とした研修
レクチャ：座学による研修
eラーニング：インターネット接続による自己学習
自習テキスト：自習書による独習

全般(OT)

レベル1	レベル2	レベル3
		IOV030 オンライン 開発のムダを減らすモデルベース システムズエンジニアリング実践 -IT / OT融合時代のモデルベースアプローチ- グループ演習 | 1日間

企画と要件定義(IT)・顧客要求(OT)

企画と要件定義(IT)

レベル1	レベル2	レベル3
	SPV024 オンライン システムの要件定義技法 グループ演習 | 2日間 PDU CTV094 オンライン (PDU)トラブルを防止する調達要件の分析ーRFPの作成と提案書の評価を中心にー グループ演習 | 2日間 DBV054 オンライン データベース設計技法と演習 レクチャ | 2日間 基盤製品(データベース) ベンダー視点 休 講 CTV046 オンライン 情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント グループ演習 | 1日間 ビジネスアーキテクト 〔新規事業に基づく開発〕 1. ビジネス要件定義とIT化企画立案 CTV071 オンライン IT主導で攻めのビジネスを実現するためのビジネス要件とIT企画の作り方 レクチャ | 1日間 〔業務改善を狙いとした開発〕 2. 現状業務の可視化 CTV072 オンライン 現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法 レクチャ | 1日間 3. 現行システムの要件カバー CTV073 オンライン 既存システムの改修/リプレースのための現行システム要件と利用業務状況の洗い出し方 レクチャ | 1日間 4. 業務要件定義 CTV075 オンライン 業務のIT化を推進するための新業務フロー作成技法とシステムへの要求のまとめ方 レクチャ | 1日間 この先のコースは「基本設計(IT)・要素設計(OT)」に記載があります

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。3年間で60PDUが必要です。

レベル1：対応する専門技術を初めて学ばれる方。これから業務を担当される方。 (目安)ITスキル標準（ITSS）レベル0~1 相当のコース
レベル2：業務上必要な知識・技術の修得を期待されている方。 (目安)ITスキル標準（ITSS）レベル2~3 相当のコース
レベル3：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。 (目安)ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

顧客要求(OT)

レベル1	レベル2	レベル3
	IOV032 オンライン システムズエンジニアリング領域における「セーフティ」と「セキュリティ」の実現 グループ演習 | 1日間	

基本設計(IT)・要素設計(OT)

基本設計(IT)

レベル1	レベル2	レベル3
NWE031 eラーニング Webアプリケーション設計の基礎 音声なし 説明文有 | 8時間 SPE025 eラーニング 構造化モデリングによるシステムの機能抽出 音声なし 説明文有 | 5時間	アーキテクチャ設計 CTV065 オンライン エンタープライズITアーキテクチャのセオリー レクチャ | 2日間 SPV078 オンライン アプリケーション・アーキテクチャ策定演習 マシン実習 | 2日間 CTE009 eラーニング アプリケーション・アーキテクチャ基礎 音声なし 説明文有 | 6時間 CTE008 eラーニング アプリケーション・アーキテクチャ応用 音声なし 説明文有 | 6時間 5.ユーザオペレーション要求より前のコースは「企画と要件定義(IT)・顧客要求(OT)」に記載があります UI 5. ユーザオペレーション要件 SPV073 オンライン 業務要件とユーザビリティを確保するためのユーザ要件定義とUIデザインのコツ レクチャ | 1日間 SPV118 オンライン 新しいUI / UXデザイン レクチャ | 0.5日間 6. システム要件定義 SPV074 オンライン 後工程で慌てない! ユーザ/業務要件の漏れを未然に防ぐシステム要件定義のコツ レクチャ | 1日間 7. 要件チェックと基本設計 SPV075 オンライン 開発の手戻りを最小限にするシステム要件の品質チェックと基本設計のコツ レクチャ | 1日間 New OTV036 オンライン 組込みソフトウェア流用開発と構造設計における品質改善 レクチャ | 2日間 品質・技法・信頼性 OTV026 オンライン ソフトウェア品質・生産性向上のためのレビュー講座 レクチャ | 2日間	

IT/OT共通

レベル1	レベル2	レベル3
		New ITV018 オンライン 実践的アーキテクチャ設計によるシステムズエンジニアリング レクチャ | 1日間

音声有 説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

要素設計(OT)

レベル1	レベル2	レベル3

電気・計測制御

OTV040 オンライン
初心者のための
エレクトロニクス入門
レクチャ | 2日間

IOV033 オンライン
システムズエンジニアリング
体験−間違いのない設計課題
洗い出しと設計変更−
マシン実習 | 1日間

機械・設計技法

OTV008 オンライン
機械四力の基礎
レクチャ | 1日間

詳細設計(IT/OT)

詳細設計(IT)

レベル1	レベル2	レベル3

オブジェクト指向設計

OJE029 eラーニング
オブジェクト指向概説
音声なし・説明文有 | 6時間

モダン開発(アジャイル開発含む)

CDV026 オンライン
ドメイン駆動設計基礎研修
【フルネスライブ配信】
マシン実習 | 2日間

詳細設計(OT)

レベル1	レベル2	レベル3

IOV034 オンライン
システムズ
エンジニアリングの勘所
−つなぎ(IF)と変化点−
グループ演習 | 1日間

プログラミング(IT)・実装(OT)

プログラミング(IT)

レベル1	レベル2	レベル3

プログラミング・情報技術

DBV123 オンライン
プログラミングはじめの一歩
−Pythonで学ぶ
アルゴリズム入門−
マシン実習 | 1日間

OJV016 オンライン
Javaプログラミング1
(基本文法編)
マシン実習 | 3日間

OJV017 オンライン
Javaプログラミング2
(基本クラス編)
マシン実習 | 2日間

DBV138 オンライン
Python入門
−データ分析での活用を
テーマとして−
マシン実習 | 2日間

NWV141 オンライン
JavaScriptプログラミング
−ECMAScript 2015対応−
マシン実習 | 2日間

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。これから業務を担当される方。 (目安)ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：業務上必要な知識・技術の修得を期待されている方。 (目安)ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。 (目安)ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

実装(OT)

レベル1	レベル2	レベル3

プログラミング・情報技術

CCV016 オンライン
C言語プログラミング1
−基本マスタ編−
マシン実習 | 3日間

OTV025 オンライン
C言語で学ぶマイクロコンピュータの
基礎−マイコンを使ってシステムを
制御するために必要な基礎知識−
マシン実習 | 3日間

CCV017 オンライン
C言語プログラミング2
−ポインタ実践編−
マシン実習 | 2日間

テスト(IT)

テスト(IT)

レベル1	レベル2	レベル3

SPV123 オンライン
品質確保のための
ソフトウェアテスト
レクチャ | 1日間

品質・技法・信頼性

SPE016 eラーニング
実践！テストケース設計
(テスト技法演習編)
音声なし・説明文有 | 8時間

SPV051 オンライン
実践！テストケース設計
(テスト設計実践編)
グループ演習 | 1日間

プログラミング・情報技術

SPV085 オンライン
Pythonによるテスト自動化
−単体テストから
システムテストまで−
マシン実習 | 1日間

運用・保守(IT)

運用・保守(IT)

レベル1	レベル2	レベル3

HSV335 オンライン
システムトラブルの予防と是正
−障害事例分析を中心に−
グループ演習 | 2日間

HSV062 オンライン
事例から学ぶ
システムトラブル対策の考え方
−高信頼性システム実現のために−
グループ演習 | 1日間

CTV026 オンライン
情報システムのユーザテストと
移行・切替・本番稼働の
準備実務
グループ演習 | 1日間

ITサービス

SPV033 オンライン
保守開発における
トラブル対策の考え方
グループ演習 | 1日間

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

eラーニング / コースコード SPE022

<eラーニング> はじめて学ぶ情報システム開発 ―レガシー開発からクラウドまで―

eラーニング 6時間

情報システム開発に必要な基礎知識を、従来広く使われている手法と近年着目されている手法の両面から学習します。

到達目標
- 情報システム開発の概要を説明できる。
- 従来型のシステム開発とモダンなシステム開発の違いを説明できる。

対象者 これから情報システム開発に携わる方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 情報システムとは
2. 開発手法
3. インフラストラクチャ
4. アーキテクチャ
5. プログラム設計
6. 運用・保守

受講料 ¥18,700

eラーニング / コースコード NWE032

<eラーニング> Webシステム入門

eラーニング 6時間

Webシステムの構成要素と代表的なアプリケーション開発技術を学習します。加えて、開発時における留意点を学習します。

到達目標
- Webシステムにおけるクライアントとサーバの役割を説明できる。
- Webシステムにおけるサーバの種類と代表的な製品を説明できる。
- Webシステムにおける開発時の留意点を説明できる。

対象者 これからWebシステムを構築、管理する方、これからWebアプリケーションを開発する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. Webシステムを取り巻く環境
2. 構成要素と動作イメージ
3. システム構成
4. アプリケーションの実装技術
5. 開発時の留意点
6. 修了試験

受講料 ¥18,700

オンライン / コースコード SPV114

演習で学ぶ！情報システムの役割と開発の進め方【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 2日間

情報システムを開発・発注するうえで必要な基礎知識として、工程別に作業内容や作業目的を学習します。加えて開発プロジェクトの計画・統制・終結の側面から、代表的な仕事（見積り、契約など）についても学習します。

到達目標
- 情報システムの役割を説明できる。
- 開発プロセスおよび作業工程における作業概要を説明できる。
- 開発方法論、代表的な成果物の表記法を説明できる。

対象者 これからシステムを企画、開発する方。

前提知識 「コンピュータ基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 情報システムとは
   （1）市場、定義、役割
2. 情報システムの開発
   （1）作業と作業順序
   （2）開発プロセス
   （3）開発方式
3. 情報システムの維持・メンテナンス
   （1）情報システムの寿命と保管場所
   （2）必要な作業
4. 情報システムに関わる人
   （1）プロジェクト・ステークホルダ
   （2）職種
5. 情報システムのコスト
   （1）見積り
   （2）契約
6. 情報システムを支える技術
   （1）サーバ、冗長化、クラウド、ビッグデータ
7. 演習
   （1）業務分析、データ分析、機能分析

受講料 ¥79,200

eラーニング / コースコード SJE029

<eラーニング> システム開発の基礎

eラーニング 4時間

システム設計の手法について基礎的な知識を学習します。

到達目標 システム設計に必要な作業について、手順や内容を説明できる。

対象者 ITエンジニア職、若手これから情報システムの設計に携わるが、情報システムの基礎知識がない方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. システム開発と設計の役割
2. システムの品質と設計手法
3. 基本から詳細設計概略
   （1）段階的詳細化のレベル
   （2）業務機能設計
   （3）実現方式設計（アーキテクチャ）
   （4）外部インタフェース設計（遷移、レイアウト）
   （5）バッチ処理設計
   （6）データ基本設計（論理DB設計）
   （7）プログラム詳細設計
   （8）共通部品設計
   （9）データ詳細設計
4. その他の開発手法
5. 修了試験

受講料 ¥9,900

eラーニング / コースコード SPE024

<eラーニング> 待ち行列理論

eラーニング 7時間

ITシステムの設計時に必要となる、待ち行列理論の基本的な考え方を理解します。単一窓口（M/M/1）と複数窓口（M/M/n）を中心に適用方法を修得します。

到達目標 待ち行列モデルの「M/M/1」に関して説明できる。

対象者 待ち行列理論の基本を修得したい方。

前提知識 数学的な基礎知識があること。

内　容
1. 待ち行列理論
2. 解析事例学習項目
3. 演習問題
4. 修了試験

受講料 ¥26,400

オンライン / コースコード SPV115

ソフトウェア開発における生成AIの活用 ―要件定義から実装・テストまでの新しいアプローチ―【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 0.5日間

このコースでは、生成AIの基本理論からスタートし、ソフトウェア開発におけるその活用方法に焦点を当てます。まず、生成AIとは何か、その基本原理について理解を深め、開発工程におけるプロンプトエンジニアリングやコード生成など、具体的なテクニックを探求し、AIを活用した新しい開発プロセスを修得します。

到達目標
- 生成AIの基本原理が説明できる。
- 生成AIの開発工程における使いどころを理解できる。

対象者 生成AIをソフトウェア開発に活用したいと考えている方。

前提知識 ソフトウェア開発工程に関する知識があること。

内　容
1. 生成AIとは
2. 生成AIの基本原理
3. 開発工程におけるプロンプトエンジニアリング
4. システム化の目的・背景の明文化への生成AI活用
5. 要件定義への生成AI活用
6. 非機能要件への生成AI活用
7. 基本設計・詳細設計への生成AI活用
8. コーディングへの生成AI活用
9. テスト設計への生成AI活用
10. まとめ

受講料 ¥63,800

オンライン / コースコード SPV101 **New**

生成AIで実現するソフトウェア開発工程自動化ハンズオン【バーチャル・クラスルーム】

マシン演習 1日間

生成AIの進化により、要件定義からコード生成、テスト、ドキュメント作成まで、開発プロセスの自動化が加速しています。このコースでは、大規模言語モデルの基礎から、プロンプト設計、仕様書作成、コード最適化、品質保証、継続的改善に至るまでの実践的な手法を学びます。さらに、生成AIの限界や適用範囲を正しく理解することで、過度な期待や誤用を避けつつ、現場での効果的な導入・運用を実現するための具体的なノウハウを修得します。

到達目標 生成AIを活用した開発工程の自動化の仕組みを説明できる。

対象者 生成AIを使った開発の効率化や自動化に興味がある方。

前提知識
- ソフトウェア開発工程に関する知識があること。
- 基本的なプログラミング経験がある方が望ましい。

内　容
1. 大規模言語モデル概要
2. AIを活用した要件定義とプロンプト作成の技法
3. システム設計と仕様書作成の自動化プロセス
4. AIによるコード生成と最適化の実践
5. 自動化されたテストと品質保証の方法
6. AI支援によるドキュメント作成と展開
7. 継続多岐な改善とメンテナンスにおけるAIの活用

受講料 ¥83,600

オンライン / コースコード ITV019 **New**

（PDU）ソフトウェアとシステムの開発効率向上の鍵を握る構成管理―多様な開発形態を支援する最新動向から実践技法まで―【バーチャル・クラスルーム】PDU

レクチャ 2日間

この研修はラーニング・ツリー・インターナショナル（株）提供の研修です（使用言語：日本語）。
講師は、2012年6月まで30年余り米国インテル社において、ソフトウェア開発やCPUの論理設計検証関係のさまざまなプロジェクトに技術者あるいは管理者として従事した、鈴木啓一氏です。
このコースでは、SCMの基本（何なのか、なぜ重要か、どのように行うか）を説明し、実際にプロジェクトの導入の際の問題点、留意点を学んでいきます。最新の動向や将来有望な技術についても触れます。組み込み系、IT系の両方に対する適用例について説明します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標 強力で効果的な構成管理は、ソフトウェアの開発、保守、サポートを成功させるために不可欠の要素です。このコースは、ソフトウェア製品を構成するドキュメンテーションやコードの整合性を確立し強力で効果的な構成管理は、ソフトウェアの開発、保守、サポートを成功させるために不可欠の要素です。このコースは、ソフトウェア製品を構成するドキュメンテーションやコードの整合性を確立し維持するために利用できる、総合的で実践的なテクニックやツールに関する知識を学ぶためのコースです。これらの構成管理のテクニックは、情報システム、商用のソフトウェア製品、埋込み型アプリケーションの開発、保守、サポートにも同様に利用できます。
このコースを受講することにより次のスキルが修得できます。
- 構成管理の活動とテクニックを識別し、実施する。
- ソフトウェア製品の種類に合った適切なレベルの構成管理を決定する。
- 構成管理チームのメンバの役割を決める。
- 構成管理活動を支援するための自動化ツールを利用する。
- 構成管理計画の内容とスコープを定義する継続的な構成管理プロセスの改善を開始し維持する。

対象者 ソフトウェア開発、統合、保守、運用、ソフトウェア品質保証、プロセス改善に関わっている、マネージャ、技術専門家、そして構成管理に関わっている方に最適なコースです。

前提知識 ソフトウェア開発に直接もしくは間接的に関わりのある方。

内　容
1. ソフトウェア構成管理の概要
2. 構成項目の選択
3. 構成ライブラリ
4. 変更の管理
5. 構成監査
6. コードの管理
7. リリース管理
8. 組織における構成管理の実現
9. 事例研究

受講料 ¥211,200

オンライン / コースコード ITV018 **New**

実践的アーキテクチャ設計によるシステムズエンジニアリング【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

昨今の複雑化、高度化、多機能化したシステムや製品の実現においては、拡張性、性能、保守性等、システムに求められる要件を実現するためのシステムアーキテクチャが重要になるが、良いアーキテクチャを検討するためのノウハウ（特に論理アーキテクチャの検討）については浸透していないのが現状である。
このコースは、システムの論理アーキテクチャ、物理アーキテクチャの検討について、その違い、検討すべきこと、検討方法について解説します。MBSEの実践において、システムアーキテクチャで何を解決すればよいか分からない、良いアーキテクチャとはどのようなものか分からないといった課題を抱えている技術者が多いと思われるが、その一助となる講座です。

到達目標
- システムズエンジニアリングにおける論理アーキテクチャ、物理アーキテクチャ、それぞれの目的/役割を理解できる。
- システム要求から論理アーキテクチャ、物理アーキテクチャを導出する方法を理解できる。
- システムアーキテクチャを評価するための指針を得ることができる。

対象者 IT／OT系を問わず、既にシステムアーキテクチャの検討に携わっている方、これから携わっていきたいと考えている方。

前提知識 システム設計経験や、システム設計に関する基本的知識、（例「開発のムダを減らすモデルベースシステムズエンジニアリング（IOV030）」コースの受講程度と同等）を有した状態での受講が理想ですが、必須ではありません。

内　容
1. システムズエンジニアリング概論
2. システムアーキテクチャとは（論理アーキ・物理アーキの違い、論理アーキの必要性）
3. システムアーキテクチャの記述方法
4. システムアーキテクチャの評価方法
5. 論理アーキテクチャの検討（構成要素、I/F設計）
6. 物理アーキテクチャの検討（構成要素、I/F設計、HWとSWでの実現の違い、トレードオフ分析）

受講料 ¥105,600

オンライン / コースコード IOV030

開発のムダを減らすモデルベースシステムズエンジニアリング実践―IT／OT融合時代のモデルベースアプローチ―【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 1日間

IT／OT系に関わらず、昨今のSoS（※）化の流れもあり、複雑化、高度化、多機能化したシステムや製品においては、開発における手戻りは膨大な時間とコストの損失を伴います。
そこで「システムズエンジニアリング」や、SysMLによるモデルを活用したシステムズエンジニアリング「MBSE：Model Based Systems Engineering」が、製品開発/システム開発プロセスを円滑に進めるための手法として近年注目されています。
※SoS（System-of-Systems）：システムを組合せて作られる複合システム
このコースでは、実際にシステムズエンジニアリングの導入を支援しているコンサルタントを講師に招き、教科書的な内容にとどまらず、実際にSysMLのモデルを作成しながら、システムズエンジニアリングやMBSEがどのようなもので、どういった効果があるかについて理解とスキル修得を進めます。

到達目標
- システムズエンジニアリングを構成する、各活動の目的／役割、主な実施事項、成果物を理解できる。
- モデルの活用方法を理解できる。
- 実務でどう活用するか？の指針を得ることができる。

対象者 IT／OT系を問わず、企画員～若手技師クラスであり、特に将来は広い視野で技術とりまとめ的な役割を担いたいと考えている方。

前提知識 特に必要としません。なお、SysMLの知識は必須ではありませんが、知っているとより演習に臨みやすくなります。また、システム開発や製品開発の経験（ハードウエア、ソフトウエアの分野は問わない）が一度でもあると効果的です。

内　容 システムズエンジニアリングの活動（事例、演習含む）
1. 企画 - 要求獲得 - 仕様策定までの流れ
2. システム設計 - 開発 - システム統合までの流れ
3. 演習
   （1）要求系の演習
   （2）設計系の演習

受講料 ¥99,000

オンライン / コースコード SPV024

システムの要件定義技法【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 2日間

システム化による問題解決を図る際に求められる"システムが提供すべき機能"の導出方法について学習します。また、要件定義書を策定するうえで必須となる考え方について演習を通して学習します。非機能要件については、性能、セキュリティなどの観点から整理しておくべき事項を紹介します。

到達目標
- 要件定義工程の作業概要、考慮すべき点を説明できる。
- 要件定義工程で作成すべき成果物を説明できる。

対象者 システム開発プロジェクトにおいて要件定義に携わる方。

前提知識 「演習で学ぶ！情報システムの役割と開発の進め方」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 要件とは
   （1）定義
   （2）各要件の内容
2. 要件定義と前後の作業
   （1）共通フレームでの位置付け
   （2）一般的な位置付け
   （3）現状調査
   （4）問題点分析・課題設定
   （5）基本設計
3. 要件定義
   （1）業務の表記法
   （2）業務の検討
   （3）アプリケーションの検討
   （4）データの検討
   （5）非機能要件の検討

受講料 ¥70,400

オンライン / コースコード CTV094

（PDU）トラブルを防止する調達要件の分析 ―RFPの作成と提案書の評価を中心に― 【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 2日間

情報システムの開発/導入は重要な投資案件であるにも関わらず、処理能力不足や予算超過など、多くの失敗事例が報告されています。これらの中には調達要件の分析不備が原因と推定されるケースも少なくありません。システム要件を的確に伝えるRFPの作成、ベンダからの提案書の合理的な評価方法、および信頼性を向上させるIT契約書の締結などに関する知識を、演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- RFPの作成と提案書の合理的な評価ができる。
- 信頼性の高いIT契約を締結できる。

対象者 情報システム部門でシステム企画/調達等を担当する方、システムアナリスト・プロジェクトマネージャ・システムエンジニア・セールスエンジニアの方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内　容
1. IT調達が抱える課題と調達要件分析の重要性
2. プロジェクト調達マネジメント/IT調達ガイドライン
3. 要件を的確に伝えるRFP（提案依頼書）
   （1）演習：新システム導入に関するRFP検討
4. 合理的な提案書評価
   （1）演習：ベンダからの提案書評価
5. 信頼性を向上させるIT契約書

受講料 ¥123,200

オンライン / コースコード CTV046 休講

グループ演習 1日間

情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント【バーチャル・クラスルーム】

要件定義とベンダー折衝を通して、情報システム導入を成功に導く方法論を解説します。特にパッケージ・システム導入を事例として、各種のチェックリストや問題解決技法のテンプレート使用して具体的な進め方を修得します。

到達目標
- 要件定義作業の進め方、ベンダ提示資料の検討の方法について説明できる。
- 社内手続き、業務改善・管理基準・ルールの改定と整理ができる。
- 要件定義作業成果物の不安、未了および不確定の扱いについて検討できる。

対象者 企業内の情報システム部門で情報システム導入に携わる方。

前提知識
- 情報システムの開発に携わった経験があること。
- これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内 容
1. 要件定義とは
2. 作業充実の要点とリスク回避
3. 要件定義作業とユーザ対応
4. 検討作業と整理技法
5. 要件定義の事例
6. ユーザ資料の作成要領
7. まとめ

受講料 ¥44,000

オンライン / コースコード CTV075

レクチャ 1日間

業務のIT化を推進するための新業務フロー作成技法とシステムへの要求のまとめ方【バーチャル・クラスルーム】

現代の組織における生産性向上を実現するためにはITの活用が重要です。しかし、ともすればITの本質を理解しないまま旧来の改善の延長でシステム化を推進し、ITのメリットを活かせないまま期待したほどの効果を得られないケースも散見されます。ホワイトカラー業務に特有のイベント駆動型プロセスの本質を理解して、ITの利点であるプロセス・イノベーションを実現するための手法について、書籍「ビジネスデザイン」「はじめよう！プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実戦的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。

到達目標
- ITと単なる自動化の違いを説明できる。
- 業務要件とは何かを説明できる。
- 新しい業務プロセスの作り方について説明できる。

対象者 現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者（IT知識が無くても可）やシステムエンジニアの方。

前提知識 5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良い。

内 容
1. 生産性とゴール指向
2. 業務要件とは何か
3. ITがもたらすプロセス・イノベーション
4. バックキャスティング
5. IT活用の肝としての情報設計
6. 演習

受講料 ¥49,500

オンライン / コースコード IOV032

グループ演習 1日間

システムズエンジニアリング領域における「セーフティ」と「セキュリティ」の実現【バーチャル・クラスルーム】

昨今の複雑化、高度化、多機能化したシステムや製品の実現においては複数の技術分野にまたがる「システムズエンジニアリング」の考え方に基づいた製品開発/システム開発プロセスが必須である。また、昨今の製品は高い「安全性（Safety and Security）」の実現が求められ、そのための安全規格、セキュリティ規格でもシステムズエンジニアリングの実践が求められていること。このコースは、そのプロセスの中で安全性の高いシステムを実現するために求められる、上流工程からの安全性の作り込み（バイ・デザイン）において考慮すべき製品やシステムの全般についての講義と、主として製品やシステムの安全性（Safety）検討面を中心とした演習を通じて、理解とスキル修得を進める。またセーフティと同時に検討されるセキュリティについても、セーフティと同時に検討を行う際の注意点を解説していく。このコースは、実際にシステムズエンジニアリングの導入を支援しているコンサルタントを講師に招いており、教科書的な内容にとどまらず、より実践的な部分に焦点を当て、学んだことを職場へ戻って反映しやすいように考慮するものである。

到達目標
- システムズエンジニアリングを構成する各活動の目的/役割、主な実施事項、成果物を理解できる。
- 安全性の考え方と取り組みを理解できる。
- 実務でどう活用するか？の指針を得ることができる。

対象者 IT／OT系を問わず，企画員～若手技師クラスであり，特に将来は広い視野で技術とりまとめ的な役割を担いたいと考えている方。

前提知識 特に高度な技術的背景や知識、受講経験等は必要ありませんが、システム開発や製品開発の経験（ハードウエア、ソフトウエアの分野は問わない）があると効果的です。

内 容
1. システムズエンジニアリング概論
2. 上流からの安全性の作込み（バイ・デザイン）とは
3. 安全リスクとリスク対策検討の基本的な考え方
4. 要求領域における安全性の検討
   （1）リスク分析とそのための手法
5. システムアーキテクチャ設計における安全性の検討
   （1）安全性設計とそのための手法
6. テスト領域における安全性の検討
   （1）安全性の検証のためのテスト設計とテスト技法
7. セーフティとセキュリティの同時検討における注意点
8. 演習
   （1）安全リスクの分析（安全要求の導出）
   （2）安全メカニズムの検討

受講料 ¥105,600

eラーニング / コースコード NWE031

eラーニング 8時間

<eラーニング> Webアプリケーション設計の基礎

Webアプリケーション開発に関わるに当たり、設計の観点からの基本的な知識や留意点を学習する入門コースです。ユーザビリティ向上と実装難易度を踏まえた画面設計、開発効率や保守性を考慮したフレームワークの必要性、実行効率向上のためのデータと画面設計の対応について学習します。

到達目標
- Webシステムの画面設計時に、ユーザビリティ向上にあたっての留意点を説明できる。
- 保守性、開発効率をふまえフレームワーク導入の意義を説明できる。

対象者 これからWebアプリケーション開発にかかわる方。

前提知識 「Webシステム入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Webシステム概要
   （1）サーバ/クライアント
2. Webアプリケーションの設計とは
   （1）設計フェーズの確認・機能要件/非機能要件
3. 画面設計
   （1）ユーザビリティへの配慮
   （2）ウィンドウサイズ/スクロールバー/画面部品/画面遷移
4. プログラムの設計
   （1）フレームワークの利用・セッション管理
5. データ設計
   （1）画面設計との整合性
6. 多様化するクライアントの役割
   （1）非同期通信、多様なデータ形式
7. 修了試験

受講料 ¥18,700

eラーニング / コースコード SPE025

eラーニング 5時間

<eラーニング> 構造化モデリングによるシステムの機能抽出

データフロー図やデータディクショナリ、ERD、状態遷移図を用いてシステムを構造的に分析する手法を学習します。また、システムを段階的に詳細化しモデル化する価値や思考法を学習します。

到達目標
- データフロー図、データディクショナリ、ERD、状態遷移図を読み、理解できる。
- データフロー図、データディクショナリ、ERD、状態遷移図を用いて問題記述を分析・詳細化できる。

対象者 情報システム開発プロジェクトに参画し、分析モデリングを行う方。

前提知識 システム開発に関する基礎知識があること。

内 容
1. 背景
   （1）現実とソフトウェアのギャップ
   （2）要求とソフトウェアのギャップ
   （3）ソフトウェアの開発に必要な作業
2. 思考方法
3. モデリング
   （1）構造化モデリングとは
   （2）図を書く（DFD、データディクショナリ、ERD、状態遷移図）
   （3）モデルを書く（DFD、データディクショナリ、ERD）
4. まとめ

受講料 ¥26,400

オンライン / コースコード CTV065

レクチャ 2日間

エンタープライズITアーキテクチャのセオリー【バーチャル・クラスルーム】

近年の企業システムは初期の導入から数十年が経過し、相次ぐ改変によって複雑化、巨大化し、多くの問題を抱えています。こうした背景にある企業システムに、今こそ求められるものはアーキテクチャ（構造）です。老朽化した企業システムをやみくもに再構築するのではなく、自社がめざすアーキテクチャを描き、それに向けてシステム全体を着実に整備して行くことが今求められています。このコースでは、問題提起に始まり、EA の本質を踏まえた上で、具体的なソリューションの設計に至るまで、ITアーキテクチャ主導の企業シスム設計について多くのセオリーを学びます。

到達目標
- 企業のビジネスモデルに適合したITアーキテクチャ設計を修得できる。
- 柔軟で拡張性に富んだ企業システムのITアーキテクチャがどうあるべきかを修得できる。
- めざすアーキテクチャに基づいた企業システムの構築ロードマップを描けるようになる。
- 大規模システムの緩やかな再構築手法を理解し、ビッグバンリスクの回避策について修得できる。

対象者
- 企業システムを今後どのような方向に導くかを策定する立場の方。
- 将来の事業変化に備えて、企業システムを柔軟に対応できるようにしたいとお考えの方。
- カオスと化したレガシー企業システムを整理整頓したいとお考えの方。
- 大規模基幹系システムの再構築を成功裏に収めたいとお考えの方。

前提知識
- 中規模から大規模アプリケーションシステムの設計・開発の経験があること。
- SCM、会計、生産、販売、営業といった一会社の一般的業務知識があること。

内 容
1. 今なにをすべきか（問題の所在と取り組むべき課題について、取り組みに際しての留意点）
2. アーキテクチャについて（EA、DA、AA、TAについて）
3. 戦略ソリューションについて
   （エンタープライズデータHUB、マスタデータHUB、トランザクションデータHUB、情報系データハウスの構築について）
4. 戦術ソリューション
   （リポジトリで情報を可視化、ゆるやかなシステム移行の進め方、近未来へ先手を打つために何をすべきかについて）

受講料 ¥99,000

オンライン / コースコード SPV073

レクチャ 1日間

業務要件とユーザビリティを確保するためのユーザ要件定義とUIデザインのコツ【バーチャル・クラスルーム】

コンピュータの用途が多様化した現代において、システム開発プロジェクトの終盤においてユーザの検証に伴って生じる「このシステムは使えない」という事態は単なる手戻りというレベルを超えて、プロジェクト自体の意義を問われることすら起こります。この事態を防止するためには、業務上の要件を満たすこととユーザの現場での使い勝手を確保することの両立が不可欠です。ではどうすれば良いのかということについて、書籍「はじめよう！プロセス設計」「はじめよう！要件定義」の著者が豊富な現場経験に基づく実戦的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。

到達目標
- 業務要件とオペレーション要件の階層を説明できる。
- 業務要件とUIデザインの関係について説明できる。
- オペレーション定義の具体的な手法について説明できる。

対象者 現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者（IT知識が無くても可）やシステムエンジニアの方。

前提知識 情報システムの開発または運用での業務経験があること。あるいは、強い興味があること。

内 容
1. なぜ「業務で使えない」となるのか
2. ユースケース変遷の歴史
3. ユーザ要件とユーザビリティの関係
4. オペレーションフローとUIデザイン
5. 手順
6. 演習

受講料 ¥49,500

オンライン / コースコード SPV118

レクチャ 0.5日間

新しいUI／UXデザイン【バーチャル・クラスルーム】

人間中心デザインを基調としつつ、新しい時代に適合したサービスとプロダクト（ハードウェアやソフトウェア）のUXとユーザビリティのデザインをするための考え方および実践的手法を学びます。

到達目標 サービスやプロダクトのUXとユーザビリティについて、その重要性を理解し、それを実現する設計（デザイン）を行い、調査や評価ができる。

対象者 サービスやプロダクトのUXやユーザビリティを意識している設計や企画の関係者の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 概要編
   （1）ICTの現在と将来
   （2）プロダクトからサービスへの変化
   （3）ユーザインタフェースの進化
   （4）ユーザの多様性
   （5）ユーザビリティへの注目
   （6）ユーザビリティのとらえ方
   （7）UXへの注目
   （8）UXのとらえ方
   （9）デザイン思考の考え方
   （10）プロセスモデルによる概念整理
2. 手法編
   （1）ユーザ調査の手順と事例
   （2）文脈におけるデザイン法の紹介
   （3）親近性図法の紹介
   （4）ペルソナによるユーザイメージの具体化
   （5）ユーザビリティの評価
   （6）UXの評価

受講料 ¥41,800

オンライン / コースコード SPV078

マシン実習 2日間

アプリケーション・アーキテクチャ策定演習【バーチャル・クラスルーム】

アプリケーション分野の機能アーキテクチャ策定の基本を中心に学習します。

到達目標
- 方式（アーキテクチャ）設計の流れを説明できる。
- 主要なアーキテクチャのパターンを説明できる。
- 要件を元に適切なアプリケーション・アーキテクチャを検討できる。

対象者 アプリケーション・アーキテクチャの策定をお考えの方。

前提知識 情報システム開発の経験があること。

内 容
1. 要件定義と方式（アーキテクチャ）設計
2. 演習題材の概要
3. 要件定義、システムアーキテクチャ
4. アプリケーションアーキテクチャ

受講料 ¥82,500

eラーニング / コースコード CTE009

eラーニング 6時間

<eラーニング> アプリケーション・アーキテクチャ基礎

アプリケーションのアーキテクチャを設計するための基本的な考え方を学習します。このコンテンツではレイヤアーキテクチャを例に、それぞれの層の役割、代表的なコンポーネントについて説明します。

到達目標
- アーキテクチャの重要性を説明できる。
- アーキテクチャを設計するための基本的な手段を説明できる。

対象者 これからアプリケーション開発に携わる方。

前提知識 プログラミングの経験があること。

内 容
1. アーキテクチャ設計
2. 論理アーキテクチャ
3. プレゼンテーション層のアーキテクチャ設計
4. アプリケーション層のアーキテクチャ設計
5. データ層のアーキテクチャ設計
6. その他のアーキテクチャ設計
7. 論理アーキテクチャ設計の効果
8. まとめ

受講料 ¥25,300

eラーニング / コースコード CTE008

eラーニング 6時間

<eラーニング> アプリケーション・アーキテクチャ応用

エンタープライズアプリケーションアーキテクチャパターンを題材に、アプリケーションのアーキテクチャを設計するうえでの考え方を学習します。

到達目標 アプリケーションのアーキテクチャを設計するための考え方を説明できる。

対象者 これからアプリケーションのアーキテクチャ設計に携わる方。

前提知識 エンタープライズ・システムの開発経験があること。

内 容
1. 論理アーキテクチャ
   （1）アーキテクチャ設計
   （2）アーキテクチャ設計の重要性
   （3）本コースのターゲット
   （4）レイヤ化
   （5）本コースの題材
2. プレゼンテーション層のアーキテクチャ
   （1）ページコントローラ
   （2）フロントコントローラ
   （3）テンプレートビュー
   （4）この章のまとめ
3. アプリケーション層のアーキテクチャ
   （1）トランザクションスクリプト
   （2）ドメインモデル
   （3）テーブルモジュール
   （4）サービスレイヤ
   （5）この章のまとめ
4. データ層のアーキテクチャ
   （1）テーブルデータゲートウェイ
   （2）ロウデータゲートウェイ
   （3）アクティブレコード
   （4）データマッパー
   （5）この章のまとめ
5. その他のアーキテクチャパターン
   （1）静的データの扱い
   （2）シングルページアプリケーション
   （3）この章のまとめ

受講料 ¥18,700

オンライン / コースコード SPV074

レクチャ 1日間

後工程で慌てない！ユーザ／業務要件の漏れを未然に防ぐシステム要件定義のコツ【バーチャル・クラスルーム】

システム開発プロジェクトの赤字の発生要因となる仕様変更や仕様追加を未然に防ぐためには、詰めの甘い業務設計や機能要件の漏れを早期にチェックし、対策することが求められます。設計工程や開発工程に課題を先送りしないための要件定義への取り組み方について、書籍「はじめよう！要件定義」の著者が豊富な現場経験に基づく実戦的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。

到達目標
- 業務設計のチェックポイントを説明できる。
- 業務設計とシステム要件の関係を説明できる。
- システム要件の具体的な定義の仕方を説明できる。

対象者 現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者（IT知識が無くても可）やシステムエンジニアの方。

前提知識 情報システムの開発または運用での業務経験があること。あるいは、強い興味があること。

内 容
1. 後工程で困る理由
2. 要件とは何か
3. 業務と要件の構造
4. ソフトウェア要件の三点セット
5. 要件定義の手順
6. 演習

受講料 ¥49,500

オンライン / コースコード SPV075

レクチャ 1日間

開発の手戻りを最小限にするシステム要件の品質チェックと基本設計のコツ【バーチャル・クラスルーム】

不十分な要件を無理やり設計に落とし込んだ結果、スムーズに実装できないような設計を行うと開発工程が迷走しコストを延々と垂れ流すことになります。また仕様変更への意識の足りない設計は、リリース時から硬直したシステムを強いることになり将来的な保守コストを増大させます。これを防止してきちんと要件を開発につなぐための要件チェックと、一貫性と柔軟性を併せ持つ基本設計をどのようにすべきかについて、書籍「はじめよう！システム設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実戦的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。

到達目標
・システム要件と設計の関係について説明できる。
・設計について説明できる。
・基本設計の方法について説明できる。

対象者 現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者やシステムエンジニアの方。

前提知識 情報システムの開発または運用での業務経験があること。あるいは、強い興味があること。

内　容
1. 手戻り発生の原因
2. 要件の構造とレビューの盲点
3. 設計とは何か
4. 仕様変更に耐え続ける設計とモジュール化
5. 基本設計の考え方と手順
6. 演習

受講料 ¥49,500

オンライン / コースコード OTV036 **New**

レクチャ 2日間

組込みソフトウェア流用開発と構造設計における品質改善【バーチャル・クラスルーム】

組込み開発現場で大きな比重を占める流用開発において，品質の高いソフトウエアを作るためのノウハウを、講義と演習を通じて修得します。

到達目標 近年組込み開発現場で大きな比重を占める流用開発において、品質の高いソフトウエアを作るためのノウハウを修得することを狙っています。
組込みソフトウェアアーキテクチャとは何か、ソフトウエア品質とは何かを理解した上で、有効な品質改善に結びつく管理手法を学びます。さらに、実践的なプロジェクト演習<ケーススタディ>を通じて、ソフトウエア開発と改善のプロセスを学び、有効性を体感します。

対象者 管理者の方：開発チームや協力会社のソフト品質、開発コストに不安を持たれている方、ソフトウエアアーキテクチャの見える化や改善にご興味がある方。技術者の方：『ここ変更して本当に大丈夫？』。流用開発で、品質の良いソフトウエアを作るためのノウハウを学びたい方。ソフトウエアアーキテクチャについても学びスキルアップしたい方。

前提知識 関連分野の基礎用語を理解していること。

内　容 ソフトウエア開発における構造設計に関する基礎を学び自部門での適用可能性を議論。
1. ソフトウェアアーキテクチャの定義と品質特性
2. 動的／静的構造設計
3. ソフトウェア構造設計
4. ソフトウェアアーキテクチャの見える化
5. 演習など

受講料 ¥222,200

オンライン / コースコード IOV033

マシン実習 1日間

システムズエンジニアリング体験 −間違いのない設計課題洗い出しと設計変更−【バーチャル・クラスルーム】

IT／OT系に関わらず、昨今のSoS（※）化の流れもあり、複雑化，高度化，多機能化したシステムや製品においては、設計変更時には不具合のリスクを伴います。そこでこのコースでは、製品開発/システム開発プロセスを間違いなく進めるための手法として注目されているシステムズエンジニアリングの流れに沿って、設計検討～設計変更までを、ツールを用いて体験します。
※SoS（System-of-Systems）：システムを組合せて作られる複合システム

到達目標
・設計フェーズでの課題抽出と整理の重要性を体感できる。
・実務でどう活用するか？の指針を得られる。

対象者 IT／OT系を問わず、企画員～若手技師クラスであり、特に将来は広い視野で技術とりまとめ的な役割を担いたいと考えている方。

前提知識 特に必要としませんが、FMEAの基礎知識がある方、また、システム開発や製品開発の経験（ハードウエア，ソフトウエアの分野は問わない）がある方、もしくはシステムズエンジニアリングの基礎知識がある方だと効果的です。

内　容
1. システムズエンジニアリングの概論と進め方
2. 設計検討
（体験）要求仕様整理
（体験）機能設計・モデル作成（機能ブロック図作成、要素ブロック図作成）
（講義）FMEA概論、設計におけるFMEAとは
（演習）故障モード抽出・設計課題抽出
3. 設計変更
（講義）見落としの無い、効率的な設計変更
（体験）変更影響分析、品質機能展開
（体験）心配点抽出、反映項目抽出

※上記は、理解のし易さのために具体的製品を用いた演習も実施します。受講後、ご担当のシステムや製品に置き換えることで、実務へ取り入れ易くなると考えています。

受講料 ¥105,600

---

eラーニング / コースコード OJE029

eラーニング 6時間

<eラーニング> オブジェクト指向概説

オブジェクト指向の考え方と基本概念、およびオブジェクト指向による開発の流れを学習します。

到達目標
・オブジェクト指向の基本概念（オブジェクト、クラス、カプセル化、継承、ポリモフィズムなど）を説明できる。
・オブジェクト指向による開発の流れを説明できる。
・UML（Unified Modeling Language）の役割、概要を説明できる。

対象者 これからオブジェクト指向による情報システム開発に携わる方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. オブジェクト指向概要
2. UML概要
3. オブジェクト指向の基本概念
（1）オブジェクト
（2）クラス
（3）関連
（4）継承
（5）多態性
4. オブジェクト指向開発手順の概要
5. 修了試験

受講料 ¥25,300

オンライン / コースコード IOV034

グループ演習 1日間

システムズエンジニアリングの勘所 −つなぎ（IF）と変化点−【バーチャル・クラスルーム】

近年、我々を取り巻く製品やシステムはますます複雑化，高度化，多機能化しており、製品開発/システム開発プロセスを円滑に進めるための手法として「システムズエンジニアリング」が必須である。このシステム設計視点では、各技術分野をいかにうまくつなぐか（IF設計）が求められる。加えて設計変更時においても、いかにうまく現行設計と変更設計とをつなぐか（変化点）が求められる。そこでこのコースでは、「システムズエンジニアリング」を進めるうえでの勘所の一つとして「つなぎ（IF）」「変化点」に着目し、例題を用いながらこの重要性について理解とスキル修得を進める。

到達目標
・システムズエンジニアリングを構成する各技術分野同士をつなぐ際のキーポイントを理解できる。
・設計変更時の設計品質を保てるようになる。

対象者 IT／OT系を問わず、企画員～若手技師クラスであり、特に将来は広い視野で技術とりまとめ的な役割を担いたいと考えている方。

前提知識 特に高度な技術的背景や知識、受講経験等は必要ありませんが、システム開発や製品開発の経験（ハードウエア、ソフトウエアの分野は問わない）があると効果的です。

内　容
1. イントロダクション
2.「つなぎ（IF）」の不具合
（1）素材説明：湿地の自動カメラ
（2）講義：システムとハード・ソフトの「つなぎ（IF）」
（3）設計品質への落とし込み
（4）演習：湿地の自動カメラの不具合
3.「変化点」の不具合
（1）素材説明：海岸の監視カメラ
（2）講義：「変化点」の不具合をなくす工夫
（3）演習：海岸の監視カメラの不具合
（4）講義：何が足りなかったか
4. すべての活動に必要なこと
（1）演習：自宅のペット監視カメラ
（2）講義：まとめ

具体的なメカトロ製品を例として、IF設計と設計変更を実践していくため、受講後の実務への取り入れなども行いやすくなっております。

受講料 ¥83,600

オンライン / コースコード HSV335

グループ演習 2日間

システムトラブルの予防と是正 −障害事例分析を中心に−【バーチャル・クラスルーム】

トラブル事例を、予防処置と是正処置の観点から分析し、自らの職場において同様のトラブルを引き起こさないようにするためには何をするべきか、その対策ポイントについて研究・学習します。

到達目標
・情報システムの開発業務や運用業務でトラブルを引き起こさないための対策ポイントを説明できる。
・システムトラブルの原因分析ならびに対策立案の手法を説明できる。
・システムトラブルの原因分析ならびに対策方法を立案できる。

対象者 プロジェクトマネージャ、システム開発・運用を担当する方、ISMS導入を担当する方、ISMS内部監査人の方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内　容
1. 今なぜシステムトラブルの予防と是正なのか
（1）故障・障害によるトラブル事例
（2）操作ミスによるトラブル事例
（3）事件・事故からの教訓
2. 情報セキュリティ概論
（1）情報資産・脅威・脆弱性
（2）関連法規・評価認証制度
（3）セキュリティ事件の事例
3. システムトラブルを未然に防止する
（1）物理的・技術的・管理的対策
（2）システム監査手法
（3）トラブル防止に向けた取り組み
4. システムトラブルの再発を防止する
（1）システムトラブル発生時の対処
（2）ヒューマンファクタ分析
5. まとめ

受講料 ¥90,200

オンライン / コースコード CTV026

グループ演習 1日間

情報システムのユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備実務【バーチャル・クラスルーム】

情報システム部門が情報システム導入時に安定稼働を保証する条件は、「新規システムの品質確保」と「移行処理・切替作業の確実な実施」および「社内準備のミスのない実行」にあります。このコースでは、情報システム導入時に情報システム部門が社内に対して行う安定稼働を保証するための作業である、ユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備の実務について学習します。

到達目標
・システムの品質保証、問題の管理と解決、移行処理、切替作業の概要を説明できる。
・社内外への必要情報の提示、教育研修とマニュアルが作成できる。
・業務改善、管理基準の変更および運用に関するドキュメントが作成できる。

対象者 企業内の情報システム部門で情報システムのユーザテスト・移行・切替・本番稼働の準備に携わる方。

前提知識
・情報システムの開発に携わった経験があること。
・これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内　容
1. 万全な準備の対象
2. ベンダテストの限界とユーザ関与
3. 品質を保証するユーザテスト
4.「移行処理」とその対応策
5. 切替作業の方法と成功要因
6. 安定稼働のための社内準備
7. まとめ

受講料 ¥44,000

オンライン / コースコード HSV062

グループ演習 1日間

事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方 −高信頼性システム実現のために−【バーチャル・クラスルーム】

情報化社会におけるコンピュータシステムは、組織や社会のインフラを支えるという極めて重要な役割を担っています。これらのシステムに障害が発生すると、ビジネスに与える影響は非常に大きなものとなるため、今日の情報システムには高い信頼性と安全性が求められています。システムトラブル対策の実践的知識を学習します。ITエンジニアが開発段階や運用段階で実施すべきトラブル対策のポイントを、解説とグループ演習を通して学習します。

到達目標
・システムトラブル発生状況とその対策実施状況を確認できる。
・開発段階と運用段階で留意すべきトラブル対策のポイントを理解できる。
・システムトラブルマネジメントシステムの構築手順を理解できる。

対象者 プロジェクトマネージャ、システム開発担当者、システム運用担当者の方、システム品質管理担当者、ISMS導入担当者、内部監査担当者の方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内　容
1. 今なぜシステムトラブル対策なのか
（1）システムトラブル統計情報
（2）トラブル防止に向けた取り組み
2. 開発段階で実施するトラブル対策
（1）開発段階における留意事項
（2）開発段階での対策提言
3. 運用段階で実施するトラブル対策
（1）運用段階における留意事項
（2）運用段階での対策提言
4. システムトラブルをマネジメントする
（1）トラブル情報の収集とその活用
（2）原因分析と対策立案
5. まとめ

講師：前橋システムコンサルティング株式会社
代表取締役
前橋雅夫氏（公認システム監査人）

受講料 ¥38,500

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

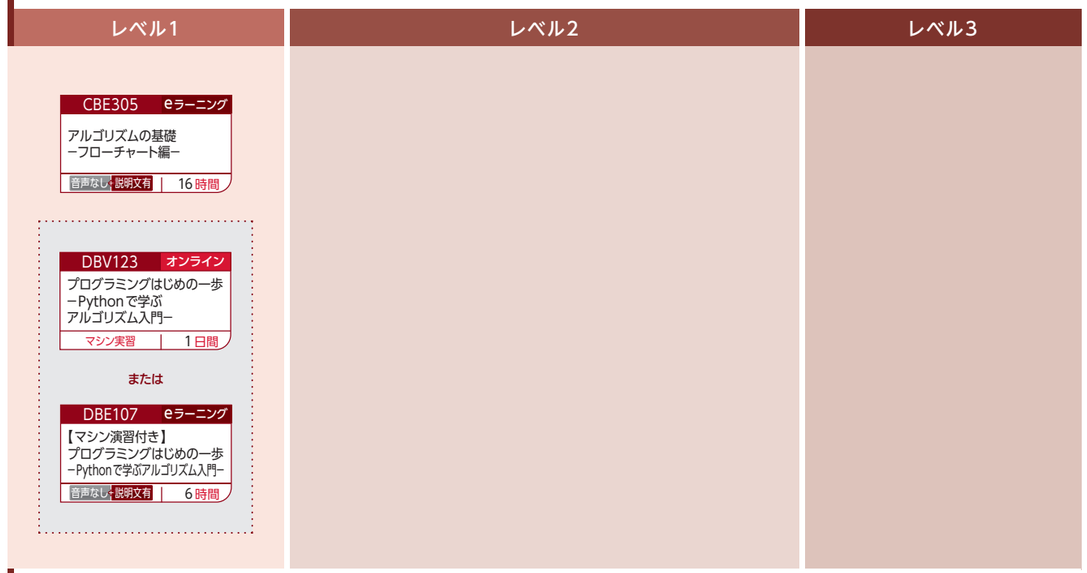
開発 / 基盤
クラウド
モダン開発（アジャイル開発含む）
開発工程全般・企画・設計
プログラミング・情報技術
品質・技法・信頼性
セキュリティ
プラットフォーム（Linux/Microsoft）
ITサービス

プログラミング・情報技術

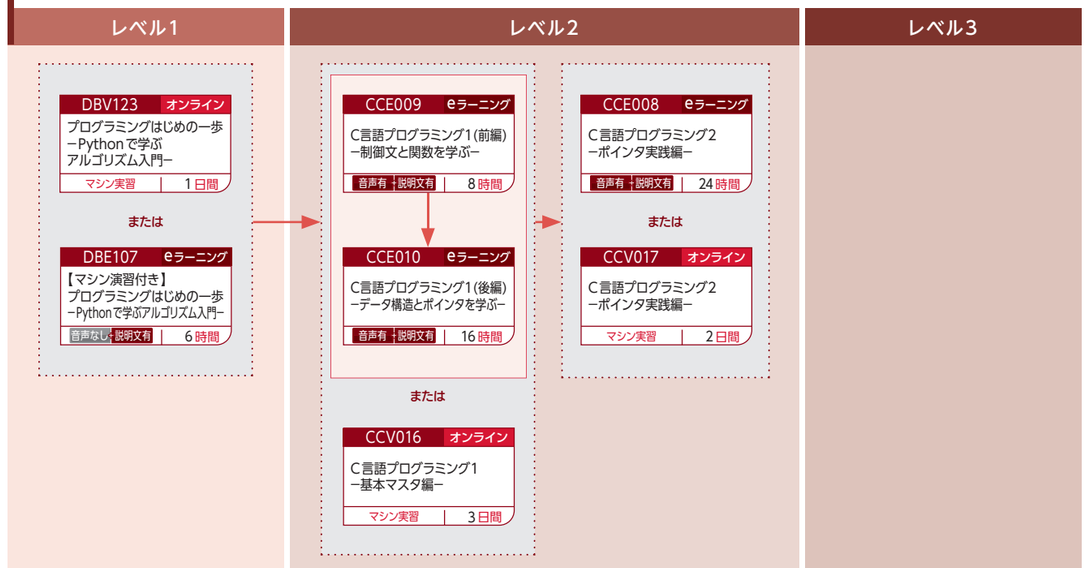
IT・OT・プロダクトの開発に関する実装技術（プログラミング）、情報関連技術（コンピュータの要素技術など）、デジタル技術（XR技術、R言語、DeepLearning、IoT技術など）を修得できます。

C言語を利用してアプリケーションを開発される方

これからプログラミングを始める方



C言語の文法を学習される方

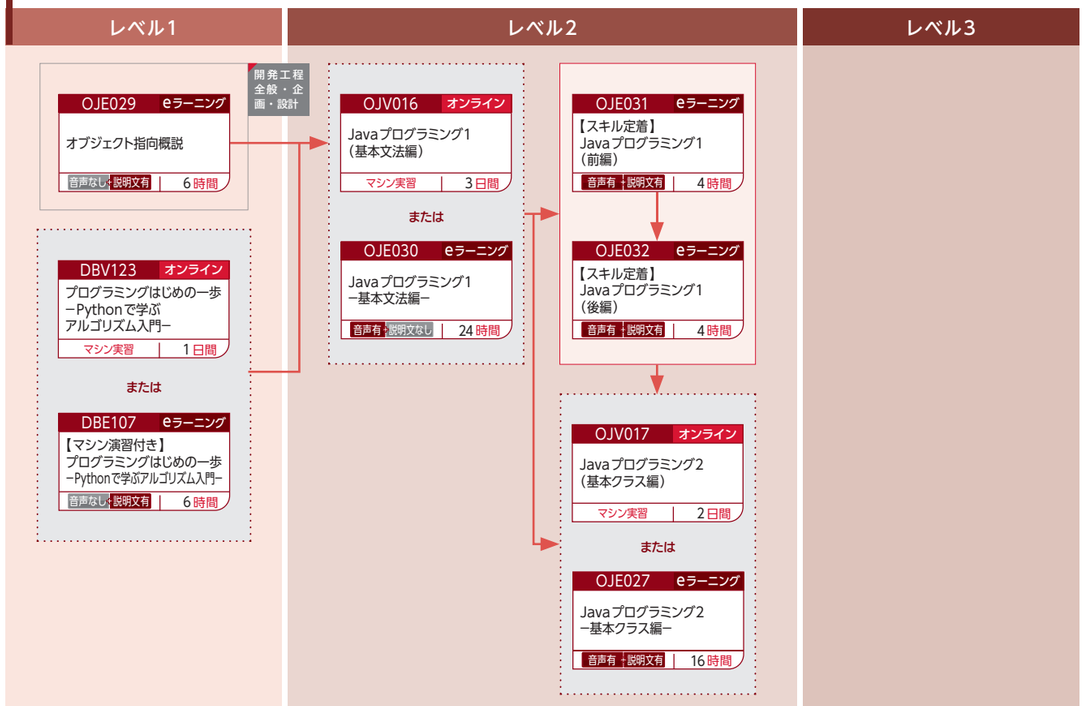


Java言語を利用してアプリケーションを開発される方

これからプログラミングを始める方



基本文法や基本APIを学習される方



レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方。（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

Javaの活用方法を学習される方

レベル1	レベル2	レベル3
	OJV020 オンライン 実践！Javaプログラミング マシン実習 2日間	
	OJV040 オンライン Javaによる保守開発のための リファクタリング マシン実習 1日間	
	OJV038 オンライン Javaプログラミング3 −StreamAPI、 モジュールシステム編− マシン実習 2日間	
	SPV072 オンライン Javaによる 単体テスト自動化と テスト駆動開発演習 マシン実習 1日間 モダン開発 （アジャイル開発含む）	
	OJV039 オンライン サーバサイド Javaプログラミング （Servlet/JSP編） マシン実習 3日間	
	OJV041 オンライン Javaによる データベースプログラミング マシン実習 2日間	

Webアプリケーションの開発に携わる方

これからプログラミングを始める方

レベル1	レベル2	レベル3
DBV123 オンライン プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶ アルゴリズム入門− マシン実習 1日間 または DBE107 eラーニング 【マシン演習付き】 プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門− 音声なし・説明文有 6時間		

これからWebアプリケーション開発にかかわる方

レベル1	レベル2	レベル3
NWE031 eラーニング Webアプリケーション 設計の基礎 音声なし・説明文有 8時間 開発工程 全般・企画・設計		

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方。（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

クライアントサイドを学習される方

レベル1	レベル2	レベル3
DBV123 オンライン プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶ アルゴリズム入門− マシン実習 1日間 または DBE107 eラーニング 【マシン演習付き】 プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門− 音声なし・説明文有 6時間		
NWE031 eラーニング Webアプリケーション 設計の基礎 音声なし・説明文有 8時間 開発工程 全般・企画・設計		
NWE033 eラーニング HTML/CSSによる Webコンテンツ制作 音声なし・説明文有 8時間	NWV141 オンライン JavaScriptプログラミング −ECMAScript 2015対応− マシン実習 2日間	NWV152 オンライン JavaScriptプログラマのための TypeScript入門 マシン実習 1日間 NWV142 オンライン HTML5プログラミング マシン実習 1日間 Renewal NWV154 オンライン HTML5/JavaScriptによる Webアプリケーション開発実践 マシン実習 2日間

サーバサイドを学習される方

レベル1	レベル2	レベル3
NWE031 eラーニング Webアプリケーション 設計の基礎 音声なし・説明文有 8時間 開発工程 全般・企画・設計		
NWE033 eラーニング HTML/CSSによる Webコンテンツ制作 音声なし・説明文有 8時間	OJV039 オンライン サーバサイド Javaプログラミング （Servlet/JSP編） マシン実習 3日間	UXV071 オンライン クラウドアプリケーション開発 マシン実習 2日間 SPV035 オンライン Seleniumによる Webアプリケーションテスト 自動化演習 マシン実習 1日間 モダン開発 （アジャイル開発含む）

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

.NETを利用してアプリケーションを開発される方

これからプログラミングを始める方

レベル1	レベル2	レベル3

DBV123 オンライン
プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶ アルゴリズム入門−
マシン実習 | 1日間

または

DBE107 eラーニング
【マシン演習付き】プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門−
音声なし・説明文有 | 6時間

Visual Basic もしくはVisual C#を学習される方

レベル1	レベル2	レベル3

DBV123 オンライン
プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶ アルゴリズム入門−
マシン実習 | 1日間

または

DBE107 eラーニング
【マシン演習付き】プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門−
音声なし・説明文有 | 6時間

開発工程 全般・企画・設計

OJE029 eラーニング
オブジェクト指向概説
音声なし・説明文有 | 6時間

VBV041 オンライン
Visual Basic プログラミング
マシン実習 | 2日間

VCV011 オンライン
Visual C#プログラミング
マシン実習 | 2日間

Pythonを活用したい方

これからプログラミングを始める方

レベル1	レベル2	レベル3

DBV123 オンライン
プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶ アルゴリズム入門−
マシン実習 | 1日間

または

DBE107 eラーニング
【マシン演習付き】プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門−
音声なし・説明文有 | 6時間

Pythonの基本を学習する方

レベル1	レベル2	レベル3

DBV123 オンライン
プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶ アルゴリズム入門−
マシン実習 | 1日間

または

DBE107 eラーニング
【マシン演習付き】プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門−
音声なし・説明文有 | 6時間

DBV138 オンライン
Python入門 −データ分析での活用をテーマとして−
マシン実習 | 2日間

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方。（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

Pythonの業務への活用を考えている方

レベル1

DBV123 オンライン
プログラミングはじめの一歩
－Pythonで学ぶ
アルゴリズム入門－
マシン実習 | 1日間

または

DBE107 eラーニング
【マシン演習付き】
プログラミングはじめの一歩
－Pythonで学ぶアルゴリズム入門－
音声なし・説明文有 | 6時間

レベル2

DBV138 オンライン
Python入門
－データ分析での活用を
テーマとして－
マシン実習 | 2日間

DBE065 eラーニング
Pythonで簡単！
数学の謎解き
音声なし・説明文有 | 8時間

データサイエンス

DBE102 eラーニング
【スキル定着】Pythonでの
データ可視化－オープン環境を
活用した実装力の磨き方－
音声なし・説明文有 | 4時間

DBV135 オンライン
REST APIプログラミング体験
－Pythonによる
クラウドサービス活用－
マシン実習 | 1日間

DBV137 オンライン
プログラミング活用術
－面倒な定型業務は
Pythonで自動化しよう－
マシン実習 | 1日間

DBE063 eラーニング
「Python3 エンジニア認定
データ分析試験」対策講座
（Aidemy社）
音声なし・説明文有 | 19.5時間

SPV085 オンライン
Pythonによるテスト自動化
－単体テストから
システムテストまで－
マシン実習 | 1日間

COBOLを利用される方

これからプログラミングを始める方

レベル1

CBE305 eラーニング
アルゴリズムの基礎
－フローチャート編－
音声なし・説明文有 | 16時間

DBV123 オンライン
プログラミングはじめの一歩
－Pythonで学ぶ
アルゴリズム入門－
マシン実習 | 1日間

または

DBE107 eラーニング
【マシン演習付き】
プログラミングはじめの一歩
－Pythonで学ぶアルゴリズム入門－
音声なし・説明文有 | 6時間

レベル2

レベル3

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方。（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

COBOLを学習される方

レベル1

DBV123 オンライン
プログラミングはじめの一歩
－Pythonで学ぶ
アルゴリズム入門－
マシン実習 | 1日間

または

DBE107 eラーニング
【マシン演習付き】
プログラミングはじめの一歩
－Pythonで学ぶアルゴリズム入門－
音声なし・説明文有 | 6時間

レベル2

New

CBV009 オンライン
COBOLプログラミング
基礎編
マシン実習 | 3日間

CBV010 オンライン
COBOLプログラミング
応用編
マシン実習 | 4日間

CBE306 eラーニング
【マシン演習付き】
COBOLプログラミング
基礎編（PAD）
音声なし・説明文有 | 24時間

CBE307 eラーニング
【マシン演習付き】
COBOLプログラミング
応用編（PAD）
音声なし・説明文有 | 32時間

CBE308 eラーニング
【マシン演習付き】
COBOLプログラミング
基礎編（フローチャート）
音声なし・説明文有 | 24時間

CBE309 eラーニング
【マシン演習付き】
COBOLプログラミング
応用編（フローチャート）
音声なし・説明文有 | 32時間

CBE310 eラーニング
COBOLプログラミング
基礎編（PAD）
音声なし・説明文有 | 16時間

CBE311 eラーニング
COBOLプログラミング
応用編（PAD）
音声なし・説明文有 | 16時間

CBE312 eラーニング
COBOLプログラミング
基礎編（フローチャート）
音声なし・説明文有 | 16時間

CBE313 eラーニング
COBOLプログラミング
応用編（フローチャート）
音声なし・説明文有 | 16時間

－ 自習テキスト
COBOLプログラミング
基礎編（PAD）
18時間

－ 自習テキスト
COBOLプログラミング
応用編（PAD）
18時間

－ 自習テキスト
COBOLプログラミング
基礎編（フローチャート）
18時間

－ 自習テキスト
COBOLプログラミング
応用編（フローチャート）
18時間

レベル3

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

組込みソフトウェアの開発に携わる方

組込みソフトウェア開発を担当する方

レベル1	レベル2	レベル3

ESE003 eラーニング
組込みシステムとは
音声有・説明文なし | 7時間

CCV016 オンライン
C言語プログラミング1
−基本マスタ編−
マシン実習 | 3日間

SPE025 eラーニング
構造化モデリングによる
システムの機能抽出
音声なし・説明文有 | 5時間

開発工程全般・企画・設計

New
OTV036 オンライン
組込みソフトウェア流用開発と
構造設計における品質改善
レクチャ | 2日間

CCV017 オンライン
C言語プログラミング2
−ポインタ実践編−
マシン実習 | 2日間

ESJ001 集合
リアルタイムOSを利用した
ソフトウェアプログラミング
マシン実習 | 2日間

OTV025 オンライン
C言語で学ぶマイクロコンピュータの
基礎−マイコンを使ってシステムを
制御するために必要な基礎知識−
マシン実習 | 3日間

品質・技法・信頼性

SPV123 オンライン
品質確保のための
ソフトウェアテスト
レクチャ | 1日間

SPV063 オンライン
ソフトウェアテストの
管理手法
レクチャ | 1日間

情報処理技術

ITを基礎から学習したい方

レベル1	レベル2	レベル3

SJV100 オンライン
IT技術はじめの一歩
−ITリテラシー向上をめざして−
レクチャ | 1日間

または

SJE034 eラーニング
IT技術はじめの一歩
−ITリテラシー向上をめざして−
音声なし・説明文有 | 6時間

SJV104 オンライン
コンピュータ基礎
レクチャ | 5日間

または

SJE324 eラーニング
コンピュータ基礎
−情報の基礎理論編−
音声なし・説明文有 | 4時間

SJE325 eラーニング
コンピュータ基礎
−ハードウェア編−
音声なし・説明文有 | 8時間

SJE326 eラーニング
コンピュータ基礎
−ソフトウェア編−
音声なし・説明文有 | 8時間

SJE327 eラーニング
コンピュータ基礎
−情報システム編−
音声なし・説明文有 | 4時間

ソフトウェア開発における方法論を知りたい方

レベル1	レベル2	レベル3

品質・技法・信頼性

OTV026 オンライン
ソフトウェア品質・
生産性向上のための
レビュー講座
レクチャ | 2日間

デジタル技術

XRを学びたい方

レベル1	レベル2	レベル3

DBV192 オンライン
実装から学ぶメタバース入門
−WebXR開発体験−
マシン実習 | 1日間

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方。（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文有 ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

R言語を学びたい方

レベル1	レベル2	レベル3
	DBE110 eラーニング 【スキル定着】Rでのデータ可視化 −オープン環境を活用した 実装力の磨き方− 音声なし 説明文有 | 4時間	DBV134 オンライン 0から始めるRの基礎 −データ分析と可視化体験− グループ演習 | 2日間

DeepLearningを学びたい方

レベル1	レベル2	レベル3
	データサイエンス DBV132 オンライン 体感！機械学習 マシン実習 | 1日間	
	DBV156 オンライン NVIDIA Deep Learning Institute (DLI) 認定コース ディープラーニングの基礎 マシン実習 | 1日間	DBV154 オンライン NVIDIA Deep Learning Institute (DLI) 認定コース AIを応用した予知保全 マシン実習 | 1日間

eラーニング　コースコード CBE305

<eラーニング> C言語プログラミング1（前編） −制御文と関数を学ぶ−

eラーニング 8時間

C言語の制御文と関数を中心に学習します。

到達目標
- C言語の制御文について説明できる。
- C言語の関数について説明できる。

対象者 C言語を使用してアプリケーションを開発する方。

前提知識 コンピュータの基礎知識があること。

内　容
1. C言語のプログラミングの基本
   (1) プログラムが実行されるまで
   (2) 簡単なC言語のプログラムを作ってみよう
   (3) C言語プログラムの基本構成
2. 制御文
   (1) 分岐
   (2) 繰り返し
   (3) 制御の変更
3. 関数
   (1) 関数とは
   (2) 関数作成の基本
   (3) 戻り値のある関数
   (4) 引数のある関数
   (5) 戻り値と引数のある関数
   (6) 関数プロトタイプ
   (7) 関数の分類
4. 修了試験

受講料 ¥25,300

eラーニング　コースコード CCE009

<eラーニング> C言語プログラミング1（後編） −データ構造とポインタを学ぶ−

eラーニング 16時間

C言語のデータ構造、ポインタ、およびライブラリ関数を用いたファイルの入出力について学習します。

到達目標
- C言語のデータ構造について説明できる。
- ポインタの概要を説明できる。
- ファイル入出力について説明できる。

対象者 C言語を使用してアプリケーションを開発する方。

前提知識 「C言語プログラミング1（前編）−制御文と関数を学ぶ−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. データ型、配列と文字列、構造体
2. ポインタ
3. ファイル入出力
4. いろいろなデータ型と演算子
5. プリプロセッサ
6. 修了試験

受講料 ¥49,500

オンライン　コースコード DBV123

プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門− 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

このコースでは、プログラミングに必要な「順次/分岐/繰り返し」の考え方を（1）フローチャートでの表現（2）Pythonを用いた実装 の手順で学習します。研修ではPythonを用いてプログラミングしますが、このコースで学習する内容はプログラム言語を学習するうえで言語を問わず必要になる知識になります。そのため、Python以外の言語でこれからプログラミングを学習する方でもご受講いただけます。
※プログラミング経験者はこのコースを受講する必要はありません。
※このコースはPythonの文法を学習するコースではありません。
※このコースは、eラーニングコース「プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門−」と同等の内容です。お申し込みの際、ご注意ください。

到達目標
- プログラムの制御構造である「順次/分岐/繰り返し」について説明できる。
- Pythonを使って、「順次/分岐/繰り返し」を組み合わせたプログラムを作成できる。

対象者 はじめてプログラミング言語を学習する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ソフトウェア開発とプログラム
2. 簡単な命令を実行してみよう
3. データを使ってみよう
4. 条件によって異なる処理を実行しよう
5. 同じ処理を繰り返してみよう
6. これまでの内容を使って、処理の流れを考えてみよう

受講料 ¥33,000

eラーニング　コースコード DBE107

<eラーニング>【マシン演習付き】 プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門−

eラーニング 6時間

このコースは、プログラミングに必要な「順次/分岐/繰り返し」の考え方を（1）フローチャートでの表現、（2）Pythonを用いた実装の手順で学習します。このコースではPythonを用いてプログラミングしますが、学習する内容はプログラム言語を学習するうえで言語を問わず必要になる知識になります。そのため、Python以外の言語でこれからプログラミングを学習する方でもご受講いただけます。
※プログラミング経験者はこのコースを受講する必要はありません。
※このコースはPythonの文法を学習するコースではありません。
※このコースは、「プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門−【バーチャルクラスルーム】」と同等の内容です。お申し込みの際、ご注意ください。

到達目標
- プログラムの制御構造である「順次/分岐/繰り返し」について説明できる。
- Pythonを使って、「順次/分岐/繰り返し」を組み合わせたプログラムを作成できる。

対象者 はじめてプログラミング言語を学習する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ソフトウェア開発とプログラム
2. 簡単な命令を実行してみよう
3. データを使ってみよう
4. 条件によって異なる処理を実行しよう
5. 同じ処理を繰り返してみよう
6. これまでの内容を使って、処理の流れを考えてみよう

受講料 ¥39,600

オンライン　コースコード CCV016

C言語プログラミング1 −基本マスタ編− 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 3日間

C言語の基本的な文法を学習します。プログラミング演習を通して理解を深めます。

到達目標
- C言語の基本的な構文を説明できる。
- C言語による簡単なプログラムを作成できる。
- ポインタの概要を説明できる。

対象者 はじめてプログラミングをする方、今後C++言語やJava言語を利用する方で基礎から学習したい方。

前提知識
- コンピュータの基礎知識があること。
- 「プログラミングはじめの一歩」コース/eラーニングコースを修了しているか、または何らかのプログラミング言語で分岐・繰り返しを実装した経験があること。

内　容
1. C言語プログラム作成の基本
2. 制御構造
3. 関数
4. データ型
5. ポインタ
6. 入出力
7. データ型修飾子および演算子
8. プリプロセッサ

受講料 ¥118,800

開発／基盤
クラウド
モダン開発（アジャイル開発含む）
開発工程全般・企画・設計
プログラミング・情報技術
品質・技法・信頼性
セキュリティ
プラットフォーム（Linux/Microsoft）
ITサービス

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方。（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

eラーニング コースコード CCE008

<eラーニング> C言語プログラミング2 −ポインタ実践編−

eラーニング 24時間

C言語のポインタを多く利用したプログラミングを学習します。題材としてポインタ配列や線形リストのようなデータ構造の実装と関数ポインタを扱います。

到達目標 C言語のポインタを使用したプログラムを作成できる。

対象者
- ITエンジニア職、若手・中堅の方でポインタについてより詳しく理解したい方。
- C言語を用いたアプリケーションを開発、保守する方。

前提知識 「C言語プログラミング1（後編）ーデータ構造とポインタを学ぶー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ポインタと関数の引数の参照渡し
2. 領域の動的確保
   (1)変数領域の動的確保
   (2)いろいろな領域の動的確保
3. ポインタを活用したプログラミング
   (1)ポインタ配列の利用
   (2)関数ポインタの利用
   (3)線形リストの実装
   (4)二分木の実装
4. 修了試験

受講料 ¥78,100

オンライン コースコード CCV017

C言語プログラミング2 −ポインタ実践編−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

C言語のポインタを多く利用したプログラミングを学習します。題材としてポインタ配列や線形リストのようなデータ構造の実装と関数ポインタを扱います。

到達目標 C言語のポインタを使用したプログラムを作成できる。

対象者
- ポインタについてより詳しく理解したい方。
- C言語を用いたアプリケーションを開発、保守する方。

前提知識 「C言語プログラミング1ー基本マスタ編ー」コース、または「C言語プログラミング1（後編）ーデータ構造とポインタを学ぶー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ポインタと関数の引数の参照渡し
2. 領域の動的確保
3. ポインタを活用したプログラミング
   (1)ポインタ配列の利用
   (2)関数ポインタの利用
   (3)線形リストの実装

受講料 ¥92,400

オンライン コースコード OJV016

Javaプログラミング1（基本文法編）【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 3日間

Java言語の基本文法とオブジェクト指向プログラミングの基本知識を、マシン実習を通して学習します。なお、このコースの内容はJavaSE17以降に対応しています。

到達目標
- Java言語の基本的な文法が説明できる。
- Java言語でオブジェクト指向プログラミングができる。

対象者 これからJava言語でアプリケーションを開発する方。

前提知識
- コンピュータの基礎知識があること。
- 「プログラミングはじめの一歩」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Java言語ことはじめ
2. 基本文法
3. クラス
4. インタフェース
5. ポリモフィズム
6. 継承
7. 例外
8. パッケージ

受講料 ¥99,000

eラーニング コースコード OJE030

<eラーニング> Javaプログラミング1ー基本文法編ー

eラーニング 24時間

Java言語の基本文法とオブジェクト指向プログラミングの基本知識を学習します。演習ファイルをダウンロードし、ご自身のPCでの実機演習を通して、より理解を深めます。

到達目標
- Java言語の特長を説明できる。
- Java言語でオブジェクト指向プログラミングができる。

対象者 これからJava言語でアプリケーションを開発する方。

前提知識 「オブジェクト指向概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Javaの概要
2. 基本文法
3. クラスとオブジェクト
4. 継承
5. ポリモフィズム
6. 例外処理
7. 修了試験

受講料 ¥80,300

eラーニング コースコード OJE031

<eラーニング>【スキル定着】 Javaプログラミング1（前編）

eラーニング 4時間

複数のテーマでJavaプログラム作成とリファクタリングの演習を繰り返し、プログラミングスキルの定着化をめざします。

到達目標
- オブジェクト指向を考慮した、拡張性、保守性の高いJavaプログラムを作成できる。
- Javaプログラム作成の際に、必要な情報を自身で調べることができる。

対象者
- これからJava言語によるアプリケーション開発を行う方。
- Javaのプログラミングスキルの定着をめざす方。

前提知識 「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 分岐構文、繰り返し構文を用いたプログラム
2. オブジェクト指向プログラミング
3. 例外を用いたプログラム
4. パッケージを用いたプログラム
5. プログラムのリファクタリング

受講料 ¥14,300

eラーニング コースコード OJE032

<eラーニング>【スキル定着】 Javaプログラミング1（後編）

eラーニング 4時間

複数のテーマでJavaプログラム作成とリファクタリングの演習を繰り返し、プログラミングスキルの定着化をめざします。また、単純なプログラミングスキルだけでなく、設計書に基づいて仕様を把握するスキルの向上を同時にめざします。

到達目標
- オブジェクト指向を考慮した、拡張性、保守性の高いJavaプログラムを作成できる。
- Javaプログラム作成の際に、設計書を元に必要な情報を自身で調べてプログラムを作成できる。

対象者
- これからJava言語によるアプリケーション開発を行う方。
- Javaのプログラミングスキルの定着をめざす方。

前提知識 「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. オブジェクト指向プログラミング
2. プログラムのリファクタリング
3. 設計書に基づいたプログラミング

受講料 ¥14,300

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

オンライン コースコード OJV017

Javaプログラミング2（基本クラス編）【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

Java言語での開発において利用頻度の高いAPIの概要と使用方法について、マシン演習を通して学習します。なお、このコースの内容はJavaSE17以降に対応しています。

到達目標
- APIドキュメントからクラス、メソッドの使い方を把握できる。
- 参照の一致と内容の一致の違いを説明できる。
- マルチスレッドプログラムの作成方法を説明できる。
- ファイル入出力プログラムの作成方法を説明できる。

対象者 これからJava言語でアプリケーションを開発する方。

前提知識 「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. APIドキュメント
2. 文字列を扱うクラス
3. Objectクラス
4. スレッド
5. 入出力
6. コレクション

受講料 ¥66,000

eラーニング コースコード OJE027

<eラーニング> Javaプログラミング2−基本クラス編−

eラーニング 16時間

Java言語での開発において利用頻度の高いAPIの概要と使用方法について、マシン演習を通して学習します。

到達目標
- APIドキュメントからクラス、メソッドの使い方を把握できる。
- 参照の一致と内容の一致の違いを説明できる。
- マルチスレッドプログラムの作成方法を説明できる。
- ファイル入出力プログラムの作成方法を説明できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方で、これからJava言語でアプリケーションを開発する方。

前提知識 「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. APIドキュメント
2. 文字列を扱うクラス
3. Objectクラス
4. ラッパークラス
5. スレッド
6. 入出力
7. コレクション

受講料 ¥40,700

オンライン コースコード OJV020

実践！Javaプログラミング【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

Javaアプリケーション開発者に必要な実用的かつ保守性の高いプログラムの作成ノウハウを学習します。

到達目標
- 開発効率を向上するための機能を利用したプログラミングができる。
- プログラムの実行効率を向上する際の観点を説明できる。
- 変更容易性を意識したプログラミングの効果や観点を説明できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方でJavaでアプリケーションを開発する方。

前提知識 「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 設計におけるノウハウ
   (1)凝集度と結合度
   (2)アクセス範囲を限定する
2. プログラミングにおけるノウハウ
   (1)EoDを意識したプログラミング
   (2)実行効率を意識したプログラミング
   (3)変容容易性を意識したプログラミング
3. 開発演習

受講料 ¥66,000

オンライン コースコード OJV038

Javaプログラミング3 −StreamAPI、モジュールシステム編−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

このコースでは、JavaSE8で追加されたStreamAPI、JavaSE9で追加されたモジュールシステムといった、JavaSE8～JavaSE17までに追加された機能について、マシン演習を通じて学習します。

到達目標
- Javaにおけるラムダ式の概要を説明できる。
- StreamAPIを利用した一連の操作手順を説明できる。
- Javaのモジュールシステムの概要を説明できる。

対象者
- Java言語でアプリケーションを開発する方。
- StreamAPI、モジュールシステムといった機能を開発に活用したい方。

前提知識 「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コースを修了しているか、またはAPIリファレンスを用いてクラスの利用方法を調べるスキルがあること。

内 容
1. Java.util.Functionインタフェースとラムダ式
2. java.util.Optionalクラス
3. StreamAPI
4. java.timeパッケージ
5. モジュールシステム
6. レコードクラス
7. シールクラス

受講料 ¥79,200

オンライン コースコード OJV039

サーバサイドJavaプログラミング（Servlet／JSP編）【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 3日間

要素技術を順に組み合わせてWebアプリケーションを構築する過程を通して、JavaEEによるWebアプリケーション構築に必要なスキルを学習します。

到達目標
- ServletおよびJSPを作成できる。
- MVCモデルに則したWebアプリケーションの特長を説明できる。
- Webアプリケーションの実行時に発生するエラーに対処できる。

対象者 これからJavaEEによるWebアプリケーションの開発に携わる方。

前提知識 「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Webアプリケーションとは
2. 静的なWebページ
3. 動的なWebページ
4. 静的、動的なWebページの連係
5. HTMLとプログラムの分離
6. HTML、Servlet、JSPの連係
7. HTML、Servlet、JSP、Beanの連係
8. Webアプリケーションの設計

受講料 ¥118,800

オンライン コースコード OJV040

Javaによる保守開発のためのリファクタリング【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

リファクタリングの概要、注意点を学習します。また、保守性・再利用性を向上させるためのリファクタリングテクニックを、演習を通して学習します。

到達目標
- リファクタリングの概要や注意点を説明できる。
- リファクタリングにより保守性・再利用性を向上させることができる。

対象者 Javaでアプリケーションを開発される方で保守性・再利用性を向上させるテクニックを知りたい方。

前提知識 「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. リファクタリングの必要性
2. リファクタリング概要
3. 主要なリファクタリング

受講料 ¥39,600

クラウド
モダン開発（アジャイル開発含む）
開発工程全般・企画・設計
プログラミング・情報技術
品質・技法・信頼性
セキュリティ
プラットフォーム（Linux/Microsoft）
ITサービス
開発/基盤

オンライン / コースコード OJV041

Javaによるデータベースプログラミング【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

Javaプログラムからデータベースへの一般的なアクセス方法を学習します。

到達目標 JDBCを利用してデータベースにアクセスするプログラミングができる。

対象者 Javaでデータベース連携を伴うアプリケーションを開発する方。

前提知識 「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコース、および「基礎から学ぶSQL一現場で使える力をつけるー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. JDBC概要
2. JDBCによる基本的なデータベース利用
3. トランザクション制御
4. O/Rマッピング

受講料 ¥79,200

eラーニング / コースコード NWE033

<eラーニング> HTML／CSSによるWebコンテンツ制作

eラーニング 8時間

HTMLによるリンク、テーブル、フォームなどを用いたWebコンテンツの作成方法を学習します。また、CSSを用いたスタイルシートの効果的な指定方法を学習します。なお、このコース内でもHTML5によるWebコンテンツ作成について学習しますが、より詳しく学習したい方は「HTML5プログラミング」コースにてご案内しています。

到達目標
- HTML、CSSの基礎を説明できる。
- リンク、マルチメディアデータ、テーブル、フォームを用いたWebコンテンツをHTML/CSSで作成できる。

対象者 JavaScriptやWebアプリケーション開発技術を学習する前提としてHTML/CSSを学ぶ方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. HTMLの概要
2. HTMLの基本文法（テーブル・フォーム・リンク等）
3. HTMLの主要な要素
4. CSSの概要
5. CSSの基本文法
6. CSSの主要な要素
7. 修了試験

受講料 ¥19,800

オンライン / コースコード NWV141

JavaScriptプログラミング −ECMAScript 2015対応− 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

JavaScriptの基本文法と、DOM、イベント、Ajaxについて学習します。従来の文法だけでなく、ECMAScript 2015からの文法・機能についても学習します。さらに演習を通して、JavaScriptを使用したアプリケーション開発の方法を学習します。

到達目標
- JavaScriptの特長を説明できる。
- DOMの概要を説明できる。
- Ajaxの概要を説明できる。

対象者 JavaScriptによるアプリケーション開発に携わる方。

前提知識 「HTML/CSSによるWebコンテンツ制作」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。「プログラミングはじめの一歩」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. JavaScript概要
2. JavaScriptの基本文法
3. DOM
4. JavaScriptのイベント
5. JavaScriptとAjax

受講料 ¥77,000

オンライン / コースコード NWV152

JavaScriptプログラマのための TypeScript入門 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

TypeScriptの基本文法について、マシン演習を通して学習します。
※このコースはJavaScriptの文法を学習済みであることを前提としたコースとなっています。お申し込み前に前提知識欄を必ずご確認ください。

到達目標
- TypeScriptとJavaScriptの違いを説明できる。
- TypeScriptとHTMLで簡単なWebページを作成できる。
- TypeScriptを使ったオブジェクト指向プログラミングができる。

対象者
- TypeScriptを利用したアプリケーション開発に携わる方。
- JavaScriptをベースとした各種フレームワークを利用した開発に携わる方。

前提知識 「JavaScriptプログラミングーECMAScript2015対応ー」を修了しているか、またはDOM操作・イベント処理を伴うプログラムをJavaScriptで実装した経験があること。

内　容
1. TypeScript概要
2. TypeScriptの開発手順
3. 基本的な型
4. 高度な型
5. クラス

※学習項目は変更となる可能性がございます。ご承知おきください。

受講料 ¥52,800

オンライン / コースコード NWV142

HTML5プログラミング 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

HTML5から追加され、現在でも利用されている機能・技術を学習します。また、マシン実習を通して実際の使用方法を学習します。

到達目標
- HTML5の各規格の概要を説明できる。
- HTML5から追加された機能、技術を説明できる。

対象者 クライアントサイドのWebアプリケーション開発に携わる方。

前提知識 「JavaScriptプログラミングーECMAScript 2015対応ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. HTML5概要
2. マークアップ
3. API
4. HTML5関連技術

受講料 ¥38,500

オンライン / コースコード NWV154 Renewal

HTML5／JavaScriptによるWebアプリケーション開発実践 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

HTML5、JavaScriptを用いたWebアプリケーションの設計と実装を学習します。サンプルプログラムの実装を通して、Webアプリケーションのフロントエンド開発で取り入れられることが多い、SPAやコンポーネント指向について学習します。また、SPAやコンポーネント指向を取り入れたWebアプリケーションの設計についてもご紹介します。

到達目標 HTML5、JavaScriptの技術を組み合わせ、Webアプリケーションの設計と実装ができる。

対象者 HTML5、JavaScript等の技術を組み合わせてWebアプリケーションを開発したい方。ITエンジニア職、若手・中堅向け。

前提知識 「JavaScriptプログラミング」コース、および「HTML5プログラミング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Webアプリケーションの変遷
2. サンプルプログラムの確認
3. 設計演習
   （1）要件の確認
   （2）アーキテクチャ、実装技術の調査検討
   （3）検討結果の共有
4. 実装演習
   （1）プログラミング
   （2）成果物の共有

受講料 ¥110,000

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

オンライン / コースコード VBV041

Visual Basicプログラミング【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

.NET Frameworkの概要、Visual Basicによるオブジェクト指向プログラミングの基本文法、およびVisual BasicによるWindowsアプリケーションの作成方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- クラスやオブジェクト、継承などオブジェクト指向の基本用語を説明できる。
- Visual Basicの基本文法を理解し、オブジェクト指向プログラミング（クラスの定義・継承）ができる。
- 例外処理の必要性を理解し、例外処理を実装できる。
- Windowsアプリケーションの作成から実行までの一連の操作ができる。

対象者 Visual Basicによるオブジェクト指向プログラミングを身につけたい方、これからVisual Basicを使用してアプリケーションを開発する方。

前提知識 Windowsの基本的な操作経験があること。「オブジェクト指向概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。「プログラミングはじめの一歩」コース/eラーニングコースを修了しているか、または何らかのプログラミング言語で分岐・繰り返しを実装した経験があること。

内　容
1. Visual Studioを利用したアプリケーション開発
2. Visual Basicプログラミングの基本
3. Visual Basicの基本文法
4. モジュールの定義
5. クラスの定義
6. 構造体の定義
7. 継承
8. 例外処理

受講料 ¥90,200

オンライン / コースコード VCV011

Visual C#プログラミング【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

.NET Frameworkの概要、Visual C#によるオブジェクト指向プログラミングの基本文法、およびVisual StudioによるWindowsアプリケーションの作成方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- クラスやオブジェクト、継承などオブジェクト指向の基本用語を説明できる。
- Visual C#の基本文法を理解し、オブジェクト指向プログラミング（クラスの定義・継承）ができる。
- 例外処理の必要性を理解し、例外処理を実装できる。
- Windowsアプリケーションの制作から実行までの一連の操作ができる。

対象者
- Visual C#によるオブジェクト指向プログラミングを身につけたい方。
- これからVisual C#を使用してアプリケーションを開発する方。

前提知識 Windowsの基本的な操作経験があること。「オブジェクト指向概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。「プログラミングはじめの一歩」コース/eラーニングコースを修了しているか、または何らかのプログラミング言語で分岐・繰り返しを実装した経験があること。

内　容
1. Visual Studioを利用したアプリケーション開発
2. Visual C#プログラミングの基本
3. Visual C#の基本文法
4. クラス
5. 構造体
6. 継承
7. 例外処理

受講料 ¥77,000

オンライン / コースコード DBV138

Python入門 −データ分析での活用をテーマとして− 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

Pythonの基本的な構文やデータ構造を修得し、データ分析で利用されるライブラリの基本的な使い方を学習します。

到達目標
- Pythonの基本構文・データ構造を理解することができる。
- Pythonを使ってデータ分析の基本となるデータ加工、統計量の計算、可視化ができる。

対象者 これからPythonを利用したアプリケーション開発/データ分析を行う方。

前提知識 「プログラミングはじめの一歩」コース/eラーニングコースを修了しているか、または何らかのプログラミング言語で分岐・繰り返しを実装した経験があること。

内　容
1. Pythonことはじめ
2. 変数・データ構造
3. 制御文
4. 関数・モジュール
5. クラス
6. Pythonを用いたデータ分析

受講料 ¥77,000

eラーニング / コースコード DBE065

<eラーニング> Pythonで簡単！数学の謎解き

eラーニング 8時間

このコースでは、
・Pythonの数学コードを学ぶ
・中学・高校数学をPythonを通して学び直す
・四則演算から行列までの数学を広く浅く一通りマスターする
・数学に興味関心を持ってもらう
といったことを目標としています。
学習内容は次の通りです。
（初級）四則演算・整数と小数・素数・分数・方程式
（中級）三角関数・指数関数と対数関数・順列・組合せ・集合・確率
（上級）微分・積分・数列・ベクトル・行列

到達目標 Pythonを使って、簡単な数学・算数を理解できるようになる。

対象者
- Pythonを使ってデータ利活用を行う予定のある方。
- 高校数学を学びなおしたい方。

前提知識
- Pythonの基本構文を理解していること。
- Pythonで外部ライブラリを利用する方法を知っていること。

内　容
1. Pythonで簡単！数学の謎解き（初級）
2. Pythonで簡単！数学の謎解き（中級）
3. Pythonで簡単！数学の謎解き（上級）

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード DBV135

REST APIプログラミング体験 −Pythonによるクラウドサービス活用− 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

クラウドをベースとする、RESTに則ったAPIを活用してアプリケーションを開発する機会が増えています。このコースではPythonを使ってクラウドで提供されているREST APIの呼び出しおよび結果を受け取り処理するプログラムの実装を学習します。演習では画像データ、音声データ、文章データを用いるサービスの利用を体験します。

到達目標
- REST APIの基礎的な仕組みを説明できる。
- REST APIを経由してクラウドのサービスを利用するコードの処理の流れを説明できる。
- PythonでREST APIを利用する基本的なソースコードを実装できる。

対象者 REST APIによるプログラミングを学びたい方。

前提知識 「Python入門ーデータ分析での活用をテーマとしてー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Pythonの基本文法の確認
2. REST APIの基本
3. REST APIを利用するプログラミング
   （1）画像データを利用するサービス
   （2）音声データを利用するサービス
   （3）文章データを利用するサービス

受講料 ¥39,600

オンライン / コースコード DBV137

プログラミング活用術 −面倒な定型業務はPythonで自動化しよう− 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

日々の業務のなかで繰り返し発生する作業を、Pythonを使って自動化する方法を学習します。ソースコードの実装を通じて人手で行っている作業の自動化を体験することで、日々の業務の効率化を考えるための素養を身につけます。

到達目標
- マウスやキーボード操作を動かすPythonコードを実装できる。
- Officeファイルに対して簡単な変更を行うPythonコードを実装できる。
- ブラウザ画面を動かすPythonコードを実装できる。

対象者 人手で行っている作業を自動化して作業効率を高めたい方。

前提知識 「Python入ーデータ分析での活用をテーマとしてーJコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 概要
2. マウス・キーボード操作の自動化
3. Officeファイル操作の自動化
4. Webアプリケーション操作の自動化

受講料 ¥39,600

開発／基盤

eラーニング　コースコード CBE063

<eラーニング>「Python3 エンジニア認定データ分析試験」対策講座（Aidemy社）

19.5時間

本試験で出題される「データエンジニアの役割」から「Pythonと環境」「数学の基礎」「ライブラリによる分析実践」までの各分野のポイントを効率良く学習できます。

到達目標 「Python3エンジニア認定データ分析試験」に合格するための知識を修得する。

対象者 「Python3エンジニア認定データ分析試験」の合格をめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. Python3エンジニア認定データ分析試験対策（1）
2. Python3エンジニア認定データ分析試験対策（2）
3. Python3エンジニア認定データ分析試験対策（3）

受講料 ¥79,200

オンライン　コースコード SPV085

Pythonによるテスト自動化 ー単体テストからシステムテストまでー【バーチャル・クラスルーム】

1日間

近年、Webアプリケーションに対する要求はますます高度化しており、短い期間で質の高い製品を開発する手段として「テストの自動化」に関心が高まっています。そこで、シンプルでわかりやすいテストコードを実装できるPythonを利用して、単体テスト、結合テスト、システムテストの自動化について学習します。このコースでは、Pythonのテスト分野で利用されているライブラリpytestやブラウザ画面の操作を自動化するSelenium WebDriverを用いて、効率的にテストを実施する方法を学習します。

到達目標
- Pythonのライブラリを用いて単体テスト、結合テスト、システムテストが自動化できる。
- Seleniumを用いてブラウザ操作が自動化できる。

対象者
- テストの自動化に興味のある方。
- PythonでWebアプリケーションのテストを行う方。

前提知識
- 「品質確保のソフトウェアテスト」コースを修了しているか、または単体テスト、結合テスト、システムテストの役割を理解されていること。
- 「Python入門ーデータ分析での活用をテーマとしてー」コースを修了しているか、またはPythonの基本文法（ライブラリの利用方法等）の知識があること。また、必須ではありませんが、Webアプリケーション開発の知識や経験があると効果的です。

内　容
1. はじめに
2. 単体テストの自動化
3. 結合テストの自動化
4. システムテストの自動化

受講料 ¥52,800

オンライン　コースコード CBV009

COBOLプログラミング基礎編【バーチャル・クラスルーム】

3日間

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを、マシン実習を通して学習します。
※COBOL基礎知識は研修内でeラーニング教材を使って学習いただきます。
※マシン実習の一部で、処理フローの図式化をしていただくお時間を用意しておりますが、処理フローの図式化は「PAD」もしくは「フローチャート」を選択していただきます。研修開始時に、講師から「どちらを選択されるか」について、確認させていただきますので、事前にどちらを選択されるか決定いただきますよう、お願いいたします。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム
4. マシン実習-データ印刷のプログラム-

受講料 ¥82,500

オンライン　コースコード CBV010　New

COBOLプログラミング応用編【バーチャル・クラスルーム】

4日間

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを学習します。
※COBOLの文法知識等は研修内でeラーニング教材を使って学習いただきます。
※マシン実習の一部で処理フローの図式化をしていただくお時間を用意しておりますが、処理フローの図式化は「PAD」もしくは「フローチャート」を選択していただきます。研修開始時に、講師から「どちらを選択するか」の確認をさせていただきますので、事前にどちらを選択されるか決定いただきますよう、お願いいたします。

到達目標
- コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
- マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
- 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムの開発に携わる方。

前提知識 「COBOLプログラミング基礎編」コースを修了されているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い／表操作
4. 多分岐処理プログラム
5. マシン実習-事務処理用のプログラム

受講料 ¥235,400

eラーニング　コースコード CBE306

<eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編（PAD）

24時間

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム
4. マシン実習 - データ印刷のプログラム -
5. 修了試験

受講料 ¥118,800

eラーニング　コースコード CBE307

<eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング応用編（PAD）

32時間

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
- マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
- 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編（PAD）Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い/表操作
4. 多分岐処理プログラム
5. マシン実習
6. 修了試験

受講料 ¥150,700

eラーニング　コースコード CBE308

<eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）

24時間

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム
4. マシン実習 - データ印刷のプログラム -
5. 修了試験

受講料 ¥118,800

eラーニング　コースコード CBE309

<eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング応用編（フローチャート）

32時間

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
- マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
- 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い/表操作
4. 多分岐処理プログラム
5. マシン実習
6. 修了試験

受講料 ¥150,700

eラーニング　コースコード CBE310

<eラーニング>COBOLプログラミング基礎編（PAD）

16時間

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを学習します。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があること。

内　容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム
4. 修了試験

受講料 ¥38,500

eラーニング　コースコード CBE311

<eラーニング>COBOLプログラミング応用編（PAD）

16時間

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを学習します。

到達目標
- コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
- マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
- 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「COBOLプログラミング基礎編（PAD）Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い/表操作
4. 多分岐処理プログラム
5. 修了試験

受講料 ¥38,500

eラーニング　コースコード CBE312

<eラーニング>COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）

16時間

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを学習します。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があること。

内　容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム
4. 修了試験

受講料 ¥38,500

eラーニング　コースコード CBE313

<eラーニング>COBOLプログラミング応用編（フローチャート）

16時間

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを学習します。

到達目標
- コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
- マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
- 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い/表操作
4. 多分岐処理プログラム
5. 修了試験

受講料 ¥38,500

自習テキスト / コースコード －

COBOLプログラミング基礎編（PAD）（自習テキスト）

自習テキスト 18時間

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを学習します。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があること。

内　容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム

受講料 ¥4,400

自習テキスト / コースコード －

COBOLプログラミング応用編（PAD）（自習テキスト）

自習テキスト 18時間

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを学習します。

到達目標
- コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
- マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
- 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「COBOLプログラミング基礎編（PAD）Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い／表操作
4. 多分岐処理プログラム

受講料 ¥4,400

自習テキスト / コースコード －

COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）（自習テキスト）

自習テキスト 18時間

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを学習します。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があること。

内　容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム

受講料 ¥4,400

自習テキスト / コースコード －

COBOLプログラミング応用編（フローチャート）（自習テキスト）

自習テキスト 18時間

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを学習します。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い／表操作
4. 多分岐処理プログラム

受講料 ¥4,400

eラーニング / コースコード ESE003

<eラーニング> 組込みシステムとは

eラーニング 7時間

組込みシステム技術者の全体的な技術基礎力向上のために、組込みシステムで用いられるハードウェア、ソフトウェアに関する技術を学習します。

到達目標
- 組込みシステムで用いられるハードウェア、ソフトウェアに関して説明できる。
- 組込みソフトウェアが動作するしくみを説明できる。
- リアルタイムOSの概要を説明できる。

対象者 組込みソフトウェアを開発する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 組込みシステムとは
2. 組込みシステムの基本アーキテクチャ
3. 組込み製品の開発に必要な知識
4. マイコンを利用したソフトウェア開発の基礎
   (1)組込みソフトの開発環境
   (2)入出力制御の概要
   (3)割り込み
5. リアルタイムOSとは
   (1)リアルタイムOSの機能と役割
   (2)タスクと状態遷移
   (3)リアルタイムOSの種類
   (4)リアルタイムOSを使用したシステム構築手順
6. 組込みシステムに関する新技術
7. 修了試験

受講料 ¥25,300

集合 / コースコード ESJ001

リアルタイムOSを利用したソフトウェアプログラミング

マシン実習 2日間

組込みシステム用リアルタイムOSの仕組みを学習し、リアルタイムOSを用いたプログラミングを、実機を用いて学習します。

到達目標 リアルタイムOSを利用したマルチタスクプログラミングができる。

対象者 組込みソフトウェアを開発する方。

前提知識 「C言語プログラミング1ー基本マスタ編ー」コース、または「C言語プログラミング1（後編）ーデータ構造とポインタを学ぶーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. リアルタイムOSとは
   (1)リアルタイムOSの機能と役割
   (2)タスクと状態遷移
   (3)スケジューラとプリエンプティブ
   (4)リアルタイムOSの種類
   (5)統合開発環境
2. シングルタスクプログラミング
   (1)タスクの生成と起動方法
   (2)タスクの状態遷移
   (3)割り込みを用いたプログラミング
3. マルチタスクプログラミング
   (1)タスク間通信
   (2)イベントフラグ
   (3)リソース（セマフォ）

受講料 ¥66,000

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

オンライン / コースコード OTV025

C言語で学ぶマイクロコンピュータの基礎 ーマイコンを使ってシステムを制御するために必要な基礎知識ー【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 3日間

機器組込み用マイコンプログラムを開発する手法を学びたい方を対象に、C言語を用いた開発手法（I/Oポート、ハードウェアタイマ、割込みの使い方）、および完成したプログラムをシステムに組込む手法を修得できます。

到達目標 C言語およびマイコンについて基礎知識があることを前提にして、C言語を用いて機器組込み用マイコンのプログラムを開発する手法、および出来上がったプログラムをシステムに組込む手法を修得できます。演習には、RX63Nマイコンにエミュレータを接続したe2studio環境（Eclipseベース）を、1人／台使用できます。

対象者 C言語を用いて機器組込み用マイコンプログラムを開発する手法を学びたい方。

前提知識 C言語およびマイコンの基礎知識を備えている方。（C言語に関しては、ポインタ変数、構造体、共用体に対して、その宣言（定義）と操作（代入、演算他）が可能な知識があること。またマイコンに関しては、マイコンの内部構成を理解している方。）

内　容
1. マイコンとC言語
2. エミュレータの使い方
3. I/Oポートの機能と使い方
4. インターバルタイマーの使い方
5. 割り込みの基礎
6. 割り込みの演習
7. 総合演習（スイッチによる状態遷移、ステッピングモータ駆動など）

受講料 ¥187,000

オンライン / コースコード SJV100

IT技術はじめの一歩 ーITリテラシー向上をめざしてー【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

これからITを学習する中で、まず必要となるコンピュータの基礎知識について学習します。コンピュータなどの各技術要素に対して踏み込んだ説明はせず、概要とイメージを紹介する内容になっていますので、「はじめてITを学習する方」にお薦めのコースとなります。

到達目標 コンピュータ、インターネットといったIT技術の基本要素を説明することができる。

対象者
- はじめてITを学習する方。
- これからITを活用した業務に従事する予定がある方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ITとは
2. コンピュータとその構成要素
3. ソフトウェア
4. ネットワークとインターネット
5. 情報セキュリティ
6. データの永続化
7. DXを取り巻く要素技術

受講料 ¥39,600

eラーニング / コースコード SJE034

<eラーニング> IT技術はじめの一歩 ーITリテラシー向上をめざしてー

eラーニング 6時間

これからITを学習する中で、まず必要となるコンピュータの基礎知識について学習します。コンピュータなどの各技術要素に対して踏み込んだ説明はせず、概要とイメージを紹介する内容になっていますので、「はじめてITを学習する方」にお薦めのコースとなります。

到達目標 コンピュータ、インターネットといったIT技術の基本要素を説明することができる。

対象者
- はじめてITを学習する方。
- これからITを活用した業務に従事する予定がある方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ITとは
2. コンピュータとその構成要素
3. ソフトウェア
4. ネットワークとインターネット
5. 情報セキュリティ
6. データベース
7. DXを取り巻く要素技術

受講料 ¥18,700

オンライン / コースコード SJV104

コンピュータ基礎【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 5日間

情報処理技術者として必要となる基礎知識を学習します。

到達目標
- コンピュータの動作原理や情報システムの仕組みを説明できる。
- ネットワークやデータベースの基本を説明できる。
- システム開発の手順と各工程の作業を説明できる。

対象者 これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. コミュニケーションネットワークとコンピュータシステム
2. 入出力装置
3. 記憶装置
4. 中央処理装置
5. オペレーティングシステム
6. 情報処理技術の基礎と理論
7. ファイル編成とデータベース
8. 通信ネットワークシステム
9. 情報セキュリティ
10. 情報システムとRASIS
11. 情報システムの開発

受講料 ¥165,000

eラーニング / コースコード SJE324

<eラーニング> コンピュータ基礎ー情報の基礎理論編ー

eラーニング 4時間

情報処理技術者として必要な情報基礎理論の基礎知識を学習します。

到達目標 情報処理技術者として必要な情報基礎理論の基礎知識について説明できる。

対象者 これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. データの表現
2. 基数
3. 固定小数点数
4. 浮動小数点数
5. 精度
6. 論理演算
7. 論理回路
8. 修了試験

受講料 ¥12,100

eラーニング / コースコード SJE325

<eラーニング> コンピュータ基礎ーハードウェア編ー

eラーニング 8時間

情報処理技術者として必要なハードウェアの基礎知識を学習します。

到達目標 情報処理技術者として必要なハードウェアの基礎知識について説明できる。

対象者
- これから情報システム部門に在籍し、システムを開発する方。
- これから情報システム部門に在籍し、システムを運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. コンピュータとは
   (1)コンピュータとは
   (2)コンピュータの5大基本機能（装置）
2. 記憶装置
   (1)記憶階層
   (2)主記憶装置
   (3)半導体（IC）メモリ
   (4)ハードディスクドライブ（HDD）
   (5)その他の補助記憶装置
3. CPU
   (1)CPUの構成要素
   (2)制御装置
   (3)演算装置
   (4)パス
   (5)CPUの高速化
4. 入出力装置
   (1)入力装置
   (2)出力装置
   (3)I/O（Input/Output）
5. 修了試験

受講料 ¥24,200

クラウド
モダン開発（アジャイル開発含む）
開発工程全般・企画・設計
プログラミング・情報技術
品質・技法・信頼性
セキュリティ
プラットフォーム（Linux/Microsoft）
ITサービス
開発／基盤

eラーニング　コースコード SJE326

<eラーニング>
コンピュータ基礎−ソフトウェア編−

eラーニング 8時間

情報処理技術者として必要なソフトウェアの基礎知識を学習します。

到達目標 情報処理技術者として必要なソフトウェアの基礎知識について説明できる。

対象者
・これから情報システム部門に在籍し、システムを開発する方。
・これから情報システム部門に在籍し、システムを運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. OSの制御プログラム
　(1)タスク管理
　(2)記憶管理
　(3)ジョブ管理
　(4)ファイル管理
2. 言語
　(1)言語プロセッサ
　(2)主記憶装置
　(3)プログラムの作成と実行
　(4)プログラム言語の種類とプログラムの性質
3. 修了試験

受講料 ¥24,200

eラーニング　コースコード SJE327

<eラーニング>
コンピュータ基礎−情報システム編−

eラーニング 4時間

情報処理技術者として必要な情報システムの基礎知識を学習します。

到達目標 情報処理技術者として必要な情報システムの基礎知識について説明できる。

対象者
・これから情報システム部門に在籍し、システムを開発する方。
・これから情報システム部門に在籍し、システムを運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. システム構成
　(1)システムの形態
　(2)処理形態
2. システム性能
　(1)CPUの性能
　(2)システムの性能
3. システムの信頼性
　(1)RASIS
　(2)稼働率
　(3)高信頼システム
　(4)RAID
4. 修了試験

受講料 ¥12,100

オンライン　コースコード DBV192

実装から学ぶメタバース入門
−WebXR開発体験−
【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

WebXRの基礎的な内容を学習します。概念の理解にとどまらず、実際にModel-viewerやA-Frameを使ったプログラミング体験を通じて、メタバースを支える技術への理解を深めます。なお、このコースは以前までに提供していた「WebXR入門」コースと同じ内容となります。

到達目標
・WebXRの基本的な概念を説明できる。
・Webブラウザ上でサンプルを作成し、スマホなどのデバイス上で動作できる。

対象者
・WebXRの技術に興味のある方。
・WebXRの基礎を修得したい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. WebXRとは-VR・ARを含めた基礎理論
2. WebXR体験-ブラウザベースでのWeb AR制作
3. 3D シーン作成とVR・AR表示-3D CGの基礎
4. 物理空間認識(平面検出)とオブジェクト配置
5. 360 Image・Video表示
6. インタラクション(タッチ操作)、3Dシーン作成-3DCGの基礎

受講料 ¥50,600

eラーニング　コースコード DBE110

<eラーニング>【スキル定着】
Rでのデータ可視化
−オープン環境を活用した実装力の磨き方−

eラーニング 4時間

さまざまなデータ可視化の実装を通して、実践で使えるレパートリーを増やします。繰り返し実装することで、Rでのデータ活用の流れの定着を図ります。

到達目標
・Rを使った可視化の実装ができる。
・オープンな環境を利用して、どのように学び(自己学習)を深めればいいか理解できる。

対象者
・Rのライブラリを活用して可視化の実装を試したい方。
・Rの基本は理解しているが腕試しをしたい方。

前提知識 Rの基本構文・データ構造の理解があること。

内　容 Rによるさまざまなデータの可視化の紹介および実装
1. 平行座標プロット
2. 散布図行列
3. ヒートマップ
4. デンドログラム
5. ワードクラウド
6. コロプレス地図
7. ネットワーク図
8. アニメーションバブル図

受講料 ¥14,300

オンライン　コースコード DBV134

0から始めるRの基礎
−データ分析と可視化体験−
【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 2日間

統計解析向けのプログラミング言語、およびその開発実行環境であるRの基本操作から、データの可視化までを学習します。

到達目標
・Rの基本的な文法やデータ構造を理解し、データ分析の基本となるデータの加工や、基本統計量の計算ができる。
・Rを利用して回帰分析、クラスター分析を実行できる。
・Rを利用してさまざまな可視化表現ができる。

対象者
・Rにおけるデータ分析や可視化の操作方法を学びたい方。
・Excel以外の手段でデータ分析や可視化を試してみたい方。

前提知識 基本的な統計の知識があること、もしくは「データ分析手法の理論と適用−ビジネスにおける統計的手法活用の広がり−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Rの概要
2. Rによるデータ操作の基礎
3. Rによるデータ分析
　(1)回帰分析
　(2)クラスター分析
4. Rによるデータ可視化
　(1)散布図行列
　(2)ヒートマップ
　(3)デンドログラム
　(4)ワードクラウド
　(5)コロプレス地図
　(6)ネットワーク図
5. まとめと振り返り

受講料 ¥77,000

オンライン　コースコード DBV156

NVIDIA Deep Learning Institute (DLI)
認定コース ディープラーニングの基礎
【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

このコースでは、ディープラーニングの基礎およびモデルの精度向上にまつわるトピックを学びます。ハンズオンではGPUを使った環境で実際にディープラーニング処理を体験します。レクチャとハンズオンを繰り返しながら、次のステップに踏み出すための土台を作ります。一連のカリキュラムを通じて、ディープラーニングのプロジェクトにすぐに取り組める基礎を修得します。
・紹介サイトはこちら(外部向けサイト):
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/subcate/nvidia.html

到達目標
・ディープラーニングの基本的なテクニックとツールの概要を説明できる。
・ディープラーニングで扱うデータやアーキテクチャの概要を説明できる。
・データ拡張、転移学習などのテクニックの概要を説明できる。

対象者
・ディープラーニングの基本を身につけたいITエンジニア(若手・中堅)の方。
・ディープラーニングの最初の一歩を踏み出したい方。

前提知識
・Pythonの基本的な文法(関数、ループ、配列、辞書など)を理解していること。
・プログラミングの基本的な概念(分岐、ループ、データ構造など)を理解していること。
・機械学習の基本的な概念(学習、予測、教師あり/なしなど)を理解していること。

内　容
1. ディープラーニング入門
2. ニューラルネットワークのトレーニング
3. 畳み込みニューラルネットワーク
4. データ拡張とモデルのデプロイ
5. トレーニング済みモデル
6. より高度なアーキテクチャ(リカレントニューラルネットワークなど)

受講料 ¥93,500

オンライン　コースコード DBV154

NVIDIA Deep Learning Institute (DLI)
認定コース AIを応用した予知保全
【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

機械のダウンタイムは企業に膨大な損失を招く可能性があることから、メンテナンスの領域では定期的な予防保全に加え、予知保全への要望が高まっています。このコースでは、AIをベースとした時系列データの中から異常と障害を特定する方法や該当パーツの残りの耐用年数の見積もりについて学びます。また、クラウド上で構築されたGPUサーバを用いて演習を行うことで自身の業務で役立つスキルを身につけます。

到達目標
・時系列データを使用し、XGBoost ベースの機械学習分類モデルで成果を予測できる。
・LSTM ベースのモデルを使用し、機器の故障を予測できる。
・時系列オートエンコーダーによる異常検出を利用し、限られた故障例データが利用できるとき、故障を予測できる。

対象者 産業分野における予知保全システムを開発・提供するSEおよび開発者の方。

前提知識
・「Python入門−データ分析での活用をテーマとして−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
・「NVIDIA Deep Learning Institute(DLI)認定コース ディープラーニングの基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. オリエンテーション
2. RAPIDSを用いたXGBoostのモデルの学習と部品の故障予測
3. Keras/TensorFlowによるLSTMモデルを用いた時系列データ部品故障予測
4. 異常検知のためのオートエンコーダー

受講料 ¥93,500

品質・技法・信頼性

IT・OT・プロダクトの開発に関する品質、信頼性に関連する技術を修得できます。

IT・OT・プロダクト共通

機械・電気・情報分野のIT・OT相互理解（入門レベル）

レベル1	レベル2	レベル3

機械・設計技法

OTV008 オンライン
機械四力の基礎
レクチャ | 1日間

New
ITV020 オンライン
エンジニアのための、開発上流におけるコスト意識のポイント
レクチャ | 1日間

電気・計測制御

OTV040 オンライン
初心者のためのエレクトロニクス入門
レクチャ | 2日間

プログラミング・情報技術

DBV123 オンライン
プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門−
マシン実習 | 1日間

DBE107 eラーニング
【マシン演習付き】プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門−
音声なし 説明文有 | 6時間

ITシステム（テスト）

これからシステムテスト作業に携わる予定の方、システム開発にこれから携わる方、システム開発の管理でシステムテストについて知りたい方

レベル1	レベル2	レベル3

SPE026 eラーニング
プログラムのテスト技法
音声なし 説明文有 | 7時間

SPV123 オンライン
品質確保のためのソフトウェアテスト
レクチャ | 1日間

SPE016 eラーニング
実践！テストケース設計（テスト技法演習編）
音声なし 説明文有 | 8時間

SPV051 オンライン
実践！テストケース設計（テスト設計実践編）
グループ演習 | 1日間

SPE028 eラーニング
速習！Webシステムテストのポイント
音声なし 説明文有 | 3時間

モダン開発（アジャイル開発含む）

SPV072 オンライン
Javaによる単体テスト自動化とテスト駆動開発演習
マシン実習 | 1日間

SPV035 オンライン
Seleniumによる Webアプリケーションテスト自動化演習
マシン実習 | 1日間

プログラミング・情報技術

SPV085 オンライン
Pythonによるテスト自動化 −単体テストからシステムテストまで−
マシン実習 | 1日間

モダン開発（アジャイル開発含む）

SPD004 集合
非機能テスト入門（性能・負荷、ユーザビリティ）−注目度急上昇のテスト領域−
レクチャ | 1日間

SPD002 集合
DevOpsテスト入門 〜継続的デリバリーを実現するテストのアプローチ〜
グループ演習 | 1日間

SPV063 オンライン
ソフトウェアテストの管理手法
レクチャ | 1日間

SDV005 オンライン
テストプロセス改善 −評価・改善案策定を一日で習得！− 【SHIFTライブ配信】
グループ演習 | 1日間

IOV035 オンライン
スキルアップをめざすエンジニアのためのレビュー力向上ポイント
グループ演習 | 2日間

OTV026 オンライン
ソフトウェア品質・生産性向上のためのレビュー講座
レクチャ | 2日間

SPD006 集合
(PDU)テスト計画 −成功するためのテスト方針／工数見積りの極意を伝授−
レクチャ | 1日間

SPD007 集合
(PDU)テスト管理 −テスト実行時の管理手法／留意するポイント／各種秘訣を伝授−
レクチャ | 1日間

SPD008 集合
(PDU)テスト戦略 −テスト計画に繋がる具体的な戦略立案の肝−
レクチャ | 1日間

レベル1：対応する専門技術を初めて学ばれる方。（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方。（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

音声有 説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

OTシステム・プロダクト（設計改革）

グローバル図面・公差設計

レベル1	レベル2	レベル3
	機械・設計技法 OTE002 eラーニング 公差設計の基礎 音声有・説明文なし　4時間 OTE001 eラーニング 幾何公差の基礎 音声有・説明文なし　6時間	

設計業務改革手法

レベル1	レベル2	レベル3
	休講 OTV031 オンライン 効果的な設計システム導入と「強い設計」を実現させる改革手法−PLM・BOMの失敗要因と成功要因、あるべきシステム導入− レクチャ　1日間	機械・設計技法 OTV028 オンライン ニーズ・シーズ思考でなく超常識思考ですごいビジョンを実践 グループ演習　1日間

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方。（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

オンライン　コースコード ITV020　New
レクチャ　1日間
エンジニアのための、開発上流におけるコスト意識のポイント【バーチャル・クラスルーム】

コストの約80%は設計開発段階で決まってしまうため、開発上流の構想段階や引き合いの見積設計など、上流でのコストマネジメントの重要性は増しています。そこで製品の複雑化・高度化・多機能化が進むなか、「システムズエンジニアリング」の流れに沿って、技術者の原価意識に必要な要素について、特に開発上流の要求分析や構想段階における、「原価の可視化のあり方」や「原価見積のあり方」について、演習等を通じて解説します。また、それらを使ったコストマネジメント推進方法、開発着手判断・受注可否判断などの意思決定の高度化についても解説をします。加えて、コストマネジメントを実現させるためのデータマネジメントについても、PLMやERPシステムとの関係性に触れながら解説します。

到達目標
・開発上流段階でのコスト意識の重要性を学べる。
・実務でどう活用するか？の指針を得られる。

対象者 IT／OT系を問わず、企画員～若手技師クラスであり、特に将来は広い視野で技術とりまとめ的な役割を担いたいと考えている方。製品やシステムのコストマネジメントに携わる方など。

前提知識 特に必要としませんが、システム開発や製品開発の経験（ハードウエア、ソフトウエアの分野は問わない）や、コスト管理経験があると効果的です。

内　容
1. 技術者が身につけるべき原価知識
2. システムズエンジニアリングなどの開発上流での原価の重要性
3. 引合対応・見積設計段階での原価の重要性
4. 原価改革の方向性
5. 原価改革の失敗例
6. コストマネジメントの3要素
7. 原価の見える化
8. 予算・目標原価の設定とフォロー
9. 原価見積
10. コストマネジメント・PLM・ERPの関係性

受講料 ¥72,600

eラーニング　コースコード SPE026
eラーニング　7時間
<eラーニング> プログラムのテスト技法

プログラムのテスト作業における手順、技法についての基本的な考え方を学習します。

到達目標
・プログラムのテストを実施する手順を説明できる。
・テスト実施時に必要なテスト技法の概要と種類を説明できる。

対象者 これからプログラムのテストに携わる方。

前提知識 コンピュータおよびプログラミングの基礎知識があること。

内　容
1. プログラムテストの概要
　(1)テスト作業の位置付け
　(2)テストの必要性
　(3)テスト作業の内容
2. プログラムのテスト技法
　(1)テストデータの設計方法（ホワイトボックステスト、ブラックボックステスト）
　(2)テスト・デバッグの方法
3. テストの管理
4. 修了試験

受講料 ¥25,300

オンライン　コースコード SPV123
レクチャ　1日間
品質確保のためのソフトウェアテスト【バーチャル・クラスルーム】

システム開発を行ううえで品質を確保するために必要な、ソフトウェアテスト分野全般の知識を、担当者と管理者の両視点で学習します。

到達目標
・ソフトウェアテストの必要性を説明できる。
・ソフトウェアテストを実行しソフトウェアの欠陥を摘出できる。
・ソフトウェアテストの流れを説明できる。

対象者 これからソフトウェアテストに関わる方。

前提知識 「コンピュータ基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ソフトウェアテスト概要（テストの必要性、テストの目的、テストの実施と管理）
2. 開発におけるテストの位置づけ（テストレベル、W字モデル）
3. 静的テスト（コードレビュー、静的解析ツール）
4. テスト技法の活用法
　(1)制御構造に着目したテストケース設計
　(2)入出力に着目したテストケース設計
　(3)複雑な入出力に着目したテストケース設計
　(4)欠陥の修正
5. テストの管理
　(1)バグゼロの落とし穴
　(2)テスト計画
　(3)ソフトウェアメトリクス
　(4)改善のための布石

受講料 ¥39,600

eラーニング　コースコード SPE016
eラーニング　8時間
<eラーニング> 実践!テストケース設計（テスト技法演習編）

現在知られているテスト技法の全体像を知り、代表的な手法を扱う演習を通して、テスト実装のスキルを修得します。

到達目標 代表的なテスト技法を使用してテストケースを作成できる。

対象者 これからテスト技法を修得したい方。

前提知識 「品質確保のためのソフトウェアテスト」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ソフトウェアテストにおける基本概念
2. テスト技法
　(1)テスト技法の概要
　(2)制御構造に着目したテスト
　(3)入出力に着目したテスト
　(4)入力の組合せに着目したテスト
　(5)状態に着目したテスト
　(6)ユースケースに着目したテスト

受講料 ¥18,700

オンライン　コースコード SPV051
グループ演習　1日間
実践!テストケース設計（テスト設計実践編）【バーチャル・クラスルーム】

このコースではモデルケースを使いテスト分析・設計に基づいてテストケースを作成する演習に取り組みます。その後ペアまたは小グループでレビューをし、より良いテストケースをめざします。

到達目標
・テスト分析・設計の考え方を理解できる。
・テスト分析・設計に基づいてテストケースを作成できる。
・テストケースの良し悪しについてレビューできる。

対象者
・これからソフトウェアテストを担当する人で、テストの目的を踏まえたテストケースを作りたい方。
・テストケース密度を参考にテストケースを作るがバグが出ないなど、テストケースに関する問題を抱えている方。

前提知識 「実践！テストケース設計（テスト技法演習編）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ソフトウェアテストを取り巻く環境
2. テスト分析・設計
　(1)テスト分析・設計の目的
　(2)テスト分析・設計の進め方
　(3)分析・設計結果の活用
3. 総合演習
　(1)テスト分析・設計とテストケース作成
　(2)テストケースレビューと振り返り

受講料 ¥33,000

eラーニング　コースコード SPE028
eラーニング　3時間
<eラーニング> 速習！Webシステムテストのポイント

Webシステムにおけるテスト設計において必要となる、テスト体系、着眼点、代表的な技法について学習します。

到達目標
・Webシステムテストの留意点を説明できる。
・Webシステムテストの種類を説明できる。

対象者 Webシステムをテストする方、またはWebシステムを設計する方。

前提知識 「プログラムのテスト技法」eラーニングコース、または「品質確保のためのソフトウェアテスト」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Webシステムを取り巻く状況
2. Webシステムのテストにおける姿勢と施策
　(1)品質の定義を知る
　(2)ビジネスリスクを捉える
　(3)テスタビリティに留意する
3. Webシステムテストの種類
4. Webシステムテストのポイント
　(1)非機能テスト
　(2)グレーボックステスト
　(3)経験値ベーステスト
　(4)回帰テスト
5. Webシステムテストを自動化するツール

受講料 ¥12,100

集合　コースコード SPD004
レクチャ　1日間
非機能テスト入門（性能・負荷、ユーザビリティ）−注目度急上昇のテスト領域−

パフォーマンス、セキュリティー、ユーザビリティなどの「非機能テスト」は、ソフトウェア品質を担保するうえで「機能テスト」とともに非常に重要な分野です。ですが、開発者がテストを実施する場合、どうしても仕様に基づいて「機能テスト」を優先させてしまい、「非機能テスト」は疎かになってしまいます。このコースでは、「非機能テスト」の重要性と全体像、およびその合格基準の決め方など、非機能テストを考えるスキルを身につけます。

到達目標
・基本的な非機能の概念を理解できる。
・負荷テスト、ユーザビリティテストの考え方を修得できる。

対象者 「非機能テスト」全般について基礎を確認したい方。特に、負荷テスト、ユーザビリティテストの考え方を修得したい方。

前提知識 ITの基本知識があること。

内　容
1. 非機能テストの種類と実施方法
　(1)非機能テストとは？
　(2)非機能テストと品質特性
　(3)非機能テストの種類
　(4)非機能テストの種類実施方法
　(5)（演習）非機能テストの実施方法
2. 非機能テストの合格基準の設定
　(1)非機能テストの問題点
　(2)非機能テストの合格基準
　(3)非機能テストの合格基準の設定方法
　(4)（演習）非機能テストの合格基準の設定
3. 非機能テストのアプローチ（性能、負荷）
　(1)負荷テストとは
　(2)負荷テストを行う理由
　(3)負荷テストツール
4. 非機能テストのアプローチ（ユーザビリティ）
　(1)ユーザビリティとは
　(2)アクセシビリティ、ユーザエクスペリエンス
　(3)ユーザビリティテストの種類

受講料 ¥46,200

オンライン　コースコード SPV063
レクチャ　1日間
ソフトウェアテストの管理手法【バーチャル・クラスルーム】

ソフトウェアテストを管理する手法について、テスト計画とテスト結果の分析と評価を中心に学習します。

到達目標
・テスト計画を立てることができる。
・テスト結果の分析と評価ができる。

対象者 これからプロジェクト管理（特にテスト工程の管理）を担当する方。

前提知識 「品質確保のためのソフトウェアテスト」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ソフトウェアテストの管理ですべきこと
2. テスト計画
3. テスト結果の分析と評価

受講料 ¥38,500

オンライン　コースコード SDV005
グループ演習　1日間
テストプロセス改善 −評価・改善案策定を一日で習得！− 【株式会社SHIFT ライブ配信】

講師は「薮田和夫氏」（「TPI NEXT®日本語版」訳者）。
演習を繰り返すことによってソフトウェアテストを品質向上させる鍵となる「テストプロセス評価と改善」をたった一日で修得することができます。
現場ですぐに使える実践的な技法です。

到達目標
・ソフトウェアテストに関するさまざまな標準モデルとTPI NEXT®の位置づけを修得する。
・TPI NEXT®モデルの基本的な構造を修得する。
・TPI NEXT®のキーエリア・チェックポイントの理解と評価方法を修得する。
・TPI NEXT®を使ったプロセス改善実施計画の立案方法を修得する。

対象者
・テストの品質を向上させたいと考えているリーダー、マネジャーの方。
・品質向上のためにプロセス改善を検討している方。

前提知識 テストプロジェクト（もしくは開発プロジェクトでのテスト作業）の経験があること。

内　容
1. ソフトウェアテスト 技術の標準化動向とTPI NEXT®の位置づけ
2. TPI NEXT®キーエリアとチェックポイント
3. プロセス評価と改善計画作成手順
4. テストプロセスの自己評価と発表
5. テストプロセス改善の自己計画作成と発表
6. まとめ

受講料 ¥55,000

セキュリティ

個人情報保護や情報セキュリティに関する基礎知識、セキュリティを考慮したシステム構築・管理に必要な技術が修得できます。

セキュリティの知識

最新動向

レベル1	レベル2	レベル3
	SCV041 オンライン セキュリティ最新動向 レクチャ 0.5日間	

セキュリティの基礎

レベル1	レベル2	レベル3
SCV052 オンライン 情報セキュリティ基礎 −セキュリティ全体を俯瞰する− レクチャ 1日間	New PDU SCV060 オンライン (PDU) ゼロトラスト・アーキテクチャ概論 レクチャ 1日間	
SCE016 eラーニング 情報技術者に求められるセキュリティの基礎 −要素技術(暗号、認証)編− 音声有 説明文有 6時間		
SCE012 eラーニング 情報技術者に求められるセキュリティの基礎−ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編− 音声有 説明文有 6時間	SCV058 オンライン CCT(認定サイバーセキュリティ技術者)【GSXライブ配信】 マシン実習 3日間	
SCE018 eラーニング 情報セキュリティリテラシー −セキュリティの必要性と対策− 音声なし 説明文有 4時間		

PDU ：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。3年間で60PDUが必要です。

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。これから業務を担当される方。 (目安)ITスキル標準(ITSS)レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：業務上必要な知識・技術の修得を期待されている方。 (目安)ITスキル標準(ITSS)レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。 (目安)ITスキル標準(ITSS)レベル4以上 相当のコース

オンライン / コースコード IOV035

スキルアップをめざすエンジニアのためのレビュー力向上ポイント【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 2日間

このコースは、IT／OT系に関わらず「レビューワーは本来どうあるべきか？」について再確認し、そのための基本的なスキルを多くの演習を通じて身につけることを目的とします。
具体的には、まずあるべきデザインレビューの姿と現実との差からレビューの問題点を認識します。そして、あるべき姿のレビューの実施のために、レビューワーに必須のスキル「成果物への改善の指摘」「検討のヌケモレの指摘」のテクニック向上だけでなく、本来のレビュー目的と立場にそって、非難すること無く積極的な批判を行えるスキルを醸成します。

到達目標
・適切なレビューの実施ができる。
・目的と立場を意識し、非難ではなく、批判によって製品やサービスの質の向上を図る。
・上記により、結果として組織内のコミュニケーション改善ができる。

対象者 IT／OT系を問わず、企画員〜若手技師クラスで、特に将来は広い視野で技術とりまとめ的な役割を担いたいと考えている方。
もちろん、既にレビュワーの立場にある方も歓迎です。

前提知識 特に必要としませんが、一度でもデザインレビューの経験(ハードウェア、ソフトウェアの分野は問わない)があるとより効果的です。

内 容 知識・概要面
1. レビューの現実
(1)レビューによくある状況
(2)実体験を互いに披露するWS(ワークショップ)
2. レビュー概要
(1)レビューの定義、メリット、種類、実施方法、技術分野によるレビュー内容の違い等で再確認
3. レビューのベストプラクティス
(1)目的、立場、観点のそれぞれについて指摘の良/悪を識別するWS
実働面
4. 欠陥の摘出：各々WS
(1)形式チェック(誤字脱字・用語・曖昧語、相互チェック)
(2)検証する(文章やドキュメントの欠陥摘出、矛盾・重複・漏れ)
(3)妥当性確認(関連ドキュメントとの比較、標準や慣例等の考慮)
5. レビューコメントの起票/回答：WS(オプション)
(1)起票時の問題点と良い指摘表現
(2)回答時の問題点と良い回答表現
6. 実際のレビュー体験：WS
(1)総合演習：ケーススタディを通して、レビューを実践

受講料 ¥178,200

オンライン / コースコード OTV026

ソフトウェア品質・生産性向上のためのレビュー講座【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 2日間

このコースはソフトウエアエンジニアリングを活用して、質の高いレビューを行うための視点を修得するための講座です。ソフトウエアエンジニアリングというと、とかく教科書的なもので、現場では使えないと言われがちですが、このコースではソフトウエアエンジニアリングにおける原理原則を学ぶことにより、要求、設計、テスト(テストケース)に関する成果物に対してどのような観点からレビューすれば良いかを修得します。

到達目標 このコースによって次のスキルが修得できます。
・要求獲得-システムテストまでの各エンジニアリング活動で何をしなければいけないか
・要求・要件・仕様の違いと、それを区別する重要性
・要求分析におけるシナリオ分析、モデルベース分析の意義、レビューの観点
・ソフトウエア設計の進め方、設計品質の考え方
・設計原則に基づくソフトウェア開発
・テストレベル・全体テスト計画・テストプロセス
・テストケース分析・設計

対象者 ・ソフトウェアの品質向上・生産性向上に興味のある方。
・成果物のレビューを担当している方。
・ソフトウェア外注からの受入れを担当している方。
※新人の方からベテランの方まで参加可能です。

前提知識 ソフトウェアの設計、開発、テスト等の業務に従事した経験があるか、今後従事する予定がある方。

内 容
1. エンジニアリング活動の全体像　ソフトウエアエンジニアリングの意義　システム開発の流れ
2. 要求に関する活動　要求と要件、要求分析(シナリオ分析、モデルベース分析、機能分析)、オブジェクト指向を使ったモデルベース分析、UM仕様Lを使用した仕様記述
3. 設計に関する活動　設計のステップ、オブジェクト指向設計の基本的な考え、モデルを使った設計(オブジェクト指向設計)、設計原則とその適用
4. テストに関する活動　テスト計画とテストプロセス、テストレベル(単体-統合-システム)

受講料 ¥198,000

集合 / コースコード SPD006

(PDU)テスト計画 −成功するためのテスト方針／工数見積りの極意を伝授− PDU

レクチャ 1日間

ソフトウェアテストを計画する際にポイントとなる「テストアプローチ」と「テスト工数見積り」に焦点をあて、その実施ノウハウを学びます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標
・対象システムの特長やプロジェクトの制約に応じたテスト方針の立案(テストアプローチ)ができるようになる。
・限られた情報のなかで最適なテスト工数見積りができるようになる。

対象者 ・各々のプロジェクトがもつ特長や制約に即した効率的かつ効果的なテスト方針を立案したい方。
・限られた情報のなかでも適用できるテスト工数見積手法を身につけたい方。

前提知識 「品質確保のためのソフトウェアテスト」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. テスト計画とテストアプローチの基礎
(1)テスト計画の定義
(2)テスト計画の内容
(3)テストアプローチ
(4)(演習)ケーススタディ
2. テストアプローチの実践
(1)テストレベル
(2)テストタイプ
(3)品質特性とテストタイプ
(4)(演習)テストアプローチの立案
(5)(参考)アジャイル開発におけるテスト計画
3. テスト見積りの基礎
(1)見積りとは
(2)テスト見積り手法
(3)テスト見積りの実践
(4)(演習)テスト見積り
(5)(演習)ケーススタディ
4. テスト見積りに影響するもの
(1)(参考)アジャイル開発における見積り
5. テスト見積り精度の向上・改善
(1)(演習)ケーススタディ

受講料 ¥46,200

集合 / コースコード SPD007

(PDU)テスト管理 −テスト実行時の管理手法／留意するポイント／各種秘訣を伝授− PDU

レクチャ 1日間

テスト計画後の実行管理に焦点を当てて、事前に準備すべき項目、チーム体制作りのポイント、テスト実行時の留意点を学びます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標
・テスト実行時の進捗を監視し、計画との差異を速やかに検知し報告することができる。
・変更管理手法を身につけ、テスト実行計画の見直しができる。
・テスト実行時の留意点を踏まえた的確なテスト実行推進ができる。

対象者 ・テスト実行フェーズに求められるテスト管理のノウハウを学びたい方。
・テスト実行時に発生する諸問題の対応策を具体的事例を通して学びたい方。

前提知識 「品質確保のためのソフトウェアテスト」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. テストの目的と本講座の範囲
(1)ソフトウェアテストの目的
(2)本講座の範囲
2. テスト管理全般・・・3つの肝
(1)QCDを管理し、完了報告ができる
(2)数値報告をエスカレーションできる
(3)変更管理ができ、計画見直しができる
3. テスト実行準備・実施
(1)テスト実行前に準備すること
(2)テスト体制構築
(3)テスト実施スケジュール作成のポイント
(4)テスト実施可能判定
4. テスト実行管理
(1)テスト実行管理とは　(2)進捗管理
5. テスト実行ケーススタディ
(1)テスト実行管理　(トラブル対応)
(2)モチベーション管理
(3)フェーズ終了判定・品質チェック
6. その他の考慮点
(1)テスト事項化による効率化
(2)スマホ・テストに関する考慮点
(3)アドホックテストに関する考慮点

受講料 ¥46,200

集合 / コースコード SPD008

(PDU)テスト戦略 −テスト計画に繋がる具体的な戦略立案の肝− PDU

レクチャ 1日間

テスト全体を俯瞰して、品質リスクや課題を解決するための具体的なアプローチを立案、実施する「テスト戦略」のスキルを身につけます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・プロジェクト全体を通してのテスト戦略を立案できる。
・テスト工程横断の最適化を考えることができる。

対象者 ・テストを戦略的に取り組みたいが具体的な方法がわからずお困りの方。
・アドホック的で非効率なテスト推進を改善したい方。
・品質向上の戦略アプローチとして、有効な選択肢を増やしたい方。

前提知識 「品質確保のためのソフトウェアテスト」を修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. テスト戦略入門
(1)戦略とは
(2)テスト戦略プロセス
(3)テストに求められること
(4)テスト戦略で考えること
(5)(演習)テスト戦略を考える
2. 7つのテスト戦略
(1)テストの基本7戦略
(2)(演習)基本戦略の活用
(3)活用例：リスクベーステスト
(4)活用例：テスト自動化
(5)活用例：ソフトウェアレビュー
3. アジャイルテストとWebテスト
(1)戦略の応用組み合わせ
・アジャイル開発テスト
・Web開発のテスト
4. テスト戦略立案
(1)(演習)ケーススタディ
(2)まとめ

受講料 ¥55,000

オンライン / コースコード OTV031　休講

効果的な設計システム導入と「強い設計」を実現させる改革手法−PLM・BOMの失敗要因と成功要因、あるべきシステム導入−【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

設計を効率化し高度化していくことは、急務の課題となっています。しかし、設計プロセスの可視化・設計改革に頓挫する企業は後を絶ちません。設計プロセスを可視化し、設計の構造改革を実現させるためには、【正しい改革手法】とそれを実現させる【設計システム】が必要なのです。設計改革の失敗の原因は何か？どのようなコンセプトで改革を進めれば成功に至るのかを解説します。

到達目標 設計システムの代表例である【E-BOM、PDM、3D-CAD】も多くの企業で失敗をしています。導入はしたが業務改革は進まず、場合によっては【登録の手間だけ増え、肝心の設計力を弱体化させてしまった】ケースも少なくありません。設計の業務改革を支える設計システムのあるべき姿とは何か、どのようなシステム全体像を描くべきなのか、IoTやAIなど将来的な視点にたったときにどのような設計システムのロードマップにすべきかについて解説します。業務とシステムの両側面から成功に至る改革に必要な視点を学んでください。

対象者 開発設計部門、改革推進部門、情報システム部門の管理職から担当まで。設計システムの導入検討に取り組んでいる方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. PLMコンセプトと設計改革
2. PLMの考え方と導入効果
3. PLM機能の全体像
4. PDM(成果物)
5. BOM(部品表)

受講料 ¥55,000

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

セキュリティマネジメント

レベル1

SCV052 オンライン
情報セキュリティ基礎
−セキュリティ全体を俯瞰する−
レクチャ | 1日間

SCE016 eラーニング
情報技術者に求められる
セキュリティの基礎
−要素技術（暗号、認証）編−
音声有＋説明文有 | 6時間

SCE012 eラーニング
情報技術者に求められるセキュリティの基礎−ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編−
音声有＋説明文有 | 6時間

レベル2

SCE015 eラーニング
情報セキュリティマネジメント概説
−セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度−
音声なし＋説明文有 | 8時間

SCV047 オンライン
ケーススタディから学ぶ
情報セキュリティ
リスクマネジメント
レクチャ | 1日間

SCV055 オンライン
ケーススタディから学ぶ
情報セキュリティリスク対策
グループ演習 | 1日間

レベル3

ネットワークセキュリティ

レベル1

SCV052 オンライン
情報セキュリティ基礎
−セキュリティ全体を俯瞰する−
レクチャ | 1日間

SCE016 eラーニング
情報技術者に求められる
セキュリティの基礎
−要素技術（暗号、認証）編−
音声有＋説明文有 | 6時間

SCE012 eラーニング
情報技術者に求められるセキュリティの基礎−ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編−
音声有＋説明文有 | 6時間

レベル2

SCV051 オンライン
ネットワークセキュリティ
対策実習
−FW/IDS/PKI−
マシン実習 | 2日間

SDV016 オンライン
CND（認定ネットワーク
ディフェンダー）
【GSXライブ配信】
マシン実習 | 3日間

New
SCV059 オンライン
CSA（認定SOCアナリスト）
【GSXライブ配信】
マシン実習 | 3日間

レベル3

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。これから業務を担当される方。（目安）ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：業務上必要な知識・技術の修得を期待されている方。（目安）ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。（目安）ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

サイバー攻撃

レベル1

SCV052 オンライン
情報セキュリティ基礎
−セキュリティ全体を俯瞰する−
レクチャ | 1日間

SCE016 eラーニング
情報技術者に求められる
セキュリティの基礎
−要素技術（暗号、認証）編−
音声有＋説明文有 | 6時間

SCE012 eラーニング
情報技術者に求められるセキュリティの基礎−ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編−
音声有＋説明文有 | 6時間

レベル2

SCV051 オンライン
ネットワークセキュリティ
対策実習
−FW/IDS/PKI−
マシン実習 | 2日間

SDV016 オンライン
CND（認定ネットワーク
ディフェンダー）
【GSXライブ配信】
マシン実習 | 3日間

レベル3

Renewal
SDV019 オンライン
CEH
（認定ホワイトハッカー）
【GSXライブ配信】
マシン実習 | 5日間

脆弱性診断

レベル1

レベル2

SDV007 オンライン
セキュリスト（SecuriST）
認定Webアプリケーション
脆弱性診断士【GSXライブ配信】
マシン実習 | 2日間

SDV008 オンライン
セキュリスト（SecuriST）
認定ネットワーク脆弱性診断士
【GSXライブ配信】
マシン実習 | 2日間

レベル3

デジタルフォレンジック

レベル1

レベル2

レベル3

SDV018 オンライン
CHFI
（デジタルフォレンジック）
【GSXライブ配信】
マシン実習 | 4日間

サイバー攻撃時の初動対応スキル

レベル1

レベル2

SCE011 eラーニング
サイバー攻撃対応基礎
（知識修得編）
音声なし＋説明文有 | 3時間

SCV069 オンライン
サイバー攻撃対応
コミュニケーション訓練
（ITシステム編）
グループ演習 | 0.5日間

レベル3

資格 EC-Council認定資格

EC-Council認定資格は、EC-Council Internationalが「情報セキュリティ技術者として、一定水準以上の技術力を持つこと」を認定する資格です。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/ecc.html

音声有＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有＋説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

オンライン / コースコード SCV041

レクチャ 0.5日間

セキュリティ最新動向【バーチャル・クラスルーム】

セキュリティの基本概念からセキュリティ対策の最新動向を学習します。

到達目標
・セキュリティの必要性が説明できる。
・最新のセキュリティ脅威を説明できる。
・セキュリティ対策における最新動向を説明できる。

対象者 セキュリティの最新動向を知りたい方。

前提知識 オペレーティングシステム、およびネットワークに関する基本的な知識があること。

内 容
1. 情報セキュリティの基礎
2. 最新の攻撃方法と対策
3. セキュリティ対策の実際
4. 今後増加すると考えられる攻撃
5. 新しい対策技術
6. さらに知りたい人のために

受講料 ¥30,800

オンライン / コースコード SCV052

レクチャ 1日間

情報セキュリティ基礎 −セキュリティ全体を俯瞰する−【バーチャル・クラスルーム】

セキュリティの入門コースです（IPAの「基本情報技術者試験」相当）。
・これからセキュリティを学ぶにあたり、セキュリティの全体像（俯瞰して捉える）と、基礎的な技術/事項の関連性を学習します。
・研修の最後に、学びをアウトプットし合うグループワークを行います。

到達目標
・セキュリティの全体像を俯瞰して説明できる。
・自分の業務に関連するさまざまなセキュリティ技術について、内容と関係性を説明できる。

対象者
・これからセキュリティを学んでいく方。
・SIベンダー、情報システム部門の担当者の方。

前提知識 ITに関する基礎的な知識があること。

内 容
1. セキュリティとは
2. セキュリティに対する脅威
3. セキュリティの基礎技術
   (1)暗号
   (2)認証
4. セキュリティ対策
   (1)通信の制御
   (2)Webシステム対策
   (3)セキュアプロトコル
   (4)システムセキュリティ
5. セキュリティマネジメント

受講料 ¥44,000

eラーニング / コースコード SCE016

eラーニング 6時間

<eラーニング> 情報技術者に求められるセキュリティの基礎 −要素技術（暗号、認証）編−

安全性の高い情報システムの実現に利用される、セキュリティ要素技術の基礎について学習します。

到達目標
・セキュリティ技術の必要性について説明できる。
・共通鍵暗号や公開鍵暗号などの暗号技術について説明できる。
・認証の分類や代表的な方式について説明できる。

対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「ネットワーク基礎Ⅱ −TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. セキュリティの概要
2. 暗号技術
   (1)共通鍵暗号方式
   (2)公開鍵暗号方式
3. 認証技術
   (1)ユーザ認証
   (2)データ認証
4. 暗号や認証の利用例
   (1)公開鍵の信頼
   (2)Web通信における利用例
   (3)メール通信における利用例
5. 修了試験

受講料 ¥25,300

eラーニング / コースコード SCE012

eラーニング 6時間

<eラーニング> 情報技術者に求められるセキュリティの基礎 −ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編−

ネットワークセキュリティの実現に使用される技術や、コンピュータを保護するためのOSのセキュリティ機能、コンピュータウイルス対策の概要について学習します。

到達目標
・ファイアウォールの機能や種類について説明できる。
・OSの機能設定によるシステム強化の手法について説明できる。
・コンピュータウイルスの概要と対策について説明できる。

対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。

前提知識 「情報技術者に求められるセキュリティの基礎 −要素技術（暗号、認証）編−Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ファイアウォール
   (1)ファイアウォールの役割
   (2)ファイアウォールの種類
2. VPN（Virtual Private Network）
   (1)VPNとは
   (2)VPNの種類
3. OSの機能設定によるセキュリティ
4. コンピュータウイルス
   (1)コンピュータウイルスの種類
   (2)コンピュータウイルス対策
5. 修了試験

受講料 ¥18,700

オンライン / コースコード SCV058

マシン実習 3日間

CCT（認定サイバーセキュリティ技術者）【GSXライブ配信】

サイバーセキュリティ技術者の世界的なニーズに対応するために設計されたエントリーレベルの認定プログラムです。サイバーセキュリティの概念から、実際の技術やツールを使った戦術的な戦略までを網羅しています。

到達目標
・サイバーセキュリティの基礎知識を修得できる。
・ネットワーク防御・セキュリティ運用の基礎を修得できる。
・倫理的ハッキング・デジタルフォレンジックの初歩知識を修得できる。
・国際認定資格CCT試験の合格できる実力を身につけることができる。

対象者
・サイバーセキュリティの分野でキャリアをスタートさせたい方。
・サイバーセキュリティの基礎的な理解を深めたい方。

前提知識
・コンピュータとコンピュータネットワークの知識やITやネットワークに関する知識や経験があること。
・サイバーセキュリティに関する何らかのバックグラウンドの知識があること。

内 容
1. 情報セキュリティ上の脅威と脆弱性
2. 情報セキュリティ攻撃
3. ネットワークセキュリティの基礎
4. 識別、認証、認可
5. ネットワークセキュリティの制御：管理的コントロール
6. ネットワーク・セキュリティ・コントロール：物理的な管理
7. ネットワーク・セキュリティ・コントロール：技術的な管理
8. ネットワークセキュリティ評価技法とツール
9. アプリケーションセキュリティ
10. 仮想化・クラウドコンピューティング
11. ワイヤレスネットワークセキュリティ
12. モバイルデバイスセキュリティ
13. モノのインターネット（IoT）と運用技術（OT）セキュリティ
14. 暗号技術
15. データセキュリティ
16. ネットワークトラブルシューティング
17. ネットワークトラフィックの監視
18. ネットワークログの監視と分析
19. インシデントレスポンス
20. コンピュータ・フォレンジック
21. 事業継続とディザスターリカバリー
22. リスク管理

受講料 ¥198,000

eラーニング / コースコード SCE018

eラーニング 4時間

<eラーニング> 情報セキュリティリテラシー −セキュリティの必要性と対策−

情報システムの利用者が理解しておくべきセキュリティ上の対策の必要性、および基礎的なセキュリティ用語について学習します。

到達目標
・情報システムにおけるセキュリティの必要性について説明できる。
・情報システムの利用者が理解しておくべき、セキュリティ上のリスクとその対策方法を説明できる。
・基礎的な情報セキュリティ用語を説明できる。

対象者 情報セキュリティに関する基礎知識を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 情報セキュリティ概要
2. 通常業務におけるリスクと対策
3. Web利用におけるリスクと対策
4. メール利用におけるリスクと対策
5. コンプライアンス
6. 修了試験

受講料 ¥13,200

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

オンライン / コースコード SCV060 New

レクチャ 1日間

（PDU）ゼロトラスト・アーキテクチャ概論【アイ・ラーニング ライブ配信】PDU

近年、ネットワークのアークテクチャを中心に、インフラ設計におけるセキュリティを実現するための考え方に大きな変化が生じています。これは、一般にゼロトラストないしは、ゼロトラスト・セキュリティというコンセプトとして呼ばれています。このコースでは、ゼロトラストを概要編とソリューション編の2つのパートに分けて学習します。概要編では、ゼロトラストという考え方が出てきた背景および問題意識から、その基本的なアーキテクチャや守るべき原則、および、ゼロトラストを実現する手段について、全体像を把握することを目標とします。ソリューション編では、SASE（Secure Access Service Edge）を中心にゼロトラストに関連する具体的なソリューションを理解し、ゼロトラスト・アーキテクチャを実現するための手段と、その概要設計および移行の方法について学習します。なぜゼロトラストが必要とされているのか、それはどのような概念なのか、どのような機能が必要なのか、それはどのようにして実現が可能なのか、といった課題について理解を深めることができるようになります。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：7ポイント）の取得が可能です。

到達目標 ゼロトラストの考え方を取り入れた、現代的なITインフラを設計するための基本的な知識を身につけることができる。

対象者 セキュリティ担当者、SIerやセキュリティベンダ、IT顧問など、ITインフラやセキュリティにかかわる方。
※情報システム部門にかかわる全ての方にとっても必須となるスキルです。

前提知識 特に必要としません。ネットワーク、セキュリティ、アカウント管理、デバイス管理など、情報システムにかかわる実務を経験された方であれば、より深く内容を理解可能です。

内 容
1. 概要編：
   ・ゼロトラストが出てきた背景
   ・ゼロトラストのアーキテクチャ
   ・ゼロトラストの事例
   ・ゼロトラストの技術・製品
   ・机上演習と発表
2. ソリューション編：
   ・SASE（Secure Access Service Edge）のアーキテクチャ
   ・SASEの構成要素と機能
   ・ゼロトラストに関連するその他のソリューション
   ・SASEを使ったゼロトラストの設計方法論
   ・机上演習と発表

受講料 ¥77,000

eラーニング / コースコード SCE015

eラーニング 8時間

<eラーニング> 情報セキュリティマネジメント概説 −セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度−

情報セキュリティ維持、個人情報保護のための管理システムと情報セキュリティに関連する規格、法律制度など管理的対策に関する概要を学びます。

到達目標
・情報セキュリティ、コンプライアンスの概念を説明できる。
・情報セキュリティ維持、個人情報保護のマネジメントシステムの概要を説明できる。
・情報セキュリティに関連する規格、法律制度を説明できる。

対象者 情報システムを運用/管理する方、情報セキュリティを計画/立案する方。

前提知識 コンピュータシステムの基礎知識があること。

内 容
1. 情報セキュリティの概要
2. 情報セキュリティマネジメントの基本概念
   (1)情報セキュリティマネジメントの概要
   (2)情報セキュリティポリシーの概要
3. リスクマネジメント
   (1)リスクアセスメント
   (2)リスク対応
4. 情報セキュリティの維持
   (1)ISMS認証基準
   (2)インシデントレスポンス
5. 情報セキュリティ関連の法規と規格
   (1)個人情報保護
   (2)サイバー犯罪関連法規
6. 修了試験

受講料 ¥19,800

オンライン / コースコード SCV047

レクチャ 1日間

ケーススタディから学ぶ 情報セキュリティリスクマネジメント【バーチャル・クラスルーム】

部門の情報セキュリティマネジメントを構築するための基本事項・部門で守るべき情報資産の洗い出し・リスクアセスメントの実施、管理台帳の作成について、部門の情報セキュリティマネジメントの観点からケーススタディを通して修得します。

到達目標
・部門の情報セキュリティマネジメントの位置づけ、体制、構築対象、プロセスを説明できる。
・部門の情報資産の捉え方を理解し、リスクアセスメントができる。

対象者 情報セキュリティを計画・立案する方。

前提知識 「情報セキュリティマネジメント概説-セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 情報セキュリティマネジメントの構築
   (1)情報セキュリティ対策の基本
   (2)情報セキュリティ規程の体系と部門ルール
2. 情報資産の調査と分類、管理台帳
   (1)守るべき情報資産の洗い出し
   (2)情報資産の分類
3. リスクアセスメントの実施
   (1)リスクアセスメントの流れ
   (2)アプローチ方法と例
   (3)情報セキュリティ対策
4. ケーススタディ

受講料 ¥44,000

オンライン / コースコード SCV055

グループ演習 1日間

ケーススタディから学ぶ 情報セキュリティリスク対策【バーチャル・クラスルーム】

※このコースは、情報処理安全確保支援士の特定講習（資格更新のための民間講習）として認定されました（令和7年（2025年）度）。
このコースでは、ケーススタディを通じて、情報セキュリティ対策の具体的な立案方法を学習します。ケーススタディでは、脆弱性への対策、脅威への対策、残存リスクの評価などを行います。また併せて、対策立案時の実務におけるポイントやノウハウ（再利用可能な整理の仕方など）も解説します。

到達目標
・情報資産へのリスクに対し、適切なセキュリティ対策を立案できる。
・部門内の情報セキュリティ担当・管理者が、主体的に作業を推進できる。

対象者 情報セキュリティの対策を立案する方。

前提知識
・情報資産の洗い出しとリスクアセスメント（リスク査定）の経験があること。
・情報セキュリティマネジメントの構築または運用に関連した業務の経験があること。
・「ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
・情報セキュリティに関する基本的な技術的要件を理解していること。

内 容
1. 講座の進め方
2. 状況設定
   (1)会社概要　(2)フロア図
   (3)組織と役割　(4)システム概要
   (5)システム論理構成　(6)ハードウェア構成
   (7)ソフトウェア構成　(8)PaaS構成
   (9)ショッピングサイト：顧客フロー
   (10)社内システム：利用用途
3. ケーススタディ
   (1)ケーススタディ概要
   (2)ケーススタディ1（情報セキュリティリスクの識別）
   (3)ケーススタディ2（情報セキュリティリスク対策の検討と選定）
   (4)ケーススタディ3（想定される攻撃に対する情報セキュリティリスク対策の検討）

受講料 ¥60,500

オンライン / コースコード SCV051

マシン実習 2日間

ネットワークセキュリティ対策実習 −FW／IDS／PKI−【バーチャル・クラスルーム】

実機を用いて、ネットワークセキュリティにおける攻撃手法および防御手法を学習します。

到達目標
・不正アクセスの手法や危険性が説明できる。
・ファイアウォールや侵入検知システムが構成できる。
・ユーザ認証の仕組みやTLS/SSLの動作が説明できる。

対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理する方。

前提知識 「情報技術者に求められるセキュリティの基礎 −ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編−Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 攻撃方法とセキュリティ対策
2. ファイアウォール
3. ユーザ認証
4. 侵入検知システム
5. 安全な通信の実現

受講料 ¥77,000

オンライン / コースコード SDV016

マシン実習 3日間

CND（認定ネットワークディフェンダー）【GSXライブ配信】

ネットワーク技術者やCSIRT担当者がITセキュリティインシデントの初期段階からセキュリティに関する防御～検出～対応～予測までのネットワークのセキュリティ問題に効果的に対処するための包括的なトレーニングです。企業や組織における事業の悪化を最小化し、リスクを排除することができるようにするためのスキル修得プログラムです。
※このコースは受講後6か月間iLabs（オンライン接続の仮想演習環境）を使用することができます。
※2023上よりv2対応となります。

到達目標 このコースの修了後に以下ができることを目標にしています。
・ネットワークのセキュリティ設計・構築・運用にかかわる知識の修得
・セキュリティインシデントの分析と対応方法の修得
・国際認定資格 認定ネットワークディフェンダー認定試験の合格

対象者 情報セキュリティ対策に必要なスキル修得をしたいネットワーク技術者および企業のCSIRT・SOC担当者の方。

前提知識 ネットワークの概念について基礎的な知識を有していること（2年以上のネットワークエンジニア経験）。あるいはCisco CCNA、CompTIA Security+等の資格保有者か同等のスキル保持者。

内 容
1. ネットワーク攻撃と防御戦略
2. ネットワークセキュリティ管理
3. 技術的なネットワークセキュリティ
4. ネットワーク境界セキュリティ
5. エンドポイントセキュリティ -Windowsシステム
6. エンドポイントセキュリティ -Linux
7. エンドポイントセキュリティ -モバイルデバイス
8. エンドポイントセキュリティ -IoT
9. アプリケーションのセキュリティの管理
10. データセキュリティ
11. エンタープライズ仮想ネットワークセキュリティ
12. エンタープライズクラウドネットワークセキュリティ
13. エンタープライズ無線ネットワークセキュリティ
14. ネットワークトラフィックの監視と分析
15. ネットワークログの監視と分析
16. インシデントレスポンスとフォレンジック調査
17. ビジネス継続性とディザスタリカバリ
18. リスク管理によるリスク予測
19. 攻撃表面分析による脅威評価
20. サイバー脅威インテリジェンスによる脅威予測

受講料 ¥360,800

オンライン / コースコード SCV059 New

CSA（認定SOCアナリスト）【GSXライブ配信】

マシン実習 3日間

SOCアナリストの育成するための3日間の講習とオンライン実習に詰め込んだ、効率の高いトレーニングおよび資格認定プログラムです。SOC 運用の基礎を網羅しており、「ログの管理と関連付け」、「SIEMの理解・運用」、「インシデント検出と対応」を修得する。

到達目標
- SOC運用の基礎を理解し、「ログの管理と関連付け」、「SIEMの理解・運用」、「インシデント検出と対応」を修得する。
- SOCプロセスを理解し、必要な時に上位のアナリストおよびCSIRTと協力した対応ができるスキルを修得する。
- 国際認定資格CSA試験に合格する。

対象者
- SOC（L1およびL2）業務を担当されている方。
- SOCアナリストをめざす方。
- ネットワークセキュリティエンジニアの方。
- セキュリティ運用者の方。

前提知識 ネットワークの概念・TCP/IPプロトコルスイート、セキュリティ技術（Firewall、IDS/IPSなど）、サイバー脅威などに関する基本的な理解を有していること。

内　容
1. セキュリティの運用と管理
2. サイバー脅威、IoC、攻撃手法の理解
3. インシデント、イベント、ロギング
4. SIEM（セキュリティ情報およびイベント管理）によるインシデント検知
5. スレットインテリジェンスによるインシデント検知の強化
6. インシデントレスポンス

受講料 ¥300,300

オンライン / コースコード SDV019 Renewal

CEH（認定ホワイトハッカー）【GSXライブ配信】

マシン実習 5日間

・セキュリティ脅威や手口を学ぶことにより、「現実の攻撃手法」を体系的に理解し、ホワイトハッカーとして「攻撃者視点」の判断力を養い、効果的に防御に生かすことを修得できるプログラムです。最新のケーススタディ、現在の傾向、クラウド、IoT／OTの専用モジュールで学習することができます。
※2025年6月よりv13対応となります。
・CEH受験料1回分、CEH Practical試験1回分が含まれています。
・v13のトピックスは、AIを使った攻撃手法とAIに対する攻撃についての項目が追加となっており、現在のトレンドに合わせたテーマとなっております。
・このコースは受講後6か月間iLabs（オンライン接続の仮想演習環境）を使用することができます。
・テキストは、オンライン電子テキストと、物理テキストが提供されます。
※このコースにはCEH認定試験を受けるためのバウチャーがついています。本コース受講後、各自でバウチャーを使用してCEH認定試験を受けることができます。

到達目標 本コース修了後に以下ができることを目標にしています。
- セキュリティ管理、セキュリティコントロールの知識修得とホワイトハッカーの倫理修得
- 各レイヤーの攻撃ツールの操作方法の修得、攻撃シナリオの理解、攻撃を回避する手法の修得
- 暗号化技術の理解、クラウドのさまざまな状況における攻撃者視点の理解
- 国際認定資格 認定ホワイトハッカー認定試験の合格

対象者
- 情報セキュリティの専門家／責任者／監査の方。
- Webサイト管理者の方。
- ホワイトハッカーをめざす方。

前提知識 サイバーセキュリティ技術に関するある程度のスキルを有していること（3～5年のセキュリティに関わる経験）。あるいは「CND（Certified Network Defender）」コースを修了していること。

内　容
1. ホワイトハッキングの紹介
2. フットプリンティングと調査
3. ネットワークの診断
4. 列挙（Enumeration）
5. 脆弱性解析
6. システムハッキング
7. マルウェアの脅威
8. スニッフィング
9. ソーシャルエンジニアリング
10. サービス拒否（DoS）
11. セッションハイジャック
12. ファイアウォール、IDS、ハニーポットの回避
13. Webサーバへのハッキング
14. Webアプリケーションへのハッキング
15. SQLインジェクション
16. ワイヤレスネットワークのハッキング
17. モバイルプラットフォームへのハッキング
18. IoT／OTへのハッキング
19. クラウドコンピューティング
20. 暗号技術

受講料 ¥651,200

オンライン / コースコード SDV007

セキュリスト（SecuriST）認定Webアプリケーション脆弱性診断士【GSXライブ配信】

マシン実習 2日間

セキュアなWebサイト構築のためのセキュリティテストとして、適切なWebアプリケーション脆弱性診断の実施が必要なことは知られてきました。しかし、脆弱性診断を自動化するツールはさまざまなものがありますが、自動診断ツールが発見した脆弱性を修正するだけでは不十分です。これは多くの脆弱性診断会社の診断サービスが、いまだに経験を積んだ診断員の手作業を交えて診断を行っていることからもわかるかと思います。認定Webアプリケーション脆弱性診断士（Web application Security Testing）は、Webアプリケーション脆弱性診断に取り組むために必要な攻撃技術の知識、診断技術や脆弱性判定の基準などを修得、認定することを目的にしています。

到達目標
- Webシステム、Webアプリケーション脆弱性について説明できる。
- 脆弱性を発見するための手段やツールについて説明できる。
- 脆弱性かどうかを判定する基準を説明できる。
- 発見した脆弱性をどのように報告すればよいか判断できる。

対象者
- 脆弱性診断の技術を身につけたいが何から始めて良いかわからないといった悩みを持っている方。
- イントラネット／インターネット向けのWebシステム／Webアプリケーションに関わる方。

前提知識 開発言語を使ったプログラム経験があること（例：VB、C++、PHPなど）。
※ご経験がない方もご受講いただけます。

内　容
1. Webアプリケーションの脅威とその攻撃手法
   (1) 脆弱性とセキュリティ機能の不足
   (2) Webサイトへの攻撃とその特長
   (3) HTTPの基礎
   (4) Webアプリケーションへの攻撃手法
2. 脆弱性診断の実施
   (1) Webアプリケーション脆弱性診断の実施手順
   (2) 自動と手動の診断手法
   (3) 自動診断ツールの得意分野と不得意分野
   (4) 注意すべき診断ツールの設定
   (5) 診断結果の検証
   (6) 診断リスト（テストケース）の作成
   (7) 脆弱性診断の診断方法と脆弱性の有無の判定方法
   (8) 脆弱性診断の診断対象の選び方
   (9) 報告書の作成
   (10) 診断会社の業務における脆弱性診断
3. 脆弱性診断演習
   (1) 診断ツールのセットアップ
   (2) 自動診断ツールの使い方
   (3) 手動診断補助ツールの使い方
   (4) 各脆弱性に対応した診断方法
   (5) 実際の診断業務を想定した演習

受講料 ¥220,000

オンライン / コースコード SCV069

サイバー攻撃対応コミュニケーション訓練（ITシステム編）【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 0.5日間

ITシステムのセキュリティインシデントを疑似体験するコースです。参加者は、事業責任者、システム担当者、広報などになり代わり、セキュリティインシデントのボードゲームを通して、インシデント発生時の迅速な意思決定、関係者とのコミュニケーションを疑似体験します。

到達目標 サイバー攻撃に伴うインシデント発生時の初動対応ができる。

対象者
- セキュリティインシデントの対応についての基礎知識を必要とする方。
- ITシステムを運用・管理している方。
- ITシステムを利用している方、または部門のセキュリティ担当の方。

前提知識 ITに関する基礎的な知識があること。

内　容
1. セキュリティインシデントとは
2. グループワークによるコミュニケーション訓練
3. 各グループ発表
4. 講評

受講料 ¥31,900

オンライン / コースコード SDV008

セキュリスト（SecuriST）認定ネットワーク脆弱性診断士【GSXライブ配信】

マシン実習 2日間

ネットワークシステムのセキュリティ上の弱点を発見するには、セキュリティスキャナーなどのツールによる診断は効果的な方法の1つです。しかし、セキュリティスキャナーで発見できる問題は全体の一部だけです。実際の攻撃者はもっと多くの情報を収集し、システムを攻撃しようとします。認定ネットワーク脆弱性診断士（Network Security Testing）は、ネットワーク脆弱性を適切に、かつ効率的に発見するために必要な知識、診断技術、リスクの算出方法などを修得、認定することを目的にしています。

到達目標
- ネットワークシステムの脆弱性について説明できる。
- どの範囲まで、どのレベルまで脆弱性を探せば適切なのか判断できる。
- 脆弱性を発見するための手段やツールについて説明できる。
- 発見した脆弱性がどのぐらいのリスクなのか判断できる。

対象者
- 脆弱性診断の技術を身につけたいが何から始めて良いかわからないといった悩みを持っている方。
- イントラネット／インターネット向けのネットワークシステムに関わる方。

前提知識
- OSのインストール経験があること（例：WindowsやLinux、MacOSなど）。
- ホームルーターの設定経験があること。
※ご経験がない方もご受講いただけます。

内　容
1. ネットワーク脆弱性診断の基礎知識
   (1) 診断対象となるシステムについて
   (2) 診断で得られる情報　(3) 診断についての推奨事項
   (4) 診断実行者の役割と責任
2. フットプリンティング／OSINT
   (1) 公開された情報のチェック
   (2) OSINT（Open Source Intelligence）
   (3) IPアドレスの登録情報　(4) DNS、WHOIS、命名規則
   (5) 検索エンジン、GHDB　(6) 公式Webサイト
   (7) DNS環境のチェック
3. ポートスキャン／ネットワークスキャン
   (1) ポートスキャン／ネットワークスキャンの目的
   (2) スキャン実行後の対応　(3) 診断対象リストの作成
   (4) スキャンの実行　(5) スキャンとファイアウォール
4. アカウントの検査
   (1) アカウント名の列挙　(2) 認証強度の確認
   (3) デフォルトアカウント・パスワード
   (4) パスワードクラッカー
5. セキュリティスキャナー
   (1) セキュリティスキャナーの機能
   (2) セキュリティスキャナーの問題点
   (3) セキュリティスキャナーの使い方
   (4) 発見した脆弱性の存在を確認
6. レポート
   (1) 診断報告書に関する要件　(2) 報告書の内容
   (3) 脆弱性情報の情報源　(4) 脆弱性の深刻度の評価

受講料 ¥220,000

オンライン / コースコード SDV018

CHFI（デジタルフォレンジック）【GSXライブ配信】

マシン実習 4日間

デジタルフォレンジックを体系的に学び、調査分析プロセスの全体感を理解することでアラート発生時に適切かつ迅速に痕跡を見つけ、分析・判断ができるスキルを修得する講習＋ハンズオンのコースです。

到達目標
- インシデント発生時、適切な初動を行うために、広範囲に渡る調査に関する勘所をおさえる。
- さまざまなほとんどの範囲でカバーするフォレンジック調査のシナリオとテクニックをサイバーレンジ演習環境で実習し実践力を修得する。
- インシデント対応におけるフォレンジックの役割、レポートの作成方法、証拠データの取扱について体系化された知識とスキルを修得する。
- 国際認定資格CHFI試験に合格する。

対象者
- セキュリティ部門でスキルアップをされたい方。
- デジタルフォレンジックに関わっている方。
- 今後デジタルフォレンジックを担当される方。

前提知識 インシデント対応に関する基本的な知識や理解、ネットワークの概念についての基礎的な知識を有していること。
例：ネットワーク技術・運用で2～3年程度の経験、Cisco CCNA、CompTIA Security+、EC-Council CNDの資格保持者または同等のスキル保持者。

内　容
1. 今日の社会におけるコンピュータフォレンジック
2. コンピュータフォレンジック調査プロセス
3. ハードディスクとファイルシステムについて
4. データの取得と重複
5. 反フォレンジック技術を打ち破る
6. ウィンドウズフォレンジック
7. LinuxとMacフォレンジック
8. ネットワークフォレンジック
9. Web攻撃の調査
10. ダークウェブフォレンジック
11. データベースフォレンジック
12. クラウドフォレンジック
13. 電子メールの犯罪の調査
14. マルウェアフォレンジック
15. モバイルフォレンジック
16. IoTフォレンジック

受講料 ¥445,500

eラーニング / コースコード SCE011

<eラーニング> サイバー攻撃対応基礎（知識修得編）

eラーニング 3時間

サイバー攻撃に関して最低限必要な基礎知識の解説と、インシデント発生時の対応方法を解説します。

到達目標
- サイバー攻撃に伴う予防の対応を説明できる。
- サイバー攻撃に伴うインシデント発生時の初動の対応を説明できる。

対象者 情報システムを運用・管理する方。

前提知識 ITに関する基礎的な知識があること。

内　容
1. 基礎知識修得編
   (1) 日常業務での注意点
   (2) サイバー攻撃への対処
   (3) 開発時の注意点
   (4) 脆弱性情報の収集と対策検討
   (5) インシデント発生時の備え
   (6) まとめ
2. 体験学習編
   (1) 標的型攻撃による情報漏えい
   (2) ランサムウェア感染による業務妨害
   (3) Webアプリケーションの脆弱性とサービス妨害攻撃
   (4) 内部不正、過失による自社からの情報漏えい
   (5) サイバー攻撃を防ぐために

受講料 ¥11,000

プラットフォーム（Linux/Microsoft）

LinuxやMicrosoft製品を用いたシステム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

UNIX/Linuxを使用してシステムを構築・運用・管理する方

レベル1

- UXV083 オンライン — UNIX/Linux 基礎 −コマンド編− — マシン実習 2日間
- UXV090 オンライン — UNIX/Linux 基礎 −シェルスクリプト編− — マシン実習 2日間
- UXE013 eラーニング — 【マシン演習付き】UNIX/Linux基礎 −コマンド編− — 音声なし 説明文有 8時間

レベル2

- UXE011 eラーニング — 基本OSアーキテクチャ解説 — 音声なし 説明文有 6時間
- UXV085 オンライン — Linuxシステム管理 前編 −Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎− — マシン実習 2日間
- UXV030 オンライン — Linuxシステム管理 後編 −システム起動の仕組みとディスク管理技術− — マシン実習 2日間
- UXE015 eラーニング — 【マシン演習付き】Linuxシステム管理 前編1 −ユーザ/ネットワーク管理− — 音声なし 説明文有 8時間
- UXE016 eラーニング — 【マシン演習付き】Linuxシステム管理 前編2 −パッケージ/ログ管理とセキュリティ− — 音声なし 説明文有 8時間
- UXV080 オンライン — Linuxトラブルシューティング — マシン実習 2日間
- UXE009 eラーニング — （詳解）Linuxシステム管理 −システム管理・パフォーマンス管理・仮想化を深く知りたい方へ− — 音声なし 説明文有 55時間

レベル3

OSSを使用してシステムを構築・運用・管理する方

レベル1

- UXE004 eラーニング — オープンソースソフトウェア(OSS)概説 — 音声なし 説明文有 3時間

レベル2

- UXV085 オンライン — Linuxシステム管理 前編 −Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎− — マシン実習 2日間
- UXV081 オンライン — OSSによるWebシステム構築入門−Linux、Apache、PostgreSQL、PHP− — マシン実習 2日間
- UXE010 eラーニング — Kubernetesはじめの一歩 — 音声なし 説明文有 10時間
- UXE006 eラーニング — Kubernetes基礎 — 音声有 説明文有 35時間
- CLV020 オンライン — サーバ仮想化／コンテナ仮想化技術解説 — レクチャ 1日間
- CDV024 オンライン — 触れて学ぶコンテナ基礎【アイ・ラーニング ライブ配信】 — マシン実習 1日間
- CLE011 eラーニング — 【マシン演習付き】コンテナ技術入門 — 音声なし 説明文有 7.5時間

レベル3

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

サーバ仮想化・コンテナ仮想化の基礎知識や技術を修得したい方

レベル1

レベル2

- CLV020 オンライン — サーバ仮想化／コンテナ仮想化技術解説 — レクチャ 1日間
- CDV024 オンライン — 触れて学ぶコンテナ基礎【アイ・ラーニング ライブ配信】 — マシン実習 1日間
- CDV025 オンライン — 触れて学ぶコンテナ実践 −Docker実践編−【アイ・ラーニング ライブ配信】 — マシン実習 1日間
- CLE011 eラーニング — 【マシン演習付き】コンテナ技術入門 — 音声なし 説明文有 7.5時間
- UXE010 eラーニング — Kubernetesはじめの一歩 — 音声なし 説明文有 10時間
- UXE006 eラーニング — Kubernetes基礎 — 音声有 説明文有 35時間
- クラウド
  - CLV005 オンライン — 実機で学ぶ！サーバ仮想化入門 −VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVM− — マシン実習 1日間

レベル3

Windows Serverを使用してシステムを構築・運用・管理する方

レベル1

レベル2

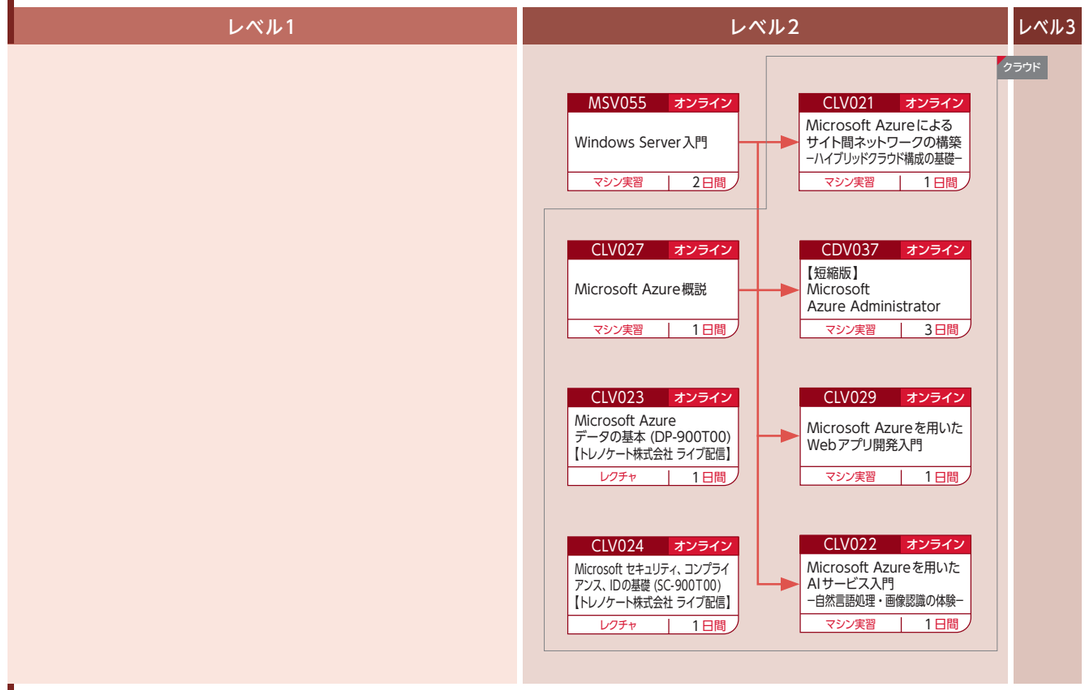
- MSV055 オンライン — Windows Server入門 — マシン実習 2日間
- MSV056 オンライン — Active Directory入門 — マシン実習 2日間
- MSV057 オンライン — Windows PowerShell入門 — マシン実習 1日間

レベル3

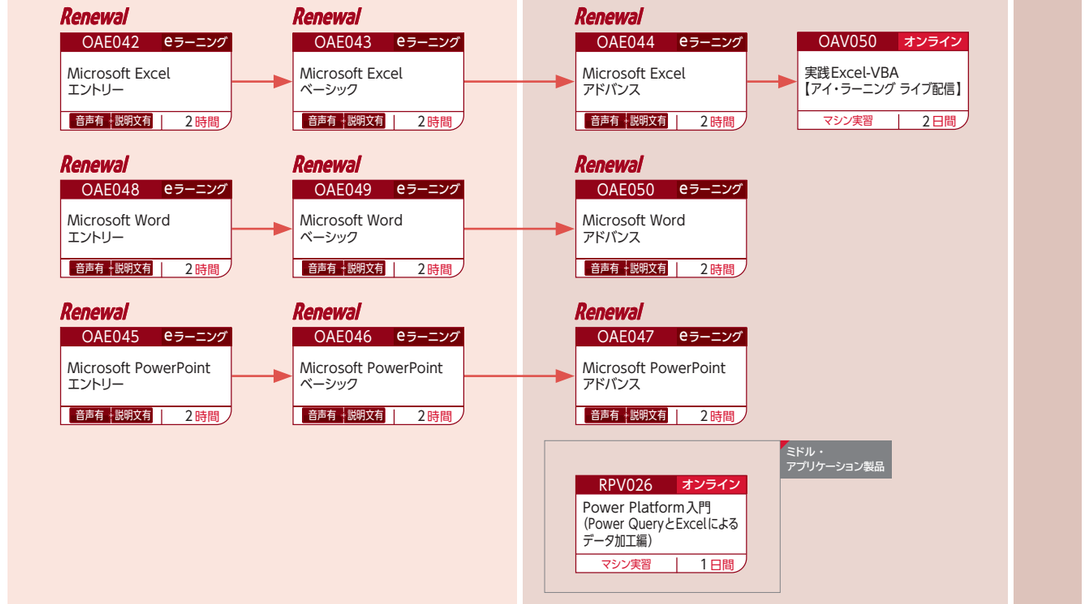
音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

開発 / 基盤
モダン開発（アジャイル開発含む）
開発工程全般・企画・設計
プログラミング・情報技術
品質・技法・信頼性
セキュリティ
プラットフォーム（Linux/Microsoft）
ITサービス

Microsoft Azureを使用してシステムを構築・運用・管理する方



Office製品をこれから使用する方



レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

オンライン コースコード UXV083

UNIX／Linux 基礎−コマンド編−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

UNIXおよびLinuxOSの基本機能とコマンドの基本操作を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・UNIX/Linuxの基本的な操作ができる。
・ネットワークの基本コマンドを実行できる。

対象者 UNIXまたはLinux OSの初心者の方で基礎から学習したい方。

前提知識 コンピュータの基礎知識があること。

内 容
1. UNIX/Linux概要
2. ファイルシステムとコマンド
3. ファイルとディレクトリのパーミッション
4. viエディタ
5. シェルの機能
6. UNIX/Linuxのネットワーク操作

受講料 ¥66,000

オンライン コースコード UXV090

UNIX／Linux 基礎−シェルスクリプト編−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

シェルスクリプトの作成に必要なプログラミング技術を修得するとともに、シェルの機能をより深く理解することができます。

到達目標
・シェルスクリプト作成に必要なプログラミング技術を説明できる。
・シェルの機能を説明できる。

対象者 UNIX/Linuxでシェルスクリプトの作成をする方、またはシステムの管理者の方。

前提知識 「UNIX／Linux基礎−コマンド編−」eラーニングコース／コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. シェルとシェルスクリプトの概要
2. パラメータの取り扱い
3. 算術評価と文字列操作
4. 制御文（分岐/繰り返しなど）
5. 関数の利用
6. 実践的なシェルスクリプト

受講料 ¥79,200

eラーニング コースコード UXE013

<eラーニング>【マシン演習付き】UNIX／Linux基礎−コマンド編−

eラーニング 8時間

UNIX/Linuxの基本的なコマンドの機能、使用方法を学習します。

到達目標
・UNIX/Linuxの基本的な操作ができる。
・ネットワークの基本コマンドを実行できる。

対象者 UNIX/Linux初心者の方で、基礎から学習したい方。

前提知識 オペレーティングシステム、およびネットワークに関する基本的な知識があること。

内 容
1. UNIX/Linux概要
2. ファイルシステムとコマンド
3. ファイルとディレクトリのパーミッション
4. viエディタ
5. シェルの機能
6. UNIX/Linuxのネットワーク操作
7. 修了試験

受講料 ¥39,600

eラーニング コースコード UXE011

<eラーニング>基本OSアーキテクチャ解説

eラーニング 6時間

Linuxを例にして、OSの仕組み全般について学習します。

到達目標
・OSの仕組みを意識してソフトウェアを開発できる。
・ハードウェアが抽象化されることで簡単にプログラミングできることを説明できる。
・効率的なプログラム設計やトラブル対処ができる。

対象者 OSの仕組み全般を学習する必要がある方や、組み込み系担当者の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. オペレーティングシステムの概要
2. プロセス
3. メモリ
4. ファイル
5. ネットワーク

受講料 ¥15,400

オンライン コースコード UXV085

Linuxシステム管理 前編 −Linuxインストールとシステム／ネットワーク管理の基礎−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

Linuxシステムの管理や運用に必要な基礎知識を学習します。また、マシン実習を通して、ユーザ管理、およびネットワーク設定方法などのシステム管理作業を体験します。

到達目標
・Linuxをインストールできる。
・Linuxシステムの運用・管理で必要となる、ユーザ管理、パッケージ管理およびログ管理などができる。
・Linuxにてネットワークを利用するための設定ができる。

対象者 Linuxシステムを初めて運用・管理する方。

前提知識 「UNIX/Linux基礎−コマンド編−」コース、「【マシン演習付き】UNIX/Linux基礎−コマンド編−」eラーニングコースのいずれか、および「ネットワーク基礎Ⅱ−TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Linuxシステム管理の基礎
2. Linuxのインストール
3. ネットワークの基本設定とサービスの制御
4. ユーザ/グループ管理とパーミッション
5. パッケージ管理
6. ジョブスケジューリング
7. ログの取得と管理
8. セキュリティ

受講料 ¥99,000

オンライン コースコード UXV030

Linuxシステム管理 後編 −システム起動の仕組みとディスク管理技術−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

Linuxシステムの起動の方法、およびディスク管理に必要な知識を学習します。また、マシン実習を通して、ファイルシステムの構築方法やLVMのディスク管理方法を体験します。

到達目標
・Linuxシステムの起動の仕組みを説明できる。
・新規にパーティションやファイルシステムの作成ができる。
・LVMやiSCSIによる高度なディスク管理ができる。

対象者 Linuxシステムを運用・管理する方。

前提知識 「Linuxシステム管理前編−Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. システムの起動
2. ファイルシステムの作成と管理
   (1)ファイルシステムの作成の手順
   (2)ファイルシステムの修復
   (3)ファイルシステムの管理
   (4)ファイルシステムの使用量の制限
3. バックアップとリストア
4. LVM概要と環境構築
5. LVMの管理
   (1)LVMの特性変更
   (2)LVMの拡張
   (3)LVMの縮小
   (4)LVMの削除
6. iSCSI
   (1)ストレージの共有
   (2)iSCSIとは
   (3)iSCSIの設定

受講料 ¥77,000

開発/基盤
クラウド
モダン開発（アジャイル開発含む）
開発工程全般・企画・設計
プログラミング・情報技術
品質・技法・信頼性
セキュリティ
プラットフォーム（Linux/Microsoft）
ITサービス

eラーニング コースコード UXE015

<eラーニング>【マシン演習付き】Linuxシステム管理 前編1 −ユーザ／ネットワーク管理−

eラーニング 8時間

Linuxシステムの管理や運用に必要な基礎知識を学習します。また、マシン実習を通してユーザ管理、およびネットワーク設定方法などのシステム管理作業を体験します。

到達目標
・Linuxオペレーティングシステムの運用・管理ができる。
・Linuxネットワークの運用・管理ができる。

対象者 Linuxオペレーティングシステム、およびLinuxネットワークを運用・管理する方。

前提知識 「UNIX/Linux基礎ーコマンド編ー」コース、「【マシン演習付き】UNIX/Linux基礎ーコマンド編ー」eラーニングコースのいずれか、および「ネットワーク基礎 Ⅱ ーTCP/IPの仕組みー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 起動・終了とハードディスクの基礎
2. ユーザ／グループ管理とパーミッション
3. ネットワークの基本設定とサービスの制御

受講料 ¥56,100

eラーニング コースコード UXE016

<eラーニング>【マシン演習付き】Linuxシステム管理 前編2 −パッケージ／ログ管理とセキュリティー

eラーニング 8時間

Linuxシステムの管理や運用に必要な基礎知識を学習します。また、マシン実習を通してパッケージ管理、およびログ管理などのシステム管理作業を体験します。

到達目標
・Linuxオペレーティングシステムのパッケージ/ログ運用・管理ができる。
・Linuxシステム運用・管理をしていくうえで必要なセキュリティ知識を身につける。

対象者 Linuxオペレーティングシステムを運用・管理する方。

前提知識 「【マシン演習付き】Linuxシステム管理 前編1ーユーザ/ネットワーク管理ー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. パッケージ管理
2. ジョブスケジューリング
3. ログの管理
4. セキュリティ

受講料 ¥56,100

オンライン コースコード UXV080

Linuxトラブルシューティング【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

このコースではLinuxで発生するトラブルの原因分析方法と解決策を学習します。マシン実習では、運用中に実際に発生する可能性のあるトラブルを再現し、原因の分析と復旧作業を行います。

到達目標
・トラブル発生時の対応手順を説明できる。
・Linuxシステムのトラブル発生時に、緊急ブート手段でブートできる。
・Linuxシステムのトラブル発生状況から原因を究明し復旧できる。

対象者 Linuxシステムの運用／管理する方。

前提知識 「Linuxシステム管理後編ーシステム起動の仕組みとディスク管理技術ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. トラブルシューティング概要
 (1)トラブルの種類
 (2)トラブルシューティングの流れ
 (3)情報の収集手段
 (4)バックアップとリストア
 (5)トラブル発生時のLinux起動
2. ブート時のトラブルシューティング
 (1)ブートの仕組み
 (2)ブートデバイス関連のトラブルシューティング
 (3)ブートローダ関連のトラブルシューティング
 (4)init/systemd関連のトラブルシューティング
3. システム稼働中のトラブルシューティング
 (1)ログインの仕組み
 (2)ログイン関連のトラブルシューティング
 (3)ファイルシステムの仕組み
 (4)ファイルシステム関連のトラブルシューティング
4. ネットワークのトラブルシューティング
 (1)ネットワークコマンドと設定ファイル
 (2)ネットワークトラブルの原因と調査方法
 (3)ネットワーク設定関連のトラブルシューティング

受講料 ¥88,000

eラーニング コースコード UXE009

<eラーニング>（詳解）Linuxシステム管理 −システム管理・パフォーマンス管理・仮想化を深く知りたい方へ−

eラーニング 55時間

主要なLinuxディストリビューション（Red Hat / CentOS / Fedora、Debian / Ubuntu）におけるLinuxシステムの管理・設定・アップグレードの方法を学びます。また、本番環境でのLinuxインフラを効率的に構築・管理するために必要なツールと概念についても学びます。Linux Foundation Certified Systems Administrator（LFCS）認定テストの受験対策としても役に立ちます。
※このコースは、Linux Foundation認定のコース「原題：Linux システム管理基礎（LFS207-JP）」と同一コンテンツとなります。

到達目標
・Linuxファイルシステムの概要と仕組みを説明できる。
・ディスクとパーティション管理の概要を説明できる。
・プロセスとその扱い方を説明できる。
・パッケージ管理についての説明と操作ができる。
・システムのパフォーマンス監視の基本とツールを理解できる。
・論理ボリューム管理（LVM）、ディスク暗号化、RAIDについて説明できる。
・コンテナを含む仮想化の概要を説明できる。
・ユーザとグループ管理を説明できる。
・ファイルのパーミッション、認証モジュール（PAM）について説明できる。
・ネットワーク管理の基本を説明できる。
・システムの起動と初期化、シャットダウンの仕組みと操作を説明できる。
・Linuxシステムのバックアップと復旧の概要を説明し操作できる。
・Linuxシステムのセキュリティについての概要を説明できる。
・Linuxのトラブルシューティングとシステムレスキューの概要を説明できる。

対象者
・IT初級者の方、またはLinux以外のOS使用経験があるが、これからLinuxシステム管理に携わりたい方。
・クラウド上のサーバの基礎としてのLinux管理について知識を得たいクラウドサービス利用経験者の方。
・Linuxシステム管理 前編または後編コースを修了後、さらなるステップアップをめざしたい方。

前提知識 「【マシン演習付き】UNIX/Linux基本使用法ーコマンド編ーJeラーニングコース、または「UNIX/Linux 基礎ーコマンド編ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。かつ、「ネットワーク基礎 Ⅱ ーTCP/IPの仕組みーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 内容はWebサイトにてご確認ください

受講料 ¥36,300

eラーニング コースコード UXE004

<eラーニング> オープンソースソフトウェア（OSS）概説

eラーニング 3時間

OSSのビジネスモデルや活用領域の紹介を通して、さまざまな分野におけるOSSの利活用手法の基礎を学習します。

到達目標
・OSSの概要を説明できる。
・OSSの活用方法を説明できる。
・OSSが活用されている分野を理解できる。

対象者
・OSSの概要を修得したい方。
・OSS関連事業に従事する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. OSSとは
2. OSSの活用領域
3. OSS活用におけるコンプライアンス

受講料 ¥9,900

オンライン コースコード UXV081

OSSによるWebシステム構築入門 −Linux、Apache、PostgreSQL、PHP−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

OSSからアプリケーションソフトウェアまで、OSSのみ使用したWebシステムの構築方法を学習します。また、OSSを利用する時の注意事項やDBサーバの構築方法なども学習します。

到達目標 Linux上で、Apache、PostgreSQL、PHPを使ったWeb・DB連携システムを構築できる。

対象者 OSSでWebシステムを構築する方。

前提知識 「Linuxシステム管理前編ーLinuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. オープンソースソフトウェア（OSS）概要
2. Linux
3. Apache
4. PostgreSQL
5. PHP

受講料 ¥77,000

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

eラーニング コースコード UXE010

<eラーニング> Kubernetesはじめの一歩

eラーニング 10時間

・このコースは、クラウドネイティブ技術の概要とコンテナオーケストレーションの詳細を学びます。さらに、Kubernetesのハイレベルなアーキテクチャ、コンテナオーケストレーションの課題についても言及します。また分散環境におけるアプリケーションのデリバリーおよび監視方法、コンテナオーケストレーションがレガシー環境とどのように異なるかなどについても説明します。
・このコースは、Kubernetes and Cloud Native Associate（KCNA-JP）認定試験対策として設計されています。

到達目標
・クラウドネイティブアーキテクチャの概要を説明できる。
・コンテナオーケストレーションの概要を説明できる。
・Kubernetesの基本機能と操作の概要を説明できる。

対象者 クラウドネイティブ技術とコンテナオーケストレーションを初めて学ぶ開発者、システム管理者、システムアーキテクト、マネージャーの方。

前提知識 Linuxの概要知識、Linuxコマンドラインの経験、パッケージマネージャ、GitとGitHubの基礎知識、クラウドとKubernetesの基礎知識があること。

内 容
1. コースの紹介
2. クラウド ネイティブ アーキテクチャ
3. コンテナ オーケストレーション
4. Kubernetes基礎
5. Kubernetesの操作
6. クラウド ネイティブ アプリケーションのデリバリー
7. クラウド ネイティブの可観測性

受講料 ¥15,400

eラーニング コースコード UXE006

<eラーニング> Kubernetes基礎

eラーニング 35時間

このコースは、Google等の企業がアプリケーションインフラを管理するために利用しているコンテナ管理プラットフォーム"Kubernetes"の利用法を教授します。Kubernetesの起源から高レベルのアーキテクチャ、API、基本概念に至るまでをカバーしており、このコースの受講により複雑なアプリケーション構築が可能な程度までの知識を得ることができます。

到達目標
・Kubernetesの起源から高レベルのアーキテクチャ、API、基本概念に至るまでを理解できる。
・複雑なアプリケーション構築が可能な程度までの知識を得ることができる。

対象者 Kubernetesの全般的な基礎知識を得たいシステムエンジニア、ソフトウェア開発者の方。

前提知識 基本的なLinuxコマンドラインの知識とコンテナに関する基礎知識（Docker等）があること。

内 容
1. コースイントロダクション
2. Kubernetesの基本
3. インストールと構成
4. Kubernetesのアーキテクチャ
5. APIとアクセス
6. OPIオブジェクト
7. デプロイメントでのステート管理
8. サービス
9. ボリュームとデータ
10. イングレス
11. スケジューリング
12. ロギングとトラブルシュート
13. カスタムリソース定義
14. Helm
15. セキュリティ
16. 高可用性

受講料 ¥36,300

オンライン コースコード CLV020

サーバ仮想化／コンテナ仮想化技術解説【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

・サーバ仮想化に関する基礎知識を学習します。
・コンテナ仮想化に関する基礎知識を学習します。
・OSS仮想化ソフトウェアに関する基礎知識を学習します。

到達目標
・サーバを仮想化するための技術概要・今後の動向を説明できる。
・コンテナ仮想化を支える技術を理解・説明できる。

対象者
・DXの基盤を支えるサーバインフラ・クラウドインフラに共通する仮想化テクノロジーを知りたいシステムアーキテクト、ソフトウェアエンジニアの方。
・仮想化システムの提案・構築をする方。

前提知識 「【マシン演習付き】UNIX/Linux基本使用法ーコマンド編ーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. サーバ/コンテナ仮想化の概要
 (1)サーバ仮想化
 (2)コンテナ仮想化
 (3)コンテナランタイム、コンテナオーケストレーション
 (4)クラウドネイティブ、サーバレス
2. インフラの仮想化を支える技術群
 (1)Intel VT、準仮想化、完全仮想化、Hardware仮想化
 (2)Infiniband、RDMA、Intel Persistent memory
 (3)SDN（AHV、NSX）、SDS（vSAN、NDFS、S2D）
3. OSS仮想化技術
 (1)Xen、QEMU、KVM
 (2)chroot、jail、LXC、Docker
 (3)CRI、CRI-O、runc
 (4)Google Borg、Kubernetes
 (5)Istio、Consul、Knative

受講料 ¥38,500

オンライン コースコード CDV024

触れて学ぶコンテナ基礎【アイ・ラーニング ライブ配信】

マシン実習 1日間

アプリケーション開発者に限らず、クラウドネイティブへの移行をめざす方々向けの基本スキル取得コースとして必要最低限な内容をコンパクトに提供するシリーズです。
このコースでは、初学者向けにコンテナ技術とDockerの概要からDockerの導入、コンテナおよびイメージの基本操作までコンテナ技術の基本動作原理とコンセプトをご説明します。

到達目標
・コンテナ技術の基本動作原理とコンセプトを理解する。
・Dockerの用途に応じた導入と基本的なコマンド操作が可能になる。
・目的に適したコンテナ・イメージの作成ができる。
・レジストリからのイメージの取得や共有ができる。
・マルチコンテナ環境のアプリケーション構築が可能になる。

対象者 システムのクラウドネイティブへの移行をめざす方、または開発者の方。

前提知識 基本的なLinuxの知識と操作スキルがあること。

内 容
1. コンテナ技術/Dockerの概要
2. Docker基礎
3. Docker導入
4. Dockerコンテナの基本操作
5. Dockerイメージの基本操作
6. ネットワーク
7. データ管理
8. Docker Compose

受講料 ¥55,000

オンライン コースコード CDV025

触れて学ぶコンテナ実践 −Docker実践編−【アイ・ラーニング ライブ配信】

マシン実習 1日間

Dockerの利用事例をベースとしてコンテナ技術の基礎を理解するとともに、docker-composeを利用したアプリケーション環境構築およびDockerfileの作成の演習を通して、自力でコンテナイメージを作成・公開することができるところまでを目標としています。

到達目標
・コンテナ（Docker）の利用事例を知り、活用方法を構想できる。
・サーバレスとDockerの活用方法が理解できる。
・docker-composeを利用してアプリケーション環境の構築ができる。
・Dockerのメリットデメリットを説明できる。
・Dockerのベストプラクティスを説明できる。
・自力でDockerfileを作成できる。
・既存アプリケーションをコンテナ化できる。

対象者
・コンテナ（Docker）技術スキルを振り返りたい方、身につけたい方。
・Dockerfileやdocker-composeファイルの作成方法を学習したい方。
・Kubernetesで作成するymlファイルの書き方を基礎から確認したい方。

前提知識
・「【マシン演習付き】コンテナ技術入門」eラーニングコースまたは「触れて学ぶコンテナ基礎」コースを修了しているか同等の知識がある方、もしくはDocker基本コマンド・操作が可能な方。
・コンテナ技術の概要が分かる方（Dockerfileの簡単な見方、Docker-composeの概念）
・Linuxの基本的なコマンド操作（ファイル操作、テキストエディタによる編集）が利用できる方。

内 容
1. Docker利用事例
 1.1. Dockerによるコンテナ納品
 1.2. これからのソフトウェア コンテナ納品のフロー
 1.3. サーバレスとコンテナ
 1.4. Dockerランタイムの今昔
 1.5. コンテナランタイムのお話
2. 午前演習
 2.1. 公開コンテナイメージからDocker Composeを利用してアプリケーション環境の構築
 2.2. GitLab Community Editionの構築
 2.3. Gitlab によるCI/CD
 2.4. Docker / Docker Composeの設計振り返り
3. 午後座学
 3.1. Dockerでできること・できないこと
 3.2. Dockerfile best practices
 3.3. コンテナの脆弱性検査 Docker Bench for Securityの導入
4. 午後演習1　Dockerfileを書くためのプラクティス
5. 午後演習2　既存アプリケーションのコンテナ化演習

受講料 ¥66,000

eラーニング コースコード CLE011

<eラーニング>【マシン演習付き】コンテナ技術入門

eラーニング 7.5時間

このコースは、コンテナ技術の基本知識と基本動作を学習します。マシン演習を通して、インストール、コンテナおよびイメージの基本操作を体験します。

到達目標
・Dockerをインストールできる。
・Dockerを動かす上で必要となる基本的なコマンド操作や、設定ファイルの作成ができるようになる。

対象者 はじめてコンテナ技術に触れる方。

前提知識 「Linux システム管理 前編ーLinux インストールとシステム／ネットワーク管理の基礎ー」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内 容
1. コンテナの仕組み/Dockerの概要
2. Dockerを構成する要素
3. Dockerのインストール
4. Dockerコンテナの操作
5. Dockerイメージの操作
6. コンテナのネットワーク
7. Docker Compose

受講料 ¥47,300

クラウド
モダン開発（アジャイル開発含む）
開発工程全般・企画・設計
プログラミング・情報技術
品質・技法・信頼性
セキュリティ
プラットフォーム（Linux/Microsoft）
ITサービス

オンライン / コースコード MSV055

マシン実習 2日間

Windows Server入門【バーチャル・クラスルーム】

Windows Serverを使用してWindowsシステムを構築・運用・管理するために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・Windows Serverの概要を説明できる。
・ローカルユーザー、ドメインユーザーを管理できる。
・ファイルサーバーを構成し、資源を管理できる。
・Windows Serverの監視とバックアップを実施できる。

対象者
・Windows Serverを使用してシステムを管理される方。
・Windows Serverの導入を検討している方。

前提知識 Windowsインターフェイスの十分な使用経験と、TCP/IPプロトコルに関する基礎知識があること。

内 容
1. Windows Serverの概要
2. Windows Serverのインストール
3. サーバー管理ツール
4. ワークグループ環境のアカウント管理
5. ドメイン環境のアカウント管理
6. ディスクの管理
7. アクセス許可の設定
8. ファイルサーバーの構築
9. サーバーの監視
10. サーバーのバックアップ

受講料 ¥82,500

オンライン / コースコード MSV056

マシン実習 2日間

Active Directory入門【バーチャル・クラスルーム】

Windows ServerにActive Directoryをインストールし、ドメインの構築・運用・管理をするために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・Active Directoryの概要と実装方法を説明できる。
・Active Directoryを使用してドメイン環境を管理できる。
・グループポリシーを実装できる。
・Active Directoryのバックアップと復元を実施できる。

対象者
・Active Directoryを使用してドメインの構築・管理をする方。
・Active Directoryの導入を検討している方。

前提知識「Windows Server入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Active Directoryドメインサービスの概要
2. Active Directoryドメインサービスの実装
3. Active Directoryドメインのオブジェクト管理
4. グループポリシーの実装と管理
5. サイトの構成
6. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元

受講料 ¥82,500

オンライン / コースコード MSV057

マシン実習 1日間

Windows PowerShell入門【バーチャル・クラスルーム】

PowerShellを用いたWindowsシステムの管理方法を、マシン実習を通して学習します。また、与えられた要件をもとにPowerShellスクリプトを作成する演習を用意し、実践的な力の強化に繋げます。

到達目標
・Windowsシステム上でPowerShellを使用するメリットを説明できる。
・PowerShellを使用して、Windowsシステムを設定・管理できる。

対象者
・PowerShellを用いて環境構築をしなければならないが、PowerShellの基礎的な内容をご存知ない方。
・PowerShellを用いて、業務を自動化し、効率化したい方。

前提知識 プログラミングの基本を理解し、「Windows Server入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Windows PowerShellの概要
2. 基本的な文法

受講料 ¥44,000

オンライン / コースコード OAV050

マシン実習 2日間

実践Excel−VBA【アイ・ラーニング ライブ配信】

Microsoft ExcelのVBAを活用したい方を対象としたコースです。Excelマクロや VBAを使った業務自動化プログラムの作り方を基本から取得できます。プロシージャの書き方、エラー対応などを実践的な操作・対応までカバーします。なお、演習環境/教材は、Excel 2013/2016/2019/Microsoft 365です。

到達目標
・マクロを使用して作業を自動化できる。
・オブジェクトやVisual Basicの制御構造を理解し、Excelの拡張機能を活用できる。

対象者 Microsoft ExcelのVBAを活用したい方。

前提知識
・Excelの基本的な操作ができること。
・計算式および初歩的な関数（SUM、IF、など）を使用できること。
・相対参照と絶対参照を使い分けることができること。
・「Excel 2019 アドバンス」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があることが望ましい。

内 容
（1日目）
1. VBAとは（VBAの利用）
2. マクロの記録と実行、マクロの編集
3. VBAの文法（オブジェクト）
4. 複雑な作業のマクロ化
（2日目）
5. マクロの一般化（デバッグ処理）
6. 条件分岐
7. 関数の作成（ユーザー定義関数）
8. エラーの処理

受講料 ¥66,000

eラーニング / コースコード OAE042 Renewal

eラーニング 2時間

<eラーニング> Microsoft Excel エントリー

Microsoft Excel の入門的な知識・操作方法を学習します。Microsoft Excel をほとんど触ったことのない方に向けて、画面や構成などを一から解説します。
※Microsoft365に準拠したバージョンを使用します。

到達目標
・データを入力できる。
・表の体裁を整えることができる。
・目的に応じて印刷できる。

対象者 Microsoft Excelを初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. Microsoft Excelの画面構成の基本
（1）Excelのホーム画面
（2）Excelの基本画面
（3）ブック、ワークシート、セル
2. データ入力の基本
（1）セルの選択、データの入力・編集
（2）オートフィル、オートコンプリート
（3）コピー、貼り付け
（4）セル、行、列の挿入と削除
（5）ワークシート名の入力、ワークシートの挿入・削除
（6）名前を付けて保存、上書き保存
3. 表の体裁を整える方法
（1）セル幅の変更、セルのスタイル、フォント
（2）中央揃え、セルを結合して中央揃え
（3）塗りつぶしの色、フォントの色、罫線
（4）セルの書式設定、書式のコピー・貼り付け
4. 目的に応じた印刷
（1）印刷プレビュー、印刷の向き、余白
（2）ページレイアウトビュー
（3）印刷、印刷範囲の設定、拡大縮小
（4）改ページプレビュー
5. その他の便利な機能
（1）ワークシート間でのセル参照
（2）検索、置換　（3）Microsoft search
（4）Excel97-2003ブックファイル形式での保存
（5）クイックアクセスツールバーのユーザー設定
（6）PDF

受講料 ¥7,700

eラーニング / コースコード OAE043 Renewal

eラーニング 2時間

<eラーニング> Microsoft Excel ベーシック

Microsoft Excel について、標準的な知識・操作方法を学習します。Microsoft Excel にあまり自信のない方に向けて、一般的な操作が一通りできるように解説します。
※Microsoft365に準拠したバージョンを使用します。

到達目標
・表計算機能を活用できる。
・グラフを作成できる。
・関数を利用できる。

対象者 Microsoft Excel の入門的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに標準的な知識を必要とする方。

前提知識「Microsoft Excel エントリー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 表計算機能の活用
（1）合計、セル参照を使った数式、平均
（2）相対参照、絶対参照
（3）通貨表示形式
（4）パーセントスタイル、小数点表示の桁設定
（5）表のコピー、セル参照の修正
（6）条件付き書式
（7）データバー、アイコンセット
2. グラフの作成
（1）折れ線グラフの作成
（2）おすすめグラフ
（3）グラフの種類の変更、体裁の調整
（4）軸の書式設定
（5）グラフデータの追加
（6）グラフのスタイル
（7）スパークライン
（8）グラフの印刷
（9）予測シートの作成
3. 関数の基礎知識
（1）SUM関数
（2）ROUNDDOWN関数
（3）XLOOKUP関数　（4）IF関数
（5）IFS関数
（6）アンパサンド（&）、TEXT関数
4. その他の便利な機能
（1）グループの設定　（2）コメント
（3）ウィンドウ枠の固定

受講料 ¥7,700

eラーニング / コースコード OAE044 Renewal

eラーニング 2時間

<eラーニング> Microsoft Excel アドバンス

Microsoft Excel について、発展的な知識や操作方法を学習します。Microsoft Excel をもっと使いこなしたい方に向けて、発展的な内容を解説します。
※Microsoft365に準拠したバージョンを使用します。

到達目標
・データベースを管理できる。
・マクロを作成できる。
・ウェブ用Excelを利用できる。

対象者 Microsoft Excel の標準的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに発展的な知識の学習を必要とする方。

前提知識「Microsoft Excel ベーシック」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
（1）Microsoft Excel とは
2. データベースの管理
（1）データベースの入力
（2）フィルター、データのソート
（3）ピボットテーブル、ピボットグラフ
（4）おすすめピボットテーブル
（5）ピボットテーブルの編集
（6）スライサー
（7）印刷タイトル
（8）テーブルスタイルとフィルターのクリア
3. マクロの作成
（1）マクロとは
（2）マクロの記録と実行
（3）マクロ有効ブックの保存
（4）フォームの活用
4. Excel VBA
（1）Visual Basicとマクロ
（2）Visual Basic Editor
（3）ステートメントの構成
5. ウェブ用Excel
（1）ウェブ用Officeの概要
（2）ウェブ用Excelの利用
（3）ブックの共有
6. その他の便利な機能
（1）ドキュメント検査
（2）アクセシビリティチェック

受講料 ¥7,700

eラーニング / コースコード OAE045 Renewal

eラーニング 2時間

<eラーニング> Microsoft PowerPoint エントリー

Microsoft PowerPoint の入門的な知識・操作方法を学習します。Microsoft PowerPoint をほとんど触ったことのない方に向けて、画面や構成などを一から解説します。
※Microsoft365に準拠したバージョンを使用します。

到達目標
・プレゼンテーションを構成できる。
・スライドの作成とデザインができる。
・図形や画像を挿入できる。

対象者 Microsoft PowerPoint を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 画面構成の基本
（1）PowerPointのホーム画面
（2）PowerPointの基本画面
（3）表示モード
2. プレゼンテーションの構成
（1）タイトルスライド
（2）新しいスライド、スライドのレイアウト
（3）スライドの移動、コピー、削除
（4）セクション
（5）名前を付けて保存、上書き保存　（6）印刷
3. スライドの作成とデザイン
（1）文字の入力、テキストボックス
（2）文字の書式設定　（3）スライドのテーマ
（4）ヘッダーとフッター、スライド番号
4. 図形や画像の挿入
（1）図形の挿入と配置
（2）図形の書式設定
（3）図形の結合
（4）図をファイルから挿入、図の書式設定
（5）オンライン画像
（6）SmartArt
5. その他の便利な機能
（1）グリッド線とガイド
（2）Microsoft search
（3）PowerPoint 97-2003プレゼンテーションファイル形式での保存
（4）クイックアクセスツールバーのユーザー設定
（5）PDF

受講料 ¥7,700

eラーニング / コースコード OAE046 Renewal

eラーニング 2時間

<eラーニング> Microsoft PowerPoint ベーシック

Microsoft PowerPoint について、標準的な知識・操作方法を学習します。Microsoft PowerPoint にあまり自信のない方に向けて、一般的な操作が一通りできるように解説します。
※Microsoft365に準拠したバージョンを使用します。

到達目標
・スライドショーの準備と実行ができる。
・表やグラフを挿入できる。
・マスターとテンプレートを活用できる。

対象者 Microsoft PowerPoint の入門的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに標準的な知識を必要とする方。

前提知識「Microsoft PowerPoint エントリー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. スライドショーの準備と実行
（1）スライドショー
（2）スライドへジャンプ
（3）スクリーン
（4）発表者ツール
2. 表やグラフの挿入
（1）グラフの挿入、グラフのスタイル、グラフのレイアウト
（2）リンク貼り付け
（3）表の挿入、表のスタイル
3. マスターとテンプレートの活用
（1）スライドマスター
（2）スライドマスターの書式変更
（3）PowerPointテンプレート
4. その他の便利な機能
（1）スポイト
（2）スクリーンショット
（3）動画への変換
（4）コメントの挿入

受講料 ¥7,700

eラーニング / コースコード OAE047 Renewal

eラーニング 2時間

<eラーニング> Microsoft PowerPoint アドバンス

Microsoft PowerPoint について、発展的な知識や操作方法を学習します。Microsoft PowerPoint をもっと使いこなしたい方に向けて、発展的な内容を解説します。
※Microsoft365に準拠したバージョンを使用します。

到達目標
・アニメーションを活用できる。
・動画を挿入、編集できる。
・ウェブ用PowerPointを利用できる。

対象者 Microsoft PowerPoint の標準的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに発展的な知識の学習を必要とする方。

前提知識「Microsoft PowerPoint ベーシック」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. アニメーションの活用
（1）アニメーションの設定
（2）アニメーションウィンドウ
（3）箇条書き、グラフ、図表のアニメーション
2. 動画の挿入、編集
（1）動画の挿入、編集
3. ウェブ版PowerPoint
（1）ウェブ版Microsoft365 アプリの概要
（2）ウェブ用PowerPointの利用
（3）ファイルの共有
4. その他の便利な機能
（1）パスワードによる閲覧・編集制限
（2）ドキュメント検査
（3）アクセシビリティチェック

受講料 ¥7,700

eラーニング / コースコード OAE048 Renewal

eラーニング 2時間

<eラーニング> Microsoft Word エントリー

Microsoft Word の入門的な知識・操作方法を学習します。Microsoft Word をほとんど触ったことのない方に向けて、画面や構成などを一から解説します。
※Microsoft365に準拠したバージョンを使用します。

到達目標
・文書を作成できる。
・文書の体裁を整えることができる。

対象者 Microsoft Word を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 画面構成の基本
（1）Wordのホーム画面
（2）Wordの基本画面
（3）Wordの編集記号
2. 文書作成の基本
（1）文字の入力、変換、入力モード
（2）文字の削除
（3）コピー、切り取り、貼り付け
（4）検索、置換
3. 文書の体裁を整える
（1）文字の書式変更
（2）文字の配置
（3）箇条書き、段落番号
（4）アイコンの挿入
（5）タブ
（6）インデント
（7）ページ設定
（8）段落、行間
（9）書式のコピー/貼り付け、書式のクリア
4. その他の便利な機能
（1）ナビゲーションウィンドウ
（2）Microsoft search
（3）Word 97-2003文書形式での保存
（4）クイックアクセスツールバーのユーザー設定
（5）PDF

受講料 ¥7,700

eラーニング / コースコード OAE049 Renewal

eラーニング 2時間

<eラーニング> Microsoft Word ベーシック

Microsoft Word について、標準的な知識・操作方法を学習します。Microsoft Word にあまり自信のない方に向けて、一般的な操作が一通りできるように解説します。
※Microsoft365に準拠したバージョンを使用します。

到達目標
・文書の保存と印刷ができる。
・表の作成ができる。
・文書の校閲ができる。

対象者 Microsoft Word の入門的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに標準的な知識を必要とする方。

前提知識「Microsoft Word エントリー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 文書の保存と印刷
（1）名前を付けて保存、上書き保存
（2）印刷
2. 表の作成
（1）表の挿入
（2）表のレイアウト
（3）表のデザイン
3. 文書の校閲
（1）スペルチェックと文章校正
（2）変更履歴、変更箇所
（3）コメント
4. その他の便利な機能
（1）ヘッダーとフッター
（2）PDF編集

受講料 ¥7,700

eラーニング　コースコード OAE050　Renewal

<eラーニング>
Microsoft Word アドバンス

eラーニング 2時間

Microsoft Word について、発展的な知識や操作方法を学習します。Microsoft Word をもっと使いこなしたい方に向けて、発展的な内容を解説します。
※Microsoft365に準拠したバージョンを使用します。

到達目標
・図形や画像を挿入できる。
・長文文書を作成できる。
・ウェブ用Wordを利用できる。

対象者
Microsoft Word の標準的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに発展的な知識の学習を必要とする方。

前提知識
「Microsoft Word ベーシック」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 図形や画像の挿入
　(1)図形の挿入
　(2)画像をファイルから挿入、画像の書式設定
　(3)オンライン画像
　(4)SmartArt
　(5)テキストボックス
2. 長文文書作成のサポート
　(1)見出し
　(2)相互参照
　(3)目次の作成
　(4)ウィンドウの分割
3. ウェブ版Word
　(1)ウェブ版Microsoft 365アプリの概要
　(2)ウェブ用Wordの利用
　(3)ファイルの共有
4. その他の便利な機能
　(1)閲覧モード
　(2)ドキュメント検査
　(3)アクセシビリティチェック

受講料　¥7,700

ITサービス

情報システムを活用し、ビジネスを支援するITサービスの業務プロセスを管理・改善するITサービスマネジメントの基礎知識・手法が修得できます。

ITサービスに関わる業務に携わる方

レベル1	レベル2	レベル3
	サービス ITE011 eラーニング SLAにおけるサービスレベル設計の基礎 音声なし 説明文有 | 4時間	

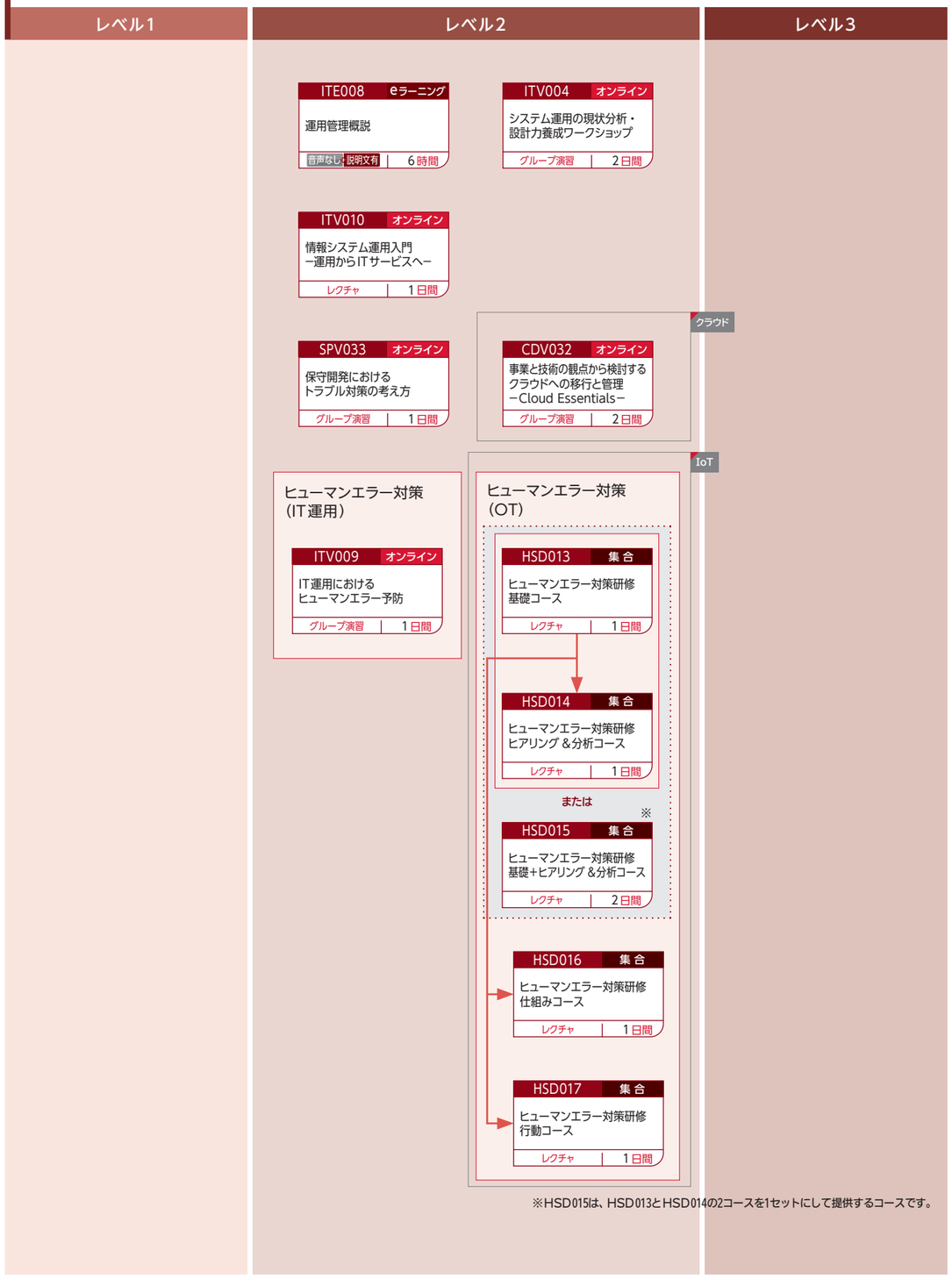
ITIL®に関する知識を修得したい方

レベル1	レベル2	レベル3
	PDU ITV017 オンライン ITIL®4ファンデーション（受験バウチャーチケット付き） レクチャ | 2日間 または PDU ITE010 eラーニング ITIL®4ファンデーション（受験バウチャーチケット付き） 音声有 説明文有 | 10時間	

■ITIL® はPeopleCert group の登録商標であり、PeopleCert Group の許可のもとに使用されています。すべての権利は留保されています。

PDU ：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。3年間で60PDUが必要です。
レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

ITシステムの運用に関わる業務に携わる方



※HSD015は、HSD013とHSD014の2コースを1セットにして提供するコースです。

資格 ITIL®認定資格

ITIL®［Information Technology Infrastructure Library］は、英国政府が作成したITサービスマネジメントのベストプラクティスがまとめられた書籍です。
ITIL®は、システム運用管理を中心とした幅広い分野で広く利用され、現在、ITサービスマネジメントの世界的な業界標準として普及しています。
ITIL®認定資格は、ITIL®をベースとしたITサービスマネジメントに関するスキルを証明する資格です。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/itil.html

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

オンライン ｺｰｽｺｰﾄﾞ ITV017

ITIL®4ファンデーション（受験バウチャーチケット付き）【バーチャル・クラスルーム】PDU

レクチャ 2日間

ITIL®4は、ITサービスマネジメントのベストプラクティスです。このコースでは、用語や概念からITIL®4のコアコンセプトを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：14ポイント）の取得が可能です。
※認定試験はご自身で試験センターへお申し込みいただきます。
※受講後に配布される受験バウチャーチケットの利用可能範囲は日本国内限定です。

到達目標
- ITサービスマネジメントの主要なコンセプトを説明できる。
- 組織が、従うべき原則の支援を受けながらどのようにITIL®サービスマネジメントを適用し、適応できるかを説明できる。
- ITIL®サービスマネジメントの4つの側面を説明できる。
- ITIL®サービスバリューシステムの目的と構成要素、サービスバリューチェーンの活動、ならびにそれらの関連性を説明できる。
- 継続的改善の主要なコンセプトを説明できる。
- ITIL®プラクティスについて学び、それらがバリューチェーンの活動にどう貢献するかを説明できる。

対象者
- サービスマネジメント分野において第一歩を踏み出したいと考えている、ITおよび事業部門双方の方。
- 旧来のITIL®や類似したベストプラクティスについて知識を有しており、ITIL®4について学びたいと考えている方。
- ITIL®ファンデーション資格の取得をめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. サービスマネジメント・主要なコンセプト
2. 従うべき原則
3. サービスマネジメントの4つの側面
4. サービス・バリューシステム
5. 継続的改善
6. ITIL®プラクティスの概要

受講料 ¥144,100

eラーニング ｺｰｽｺｰﾄﾞ ITE010

<eラーニング> ITIL®4ファンデーション（受験バウチャーチケット付き）PDU

eラーニング 10時間

ITIL®4は、ITサービスマネジメントのベストプラクティスです。このコースでは、用語や概念からITIL®4のコアコンセプトを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：10ポイント）の修得が可能です。
※認定試験はご自身で試験センターへお申し込みいただきます。
※受講後に配布される受験バウチャーチケットの利用可能範囲は日本国内限定です。

到達目標
- ITサービスマネジメントの主要なコンセプトを説明できる。
- 組織が、従うべき原則の支援を受けながらどのようにITIL®サービスマネジメントを適用し、適応できるかを説明できる。
- ITIL®サービスマネジメントの4つの側面を説明できる。
- ITIL®サービスバリューシステムの目的と構成要素、サービスバリューチェーンの活動、ならびにそれらの関連性を説明できる。
- 継続的改善の主要なコンセプトを説明できる。
- ITIL®プラクティスについて学び、それらがバリューチェーンの活動にどう貢献するかを説明できる。

対象者
- サービスマネジメント分野において第一歩を踏み出したいと考えている、ITおよび事業部門双方の方。
- 旧来のITIL®や類似したベストプラクティスについて知識を有しており、ITIL®4について学びたいと考えている方。
- ITIL®ファンデーション資格の取得をめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. コースの概要
2. ITIL®4の背景と主要なコンセプト
3. ITIL®4の主要コンポーネントと4つの側面
4. サービスバリュー・システムと従うべき原則
5. ITIL®サービスバリュー・チェーン
6. 継続的改善
7. ITIL®プラクティス

受講料 ¥107,800

eラーニング ｺｰｽｺｰﾄﾞ ITE008

<eラーニング> 運用管理概説

eラーニング 6時間

システム運用管理の必要性や、管理項目を学習します。また、各担当の役割や各運用管理の作業内容を、演習を通して理解を深めます。

到達目標
- ITサービスとITシステムの運用管理の必要性の関係を理解し、説明できる。
- 運用管理の体制と各担当の作業概要を説明できる。
- システム運用の管理項目の種類や作業概要を説明できる。

対象者
- これから運用業務に携わる方。
- システムサービスの企画/設計に携わる方で、運用管理の知識が必要な方。

前提知識 ITの基本用語を知っていること。

内 容
1. ITサービスマネジメント概要
   （1）サービスとは
   （2）ITサービスとITシステム
2. 運用管理概要
   （1）運用管理の目的
   （2）有用性、保証
3. 運用管理の活動
   （1）安定したサービスを提供するための活動
   （2）サービスを安全に変更するための活動
   （3）より良いサービスを提供するための活動
4. 修了試験

受講料 ¥18,700

オンライン ｺｰｽｺｰﾄﾞ ITV010

情報システム運用入門 ー運用からITサービスへー【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

システム運用の必要性、作業項目、体制について、基本的な考え方を講義と演習を通して学習します。演習を通して、システム運用を行ううえで必要な活動への理解を深めます。

到達目標
- システム運用の管理項目の種類や役割を説明できる。
- ITサービスとITシステムの運用管理の必要性の関係を理解し、説明できる。

対象者
- これから情報システムの運用業務に携わる方。
- システムサービスの企画・設計に携わる方で運用管理の知識が必要な方。

前提知識 ITの基本用語ついて知識があること。

内 容
1. ITサービスマネジメント概説
   （1）サービスとITサービス
      ・サービスとは
      ・ITサービスとは
      ・サービスの有用性と保証
   （2）ITサービスの管理
      ・ITサービスのライフサイクル
2. 運用管理概説
   （1）運用管理の目的
   （2）運用管理の対象
   （3）運用管理の体制
3. 運用管理の活動
   （1）安定したITサービスを提供するための活動
      ・日常の活動
      ・障害発生時の対応
      ・障害対策
      ・災害対策
   （2）ITサービスを安全に変更するための活動
      ・変更管理、リリース・展開管理
      ・資産・構成管理
   （3）より良いITサービスを提供するための活動
      ・運用改善サイクル、ナレッジ管理

受講料 ¥38,500

オンライン ｺｰｽｺｰﾄﾞ SPV033

保守開発におけるトラブル対策の考え方【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 1日間

既存システムの修正や改良といった“保守開発”におけるトラブル対策の実践的知識を学習します。保守開発を進めるうえで留意すべきトラブル対策のポイントを、講師による解説とグループ演習を通して理解することができます。

到達目標
- 保守開発の現状と課題が説明できる。
- 保守開発プロセスにおいて強化すべき改善ポイントが提言できる。
- 保守開発で発生したシステムトラブルの原因分析と対策立案を実践できる。

対象者 プロジェクトマネージャ、保守開発担当者、品質管理担当者、内部監査担当者の方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内 容
1. 今なぜ保守開発のトラブル対策なのか
   （1）保守開発の現状
   （2）保守開発プロセスが抱える課題
2. 保守開発マネジメント概論
   （1）保守開発に関連するガイドライン
   （2）トラブル防止に向けた取り組み
3. 保守開発プロセスの改革提言
   （1）保守開発段階での品質管理とは
   （2）保守開発計画と工数見積りのレベルアップ
   （3）開発環境とテスト環境の強化ポイント
4. 保守開発トラブルのマネジメント
   （1）トラブル関連情報の収集と傾向分析
   （2）ヒューマンファクタ分析の応用
   演習：保守開発におけるトラブルの事例研究
5. まとめ

講師：前橋システムコンサルティング株式会社
代表取締役
前橋雅夫氏（公認システム監査人）

受講料 ¥38,500

オンライン ｺｰｽｺｰﾄﾞ ITV004

システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 2日間

システム運用管理において、現状の課題分析を行い、運用管理ツール（JP1）の導入による運用改善の策定を通して、システム運用設計のスキルを修得します。

到達目標
- システム運用の課題を認識し、解決策を考えることができる。
- ITサービスの改善プロセスを理解し実行できる。

対象者 運用業務に携わる方、運用を考慮したシステム企画・設計を行う方。

前提知識 「運用管理概説」eラーニングコースを修了しているか、または運用管理の知識があること。

内 容
1. オリエンテーション
   （1）サービス改善のアプローチ
2. 現状の運用理解と運用課題の洗い出し
   （1）システムにより提供されるサービスの目的を確認
   （2）現状の運用を確認
3. 運用管理の改善
   （1）サービスで提供すべきゴール（KPI）を設定
4. 改善後の運用設計
   （1）ゴールを達成するための運用の設計
   （2）ゴール達成度の評価方法の設計（測定項目と測定基準）

受講料 ¥83,600

開発／基盤
クラウド
モダン開発（アジャイル開発含む）
開発工程全般・企画・設計
プログラミング・情報技術
品質・技法・信頼性
セキュリティ
プラットフォーム（Linux/Microsoft）
ITサービス

オンライン　コースコード ITV009

グループ演習 1日間

IT運用におけるヒューマンエラー予防【バーチャル・クラスルーム】

IT運用現場で起こり得るヒューマンエラーについて、講義と演習を通して学習します。トラブル・事故事例から、ヒューマンエラーの影響と発生のメカニズムを理解します。演習では、自職場での効果的なヒューマンエラー防止策を立案します。

到達目標
- IT運用の現場で起こるヒューマンエラーについて理解できる。
- ヒューマンエラーが起こるメカニズムを理解し、未然に防ぐ方法を理解できる。
- 効果的なヒューマンエラー防止策を実施できる。
- チームのヒューマンエラーを無くすための指導やプロセス改善を考えることができる。

対象者 IT運用に携わっている方、IT運用の部署のチームリーダまたはリーダになる方。

前提知識 IT運用の基礎知識があること。IT運用の実務経験があることが望ましい。

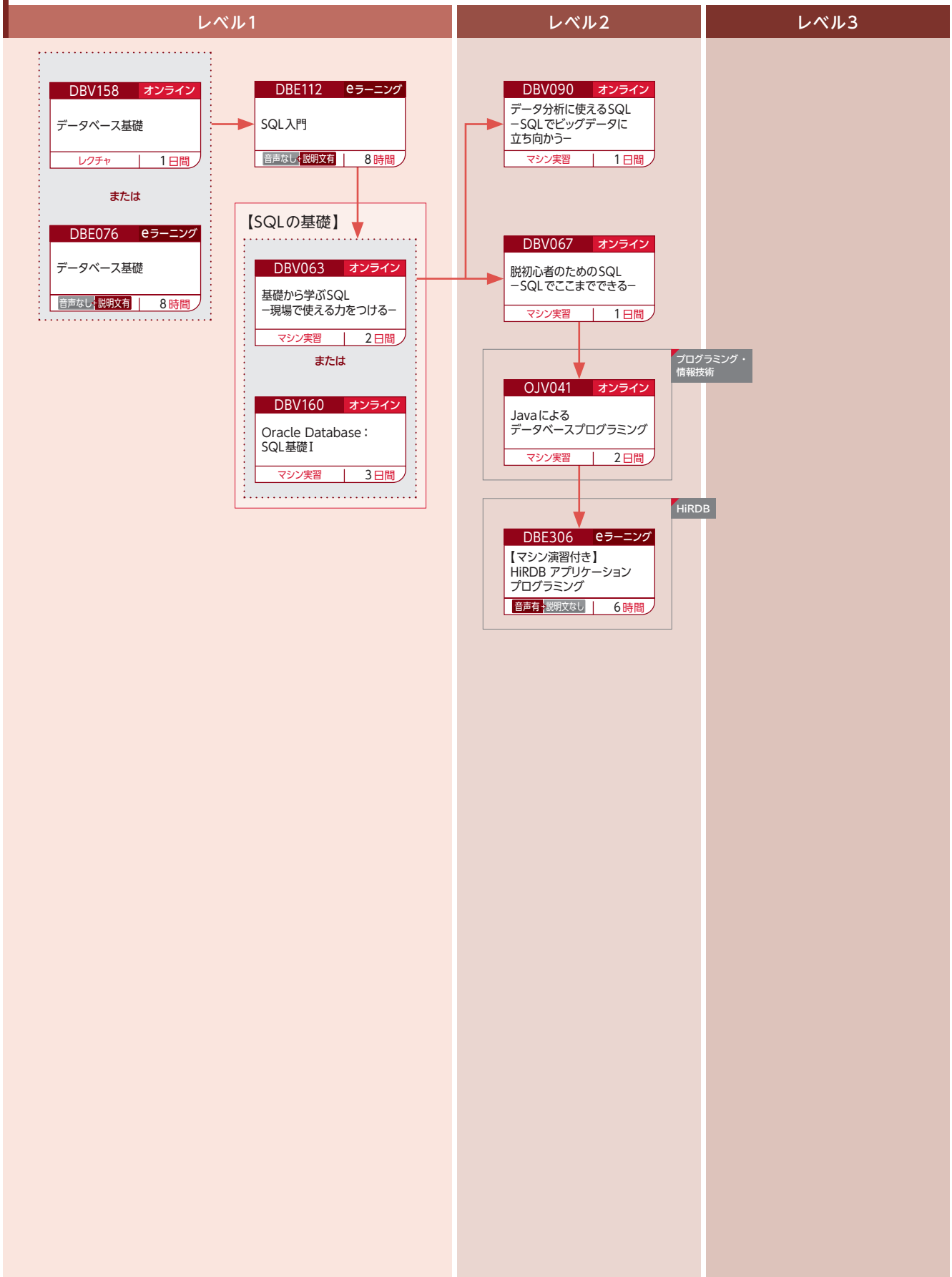
内　容
1. IT運用の事故・トラブル
2. ヒューマンエラーとは
3. ヒューマンエラーの防止策

受講料 ¥44,000

基盤製品（データベース）

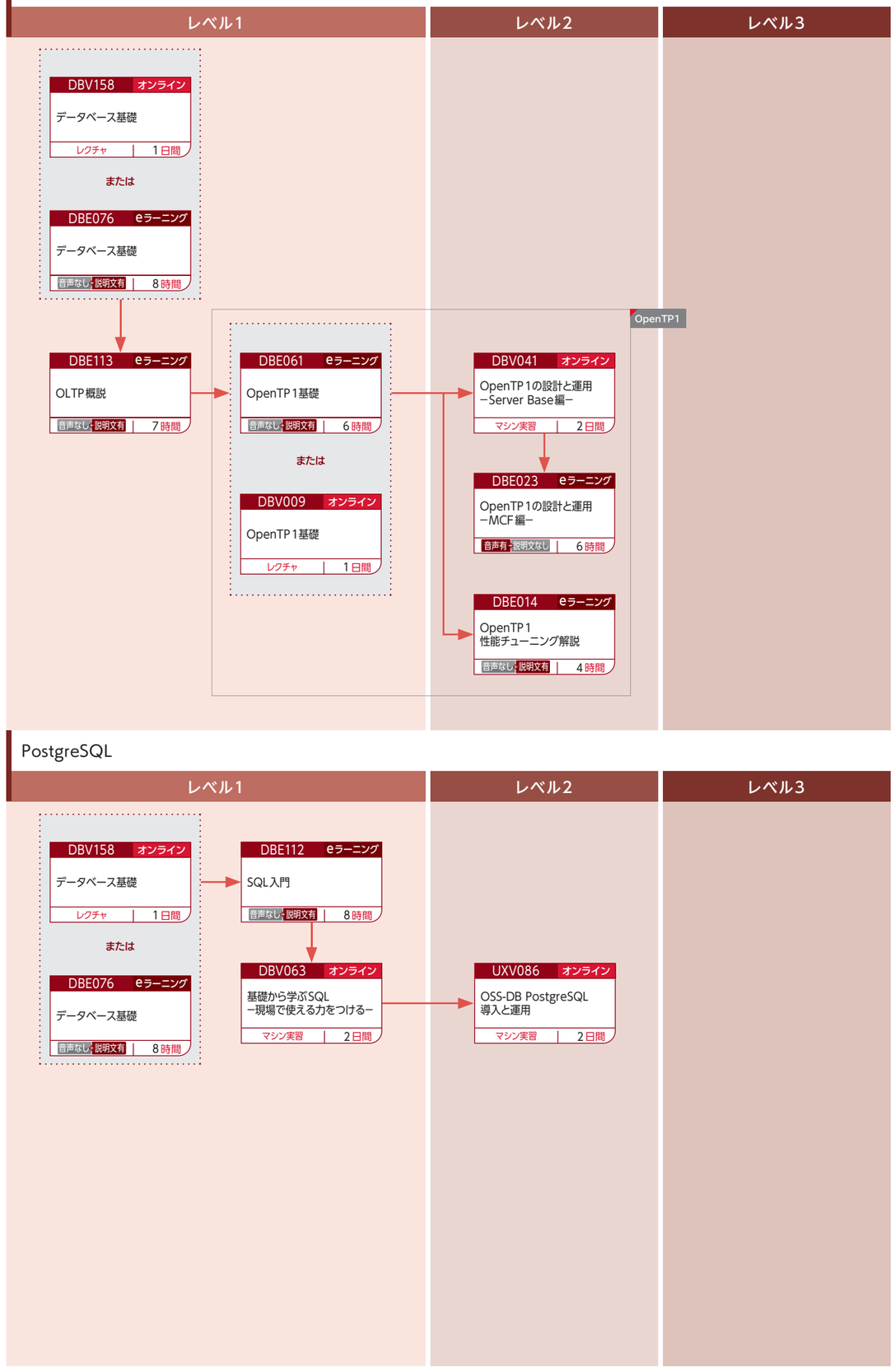
データベースの概念を理解し、データベースシステムを構築するための技術が修得できます。

データベースプログラミング



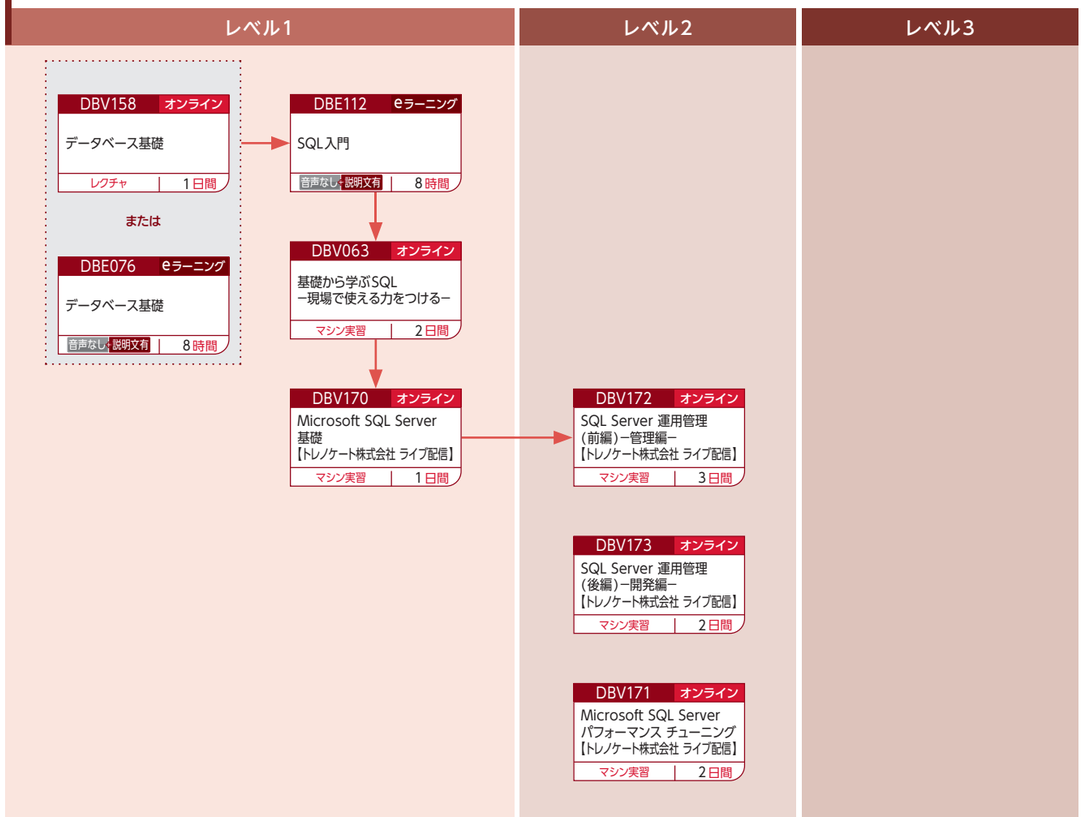
レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

OLTP



PostgreSQL

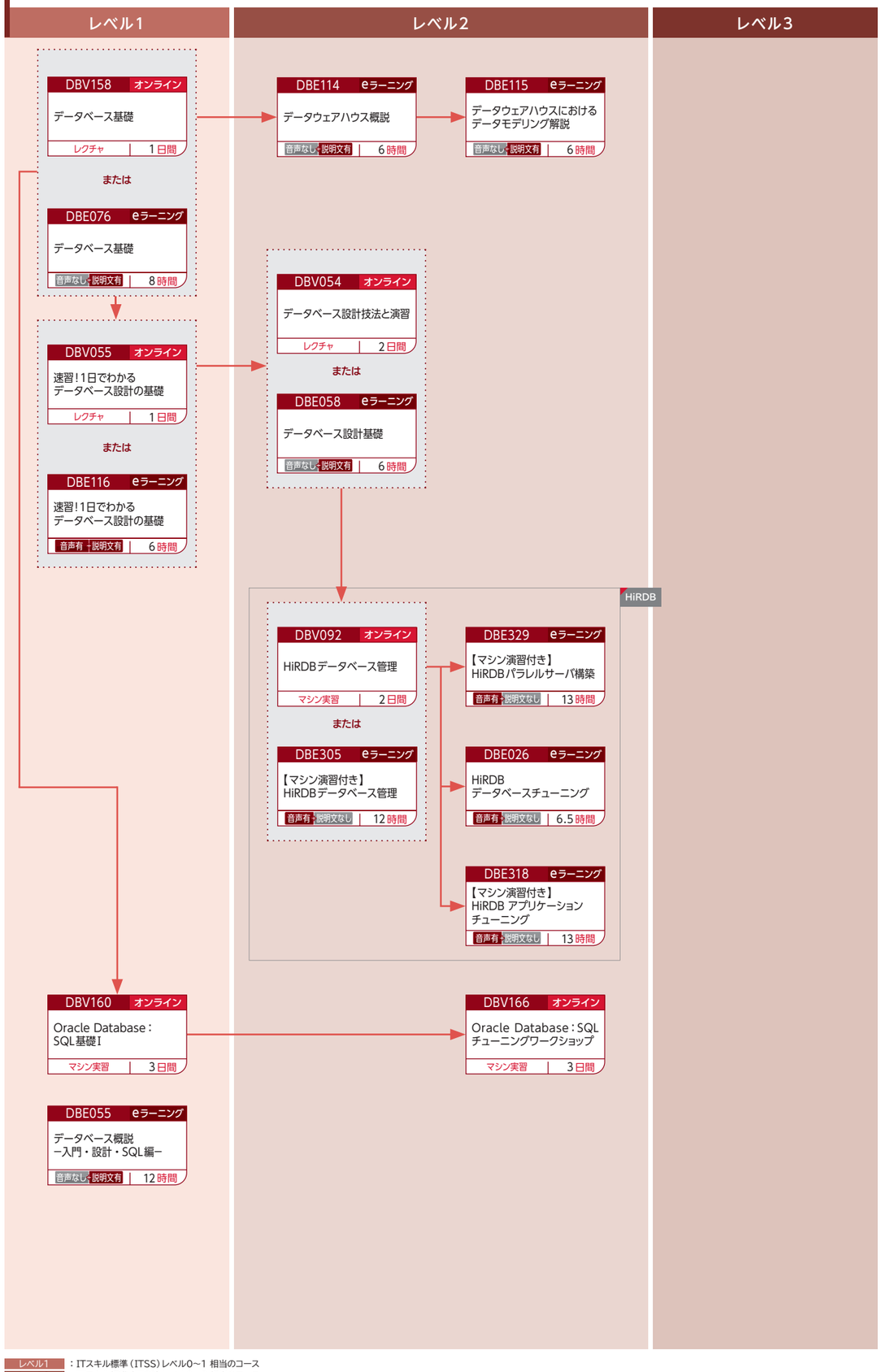
SQL Server



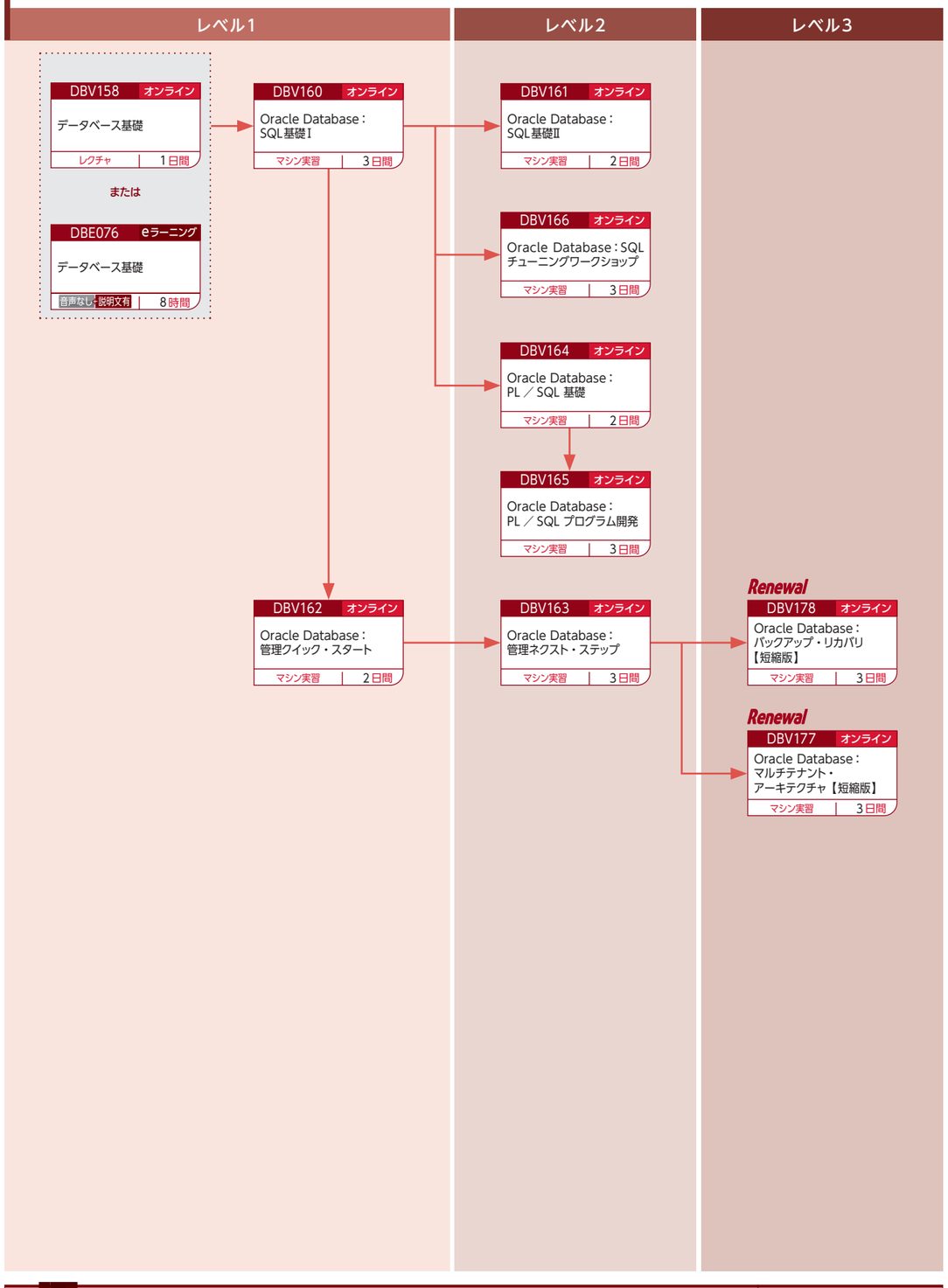
レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

論理設計、物理設計、パフォーマンスチューニング



Oracle



資格 オラクル認定技術者制度

オラクル認定技術者制度とは、日本オラクル社が世界で高い評価を受けているOracle製品に関する技術者を認定する制度です。認定を受けるためには、日本オラクル社の試験に合格する必要があり、合格した試験科目の組み合わせにより認定技術資格を取得できます。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/oramas.html

ORACLE APPROVED EDUCATION PROVIDER

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

オンライン / コースコード DBV158

データベース基礎【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

データベースの基礎知識やデータベース設計の基本的な流れ、DBMSの基本機能を学習します。

到達目標
- ITシステムにおけるデータベースの概念や意義について理解し、説明できる。
- 多様なデータをデータベース化する流れを理解し、説明できる。
- データベースを管理するシステム（DBMS）の各種機能について理解し、説明できる。

対象者 IT業界の社員として、データベースの基礎知識を修得したい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. ITシステムにおけるデータベース
2. 多様なデータのデータベース化
   (1)データの選定と関連の整理
   (2)データモデルの選定
   (3)DBMS製品の選定
   (4)代表的なデータモデル
   (5)具体的なデータモデルの選定方法
3. DBMSの基本機能
   (1)データベースの操作が可能
   (2)データの機密性の確保
   (3)データ構造の変更への対応
   (4)データの信頼性の確保
   (5)処理性能の向上

受講料 ¥33,000

eラーニング / コースコード DBE076

<eラーニング> データベース基礎

eラーニング 8時間

データベースの基礎知識やデータベース設計の基本的な流れ、DBMSの基本機能を学習します。

到達目標
- ITシステムにおけるデータベースの概念や意義について理解し、説明できる。
- 多様なデータをデータベース化する流れを理解し、説明できる。
- データベースを管理するシステム（DBMS）の各種機能について理解し、説明できる。

対象者 IT業界の社員として、データベースの基礎知識を修得したい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. ITシステムにおけるデータベース
2. 多様なデータのデータベース化
   (1)データの選定と関連の整理
   (2)データモデルの選定
   (3)DBMS製品の選定
   (4)代表的なデータモデル
   (5)具体的なデータモデルの選定方法
3. DBMSの基本機能
   (1)データベースの操作が可能
   (2)データの機密性の確保
   (3)データ構造の変更への対応
   (4)データの信頼性の確保
   (5)処理性能の向上

受講料 ¥18,700

eラーニング / コースコード DBE112

<eラーニング> SQL入門

eラーニング 8時間

リレーショナルデータベースを操作するためのSQLの基礎を学習します。

到達目標
- データ操作をするSQLについて、基本的な機能と文法を説明できる。
- データ定義をするSQLについて、基本的な機能と文法を説明できる。
- トランザクション制御をするSQLについて、基本的な機能と文法を説明できる。

対象者 リレーショナルデータベースを管理・運用する方リレーショナルデータベースのアプリケーションを開発する方。

前提知識 「データベース基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. リレーショナル・データベースとSQL
   (1)リレーショナル・データベースとは
   (2)SQLとは
   (3)SQLの特長
   (4)SQLの分類
2. データ操作文（DML）
   (1)検索処理
   (2)追加処理
   (3)更新処理
   (4)削除処理
3. データ定義文（DDL）
   (1)表の定義
   (2)参照制約
   (3)ビュー表
4. データ制御文（DCL）
   (1)データの確定
   (2)データの取り消し
5. 修了試験

受講料 ¥24,200

オンライン / コースコード DBV063

基礎から学ぶSQL −現場で使える力をつける−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

リレーショナルデータベースを操作するためのSQL、トランザクションを制御するためのSQL、オブジェクトを作成するためのSQLの文法と機能を学習します。

到達目標
- リレーショナルデータベースの表の検索ができる。
- リレーショナルデータベースに行の追加、削除、値の更新ができる。
- SQLを用いてトランザクションの制御ができる。
- リレーショナルデータベース上にオブジェクトの作成ができる。

対象者 SQLの知識を必要とする方。

前提知識 「データベース基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. リレーショナルデータベースとSQLの概要
2. SQLによるデータ検索
   (1)全件検索
   (2)探索条件
   (3)結合
   (4)集合関数
   (5)グループ化
   (6)並び替え
   (7)集合演算
   (8)副問合せ
3. SQLによるデータ追加/更新/削除
4. SQLによるトランザクションの制御
5. SQLによるデータ定義
   (1)表の定義
   (2)ビューの定義
   (3)インデックスの定義

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード DBV090

データ分析に使えるSQL −SQLでビッグデータに立ち向かう−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

高度なSQL文やSQL分析関数を使用して、データベースに格納されたデータを分析する手法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- SQLによるデータ分析の概要を説明できる。
- 高度なSQL文・SQL分析関数の文法を理解し説明できる。
- 高度なSQL文・SQL分析関数を利用したデータ集計・分析を理解し説明できる。

対象者 SQLを用いたデータ分析手法を修得したい方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL−現場で使える力をつける−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. データ分析概要
2. 高度なSQL文
   (1)CASE式
   (2)相関副問合せ
3. SQL分析関数
   (1)ウィンドウ関数
   (2)レポート関数
   (3)LAG/LEAD関数
   (4)中間データの加工 - 副問合せと共通表式（WITH句）-

受講料 ¥44,000

オンライン / コースコード DBV067

脱初心者のためのSQL −SQLでここまでできる−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

ショッピングサイトを題材にして、システムに実装済みのSQL文を、性能、可読性、保守性の観点から改善することにより、CASE式や自己結合といった、高度なSQL文の使いどころを学習します。

到達目標
- EXISTS述語の使用方法を理解し説明できる。
- NOT EXISTS述語の使用方法を理解し説明できる。
- 相関副問合せの使用方法を理解し説明できる。
- 自己結合の使用方法を理解し説明できる。
- CASE式の使用方法を理解し説明できる。

対象者 高度なSQL文の知識を修得したい方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL−現場で使える力をつける−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 演習環境概要
2. 高度なSQL文
   (1)EXISTS述語を使用した存在チェック
   (2)相関副問合せを使用したランキング表示
   (3)分析関数を使用したランキング表示
   (4)CASE式を使用したSELECT句での条件分岐
   (5)自己結合を使用した組み合わせ表示
   (6)NOTEXISTS述語と相関副問合せを使用した更新処理

受講料 ¥44,000

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

eラーニング / コースコード DBE113

<eラーニング> OLTP概説

eラーニング 7時間

OLTP（オンライントランザクション処理）の基本的な概念や機能、および分散トランザクションシステムを実現するために必要なソフトウェアとAPIを規定した、DTPモデルについて学習します。

到達目標
- トランザクションのACID特性について理解し、説明できる。
- さまざまなOLTPシステム構成について理解し、説明できる。
- DTPモデルの各種ソフトウェアの役割とAPIについて理解し、説明できる。

対象者
- オンライントランザクションシステムを構築する方。
- 分散トランザクションやDTPモデルの知識を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. トランザクション処理とは
2. トランザクション処理の変遷
3. OLTPの特長
4. OLTPのシステム要件
5. OLTPのシステム構成
6. The Open Group DTPモデル
7. OLTPシステムの基本機能

受講料 ¥26,400

オンライン / コースコード UXV086

OSS−DB PostgreSQL 導入と運用【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

これからPostgreSQLを使用したシステム構築を行う開発者や管理者の方を対象に、PostgreSQLのインストールや基本的な設定、基本的な使い方について解説します。更にバックアップやリストア、PITRなどの運用管理、性能チューニング、障害対応について解説します。

到達目標 PostgreSQLを用いたデータベースシステムの構築や管理作業を行うことができる。

対象者 PostgreSQLを用いたデータベースシステムの構築や管理作業を行う方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL−現場で使える力をつける−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. オープンソースデータベースの一般的特長
2. インストール
3. 標準付属ツール
4. トランザクションとスキーマ
5. アーキテクチャ
6. セキュリティ
7. メンテナンス
8. 実行計画
9. 性能分析
10. 性能改善
11. PITR
12. Streaming Replication

受講料 ¥88,000

オンライン / コースコード DBV170

Microsoft SQL Server 基礎【トレノケート株式会社 ライブ配信】

マシン実習 1日間

Microsoft SQL Server のデータベース オブジェクト、セキュリティ、ネットワーク接続などの仕組みについて学習します。このコースを受講していただくことにより、SQL Server 関連の管理/開発者向けの上位コースを受講するための準備となります。

到達目標
- SQL Server に関する基礎知識を修得する。
- データベース オブジェクトを作成できる。
- SQL Server のセキュリティについて説明できる。
- ネットワーク接続の設定方法について説明できる。
- アプリケーションからの接続方法について説明できる。

対象者
- これから SQL Server を学習する方。
- SQL Server の管理/開発を担当する予定の方。

前提知識
- コンピューターに関する基礎知識がある。
- ネットワークに関する基礎知識がある。
- Windows オペレーティング システムの基本操作ができる。
- SQL の基本コマンドを理解していること。
- 「基礎から学べるSQL一現場で使える力をつける一」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. SQL Server とは
2. データベース オブジェクト
3. セキュリティ
4. SQL Server への接続
5. アプリケーションからの接続
6. Transact-SQL を使用したデータ アクセス（オプション）

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード DBV172

SQL Server 運用管理（前編）−管理編−【トレノケート株式会社 ライブ配信】

マシン実習 3日間

このコースでは、SQL Server 概要の説明から、インストールと構成、データベースファイルの管理、バックアップと復元、データのインポートとエクスポート、セキュリティ、管理作業の自動化、SQL Serverの監視について説明します。

到達目標
- SQL Server のアーキテクチャを理解する。
- SQL Server をインストールおよび構成する。
- データベースのファイル管理ができる。
- データベースのバックアップと復元を実行できる。
- 適切なツールを使用してインポートおよびエクスポートができる。
- ロールを使用した権限管理ができる。
- SQL Server エージェントを使用して管理を自動化できる。
- 適切なツールを使用して SQL Server を監視する。
- SQL Server システムのさまざまなトラブルに対応できる。

対象者 このコースでは、データベース管理者、または、これからデータベースの管理を担当される方を対象にして、Microsoft SQL Server の管理に必要な知識とスキルを、同製品の機能とツールの使用方法に重点を置いて説明します。

前提知識
- コンピュータに関する基礎知識があること。
- Windows オペレーティング システムに関する基礎知識があること。
- ネットワークに関する基礎知識があること。
- SQL コマンドに関する基礎知識があること。

内 容
1. SQL Server の概要
2. SQL Server のインストールと構成
3. データベースファイルの管理
4. バックアップの計画
5. バックアップの実行と復元
6. データのインポートとエクスポート
7. SQL Server のセキュリティ
8. 管理作業の自動化
9. SQL Server の監視

受講料 ¥214,500

オンライン / コースコード DBV173

SQL Server 運用管理（後編）−開発編−【トレノケート株式会社 ライブ配信】

マシン実習 2日間

このコースでは、データベース オブジェクトであるテーブルの設計と実装、インデックスの設計と実装、ビューの実装、ストアド プロシージャの実装、関数の実装について説明します。

到達目標
- データ整合性を考慮したテーブルを実装できる。
- 実行プランの読み取りとインデックスの仕組みを理解する。
- 適切なテーブル構造とインデックスを実装できる。
- 適切な種類のビューを実装できる。
- ストアド プロシージャを実装できる。
- 関数の実装とパフォーマンスの影響を理解する。

対象者 このコースでは、データベースの管理者と開発者、または、これからデータベースの管理や開発を担当される方を対象として、Microsoft SQL Server の管理と開発に必要な知識とスキルを、データベース オブジェクトの設計と実装方法に重点を置いて説明します。

前提知識
- コンピュータに関する基礎知識があること。
- Windows オペレーティング システムに関する基礎知識があること。
- ネットワークに関する基礎知識があること。
- SQL コマンドに関する基礎知識があること。

内 容
1. テーブルの設計と実装
2. インデックスの設計
3. インデックスの実装
4. ビューの実装
5. ストアド プロシージャの実装
6. 関数の実装

受講料 ¥143,000

オンライン / コースコード DBV171

Microsoft SQL Server パフォーマンス チューニング【トレノケート株式会社 ライブ配信】

マシン実習 2日間

Microsoft SQL Server のインデックス（カバーリング インデックス、列ストア インデックス）、インメモリ OLTP、バッファー プール拡張、それにパフォーマンス監視ツールなどの仕組みについて学習します。このコースを受講していただくことにより、Microsoft SQL Server のパフォーマンス チューニングを行うことができます。

到達目標
- データベース ファイルの配置について理解する。
- ファイル グループを使用したオブジェクトの配置について理解する。
- インデックスを使用したパフォーマンス チューニングについて理解する。
- パーティション テーブルについて理解する。
- バッファー プール拡張について理解する。
- インメモリ OLTP について理解する。
- パフォーマンスの監視について理解する。
- 拡張機能について理解する。
- ストアド プロシージャについて理解する。
- パフォーマンス向上のための、その他の機能について理解する。

対象者 ・SQL Server のチューニングを行う方に最適です。

前提知識
- Transact-SQL の基本コマンドを理解していること。
- SQL Server のインデックスについて理解していること。
- 「SQL Server 運用管理（前編）−管理編−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
- 「SQL Server 運用管理（後編）−開発編−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. データベース ファイルの配置
2. ファイル グループ
3. インデックス
4. パーティション テーブル
5. バッファー プール拡張
6. インメモリOLTP
7. パフォーマンスの監視
8. 拡張機能
9. ストアド プロシージャの使用
10. その他の機能

受講料 ¥143,000

eラーニング コースコード DBE114

<eラーニング> データウェアハウス概説

6時間

データウェアハウスの概念やデータウェアハウスの設計・構築方法および利用方法の基礎を学習します。

到達目標
・データウェアハウスの概念を理解し説明できる。
・データウェアハウスの利用方法について理解し説明できる。
・データウェアハウスに適する設計方法を理解し説明できる。

対象者 DSSシステムの管理者として、基本的な知識を必要とする方。

前提知識 「データベース基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. データウェアハウス登場の背景
2. 意思決定支援システムにおけるデータウェアハウス
3. データウェアハウスとは
4. OLAPとデータマイニング

受講料 ¥26,400

eラーニング コースコード DBE115

<eラーニング> データウェアハウスにおけるデータモデリング解説

6時間

基幹系データベース設計との相違点をふまえながら、データウェアハウスの設計手順について学習します。

到達目標
・トランザクションのACID特性について理解し説明できる。
・さまざまなOLTPシステム構成について理解し説明できる。
・DTPモデルの各種ソフトウェアの役割とAPIについて理解し 説明できる。

対象者 データウェアハウスの設計・構築を行うための知識を必要とする方。

前提知識 「データウェアハウス概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. データウェアハウス概要
2. 基幹系データベース設計との相違点
3. データウェアハウスの概念設計

受講料 ¥26,400

オンライン コースコード DBV055

速習！1日でわかるデータベース設計の基礎【バーチャル・クラスルーム】

1日間

具体的な業務を想定しながら、リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に必要な基礎知識を、机上演習を通して学習します。

到達目標 リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に関する基礎的な手法を理解し説明できる。

対象者 リレーショナルデータベースの設計に関する知識を必要とする方。

前提知識 「データベース基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. データベース設計の概要
2. ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計
   (1)ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計の流れ
   (2)正規化
   (3)ER図の作成
   (4)確認作業 - トップダウンアプローチの観点からの確認 -
3. データベース物理設計
   (1)テーブル関連図とテーブル定義書の作成
   (2)領域配置図の作成
4. データベース性能設計
   (1)インデックス設計

受講料 ¥33,000

eラーニング コースコード DBE116

<eラーニング> 速習！1日でわかるデータベース設計の基礎

6時間

具体的な業務を想定しながら、リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に必要な基礎知識を、机上演習を通して学習します。

到達目標 リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に関する基礎的な手法を理解し説明できる。

対象者 リレーショナルデータベースの設計に関する知識を必要とする方。

前提知識 「データベース基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. データベース設計の概要
2. ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計
   (1)ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計の流れ
   (2)正規化
   (3)ER図の作成
   (4)確認作業-トップダウンアプローチの観点からの確認-
3. データベース物理設計
   (1)テーブル関連図とテーブル定義書の作成
   (2)領域配置図の作成
4. データベース性能設計
   (1)インデックス設計

受講料 ¥34,100

eラーニング コースコード DBE055

<eラーニング> データベース概説 −入門・設計・SQL編−

12時間

データベースの入門として、データベース分野全般の概要を学習します。さらに、データベース設計、およびSQLを用いたデータベース操作について、具体的な例を用いて学習します。

到達目標
・データベース全般の基礎的な知識・技術について理解ができる。
・ニーズに応じたデータベースを適切に設計し、構築したデータベース上でデータを操作できる。

対象者 データベースのデータを活用するにあたり、データベース分野全般の基礎知識について効率よく学習したい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. データベースの基礎知識
2. データベース設計
3. SQLの操作法
4. 修了試験

受講料 ¥36,300

オンライン コースコード DBV054

データベース設計技法と演習【バーチャル・クラスルーム】

2日間

演習を通し、データベース論理構造の適切な設計手順について学習します。

到達目標
・データベース設計技法について理解し説明できる。
・データベースの論理構造の設計ができる。

対象者 データベースシステムの設計・構築をする方、または予定している方。

前提知識 「速習！1日でわかるデータベース設計の基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. データモデル
   (1)データモデルとは
   (2)ERモデル
   (3)リレーショナルモデル
2. 正規化
   (1)正規化のねらい
   (2)正規化理論の前提知識
   (3)正規化手順
3. 論理構造の設計手順
   (1)論理構造の設計手順概要
   (2)トップダウンアプローチ例題
   (3)ボトムアップアプローチ例題
4. RDBMSへの実装および性能を考慮した変形操作
   (1)RDBMSへ実装可能な形式への変形
   (2)非正規化

受講料 ¥72,600

eラーニング コースコード DBE058

<eラーニング> データベース設計基礎

6時間

データベース設計手順についての基礎理論を、eラーニングでの演習を通して学習します。

到達目標
・基本的なデータベース設計手順を理解し説明できる。
・設計手順に基づいて、簡単なデータベース設計ができる。

対象者 リレーショナルデータベースの設計の知識を必要とする方。

前提知識 「データベース基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. データベース設計概要
2. ERモデルとER図
3. 正規化
4. ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計例題
5. トップダウンアプローチによるデータベース論理設計例題

受講料 ¥19,800

オンライン コースコード DBV160

Oracle Database：SQL 基礎Ⅰ【バーチャル・クラスルーム】

3日間

リレーショナル・データベースの概念、SQLによるデータ操作およびスキーマ・オブジェクトの作成方法について学習します。

到達目標
・SQL関数(TO_CHAR、SUBSTR、SUMなど)でデータを加工して取得できる。
・複数の表の結合や、副問合せでデータを取得できる。
・INSERT文、UPDATE文、DELETE文を使用できる。
・表を作成、管理できる。

対象者
・Oracleデータベースを使用し、かつSQL文の知識を必要とする方。
・ORACLE MASTER Silver DBA 2019およびORACLE MASTER Silver SQL 2019の資格取得をめざす方。

前提知識 「データベース基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
2. SQL SELECT文を使用したデータの取得
3. データの制限とソート
4. 単一行関数を使用した出力のカスタマイズ
5. 変換関数と条件式の使用方法
6. グループ関数を使用した集計データのレポート
7. 結合を使用した複数の表のデータの表示
8. 集合演算子の使用
9. DML文を使用した表の管理
10. データ定義言語の概要

受講料 ¥275,000

オンライン コースコード DBV161

Oracle Database：SQL 基礎Ⅱ【バーチャル・クラスルーム】

2日間

SQLの拡張機能の使用方法を理解して、データベース内のデータを問い合せたり、操作する方法を学習します。オブジェクト・レベルおよびシステム・レベルでの権限の制御方法や、問合せやレポート作成など高度な技術を修得できます。

到達目標
・データベース管理のための各種の情報を検索できる。
・データベース・オブジェクト(順序、シノニム、ビュー)の作成、管理ができる。
・副問合せを使用してデータの取得や操作ができる。
・ユーザアクセスの制御ができる。
・タイムゾーンの管理ができる。

対象者
・Oracleデータベースを使用し、かつSQL文の知識を必要とする方。
・ORACLE MASTER Silver DBA 2019およびORACLE MASTER Silver SQL 2019の資格取得をめざす方。

前提知識 「Oracle Database：SQL 基礎Ⅰ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
2. データ・ディクショナリ・ビューの紹介
3. 順序、シノニムおよび索引の作成
4. ビューの作成
5. スキーマ・オブジェクトの管理
6. 副問合せを使用したデータの取得
7. 副問合せを使用したデータの操作
8. ユーザー・アクセスの制御
9. データの操作
10. さまざまなタイムゾーンのデータの管理

受講料 ¥187,000

オンライン コースコード DBV166

Oracle Database：SQLチューニングワークショップ【バーチャル・クラスルーム】

3日間

大規模データベースの運用管理に必要となるOracle Databaseのアーキテクチャへのより深い理解と、効率的なデータベース管理方法について学習します。

到達目標
・効率の悪いSQL文を識別できる。
・SQL文を最適に実行するために改良できる。
・アプリケーション・トレースを使用できる。
・オプティマイザ・ヒントを効果的に使用できる。

対象者 Oracleデータベースにおいて、SQL文のチューニングに対する知識を必要とする方。

前提知識 「Oracle Database：SQL 基礎Ⅰ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Oracle Databaseアーキテクチャの検討
2. SQLチューニングの概要
3. オプティマイザの概要
4. オプティマイザ演算子
5. 実行計画の解釈
6. ケース・スタディ：スター型変換
7. オプティマイザ統計
8. バインド変数の使用
9. オプティマイザ・ヒントの使用
10. アプリケーション・トレース
11. SQLチューニングの自動化

受講料 ¥275,000

オンライン コースコード DBV164

Oracle Database：PL／SQL 基礎【バーチャル・クラスルーム】

2日間

このコースでは、PL/SQLプログラミング言語について説明します。ストアド・プロシージャ、ストアド・ファンクション、および複数のフォームやデータ管理アプリケーションで共有可能なアプリケーション・コード・ブロックの作成方法を学習します。受講者は、この強力なプログラミング言語の利点と実用的なシナリオを理解することができます。

到達目標
・単純なストアド・プロシージャおよびストアド・ファンクションの作成と実行できる。
・PL/SQLの機能および構文の説明ができる。
・効率的に実行されるPL/SQL無名ブロックの設計ができる。
・PL/SQLプログラミングの構成要素および条件付き制御コード・フロー(ループ、制御構造および明示カーソル)の使用ができる。
・ランタイム・エラーの処理ができる。
・データベースに接続するPL/SQLコードの記述ができる。

対象者 OracleデータベースにおいてPL/SQLを用いて開発を行う方。

前提知識 「Oracle Database：SQL 基礎Ⅰ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
2. PL/SQLの概要
3. PL/SQL変数の宣言
4. 実行文の記述
5. PL/SQLブロック内でのSQL文の使用
6. 制御構造の記述
7. コンポジット・データ型の処理
8. 明示カーソルの使用
9. 例外の処理
10. ストアド・プロシージャおよびストアド・ファンクションの作成

受講料 ¥187,000

オンライン コースコード DBV165

Oracle Database：PL／SQL プログラム開発【バーチャル・クラスルーム】

3日間

このコースでは、ストアド・プロシージャ、ファンクション、パッケージおよびデータベース・トリガーの開発方法を説明し、受講者のスキルを強化します。PL/SQLプログラム・ユニットの管理およびオラクルが提供するパッケージの使用方法を理解することができます。

到達目標
・ストアド・プロシージャおよびファンクションの作成と実行ができる。
・PL/SQLパッケージの設計および使用ができる。
・オーバーロードされたパッケージのサブプログラムの作成による柔軟性の向上ができる。
・アプリケーション開発でのオラクルが提供するパッケージの使用ができる。
・トリガーの作成によるビジネス上の課題の解決ができる。
・SQL文の動的な作成および実行ができる。
・PL/SQLサブプログラムおよびトリガーの管理ができる。
・PL/SQLコンパイラの理解および調整ができる。
・依存性の管理ができる。

対象者 OracleデータベースにおいてPL/SQLを用いて開発を行う方。

前提知識 「Oracle Database：PL/SQL 基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
2. ストアド・プロシージャの作成
3. ファンクションの作成およびサブプログラムのデバッグ
4. パッケージの作成
5. パッケージの使用
6. アプリケーション開発でのオラクル社が提供するパッケージの使用
7. 動的SQLの使用
8. PL/SQLコードの設計上の考慮事項
9. トリガーの作成
10. 複合トリガー、DDLトリガーおよびイベント・データベース・トリガーの作成
11. PL/SQLコンパイラの使用
12. 依存性の管理

受講料 ¥275,000

基盤製品（ネットワーク）

ネットワークの構成を理解し、LANおよびWANに接続したシステム設計・構築・運用管理に関する技術が修得できます。

Oracle Database：管理クイック・スタート【バーチャル・クラスルーム】

オンライン　コースコード DBV162

マシン実習 2日間

自動SQLチューニング・コンポーネント、EXPLAIN、SQL Trace、TKPROF、SQL*Plus AUTOTRACE等のOracleの診断ツール・機能を用い、SQLをチューニングするための知識やノウハウについて学習します。

到達目標
- Oracleデータベースをインストールしデータベースを作成できる。
- データベース記憶域構造、ユーザーおよびセキュリティの管理ができる。
- Oracle SQL Developerを用いてスキーマ・オブジェクトの作成と管理ができる。
- バックアップの作成ができる。
- データベースの監視、およびアドバイザの使用について説明できる。

対象者
- Oracleデータベースを運用する方。
- ORACLE MASTER Bronze DBA 2019の資格取得をめざす方。

前提知識 「Oracle Database：SQL 基礎Ⅰ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Oracle Databaseの概要
2. Oracle Databaseのインストールおよびデータベースの作成
3. Database管理ツールの使用
4. Oracleネットワーク環境の構成
5. Oracleインスタンスとは
6. データベース記憶域構造の表示
7. ユーザーおよびセキュリティの管理
8. スキーマ・オブジェクトの管理
9. バックアップの作成
10. データベースの監視およびアドバイザの使用

受講料 ¥187,000

Oracle Database：管理ネクスト・ステップ【バーチャル・クラスルーム】

オンライン　コースコード DBV163

マシン実習 3日間

Oracle Database管理の基礎を2日間で固めることができます。Oracle Databaseのアーキテクチャを理解し、データベースの日常的な運用の基本を修得します。

到達目標
- Oracle Databaseインスタンスの管理ができる。
- 記憶域構造の作成および管理ができる。
- データベースの監視とパフォーマンスの管理ができる。

対象者
- Oracleデータベースを運用する方。
- ORACLE MASTER Silver DBA 2019の資格取得をめざす方。

前提知識 「Oracle Database：管理クイック・スタート」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. はじめに
2. Oracleインスタンスの構造
3. Oracle Databaseの管理ツール
4. 初期化パラメータおよびインスタンスの起動/停止
5. サーバー側の構成
6. ユーザーの管理
7. 制御ファイル、REDOログ・ファイル、データファイル
8. 領域管理その1
9. UNDOデータの管理
10. データ同時実行性の管理
11. Oracle Data Pump
12. データベース・パフォーマンスの監視
13. パフォーマンスの管理:SQLチューニング
14. メモリー管理
15. マルチテナント・コンテナ・データベースおよびプラガブル・データベース

受講料 ¥275,000

Oracle Database：マルチテナント・アーキテクチャ【短縮版】【バーチャル・クラスルーム】

Renewal

オンライン　コースコード DBV177

マシン実習 3日間

このコースでは、マルチテナント・アーキテクチャのすべての機能について学習します。マルチテナント・コンテナ・データベースおよび関連付けられたプラガブル・データベースのコンポーネントに関する詳細な情報から、ビジネス・アプリケーションに適した記憶域構造を持つマルチテナント・コンテナ・データベースおよび関連付けられたプラガブル・データベースを作成および管理する方法について学習します。

到達目標 マルチテナント・コンテナ・データベースおよび関連付けられたプラガブル・データベースを作成および管理ができるようになる。

対象者
- Oracleデータベースを運用する方。
- ORACLE MASTER Gold DBA 2019の資格取得をめざす方。

前提知識 「Oracle Database：管理ネクスト・ステップ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. コンテナおよびプラガブル・データベースのアーキテクチャ
2. CDBおよびPDBの作成
3. アプリケーションPDB
4. CDBおよびPDBの管理
5. 記憶域の管理
6. セキュリティの管理
7. バックアップの取得
8. リカバリおよびフラッシュバック
9. パフォーマンスの管理
10. リソース割り当て
11. データの移動
12. アップグレード方法

受講料 ¥363,000

Oracle Database：バックアップ・リカバリ【短縮版】【バーチャル・クラスルーム】

Renewal

オンライン　コースコード DBV178

マシン実習 3日間

DBAの最も重要な仕事であるバックアップとリカバリについてより深く理解します。バックアップとリカバリの概念とアーキテクチャ、およびさまざまな方法と状況での実装について詳しく説明します。データの重複を含むさまざまなバックアップ、障害、復元、および回復のシナリオのためのRecovery Manager（RMAN）コマンドラインインターフェイスの知識を修得します。

到達目標
- ビジネス・ニーズに応えるための適切なバックアップおよびリカバリ手順の立案ができる。
- バックアップおよびリカバリ設定の実装とディスクおよびテープへのバックアップ操作の実行ができる。
- Oracle Databaseリカバリ手順を使用したメディアおよびその他の障害からのリカバリができる。
- データ障害の診断および修復ができる。
- フラッシュバック・テクノロジおよびデータ複製を使用したバックアップおよびリカバリ手順の補完ができる。
- 適切なバックアップおよびリカバリ計画によるデータベースの可用性の確保ができる。

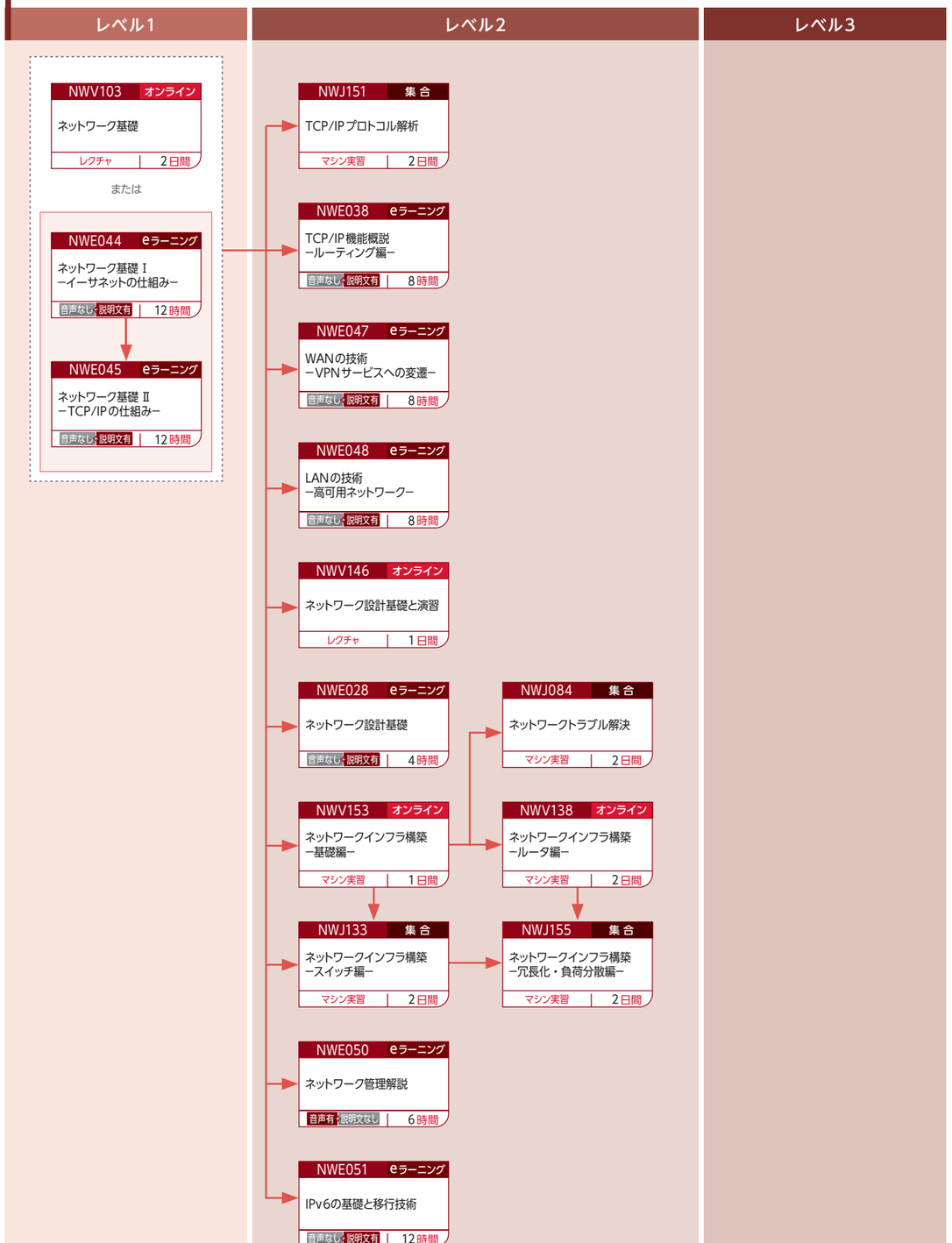
対象者
- Oracleデータベースを運用する方。
- ORACLE MASTER Gold DBA 2019の資格取得をめざす方。

前提知識 「Oracle Database：管理ネクスト・ステップ」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内　容
1. バックアップおよびリカバリの構成
2. Recovery Manager（RMAN）の使用
3. バックアップ計画
4. データベース・バックアップの作成
5. オプションのバックアップ機能の使用
6. RMANのバックアップ・パフォーマンスのチューニング
7. リカバリ・カタログの概要
8. リカバリ・カタログの作成
9. ターゲット・データベース・レコードの管理
10. ストアド・スクリプトの使用
11. 仮想プライベート・カタログの作成及び使用
12. リストアおよびリカバリの概要
13. 障害の診断
14. 完全リカバリの実行
15. Point-in-timeリカバリの実行
16. ブロック・メディア・リカバリの実行
17. 追加のリカバリ操作の実行
18. フラッシュバック・テクノロジ：概要
19. 論理的フラッシュバック機能の使用
20. フラッシュバック・データベースの使用
21. PDBスナップショットの使用
22. データベース複製の概要
23. バックアップベースの複製データベースの作成

受講料 ¥451,000

ネットワーク基礎、設計、構築



レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

マシン実習：マシンを使用しながらの研修
グループ演習：グループ演習を中心とした研修
レクチャ：座学による研修
eラーニング：インターネット接続による自己学習
自習テキスト：自習書による独習

オンライン / コースコード NWV103

レクチャ 2日間

ネットワーク基礎【バーチャル・クラスルーム】

コンピュータネットワークで利用される技術や、コンピュータネットワークの構築に必要な基礎知識を総合的に学習します。

到達目標
・LANの構成要素（ハード/ソフト）について説明できる。
・OSI基本参照モデルに対応したネットワークの基本動作を説明できる。
・イーサネット、IPv4、TCP/UDPの基本について説明できる。

対象者
・ネットワーク技術者をめざす方。
・業務の中でネットワークの基礎知識を必要とする方。
・小規模なネットワークを構築・運用する方。

前提知識
特に必要としません。

内 容
1. ネットワークの基礎知識
2. プロトコル
3. ネットワークインタフェース層
4. インターネット層
5. トランスポート層
6. アプリケーション層
7. ネットワーク機器
8. インターネット

受講料 ¥55,000

eラーニング / コースコード NWE044

eラーニング 12時間

<eラーニング> ネットワーク基礎Ⅰ −イーサネットの仕組み−

ネットワークの階層構造および、各階層におけるプロトコルの概要、LANで使われる基礎技術についてイーサネットを中心に学習します。

到達目標
・ネットワークの階層構造、プロトコルの役割について説明できる。
・イーサネットの基礎技術、機器について説明できる。

対象者
ネットワークに関する基礎的な知識を必要とする方。

前提知識
特に必要としません。

内 容
1. ネットワークの基礎知識
2. プロトコル
3. ネットワークの通信例
4. アプリケーションプロトコル
5. TCP/UDP
6. IP
7. 伝送媒体
8. イーサネット
9. LANデバイス
10. 修了試験

受講料 ¥48,400

eラーニング / コースコード NWE045

eラーニング 12時間

<eラーニング> ネットワーク基礎Ⅱ −TCP／IPの仕組み−

TCP/IPの概要をインターネット層、トランスポート層、アプリケーション層を中心に解説します。

到達目標
・TCP/IPの基礎的な説明ができる。
・IP関連プロトコルの基礎的な説明ができる。
・TCP/IP上のアプリケーションの基礎的な説明ができる。

対象者
TCP/IPの基礎的な知識を必要とする方。

前提知識
「ネットワーク基礎Ⅰ−イーサネットの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. TCP/IPの概要
2. IP
3. アドレス解決（ARP）
4. ICMP
5. TCP/UDP
6. IP関連技術
7. リモート・ログイン（Telnet）
8. ファイル転送（FTP）
9. 名前解決（DNS）
10. WWW（HTTP）
11. 電子メール
12. IPv6
13. 修了試験

受講料 ¥48,400

集 合 / コースコード NWJ151

マシン実習 2日間

TCP／IPプロトコル解析

LANアナライザを用いてTCP/IPのシーケンスを視覚的にとらえることにより、TCP/IPの内部的な動作を学習します。

到達目標
TCP/IPの内部的な動作を説明できる。

対象者
TCP/IPについてネットワーク内部での動作を把握し、知識を深めたい方。

前提知識
「ネットワーク基礎」コース、または「ネットワーク基礎Ⅱ−TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. TCP/IPの構造
2. TCP/IPのデータの流れ
3. 各プロトコルヘッダの構造
4. ICMPメッセージの種類
   (1) EchoRequest、EchoReply
   (2) Redirect
   (3) TimeExceeded
5. 各アプリケーションの動作
   (1) ftp
   (2) telnet
6. シーケンス確認（演習）
   (1) TCP/IPレベルのシーケンス
   (2) アプリケーションのシーケンス

受講料 ¥90,200

eラーニング / コースコード NWE038

eラーニング 8時間

<eラーニング> TCP／IP機能概説−ルーティング編−

TCP/IPでのルーティングの仕組みやルーティングプロトコル（RIP、OSPF、BGP）を学習します。

到達目標
・小規模ネットワークにおけるルーティングに必要な各種設定および項目を説明できる。
・ルーティングプロトコル各種の特性を説明できる。

対象者
ネットワーク技術者をめざす方。

前提知識
「ネットワーク基礎」コース、または「ネットワーク基礎Ⅱ−TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ルーティング
2. スタティックルーティング
3. ルーティングアルゴリズム
4. RIP
5. OSPF
6. BGP
7. 修了試験

受講料 ¥19,800

eラーニング / コースコード NWE047

eラーニング 8時間

<eラーニング> WANの技術−VPNサービスへの変遷−

VPNをはじめとするWANサービスの概要と、サービスを構成する基礎技術を学習します。

到達目標
・代表的なWANサービスの基礎技術を説明できる。
・VPN（広域イーサネット、IP-VPN、インターネットVPN）について技術とサービスの特性を説明できる。

対象者
WANサービスの基礎的な知識を必要とする方。

前提知識
「ネットワーク基礎」コース、または「ネットワーク基礎Ⅱ−TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
序章. WANサービスの変遷
1. WANの利用
2. 伝送技術とデータリンク層プロトコル
3. 専用線
4. PSTN・ISDN
5. xDSL・FTTH
6. 無線アクセス回線
7. 広域イーサネット
8. IP-VPN
9. インターネットVPN

受講料 ¥26,400

eラーニング / コースコード NWE048

eラーニング 8時間

<eラーニング> LANの技術−高可用ネットワーク−

VLAN、無線LAN、負荷分散装置など、LANを構築するうえで必要な知識を学習します。

到達目標
・VLAN、無線LANの基礎を説明できる。
・負荷分散装置、冗長化技術の基礎について説明できる。

対象者
LAN技術の基礎的な知識を必要とする方、またはLAN技術の基礎的な知識を必要とする方。

前提知識
「ネットワーク基礎」コース、または「ネットワーク基礎Ⅱ−TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. LANの構築
2. リンクアグリゲーション
3. STP
4. VRRP
5. 負荷分散
6. VLAN
7. ネットワーク・ストレージ
8. 無線LAN
9. LANデバイス
10. 修了試験

受講料 ¥26,400

オンライン / コースコード NWV153

マシン実習 1日間

ネットワークインフラ構築−基礎編−【バーチャル・クラスルーム】

PC、LANスイッチ、ルータの基本的な操作を通して、ネットワークの基礎知識、またネットワーク構築の基礎技術の理解を深めます。

到達目標
PC、LANスイッチ、ルータの基礎的な設定ができる。

対象者
・ネットワークを構築・管理する方。
・ネットワーク機器の操作を通じてネットワーク技術の知識を深めたい方。

前提知識
「ネットワーク基礎」コース、または「ネットワーク基礎Ⅱ−TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. LANとは
   (1) OSI基本参照モデル
   (2) イーサネット
   (3) TCP/IP
2. ネットワーク機器の基本操作
   (1) モード
   (2) 基本コマンド
   (3) インタフェースの設定
3. スイッチを用いたLANの構築
   (1) スイッチの機能
   (2) VLAN
4. ルータを用いたLANの構築
   (1) ルータの機能
   (2) スタティックルーティング
   (3) ダイナミックルーティング

受講料 ¥44,000

集 合 / コースコード NWJ084

マシン実習 2日間

ネットワークトラブル解決

ネットワークにおけるトラブルシュートについて、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・トラブルシュートの基礎的な考え方について説明できる。
・トラフィック解析ツールを利用したトラブルシュートができる。

対象者
ネットワークを構築・管理する方、トラブルの切り分けを行う方。

前提知識
「ネットワークインフラ構築−基礎編−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ネットワーク概要
2. トラブル解析手順
   (1) ネットワークトラブルに対する考え方
   (2) トラブルシュートで必要なこと
   (3) トラブルの絞り込み
3. ルータの基本操作
4. スイッチの基本操作
5. LANアナライザの使用方法
6. トラブルシューティング演習

受講料 ¥81,400

オンライン / コースコード NWV146

レクチャ 1日間

ネットワーク設計基礎と演習【バーチャル・クラスルーム】

ネットワークシステムの計画・設計において必要な基礎知識を学習します。

到達目標
ネットワークシステムの計画、設計工程に必要な基礎知識を説明できる。

対象者
・職種共通、若年層ネットワークシステムの計画、設計をする方。
・ネットワークシステムの設計を依頼する方。

前提知識
「ネットワーク基礎」コース、または「ネットワーク基礎Ⅱ−TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ネットワーク設計・構築の全体像
2. LANの設計
3. 拠点間接続の設計
4. インターネットの接続設計
5. 拠点ネットワークの設計演習
6. 全社ネットワークの設計演習

受講料 ¥38,500

eラーニング / コースコード NWE028

eラーニング 4時間

<eラーニング> ネットワーク設計基礎

ネットワークシステムの計画、設計において必要な基礎知識を学習します。

到達目標
ネットワークシステムの計画、設計工程に必要な基礎知識を説明できる。

対象者
・ネットワークシステムの計画、設計をする方。
・ネットワークシステムの設計を依頼する方。

前提知識
「ネットワーク基礎」コース、または「ネットワーク基礎Ⅱ−TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ネットワーク設計・構築の全体像
2. LANの設計
3. 拠点間接続の設計
4. インターネット接続の設計
5. 修了試験

受講料 ¥11,000

オンライン / コースコード NWV138

マシン実習 2日間

ネットワークインフラ構築−ルータ編−【バーチャル・クラスルーム】

LANでのルーティング技術について、ルータを使ったマシン実習を通して学習します。

到達目標
小規模ネットワークにおけるルーティング設定ができる。

対象者
ルータを使用したネットワークを構築、管理する方。

前提知識
「ネットワーク基礎」コース、または「ネットワーク基礎Ⅱ−TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ルータの基本操作
2. ルーティングの基礎
3. スタティックルーティング
4. ダイナミックルーティング（シングルエリアOSPF）
5. ダイナミックルーティング（マルチエリアOSPF）
6. ダイナミックルーティング（BGP）
7. 経路再配布

受講料 ¥77,000

ミドル・アプリケーション製品

ビジネスユーザーによるデータ活用やローコードでのDXを支援するアプリケーション・サービスの基礎知識、操作、技術が修得できます。

Pentaho

Pentahoを使用してデータ操作・参照したい方

レベル1	レベル2	レベル3
PDV001 オンライン （Pentaho認定） ビジネスアナリティクス ユーザーコンソール マシン実習 1日間 ＜Pentaho認定コース＞		

PentahoのBI機能を使用したデータ分析をしたい方

レベル1	レベル2	レベル3
PTV003 オンライン Pentahoによる データの可視化・分析 マシン実習 0.5日間 ＜日立アカデミーオリジナルコース＞	PDV003 オンライン （Pentaho認定） ビジネスアナリティクス データモデリング マシン実習 2日間 ＜Pentaho認定コース＞	
	PDV002 オンライン （Pentaho認定） ビジネスアナリティクス レポートデザイナー マシン実習 2日間 ＜Pentaho認定コース＞	
	PDV004 オンライン （Pentaho認定） CToolsの基本 マシン実習 2日間 ＜Pentaho認定コース＞	

Pentahoを使用してデータ統合をしたい方

レベル1	レベル2	レベル3
PTV004 オンライン データ加工・統合入門 ーPentahoを用いてー マシン実習 1日間 ＜日立アカデミーオリジナルコース＞	PDV005 オンライン （Pentaho認定） データ統合の基本 マシン実習 3日間 ＜Pentaho認定コース＞	

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

集合 コースコード NWJ133

ネットワークインフラ構築 ースイッチ編ー

マシン実習 2日間

L3スイッチを使ったマシン演習を通し、VLAN、リンクアグリゲーション、STP、ルーティング、フィルタリング、運用管理について学習します。

到達目標 L3スイッチによるネットワークを構築できる。

対象者 LANスイッチを使用したネットワークを構築、管理する方。

前提知識 「ネットワークインフラ構築ー基礎編ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. スイッチの概要
2. スイッチの基本操作（コンフィギュレーション、ミラーポート）
3. VLAN（ポートVLAN、タグVLAN、VLAN間ルーティング）
4. リンクアグリゲーション
5. STP（RSTP、MSTP）
6. パケットフィルタリング（ACL）
7. 運用管理（SNMP、Syslog）

受講料 ¥81,400

集合 コースコード NWJ155

ネットワークインフラ構築 ー冗長化・負荷分散編ー

マシン実習 2日間

高可用ネットワークを実現するための冗長化技術および負荷分散技術について、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- 冗長化技術を用いたネットワークを設計・構築できる。
- 負荷分散技術を用いたネットワークを設計・構築できる。

対象者 ネットワークインフラを設計、構築、管理する方。

前提知識 「ネットワークインフラ構築-スイッチ編-」および「ネットワークインフラ構築-ルータ編-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. L2冗長化・負荷分散（STP、RSTP、MSTP）
2. L3冗長化・負荷分散（OSPF、RIP）
3. ゲートウェイ冗長化（VRRP）
4. ロードバランサによる負荷分散
5. NIC冗長化（チーミング）
6. 総合演習

受講料 ¥94,600

eラーニング コースコード NWE050

<eラーニング> ネットワーク管理解説

eラーニング 6時間

ネットワークの運用管理の対象となる項目（構成管理・性能管理・障害管理等）と、ネットワーク運用管理において利用するプロトコル、各種管理ツールの特長について学習します。

到達目標
- ネットワークの管理項目（構成管理/性能管理/障害管理等）について説明できる。
- 各種管理ツールの利用方法/特長について説明できる。
- SNMPによるネットワーク管理の構成要素と、要素の概要を説明できる。

対象者 情報システムにおけるネットワークの運用管理を行う方。

前提知識 「ネットワークインフラ構築ー基礎編ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ネットワーク管理の概要
2. 資産・構成管理
3. 性能管理
4. 障害管理
5. ネットワーク管理ツール
6. SNMPを用いたネットワーク管理

受講料 ¥26,400

eラーニング コースコード NWE051

<eラーニング> IPv6の基礎と移行技術

eラーニング 12時間

IPv6プロトコルに関連する基礎技術（アドレス、ヘッダ、ICMP等）と移行技術を学習します。

到達目標
- IPv6の概要を説明できる。
- IPv6移行技術の概要を説明できる。

対象者 IPv6の基礎的な知識を必要とする方、ネットワークの設計、構築、運用管理を行う方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「ネットワーク基礎Ⅱ ーTCP/IPの仕組みー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. IPv4の問題点とIPv6の特長
2. IPv6の仕様（プロトコルスタックやアドレスなど）
3. ICMPv6の仕様（アドレス解決やステートレスアドレス自動設定など）
4. IPv6への移行（移行形態やアドレス設計例など）
5. 修了試験

受講料 ¥48,400

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

プロダクト（IT）
基盤製品（データベース）
基盤製品（ネットワーク）
ミドル・アプリケーション製品
RPA製品
IoT

Power Platform

Microsoft Power Platformを使用して業務アプリケーションの構築・運用する方

レベル1	レベル2	レベル3

RPV021 オンライン
Power Platform入門（Power Automate DesktopによるRPA活用編）
マシン実習 | 1日間

RPV025 オンライン
Power Platform入門（Power Appsによるキャンバスアプリ開発編）
マシン実習 | 1日間

RPV019 オンライン
Power Platform入門（Power BI Desktopによるデータ活用編）
マシン実習 | 1日間

休講 ※
RPV022 オンライン
Power Platform入門（Power Automateによるクラウドフロー活用編）
マシン実習 | 1日間

RPV026 オンライン
Power Platform入門（Power QueryとExcelによるデータ加工編）
マシン実習 | 1日間

※RPV022の個別開催については別途お問い合わせください。

Tableau

レベル1	レベル2	レベル3

New
DBV215 オンライン
Tableau入門ハンズオン
マシン実習 | 0.5日間

DBV213 オンライン
Tableau Desktop 基礎［前編］
マシン実習 | 2日間

DBV214 オンライン
Tableau Desktop 基礎［後編］
マシン実習 | 2日間

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

MuleSoft

Anypoint Platform™を使用して開発・設計・管理をしたい方

レベル1	レベル2	レベル3

New
SPV095 オンライン
Anypoint Platform Development：Fundamentals（開発：基礎）［前編］
マシン実習 | 2日間

New
SPV097 オンライン
Anypoint Platform Architecture：Application Networks（アーキテクチャ：アプリケーションネットワークス）
レクチャ | 3日間

New
SPV096 オンライン
Anypoint Platform Development：Fundamentals（開発：基礎）［後編］
マシン実習 | 3日間

New
SPV093 オンライン
Anypoint Platform Architecture：Integration Solutions（インテグレーションソリューションズ）
マシン実習 | 5日間

New
SPV098 オンライン
Anypoint Platform Development：Production-Ready［前編］開発ベストプラクティス
マシン実習 | 3日間

New
SPV099 オンライン
Anypoint Platform Development：Production-Ready［後編］インテグレーション・ベストプラクティス
マシン実習 | 4日間

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

オンライン / コースコード PDV001

マシン実習 1日間

（Pentaho認定）ビジネスアナリティクス ユーザーコンソール【バーチャル・クラスルーム】

ビジネス上の意思決定にビジネスインテリジェンスを利用するユーザーに対して、Pentaho製品の円滑なスタートを提供します。また、このコースはすべてのビジネス・アナリティクスとデータ統合の学習のための出発点となり、より高度なトピックのための前提条件となります。

到達目標 インタラクティブレポート、アナライザ、レポートデザイナー、およびダッシュボードデザイナーの主な機能を説明できる。

対象者 ビジネスユーザーの方、ビジネスアナリストをめざす方、データアナリスト・Pentaho管理者・Pentahoサポートを担当する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. Pentahoビジネスアナリティクス入門
2. インタラクティブレポートによるレポート作成
3. アナライザによるレポート作成
4. ダッシュボードデザイナーによるダッシュボード作成

受講料 ¥110,000

オンライン / コースコード PTV003

マシン実習 0.5日間

Pentahoによるデータの可視化・分析【バーチャル・クラスルーム】

Pentahoのアナライザーレポート機能などを用いた、データの可視化および分析について学習します。

到達目標
- データ分析の処理方法であるOLAP（Online Analytical Processing）の概要を説明できる。
- Pentahoを用いてデータを可視化、分析できる。

対象者 Pentahoによるデータの可視化、分析について学びたい方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作についての知識があること。

内　容
1. Pentahoのデータ可視化、分析機能概要
   （1）概要
   （2）アナライザーレポート機能
   （3）その他のレポート機能
2. アナライザーレポート機能による可視化、分析
   （1）OLAP分析の概要
   （2）グラフ種別
   （3）データ分析操作
3. データ分析演習
   （1）仮説の作成
   （2）分析と仮説の検証

受講料 ¥41,800

オンライン / コースコード PDV003

マシン実習 2日間

（Pentaho認定）ビジネスアナリティクス データモデリング【バーチャル・クラスルーム】

Pentahoメタデータエディターやスキーマワークベンチを使って、インタラクティブレポートやアナライザーで使用するデータモデルの作成を行います。

到達目標
- データソースウィザードを使用してCSVファイルからデータモデルを作成できる。
- Pentahoメタデータエディターを使って、複雑なDBテーブルやレポートデータに対するセキュリティパラメータの設定をするためのビジネス言語定義が行える。
- OLAP、ROLAP、ディメンジョナル・モデリングを説明できる。
- Mondrianスキーマの機能と目的を説明できる。
- Pentahoアナライザーの基本的なキューブを作成するために、スキーマワークベンチを使える。
- ヒエラルキー、レベル、計算メンバーを含むスタースキーマを作成するために、スキーマワークベンチを使える。
- スキーマワークベンチ内でMondrianスキーマをテストするために基本的なMDXクエリーを書ける。
- Mondrianスキーマへのアクセスを管理するため、どのようにスキーマワークベンチのロールを使うか説明できる。

対象者 ビジネスアナリスト、データアナリストをめざす方、Pentahoサポートを担当する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. Pentahoビジネスアナリティクス入門
2. Pentahoによるデータソースの働き
3. OLAP/ROLAPとディメンジョナル・モデリング
4. スキーマワークベンチの使用

受講料 ¥209,000

オンライン / コースコード PDV002

(Pentaho認定)ビジネスアナリティクス レポートデザイナー【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

Pentahoレポートデザイナーにより、レポートのデザイン、作成、パブリッシュ方法を修得します。また、データソースへのアクセスからデザイン要素の追加までビジネスレポート作成に必要なすべてのステップを学習できます。

到達目標
- レポートデザイナーの主要な特長を説明できる。
- データソースに接続してクエリーデザインツールによりレポートのためのクエリーが書ける。
- さまざまなデータを使用して要素をデザインできる。
- レポート要素をフォーマットして、条件フォーマットをレポート要素に適用できる。
- ハイパーリンクとパラメーターをレポートに追加できる。
- レポートデザイナーでチャートとサブレポートを使える。
- レポート内でリソースファイルを使うことができる。
- レポートウィザードを使ってレポートを作成できる。

対象者 ビジネスアナリストをめざす方、Pentahoサポートを担当する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. Pentahoビジネスアナリティクス入門
2. レポートデザイナーによるレポート作成
3. 高度なレポーティングトピック
4. レポートウィザードによるレポート作成

受講料 ¥209,000

オンライン / コースコード PDV004

(Pentaho認定)CToolsの基本【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

リッチなユーザー体験を提供するピクセルパーフェクトなダッシュボードの作成方法について学習します。

到達目標
- ダッシュボードデザインのためのトップ - ボトムアプローチが説明できる。
- DCFのようなダッシュボードフレームワークの目的を説明できる。
- コアのCTools（CDA、CDE、CCC）が使えて、その目的が説明できる。
- CToolsの中で使用されるテクノロジーが説明できる。
- CToolsトレーニング環境が説明できる。
- CDEを使ったダッシュボードのためのレイアウトが作成できる。
- CDEのライフサイクルの背景となる主要コンセプトが説明できる。
- CDEデータソースパースペクティブが説明できる。
- Mondrianデータソースをダッシュボードに追加できる。
- CCCとCCC2が説明できる。
- チャートや表がダッシュボードに追加できる。
- チャートカスタマイズのための拡張ポイントを見つけるためドキュメントを使える。
- パラメータコンポーネントをダッシュボードに追加できる。
- セレクターやウィジェットをダッシュボードに追加できる。

対象者 ビジネスアナリストをめざす方。

前提知識 「(Pentaho認定)ビジネスアナリティクス」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内　容
1. ダッシュボードデザイン
2. CToolsのアーキテクチャ
3. CDF/CDE入門
4. CDAによるダッシュボードデータソースの作成
5. ダッシュボードへのコンポーネント追加
6. CCCによるチャートの設定
7. コンポーネント間の相互利用
8. CGGとCDAのエクスポート機能

受講料 ¥209,000

オンライン / コースコード PTV004

データ加工・統合入門 −Pentahoを用いて−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

データ統合で必要なETL処理について、データ加工の考え方やポイントを学習します。また、PentahoのPDI（Pentaho Data Integration）機能を使用した、ETL処理の定義・実行操作を学習します。

到達目標
- データ統合を目的としたETL（Extract/Transform/Load）処理のポイントを説明できる。
- Pentahoを用いてETL処理を定義・実行できる。

対象者
- 業務でデータ統合を実現する方法を学びたい方。
- Pentahoを使用したシステムの提案、導入を担当する営業、SEの方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作についての知識があること。

内　容
1. ETL概要
   (1)ETLとは
   (2)ETLにおけるデータ加工のポイント
2. Pentaho概要
   (1)Pentahoの概要と構成
   (2)PDIの用語・概念
3. データの名寄せ
   (1)名寄せとは
   (2)名寄せのポイント
   (3)PDIでの設定・実行例
   (4)演習
4. データのクレンジング
   (1)クレンジングとは
   (2)クレンジングのポイント
   (3)PDIでの設定・実行例
   (4)演習

受講料 ¥72,600

オンライン / コースコード PDV005

(Pentaho認定)データ統合の基本【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 3日間

Pentahoデータ統合を活用し、生産性を向上させるスキルを修得できます。また、Pentahoのデータ統合機能を使用して、さまざまなアプリケーションにデータを配信する方法を学習できます。

到達目標
- ステップやホップを含む基本的なデータ変換の作成、プレビュー、実行ができる。
- データ変換の結果をメトリクスビューやログビューで確認できる。
- 基本的なセキュリティを含むPentahoエンタープライズレポジトリを設定できる。
- Pentahoエンタープライズレポジトリを使用できる。
- データ変換ステップのためのエラーハンドリングができる。
- データベース接続を作成してデータベース探索が行える。
- データ変換の作成が行える。
- ストリーム上での複雑な計算を行うデータ変換の作成できる。
- パラメータや環境変数を使った繰り返しのデータ変換を作成できる。
- データ補正データクレンジングにPentahoデータ統合を使用できる。
- 異なるデータソースへデータをロードできる。
- ジョブを作成できる。
- データ変換やジョブのためのログを設定し、結果を検証できる。
- Pentahoデータ統合、Pentahoエンタープライズコンソールから、スケジュールしてモニタリングできる。

対象者 データアナリストをめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 基本的なデータ変換の作成、プレビュー、実行
2. メトリクスビューやログビュー
3. Pentahoエンタープライズレポジトリ
4. エラーハンドリング
5. データベース接続
6. 各種データ変換
7. データ統合
8. ジョブの作成

受講料 ¥308,000

オンライン / コースコード RPV021

Power Platform入門 (Power Automate DesktopによるRPA活用編)【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

Microsoft社のPower Automate DesktopによるRPA活用（業務を自動化するためのデスクトップフロー開発）について、マシン演習を通じて学習します。

到達目標
- RPAの概要や活用事例が説明できる。
- Power Automateの製品概要が説明できる。
- Power Automate Desktopの主要機能が説明でき、操作できる。
- Power Automate Desktopによるロボット開発（デスクトップフロー作成）により業務を自動化できる。

対象者 Power Automate Desktopによる基本的なデスクトップフローの開発手法を学習したい方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. RPA概要
   (1)RPAとは
   (2)業務のRPAの考え方
2. Power Automateの紹介
   (1)Power Platform概要
   (2)Power Automate Desktop概要
   (3)Power Automate Desktopの主要機能
   (4)Power Automate Desktopの基本操作
3. 業務自動化フロー作成演習
   (1)演習で扱う業務内容の紹介
   (2)ブラウザ操作の自動化
   (3)表形式データ取得・ファイルへのデータ書き込みの自動化
   (4)ファイル内のデータ操作の自動化
   (5)フローのエラー処理の実装

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード RPV025

Power Platform入門 (Power Appsによるキャンバスアプリ開発編)【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

Microsoft社のPower Appsによるキャンバスアプリの開発について、マシン演習を通じて学習します。

到達目標
- Power Apps概要が説明できる。
- キャンバスアプリの主要機能が説明でき、操作できる。
- キャンバスアプリの開発により業務を効率化できる。

対象者 Power Appsによる基本的なキャンバスアプリの開発手法を学習したい方。

前提知識 Microsoft 365の基本的な操作経験があること。

内　容
1. Power Apps概要
2. キャンバスアプリの操作・主要機能
3. キャンバスアプリ開発演習

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード RPV022 休講

Power Platform入門 (Power Automateによるクラウドフロー活用編)【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

このコースは、Microsoft社のPower Automateによるクラウドフロー活用（クラウドサービスを利用した業務を自動化するためのフロー開発）について、マシン演習を通じて学習します。

到達目標
- Power Automateのクラウドフロー概要が説明できる。
- クラウドフローの主要機能が説明でき、操作できる。
- クラウドフローによるフロー開発によりクラウドサービスの業務を効率化できる。

対象者 Power Automateによる基本的なクラウドフローの開発手法を学習したい方。

前提知識 Microsoft 365の基本的な操作経験があること。

内　容
1. Power Automateクラウドフロー概要
2. クラウドフローの主要機能
3. クラウドフロー作成演習

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード RPV019

Power Platform入門 (Power BI Desktopによるデータ活用編)【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

Power Platform製品の中でデータ活用を支援するPower BIについて、Power BI Desktopを用いたデータの可視化や分析の機能・操作をマシン演習を通じて学習します。また、データ活用のための加工や可視化におけるポイントを学習します。

到達目標
- データの可視化や分析、データの加工におけるポイントを説明できる。
- Power BI Desktopのデータ加工・レポート作成機能を用いて可視化・分析を行える。

対象者
- データ活用に必要となるデータの加工や可視化・分析について学びたい方。
- Power BI Desktopを用いたビジュアルなレポート作成やそのためのモデル構築を行いたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. Power Platform/Power BI概要
   (1)Power Platform概要
   (2)Power BI概要
   (3)Power BI Desktop概要
2. データ活用、データ分析の概要
   (1)データ活用とは
   (2)データ分析の考え方
3. Power BI Desktopによるデータの加工とモデル構築
   (1)データ加工のポイント
   (2)Power BI Desktopでのモデル構築層操作
4. Power BI Desktopによるデータの可視化・分析
   (1)Power BI Desktopの可視化・分析機能
   (2)Power BI Desktopでの可視化・分析操作
5. データ分析演習

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード RPV026

Power Platform入門 (Power QueryとExcelによるデータ加工編)【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

データ活用を支援するPower BIやExcelが提供するデータ加工機能であるPower Queryについて、マシン演習を通じて学習します。

到達目標
- データの加工におけるポイントを説明できる。
- Power Queryを用いてデータの加工が行える。

対象者
- データ活用に必要となるデータの加工について学びたい方。
- Power Queryの機能や操作について学びたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. Power Query概要
2. データ加工のポイント、モデル構築の考え方
3. Power Queryの操作・主要機能
4. データ加工演習

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード DBV215 New

Tableau入門ハンズオン【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 0.5日間

Tableauの基礎知識を座学で学び、基本的な操作をハンズオンで体験します。

到達目標
- Tableauの概要を説明できる。
- Tableauの基本的な操作を行える。
- 自分ならびに自社のデータ活用状況を理解し、分析可能な状況をイメージできる。

対象者
- Tableauを導入予定、利用予定の方。
- データの分析、活用に興味のある方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. Tableauの概要（データ分析、AI）
2. データ活用の現状確認
3. Tableauハンズオン

受講料 ¥58,300

オンライン / コースコード DBV213

Tableau Desktop 基礎［前編］【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

このコースでは、各トピックの主な概念を取り上げたワークブックを使って実習を行いながらスキルや知識を学習します。

到達目標
- データに接続してデータソースを編集できる。
- データの並べ替え、フィルタリング、グループ化ができる。
- Tableauワークスペースを使用してビジュアライゼーションを作成できる。
- 基本的な各種のチャートタイプを分析用に構築できる。
- 簡単な表計算など、基本的な計算を作成できる。
- インタラクティブなダッシュボードを構築して、データインサイトを表面化ができる。
- ビジュアライゼーションを共有およびパブリッシュする方法を説明できる。

対象者 これからTableauをご利用する方、Tableauの導入を検討する方。
Tableauを初めて使用する作成者、アナリスト、設計者、データサイエンティスト、管理者にとっての出発点となるコースです。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. Tableauの基礎
2. Tableau のワークフロー
3. 接続とデータソースを設定する
4. データを簡素化して並べ替える
5. データを整理する
6. 特定の値を表示する
7. 日付でデータをスライスする
8. 1つのビューで複数のメジャーを使用する
9. 数値間の関係性を表示する
10. データをカスタマイズする
11. 簡易表計算でデータを分析する
12. 全体の内訳を表示する
13. ビューを使用できるようにする

受講料 ¥233,200

オンライン / コースコード DBV214

Tableau Desktop 基礎［後編］【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

Tableau のパワーユーザーになるために必要な技能を修得します。データへの接続、計算の使用、ビジュアライゼーションの構築、パラメーターなどの分析の適用、ダッシュボードのカスタマイズなどに関して、より高度な手法を学習します。

到達目標
- 結合、ユニオン、関係を使用して、複数の表からのデータを統合ができる。
- 抽出を使用してパフォーマンスを向上させることができる。
- Bar in Bar やブレットグラフなどの高度なチャートタイプを構築できる。
- 高度な計算と表計算を使用し、分析用に必要に応じてデータを修正できる。
- 統計テクニックを用いてデータを分析できる。
- パラメーターと入力コントロールを使用して、オーディエンス分析を支援ができる。
- 誘導形式の分析機能、インタラクティブなダッシュボード設計、ビジュアライゼーションのベストプラクティスなどのテクニックを用いて、より良いダッシュボードを構築ができる。

対象者 より高度なスキルの修得をめざすTableauに習熟したユーザーの方。

前提知識 「Tableau Desktop 基礎 [前編]」コースを修了しているか、または 3 か月以上の製品使用経験があること。

内　容
1. Tableau Desktop 基礎［後編］の概要
2. データソースを作成して接続する
3. データ抽出
4. Tableau で計算を使用する
5. メジャーを比較する
6. 分布を表示する
7. ビンとヒストグラム
8. 高度な表計算
9. パラメーターを作成して使用する
10. データのサブセットを定義する
11. ダッシュボード

受講料 ¥277,200

RPA製品

RPA（Robotic Process Automation）製品を使用して業務自動化のロボットを開発するために必要な基礎知識と技術が修得できます。

オンライン / コースコード SPV095 New

マシン実習 2日間

Anypoint Platform Development：Fundamentals（開発：基礎）［前編］【セールスフォース・ドットコム社 ライブ配信】

Anypoint Platformを使って、公開されたAPIの発見、利用、デザイン、ビルド、デプロイ、そして管理を学びます。このコースではコーディングは行いません。

到達目標
- アプリケーションネットワークとAPI主導の接続性の利点を説明することができる。
- Anypoint Exchangeを中央ポジトリとして使って、アセットの発見や再利用をすることができる。
- Flow Designerを使って、Anypoint Exchangeに公開されているAPIと接続したり、データの変換を行うための、インテグレーションアプリケーションを構築することができる。

対象者 Anypoint Platformを使って、APIの開発とインテグレーションの基礎を学びたい方。

前提知識
- XML、JSONなどのデータフォーマットに関する基礎を理解していること。
- HTTP、REST、SOAPなどインテグレーションに関する基礎を理解していること。

内　容
1. アプリケーションネットワークとAPI主導の接続性の概要
2. Anypoint Platformの概要
3. APIの設計
4. APIの作成
5. APIのデプロイと管理

受講料 ¥209,000

オンライン / コースコード SPV097 New

レクチャ 3日間

Anypoint Platform Architecture：Application Networks（アーキテクチャ：アプリケーションネットワークス）【セールスフォース・ドットコム社 ライブ配信】

Muleアプリケーションの開発やデプロイに関する事前の知識・経験を元に、Anypoint Platformがサポートする様々なデプロイオプションを使用して、Mule Runtime（Mule4とMule3）のためのインテグレーションソリューションを設計するためのガイドを行います。このコースはMuleSoft認定プラットフォームアーキテクトMCPA-レベル1試験の受験準備コースです。コースを完了すると、MCPA受験権利が2回まで付与されます。

到達目標 機能要件をビジネスと整合させ、効果的な粒度でバージョン管理されたAPIとAPIデータモデルへの落とし込みができる。

対象者 Anypoint Platformを使用して、機能要件と非機能要件を満たすインテグレーションソリューションの設計を学びたい方。

前提知識
1. Anypoint Platform Development：Fundamentals（開発：基礎）[前編]コースを修了していること。
2. Anypoint Platformコンポーネントの知識と経験があること。
3. 上記1、2に加え、以下の開発やアーキテクチャの知識や経験があること：
   - JVMベースのプログラミング経験
   - 任意の技術スタックを使用した、クラウドプラットフォームソフトウェア開発のアーキテクトとしての経験
   - 以下を含むエンタープライズインテグレーションを理解していること
     - XML、JSON、REST API、SOAP Webサービス、SQL、NoSQL、JMS、AMQP、TCP/IP、HTTP、HTTPS
   - 企業クラウド技術のアーキテクチャの一般的なコンポーネントの目的の理解
   - 基本的なセキュリティの概念を理解していること

内　容
1. コースの背景説明
2. MuleSoft、アプリケーションネットワークのビジョン、そしてAnypoint Platformの紹介
3. 組織とプラットフォームの基礎の確立
4. APIの特定、再利用、公開
5. Anypoint API Managerを使った、API呼び出しのレベルでの非機能要件の適用
6. 効果的なAPIの設計
7. 効果的なAPI実装の構築とデプロイ
8. イベントドリブンアーキテクチャを使用して、API主導の接続性をサポートする
9. 本番環境への移行
10. アプリケーションネットワークの監視と分析

受講料 ¥313,500

オンライン / コースコード SPV096 New

マシン実習 3日間

Anypoint Platform Development：Fundamentals（開発：基礎）［後編］【セールスフォース・ドットコム社 ライブ配信】

Anypoint Studio（Mule Runtime）を用いて、APIの実装とインテグレーションを行い、アプリケーションを構築します。このコースの内容はMuleSoft Certified Developer-Level1（MuleSoft認定開発者-Level1）の資格試験内容をカバーしています。インストラクター主導のコースを受講する場合、2回まで、追加費用なしでこの試験を受験することができます。

到達目標
- API主導の接続性とAnypoint Platformを使って、アプリケーションネットワークを構築することができる。
- Anypoint Platformを使って、公開されたAPIの発見、利用、デザイン、ビルド、デプロイ、そして、管理ができる。
- Anypoint Studioを使って、Mule 4アプリケーションを構築ができる。
- Anypoint Studioを使って、統合およびAPI実装の構築およびデバッグができる。
- データベース、ファイル、ウェブサービス、SaaSアプリケーション、JMSキュー、その他の多くのシステム連携ができる。

対象者 Anypoint Platformを使って、APIの開発とインテグレーションの基礎を学びたい方。

前提知識
- オブジェクト指向言語での開発経験・XML、CSV、JSONなどのデータフォーマットに関する基礎を理解していること。
- HTTP、JMS、JDBC、REST、SOAPなどインテグレーションに関する基礎を理解していること
- 「Anypoint Platform Development：Fundamentals（開発：基礎）［前編］」コースの修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. MULEイベントに対するアクセスと変更
2. MULEアプリケーションの構造化
3. WEBサービスのコンシューム
4. イベントフローの制御
5. エラーの処理
6. DataWeave変換の記述
7. フローのトリガ
8. レコードの処理

受講料 ¥313,500

オンライン / コースコード SPV093 New

マシン実習 5日間

Anypoint Platform Architecture：Integration Solutions（インテグレーションソリューションズ）【セールスフォース・ドットコム社 ライブ配信】

Muleアプリケーションの開発やデプロイに関する事前の知識・経験を元に、Anypoint Platformがサポートする様々なデプロイオプションを使用して、Mule Runtime（Mule 4とMule 3）のためのインテグレーションソリューションを設計するためのガイドを行います。このコースを完了することで、MCIA-レベル1試験の準備を行うことができます。コースに参加することで、MCIA資格試験の2回分の受験権利が付与されます。

到達目標 機能要件と非機能要件を、インテグレーションのインターフェースと実装のデザインにドキュメント化できる。

対象者 Anypoint Platformを使用して、機能要件と非機能要件を満たすインテグレーションソリューションの設計を学びたい方。

前提知識
- 「Anypoint Platform Development：Fundamentals（開発：基礎）の前編および後編」コースを修了していること。
- 上記に加え、以下の開発やアーキテクチャの知識や経験があること。
  - JVMベースのプログラミング経験
  - スレッド、スレッドプール、ロック、サーバー/クライアントソケット、JDBCデータソースの知識
  - Git、Mavenなどのソフトウェア開発ツールの知識
  - 最低1つ以上のインテグレーションプロジェクトにおける開発者としての経験
- 以下を含むエンタープライズインテグレーションについて理解していること。
  - XML、JSON、REST API、SOAP Webサービス、SQL、NoSQL、JMS、AMQP、TCP/IP、HTTP、HTTPS
- 証明書、暗号化を含む、伝送中のデータと保管中のデータのセキュリティに関する基本的な理解をしていること。

内　容
1. インテグレーションソリューションアーキテクチャの紹介
2. Anypoint Platformコンポーネントと機能の理解
3. Mule アプリケーションコンポーネントを使用したインテグレーションソリューションの設計
4. 適切な Mule 4 イベント処理モデルの選択
5. 適切なメッセージトランスフォーメーション（変換）とルーティングパターンの選択
6. Mule アプリケーションのテスト戦略の設計
7. デプロイメント戦略の決定と開発
8. 適切なステート（状態）の維持と管理のオプション設計
9. 効果的なログと監視（モニタリング）の設計
10. 効率的で自動化されたソフトウェア開発ライフサイクル（SDLC）の設計
11. Mule アプリケーションにおけるトランザクション管理設計
12. 信頼性（reliability）目標のための設計
13. 高可用性（HA）目標のための設計
14. デプロイした Mule アプリケーションのパフォーマンス最適化
15. セキュアな Mule アプリケーションとデプロイメントの設計
16. Mule アプリケーション間のネットワーク通信をセキュアにする

受講料 ¥522,500

オンライン / コースコード SPV098 New

マシン実習 3日間

Anypoint Platform Development：Production-Ready［前編］開発ベストプラクティス【セールスフォース・ドットコム社 ライブ配信】

DevOps環境で本番環境のMuleアプリケーションを実装し、MuleSoft認定開発者Level2を取得するためのスキルを身につけます。このコースは、API関連の成果物の安全なプロビジョニング、Muleアプリケーションの構築、単位テスト、デプロイの自動化、Muleアプリケーションの監視、プロジェクト間での開発資産共有などの内容を扱います。「Anypoint Platform Development：Production-Ready［後編］インテグレーション・ベストプラクティス」コースと合わせて、MuleSoft認定開発者Level2試験の受験に備えることができます。両方のコースを修了し、現在MuleSoft認定開発者Level1の認定を持っている場合、自動的に2回の受験バウチャーが届きます。

到達目標
- API関連のアーティファクトをインタラクティブに提供し、APIへのアクセスを保護できる。
- HTTPSを使用してデータ保護を強化できる。
- さまざまなデプロイメント環境に対して、Muleアプリケーションを簡潔かつ安全に構成できる。
- Mavenベースのツールを使用して、Muleアプリケーションの構築、ユニットテスト、およびデプロイメントを自動化できる。

対象者 プロダクションレディのMuleアプリケーションを構築するためのスキルとベストプラクティスを学びたい方。

前提知識
- 「Anypoint Platform Development：Fundamentals（開発：基礎）前編および後編」コースを修了していること。
- Mavenの基本的なコンセプトの確実な理解をしていること。

内　容
1. API関連のアーティファクトのプロビジョニング
2. ソフトウェア工学の基本原則を適用する
3. 運用に配慮した開発
4. MUnitを使用したユニットテストの自動化

受講料 ¥313,500

オンライン / コースコード SPV099 New

マシン実習 4日間

Anypoint Platform Development：Production-Ready［後編］インテグレーション・ベストプラクティス【セールスフォース・ドットコム社 ライブ配信】

統合パターンを使用して分散通信の課題に対処し、MuleSoft認定開発者Level2になるためのスキルを身につけます。「Anypoint Platform Development：Production-Ready［前編］開発ベストプラクティス」コースと合わせて、MuleSoft認定開発者Level2試験の受験に備えることができます。両方のコースを修了し、現在MuleSoft認定開発者Level1の認定を持っている場合、自動的に2回の受験バウチャーが届きます。

到達目標
- API呼び出しの非機能的な特性を考慮しながら、さまざまなクライアントコンポーネントを使用してREST APIおよびSOAP Webサービスの呼び出しができる。
- MuleフローとMuleアプリケーション間で非同期に確実にメッセージを受け渡しできる。
- さまざまなモジュールとテクニックを使用して、MuleフローとMuleアプリケーション間でメッセージ検証を実装できる。

対象者 本番環境に対応した統合アプリケーション（統合パターンを適用して分散通信）を構築するためのスキルとベストプラクティスを学びたい方。

前提知識
- 「Anypoint Platform Development：Fundamentals（開発：基礎）前編および後編」コースを修了していること。
- 「Anypoint Platform Development：Production-Ready［前編］開発ベストプラクティス」コースを修了していること。

内　容
1. Web APIとサービスの呼び出し
2. 非同期でのメッセージの受け渡し
3. メッセージの検証
4. 統合機能のオーケストレーション
5. 永続性、パフォーマンス、および耐障害性のためのオブジェクトの保存
6. 再利用可能な統合機能のコンポーネント化

受講料 ¥418,000

Automation Anywhereを使用して業務自動化のロボットを開発する方

レベル1	レベル2	レベル3

- RPV007 オンライン｜RPA入門 −概説と操作体験（Automation Anywhere）−｜マシン実習 1日間
- RPV033 オンライン｜Automation Anywhereにおけるロボット開発の勘所｜レクチャ 0.5日間
- RDV006 オンライン｜Automation Anywhere認定RPAトレーニング（Mastering Bots：Automation 360）｜マシン実習 3日間
- RPV034 オンライン｜IQ Botトレーニング −Automation Anywhere−｜マシン実習 1日間

UiPath Studioを使用して業務自動化のロボットを開発する方

レベル1	レベル2	レベル3

- RPV035 オンライン｜UiPath公式 速習プログラム入門 −基本操作ハンズオン−｜マシン実習 1日間
- RPV036 オンライン｜UiPath公式速習プログラム実践 −業務プロセス定義書・ワークフロー開発−｜マシン実習 2日間

UiPath Studio Xを使用して業務自動化のロボットを開発する方

レベル1	レベル2	レベル3

- RPV010 オンライン｜UiPath公式 UiPath StudioX 開発トレーニング｜マシン実習 1日間

UiPath Orchestratorをロボットを管理・監視する方

レベル1	レベル2	レベル3

- RPV038 オンライン｜UiPath公式 UiPath Orchestrator 構築・運用トレーニング 基礎編｜マシン実習 1日間
- RPV039 オンライン｜UiPath公式 UiPath Orchestrator 構築・運用トレーニング 実践編｜マシン実習 1日間

WinActorを使用して業務自動化のロボットを開発する方

レベル1	レベル2	レベル3

- RPV011 オンライン｜WinActor入門トレーニング −ロボット開発の基本操作−｜マシン実習 1日間
- RPV012 オンライン｜WinActor実践トレーニング −安定性・メンテナンス性を向上させるためのロボット開発−｜マシン実習 1日間

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

オンライン / コースコード RPV007

マシン実習 1日間

RPA入門−概説と操作体験（Automation Anywhere）−【バーチャル・クラスルーム】

RPA（Robotic Process Automation）の基礎について学習し、RPA製品（Automation Anywhere Enterprise）によるロボット開発を体験します。

到達目標
- RPAの概要や導入事例が説明できる。
- RPA製品（Automation Anywhere Enterprise）の概要が説明できる。
- RPA製品（Automation Anywhere Enterprise）を使用して基本的な業務自動化ロボットの作成・実行ができる。

対象者 RPAの導入を検討している方、RPAの基礎から学習したい方。

前提知識 Microsoft Windowsの操作経験があること。

内　容
1. RPA概要
2. Automation Anywhere Enterpriseの紹介
3. 業務自動化ロボット開発体験

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード RDV006

マシン実習 3日間

Automation Anywhere認定RPAトレーニング（Mastering Bots：Automation 360）【バーチャル・クラスルーム】

RPA（Automation 360）を実際に使用することで、単純なものからやや複雑な業務を自動化するためのボット開発方法について、マシン実習を通して修得します。

到達目標
- Automation 360のプラットフォーム、アーキテクチャ、コンポーネントについて説明できる。
- 単純なタスク、ボットを作成するためのレコーダー、エディター、さまざまな基本アクションについて説明できる。
- 中高程度の複雑なボットを自身で開発できる。
- RPAとそのユースケースについて説明できる。

対象者 RPA製品（Automation 360）を使用して業務の省力化・自動化をする方。

前提知識 RPAについて基礎的な知識があること。

内　容
1. 概要
2. データ入力
3. CSVにデータ抽出
4. Excelにデータ抽出
5. サブタスク、エラーハンドリング
6. ファイル結合

受講料 ¥261,800

オンライン / コースコード RPV033

レクチャ 0.5日間

Automation Anywhereにおけるロボット開発の勘所【バーチャル・クラスルーム】

RPAで必要なロボットの安定稼働と品質をテーマに、ロボットの開発・管理・運用という 観点でマニュアルでは紹介されないノウハウ（ロボット開発のコツ、安定稼働のための構成）を学習します。

到達目標
- 高品質なロボットの開発ができる。
- ロボットのエラーから不具合個所の特定ができる。
- ロボットを安定稼働させることができる。

対象者
- Automation Anywhereでロボット開発をされる方。
- Automation Anywhereのシステムを運用管理される方。

前提知識
- 「Automation Anywhere認定RPAトレーニング（Mastering Bots：Automation 360）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
- Automation Anywhereでロボット開発の経験がある、またはそれと同等の知識があること。

内　容
1. Automation Anywhereの概要（おさらい）
2. 初心者によくある勘違い、陥りやすい罠
3. よくあるエラーと解決法（事例をベースに）
4. 質疑応答（実際に困っていることに対するQ&A）

受講料 ¥41,800

オンライン / コースコード RPV034

マシン実習 1日間

IQ Botトレーニング −Automation Anywhere−【バーチャル・クラスルーム】

Automation Anywhere EnterpriseおよびIQ Botを実際に使用することで、非構造データを構造化データに変換しボットにて登録する一連のプロセスについて、マシン実習を通して修得します。

到達目標
- Automation Anywhere IQ Botのアーキテクチャ、コンポーネントについて説明できる。
- IQ BotとRPAを使用した連携プロセスを、IQ Botの基本機能を使用し開発できる。
- IQ Botとそのユースケースについて説明できる。

対象者
- Automation Anywhereでロボット開発される方。
- Automation Anywhereでロボットの運用管理される方。

前提知識 RPAについて基礎的な知識があること。また、「Automation Anywhere認定RPAトレーニング（Mastering Bots：Automation 360）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. IQ Bot概要
2. IQ Bot設定、開発
3. RPA設定、処理

受講料 ¥94,600

オンライン / コースコード RPV035

マシン実習 1日間

UiPath公式速習プログラム入門 −基本操作ハンズオン−【バーチャル・クラスルーム】

UiPath Studioの基本操作を学習し、UiPathの特長であるセレクター、処理の制御方法を理解し、UiPathと業務のRPA化につなげます。

到達目標
- UiPath Studioの基本操作について理解できる。
- ワークフロー、UiPath Studio上の処理に対する制御を理解できる。
- レコーディング機能を使用したワークフローの作成方法について理解できる。
- ワークフローにおいてアクティビティの操作方法について理解できる。
- セレクターについて理解できる。
- データスクレイピング機能のについて理解できる。

対象者 UiPath Studioによるロボット開発手法を学習したい方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. RPA概要
2. UiPath Studioの紹介
3. 制御構造の基礎
4. ワークフローの変更
5. セレクターとは
6. レコーディング機能
7. データスクレイピング機能

受講料 ¥56,100

オンライン / コースコード RPV036

マシン実習 2日間

UiPath公式速習プログラム実践 −業務プロセス定義書・ワークフロー開発−【バーチャル・クラスルーム】

RPA開発までのフェーズごとに必要なことと、業務改善手法の基礎、業務可視化のための業務フロー図の作成を学習します。また、RPA開発においてコミュニケーションの要ともなる「業務プロセス定義書」の作成、活用方法を学習します。次に、メンテナンス性が高く、効率的なワークフロー開発、Configファイルの概念を学習します。

到達目標
- 業務改善手法の基礎・業務可視化の重要性を理解できる。
- 業務プロセス定義書の作成・活用ができる。
- ビジネス例外、アプリケーション例外の違いが説明できる。
- 既知のビジネス例外をリストアップできる。
- RPA化する業務プロセス、RPA化しない業務プロセスを選定できる。
- メンテナンス性が高く、効率的なワークフロー開発方法の基礎が理解できる。

対象者
- RPA化対象の業務プロセス定義書の作成方法を修得したい方。
- メンテナンス性に優れたワークフローの開発方法を修得したい方。

前提知識 「UiPath公式速習プログラム入門−基本操作ハンズオン−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. UiPath公式速習プログラム入門の復習
2. 業務プロセス定義書の活用・作成方法
3. メンテナンス性に優れた安定的なワークフロー開発方法
4. ワークフロー作成演習

受講料 ¥112,200

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

オンライン / コースコード RPV010

マシン実習 1日間

UiPath公式 UiPath StudioX 開発トレーニング【バーチャル・クラスルーム】

UiPath StudioXによる業務プロセス自動化について、マシン実習を通して修得します。

到達目標
- RPAについて理解できる。
- UiPath StudioXを使用した自動化に適した作業を選別できる。
- Excel・Outlook・Windows OS上のフォルダーなどを使用した簡単な自動化プロジェクトを開発できる。
- 自動化プロジェクトを実行できる。

対象者 UiPath StudioXによるロボット開発手法を学習したい方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. RPAと私たちの働き方と未来
2. UiPathのRPAツールの紹介
3. Studio Xの自動化に適した業務
4. UiPath StudioXのインストール方法
5. UiPath StudioXのUI
6. 基本操作
7. プロジェクト ノートブック
8. 条件によって処理を変更する方法
9. 繰り返し処理を実行する方法
10. Excel作業の自動化
11. Outlook作業の自動化
12. ファイル・フォルダー操作の自動化
13. ユーザーインターフェイスの自動化
14. データ抽出の自動化
15. 開発のルール
16. 自動化プロジェクトのパブリッシュ方法
17. ロボットによるプロセスの実行方法

受講料 ¥49,500

オンライン / コースコード RPV038

マシン実習 1日間

UiPath公式 UiPath Orchestrator 構築・運用トレーニング 基礎編【バーチャル・クラスルーム】

UiPath Orchestratorの必要性を理解し、お客さまに導入のメリットを説明するための知識について学習します。また、UiPath Orchestratorを操作することで、UiPath Orchestratorの機能を学習します。

到達目標
- 3つの観点からRPA製品のUiPath Orchestratorの役割を理解し、実際のユースケースで必要な機能・メリットを理解できる。
- UiPath Orchestratorを実際に操作することで基本機能を理解できる。
- UiPath Orchestratorの構成を理解し、可用性と拡張性の要件を整理した上で、必要な構成の見積もりができる。

対象者
- UiPath Orchestratorの基礎を学習したい方。
- UiPath Orchestratorの提案をする方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. UiPath Orchestrator概要
2. UiPath Orchestratorの基本操作（ハンズオン）
3. UiPath Orchestratorの構成
4. UiPath Orchestrator提案ワークショップ

受講料 ¥78,100

オンライン / コースコード RPV039

マシン実習 1日間

UiPath公式 UiPath Orchestrator 構築・運用トレーニング 実践編【バーチャル・クラスルーム】

RPA製品のUiPath Orchestratorの導入および運用における実践的なスキルについて学習します。

到達目標
- UiPath Orchestratorの設計・構築・運用に必要な情報を収集し、インフラ設計ができる。
- UiPath Orchestratorのインフラ構築ができる。
- UiPath Orchestratorのインフラ構築後の運用に必要な手順を理解し、メンテナンスができる。

対象者 UiPath Orchestratorのインフラを設計・構築・運用する方。

前提知識 「UiPath公式 UiPath Orchestrator構築・運用トレーニング 基礎編」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. UiPath Orchestratorのインフラ設計
2. UiPath Orchestratorのインフラ構築
3. UiPath Orchestratorのインフラ運用

受講料 ¥78,100

オンライン / コースコード RPV011

マシン実習 1日間

WinActor入門トレーニング −ロボット開発の基本操作−【バーチャル・クラスルーム】

RPAツール「WinActor」の業務を自動化するためのロボット開発（シナリオ作成）について、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- RPAの概要や導入事例が説明できる。
- WinActorの製品概要が説明できる。
- WinActorによるロボット開発（シナリオ作成）の基本操作ができる。
- 自動記録機能によりシナリオを作成できる。
- 条件分岐や繰り返し処理を行うシナリオを作成できる。
- Excel操作を自動化するシナリオを作成できる。
- Webシステムへのデータ入力を自動化するシナリオを作成できる。

対象者 WinActorによる基本的なロボット開発手法を学習したい方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. RPA概要
2. WinActorの紹介
3. WinActorの主要機能による基本操作

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード RPV012

マシン実習 1日間

WinActor実践トレーニング −安定性・メンテナンス性を向上させるためのロボット開発−【バーチャル・クラスルーム】

RPAツール「WinActor」の安定性・メンテナンス性を向上させるためのロボット開発（シナリオ作成）について、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- シナリオのエラー対処ができる。
- 安定性を向上させるためのシナリオ作成ができる。
- メンテナンス性を向上させるためのシナリオ作成ができる。

対象者 WinActorによる安定性やメンテナンス性に優れたロボット開発（シナリオ作成）手法を修得したい方。

前提知識 「WinActor入門トレーニング−ロボット開発の基本操作−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. RPA・WinActor概要
2. WinActorシナリオ作成の主要機能
3. シナリオのエラー対処
4. 安定性を向上させるためのシナリオ作成
5. メンテナンス性を向上させるためのシナリオ作成

受講料 ¥66,000

コースの詳細（開催時間や注意事項など）・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

プロダクト(IT)
基盤製品（データベース）
基盤製品（ネットワーク）
ミドル・アプリケーション製品
RPA製品
IoT

IoT

IoT基盤に関する技術全般（システムアーキテクチャ、要素技術（センサ、ネットワーク、データ分析））、IoTを取り巻く業界動向・DX事例、代表的ソリューション等、IoTを多角的に捉える知識を修得できます。

IoT

レベル1

IOV001 オンライン
IoT概説
レクチャ | 0.5日間

デジタル導入

IOE020 eラーニング
マイクロラーニングで学ぶ！はじめてのIoT
音声有・説明文有 | 8時間

レベル2

IOV023 オンライン
IoT技術解説 −最新技術動向・適用事例編−
レクチャ | 0.5日間

IOV024 オンライン
「IoTシステム技術検定（基礎検定）」対策講座
レクチャ | 1.5日間

IOV021 オンライン
「IoTシステム技術検定（中級）」対策講座
レクチャ | 2日間

New
IOE017 eラーニング
「IoTシステム技術検定（基礎検定）」対策講座
音声有・説明文なし | 8時間

New
IOE018 eラーニング
「IoTシステム技術検定（中級）」対策講座
音声有・説明文なし | 13時間

PDU
IDV003 オンライン
（PDU）IoTコンセプトデザイン −IoTビジネスの理解と自社の新しいIoTサービスを創出する−［アイ・ラーニング ライブ配信］
レクチャ | 1日間

プロセス/プロダクト
UXE008 eラーニング
ブロックチェーンの基礎と日立の取り組み
音声なし・説明文有 | 6時間

IOE013 eラーニング
IoT技術解説 IoTネットワーク編
音声なし・説明文有 | 3時間

IOE014 eラーニング
IoT技術解説　5G編
音声なし・説明文有 | 2.5時間

IOE015 eラーニング
IoT技術解説 セキュリティ編
音声なし・説明文有 | 3時間

ヒューマンエラー対策（OT）

HSD013 集合
ヒューマンエラー対策研修 基礎コース
レクチャ | 1日間

HSD016 集合
ヒューマンエラー対策研修 仕組みコース
レクチャ | 1日間

HSD014 集合
ヒューマンエラー対策研修 ヒアリング＆分析コース
レクチャ | 1日間

HSD017 集合
ヒューマンエラー対策研修 行動コース
レクチャ | 1日間

または ※

HSD015 集合
ヒューマンエラー対策研修 基礎+ヒアリング＆分析コース
レクチャ | 2日間

※HSD015は、HSD013とHSD014の2コースを1セットにして提供するコースです。

レベル3

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

オンライン / コースコード IOV001

レクチャ 0.5日間

IoT概説【バーチャル・クラスルーム】

IoTの全体像を理解します。

到達目標
・IoTとは何かを理解できる。
・IoTのシステム構成を理解できる。
・各社のIoTの動向を理解できる。
・IoTの技術的なポイントを理解できる。

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. IoTとは
2. IoTシステムと関連技術
3. IoT技術動向
4. 各社の動向

受講料 ¥20,900

オンライン / コースコード IOV023

レクチャ 0.5日間

IoT技術解説 −最新技術動向・適用事例編−【バーチャル・クラスルーム】

IoTを取り巻く最新の業界・技術動向を学習します。また、顧客提案に役立つ豊富なIoT最新事例を紹介します。

到達目標
・IoT技術の動向を理解することができる。
・IoT技術の最新の適用例を理解することができる。
・他社ベンダの動向を理解することができる。

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. IoTを取り巻く最新の業界・技術動向
2. 最新事例、ソリューションの紹介（マクニカ）
（（23年度のテーマ例）次世代匿名化技術、IoTデータストリーム基盤、組込ソフトウェア・ライセンス/脆弱性管理、OTセキュリティ）

受講料 ¥28,600

オンライン / コースコード IOV024

レクチャ 1.5日間

「IoTシステム技術検定（基礎検定）」対策講座【バーチャル・クラスルーム】

IoTの提案・企画を今後行うSE/営業に対して、「IoTシステム全体像とその仕組み」、「出題ポイントの解説」、「模擬試験」を使用し、IoTに関する基礎知識（考え方・用語）を身につける力を伝授します。なお、このコースはMCPC主催「IoTシステム技術検定 基礎検定」についての対策講座です。

到達目標
・「IoTシステム技術検定（基礎検定）」に合格できる技術力を修得する。
・IoTシステムの概要、技術的なキーワードが理解できる。

対象者
・SE/営業の若年層の方。
・これからIoTに携わる業務を行うSE/営業の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 出題範囲と傾向、出題トピックの解説
（1）IoTシステム構築
（2）センサ・アクチュエータ
（3）IoTデータ活用（ビッグデータ・AI）
（4）IoTセキュリティ
（5）IoTシステムプロトタイピング
（6）ネットワーク
（7）DX

受講料 ¥49,500

オンライン / コースコード IOV021

レクチャ 2日間

「IoTシステム技術検定（中級）」対策講座【バーチャル・クラスルーム】

IoT関連業務に携わっている方を対象に、模擬試験などを活用して、検定合格に必要な技術を効率的に修得していただきます。なお、このコースはMCPC主催「IoTシステム技術検定 中級検定」についての対策講座です。

到達目標 MCPC主催「IoTシステム技術検定（中級）」に合格できる技術力を修得できる。

対象者 IoTシステム構築に関連するSE/技術者の方。

前提知識 IoT関連業務（システム構築、製品開発など）に携わっていること。

内　容
1. 試験の概要
2. IoTシステム構築と構築技術
（1）IoTシステムアーキテクチャ
（2）IoTサービスプラットフォーム
3. センサ/アクチュエータと通信方式
（1）IoTデバイス
（2）ネットワーク
（3）プロトコル
4. AI分析とデータ活用
（1）ビッグデータ分析技術
（2）IoTデータ活用事例
5. セキュリティ対策とプライバシー保護
（1）セキュリティ対策
（2）情報セキュリティと法制度
6. IoTのプロトタイピング
（1）プロトタイピング

受講料 ¥92,400

---

eラーニング / コースコード IOE017 **New**

eラーニング 8時間

<eラーニング>「IoTシステム技術検定（基礎検定）」対策講座

IoTの提案・企画を今後行うSE/営業に対して、「IoTシステム全体像とその仕組み」、「出題ポイントの解説」、「模擬試験」を使用し、IoTに関する基礎知識（考え方・用語）を身につける力を伝授します。なお、このコースはMCPC主催「IoTシステム技術検定 基礎検定」についての対策講座です。

到達目標
・「IoTシステム技術検定（基礎検定）」に合格できる技術力を修得する。
・IoTシステムの概要、技術的なキーワードが理解できる。

対象者
・SE/営業の若年層の方。
・これからIoTに携わる業務を行うSE/営業の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 出題範囲と傾向、出題トピックの解説
（1）IoTシステム構築
（2）センサ・アクチュエータ
（3）IoTデータ活用（ビッグデータ・AI）
（4）IoTセキュリティ
（5）IoTシステムプロトタイピング
（6）ネットワーク
（7）DX

受講料 ¥46,200

---

eラーニング / コースコード IOE018 **New**

eラーニング 13時間

<eラーニング>「IoTシステム技術検定（中級）」対策講座

IoT関連業務に携わっている方を対象に、模擬試験などを活用して、検定合格に必要な技術を効率的に修得していただきます。なお、このコースはMCPC主催「IoTシステム技術検定 中級検定」についての対策講座です。

到達目標 MCPC主催「IoTシステム技術検定（中級）」に合格できる技術力を修得する。

対象者 IoTシステム構築に関連するSE/技術者の方。

前提知識 IoT関連業務（システム構築、製品開発など）に携わっていること。

内　容
1. 試験の概要
2. IoTシステム構築と構築技術
（1）IoTシステムアーキテクチャ
（2）IoTサービスプラットフォーム
3. センサ/アクチュエータと通信方式
（1）IoTデバイス
（2）ネットワーク
（3）プロトコル
4. AI分析とデータ活用
（1）ビッグデータ分析技術
（2）IoTデータ活用事例
5. セキュリティ対策とプライバシー保護
（1）セキュリティ対策
（2）情報セキュリティと法制度
6. IoTのプロトタイピング
（1）プロトタイピング

受講料 ¥86,900

eラーニング　コースコード IOE013

<eラーニング> IoT技術解説 IoTネットワーク編

3時間

IoTネットワークの構築に必要な基本知識（電波特性・関連法令・広域ネットワーク、エリアネットワーク）とともに、LPWAや5Gを使用したネットワーク、セキュリティについて学習します。

到達目標
- IoT広域ネットワークで使用される技術について理解できる。
- IoTエリアネットワークで使用される技術について理解できる。
- IoTネットワークを構築するための関連知識について理解できる

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 無線関連の基礎知識
   （1）電波特性
   （2）関連法令
   （3）その他
2. 広域ネットワーク技術
   （1）LPWA のシステム構成　LoRa，Sigfox，NB-IoT等
   （2）5Gのシステム構成
3. エリアネットワーク技術
   （1）Wi-Fi
   （2）その他　ZigBeeなど
4. ネットワークセキュリティ技術概要

受講料 ¥12,100

eラーニング　コースコード IOE014

<eラーニング> IoT技術解説 5G編

2.5時間

IoTシステム構築・関連製品の企画・構築を行う方を対象に、高速、低遅延の無線ネットワークとして、各種IoTシステムやコネクテッドカーへの適用が進む5Gの構成と機能を学習します。

到達目標 5Gを使用したIoTシステムの構築について説明できる。

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 5Gとは
   （1）5Gとは
   （2）4G（LTE）や既存LPWA（Sigfoxなど）との異なり
   （3）今後の適用
2. 5G詳細技術
   （1）フェーズ1関連技術
   （2）フェーズ2関連技術
3. IoTへの適用
   （1）自動車関連（コネクテッドカー・オートノマスカー）
   （2）医療関連
   （3）製造関連
4. 関連事項
   （1）3GPPや業界の動向
   （2）ローカル5G

受講料 ¥12,100

eラーニング　コースコード IOE015

<eラーニング> IoT技術解説 セキュリティ編

3時間

IoTシステムでのセキュリティ適用のポイントと最新のセキュリティ製品を学習します。IoTシステムへのセキュリティ適用のポイントと関連セキュリティ製品を学習します。

到達目標
- IoTでのセキュリティの重要性を説明できる。
- IoTでのセキュリティの考え方を説明できる。
- IoTシステムに即したセキュリティを提案できる。

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. IoTシステムの概要
2. IoTシステムへのセキュリティの必要性
3. IoTシステムのセキュリティ対策
4. 代表的な業種のセキュリティ対策
5. その他

受講料 ¥12,100

eラーニング　コースコード UXE008

<eラーニング> ブロックチェーンの基礎と日立の取り組み

6時間

ブロックチェーンは、暗号資産（仮想通貨）のみならず、金融・物流・ヘルスケアなど多くの産業分野での利活用が広がっています。このコースでは、ビットコインとHyperledger Fabricを中心に、ブロックチェーンの基本技術やアーキテクチャについて解説します。また、ブロックチェーンに関する日立独自の取り組みと活用事例を紹介します。

到達目標
- ブロックチェーンの概要を説明できる。
- ブロックチェーンに関する基本アーキテクチャを説明できる。
- ブロックチェーンに関する日立の取り組みと活用事例を説明できる。

対象者 ブロックチェーンに関する技術全般を知ることで、ビジネスに活用するヒントを得たい初級システムアーキテクト、ソフトウェア開発者の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ブロックチェーンの概要
   （1）ビットコインとの関係性
   （2）ブロックチェーンを支える基礎技術
   （3）ブロックチェーンの価値と適用が期待される分野
   （4）よくある質問
2. ブロックチェーンの代表的な基盤の特長と違い
   （1）代表的な基盤と選択方法
   （2）ビットコインのアーキテクチャ
   （3）Hyperledger Fabricのアーキテクチャ
3. ブロックチェーンに対する日立の取り組みと活用事例
   （1）Hyperledgerコミュニティへの参画
   （2）日立の提供するソリューション・サービスと活用事例
4. 補足情報
   （1）日立以外での活用事例
   （2）関連サイトの紹介

受講料 ¥19,800

集合　コースコード HSD013

ヒューマンエラー対策研修 基礎コース

1日間

ヒューマンエラーによる事故が発生したとき、「当事者の責任か。組織の責任か」と真っ先に論じるようでは、残念ながら事故や不具合をなくすことはできません。なぜ、間違いは起きるのか―。人間特性の理解が、ヒューマンエラー対策の第一歩です。そして、ヒューマンエラーの背後にある「誰でも共通に陥るであろう要因」を探り出して、対策を講じていくことが重要です。ANAや航空業界の事例をベースに、明日の業務にすぐに活用できる「ヒューマンエラー対策」を学びます。このコースでは、人間にとってエラーは避けられないものであることを体感したうえで、事故が起こる仕組みを理解します。現場の方から経営層まで、すべての方にヒューマンエラー対策の基礎的な内容をわかりやすく体系的にお伝えします。クイズや演習を含む座学、事例を用いた実習（ケーススタディ）時はグループワークで対応。ヒューマンエラー対策すべての土台となる“大切にしたい考え方”、“効果的なヒューマンエラーの防止方法”を学び、ケーススタディのワークで振り返りを行います。講師陣は全員整備部門出身者で、自らがヒューマンエラーに関する実務を体験し、見聞きしているからこそ、実際に起きた事例や経験した事例をより正確かつ真剣に説明することができます。だから航空業界の事例であっても分かりやすく、受講者の皆様は自分の職場や事象に置き換えて考えることができるのです。

到達目標
- 散発的であやふやになりがちなヒューマンエラー対策の基礎知識を、体系立てて具体的に学ぶことができる。
- 「エラーは人間の脳の情報処理過程で発生する」ことを学び、ヒューマンエラーをゼロにすることはできないことを理解できる。
- 事故や不具合の要因は、個人の問題だけでなく組織など周囲を取り巻く環境にもあることを理解できる。（SHELモデル）
- ケーススタディでの学習では、事故や不具合は複数のヒューマンエラー等が連鎖して発生すること、また、どこかでこのエラーチェーンを切ることで事故や不具合を防止できることを理解できる。

対象者 新入社員、中堅社員、管理監督職、安全品質担当者、経営層まで事故再発防止を考えるすべての方。
※同業他社（研修会社）の方のご受講はご遠慮いただいております。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. はじめに
2. 人はなぜエラーを起こすのか（人間特性によるエラー／人を取り巻く環境によるエラー／バイオレーション）
3. ヒューマンエラー対策の概念（ハインリッヒの法則／エラーチェーン／SHELモデルなど）
4. ヒューマンエラー防止法（エラートレランス／エラーレジスタンスなど）
5. ケーススタディ

受講料 ¥52,800

集合　コースコード HSD014

ヒューマンエラー対策研修 ヒアリング&分析コース

1日間

事故再発防止の第一歩は状況把握で、事故当事者と協力しながら人の心理（人間特性）を含めた状況を把握する「ヒアリング」です。次に把握した事故情報を適切に分析し、一つひとつに対策を当てはめていく作業「エラー分析」が必要です。事故や不具合に関わる当事者へのヒアリングの目的・意義を理解したうえで、ヒアリングの難しさを体験する実践的な実習を行います。また、ヒアリングから得られた貴重な情報をもとに、エラーチェーンとSHELモデルを使用して、事故や不具合の要因分析と対策の立案を行い、実務に活かせる事故再発防止の管理手法を習得します。事故や不具合の要因分析と対策の立案を行い、実務に活かせる事故再発防止の管理手法を習得します。（ヒアリング⇒DVD視聴・実習／事故分析⇒グループワーク）講師陣は全員整備部門出身者で、自らがヒューマンエラーに関する実務を体験し、見聞きしているからこそ、実際に起きた事例や経験した事例をより正確かつ真剣に説明することができます。だから航空業界の事例であっても分かりやすく、受講者の皆様は自分の職場や事象に置き換えて考えることができるのです。
<注意> 前提コース「ヒューマンエラー対策研修 基礎コース」の受講が必須条件です。（受講必須 4時間以上）

到達目標
- 事故や不具合が発生した際には、当事者からヒューマンエラーを引き起こしたあらゆる要因を聞き出すことが、事故や不具合の再発防止にはとても重要であることを理解する。
- ヒアリングの具体的な手法について、ビデオ視聴とロールプレイを通じて習得する。
- エラーチェーンとSHELモデルを使用する事例を用いた実習では、事故や不具合の要因分析と対策の立案を行い、今後の実務で活かせる再発防止の手法を習得する。

対象者 ANAの事故再発防止の管理手法を取り入れようとお考えの経営者の方、管理監督者、現場リーダーの方など日々事故再発防止に取り組まれている方。
※同業他社（研修会社）の方のご受講はご遠慮いただいております。

前提知識 前提コース「ヒューマンエラー対策研修 基礎コース」の受講が必須条件。（受講必須 4時間以上）

内　容
1. 事故・不具合の再発防止管理手法
2. ヒアリングの基礎と実習
3. エラーチェーン分析の実習

受講料 ¥58,300

集合　コースコード HSD015

ヒューマンエラー対策研修 基礎+ヒアリング&分析コース

2日間

ANA整備部門が1997年から導入し、現在も部門全員が継続して受講している「ヒューマンファクターズ訓練」。この訓練を、どのような業種業態の皆様にもご活用いただけるプログラムにカスタマイズした研修です。ANAのヒューマンエラー対策の全体像を、2日間でご理解いただきます。エラーの影響をコントロールし、辛い思いをする仲間を出さないために、貴社の安全文化醸成のお手伝いをいたします。ヒューマンエラーやヒューマンファクターズ、事故が発生する仕組みとその対策、航空業界の安全対策など、濃密な内容とすぐに実務に活かせる分かりやすさが好評です。1日目：基礎コース⇒クイズや演習を含む座学、ケーススタディ時はグループワーク　2日目：ヒアリング⇒DVD視聴実習／分析⇒グループワーク　講師陣は全員整備部門出身者で、自らがヒューマンエラーに関する実務を体験し、見聞きしているからこそ、実際に起きた事例や経験した事例をより正確かつ真剣に説明することができます。だから航空業界の事例であっても分かりやすく、受講者の皆様は自分の職場や事象に置き換えて考えることができるのです。このコースは「ヒューマンエラー対策研修 基礎コース」と「ヒューマンエラー対策研修 ヒアリング&分析コース」をセットにしたプログラムです。
※各コースを個別にお申し込みいただくよりも、割安価格となっております。

到達目標
- 散発的であやふやになりがちなヒューマンエラー対策の基礎知識を、体系立てて具体的に理解できる。
- 現在取り組んでいる施策の成果を上げるために何が必要なのかを見極められるようにし、さらに新しい施策に対して、どのように取り組むべきかを理解できる。

対象者 中堅社員、管理監督職、安全品質担当者、経営層事故および不具合発生時にヒアリングを担当する方。
※同業他社（研修会社）の方のご受講はご遠慮いただいております。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. はじめに
2. 人はなぜエラーを起こすのか
3. ヒアリングの基礎と実習
4. エラーチェーン分析の実習

受講料 ¥88,000

集合　コースコード HSD016

ヒューマンエラー対策研修 仕組みコース

1日間

ヒューマンエラーの防止を、現場・個人任せにしていませんか？エラーを防ぐには、エラーを起こさない「仕組み」が重要であることを具体例とワークを交えてお伝えします。安全・安心な組織になっていくためには「確かな仕組み」と「誠実な行動」の両輪が必要です。多くのヒューマンエラーは現場で発生していますが、それはエラーをした個人の問題だけではなく、エラーを起こしやすい仕組みそのものに要因がある場合があります。現場がエラーを起こさないための仕組み作り（未然防止策）のポイントと、安全・安心な職場作りに不可欠なリスク管理と、安全文化の醸成に必要な要素についてお伝えします。ANA整備部門の中で、現場と一緒に「仕組み（未然防止策など）」を作ってきた講師陣の経験をもとに作られた実践的な内容です。ANAグループや他業界での具体例の紹介、実際の手順書作りのワーク等を通じてヒューマンエラーを「仕組み（未然防止策など）」で防ぐ重要さをお伝えするとともにそのベースとなる「リスク管理」や「安全文化」についてもお伝えしていきます。

到達目標
- 「仕組み」を作る担当者が、ヒューマンエラーを防ぐ重要なカギを握っていることを認識し、自らの役割の大切さを学ぶ。
- ヒューマンエラーは、現場で発生します。しかしその要因は、「仕組み」を作る担当者（管理・計画者）によって作り出されていることが多くあるため、「仕組み」を作る担当者が「仕組み」に欠陥を入れないことが重要であることを理解する。
- ヒューマンエラーを起こしにくい様々な「仕組み（未然防止策）」を具体例やワークを交えて習得する。
- ヒューマンエラーの防止には、「仕組み」と「行動」の両輪が必要でどちらが欠けてもヒューマンエラーを防止できないことを学ぶ。

対象者 「ヒューマンエラー対策研修 基礎コース」の修了者に限ります。第一線で従事される方や顧客対応する方などを支え、手順書作りや職場の仕組み作りなどに携わる方や現場管理層の方。
※同業他社（研修会社）の方のご受講はご遠慮いただいております。

前提知識 「ヒューマンエラー対策研修 基礎コース」を修了済み（受講必須 2時間以上）

内　容
1. はじめに
2. 安全文化を構成する四つの要素
3. エラーを起こさない仕組みづくり

受講料 ¥58,300

集合　コースコード HSD017

ヒューマンエラー対策研修 行動コース

1日間

エラーに強い組織になっていくためには「確かな仕組み」と「誠実な行動」の両輪が必要です。事故や不具合の要因に多く見られる「やるべきことをやらなかった」「ルールを守らなかった」「コミュニケーションに不足があった」などの行動に対し、作業者一人ひとりの意識の向上による行動変容を促します。さらに効果的なコミュニケーションスキル、対人関係、リーダーシップ能力を習得しエラーに強いチームづくりの実践を学んでいただきます。一人ひとりの責任ある誠実な行動が、不具合の防止につながることを理解し、行動変容するきっかけをつくります。座学と演習、グループディスカッションで構成されており、事故や不具合の要因に多く見られる「誠実な行動の欠如」に対し、作業者一人ひとりの意識の向上による行動変容とエラーに強いチーム（組織）をめざします。普段の業務では交流の少ない、他業種の方々と意見交換できることも好評です。講師陣は全員整備部門出身者で、自らがヒューマンエラーに関する実務を体験し、見聞きしているからこそ、実際に起きた事例や経験した事例をより正確かつ真剣に説明することができます。だから航空業界の事例であっても分かりやすく、受講者の皆様は自分の職場や事象に置き換えて考えることができるのです。

到達目標
- チームづくりの基本は、チームメンバーの責任ある行動と人的リソースの活用であることを理解できる。
- 職場のルール（規則・決まり）との向き合い方とルール違反の怖さを再確認し、ルール違反は絶対に見逃さない強い気持ちを強化できる。
- エラーに強いチームになるための3つのスキル（コミュニケーション・リレーションシップ・リーダーシップ）について、演習を通じて習得する。
- 「個の力」を高め、一人ひとりの「行動の質」を高めることと、効果的なコミュニケーションスキル、対人関係のありかた、リーダーシップ能力を習得することで、エラーに強いチームづくりを実践するための行動意欲を強化できる。

対象者 「ヒューマンエラー対策研修 基礎コース」の修了者に限ります。第一線で仕事に従事されている方、事故再発防止を日々現場で実践されている方、現場のリーダーの方。
※同業他社（研修会社）の方のご受講はご遠慮いただいております。

前提知識 「ヒューマンエラー対策研修 基礎コース」を受講済みであること。（受講必須 2時間以上）

内　容
1. 行動の質を高めるために
2. 人的リソースの活用
3. 良いチームを作るために

受講料 ¥58,300

電気・計測制御

電気系技術者･技能者の知識や技能の拡大ができます。
若手技術者のための基礎技術や熟練技術者ための
リスキリングで技術が修得できます。

電気・電子共通基礎講座

レベル1	レベル2	レベル3
OTV040 オンライン 初心者のための エレクトロニクス入門 レクチャ 2日間	OTJ040 集合 実験・実習で学ぶ 電子回路基礎 マシン実習 4日間	
OTJ038 集合 電気が苦手な人のための 電気回路入門−リレーシーケンスと トラブルシューティングから学ぶ− マシン実習 2日間		
OTJ039 集合 センサ活用技術の基礎 レクチャ 2日間		

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方　（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方　（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、 さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

オンライン / コースコード OTV040

レクチャ 2日間

初心者のための エレクトロニクス入門【バーチャル・クラスルーム】

電気の専門知識を必要とする、非電気系出身者や、基礎を復習したい電気系出身者を対象とした入門講座です。

到達目標 電気の概要および基礎知識を修得できる。

対象者 電気の専門知識を必要とする非電気系出身者や、基礎を復習したい電気系出身者および新入社員の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 電気と安全
2. 直流 電気の概要、単位の定義と電気の法則
3. 交流 RLCの働き、インピーダンスと周波数特性
4. 三相交流の基礎
5. 過渡応答
6. 半導体、トランジスタ回路の基礎

受講料 ¥123,200

集合 / コースコード OTJ038

マシン実習 2日間

電気が苦手な人のための電気回路入門 −リレーシーケンスと トラブルシューティングから学ぶ−

このコースは、電気の基礎・シーケンス制御・リレー回路・テスターの使い方・トラブル診断の基礎を学びます。また、電気と安全に関する基礎知識を学び、実際の器材を用いた配線とトラブル原因の診断をゲーム感覚で体系的に身につけていきます。

到達目標 電気と安全に関する基礎知識を学び、実際の器材を用いた配線とトラブル原因の診断をゲーム感覚で体系的に身につける。

対象者
・電気がどうしても苦手な方。
・電気を楽しみながら感覚的に理解したい方。
・新人・若手の技術者・技能者、電気の初学者、初めて電気機器、自動機を扱う方、営業職の方など。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 制御と電気と安全
2. 電気回路の基礎
3. リレー回路の配線
4. リレーシーケンス入門
5. トラブルシューティング基礎
6. 終了課題（故障診断予備実習）

受講料 ¥123,200

集合 / コースコード OTJ039

レクチャ 2日間

センサ活用技術の基礎

センサ内蔵製品、計測、生産システムに適用するセンシング技術を修得したい方にお薦めです。このコースでは、センサ種類と原理を学ぶと共に、光・温度センサを用いた実験を通して構成、動作を学びます。各検出対象に応じた最適なセンシング技術の基礎を修得できます。（※センサネットワークの講習ではありません）

到達目標 センサは自動化には不可欠であり、その特質を生かした利用法がセンシングの要になります。このコースでは、その基本となるセンサの基礎特性と動作原理について、実験を通じて学びます。

対象者 次のような業務に携わり、センサの基礎を修得しようとする技術者の方。
(1)センサを内蔵する製品の設計・検査
(2)センサを用いた自動生産システムや自動検査装置の開発・設計・検査
(3)センサを用いた計測システムの設計

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. センサの種類と動作原理
2. 歪みセンサ
3. 自動車用センサ
4. センサ動作確認実験 - 光センサと温度センサを用いて -
5. 実験報告書纏め、発表

受講料 ¥112,200

集合 / コースコード OTJ040

マシン実習 4日間

実験・実習で学ぶ電子回路基礎

実践的な電子回路を深めたい若手技術者を対象に、実習を中心に理論と実際の確認、PCによるシュミレーションを行うことにより理解を深めます。また、実験・実習を通して、回路設計に役立つポイントも学べます。

到達目標 本講座は一人一台の機材を基本に、実験・実習を中心に理論と実際の確認を行うことにより理解を深めます。また、理論と実際の違いについても自ら体験していただきます。製品設計に役立つポイントなどもあわせて指導します。

対象者 一般的な電気電子の基礎知識を有し、実践的な電子回路の理解を深めたい方、または若手回路設計者、生産技術、品質保証の技術者の方。

前提知識 電気の基礎知識があること。

内　容
1. 電気の法則
2. 交流回路
3. 半導体、ダイオード、トランジスタ
4. オペアンプ、コンパレータ
5. 回路シミュレーション：
   DC解析（温度パラメータ含む）、AC（周波数）解析、過渡解析、FFT解析、動作点解析、ノイズ解析、シミュレーションでの信号源の作り方
6. 実験（一人一機材）

受講料 ¥235,400

設計・モノづくり（OT）
電気・計測制御
機械・設計技法
生産・サプライチェーンエンジニアリング
製造・モノづくり基盤技術

機械・設計技法

機械系技術者･技能者の知識や技能の拡大ができます。
若手技術者のための基礎技術や熟練技術者ための
リスキリングで技術が修得できます。

構造強度

レベル1	レベル2	レベル3
OTV008 オンライン 機械四力の基礎 レクチャ | 1日間		

熱流体

レベル1	レベル2	レベル3
OTV008 オンライン 機械四力の基礎 レクチャ | 1日間		
OTV012 オンライン 伝熱工学+CAE解析+ 機械学習の取り入れた 最適化技術 グループ演習 | 0.5日間 事前学習(eラーニング) 6時間		

機械力学（振動・騒音）

レベル1	レベル2	レベル3
OTV008 オンライン 機械四力の基礎 レクチャ | 1日間		

設計技法（機械）

レベル1	レベル2	レベル3
	OTE002 eラーニング 公差設計の基礎 音声有 説明文なし | 4時間	
	OTE001 eラーニング 幾何公差の基礎 音声有 説明文なし | 6時間	
	OTV020 オンライン 成熟を打破する 顧客価値の捉え方と イノベーション構想の描き方 グループ演習 | 1日間	Renewal OTV034 オンライン 生成AIと特許情報を活用した 技術マーケティングの 実践メソッド レクチャ | 1日間
	Renewal OTV033 オンライン 技術の棚卸と組み合わせによる ビジネス創生と 生成AI活用のポイント レクチャ | 1日間	
	OTV029 オンライン 世界No.1製品を 実現するための 開発プロジェクト指南 グループ演習 | 1日間	OTV028 オンライン ニーズ・シーズ思考でなく 超常識思考で すごいビジョンを実践 グループ演習 | 1日間

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方　（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方　（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、 さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

オンライン / コースコード OTV008

機械四力の基礎【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

機械四力（材料力学、機械力学、流体力学、熱力学）の基礎を学習します。

到達目標 機械四力（材料力学、機械力学、流体力学、熱力学）の基礎をマスタできる。

対象者 製品開発の 全技術者、研究/開発/設計/生産/品質管理/調達などの全ての部門の技術者、管理者の方。

前提知識 工学的な知識があること。

内　容
1. 機械力学の基礎
2. 流体力学の基礎
3. 熱力学の基礎
4. 材料力学の基礎

受講料 ¥60,500

オンライン / コースコード OTV012

伝熱工学+CAE解析+機械学習を取り入れた最適化技術【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 0.5日間

・このコースは、基礎知識をeラーニング（6時間）にて学習いただき、研修当日（0.5日間）は演習中心に進めます。
・モノづくり、ハードウェア製品を早期に適正に設計できる、基礎＋数値解析＋機械学習を紹介します。

到達目標 基礎＋数値解析＋機械学習で、ベーシックな事象について、デジタルツイン等を活用できる。

対象者 モノづくり、ハードウェア製品の設計に従事している中堅技術者の方。

前提知識 1年以上の業務経験があるか、または同等の知識があること。

内　容 【事前学習　eラーニング（標準学習時間：6時間）】
1. 伝熱工学
2. CAE解析
3. 機械学習

【研修：0.5日】
事前学習での疑問点を即答解決します。
1. まとめ説明
2. 業務上の課題解決
3. Q&A

受講料 ¥110,000

eラーニング / コースコード OTE002

<eラーニング> 公差設計の基礎

eラーニング 4時間

初めて公差設計を学ぶ方へ、公差設計の概要からグローバル図面で必要な幾何公差の最新情報、公差の計算方法等を解説します。各章の演習問題により、理解度を確認できます。

到達目標 製品の品質向上とコスト低減を実現させる公差設計の考え方と手法を修得できる。

対象者
・設計・開発・生産技術・製造・検査・品質管理およびその方々を指導される方。
・初めて公差設計を学ぶ方。
・品質向上、コストダウン設計を考えている方。
・図面に課題を持たれている方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 公差設計の概要
2. 公差設計と幾何公差（GD&T）
3. 正規分布と工程能力指数
4. 統計的取り扱いと公差の計算
5. 公差設計の実践レベル

受講料 ¥33,000

eラーニング / コースコード OTE001

<eラーニング> 幾何公差の基礎

eラーニング 6時間

グローバルものづくりのためには世界中のどこでも同じ品質の製品を作る必要があります。このためにはグローバル図面が必要であり、そのキー技術が幾何公差です。このeラーニングでは幾何公差の基礎を自由な時間に自分のペースで学ぶことができます。

到達目標 グローバル図面には欠かせない「幾何公差」について、その考え方と具体的な表記方法を修得できる。

対象者 グローバル図面に係わる技術者の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 幾何公差の基本
2. 幾何公差の図示方法
3. 幾何公差の計測技術

受講料 ¥49,500

オンライン / コースコード OTV020

成熟を打破する顧客価値の捉え方とイノベーション構想の描き方【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 1日間

近年の大ヒット製品を事例として紐解きながら、成熟を打破する顧客価値の捉え方とイノベーション構想の描き方について、株式会社ケミストリーキューブが開発したフレームワークを交えて解説します。

到達目標 成熟市場から大ヒット製品が産まれてきています。顧客価値の捉え方とイノベーション構想の描き方を修得できる。

対象者 研究開発・技術開発・商品開発部門の管理者、技術者、研究者、ならびにシステム、製品の企画・戦略部門の管理者、スタッフの方。

前提知識 成熟市場に新たな成長領域をつくりだすためには、これまでの製品の概念とアーキテクチャーを大胆に進化させ、既存製品とは異なる顧客価値の創造が必要であり、そのための組織能力をR＆D現場に戦略的につくり込む経験があること。

内　容
1. R&Dへの期待と現場の悩み
2. 成熟を打破したイノベーション事例に学ぶ
3. 成熟を打破する顧客価値の捉え方
4. 成熟を打破するイノベーション構想の描き方
5. 継続的にイノベーションを生み出すR&Dをつくるために
6. 質疑&ディスカッション

受講料 ¥60,500

オンライン / コースコード OTV033 Renewal

技術の棚卸と組み合わせによるビジネス創生と生成AI活用のポイント【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

一般的に行われている技術の棚卸がなぜうまくいかないのかを紐解きながら、実践手法をもとに、その効果的な進め方について学習します。

到達目標
・技術棚卸のコンセプトとフレームワークを理解し、実務で活用できる。
・新価値構想の思考プロセスとフレームワークを理解し、実務で活用できる。
・技術棚卸および新価値構想における生成AI、特許情報活用の要点を理解し、実務で活用できる。
※理論にとどまらない実践的な内容の講義と、事例をもとにした演習を行うことで、受講者が修得した知識を実務に活かせるようサポートします。

対象者 研究開発・技術開発・商品開発部門の管理者、技術者、研究者画・戦略部門の管理者、スタッフの方。

前提知識 技術を開発、または技術を管理したことがあること。

内　容
1. 企業を取り巻く変化とR＆Dの課題
   (1)イノベーションの時代
   (2)変化するR＆Dのミッションと現場の悩み
   (3)技術イノベーション・マネジメントの実践
2. 技術棚卸のコンセプトと実践メソッド
   (1)技術マネジメントの難しさ
   (2)技術の棚卸の考え方
   (3)技術の棚卸の実践メソッド
3. 技術の組み合わせによる新価値構想の実践
   (1)新価値アイデアの発想
   (2)新価値の構想と検証
4. 生成AIの活用による実践プロセスの高度化
   (1)生成AIの基本
   (2)プロンプト設計の基本とコツ
   (3)技術棚卸と新価値構想への活用方法
   (4)現場における実践に向けて
5. 技術の棚卸がR＆D現場を変える

受講料 ¥60,500

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

オンライン / コースコード OTV029

世界No.1製品を実現するための開発プロジェクト指南【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 1日間

世界の競合に勝つことを命題とし「先行開発段階をやりきる（設計力）」をテーマに掲げます。ダントツコンセプト実現の（プロセス）、「ダントツ目標の満たすべき要件」、その実現を「阻害する要因の打破」などを取り上げます。ダントツ目標への取り組みは身近にある例、世界一製品の開発例、ダントツスピードの開発例など、さまざまな切り口から事例を紹介します。世界一製品への取り組みに必要な開発設計者のあるべき姿についても取り上げます。

到達目標 「先行開発をやりきる7つの設計力」に関して、自席から学習、演習できる。

対象者 開発設計部門の管理者・マネージャーや、それらのポジションをめざす設計者、世界一の開発設計をめざす方。

前提知識 技術環境がいかに変わろうと、お客さまの（信頼）を得ること、競合メーカーに対し（優位性）を保ち続けることは普遍的に取り組まねばならない課題です。開発設計段階が品質・コストの80%を決めるとの現実を踏まえ、これら普遍的な課題をやりきるにふさわしい（設計力）を備えていること。

内　容
1. 先行開発は「優位性」を実現し、量産設計で「信頼」を達成する
2. 実例を追うダントツコンセプトを実現する先行開発の流れ
3. ダントツ目標が満たす4要件21世紀の新たな日本流ものづくりを考える
4. ダントツコンセプトをめざした取り組み事例
5. 淘汰の時代に生き残る設計者像・10通りの超常識思考技術
6. 超常識思考活用事例の紹介
7. グループ討議
8. まとめと質疑応答

受講料 ¥60,500

オンライン / コースコード OTV034 Renewal

生成AIと特許情報を活用した技術マーケティングの実践メソッド【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

イノベーションを生み出す“面”の技術構想を実践するための効果的な進め方について、技術構造化手法をもとに学習します。

到達目標
・技術マーケティングの目的とコンセプトを理解し、説明できる。
・技術マーケティングのフレームワークを理解し、実務で活用できる。
・技術マーケティングにおける生成AI、特許情報活用の要点を理解し、実務で活用できる。
※理論にとどまらない実践的な内容の講義と、事例をもとにした演習を行うことで、受講者が修得した知識を実務に活かせるようサポートします。

対象者 研究開発・技術開発・商品開発部門の管理者、技術者、研究者、企画・戦略部門の管理者、スタッフの方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. テクノロジーマネジメントと技術マーケティング
   (1)テクノロジーマネジメントの重要性
   (2)技術マーケティングとは
2. 生成AIの基本
   (1)生成AIとは
   (2)プロンプト設計の基本とコツ
3. 技術の機能定義
   (1)思考プロセスとフレームワーク
   (2)生成AIの活用方法
4. 新たな用途・市場の探索
   (1)思考プロセスとフレームワーク
   (2)生成AIの活用方法
   (3)特許情報の活用方法
5. イノベーションの構想
   (1)思考プロセスとフレームワーク
   (2)生成AIの活用方法
6. まとめにかえて
   -イノベーションを産むだす力を高めるために-
   (1)テクニックではなく、思考プロセスにこだわる
   (2)人の知恵を集めるコミュニケーションを促進する
   (3)イノベーターズマインドを支援する
7. Q&A（全体質疑）

受講料 ¥67,100

オンライン / コースコード OTV028

ニーズ・シーズ思考でなく超常識思考ですごいビジョンを実践【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 1日間

このコースには下記4つの特徴があります。
（1）理論だけでなく実践的なイノベーション手法が学べる。
（2）コンセプトを創造する「4つの創造思考ステップ」のオリジナル性。
（3）理想の姿を追求する「10通りの超常識思考技術」のオリジナル性。
（4）知識、見識、胆識の3つのステップによる複合型研修。
上記特徴により、実践的な創造思考技術を学び、世界一製品のコンセプトづくりを修得できます。受講生課題を含んだ具体的事例の演習・討議を通じて、設計者起点での新事業創生の思考方法を体験できます。

到達目標 設計段階の取り組みが品質・コストの8割を決めるという現実があります。競合メーカーに対して優位性を保つためには、それにふさわしい設計段階の取り組みが必要です。「世界No.1製品」を生み出し、生産するための開発設計プロジェクトの実践方法を伝授します。「競合に勝つ」ことを命題とし、その活動として「世界No.1製品の達成」を4つの特徴を体験できます。さらに、グループワークを通じてコンセプトづくりを修得できます。

対象者 開発設計部門の管理者・マネージャーや、それらのポジションをめざす設計者、開発設計部門を導く経営層など、開発設計を改革して世界一の開発設計をめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 時代の大きな変化を知る
2. 21世紀の新たな日本流ものづくりを考える
3. 事業と価値について
4. 超常識思考を実現する4つの思考ステップ
5. 理想の姿を描く超常識思考技術
6. 超常識思考活用事例の紹介
7. 超常識思考技術による将来ビジョンづくりの演習・討議
8. 超常識思考技術の活用による新事業創出の演習・討議
9. まとめと質疑応答

受講料 ¥60,500

生産・サプライチェーン エンジニアリング

監督者およびその候補者の管理能力向上と人格形成を目的とした研修、生産管理の基礎から最先端のSCM、品質管理・生産技術能力強化のための理論から実務に直結した研修からなるトップ技能者や現場リーダ育成に必要な領域です。

現場管理

レベル1

HSV126 オンライン
報連相のための
ビジネスコミュニケーション
基礎
グループ演習 | 1日間

PDU
HSV282 オンライン
（PDU）自分を知り他者を知る
コミュニケーションマネジメント
－DiSCモデルによる－
グループ演習 | 2日間

レベル2

チームで働く力

HSV268 オンライン
コーチング基礎
－メンバーがコミットする
目標設定編－
グループ演習 | 1日間
＋
事前学習（eラーニング） 2時間

または

HSJ268 集合
コーチング基礎
－メンバーがコミットする
目標設定編－
グループ演習 | 1日間
＋
事前学習（eラーニング） 2時間

IoT

ヒューマンエラー対策（OT）

HSD013 集合
ヒューマンエラー対策研修
基礎コース
レクチャ | 1日間

HSD014 集合
ヒューマンエラー対策研修
ヒアリング＆分析コース
レクチャ | 1日間

または ※

HSD015 集合
ヒューマンエラー対策研修
基礎+ヒアリング＆分析コース
レクチャ | 2日間

HSD016 集合
ヒューマンエラー対策研修
仕組みコース
レクチャ | 1日間

HSD017 集合
ヒューマンエラー対策研修
行動コース
レクチャ | 1日間

※HSD015は、HSD013とHSD014の2コースを1セットにして提供するコースです。

レベル3

OTJ041 集合
監督者安全教育（RST）
グループ演習 | 3.5日間

生産管理

レベル1

休講
OTJ026 集合
生産管理基礎研修
（生産管理 基礎コース）
レクチャ | 4日間

レベル2

休講
OTJ027 集合
SCMとIoT活用による
生産革新マネジメント
（生産管理 中級コース）
レクチャ | 4日間

レベル3

OTJ044 集合
最新事例（SCMとIoT）による
次期マネージャー養成
（製造系管理者 上級コース）
レクチャ | 3日間

製造管理

レベル1

OTJ045 集合
新QC手法研修
グループ演習 | 3日間

IOJ028 集合
作業改善のための
治工具・雇の作り方研修
マシン実習 | 5日間

レベル2

レベル3

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方　（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方　（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、 さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文可 ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

製造・モノづくり基盤技術

工作機械やロボット等を操作する実習を通して、モノづくりを体験的に修得できます。また、デジタル化推進に必要な技術、モノづくりに携わるエンジニアに必要な技術を修得できます。

監督者安全教育（RST）

集合 ｺｰｽｺｰﾄﾞ OTJ041

グループ演習 3.5日間

労働安全衛生法第六十条に基づき、新たに職務につくことになった全ての職長および直接指導（現地で直接作業を指導監督する者も含む）する者に対する安全衛生教育が定められています。関連会社も含めて各事業所では新任者の人数等の関係から実施が困難な場合が考えられ、（日立アカデミー）にて一括して教育を実施しています。
※必要に応じてご自身で宿泊場所の予約をお願いいたします。

到達目標 労働安全衛生法第六十条に基づき、新たに職務につくことになった全ての職長および直接指導（現地で直接作業を指導監督する者も含む）する者に対する安全衛生教育が定められています。労働省安全教育認定のトレーナのいる事業所では安全衛生教育を実施しているところもありますが、関連会社も含めて各事業所では新任者の人数等の関係から実施が困難な場合があり、（日立アカデミー）にて一括して教育を実施しています。（したがって各事業所では洩れのないように安全衛生教育を受講願います。）

対象者 労働省方式現場監督安全衛生教育で、労働省認定のトレーナーによる安全衛生教育を受けていない監督者の方。

前提知識 監督者としての管理・指導経験があること。

内　容
1. 監督者安全教育（RST）への導入
2. 遵法人
3. 組長の役割
4. 指導・教育の進め方
5. 監督・指示の方法
6. 適正配置
7. 設備の改善
8. 環境改善の方法と環境条件の保持
9. 整理整頓と安全衛生点検
10. 作業手順の定め方
11. 作業方法の改善
12. 異常時における措置
13. 災害発生時における措置
14. リスクアセスメント
15. 労働災害防止と関心の保持および創意工夫を引き出す方法
16. 日立の安全衛生管理方針等
17. グループ討議

受講料 ¥214,500

生産管理基礎研修（生産管理 基礎コース）

集合 ｺｰｽｺｰﾄﾞ OTJ026 休講

レクチャ 4日間

生産の仕組みや管理に関する基礎知識と一連の流れを修得していただきます。部門は問いません。日立グループの方は本研修の修了一年後にフォローアップ研修を受講していただくこともできます。

到達目標 生産管理の基本と実践的管理手法が修得できます。ミニケーススタディによりコミュニケーション力も高まります。現状の業務に凝り固まっている方には、周辺知識の修得で業務改善のヒントが見つかるかもしれません。また、受講生の相互コミュニケーションを重視したミニケーススタディにより、コミュニケーション力の向上と視野の広い人材育成をめざします。生産システム部会／生産統括教育分科会の企画により実施するものです。

対象者 生産に係わる仕組みの基礎を学びたい方。現状業務の専門知識はあるが周辺知識を学びたい方。営業、技術、生産管理、製造、設計、資材、経理、情報システム等、部門は問いません。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. コミュニケーションの基本
2. 生産管理概論（用語解説）
3. ミニケーススタディ（1）
4. 生産管理者の役割
5. 資材管理
6. 生産計画手法（非量産事例）
7. JIT生産手法
8. 資金と棚卸残高
9. 生産計画手法（量産事例）
10. ミニケーススタディ（2）
11. 個人発表
12. 事業所見学（鉄道/水戸）
13. 幹部講話

受講料 ¥217,800

SCMとIoT活用による生産革新マネジメント（生産管理 中級コース）

集合 ｺｰｽｺｰﾄﾞ OTJ027 休講

レクチャ 4日間

社内外の生産改革事例やSCMに関する各種管理手法の修得いただきます。IoT活用による生産管理の高度化や変化に対応できる幅広い知識、考え方を身につけていただきます。

到達目標 全体最適化を図るため、需要予測から調達、生産、出荷まで、最新サプライチェーンの実態やシステム、IoTの現状を学んでいただきます。社内外の生産改革事例や各種管理手法の修得により、生産管理の高度化や変化に対応できる幅広い知識、考え方を身につけていただきます。さらにケーススタディで業務上の問題点について受講生相互のコミュニケーションを十分に図り、論理的な問題解決（思考/実行）能力を向上させることができます。生産システム部会／生産統括教育分科会の企画により実施するものです。

対象者 生産管理の仕組みを広く理解し、顧客・他部門との調整や業務改革に取組みたいと考えている方で、部門は問いません。

前提知識 生産管理に関する基礎知識があること。

内　容
1. キャッシュフロー経営
2. SCM改革と他社事例
3. 生産スケジューリング
4. SCM改革の実際
5. IoT活用モノづくりの動向および適用事例
6. 事業所見学（Astemo/佐和）
7. ケーススタディ
8. 新会社設立の取り組み
9. 発表会
10. 幹部講話

受講料 ¥193,600

最新事例（SCMとIoT）による次期マネージャー養成（製造系管理者 上級コース）

集合 ｺｰｽｺｰﾄﾞ OTJ044

レクチャ 3日間

変革時代の生産管理に必要な最先端のサプライチェーンシステム、現場情報のデジタル化、IoTの現状・将来方向について具体的に学んでいただきます。また、自らの改革事例の発表では、受講生・講師間の積極的な討議参画によって業務改革の高度化や工場経営に必要な全体を俯瞰する能力を一層高めることができます。生産システム部会／生産統括教育分科会の企画により実施するものです。

到達目標 グローバル連携、生産・調達システム、工場DXといった内外の生産マネジメントに関する最新情報を網羅しています。SCMをグローバルに捉え、あるべき姿を再認識し、事業経営に寄与する思考・行動を身につけていただきます。

対象者 自社の生産管理を理解し、社内外との調整や業務改革を実践している方。SCM全体のオペレーションをデジタル化により高度化する知識・スキルを向上したい方。部門は問いません。

前提知識 生産・サプライチェーンに関する基礎知識があること。

内　容
1. 在庫と事業経営
2. グローバル連携強化
3. IoT活用による新生産管理
4. SCM/ECMの高度化
5. 自職場改革事例
6. 生産現場のIoT改革事例
7. 事業所見学（ハイテク/マリン）

受講料 ¥183,700

新QC手法研修

集合 ｺｰｽｺｰﾄﾞ OTJ045

グループ演習 3日間

言葉の情報処理の仕方や新QC手法を通じて，問題解決のための効果的グループ討議の進め方とリードの仕方を修得していただきます。
※必要に応じてご自身で宿泊場所の予約をお願いいたします。

到達目標 言葉の情報処理の仕方や新QC手法を通じて，問題解決のための効果的グループ討議の進め方とリードの仕方を修得していただきます。

対象者 グループリーダとしての育成を図り，活躍を期待できる方。

前提知識 QCサークルに参画したことがあること。

内　容
1. N7（新QC手法）とは
2. 言葉の意味論
3. 親和図法講義
4. 連関図法講義
5. 系統図法（マトリックス図法）講義
6. 各図法について，グループ討議
7. 事例報告（QCサークル報告会参加事業所）
8. グループ討議発表会

受講料 ¥183,700

作業改善のための治工具・雇の作り方研修

集合 ｺｰｽｺｰﾄﾞ IOJ028

マシン実習 5日間

現場改善の早期実現をはかるために図面情報処理能力の向上をはかり、治工具雇の機能上のポイントを実技，実習を通して体得し、図面が読めて書ける人材、治具・雇が発案でき具体化できる現場マンを養成します。治具・雇の作り方、図面の書き方、実技演習ではビデオ観察による治具・雇の発案実習を実施します。
※必要に応じてご自身で宿泊場所の予約をお願いいたします。

到達目標 現場改善の早期実現をはかるために作業改善に携わる人の図面情報処理能力の向上をはかり、治工具雇を作る際にもっとも脳路となっている治工具雇の機能上のポイントと簡略図面の作り方を実技，実習を通して体得いただきます。

対象者 生産指導員，組長，指導技能員，現場技術員の方。

前提知識 図面の簡単な知識があること。

内　容
1. 治工具・雇いのつくり方の基本
2. 図面の書き方基本
3. 治具・雇いの製作図演習
4. 治具・雇い事例説明（工場見学）
5. 穴あけ治具製作図演習
6. 課題演習発案発表会

受講料 ¥330,000

モノづくり体験

レベル1

- OTJ046 集合 — 1度は経験！溶接日帰り体験 — マシン実習 1日間
- OTJ048 集合 — 製造・生産技術者のための自動機製作総合講座 — マシン実習 5日間
- OTJ047 集合 — 今こそ体験！1日 機械加工体験 — マシン実習 1日間
- OTJ049 集合 — 今こそ体験！NCプログラミング体験 — グループ演習 2日間 → OTJ050 集合 — 今こそ体験！1日 NCマシニングセンタ加工体験 — マシン実習 1日間

自動化システム

レベル1

- OTJ051 集合 — 産業用ロボット特別安全教育（教示） — マシン実習 1.5日間
- OTJ052 集合 — 産業用ロボットの教示と基本操作習得 — マシン実習 3日間
- OTJ053 集合 — リレーシーケンスの基礎とトラブル診断 — マシン実習 2日間
- OTJ054 集合 — リレーシーケンスの基礎とPLC入門 — マシン実習 3日間
- OTJ055 集合 — シーケンスコントローラ活用入門 — マシン実習 5日間
- OTJ056 集合 — トラブルシューティング（制御系基礎） — マシン実習 5日間

レベル2

- OTJ057 集合 — PLCプログラミング応用 — マシン実習 5日間

生産設備・プロセス

レベル2

- OTJ058 集合 — 設備稼動率向上研修（初級）（TPM入門） — マシン実習 4.5日間

レベル3

- OTJ059 集合 — 設備稼働率向上研修（中級：故障予知編） — マシン実習 3.5日間

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方　（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方　（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、 さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

レベル1	レベル2	レベル3

New

OTV035 オンライン

デジタル新時代に対応した
IoT×AIの概要と
その利用技術

グループ演習 | 2日間

集合 コースコード OTJ046

マシン実習 1日間

1度は経験！溶接日帰り体験

溶接を１度は体験してみませんか？皆さんが会社で手がける製品やサービス、使用している設備、通勤に使用している乗り物などなど、溶接はさまざまなところに使用されていますが、実際に溶接を体験したことが有る方は殆どいらっしゃらないかと思います。「身近」なのに「身近じゃない」技術ですが、これからの会社生活で、実際に溶接を体験しておく事は、あなたの「財産」になります、日立キャンパスでは、工場の第一線で活躍してきたプロの講師が安全に本物の溶接を指導し、体験出来る機会を用意しております。

到達目標 溶接を体験する事により、モノづくりへの理解を深める。

対象者 溶接を体験してみたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. MAG溶接練習
2. 被覆アーク溶接練習
3. MAG溶接での容器作成・性能試験

受講料 ¥61,600

集合 コースコード OTJ047

マシン実習 1日間

今こそ体験！1日 機械加工体験

工作機械の種類や加工方法を学び、その後、実際の機械（旋盤，フライス盤，ボール盤，マシニングセンタ）の動作および操作を見学・体験します。さらに穴明け，タップ加工，ダイス加工を体験し、実際に締められるネジ加工を体験します。

到達目標 工作機械の種類、動作を体験し、どのような機械がどのような加工を行えるかを実体験する。

対象者 どなたでも受講可能です。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 工作機械についての学習
2. 旋盤加工体験
3. フライス盤加工体験
4. ボール盤加工体験
5. マシニングセンタ動作見学
6. タップ加工体験
7. ダイス加工体験

受講料 ¥61,600

集合 コースコード OTJ048

マシン実習 5日間

製造・生産技術者のための自動機製作総合講座

生産技術者として必須の電気制御に関する基礎的部分をまとめて効果的に学習することができます。自動機製作総合実習では、チーム別に創造力を働かせて自動機に見立てた作品を考案、配線、動作させることによってシーケンス制御の全貌を理解しながらモノづくりの喜び、達成感を味わうことができます。
※必要に応じてご自身で宿泊場所の予約をお願いいたします。

到達目標 自動化設備一般を扱う人が知っておくべき制御と電気に関する基本的な事項（電気と安全、テスタの使い方、シーケンス制御のしくみ、プログラマブルコントローラ（PLC）の機能など）を、初心者にもわかりやすく基礎から体験し、楽しみながら修得できます。

対象者 生産技術部門の新人や自動機械のオペレータ、製造職場で設備保全業務全般に携わる技能者の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 電気回路の基礎
2. リレー回路の基礎
3. PLCの機能と使い方
4. シーケンス回路設計入門
5. 自動機製作総合実習
6. 発表会

受講料 ¥305,800

集合 コースコード OTJ049

グループ演習 2日間

今こそ体験！NCプログラミング体験

マシニングセンタのNCプログラミングを基礎から学べます。NCプログラムの考え方や仕組み、コードを学習し、演習課題のプログラムを作成し、シミュレーターで確認します。このコースで作成した、NCプログラムの実加工は、「今こそ体験！1日 NC マシニングセンタ加工体験」コースにて実施します。

到達目標 NCプログラムの基礎を学び、シミュレーターの操作方法も含め修得する。

対象者 どなたでも受講可能です。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. NCプログラムの基礎
2. 加工設備の見学
3. プログラム作成演習
4. シミュレーターの操作方法演習
5. 課題加工プログラムの作成

受講料 ¥101,200

集合 コースコード OTJ050

マシン実習 1日間

今こそ体験！1日 NCマシニングセンタ加工体験

「今こそ体験！NC プログラミング体験」コースで作成したプログラムを使用し、実機マシニングセンタにて実加工を実施します。

到達目標 マシニングセンタでの実加工を体験し、作成したプログラムの実動作を体験できる。

対象者 「今こそ体験！NC プログラミング体験」コースを受講済みの方。

前提知識 「今こそ体験！NC プログラミング体験」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. マシニングセンタ操作説明
2. 実機を使用した課題プログラムの動作確認
3. 作成プログラムでの実加工
4. 寸法確認
5. 改善点，要修正点の確認・指導

受講料 ¥61,600

集合 コースコード OTJ051

マシン実習 1.5日間

産業用ロボット特別安全教育（教示）

産業用ロボットの教示・検査等に係る業務に従事する労働者全員に対して、労働安全衛生法第59条第3項に基づき特別教育を行うことが法令で義務付けされているロボット特別安全教育を実施します。法令に沿った学科教育と実習を実施しますが、実習に関しては外部主催の同教育と比較し多めに設定しておりますのでロボット初心者の方にも安心して受講いただけます。

到達目標 ロボット操作時に必要な知識を修得できる（合格者には修了証を発行します）。

対象者 産業用ロボットの教示・検査等に係る業務に従事する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 産業用ロボットに関する知識
2. 関係法令
3. 産業用ロボットの教示等の作業に関する知識
4. 産業用ロボットの操作方法について
5. 産業用ロボットの教示等の作業方法

受講料 ¥64,900

設計・モノづくり(OT)
電気・計測制御
機械・設計技法
生産・サプライチェーンエンジニアリング
製造・モノづくり基盤技術

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方 （目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方 （目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、 さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

集合 コースコード OTJ052

マシン実習 3日間

産業用ロボットの教示と基本操作習得

法令で義務付けられている、産業用ロボットの特別安全教育（教示）の受講に加え、基本的なロボットの操作方法を、実習をメインに修得できます。

到達目標 産業用ロボットの特別安全教育（教示）の受講修了証の発行と共に、基本的なロボットの操作方法を修得する。

対象者 ロボットをこれから使用・監視・導入しようとする部門の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 産業用ロボットに関する知識 産業用ロボットの種類
2. 各部の機能および取扱いの方法
3. 産業用ロボットの教示等の作業に関する知識
4. 教示等の作業の方法
5. 関係法令
6. 産業用ロボットの操作の方法
7. 産業用ロボットの教示等の作業の方法
8. メーカ，ロボット形状による操作方法の違いの体験実習
9. 外部機器との接続体験実習

受講料 ¥184,800

集合 コースコード OTJ053

マシン実習 2日間

リレーシーケンスの基礎とトラブル診断

電気の基礎、シーケンス制御、リレー回路、テスターの使い方、トラブル診断の基礎を学びます。さらに、学んだ基礎知識を使ってトラブルシューティングを実習で体験する2日間の研修となっています。

到達目標 電気と安全に関する基礎知識を学び、実際の器材を用いた配線とトラブル原因の診断をゲーム感覚で体系的に身につける。

対象者 新人・若手の技術者・技能者、電気の初学者、初めて電気機器、自動機を扱う方、営業職の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 自動制御の概要
2. 電気の基礎と安全
3. シーケンス制御回路の基礎
4. トラブルシューティング基礎

受講料 ¥123,200

集合 コースコード OTJ054

マシン実習 3日間

リレーシーケンスの基礎とPLC入門

電気の基礎と安全・シーケンス制御・リレー回路・テスターの使い方・配線とトラブル診断・PLCの基本機能と役割、実装配線、運転操作とプログラミングの基礎、および活用のポイント等に関し、電気を苦手とする方でも一通りのことが理解できるように実習します。

到達目標 電気の基礎と安全/シーケンス制御/リレー回路/テスターの使い方/配線とトラブル診断/PLCの基本機能と役割、実装配線、運転操作とプログラミングの基礎、および活用のポイント等に関し、電気を苦手とする方でも一通りのことが理解できる。

対象者
- 自動機・電気機器に関わる部署の新人、設備の保守改善業務に従事する方。
- プログラマブルコントローラ（PLC）の操作や活用のための知識を必要とする初心者の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 制御と電気と安全
2. 電気回路の基礎
3. リレー回路の配線
4. PLCの構成と配線
5. PLCの基本操作
6. 基本回路要素の働き
7. プログラミング演習

受講料 ¥184,800

集合 コースコード OTJ055

マシン実習 5日間

シーケンスコントローラ活用入門

PLCの組み込まれた自動化設備などの操作やPM・設備改善等に携わる実務者向け入門研修です。生産設備をはじめ、試験装置や実験設備などの制御に使用されるPLCの概要を実機を用いて基礎から修得できます。（実習は日立と三菱のPLCから選択可、それ以外のPLCでも基本的な機能は共通）
※必要に応じてご自身で宿泊場所の予約をお願いいたします。

到達目標 PLCの基本機能と役割、実装配線、運転操作とプログラミングの基礎、および活用のポイント等に関し、電気を苦手とする方でも一通りのことが理解できる実習です。

対象者 プログラマブルコントローラ（PLC）の操作や活用のための知識を必要とする初心者の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. シーケンス制御の基礎
2. PLCの構成と配線
3. PLCの基本操作
4. 基本回路要素の働き
5. プログラミング演習
6. 課題実習
7. 発表会

受講料 ¥305,800

集合 コースコード OTJ056

マシン実習 5日間

トラブルシューティング（制御系基礎）

自動化設備を扱う人が知っておくべき基本的な事項（電気と安全、テスターの使い方、シーケンス制御のしくみ、トラブル診断と修理・調整の方法など）を、実際に回路を組み立てながら分かりやすく学習します。実機を使用した故障診断修理実習等を通じ、実際の設備トラブルへの対応力を身につけます。
※必要に応じてご自身で宿泊場所の予約をお願いいたします。

到達目標 電気関係のトラブルに対応できる基礎知識と診断方法を実際に体験しながら修得します。

対象者
- 自動機械設備・セル生産ツール・JIT生産設備等の運転・保守改善に携わる方。
- ソフトウェアやシステム開発および品質保証関連業務の新人で電気制御の基本を実機レベルで実習したい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. シーケンス制御の基礎
2. リレーシーケンス入門
3. トラブルシューティング基礎
4. 制御盤配線実習
5. 故障診断修理実習
6. 机上でのいろいろなトラブルシューティング

受講料 ¥305,800

集合 コースコード OTJ057

マシン実習 5日間

PLCプログラミング応用

あらゆる種類と規模の制御対象に対し、誤動作しない信頼性と完成度の高いPLCプログラムを作成する手法と考え方について、実習を通じ分かりやすく修得します。トリッキーで難解な回路になることを避けられる、PLCのメーカや機種に依存しない、誰にも分かりやすいシーケンス回路の構築法について解説・実習します。実習用アクチュエータセット等を使用し、起こりがちな不具合点の確認やあるべき機能の追加なども体験します。
※必要に応じてご自身で宿泊場所の予約をお願いいたします。

到達目標 誤動作せずに思い通りの動作を実現する信頼性の高いシーケンス回路構成法を、実習を通じて体系的に修得します。

対象者 自動化設備等の開発・保守・改善を行おうとする方で、プログラマブルコントローラ（PLC）の基本的なプログラミングを理解・経験している方。

前提知識 PLCの機能全般についての理解があること。もし、PLCの機能全般についての理解が十分でない場合、事前に「シーケンスコントローラ活用入門」コースの受講をお薦めします。

内　容
1. PLC基礎テスト
2. PLCプログラミング
3. 歩進回路と出力回路の作り方
4. 選択と反復への対応と演習
5. 複雑な制御仕様の表現方法
6. 条件回路の構成法
7. 総合実習
8. 発表会

受講料 ¥305,800

集合 コースコード OTJ058

マシン実習 4.5日間

設備稼働率向上研修（初級）（TPM入門）

・稼働率向上の第一歩は「清掃は点検なり」を全員に習慣化させることから始まります。設備機械の6大系統の点検方法と修理・改善について体系的に学習し、実践によって体得できます。
・メカニズム系統の実習を中心に、誰にでもできる設備の点検法を学ぶことができます。
・実習で使用する、保護眼鏡，作業帽子，安全靴は研修所で貸し出しますが、職場で使用している物を持参・使用しても結構です。
※必要に応じてご自身で宿泊場所の予約をお願いいたします。

到達目標
- 稼働率向上の第一歩は「清掃は点検なり」を全員に習慣化させることから始まります。設備機械の6大系統の点検方法と修理・改善について体系的に学習し、実践によって体得できます。また、TPM先進事業所の実務担当者の講義により、具体的な展開と問題の解決法を学ぶことができます。
- メカニズム系統の実習を中心に、誰にでもできる設備の点検法を学ぶことができます。

対象者 製造設備を使用している全技能者でTPM活動についてグループの中核となる方。

前提知識 自職場内設備点検内容，点検状況等現状の把握を行う方。

内　容
1. TPMの基礎と社内外の実例
2. 清掃点検のポイント
3. チョコ停ゼロの進め方
4. 故障ゼロの進め方
5. 潤滑、油圧、電装系統の点検
6. 締結、駆動、伝達系統の点検
7. 空圧機器

受講料 ¥272,800

集合 コースコード OTJ059

マシン実習 3.5日間

設備稼働率向上研修（中級：故障予知編）

故障予知による設備機械の稼働率向上を図るため、各種診断機器を用いて振動診断を中心に原因追求とメンテナンスを実習できます。
※必要に応じてご自身で宿泊場所の予約をお願いいたします。

到達目標
- 振動を利用した簡易診断手法、および精密診断手法を修得できる。
- 油分析キットを利用し、油分析による診断技術を修得できる。

対象者 設備診断を担当される方。TPMグループリーダ、または「設備稼働率向上（初級）」コースを受講した方。

前提知識 自職場内設備の点検内容、点検状況等現状および問題点を把握していること。

内　容
1. 設備診断入門
2. 故障予知のための診断機器と活用法
3. 潤滑油、作動油の設備診断実習
4. 設備診断装置による故障予知実習（簡易診断，精密診断）
5. TPMにおける保全活動
6. 設備稼働率向上のための設備管理システム

受講料 ¥196,900

オンライン コースコード OTV035 New

グループ演習 2日間

デジタル新時代に対応したIoT×AIの概要とその利用技術【バーチャル・クラスルーム】

空前のIoT（Internet of Things：モノのインターネット）ブームに取り残されないよう、基礎を一から学習します。
データ取得・蓄積から分析、フィードバックと流れに沿って学習し、特にIoT（+AI）を利用する技術について失敗事例も含め学ぶことができます。講師には、IoT×AI事業を行っているベンチャー企業の方をお迎えしていますので、実践的な講義内容で学ぶことができ、ワークショップによる気付きも得られる研修となっています。

到達目標
- 空前のIoTブームに取り残されないよう、基礎を一から学習します。
- データ取得・蓄積から分析、フィードバックと流れに沿って学習し、特にIoT（+AI）をモノづくりの観点での利用技術について学ぶことができます。

対象者 IoT（+AI）を利用する技術について、モノづくりの観点で学びたい若手技術者。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. IoT利用技術事例
2. IoT×AIの概要とその利用技術
   （1）IoT概論
   （2）IoTシステムの構成
   （3）データの取得と蓄積
   （4）データ処理・データ分析
   （5）フィードバックとIoT活用事例
   （6）演習【グループ単位】

受講料 ¥128,700

情報処理技術者試験対策

情報処理技術者試験の資格取得に向け、知識や解答の考え方が修得できます。

春秋期実施試験対策

【IP】【FE】【AP】を分野別に対策したい方

レベル1	レベル2	レベル3

セキュリティ

SCE016 eラーニング
情報技術者に求められるセキュリティの基礎
ー要素技術（暗号、認証）編ー
音声有＋説明文有 | 6時間

基盤製品（ネットワーク）

NWE044 eラーニング
ネットワーク基礎Ⅰ
ーイーサネットの仕組みー
音声なし＋説明文有 | 12時間

NWE045 eラーニング
ネットワーク基礎Ⅱ
ーTCP/IPの仕組みー
音声なし＋説明文有 | 12時間

基盤製品（データベース）

DBE076 eラーニング
データベース基礎
音声なし＋説明文有 | 8時間

【IP】ITパスポート試験対策

レベル1	レベル2	レベル3

SJE316 eラーニング
集中演習
ITパスポート試験【IP】
音声なし＋説明文有 | 70時間

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

【FE】基本情報技術者試験対策

レベル1	レベル2	レベル3

SJV105 オンライン
基本情報技術者試験【FE】
対策講座（試験直前に
模擬試験で得点をUPする）
レクチャ | 1日間

SJE315 eラーニング
集中演習
基本情報技術者試験【FE】
音声なし＋説明文有 | 140時間

【AP】応用情報技術者試験対策

レベル1	レベル2	レベル3

SJV106 オンライン
応用情報技術者試験【AP】
対策講座（合格に必要な
知識と解答力を養う）
レクチャ | 3日間

→

SJV107 オンライン
応用情報技術者試験【AP】
対策講座（試験直前に
模擬試験で得点をUPする）
レクチャ | 1日間

SJE304 eラーニング
集中演習
応用情報技術者試験【AP】
音声なし＋説明文有 | 135時間

【SG】情報セキュリティマネジメント試験対策

レベル1	レベル2	レベル3

SJE317 eラーニング
集中演習
情報セキュリティマネジメント
試験【SG】
音声なし＋説明文有 | 70時間

【SC】情報安全確保支援士試験対策

レベル1	レベル2	レベル3

SJV108 オンライン
情報処理安全確保支援士試験
【SC】対策講座（合格に
必要な知識と解答力を養う）
レクチャ | 3日間

→

SJV109 オンライン
情報処理安全確保支援士試験
【SC】対策講座（試験直前に
模擬試験で得点をUPする）
レクチャ | 1日間

SJE312 eラーニング
集中演習
情報処理安全確保支援士試験
【SC】
音声なし＋説明文有 | 150時間

音声有＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有＋説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

春期実施試験対策

【NW】ネットワークスペシャリスト試験対策

レベル1	レベル2	レベル3
		SJV110 オンライン ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座（合格に必要な知識と解答力を養う） レクチャ | 3日間 → SJV111 オンライン ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座（試験直前に模擬試験で得点をUPする） レクチャ | 1日間 SJE308 eラーニング 集中演習 ネットワークスペシャリスト試験【NW】 音声なし・説明文有 | 135時間

【ST】ITストラテジスト試験対策

レベル1	レベル2	レベル3
		SJV112 オンライン 高度試験受験者向け 論文の書き方−問題文の読み方から論文構成方法まで− レクチャ | 1日間 → SJV113 オンライン 高度試験【SM】【SA】【ST】対策講座 実践！論文を書く−添削指導で合格するための論述力を養成する− レクチャ | 2日間 SJE305 eラーニング 集中演習 ITストラテジスト試験【ST】 音声なし・説明文有 | 180時間

【SA】システムアーキテクト試験対策

レベル1	レベル2	レベル3
		SJV112 オンライン 高度試験受験者向け 論文の書き方−問題文の読み方から論文構成方法まで− レクチャ | 1日間 → SJV113 オンライン 高度試験【SM】【SA】【ST】対策講座 実践！論文を書く−添削指導で合格するための論述力を養成する− レクチャ | 2日間 SJE306 eラーニング 集中演習 システムアーキテクト試験【SA】 音声なし・説明文有 | 180時間

【SM】ITサービスマネージャ試験対策

レベル1	レベル2	レベル3
		SJV112 オンライン 高度試験受験者向け 論文の書き方−問題文の読み方から論文構成方法まで− レクチャ | 1日間 → SJV113 オンライン 高度試験【SM】【SA】【ST】対策講座 実践！論文を書く−添削指導で合格するための論述力を養成する− レクチャ | 2日間 SJE310 eラーニング 集中演習 ITサービスマネージャ試験【SM】 音声なし・説明文有 | 180時間

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

秋期実施試験対策

【DB】データベーススペシャリスト試験対策

レベル1	レベル2	レベル3
		休講 SJV004 オンライン データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座（合格に必要な知識と解答力を養う） レクチャ | 3日間 → 休講 SJV005 オンライン データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座（試験直前に模擬試験で得点をUPする） レクチャ | 1日間 休講 SJE309 eラーニング 集中演習 データベーススペシャリスト試験【DB】 音声なし・説明文有 | 135時間

【PM】プロジェクトマネージャ試験対策

レベル1	レベル2	レベル3
		SJV112 オンライン 高度試験受験者向け 論文の書き方−問題文の読み方から論文構成方法まで− レクチャ | 1日間 → 休講 SJV014 オンライン 高度試験【PM】【AU】対策講座 実践！論文を書く−添削指導で合格するための論述力を養成する− レクチャ | 2日間 休講 SJE307 eラーニング 集中演習 プロジェクトマネージャ試験【PM】 音声なし・説明文有 | 180時間

【AU】システム監査技術者試験対策

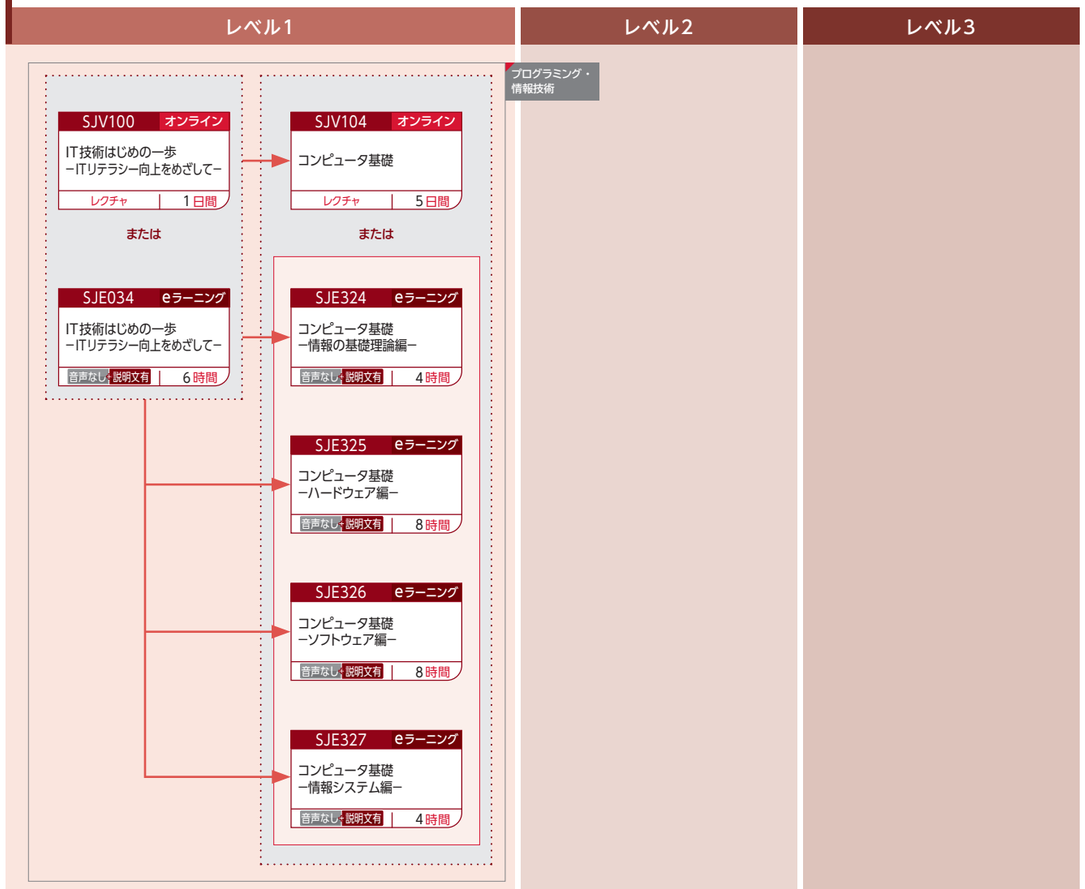
レベル1	レベル2	レベル3
		SJV112 オンライン 高度試験受験者向け 論文の書き方−問題文の読み方から論文構成方法まで− レクチャ | 1日間 → 休講 SJV014 オンライン 高度試験【PM】【AU】対策講座 実践！論文を書く−添削指導で合格するための論述力を養成する− レクチャ | 2日間 休講 SJE311 eラーニング 集中演習 システム監査技術者試験【AU】 音声なし・説明文有 | 180時間

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

情報処理
技術者試験対策

ITリテラシ

ITリテラシを高めたい方



資格 情報処理技術者試験・情報処理安全確保支援士試験

情報処理技術者試験、および情報処理安全確保支援士試験は、「情報処理の促進に関する法律」に基づき、
情報処理に関する一定水準以上の「知識・技能」を持っていることを、経済産業省が認定する国家試験です。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/hcom.html

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

eラーニング コースコード SJE316

<eラーニング> 集中演習 ITパスポート試験【IP】

70時間

2022年4月からのiパス6.0に対応したコース内容です。
eラーニングを使用し、ITパスポート試験【IP】の合格に必要な知識を学習します。
※このコースでご紹介している時間数は、動画コンテンツ134分と自己学習時間を合わせた推奨時間です

到達目標 ・職業人が共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識を持ち、担当業務に対して情報技術を活用できる。
・ITパスポート試験【IP】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 ITパスポート試験【IP】合格をめざす方。

前提知識 情報技術の基礎知識があること。

内 容 1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥9,900

オンライン コースコード SJV105

基本情報技術者試験【FE】対策講座（試験直前に模擬試験で得点をUPする）【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達をめざして学習します。

到達目標 ・試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認できる。
・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用できる。

対象者 基本情報技術者試験【FE】合格をめざす方。

前提知識 上位指導者のもと、基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事していること。

内 容 1. 模擬試験（iTECまたはTAC模擬試験を使用）
2. 解答と解説

受講料 ¥45,100

eラーニング コースコード SJE315

<eラーニング> 集中演習 基本情報技術者試験【FE】

140時間

2023年4月からの新形式の試験に対応したコース内容です。
eラーニングを使用し、基本情報技術者試験【FE】の合格に必要な知識を学習します。
※このコースでご紹介している時間数は、動画コンテンツ366分、自己学習時間を合わせた推奨時間です。

到達目標 ・高度IT人材となるために必要な基本知識・技能を持ち、実践的な活用能力を身につけることができる。
・基本情報処理技術者試験【FE】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 基本情報技術者試験【FE】合格をめざす方。

前提知識 ITパスポート試験【IP】に合格しているか、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事していること。

内 容 1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥18,700

オンライン コースコード SJV106

応用情報技術者試験【AP】対策講座（合格に必要な知識と解答力を養う）【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 3日間

応用情報技術者試験【AP】合格に向けて、必要な知識や解答方法を問題演習を中心として学習します。

到達目標 応用情報技術者試験【AP】に出題される重点テーマの知識から応用問題を解答できる。

対象者 応用情報技術者試験【AP】合格をめざす方。

前提知識 基本情報技術者試験【FE】に合格しているか、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事していること。

内 容 1. 基礎理論について
2. コンピュータシステムについて
3. 技術要素について
4. 開発技術について
5. 組込みシステムについて
6. マネジメント/ストラテジ系について

受講料 ¥135,300

オンライン コースコード SJV107

応用情報技術者試験【AP】対策講座（試験直前に模擬試験で得点をUPする）【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達をめざして学習します。

到達目標 ・試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認できる。
・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用できる。

対象者 応用情報技術者試験【AP】合格をめざす方。

前提知識 基本情報技術者試験【FE】に合格しているか、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事していること。

内 容 1. 模擬試験（iTECまたはTAC模擬試験を使用）
2. 解答&解説

受講料 ¥45,100

eラーニング コースコード SJE304

<eラーニング> 集中演習 応用情報技術者試験【AP】

135時間

eラーニングを使用し、応用情報技術者試験【AP】の合格に必要な知識を学習します。
※このコースでご紹介している時間数は、動画コンテンツ264分と自己学習時間を合わせた推奨時間です。

到達目標 ・高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能を持ち、高度IT人材としての方向性を確立できる。
・応用情報技術者試験【AP】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 応用情報技術者試験【AP】合格をめざす方。

前提知識 基本情報技術者試験【FE】に合格しているか、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事していること。

内 容 1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥18,700

情報処理技術者試験対策

eラーニング / コースコード SJE317

eラーニング 70時間

<eラーニング>
集中演習
情報セキュリティマネジメント試験【SG】

eラーニングを使用し、情報セキュリティマネジメント試験【SG】の合格に必要な知識を学習します。
※このコースでご紹介している時間数は、動画コンテンツ186分と自己学習時間を合わせた推奨時間です。

到達目標
・高度IT人材となるために必要な基本知識/技能を持ち、実践的な活用能力を身につけることができる。
・情報セキュリティマネジメント試験【SG】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 情報セキュリティマネジメント試験【SG】の合格をめざす方。

前提知識 ITパスポート試験【IP】に合格しているか、同等の知識/技術があること。

内　容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥12,100

オンライン / コースコード SJV108

レクチャ 3日間

情報処理安全確保支援士試験【SC】対策講座
（合格に必要な知識と解答力を養う）
【バーチャル・クラスルーム】

情報処理安全確保支援士試験【SC】合格に向けて、必要な知識や解答方法を問題演習を中心として学習します。

到達目標 情報処理安全確保支援士試験【SC】に出題される重点テーマの知識から記述問題攻略法を知ることができる。

対象者 情報処理安全確保支援士試験【SC】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはセキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内　容
1. 午前Ⅱ対策・演習
　(1)セキュリティについての基本知識の確認
2. 午後Ⅰ、午後Ⅱ対策・演習
　(1)情報セキュリティシステムの企画/開発/運用/保守に関すること
　(2)情報セキュリティの運用に関すること
　(3)情報セキュリティ技術に関すること
　(4)情報セキュリティ関連の法的要求事項に関すること

受講料 ¥135,300

オンライン / コースコード SJV109

レクチャ 1日間

情報処理安全確保支援士試験【SC】対策講座
（試験直前に模擬試験で得点をUPする）
【バーチャル・クラスルーム】

模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達に向けて学習します。

到達目標
・試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認できる。
・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用できる。

対象者 情報処理安全確保支援士試験【SC】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはセキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内　容
1. 模擬試験（iTECまたはTAC模擬試験を使用）
2. 解答&解説
3. 本試験での注意事項、およびアドバイス

受講料 ¥47,300

---

eラーニング / コースコード SJE312

eラーニング 150時間

<eラーニング>
集中演習
情報処理安全確保支援士試験【SC】

eラーニングを使用し、情報処理安全確保支援士試験【SC】の合格に必要な知識を学習します。
※このコースでご紹介している時間数は、動画コンテンツ282分と自己学習時間を合わせた推奨時間です。

到達目標
・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報セキュリティ技術の専門家として情報セキュリティ管理を支援できる。
・情報処理安全確保支援士試験【SC】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 情報処理安全確保支援士試験【SC】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはセキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内　容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥18,700

オンライン / コースコード SJV110

レクチャ 3日間

ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座
（合格に必要な知識と解答力を養う）
【バーチャル・クラスルーム】

ネットワークスペシャリスト試験【NW】合格に向けて、必要な知識や解答方法を問題演習を中心として学習します。

到達目標 ネットワークスペシャリスト試験【NW】に出題される重点テーマの知識から記述問題攻略法を知ることができる。

対象者 ネットワークスペシャリスト試験【NW】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはネットワークシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内　容
1. 午前Ⅱ対策・演習
　(1)ネットワークについての基本知識の確認
2. 午後Ⅰ、午後Ⅱ対策・演習
　(1)ネットワークシステムの設計、構築に関すること
　(2)ネットワークの技術、運用、保守に関すること
　(3)ネットワークサービスに関すること

受講料 ¥135,300

オンライン / コースコード SJV111

レクチャ 1日間

ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座
（試験直前に模擬試験で得点をUPする）
【バーチャル・クラスルーム】

模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達に向けて学習します。

到達目標
・試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認できる。
・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用できる。

対象者 ネットワークスペシャリスト試験【NW】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはネットワークシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内　容
1. 模擬試験（iTECまたはTAC模擬試験を使用）
2. 解答&解説
3. 本試験での注意事項、およびアドバイス

受講料 ¥47,300

---

eラーニング / コースコード SJE308

eラーニング 135時間

<eラーニング>
集中演習
ネットワークスペシャリスト試験【NW】

eラーニングを使用し、ネットワークスペシャリスト試験【NW】の合格に必要な知識を学習します。
※このコースでご紹介している時間数は、動画コンテンツ449分と自己学習時間を合わせた推奨時間です。

到達目標
・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、ネットワーク技術の専門家として、情報システムへの技術支援を行うことができる。
・ネットワークスペシャリスト試験【NW】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 ネットワークスペシャリスト試験【NW】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはネットワークシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内　容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥18,700

オンライン / コースコード SJV112

レクチャ 1日間

高度試験受験者向け 論文の書き方
―問題文の読み方から論文構成方法まで―
【バーチャル・クラスルーム】

講師による面談を踏まえながら論述をするために必要な基盤（テーマ、論述内容）を学習します。
講義終了後、実際に論文を1本書き、提出いただきます。後日返却される講師による添削結果を確認し、合格論文を書くためのポイントを確認できます。

到達目標
・各試験区分において、求められるスキルを説明できる。
・問題文の読み方から論文を構成できる。
・各設問において、論述する内容を明確にできる。

対象者 高度試験の午後Ⅱ（論述式）の基盤作りをしたい方。

前提知識 情報処理技術者試験（SC/DB/NW/その他の高度）に合格しているか、または同等の知識・業務経験があること。

内　容
1. 各試験区分の求められるスキルとは
2.「論文の書き方」共通部分
3. 採点者の視点
4. 問題文の読み方と論文構成
5. 論文演習
6. 個別面談

受講料 ¥72,600

オンライン / コースコード SJV113

レクチャ 2日間

高度試験【SM】【SA】【ST】対策講座
実践！論文を書く―添削指導で合格するための論述力を養成する―【バーチャル・クラスルーム】

講師による面談を踏まえながら、合格するための論述力を学習します。講義の1日目と2日目終了後に論文を書き、提出いただきます。
1回目の添削で内容面、論文構成面を講師が添削指導いたします。2回目は1回目の添削指導に沿って書き直し、もう一度講師が添削して合格レベルに引き上げます。

到達目標
・試験区分において、求められるスキルを説明できる。
・問題文の読み方から論文を構成できる。
・各設問において、論述する内容を明確できる。
・論述することができる。

対象者 高度試験【SM】【SA】【ST】の午後Ⅱ（論述式）の論述を実践したい方。

前提知識 情報処理技術者試験（SC/DB/NW/その他の高度）に合格しているか、あるいは同等の知識・業務経験があること。また「高度試験受験者向け 論文の書き方-問題文の読み方から論文構成方法まで-」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内　容
1. 論文解答攻略のポイント解説
2. 過去問題を題材にした論文解答実践
3. 講師が個人面談指導
4. 添削
5. 1日目の論文をブラッシュアップ
6. 時間内に書き上げるためのステップ
7. 個別にて論文添削

受講料 ¥112,200

---

eラーニング / コースコード SJE305

eラーニング 180時間

<eラーニング>
集中演習
ITストラテジスト試験【ST】

eラーニングを使用し、ITストラテジスト試験【ST】の合格に必要な知識を学習します。
※このコースでご紹介している時間数は、動画コンテンツ178分と自己学習時間を合わせた推奨時間です。

到達目標
・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、企業の経営戦略に基づいて、情報システムの基本戦略を策定・提案・推進することができる。
・ITストラテジスト試験【ST】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 ITストラテジスト試験【ST】合格をめざす方。

前提知識 情報処理技術者試験（SC/DB/NW/その他の高度）に合格しているか、または同等の知識・業務経験があること。

内　容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥18,700

---

eラーニング / コースコード SJE306

eラーニング 180時間

<eラーニング>
集中演習
システムアーキテクト試験【SA】

eラーニングを使用し、システムアーキテクト試験【SA】の合格に必要な知識を学習します。
※このコースでご紹介している時間数は、動画コンテンツ137分と自己学習時間を合わせた推奨時間です。

到達目標
・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報システムの開発に必要となる要件定義・アーキテクチャ設計・開発主導を行うことができる。
・システムアーキテクト試験【SA】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 システムアーキテクト試験【SA】合格をめざす方。

前提知識 情報処理技術者試験（SC/DB/NW/その他の高度）に合格しているか、または同等の知識・業務経験があること。

内　容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥18,700

---

eラーニング / コースコード SJE310

eラーニング 180時間

<eラーニング>
集中演習
ITサービスマネージャ試験【SM】

eラーニングを使用し、ITサービスマネージャ試験【SM】の合格に必要な知識を学習します。
※このコースでご紹介している時間数は、動画コンテンツ119分と自己学習時間を合わせた推奨時間です。

到達目標
・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報システム全体について、安全性と信頼性の高いサービスの提供を行うことができる。
・ITサービスマネージャ試験【SM】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 ITサービスマネージャ試験【SM】合格をめざす方。

前提知識 情報処理技術者試験（SC/DB/NW/その他の高度）に合格しているか、または同等の知識・業務経験があること。

内　容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥18,700

情報処理
技術者試験対策

オンライン　コースコード SJV004　休講

レクチャ 3日間

データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座（合格に必要な知識と解答力を養う）【バーチャル・クラスルーム】

データベーススペシャリスト試験【DB】合格に向けて、必要な知識や解答方法を学習します。

到達目標 データベーススペシャリスト試験【DB】に出題される重点テーマの知識から記述問題攻略法を知ることができる。

対象者 データベーススペシャリスト試験【DB】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはデータベースシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内　容
1. データベースシステムの設計・構築に関すること
2. データベースシステムの運用・保守に関すること
3. データベース技術に関すること

受講料 ¥115,500

オンライン　コースコード SJV005　休講

レクチャ 1日間

データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座（試験直前に模擬試験で得点をUPする）【バーチャル・クラスルーム】

模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達にむけて学習します。

到達目標
- 試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認することができる。
- 現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用することができる。

対象者 データベーススペシャリスト試験【DB】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはデータベースシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内　容
1. 模擬試験（iTECまたはTAC模擬試験を使用）
2. 解答&解説
3. 本試験での注意事項およびアドバイス

受講料 ¥38,500

eラーニング　コースコード SJE309　休講

eラーニング 135時間

<eラーニング> 集中演習 データベーススペシャリスト試験【DB】

eラーニングを使用し、データベーススペシャリスト試験【DB】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標
- 高度IT人材として確立した専門分野を持ち、データベース技術の専門家として情報システムへの技術支援できる。
- データベーススペシャリスト試験【DB】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 データベーススペシャリスト試験【DB】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはデータベースシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内　容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥18,700

オンライン　コースコード SJV014　休講

レクチャ 2日間

高度試験【PM】【AU】対策講座 実践！論文を書く −添削指導で合格するための論述力を養成する−【バーチャル・クラスルーム】

講師による面談を踏まえながら、合格するための論述力を学習します。講義の1日目と2日目終了後に合計2本の論文を書き、提出いただきます。それぞれの論文について後日返却される講師による添削結果を確認し、合格論文を書くためのポイントを学習します。

到達目標
- 試験区分において、求められるスキルを説明できる。
- 問題文の読み方から論文を構成できる。
- 各設問において、論述する内容を明確にできる。
- 論述することができる。

対象者 高度試験【PM】【AU】の午後Ⅱ（論述式）の論述を実践したい方。

前提知識 情報処理技術者試験（SC/DB/NW/その他の高度）に合格しているか、あるいは同等の知識・業務経験があること。また「高度試験受験者向け 論文の書き方ー問題文の読み方から論文構成方法までー」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内　容
1. 論文解答攻略のポイント解説
2. 過去問題を題材にした論文解答実践
3. 講師が個人面談指導
4. 添削
5. 1日目の論文をブラッシュアップ
6. 時間内に書き上げるためのステップ
7. 個別にて論文添削

受講料 ¥99,000

eラーニング　コースコード SJE307　休講

eラーニング 180時間

<eラーニング> 集中演習 プロジェクトマネージャ試験【PM】

eラーニングを使用し、プロジェクトマネージャ試験【PM】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標
- 高度IT人材として確立した専門分野を持ち、システム開発プロジェクトの責任者として、プロジェクトを管理・運営することができる。
- プロジェクトマネージャ試験【PM】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 プロジェクトマネージャ試験【PM】合格をめざす方。

前提知識 情報処理技術者試験高度試験に合格しているか、または同等の知識・業務経験があること。

内　容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥18,700

eラーニング　コースコード SJE311　休講

eラーニング 180時間

<eラーニング> 集中演習 システム監査技術者試験【AU】

eラーニングを使用し、システム監査技術者試験【AU】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標
- 高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報システムに関するリスクおよびコントロールを総合的に点検評価し、改善を勧告することができる。
- システム監査技術者試験【AU】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 システム監査技術者試験【AU】合格をめざす方。

前提知識 情報処理技術者試験高度試験に合格しているか、または同等の知識・業務経験があること。

内　容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥18,700

マシン実習　マシンを使用しながらの研修
グループ演習　グループ演習を中心とした研修
レクチャ　座学による研修
eラーニング　インターネット接続による自己学習
自習テキスト　自習書による独習

グローバル

グローバルでビジネスを進めるうえで必要となるスキル（グローバルマインドセット、各国の動機付け要因、反発要因など）が修得できます。

テクニカルスキル

担当者クラス	主任クラス	課長クラス	部長クラス以上
PDU GBE024 eラーニング (PDU) インドビジネスの鉄則 音声有 説明文なし | 10時間			

ヒューマンスキル

担当者クラス	主任クラス	課長クラス	部長クラス以上
GBE027 eラーニング シミュレーションゲームで学ぶ異文化コミュニケーション（基礎編） 音声有 説明文有 | 2時間			
GBE028 eラーニング シミュレーションゲームで学ぶ異文化コミュニケーション（マネジメント編） 音声有 説明文有 | 2時間			

グローバルマインドセット

担当者クラス	主任クラス	課長クラス	部長クラス以上
PDU GBE010 eラーニング (PDU)グローバルビジネスの基礎−ビジネスルールと多様性−（基本セット） 音声なし 説明文有 | 4時間			
GBE025 eラーニング 多様性の理解（グローバルナビゲーター）A. アジア編 音声なし 説明文有 | 3時間			
GBE026 eラーニング 多様性の理解（グローバルナビゲーター）B. ロシア、インド、イスラム編 音声なし 説明文有 | 3時間			
GBE008 eラーニング 多様性の理解（グローバルナビゲーター）C.ヨーロッパ編 音声なし 説明文有 | 3時間			
GBE009 eラーニング 多様性の理解（グローバルナビゲーター）D.アメリカ、オセアニア編 音声なし 説明文有 | 3時間			

音声有 説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

eラーニング / コースコード GBE024

<eラーニング> (PDU)インドビジネスの鉄則 PDU

eラーニング 10時間

インドは近年、その人口による巨大な市場と経済発展から、世界的な存在感を高めています。また一方で古くから日本との交流があり、近年でも各分野において経済提携が進んでいます。しかし、ビジネスを交流させるに至るまでの理解に至っていない場合も多く見ることができます。このコースではインドにビジネス進出をするために必要な考え方(歴史・文化・宗教等)について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標
- インドにおいてビジネスを展開する場合に必要な、文化的背景や歴史、現在のインド事情について説明できる。
- インドへ進出してビジネスを成功させるにおいて必要なポイントについて理解を深める。
- インド人との交渉の方法、インド人の考え方、などについて日本人が誤解しがちな注意点に言及し、インドビジネスを成功に導く戦略的思考を理解できる。

対象者 インドとのビジネスに現在および将来関わる方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. インドの紹介、歴史
2. インドの各地域の文化とビジネスの関係
3. インドの宗教とビジネスの関係
4. インドの優秀な人材を作る、教育制度
5. 日印関係
6. インドの国際関係
7. 実際の手順とケーススタディ

受講料 ¥33,000

eラーニング / コースコード GBE027

<eラーニング> シミュレーションゲームで学ぶ 異文化コミュニケーション(基礎編)

eラーニング 2時間

このコースは、外国籍社員もしくは海外の方など異なる文化的背景を持つ方と仕事をする際に起こる異文化コミュニケーションシチュエーションを仮想的に体験するゲームです。あなたは主人公になってストーリーに沿ってロールプレーし、選択の場面が出てきた際、選択肢を選んでください。あなたの選択によってストーリー展開が変わっていきます。異文化コミュニケーションを疑似体験することによって、異文化の中でよく遭遇する「違い」について理解し、対処法を学ぶことができます。

到達目標
- ゲームによる疑似体験をを通して学習することにより、異文化コミュニケーションスキルを、より実践的に、楽しく学習することができる。
- ゲームの中の外国籍の方々のコメントから、現実ではなかなか遭遇することができない本音も知ることができ、より深く相手の考え方を理解することができる。
- 単なる国籍による違いだけでなく、世代・性別・宗教などの違いへの対応についても、学ぶことができ、日本人同士でのコミュニケーション力向上もはかることができる。

対象者 外国籍社員、または海外の方など自分と異なる文化的背景(国籍・世代・性別など)を持つ方と仕事をしている方、もしくは将来その予定がある方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 異文化理解・異文化コミュニケーション
   (1)『違い』の意味
   (2)『異文化適応のUカーブ』
   (3)外国人と話すコツおよび非言語コミュニケーション など
2. 異文化マネジメント(役割・キャリア・フィードバック・モチベーションなど)

受講料 ¥24,200

eラーニング / コースコード GBE028

<eラーニング> シミュレーションゲームで学ぶ 異文化コミュニケーション(マネジメント編)

eラーニング 2時間

このコースは、外国籍社員もしくは海外の方など異なる文化的背景を持つ方と仕事をする際に起こる異文化コミュニケーションシチュエーションを仮想的に体験するゲームです。あなたは主人公になってストーリーに沿ってロールプレーし、選択の場面が出てきた際、選択肢を選んでください。あなたの選択によってストーリー展開が変わっていきます。異文化コミュニケーションを疑似体験することによって、多様な背景・働き方の社員とコミュニケーションを図り、マネジメントをしていく上で求められるテクニックを学ぶことができます。ジョブ型雇用と日本型組織のメンバーシップ型雇用の特長や違いを学習することができます。

到達目標
- ゲームによる疑似体験をを通して学習することにより、異文化コミュニケーションスキルを、より実践的に、楽しく学習することができる。
- ゲームの中の外国籍の方々のコメントから、現実ではなかなか遭遇することができない本音も知ることができ、より深く相手の考え方を理解することができる。
- ジョブ型雇用に関するマインドを早期整えることができる。

対象者 外国籍社員、または海外の方など自分と異なる文化的背景(国籍・世代・性別など)を持つ方をマネージしている方、もしくは将来その予定がある方。ジョブ型雇用の特長や日本組織のメンバーシップ型雇用との違いを知りたい方にもお薦めです。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 日本型組織の日常とは
2. ダイバーシティの種類
3. 組織文化とコミュニケーション
4. 多様な働き方
5. ジョブ型雇用の特長
6. 日本人とのコミュニケーションで外国人の悩む
7. ダイバーシティマネジメント
8. 変化に対応する組織

受講料 ¥24,200

eラーニング / コースコード GBE010

<eラーニング> (PDU)グローバルビジネスの基礎 -ビジネスルールと多様性-(基本セット) PDU

eラーニング 4時間

グローバル化モデルの7つの思考パターンを理解し、身につけるとともに、多様な人たちの心の構図を読み解く土台となる「文化の世界地図」、各国別の動機付け要因、反発要因に関する辞書を身につけます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：4ポイント)の取得が可能です。

到達目標
- 1990年代に起こった世界のグローバル市場化の意味合いを理解し、そこで生きていくためのルールがわかる。
- 民族のアイデンティティや文化のDNAを把握できるようになる。
- グローバル人材度のチェックを行い、今後の修得必要分野を知る。

対象者 グローバルビジネスに関わる方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. グローバル時代のモデルチェンジ
   - 新しい方程式へのコペルニクス的転換を！ -
2. グローバルマインドの設定
   世界市場で競争力を持つ7つの思考パターンを身につける
3. 文化の世界地図
   70億の多様な人たちの心の構図を読み解く
4. グローバルナビゲーター
   国別理解による事例の分析 - 心の中の世界地図に具体性を持たせる -
   (1)米国
   (2)中国
   (3)日本
5. グローバル人材度アセスメント
   30問のアセスメントでグローバル人材度をセルフチェック(解説付き)

受講料 ¥22,000

eラーニング / コースコード GBE025

<eラーニング> 多様性の理解(グローバルナビゲーター) A. アジア編

eラーニング 3時間

日本、中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイ、ミャンマーの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性-(基本セット)」eラーニングコース(コースコード：GBE010)のオプションです。

到達目標 日本、中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイ、ミャンマーの史的文化層や動機付け要因、反発要因をふまえて行動できる。

対象者 グローバルビジネスに現在または将来関わる方。

前提知識 「(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性-(基本セット)」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 日本、中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイ、ミャンマーそれぞれについての、
1. 史的文化層
2. カルチュラル・モティベータ
3. カルチュラル・ディモティベータ

受講料 ¥5,500

eラーニング / コースコード GBE026

<eラーニング> 多様性の理解(グローバルナビゲーター) B. ロシア、インド、イスラム編

eラーニング 3時間

ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビア、UAEの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性-(基本セット)」eラーニングコース(コースコード：GBE010)のオプションです。

到達目標 ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビア、UAEの史的文化層、動機付け要因、反発要因をふまえて行動できる。

対象者 グローバルビジネスに現在または将来関わる方。

前提知識 「(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性-(基本セット)」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビア、UAEそれぞれについての、
1. 史的文化層
2. カルチュラル・モティベータ
3. カルチュラル・ディモティベータ

受講料 ¥5,500

eラーニング / コースコード GBE008

<eラーニング> 多様性の理解(グローバルナビゲーター) C. ヨーロッパ編

eラーニング 3時間

ドイツ、スイス、フランス、イタリア、オーストリア、ポーランド、オランダ、スペイン、イギリスの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性-(基本セット)」eラーニングコース(コースコード：GBE010)のオプションです。

到達目標 ドイツ、スイス、フランス、イタリア、オーストリア、ポーランド、オランダ、スペイン、イギリスの史的文化層、動機付け要因、反発、要因をふまえて行動できる。

対象者 グローバルビジネスに現在または将来関わる方。

前提知識 「(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性-(基本セット)」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 ドイツ、スイス、フランス、イタリア、オーストリア、ポーランド、オランダ、スペイン、イギリスそれぞれについての、
1. 史的文化層
2. カルチュラル・モティベータ
3. カルチュラル・ディモティベータ

受講料 ¥5,500

eラーニング / コースコード GBE009

<eラーニング> 多様性の理解(グローバルナビゲーター) D. アメリカ、オセアニア編

eラーニング 3時間

カナダ、米国、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランドの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性-(基本セット)」eラーニングコース(コースコード：GBE010)のオプションです。

到達目標 カナダ、米国、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランドの史的文化層、動機付け要因、反発要因をふまえて行動できる。

対象者 グローバルビジネスに現在または将来関わる方。

前提知識 「(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性-(基本セット)」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 カナダ、米国、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランドそれぞれについての、
1. 史的文化層
2. カルチュラル・モティベータ
3. カルチュラル・ディモティベータ

受講料 ¥5,500

研修会場

東京地区

東 京（大 森）

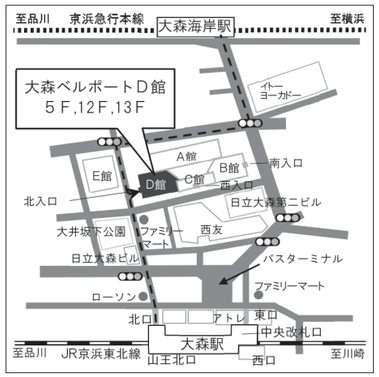
大森ベルポートD館5階・12階・13階

（株）日立アカデミー
大森キャンパス

品川区南大井6丁目26番3号（〒140-0013）
電 話（03）5471-8962
FAX（03）5471-2564

- JR京浜東北線 大森駅北口（改札を出て右）より徒歩約3分
- 京浜急行線 大森海岸駅より徒歩約5分

※当ビル西入口、または北入口、南入口よりアトリウムに入り、D館入口のエレベータにてご来場ください。
※エレベータは、7:30～9:30、12:00～13:00の時間帯は特別運転となりますので、ご入館の際にはご注意くださいますようお願いします。
■12階/13階へお越しの方 ▶D館正面入口の左側エレベータをご利用ください。
■5階へお越しの方 ▶D館正面入口の右側エレベータをご利用ください。
※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



日立地区

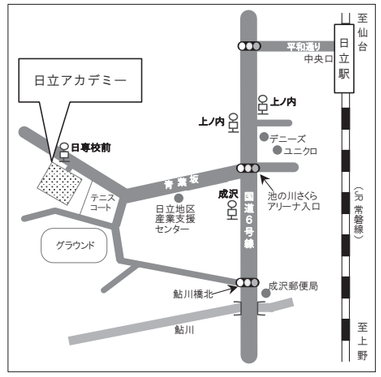
日 立

（株）日立アカデミー
日立キャンパス

日立市西成沢町2丁目17番1号（〒316-0032）
電 話（0294）28-5019
FAX（0294）28-5394

- JR常磐線 日立駅または常陸多賀駅下車
  日立電鉄バス（兎平方面行き）乗り換え、
  日専校前下車 徒歩1分
  または成沢、上ノ内下車 徒歩10分
- JR常磐線 日立駅または常陸多賀駅より
  タクシー約10分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



勝田地区

勝 田

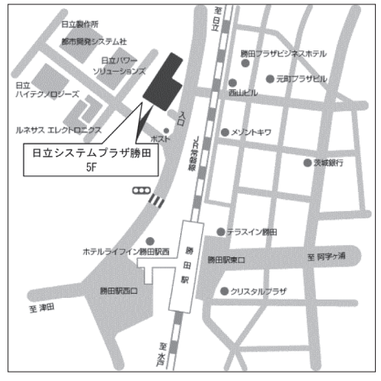
日立システムプラザ勝田5階

（株）日立アカデミー
勝田キャンパス

ひたちなか市堀口832-2（〒312-0034）
電 話（029）219-7990
FAX（029）219-7991

- JR常磐線 勝田駅から徒歩5分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



東京地区

提携コースの研修会場

※提携先により研修会場またはオンライン配信に変更になる場合がございます。その場合は、事前に当社よりご連絡いたします。

開催地区	住所・会場名
新宿（SHIFT）	〒151-0053　東京都渋谷区代々木3-22-7　新宿文化クイントビル20階 （株）SHIFT
品川 （ANAビジネスソリューション）	〒108-0074　東京都港区高輪4-10-18　京急第1ビル11階 ANAビジネスソリューション（株）
大手町 （クラウドエース）	〒100-0004　東京都千代田区大手町1-7-2　東京サンケイビル 26階 クラウドエース（株）

大阪地区

大 阪

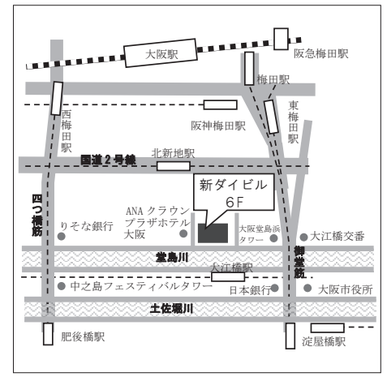
新ダイビル6階

（株）日立アカデミー
大阪キャンパス

大阪市北区堂島浜1丁目2番1号（〒530-0004）
電 話（06）4797-7360
FAX（06）4797-7361

- 京阪中之島線 大江橋駅より徒歩約2分
- 地下鉄御堂筋線/京阪本線 淀屋橋駅より徒歩約5分
- JR東西線 北新地駅より徒歩約5分
- 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より徒歩約7分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



名古屋地区

名古屋

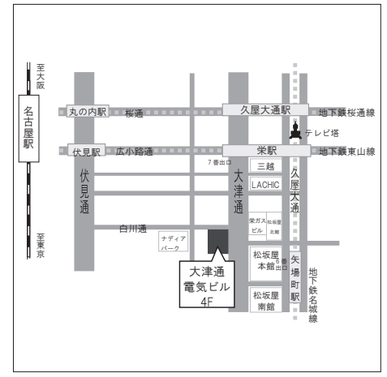
大津通電気ビル4階

（株）日立アカデミー
名古屋キャンパス

名古屋市中区栄3丁目17番12号（〒460-8435）
電 話（052）263-0051
FAX（052）261-8276

- 地下鉄名城線 矢場町駅 6番出口から西へ徒歩2分
- 地下鉄東山線 栄駅 サカエチカ7番出口から南へ
  徒歩5分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



お申込方法

日立講習会 バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）のお申し込みからご受講までの流れ

法人のお客さま

1. **概要と接続環境の確認** お申し込み前に必ずご確認ください。
2. **お申し込み** 日立講習会窓口にて受付



3. **受講案内の受取り（受講日約１週間前までにメール配信）**
お申込責任者、メールアドレス登録のご受講者へメールでお送りいたします。
4. **事前通知（接続情報）の受取り（受講日１～２営業日前 メール配信）**
お申込責任者、メールアドレス登録のご受講者へメールでお送りいたします。
5. **ご受講** 開始時間までにログインしてください。
6. **請求書の受取り（受講月月末頃お届け）** お申込責任者へ郵送いたします。(注1)
7. **お支払い（日立アカデミー口座へ）** 原則、受講月翌月末が振込期限です。

■ お問い合わせ・お申込先

地区	TEL
東京地区	03-5471-8962
大阪地区	06-4797-7360

URL https://www.hitachi-ac.co.jp/
E-Mail hiac.info-kensyu.vq@hitachi.com

個人のお客さま

（注1）個人のお客さまの場合
・お申し込み後、請求書を発行いたしますので、講習会開始日の１０営業日前までに受講料をお振込みください。
・受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセル扱いとさせていただきます。

お申し込み

●お申込責任者の方は、**(株)日立アカデミーのWebサイト**(URL >>> https://www.hitachi-ac.co.jp/)からお申し込みいただくか、または「日立講習会お申込書」をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、ご受講希望地区の上記受付窓口までメール、または日立営業経由にてお申し込みください。Webサイトをご利用できない場合は、ご受講希望地区の上記受付窓口までお問い合わせください。
なお、お申し込みの前には必ずコース内容・接続環境・バーチャル・クラスルームのサービス仕様書(上記Webサイトに掲載)および以下についてご確認ください。

■日立製品研修
・「日立製品研修受講規約」
・「電子教材利用規約」
・「株式会社日立製作所個人情報保護に関して（保護方針と要旨）」
・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」

■IT／ビジネス研修
・「IT／ビジネス研修受講規約」
・「電子教材利用規約」
・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」

上記についてお申込責任者および受講される本人が同意のうえお申し込みください。
●お申し込みは、原則として講習会開始日の10営業日前までにお願いいたします。
●お申し込みの受付は、先着順にしておりますので、定員になり次第締め切らせていただきます。
●ご希望の講習会が最少開催人数に達しない場合には、やむを得ず中止にさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
●ご受講にあたって、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となりますので、ご了承ください。

受講料お支払い

●法人のお客さまの場合は、原則として受講月の月末締めで、請求書をお申込責任者の方にお送りいたします。請求書に記載のお振込み口座、期限（原則、受講月の翌月末）までにお振込みください。
●個人のお客さまの場合は、お申し込み後、請求書を発行いたします。講習会開始日の10営業日前までに請求書に記載の口座にお振込みください。受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセルとさせていただくことがございます。
●お振込手数料は、お客さまのご負担でお願いいたします。

振込先銀行：三菱 UFJ 銀行　大森駅前支店
普通預金口座　口座番号　1105485
口座名称　（株）日立アカデミー（カ）ヒタチアカデミー

※日立製品研修は(株)日立製作所が提供する研修サービスです。
(株)日立アカデミーは(株)日立製作所からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修の申込み受付、請求書発行および受講料の受領については(株)日立製作所の代理人として対応します。

ご受講にあたって

●お申し込み受付後、「日立講習会受講ご案内」(以下、「受講案内」といいます。)を、お申込責任者および受講者へメールでお送りいたします。
●「受講案内」には、開催日時等を記載しておりますので、内容を必ずご確認ください。
●「受講案内」は、講習会開始日の1週間前までにメール配信いたします。配信が確認できない場合は、お申し込みの受付窓口までお問い合わせください。
●「受講案内」配信後に諸事情により講習会の開催を中止させていただく場合がありますので、あらかじめご承知おきください。
●「講習会開始日1～2営業日前にご受講者へWebexログイン情報（接続先URL、ユーザID、パスワード、セッション番号）と電子教材情報（接続先URL、ユーザID、パスワード）をメールにてご通知いたします。お申込責任者様にも写しとして同様の情報をメールにてお送りいたします。
●Webexへの接続は開始時刻20分前から接続可能です。
開始時刻10分前までにマイク / スピーカの動作確認を完了してください。
音声が聞こえない場合、質問はチャットで受付いたします。
●電子教材は講習会で使用するテキストです。受講前までにメールでお知らせしたユーザID、パスワードでログインしてください。
●受講者が本サービスを受けるために要す通信料金、環境の設定費用やその他費用は、受講者の負担とします。利用環境の設定については、受講者の責任において実施していただくものとします。
インターネットを含むネットワークの過負荷など様々な影響により、映像や音声が乱れる場合がございます。このような事態に対応するために、研修（投影資料、音声）を録画いたします。お申込み時点で、録画・録音に承諾いただいたものとみなします。

変更・キャンセル

●ご都合により、受講者・受講日を変更、もしくはキャンセルされる場合は「日立講習会変更／キャンセル連絡票」をWebサイトからダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、講習会開始日の10営業日前までに、お申し込みの受付窓口までメールにてご連絡ください。

＜キャンセル規定＞

学習形態	受講者、受講日変更およびキャンセル締切日
バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）	講習会開始日の10営業日前

●変更・キャンセル締切日を過ぎての申請はお受けいたしかねます。ご受講いただけない場合でも受講料を全額請求させていただきます。既に受講料をお支払いいただいている場合は、受講料は返金いたしません。別日程での受講をご希望の方は、改めて新規にお申し込みください。
また、下記コースは個別に変更・キャンセル締切日を設定しております。詳細はWebサイトのコース詳細ページの備考に明記しておりますのでご確認ください。
・事前課題／事前学習ありコース
・提携先提供コース
・COBOLプログラミング研修

講習会開催時間

●Webサイトのコース詳細ページの備考欄に開催時間をご案内しています。正式には、ご受講前にメールでお送りいたします「受講案内」をご確認ください。
●講習会の進捗により終了時間が予定時刻を超える場合があります。あらかじめご了承ください。

日立講習会 集合研修のお申し込みからご受講までの流れ

法人のお客さま

1. **お申し込み**
日立講習会窓口にて受付



2. **受講案内の受取り（受講日約１週間前までにメール配信）**
お申込責任者、メールアドレス登録のご受講者へメールでお送りいたします。
3. **ご受講**
入館受付手続きはございません。直接会場にお入りください。
4. **請求書の受取り（受講月月末頃お届け）** (注1)
お申込責任者へ郵送いたします。
5. **お支払い（日立アカデミー口座へ）**
原則、受講月翌月末が振込期限です。

■ お問い合わせ・お申込先

地区	TEL
東京地区	03-5471-8962
大阪地区	06-4797-7360

URL https://www.hitachi-ac.co.jp/
E-Mail hiac.info-kensyu.vq@hitachi.com

個人のお客さま

（注1）個人のお客さまの場合
・お申し込み後、請求書を発行いたしますので、講習会開始日の１０営業日前までに受講料をお振込みください。
・受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセル扱いとさせていただきます。

お申し込み

●お申込責任者の方は、**(株)日立アカデミーのWebサイト**(URL >>> https://www.hitachi-ac.co.jp/)からお申し込みいただくか、または「日立講習会お申込書」をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、ご受講希望地区の上記受付窓口までメール、または日立営業経由にてお申し込みください。Webサイトをご利用できない場合は、ご受講希望地区の上記受付窓口までお問い合わせください。
なお、お申し込みの前には必ずコース内容および以下についてご確認ください。

■日立製品研修
・「日立製品研修受講規約」
・「電子教材利用規約」
・「株式会社日立製作所個人情報保護に関して（保護方針と要旨）」
・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」

■IT／ビジネス研修
・「IT／ビジネス研修受講規約」
・「電子教材利用規約」
・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」

上記についてお申込責任者および受講される本人が同意のうえお申し込みください。
●お申し込みは、原則として講習会開始日の10営業日前までにお願いいたします。
●お申し込みの受付は、先着順にしておりますので、定員になり次第締め切らせていただきます。
●ご希望の講習会が最少開催人数に達しない場合には、やむを得ず中止にさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
●ご受講にあたって、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となりますので、ご了承ください。

受講料お支払い

●法人のお客さまの場合は、原則として受講月の月末締めで、請求書をお申込責任者の方にお送りいたします。請求書に記載のお振込み口座、期限（原則、受講月の翌月末）までにお振込みください。
●個人のお客さまの場合は、お申し込み後、請求書を発行いたします。講習会開始日の10営業日前までに請求書に記載の口座にお振込みください。受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセルとさせていただくことがございます。
●お振込手数料は、お客さまのご負担でお願いいたします。

振込先銀行：三菱 UFJ 銀行　大森駅前支店
普通預金口座　口座番号　1105485
口座名称　（株）日立アカデミー（カ）ヒタチアカデミー

※日立製品研修は(株)日立製作所が提供する研修サービスです。
(株)日立アカデミーは(株)日立製作所からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修の申込み受付、請求書発行および受講料の受領については(株)日立製作所の代理人として対応します。

ご受講にあたって

●お申し込み受付後、「日立講習会受講ご案内」(以下、「受講案内」といいます。)を、お申込責任者および受講者へメールでお送りいたします。
●「受講案内」には、お申込地区の地図や会場（研修室）、開催時間等を記載しておりますので、内容を必ずご確認ください。
●「受講案内」を講習会開始日の1週間前までにメール配信いたします。配信が確認できない場合は、お申し込みの受付窓口までお問い合わせください。
●「受講案内」配信後に諸事情により講習会の開催を中止させていただく場合がありますので、あらかじめご承知おきください。
●講習会で使用するテキスト教材等は、当日会場にてお渡ししております。事前のお渡しは行っておりません。
●駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。
●お電話でのお取り次ぎはできませんので、あらかじめご了承ください。また、ご受講中に研修室内での携帯電話等の使用は、他のお客さまへのご迷惑となりますので、ご遠慮いただいております。
●研修会場内での撮影または録音は、禁止させていただきます。
●あらかじめ体調をご確認のうえ、講習会にご参加いただくようお願いいたします。インフルエンザなどの感染が懸念される場合は参加をお控えくださいますようお願いいたします。

変更・キャンセル

●ご都合により、受講者・受講日を変更、もしくはキャンセルされる場合は「日立講習会変更／キャンセル連絡票」をWebサイトからダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、講習会開始日の10営業日前までに、お申し込みの受付窓口までメールにてご連絡ください。

＜キャンセル規定＞

学習形態	受講者、受講日変更およびキャンセル締切日
集合研修	講習会開始日の10営業日前

●変更・キャンセル締切日を過ぎての申請はお受けいたしかねます。ご受講いただけない場合でも受講料を全額請求させていただきます。既に受講料をお支払いいただいている場合は、受講料は返金いたしません。別日程での受講をご希望の方は、改めて新規にお申し込みください。
また、下記コースは個別に変更・キャンセル締切日を設定しております。詳細はWebサイトのコース詳細ページの備考に明記しておりますのでご確認ください。
・事前課題／事前学習ありコース
・提携先提供コース
・COBOLプログラミング研修

講習会開催時間

●Webサイトのコース詳細ページの備考欄に開催時間をご案内しています。正式には、ご受講前にメールでお送りいたします「受講案内」をご確認ください。
●講習会の進捗により終了時間が予定時刻を超える場合があります。あらかじめご了承ください。

日立講習会 e ラーニングのお申し込みからご受講までの流れ

法人のお客さま

1. **動作環境確認とサービス仕様書のご承諾**
   お申し込み前に必ずご確認ください。
2. **お申し込み**
   日立講習会窓口にて受付
3. **受講案内の受取り（講習会開始日当日までにメール配信）**(注1)
   お申込責任者、ご受講者にメールでログイン情報（ユーザID/パスワード）をお送りいたします。
4. **ご受講**
   講習会開始日当日からご利用いただけます。
   お申し込み責任者の方は、受講者の受講状況や学習理解度を随時確認できます。
5. **請求書の受取り（講習会開始月月末頃お届け）**(注2)
   お申込責任者へ郵送いたします。
6. **お支払い（日立アカデミー口座へ）**
   原則、講習会開始月翌月末が振込期限です。

■ お問い合わせ・お申込先

TEL	03-5471-8962
URL	https://www.hitachi-ac.co.jp/
E-Mail	hiac.info-kensyu.vq@hitachi.com

（注1）以下提携コースeラーニングは、お申込責任者への「ユーザID」と「パスワード」の通知はありません。
また、進捗状況を確認できません。あらかじめご了承ください。
・アイテック社　情報処理技術者試験対策　eラーニング
・SBI大学院　eラーニング
・ライトワークス社　Microsoft Officeシリーズ　eラーニング
・STANDARD社　eラーニング
・プラーナー社　eラーニング
・Study-AI社　E資格　eラーニング
・ITプレナーズ社　ITIL®4ファンデーション　eラーニング
・Aidemy社　eラーニング

個人のお客さま

（注2）個人のお客さまの場合
・お申し込み後、請求書を発行いたしますので、講習会開始日の10営業日前までに受講料をお振込みください。
・受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセル扱いとさせていただきます。

お申し込み

●お申込責任者の方は、(株)日立アカデミーのWebサイト(URL >>> https://www.hitachi-ac.co.jp/)からお申し込みいただくか、または「日立講習会お申込書」をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、上記のお申込先までメール、または日立営業経由にてお申し込みください。
なお、お申し込みの前には必ずコース内容、動作環境、eラーニングサービス仕様書（上記Webサイトに掲載）、および以下についてご確認ください。
■日立製品研修
・「日立製品研修受講規約」
・「電子教材利用規約」
・「株式会社日立製作所個人情報保護に関して（保護方針と要旨）」
・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」
■IT／ビジネス研修
・「IT／ビジネス研修受講規約」
・「電子教材利用規約」
・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」
上記についてお申込責任者および受講される本人が同意のうえお申し込みください。
動作環境はコースによって異なりますので、上記Webサイトから各コースの動作環境をご確認ください。
●お申し込みは、原則として講習会開始日の10営業日前までにお願いいたします（個人申し込みの場合は、15営業日前まで）。一部のコースにおきましては、人数制限がありますので定員になり次第締め切らせていただきます。
●ご受講にあたって、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となりますので、ご了承ください。

受講料お支払い

●法人のお客さまの場合は、原則として講習会開始月の月末締めで、請求書をお申込責任者の方にお送りいたします。請求書に記載のお振込み口座、期限（原則、講習会開始月の翌月末）までにお振込みください。
●個人のお客さまの場合は、お申し込み後、請求書を発行いたします。講習会開始日の10営業日前までに請求書に記載の口座にお振込みください。受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセルとさせていただくことがございます。
●お振込手数料は、お客さまのご負担でお願いいたします。
●ご入金の確認ができなかった場合、やむを得ずご利用を停止させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
●eラーニングの中止・変更等、(株)日立製作所および(株)日立アカデミーの責に帰すべき場合は、お振込みいただいた受講料を返金いたします。

振込先銀行：三菱 UFJ 銀行　大森駅前支店
普通預金口座　口座番号　1105485
口座名称　（株）日立アカデミー（カ）（ヒタチアカデミー）

※日立製品研修は(株)日立製作所が提供する研修サービスです。
(株)日立アカデミーは(株)日立製作所からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修の申込み受付、請求書発行および受講料の受領については(株)日立製作所の代理人として対応します。

ご受講にあたって

●お申し込み受付後、講習会開始日の当日までに、ご受講者とお申込責任者の方へ「ユーザ ID」と「パスワード」をメールにてご通知いたします。

送信元アドレス：notice@learningpark.jp
メールタイトル：【日立アカデミー】eラーニング利用開始のご案内
―接続情報のご連絡―
当社が提供するオリジナルeラーニング、ならびマシン演習付きeラーニングは、株式会社ライトワークスに委託し、サービスを提供します。
お申し込みいただいたコースの実施に必要となる、ご受講者とお申込責任者の個人情報（お名前、E-Mailアドレスなど）を株式会社 ライトワークスへ提供いたします。
●「ユーザ ID」と「パスワード」の通知が届かない場合は、早急に上記のお申込先までお問い合わせください。
●お申込責任者の方は、受講者の進捗状況を随時確認できます。
なお、以下提携コースeラーニングにつきましては、お申込責任者への「ユーザ ID」と「パスワード」の通知はありません。
また、進捗状況を確認できません。あらかじめご了承ください。
・アイテック社　情報処理技術者試験対策　eラーニング
・SBI大学院　eラーニング
・ライトワークス社　Microsoft Officeシリーズ　eラーニング
・STANDARD社　eラーニング
・プラーナー社　eラーニング
・Study-AI社　E資格　eラーニング
・ITプレナーズ社　ITIL®4ファンデーション　eラーニング
・Aidemy社　eラーニング
●eラーニングのご利用に際して通信に関わる費用は、お客さまのご負担でお願いいたします。
●演習用データ、テキストサンプル等のWeb教材、プラグインソフトのダウンロードは、お客さまの責任で実施するものであり、その結果生じる障害や損害はお客さまのご負担でお願いいたします。

変更・キャンセル

●ご都合により、受講者・受講日を変更、もしくはキャンセルされる場合は「日立講習会変更／キャンセル連絡票」をWebサイトからダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、講習会開始日の10営業日前までに、お申し込みの受付窓口までメールにてご連絡ください。
＜キャンセル規定＞

学習形態	受講者、受講日変更およびキャンセル締切日
eラーニング	講習会開始日の10営業日前

●変更・キャンセル締切日を過ぎての申請はお受けいたしかねます。ご受講いただけない場合でも受講料を全額請求させていただきます。既に受講料をお支払いいただいている場合は、受講料は返金いたしません。別日程での受講をご希望の方は、改めて新規にお申し込みください。
また、下記コースは個別に変更・キャンセル締切日を設定しております。詳細はWebサイトのコース詳細ページの備考に明記しておりますのでご確認ください。
・アイテック社　情報処理技術者試験対策　eラーニングコース
・【マシン演習付き】COBOL研修　eラーニングコース

基本動作環境

●eラーニングをご利用の場合には、パソコン、Web環境が必要となります。詳細につきましては、(株)日立アカデミーのWebサイトに各コースの動作環境を掲載しておりますので、お申し込みの前には必ずご確認ください。

5 受講規約

日立講習会のうち、日立製品研修（株式会社日立製作所（以下、「日立」といいます。）が発行する研修サービスガイド（以下、「日立製品研修ガイド」といいます。）の日立製品研修に指定されているコース群）は、日立が提供する研修サービスです。株式会社日立アカデミー（以下、「当社」といいます。）は日立からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修の申込み受付、請求書発行および受講料の受領については日立の代理人として対応します。日立製品研修のご受講に際しては、「株式会社日立製作所個人情報保護に関して（保護方針と要旨）」、「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」、「電子教材利用規約」、および本規約の「1日立製品研修受講規約」をご了承のうえ、お申し込みください。

日立講習会のうち、IT／ビジネス研修（当社が発行する研修サービスガイド（以下、「IT／ビジネス研修ガイド」といいます。）のIT／ビジネス研修に指定されているコース群）は、当社が提供する研修サービスです。IT／ビジネス研修のご受講に際しては、「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」、「電子教材利用規約」、および本規約のうち「2IT／ビジネス研修受講規約」をご了承のうえ、お申し込みください。

1 日立製品研修受講規約

1－1　日立製品研修

日立製品研修は、日立が指定する研修施設・設備を利用して開催する集合研修、バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）およびeラーニング等の総称であり、日立製品研修ガイドに記載されたもの、またはその他日立が指定するものに限られます。ただし、日立は、これらを予告なしに追加、変更または廃止することがあります。バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）とは、Web会議の仕組み等を用い、パソコンやスマートデバイス等を通じて、当社が指定する研修会場へ集合せずに受講できる研修をさします。

1－2　お申し込み・開催延期／中止

日立製品研修の受講お申し込みについては日立製品研修ガイド「お申込方法」に定めるとおりとしますので、ご参照ください。日立製品研修は日立製品研修ガイド「開催スケジュール」に記載されている日程で開催されますが、日立がこの日程で都合のつかない場合には「日立講習会受講ご案内」（受講案内）に記載する別の日程で開催するものとします。日立はお申し込み済のお客さまに対して少なくとも5営業日前の予告をもって日立製品研修の開催を延期または中止をする権利を留保します。

1－3　受講料・消費税

日立製品研修ガイドに記載されている受講料は、少なくとも開始日の10営業日前までに書面（電子メールを含みます。）による通知で変更される場合があります。日立製品研修の受講料は開始日における日立所定の受講料が適用されます。お客さまのお申し込みを当社がお受けした後に、受講料が変更され新受講料が発効される場合は、お客さまが当該お申し込みを、少なくとも開始日の5営業日前に書面により取り消さない限り、新受講料が適用されます。受講料には日立製品研修で使用する教材の代金およびご利用機械使用料を含みますが、ご受講者の交通費および宿泊費（宿泊費が受講料に含まれるコースを除きます。）は含みません。日立製品研修の受講料に課せられる消費税等の租税公課は、お客さまのご負担とします。なお、消費税率等が変更になった場合は、日立製品研修の開始日時点の新税率を適用した金額となります。

1－4　受講料のお支払いおよび返金

受講料につきましては法人のお客さまは日立製品研修ご受講後のお支払い（後払い）、個人のお客さまはご受講前のお支払い（前払い）になります。日立製品研修の受講料は、お客さまが当社からの請求書を受領後、お振込指定期日までにお支払いいただくこととします。前払いのお客さまでお振込指定期日までにご入金の確認ができなかった場合は、ご受講できないことがあります。お振込手数料は、お客さまのご負担とします。日立製品研修が、日立の責に帰すべき事由での中止や提供できなかった場合で、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合には、お振込みいただいた受講料を返金いたします。バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）においては、研修当日にお客さまのネットワーク環境など不具合に起因し学習できなかった場合は、録画・録音した学習内容を提供することで研修サービスを提供したこととし、受講料を請求いたします。

1－5　キャンセル料

キャンセル料発生日前日までにご受講お申し込みのキャンセルお申し出があった場合は、キャンセル料は発生いたしません。また、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合は、お支払いいただいている受講料からお振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。キャンセル料発生日以降にキャンセルのお申し出があった場合はキャンセル料が発生いたします。前払いの場合はお支払いいただいた受講料は返金いたしません。また、後払いの場合は受講料全額を請求いたします。
キャンセル料発生日はお申し込みいただいたコースによって異なりますので、詳しくは「5. お申込方法」の「変更・キャンセル」の項をご覧ください。

1－6　責任の制限

日立は、日立製品研修ガイドに記載された範囲（講座の内容等）で日立製品研修に関するテキスト教材、eラーニングコンテンツ等（以下、「日立製品研修教材等」といいます。）の更新と提供を行います。ただし、日立は、これらのサービスの有用性、目的適合性、正確性その他一切の結果を保証するものではありません。また、日立製品研修教材等もしくは日立製品研修における質疑応答の内容を合理的範囲で正確性を保つように努力するものとしますが、すべての誤りが訂正されることを保証するものではありません。また、日立はサービスを提供するにあたり、インターネット、データセンター、クラウドサービス等を利用しています。日立は、商慣習において合理的な努力を払って本サービスを提供しており、日立および当社の責に帰すことができない事由によるサービス提供の停止については、損害賠償その他いかなる責任も負わないものとします。

1－7　著作権・その他知的財産権

日立が日立製品研修で提供または使用を許諾する文書・印刷物・ソフトウェア・Webサイト・コンテンツ等（以下「日立製品研修提供資料等」といいます。）の著作権またはその他知的財産権は、すべて日立または当社、または日立がテキスト教材、eラーニングコンテンツ、日立製品研修ガイドに記載する第三者に帰属しております。これらは受講者ご本人の学習のためにご利用いただけますが、その範囲を超えるいかなる形態においても日立製品研修提供資料等の全部、または一部について転載および複製並びに改変を行ってはならず、また日立製品研修提供資料等を第三者へ開示または提供（貸与や使用許諾を含みます）もしくは譲渡してはならないものとします。

1－8　損害賠償

日立製品研修に関してお客さまが被った損害に対する日立の損害賠償責任は、債務不履行、法律上の瑕疵担保責任、不当利得、不法行為、その他請求原因・訴訟形態のいかんにかかわらず、お客さまに当該日立製品研修の受講料としてお支払いいただいた金額を限度とします。日立は、いかなる場合にも逸失利益、無体物に生じた損害、第三者からお客さまに対してなされた損害賠償請求に基づく損害、特別損害等について、一切責任を負わないものとします。なお、日立は、当該損害賠償責任に代えて、日立が合理的と判断した日立製品研修の再提供を行うことができるものとします。

1－9　暴力団等の排除

日立は、お客さままたはその関係者が次の各号のいずれか一つに該当したときは、お客さまへ何ら催告することなく、直ちに本契約を解除することができるものとします。
①日立および講師等の指示に従わないとき、または他の受講者に迷惑になるような行為、言動を行ったとき。
②公序良俗に違反、または犯罪に結びつくおそれのある言動を行ったとき。
③日立または日立の利害関係者へ誹謗中傷をしたと認められる事実があるとき。
④暴力団員、準構成員、暴力団関係企業、特殊知能暴力団その他これに準じる者、またはこれらの者と密接なかかわりを持つ者であることが判明したとき。
⑤自ら、または第三者を利用して、暴力的な要求行為、法的責任を超える不当な要求行為、詐欺・脅迫行為、業務妨害行為その他これに準じる行為を行ったとき。
⑥その他、お客さまが日立製品研修を利用することについて不適切と日立が判断した場合。

1－10　受講規約の変更

日立は、本規約その他の日立製品研修に関するお客さまと日立との契約を必要に応じて変更できるものとし、お客さまへの通知をもって変更の効力が適用されることとします。また、日立は、本規約に別に定める場合を除き、日立製品研修ガイドを予告なしに変更できるものとします。

1－11　その他

・当事者の一方に、本規約その他の日立製品研修に関するお客さまと日立との契約上の不履行がある場合には、書面による通知により日立製品研修のお申し込みを取り消すことができるものとします。
・日立は、日立製品研修の受講により、お客さまが特定の知識や技術等を修得されることを保証するものではありません。また、日立製品研修がお客さま保有の特定の目的に対し、適合・有益・最適等であることを保証するものではありません。これらはお客さまの責任で決定いただきたくお願いいたします。
・本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。また、本製品とは、研修で取り扱った知識・技術、スキル、テキスト教材および相当資料、eラーニングコンテンツとします。なお、ご不明な場合は日立担当営業にお問い合わせください。
・日立製品研修ガイドに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

2 IT／ビジネス研修受講規約

2－1　IT／ビジネス研修

IT／ビジネス研修は、当社が指定する研修施設・設備を利用して開催する集合研修、バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）およびeラーニング等の総称であり、IT／ビジネス研修ガイドに記載されたもの、またはその他当社が指定するものに限られます。ただし、当社は、これらを予告なしに追加、変更または廃止することがあります。バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）とは、Web会議の仕組み等を用い、パソコンやスマートデバイス等を通じて、当社が指定する研修会場へ集合せずに受講できる研修をさします。

2－2　お申し込み・開催延期／中止

IT／ビジネス研修の受講お申し込みについてはIT／ビジネス研修ガイド「お申込方法」に定めるとおりとしますので、ご参照ください。IT／ビジネス研修はIT／ビジネス研修ガイド「開催スケジュール」に記載されている日程で開催されますが、当社がこの日程で都合のつかない場合には「日立講習会受講ご案内」（受講案内）に記載する別の日程で開催するものとします。当社はお申し込み済のお客さまに対して少なくとも5営業日前の予告をもってIT／ビジネス研修の開催を延期または中止をする権利を留保します。

2－3　受講料・消費税

IT／ビジネス研修ガイドに記載されている受講料は、少なくとも開始日の10営業日前までに書面（電子メールを含みます。）による通知で変更される場合があります。IT／ビジネス研修の受講料は開始日における当社所定の受講料が適用されます。お客さまのお申し込みを当社がお受けした後に、受講料が変更され新受講料が発効される場合は、お客さまが当該お申し込みを、少なくとも開始日の5営業日前に書面により取り消さない限り、新受講料が適用されます。受講料にはIT／ビジネス研修で使用する教材の代金およびご利用機械使用料を含みますが、ご受講者の交通費および宿泊費（宿泊費が受講料に含まれるコースを除きます。）は含みません。IT／ビジネス研修の受講料に課せられる消費税等の租税公課は、お客さまのご負担とします。なお、消費税率等が変更になった場合は、IT／ビジネス研修の開始日時点の新税率を適用した金額となります。

2－4　受講料のお支払いおよび返金

受講料につきましては法人のお客さまはIT／ビジネス研修ご受講後のお支払い（後払い）、個人のお客さまはご受講前のお支払い（前払い）になります。IT／ビジネス研修の受講料は、お客さまが当社からの請求書を受領後、お振込指定期日までにお支払いいただくこととします。前払いのお客さまでお振込指定期日までにご入金の確認ができなかった場合は、ご受講できないことがあります。お振込手数料は、お客さまのご負担とします。IT／ビジネス研修が、当社の責に帰すべき事由での中止や提供できなかった場合で、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合には、お振込みいただいた受講料を返金いたします。バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）においては、研修当日にお客さまのネットワーク環境など不具合に起因し学習できなかった場合は、録画・録音した学習内容を提供することで研修サービスを提供したこととし、受講料を請求いたします。

2－5　キャンセル料

キャンセル料発生日前日までにご受講お申し込みのキャンセルお申し出があった場合は、キャンセル料は発生いたしません。また、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合は、お支払いいただいている受講料からお振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。キャンセル料発生日以降にキャンセルのお申し出があった場合はキャンセル料が発生いたします。前払いの場合はお支払いいただいた受講料は返金いたしません。また、後払いの場合は受講料全額を請求いたします。
キャンセル料発生日はお申し込みいただいたコースによって異なりますので、詳しくは「5. お申込方法」の「変更・キャンセル」の項をご覧ください。

2－6　責任の制限

当社は、IT／ビジネス研修ガイドに記載された範囲（講座の内容等）でIT／ビジネス研修に関するテキスト教材、eラーニングコンテンツ等（以下、「IT／ビジネス研修教材等」といいます。）の更新と提供を行います。ただし、当社は、これらのサービスの有用性、目的適合性、正確性その他一切の結果を保証するものではありません。また、IT／ビジネス研修教材等もしくはIT／ビジネス研修における質疑応答の内容を合理的範囲で正確性を保つように努力するものとしますが、すべての誤りが訂正されることを保証するものではありません。また、当社はサービスを提供するにあたり、インターネット、データセンター、クラウドサービス等を利用しています。当社は、商慣習において合理的な努力を払って本サービスを提供しており、当社の責に帰すことができない事由によるサービス提供の停止については、損害賠償その他いかなる責任も負わないものとします。

2－7　著作権・その他知的財産権

当社がIT／ビジネス研修で提供または使用を許諾する文書・印刷物・ソフトウェア・Webサイト・コンテンツ等（以下「IT／ビジネス研修提供資料等」といいます。）の著作権またはその他知的財産権は、すべて当社、または当社がテキスト教材、eラーニングコンテンツ、IT／ビジネス研修ガイドに記載する第三者に帰属しております。これらは受講者ご本人の学習のためにご利用いただけますが、その範囲を超えるいかなる形態においてもIT／ビジネス研修提供資料等の全部、または一部について転載および複製並び改変を行ってはならず、またIT／ビジネス研修提供資料等を第三者へ開示または提供（貸与や使用許諾を含みます）もしくは譲渡してはならないものとします。

2－8　損害賠償

IT／ビジネス研修に関してお客さまが被った損害に対する当社の損害賠償責任は、債務不履行、法律上の瑕疵担保責任、不当利得、不法行為、その他請求原因・訴訟形態のいかんにかかわらず、お客さまに当該IT／ビジネス研修の受講料としてお支払いいただいた金額を限度とします。当社は、いかなる場合にも逸失利益、無体物に生じた損害、第三者からお客さまに対してなされた損害賠償請求に基づく損害、特別損害等については、一切責任を負わないものとします。なお、当社は、当該損害賠償責任に代えて、当社が合理的と判断したIT／ビジネス研修の再提供を行うことができるものとします。

2－9　暴力団等の排除

当社は、お客さまたはその関係者が次の各号のいずれか一つに該当したときは、お客さまへ何ら催告することなく、直ちに本契約を解除することができるものとします。
①当社および講師等の指示に従わないとき、または他の受講者に迷惑になるような行為、言動を行ったとき。
②公序良俗に違反、または犯罪に結びつくおそれのある言動を行ったとき。
③当社または当社の利害関係者へ誹謗中傷をしたと認められる事実があるとき。
④暴力団員、準構成員、暴力団関係企業、特殊知能暴力団その他これに準じる者、またはこれらの者と密接なかかわりを持つ者であることが判明したとき。
⑤自ら、または第三者を利用して、暴力的な要求行為、法的責任を超える不当な要求行為、詐欺・脅迫行為、業務妨害行為その他これに準じる行為を行ったとき。
⑥その他、お客さまがIT／ビジネス研修を利用することについて不適切と当社が判断した場合。

2－10　受講規約の変更

当社は、本規約その他のIT／ビジネス研修に関するお客さまと当社との契約を必要に応じて変更できるものとし、お客さまへの通知をもって変更の効力が適用されることとします。本規約に別に定める場合を除き、IT／ビジネス研修ガイドは予告なしに変更できるものとします。

2－11　その他

・当事者の一方に、本規約の不履行がある場合には、書面による通知によりIT／ビジネス研修のお申し込みを取り消すことができるものとします。
・当社は、IT／ビジネス研修の受講により、お客さまが特定の知識や技術等を修得されることを保証するものではありません。また、IT／ビジネス研修がお客さま保有の特定の目的に対し、適合・有益・最適等であることを保証するものではありません。これらはお客さまの責任で決定いただきたくお願いいたします。
・本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。また、本製品とは、研修で取り扱った知識・技術、スキル、テキスト教材および相当資料、eラーニングコンテンツとします。なお、ご不明な場合は当社担当営業にお問い合わせください。
・IT／ビジネス研修ガイドに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

電子教材利用規約

研修にお申し込みの際、電子教材および電子教材提供システムのご利用について、必ず以下の内容をお読みください。内容に同意いただいたお客さまのみ研修にお申込みいただけます。

第１条．定義

電子教材とは、当社が提供、または使用を許諾する電子資料、ソフトウェア、データなどを言います。また、当社研修において作成されたお客さまの電子資料、ソフトウェア、データなどの成果物を含みます。（以下、「電子教材」）。
また、電子教材提供システムとは、当社が電子教材を提供するシステムを言います（以下、「電子教材提供システム」）。

第２条．利用目的

お客さまからのお申込みに基づき、当社が提供または使用を許諾する電子教材は、利用目的を研修受講に関する利用に限り、それ以外の目的での販売、再配布および開発での利用を禁止します。
また、電子教材提供システムの利用目的は研修に限り、それ以外の目的での資料、ソフトウェア、データなどの参照、アップロード、ダウンロードを禁止します。

第３条．利用条件

(1)利用資格
当社が提供または使用を許諾する電子教材および電子教材提供システムは、研修をお申込みの受講者ご本人のみが利用できるものとします。

(2)利用規約への同意
利用者は、研修の申込みに当たり、電子教材および電子教材提供システムの利用においては、本規約すべての記載内容について同意し、契約したものとみなされます。また、お客さまが電子教材および電子教材提供システムを将来引き続き利用する場合は、その時点での本規約に同意しているとみなされます。

(3)利用規約の変更
当社は以下の場合に、当社の裁量により、利用規約を変更することができます。
①利用規約の変更が、利用者の一般の利益に適合するとき。
②利用規約の変更が、契約をした目的に反せず、かつ、変更の必要性、変更後の内容の相当性、変更の内容その他の変更に係る事情に照らして合理的なものであるとき。

(4)利用規約の発効
当社は前項による利用規約の変更にあたり、変更後の利用規約の効力発生日の1か月前までに、利用規約を変更する旨および変更後の利用規約の内容とその効力発生日を以下のURLの当社Webサイトに掲示し、または利用者に電子メールで通知します。
URL：https://www.hitachi-ac.co.jp/guide/flow/e-text_contract.html
変更後の利用規約の効力発生日以降に利用者が本サービスを利用したときは、利用者は、利用規約の変更に同意したものとみなします。

(5)利用の制限
当社の電子教材は、すべて当社または当社指定の第三者が著作権その他の権利を有しており、お客さまは当社の承諾なしには、いかなる形態においてもその全部もしくは一部について複製、改変、二次的著作物の作成、または第三者への再許諾、貸与、転載、公衆送信その他の利用を禁止します。

(6)情報の取り扱い
電子教材および電子教材提供システムにおける当社の個人情報の取り扱いは「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」に準じます。
電子教材提供システムには、お客さまが所属する組織、関連する他組織の機密情報を記載した資料、ソフトウェア、データなどのアップロードを禁止します。
また、電子教材提供システム上にアップロードされたお客さま個人を特定できる情報は、研修以外の目的で使用することを禁止します。
電子教材提供システムを介して知りえた他者の個人情報、他組織の情報を複製、販売、出版、公開、その他の方法で、研修以外の目的で使用することを禁止します。

第４条．損害賠償

電子教材および電子教材提供システムの利用関して、お客さまが被った損害に対する当社の損害賠償責任は、債務不履行、法律上の瑕疵担保責任、不当利得、不法行為、その他請求原因・訴訟形態の如何にかかわらず、お客さまに当該研修の受講料としてお支払いいただいた金額を限度とします。当社は、当社に故意又は重大な過失がある場合を除き、逸失利益、無体物に生じた損害、第三者からお客さまに対してなされた損害賠償請求に基づく損害、特別損害等については、損害を賠償する責任を負いません。なお、当社は、当該損害賠償責任に代えて、当社が合理的と判断した研修の再提供を行うことができるものとします。
また、電子教材および電子教材提供システムの利用に関して、お客さまが本規約に違反することにより当社または他者、他組織に損害が発生した場合は、お客さまがその損害賠償責任を負うものとし、当社は一切責任を負わないものとします。

第５条．輸出管理

お客さまは、電子教材を日本国外に持ち出す際には、日本国又は外国の輸出入規制を受ける可能性があることを理解し、お客さまの費用と責任で所定の許可の取得その他の手続を行うものとします。

第６条．利用規約の適用範囲

本規約の内容と、当社が提示する本規約以外における説明等の内容が異なる場合は、本規約の規定に優先して適用すると明示しない限り、本規約の規定が優先して適用されるものとします。

株式会社日立製作所　個人情報保護に関して（保護方針と要旨）
Privacy Notice Highlights

制定日 2005 年 4 月 1 日
改定日 2025 年 4 月 1 日
株式会社 日立製作所 代表執行役 執行役社長
徳永　俊昭

1．個人情報保護に関する当社の考え方

株式会社日立製作所（以下「当社」といいます。）は、トータルソリューションを提供できるグローバルサプライヤーとして、当社の技術情報や、お客さまからお預かりする情報をはじめ様々な情報を取扱っております。このことから、当社ではこれら情報価値を尊重するために、情報管理体制の確立とその徹底に努めて参りました。

このような経緯を踏まえ、当社における個人情報保護について、規則の制定および管理体制の確立を図ると共に、個人情報保護方針を定め、役員および従業員に周知させるとともに、一般の方が、容易に入手できる措置を講じるものとします。

そして、この方針に従い個人情報の適切な保護に努めます。

2．個人情報保護方針

(1) 個人情報管理規則の策定および個人情報保護マネジメントシステムの継続的改善

当社は、役員および従業員に個人情報保護の重要性を認識させ、個人情報を適切に利用し、保護するための個人情報管理規則を策定し、個人情報保護マネジメントシステムを着実に実施します。更に、維持し、継続的に改善します。

(2) 個人情報の収集・利用・提供および目的外利用の禁止

当社は、事業活動において、個人情報をお預かりしていることを考慮し、それぞれの業務実態に応じた個人情報保護のための管理体制を確立すると共に、個人情報の収集、利用、提供において所定の規則に従い適切に取扱います。また、目的外利用は行わない、およびそのための措置を講じます。

(3) 安全対策の実施並びに是正

当社は、個人情報の正確性および安全性を確保するため、情報セキュリティに関する諸規則に則り、個人情報へのアクセス管理、個人情報の持ち出し手段の制限、外部からの不正アクセスの防止等の対策を実施し、個人情報の漏洩、滅失またはき損の防止に努めます。
また、安全対策上の問題が確認された場合など、その原因を特定し、是正措置を講じます。

(4) 法令・規範の遵守

当社は、個人情報の取扱いに関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守します。また、当社の個人情報管理規則を、これらの法令および指針その他の規範に適合させます。

(5) 個人情報に関する本人の権利尊重

当社は、個人情報に関して本人から情報の開示、訂正もしくは削除、または利用もしくは提供の拒否を求められたとき、および苦情、相談の申し出を受けたときは、個人情報に関する本人の権利を尊重し、誠意をもって対応します。

3．プライバシーマークについて



当社は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より、個人情報の適切な取扱いを行う事業者に付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

4．適用範囲

当社が事業で取扱う全ての個人情報に関する取扱いを定めるものです。

適用範囲
https://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index2.html#scope

5．個人情報保護の取組み

当社は、「個人情報保護に関する当社の考え方」および「個人情報保護方針」に基づき、個人情報を取り扱っている部門ごとに管理責任者を設置し、個人情報について細心の注意と最大限の努力をもって、保護、管理を行っております。

この取扱い要旨において「個人情報」とは、次の各号に該当する情報のうち、ご本人さまを識別することができる情報をいうものとします。

1.「お問い合わせ入力フォーム」その他の方法で入力され、ご本人さまから当社に提供された情報
2. 前号の他、当社がご本人さまから提供を受けた情報

個人情報の定義と保護の取組み
https://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index2.html#definition

6．個人情報の取扱い方針（取得・利用目的、第三者提供）

1. 当社は、電機機械器具・情報通信機械器具・電子部品製造業および情報サービス業を主とした事業活動に関して、個人情報を各号の目的の達成に必要な範囲でのみ取得し、利用するものとします。また、ご本人さまに個人情報を提供いただく場合には事前にその使用目的を明示し、ご本人さまに同意をいただくものとします。
2. 当社は、特定の条件のものを除き、あらかじめご本人さまの事前の同意を得ないで、ご本人さまの個人情報を第三者に提供しません。
3. 当社は、当社のグループ会社と共同して事業活動を行う場合に必要となる、お名前並びに職場およびご自宅の住所、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス等のご本人さまの個人情報につき、当該グループ会社に提供することがあります。

その他詳細
https://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index2.html#purpose

7．個人情報の開示等の請求、または苦情のお申し出

当社が保有しているご本人さまの個人情報について、開示、訂正、追加、削除、利用停止、第三者提供の停止、若しくは利用目的の通知、又は第三者提供記録の開示 (以下「開示等」といいます。) を請求される場合または苦情をお申し出になる場合は、所定の手続きに則り請求をお願い致します。

詳細について
https://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index2.html#contact

8．その他重要事項

1. 安全管理のために講じた措置、外国における個人情報の保護に関する制度について
   https://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index2.html#safety
2. ご本人さまからの個人情報の提供、事前同意の取得等について
   https://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index2.html#request
3.「個人情報保護に関して」に関する連絡事項について
   https://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index2.html#note
4. ウェブサイトにおけるクッキーおよび Web ビーコンの利用について
   https://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index2.html#cookie
5. 当社が提供している個々の個人情報取扱いサイトについて
   https://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index2.html#personal
6. ご本人さまが当社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

9．認定個人情報保護団体

当社を管掌する認定個人情報保護団体※は、下記となります。

認定個人情報保護団体の名称
一般財団法人日本情報経済社会推進協会

苦情の解決の申出先
認定個人情報保護団体事務局

住所
〒106-0032 東京都港区六本木一丁目 9 番 9 号 六本木ファーストビル内

電話番号
03-5860-7565 ／ 0120-700-779

※個人情報保護法で規定されている、個人情報に関する苦情処理や情報提供を行う第三者機関。
当社の商品・サービスに関する問い合わせ先ではございません。

10．連絡先

個人情報の開示等の請求および苦情のお申し出を除く、本取扱要旨に関するご質問・お問い合わせは、下記の方法にてご連絡ください。
本ページは日本法に基づくものとします。
日本国外の日立グループに対するご質問・お問い合わせ又は日本国外の法制度等に基づくご質問・お問い合わせは、それぞれの地域のホームページをご確認ください。

Hitachi Group Global Network
https://www.hitachi.com/global/index.html

詳細について
https://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index2.html#inquiry

お問い合わせ入力フォームを利用したご連絡
https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/privacy/jp/form.jsp

郵送によるご連絡
〒101-8608　東京都千代田区外神田一丁目 18 番 13 号
株式会社日立製作所 情報セキュリティリスク統括本部 データ保護マネジメント本部

株式会社日立製作所　個人情報保護に関して（保護方針と要旨）
詳細は当社ホームページ
http://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index.html
をご覧ください。

株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して



制定年月日 2004 年 6 月 23 日
最終改定年月日 2024 年 4 月　1 日
株式会社 日立アカデミー
取締役社長　川村　肇

当社は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より、個人情報の適切な取扱いを行う事業者に付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

個人情報保護の理念

株式会社 日立アカデミー（以下、「当社」といいます。）は人財育成のためのトータルソリューションの提供を通じて社会に貢献してまいります。
そうした中で、当社は氏名、生年月日のような個人を特定できる情報（以下、「個人情報」と総称します。）が従業員のみならずお客さまにとりまして重要な情報であり、適切に扱われるべき情報であると認識しております。又、これら個人情報を利用し、保護することが当社の社会的責任であり、当社の事業の基本であると考えております。
当社では個人情報を適切に取扱うべく役員、従業員に「個人情報保護方針」の周知徹底を図り、その実行、維持、改善に努めます。

株式会社 日立アカデミー 個人情報保護方針

1. 個人情報の取得・利用・提供
当社は、事業活動において、お客さまの情報をお預かりしていることを考慮し、各事業に応じた個人情報保護のための管理体制を確立します。又、個人情報の取得、利用、提供において、特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えた個人情報の取扱いを行わないための適切な措置を講じます。

2. 法令・規範の遵守
当社は、個人情報の取扱いにおいて、当該個人情報の保護に適用される法令および国が定める指針その他の規範を遵守します。又、これらの法令および指針その他の規範に適合した、当社の個人情報管理規則を作成し、遵守いたします。

3. 安全対策の実施
当社は、個人情報の正確性および安全性を確保するため、当社の情報セキュリティに関する諸規則に則り、個人情報へのアクセス管理、個人情報の持ち出し手段の制限、外部からの不正アクセスの防止等の対策を実施し、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止および是正に努めます。

4. 個人情報に関する本人の権利尊重
当社は、個人情報に関するご本人さまから求められる開示、内容の訂正、追加又は削除、又は苦情および相談を求められた時は、個人情報に関するご本人さまの権利を尊重し、誠意を持って対応いたします。

5. 個人情報保護マネジメントシステムの確立および継続的改善
当社は、役員および従業員に個人情報保護の重要性を認識させ、個人情報を適切に利用し、保護するための個人情報保護マネジメントシステムを確立し、これを着実に実施します。更に、これを維持し、継続的に改善いたします。

事業者の氏名または名称

株式会社日立アカデミー

個人情報保護管理者（本登録申込情報に関する責任者）

株式会社日立アカデミー　情報セキュリティ統括責任者
〒 110-0015　東京都台東区東上野二丁目 16 番 1 号　上野イーストタワー 18 階

個人情報の利用目的

当社は、次の利用目的の範囲内で利用するため、個人情報を収集させていただく場合がございます。

個人情報	利用目的
(1) お客さまに関する個人情報	• お客さまへの連絡のため • 研修サービス業務の運用・実施のため （受講案内・請求書発行、名簿・名札作成等の事務処理、ロイヤリティ支払いの確証、ご案内冊子送付） • 修了判定や理解度を測るため（研修受講時に提出する課題、テスト回答） • 各種研修サービスご案内のための DM や電子メール等の発送のため （商品 / サービス / 展示会等の情報や宣伝物等のご案内。委託先会社が独自に企画・開催するものも含む） • 教材販売業務の運用のため (教材発送、請求書発行) • チケット販売業務の運用のため (チケット発送、請求書発行) • より良い商品・サービス開発、サービス品質維持・改善のための調査・分析のため • お客さまとの交渉、契約履行のため 上記の目的に必要な範囲で、お客さまの自社窓口部署または各種施策の取纏め部署に提供することがあります。
(2) お取引先、提携先に関する個人情報	• お取引先、提携先への連絡のため • お取引先、提携先との各種研修サービスの運用・実施のため • お取引先、提携先との交渉、契約履行のため • お取引先、提携先との事業協力のため
(3) お取引先から委託を受けた個人情報	• お取引先への連絡のため • お取引先から受託した各種研修サービスの運用・実施のため • お取引先との契約履行のため
(4) イベント、展示会等で取得した個人情報	• 連絡、イベントの関連情報のご提供 • 商品またはサービスのご案内 • お取引先から委託を受けた調査、分析、宣伝、広告業務の遂行等 上記の目的に必要な範囲で、当社の関係会社、販売店、お取引先などに提供することがあります。
(5) 当社へ入社を希望される皆様に関する個人情報	• 連絡、情報のご提供および採用選考 • 採用選考に関わる業務委託
(6) 当社に派遣入場している皆様に関する個人情報	• 構内秩序の維持、当社の財産又は営業秘密の管理上、本人特定するため • 法令に定められた義務を履行するため
(7) 上記以外の個人情報	• 防犯のための監視カメラによる撮影と録画

Web サイトでの情報の取扱い

当社が運営する Web サイト（以下、「本 Web サイト」という。）を利用される方に関わる情報を以下の通り取扱います。

A. 本 Web サイトへアクセスしたことを契機として機械的に取得される情報

当社は、閲覧された本 Web サイトのセキュリティ確保・ユーザビリティ向上のため、アクセスログおよび Cookie により、閲覧された方の情報を取得します。
・取得した個人情報は、当社規定に基づき厳重な管理を行います。
・取得する個人情報の取扱いを外部に委託する場合があります。
・取得した個人情報は、利用目的に応じて保存期間を設定し、保存期間終了後は速やかに削除、廃棄します。

B. クッキーおよび Web ビーコンの利用について

本 Web サイトの一部では、ご本人さまがより便利にご利用いただくために、クッキー (Cookie)*1 や Web ビーコン (クリア GIF)*2 を利用しております。
ご本人さまは、ウェブブラウザの設定を変更することにより、クッキーの受け取りを拒否し、または、クッキーを受け取った場合に警告を表示させることができます。詳しくは、ご使用のブラウザの説明をご覧ください。また、ご本人さまは、クッキーの受け取りを拒否することによって、Web ビーコンを拒否することができます。
しかし、クッキーの受け取りを拒否された場合には、本 Web サイトにて提供するサービスの全部または一部がご利用できなくなる場合もございますので、ご了承ください。
また、お客さまへお送りするメールマガジンと Web ビーコンを組み合わせて使用することにより、お客さまにお送りしたメールが開封されたかどうか、お客さまがどのウェブページを訪問されたかといった情報を収集させていただく場合があります。当社では収集したそれらの情報につき、サービスの向上のために利用させていただきます。収集させていただいた情報の具体的な利用範囲等につきましては、上記「取得・利用目的・第三者提供」をご確認ください。

C. Google Analytics の利用について

本 Web サイトでは、お客さまの本 Web サイトの訪問状況を把握するために Google 社のサービスである Google Analytics を利用しています。
Google Analytics では、当社が発行するクッキーをもとにして、Google 社がお客さまの本 Web サイトの訪問履歴を収集、記録、分析します。
当社は、Google 社からその分析結果を受け取り、お客さまの本 Web サイトの訪問状況を把握します。
お客さまは、ブラウザのアドオン設定で Google Analytics を無効にすることにより、当社の Google Analytics 利用によるお客さまの情報の収集を停止することも可能です。
また、Google Analytics により収集された情報は、Google 社のプライバシーポリシーに基づいて管理されます。

Google Analytics によるクッキーの使用に関する説明およびクッキーにより収集される情報は、Google Analytics の利用規約およびプライバシーポリシーをご確認ください。
Google Analytics の利用規約
http://www.google.com/analytics/terms/jp.html
Google のプライバシーポリシー
http://www.google.com/intl/ja/policies/privacy/
Google Analytics オプトアウトアドオン
https://tools.google.com/dlpage/gaoptout?hl=ja

D. Google の行動ターゲティング広告利用について

個人を特定しない属性情報・行動履歴の取得および利用について

本 Web サイトでは、広告配信事業者が提供するプログラムを利用し、特定のサイトにおいて行動ターゲティング広告（サイト閲覧情報などをもとにユーザーの興味・関心にあわせて広告を配信する広告手法）を行っております。その際、ユーザーのサイト訪問履歴情報を採取するため Cookie を使用しています（ただし、個人を特定・識別できるような情報は一切含まれておりません）
広告配信事業者は 当該 Cookie を使用して本 Web サイトへの過去のアクセス情報に基づいて広告を配信します。この広告の無効化を希望されるユーザーは 広告配信事業者のオプトアウトページにアクセスして、Cookie の使用を無効にできます。ブラウザの変更、Cookie の削除および新しい PC へ変更等の場合には再度設定が必要となります。
ユーザーは広告のオプトアウトページで Google の Cookie を使用しないよう設定できます（また、Network Advertising Initiative のオプトアウトページでも第三者配信事業者の Cookie の使用を無効にできます）。
オプトアウトを行っていない場合、Google 他、第三者配信事業者または広告ネットワークの Cookie も使用される可能性があります。Network Advertising Initiative のオプトアウト ウェブサイトでは、一部の Cookie（全てではありません）をまとめて無効にできます。

E. 本 Web サイトで利用してるソーシャルメディアサービスについて

当該サイトのうち他のソーシャルメディア（SNS）のボタン等が設置されているページを閲覧した際、当該 SNS に閲覧者に関する情報が送信されることがあります。
当該サイトで利用している他の SNS 等のサービスのプライバシーポリシー等は、各事業者のサイト等でご確認ください。
Facebook「データに関するポリシー」https://www.facebook.com/privacy/explanation
YouTube「ポリシーとセキュリティ」https://www.youtube.com/intl/ja/yt/about/policies/#community-guidelines

F. 本 Web サイトからリンクされている当社外の Web サイト

本 Web サイトからリンクされている当社外の Web サイトにおけるご本人さまの個人情報の安全性確保については、当社では責任を負いかねますので、ご承知おきください。
当社では、より良い個人情報保護を実現するために、また、法令、政省令、およびその他の規範の制改定に伴い、本ページに掲載いたしております個人情報保護方針を改定することがございます。定期的に当社の Web サイトにてご確認いただきますようお願いいたします。
本ページの内容は、掲載日以降に適用されるものといたします。

用語説明
*1 **クッキー：**ウェブサイトを管理するウェブサーバとお客さまのウェブブラウザとの間で相互にやりとりされる情報のことをいいます。クッキーは、お客さまのコンピュータのディスクにファイルとして格納されることがあります。クッキーをご利用になりますと、ウェブサーバは特定のコンピュータがウェブサイト中のどのページを訪れたか等を記録することが可能となります。但し、お客さまがお客さまご自身の個人情報をウェブサイト上で入力されない限り、当社はお客さまを特定、識別することはできません。
*2 **Web ビーコン：**クッキーと一緒に機能し、ご本人さまが特定のページに何回アクセスされたかを知ることができる技術のことをいいます。但し、ご本人さまが、ご自身の個人情報をクッキーの受け取り時に入力されない限り、当社はご本人さまを特定、識別することはできません。

個人情報の第三者提供

取得した個人情報は、お客さまの承諾がない限り、および以下のいずれかに該当する場合を除き、利用目的の範囲を超えて利用したり、第三者へ開示または提供しません。
・法令に基づく場合
・人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、ご本人さまの同意を得ることが困難であるとき
・公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、ご本人さまの同意を得ることが困難であるとき
・国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、ご本人さまの同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき

個人情報の取扱いの委託

利用目的を達成するために、個人情報の取扱いを外部に委託する場合があります。その場合も、十分な個人情報保護水準を有する会社を選定するとともに、個人情報保護の覚書等を締結し、必要な管理・監督を行います。

安全管理のために講じた措置

当社では、個人情報の適正な取り扱いの確保について組織として取り組むために、トップマネジメントが個人情報保護方針を策定、この基本方針に従った個人情報管理規則やガイドラインなどの社内規定を策定しています。また、社内規程が法令、プライバシーマーク準拠規程である JIS Q 15001 に適合しているかを確認、評価する仕組みを整備しています。このような規程の整備とともに、実際に個人情報を取り扱うにあたり、4 つの側面（組織的、人的、物理的、技術的）から具体的な安全管理措置を講じています。
情報セキュリティ報告書※
※：当社 Web サイト（https://www.hitachi.co.jp/sustainability/download/pdf/securityreport.pdf）をご覧ください。

外国における個人情報の保護に関する制度

当社では、個人情報取扱業務の一部について、業務委託等で個人情報を外国にある第三者へ提供する場合があります。当該国における個人情報保護に関する制度は個人情報保護委員会のウェブサイトをご覧ください
• https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/kaiseihogohou/#gaikoku（個人情報保護委員会）

開示・利用停止等手続きのご案内

個人情報に関して開示等の求め（利用目的の通知、開示、内容の訂正、追加または削除、利用の停止、消去および第三者への提供の停止）は、ご本人さまによる場合のほか、代理人による場合も受けさせていただきます。

A. 開示等の求めのお申し出先

下記窓口宛に所定の申請書および必要書類を添付のうえ、郵送にてお送りいただきますようお願い申し上げます。
(1) お申し出先窓口　〒 110-0015　東京都台東区東上野二丁目 16 番 1 号　上野イーストタワー 18 階
株式会社日立アカデミー　統括窓口責任者
(2) 当社所定の申請書
・個人情報の開示等の請求書※
※：当社 Web サイト（https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/utility/privacy/priv01.pdf）をご覧ください。
(3) ご本人さま確認のため、以下の書類を (2) 申請書とともに (1) に郵送ください。
・運転免許証、パスポート等の写真でご本人さま確認ができるものの写し（開示等の求めをするご本人さまの名前および住所が記載されているもの）
・住民票の写し（開示等の求めをする日前 30 日以内に作成されたもの）
(4) 代理人の方が手続きをされる場合は、(2) 申請書、(3) ご本人さま確認書類に加え、以下の書類も郵送してください。
・代理人を証明する書類、代理人の運転免許証、パスポート等の写真で代理人確認ができるものの写し（開示等の求めをする代理人の名前および住所が記載されているもの）
・代理人の住民票の写し（開示等の求めをする日前 30 日以内に作成されたもの）
・代理人が弁護士の場合は、登録番号のわかる書類
・代理を示す旨の委任状

B. 開示等の求めに対するその他の注意事項

・個人情報保護法上対応を要しない場合、所定の書類に不備があった場合等には、開示等の求めに対応できないこともあります。
・開示等の求めにともない取得した個人情報は、開示等の求めに必要な範囲でのみ取り扱うものとします。開示等の求めに際しご提出いただきました書面は返却致しかねます。
・申請書の記載住所（日本国内）の請求者（代理人宛の場合は代理人）ご本人さま宛に書面によってご回答させていただきます。
・お問い合わせの内容によっては回答にお時間をいただく場合もございます。
・個人情報の消去の求めの場合において、当該個人情報を消去させていただいたときでも、個人情報の消去の求めの申請書、ご本人さま確認の書面、回答書の写しは保管させていただきます。
・個人情報の利用停止もしくは消去、または第三者への提供停止の求めの結果、当該の個人情報に対するサービス等はご利用いただけなくなることをあらかじめご承知おきください。

認定個人情報保護団体

当社を管掌する認定個人情報保護団体 * は、下記となります。

認定個人情報保護団体の名称	一般財団法人日本情報経済社会推進協会
苦情の解決の申出先	認定個人情報保護団体事務局
住所	〒 106-0032 東京都港区六本木一丁目 9 番 9 号 六本木ファーストビル内
電話番号	03-5860-7565 ／ 0120-700-779

＊個人情報保護法で規定されている、個人情報に関する苦情処理や情報提供を行う第三者機関。

個人情報に関するお問い合わせ

A. 個人情報の取扱いに関する苦情のお申出に関して

個人情報の取扱いに関する苦情のお申出に関しては「個人情報の取扱いに関する苦情申出書※」に必要事項をご記入いただき、郵送にてお問い合わせください。
※：当社 Web サイト（https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/utility/privacy/priv02.pdf）をご覧ください。
（郵送先）〒 110-0015　東京都台東区東上野二丁目 16 番 1 号　上野イーストタワー 18 階
株式会社日立アカデミー　統括窓口責任者

B. 個人情報に関するお問い合わせ

当社の個人情報の取扱い全般に関するお問い合わせは、お問い合わせ入力フォーム※からご連絡ください。
※：お問い合わせ入力フォーム（https://www.hitachi-ac.co.jp/inquiry/index.html#06）

雇用関係助成金のご案内

人材開発支援助成金

人材開発支援助成金は、事業主等が雇用する労働者に対して、職務に関連した専門的な知識および技能の習得を目的とした職業訓練などを計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部などを助成する制度です。

●人材開発支援助成金

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html
（厚生労働省 Web サイト）

※上記は2025年6月現在の内容です。
最新情報は、日立アカデミーのWebサイトをご覧ください。https://www.hitachi-ac.co.jp/support/crjo.html

他社所有商標に対する表示

- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Flash Player、Adobe Reader、Flash、Flex、MXML、ActionScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- アマゾン ウェブ サービス、Amazon Web Services、Amazon EC2 およびAmazon Web Services ロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Automation Anywhere、Bot Insight、IQ BotはAutomation Anywhere, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- BABOK®およびBusiness Analysis Body of Knowledge®、CCBA®、CBAP®は、International Institute of Business Analysisの登録商標です。
- BizRobo！は、RPA テクノロジーズ株式会社の登録商標です。
- Blue Prismは、Blue Prism Limitedの登録商標です。
- CMMI、Capability Maturity Modelは、米国カーネギーメロン大学及びその他の国における商標または登録商標です。
- CoreExplorer、SynVizは株式会社日立ソリューションズ東日本の登録商標です。
- DataStageは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corp.の商標です。
- EQI®は（株）アドバンテッジリスク マネジメントの登録商標です。
- Ethernet/イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- Ethernetは、米国Xerox Corp.の商品名称です。
- Getting Things Done®とGTD®は、David Allen Companyの登録商標です。
- Hadoopは、Apache Software Foundationの米国およびその他の国における商標です。
- HP-UXは、米国Hewlett-Packard Companyのオペレーティングシステムの名称です。
- IBM、IBMロゴ、ibm.com、AIXは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。
- ITIL®は、PeopleCert Groupの登録商標であり、PeopleCert Groupの許可のもとに使用されています。すべての権利は留保されています。
- iPhone、iPad、iOS、iBooks、Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- JP1、HiRDB、Cosminexus、BladeSymphony、Hitachi Storage Solutions、Groupmax、GEMPLANET、HIPACE、e-CANDO、EP8000、OpenTP1、XDM、Hitachi Command Suite、Hitachi Advanced Data Binder、Hitachi Virtual File Platform は株式会社日立製作所の商標または登録商標です。
- Jtestは、米国ParaSoft Corporationの商標または登録商標です。
- Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Azure、Visual Basic、Visual C++、Visual Studio、Windows、Windows Server、Windows PowerShell、SQL Server、Active Directory、Hyper-V、Excel、PowerPoint、Word、Outlook、Access、SharePoint、Internet Explorer、Silverlight、Power Platform、Power Apps、Power Automate、Power BIは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- MuleSoftは、MuleSoft Inc., a Salesforce companyの登録商標です。その他の全ての社名、商品名等は、各所有者の商標または登録商標です。
- Netscreenは米国Juniper Networks, Inc.の商標です。
- NVIDIAは、米国NVIDIA Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Pentahoは、Hitachi Vantara Corporationの日本及びその他の国における商標または登録商標です。
- OCUP、オーカップ、UML技術者資格試験は、（株）UML教育研究所の商標、または登録商標です。
- OMG、UML、Unified Modeling Language、UMLロゴ、UML Certificationロゴ、MDA、Model Driven Architectureは、Object Management Group Inc.の商標または登録商標です。
- Oracle、Oracle Database 11g、Oracle Database 12c、Java、JavaScript、Solarisは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、OPM3®、CAPM®、PgMP®、PMI-ACP®、PMI-SP®、PMI-RMP®、PM Network®、PMI Today®、PMCDF®、R.E.P.ロゴはプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。
- Red Hat、Red Hat Enterprise Linux、JBossは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の登録商標です。
- Salesforce、Salesforce ロゴは、米国その他の国における米国 salesforce.com, inc. の登録商標または商標です。
- SAPは、SAP AGのドイツおよびその他の国における登録商標または商標です。
- SEIは、カーネギーメロン大学のサービスマークです。
- Sixseconds、シックスセカンズ、SEI、SEI360、SEI-YV、Vital Signs、OVS、TVS、LVS、EQプラクティショナー、SEIアセッサー、EQエデュケーター、EQコーチ、CreatePositiveChangeはシックスセカンズジャパン株式会社およびグループの日本、その他の国における登録商標または商標です。
- Tableau、記載されているすべてのTableau製品は、Tableau Software Inc.の商標または登録商標です。
- TOEIC®は、Educational Testing Service（ETS）の登録商標です。
- UiPathは、UiPath 株式会社の登録商標です。
- UNIXは、The Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
- VMware、VMware vSphere、ESXi、VMware vCenter、VMware View は、VMware, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Webexは、Cisco Technology, Inc.の登録商標です。
- WinActorは、NTTアドバンステクノロジの登録商標です。
- 7つの習慣®、5つの選択®、スピード・オブ・トラスト®は、米国フランクリン・コヴィーまたはフランクリン・コヴィー・ジャパン株式会社の登録商標です。
- 秘文、活文は株式会社日立ソリューションズの登録商標です。

その他記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

© Hitachi Academy Co.,Ltd. & Hitachi, Ltd. 2025. All Rights Reserved.


VEGETABLE
OIL INK